

SAOにプレイヤーチャットが搭載された件【連載するよ!】

飽きっぽいニート志望

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

もしもSAOにプレイヤーチャットが搭載されたなら。そんな話。もしかしたら短編に移すかもしれない。

たとえ連載しても鈍亀更新。

5/20

感想来たし、とりあえず連載してみる事に。

まあ、こんな小説を読んでくれる人が居る限り、のんびんだったり連載して行きますよ。はい。

目次

SAOにプレイヤーチャットが搭載された件〜入門スレの話〜	1
○○が食べたかった！編〜	4
【安価】武器の名前を安価する	10
閑話休題的な【混沌】ヘルプミー	14
【雑談】なんかタイム出来ちゃったんで説明したるww	19
【伝説の始まり】ウチの子がチート過ぎるんだけど検証出来る奴居る？	25
【調査隊】下層での大調査	31
【安価】なんかルラギリレタっぽいんで助かる方法考えてちよww	39
【コラボ】なんか仙人っぽいやつが居るみたいだぞww	49
【コラボ】茅場仕事しやがれ（激おこ）	53
【コラボ】バグモンから出たバグ：フラグ？	60
【コラボ】岩壁を走る変人と厨二病とロリ	68
【コラボ】リア充とかやひこは爆発しろ！	75
【コラボ】バグって怖いよね。	84
【コラボ】仙人の弟子？何それ俺隊長	91
【コラボ】ヒツサツ！フルスロットル！マワール！	97
【コラボ】カットされるほど見るに耐えない戦闘。	107
【コラボ】魔法陣は左回りが原則なんだって。	115
【コラボ最終回】やはりアイツが真面目にやるなんてありえなかつた。	121

【外伝】俺氏、隠しエリア？から出られない（；ω；）

129

フラグメントなホロウさんたちもプレイヤーチャットを楽しんでる件。

【病気】なんか無性に叫びたい【全力全開】

何を言っているのやら

わけがわからないよ（迫真）

【激おこ】これは流石にキレル【ぶんぶん丸】

【フラグ】おい、調査隊、もっかいやるらしいぞ。

【カーニヴァル】調査すつぞおまいら。【前編】

【カーニヴァル】調査すつぞおまいら【後編】

【恐怖】料理は上手くても下手でも兵器になる。（迷言）

【これは酷い】PSだけなら最強っぽい奴等が戦ってる

【大特価】喧嘩大安売り中

【禁断の】かやひこの暴走【合成】

【七夕外伝】星に願いをコイツに罰を

【俺の】伝説の剣を手に入れたから相手が誰でもフルボッコ【最強伝

説】

ラスボス前は弱い、世界の真理だね。

【結論】俺氏、隠しエリアから生還したったww【まとめ】

これはww偶然って恐すぎるww

【メシウマ】平和に飯を食っていた俺の目の前で行われたレベルの

高過ぎる宴会芸

【安価】下層のヤツで上で何が起きてるか考えようぜw

隊長さんの日常っぽいなにか。

255

248

242

236

228

222

214

209

204

198

189

184

177

172

165

157

152

148

138

【SAO公式】 76層以降について。 | 261

【悪夢】 最狂最悪の武器発見だお。 | 265

【世紀の】 おっさんvs隊長【決戦】&おまけ | 271

【覚醒】 おっさんの本気 | 276

【空いた口が】 隊長はやっぱ頭おかしい【塞がらない】 | 284

【上層より】 ヤバい来るな | 291

隊長さんは喧嘩を売りに行くそうです。 | 299

【腹が減っては】 三食ちゃんと食べよ（迫真）【戦は出来ぬ】 | 306

306

【究極の難題】 SAO最強決定戦 part 1 | 312

【キレル体長】 SAO最強決定戦 part 2 | 318

【これは恐ろしい】 SAO最強決定戦 | 325

【人類は進化しました】 SAO最強決定戦 | 332

【中二病大歓喜】 SAO最強決定戦 | 340

【混沌極まれり】 SAO最強決定戦 | 348

【神・鎚・乱・舞】 SAO最強決定戦 | 354

【最悪の結末】 SAO最強決定戦 | 362

【そんなん】 ユニークスキル……だと……？【チートや！】 | 371

【いくらなんでも】 ユニークスキルだからって……【これは酷い】 | 377

377

【久々だけど】 なにこれしゅごい…… | 384

【三人寄れば】 たぶん伝説の【何このカオス】 前前前編 | 390

【ユニーク過ぎるぜ】 たぶん伝説の【前前編】 | 397

【まさかの対決】 たぶん伝説の【前編】 | 405

【頂上決戦に次ぐ（ry）たぶん伝説の【後編】 | 412

- 【4×9計】たぶん伝説の【後後編】—— 419
- 【決着なんてなかった】たぶん伝説の【後後後編】—— 428
- 【究極完全無敵超越の】俺とおまいらで最強の決戦メンバー選ぼうぜww【安価】—— 435
- 【まさかの】隊長sブートキャンプへようこそ！【結末】—— 441
- 【超越者】I can fly！【重力など無駄無駄ア！】—— 447
- 【大惨事】おいこれwwひでえことになってるぞw—— 454
- 【何かがおかしい】隊長は隊長ゆえに隊長である【前編】—— 461
- 【敵の倒し方は1つだけ】隊長さんはどうやらスライムを皆殺しにするようです【俺流だ！】—— 468
- 【決着】どうでもいいけどぶよぶよのブレインダムドって結構恐ろしいよね【……？】—— 475
- 【二回戦開始】スライム祭り、第二夜！—— 483
- 【隊長と書いて】下準備タイム【災害と読めるよなんでだろう】490
- 【隊長さんの失態】ちよつwおまそれww—— 497
- 【お前の親の】そうか、そうか。君はそういう奴だったんだな【顔が見たい】—— 505
- ルーチンワークを続けていたら事故った件【あるあ…ねえよ！】511
- 隊長式ろーくん攻略法・豪華版【略してTKG】—— 520
- 【墓穴を掘ったな！ヴァカめ！】このアイテムがおかしい！528
- Q. ろーくんに対し最適な拷問を答えよ【答えは……】—— 536
- 【銃槍とパイルバンカーは】今明かされる意外な事実ウ！【男のロマ

【(ある意味で) 安価】ろーくん、お前つてやつは…… | 553

【お、お前は……！】とりあえず初めま死ね！【理不尽だあつ！】 | 544

561

【最悪最狂】ボス程度で苦戦とかねーから！【サイココマンダー】

574

Infinity Moment (意識：突然の死！) | 585

【無敗神話】ガバ仕様+隊長はゲーム崩壊不可避【隊長クロニクル】

閑話：隊長さんが神イ！して安価して喧嘩売ってるだけの日常回。 | 590

【喧嘩祭りの】隊長vsDKB【始まりだつ！】 | 604

【ふぁーすと！】オールスター隊長討伐祭【青いやツラ】 | 612

【せかんど！】最強”vs”超最大”【常在戦場】 | 620

【さーど！】もう笑うしかないや【隊長さんの敗北】 | 626

【ないとめあ！】暴走とサボテンと暗躍する教団【最凶vs最硬】

632

【ばーさす！】黒い炎に吞まれて消えろ！【サボテンの本気】

639

【ばーさす！】鉄の意思と鋼の心と決して崩れぬモーニングスター

ヘッド【ラストサボテン】 | 647

【ばーさす！】半暴走くらいが一番面倒くさいっていうテンプレ

653

【裏・ばーさす！】隊長さんの舞台裏 | 660

【超・ばーさす！】復活のT【前編】 | 665

【ヴぁーさす！】ここんとこ闇墮ち多過ぎない？ ————— 672

【理不尽の極み】諸事情によりカート！【またそれか】 ————— 677

【決着まで】もはやここだけジャンルが違う【スリー！】 ————— 685

【決着まで】やりすぎちった☆ミ【ツー！！】 ————— 693

【決着まで】いやー、俺じゃなかったら死んでたね【ワン！】

700

【決着……？】隊長曰く勝ち負けカオス【おまけからが本編】

708

【SAO・超越編】人気低迷とかで突然ジャンルが変わる奴は大体打

ち切りになるジnkクス —————

717

【SAO・超越編】こう見えて俺、世界記録持ちなんだ ————— 723

【SAO・超越編】ウチのエルフが最強だった件 ————— 729

【SAO・超越編】その考え！思考が悪魔に支配されている！

734

【SAO・超越編】混沌を極める決戦【ただいま】 ————— 739

【SAO・超越編】これが出たら死ぬとは言うけど ————— 744

【SAO・超越編】出オチ系でよくあるアレ ————— 749

【SAO・超越編】設定ミスしたお前が悪い ————— 753

【SAO・超越編】これがたった1つの冴えたやり方……でも思った

？

758

SAOにプレイヤーチャットが搭載された件〜入門スレの話〜

プレイヤーチャット。それはつい3日前に、このSAOに追加された新機能。

ちなみに、これは俺の思う最強の攻略組プレイヤー、キリト…の恋人のアスナ等数百名が日夜茅場（GM）にプレイヤーチャットを搭載しろと149件／分くらいの速度で送り続けた甲斐あつての事である。

だが、ちよつとだけ茅場に同情しないでもない。

分当たり149件もメールが来たら流石に天才でも胃に穴が開くよな。

……さて、とりあえず俺もプレイヤーチャットに参加してみるかな？

プレイヤーネーム以外でニックネームを入力して下さい（後で変更出来ます）【一

ニックネームなのね。この辺りに茅場の心遣いを感じられるよ。

きつとプレイヤーチャットで苛められても名前を変えればどうにかなる様にしてあるんだろう。

とりあえずここは「戦わなければ生き残れない！」にしよう。

元ネタは仮面ライダー龍騎。

ー入門スレ（少人数でまずは会話に慣れましょう）ー

【戦わなければ生き残れない！】さんが入室しました。

【黒き一迅の疾風】さんが入室しました。

【ピザが食いたかった】さんが入室しました。

1：黒き一迅の疾風

なんだこの名前のカオスさはww

2：ピザが食いたかった

お前に言われたくは無いな。

3：戦わなければ生き残れない！

2・禿同

4：黒き一迅の疾風

2・それは言わないで（；ω；）

5：戦わなければ生き残れない！

4・だが、断る！

6：ピザが食いたかった

4・だが、断る！

7：黒き一迅の疾風

5、6・ハモった：だと？

8：ピザが食いたかった

論点をずらそうとしても無駄だぞ

9：戦わなければ生き残れない！

あ、ホントだ、すげえ

10：ピザが食いたかった

9・論点をずらそうとしていることに気付こうぜ。

11：戦わなければ生き残れない！

………ハッ！俺は一体何を………

これは初手エグゾとかDQ9の邪眼皇帝アウルートが毎ターンマダンテ喰らわせてくるとかモンハンで激昂ラージャン二匹に壁ハメされるとか、そんなチャチなもんじゃ断じてねえ。

もつと恐ろしい物の片鱗を味わったぜ………

12：黒き一迅の疾風

11・確かに恐ろしいな

13：ピザが食いたかった

11・ラー二匹の壁ハメは鬼畜

14：戦わなければ生き残れない！

なんで皆そんなマジに捉えてんの？

15：黒き一迅の疾風

※ノリです

16：ピザが食いたかった

…………ハッ、俺は一体何を…………

これは初手工（ry

17：戦わなければ生き残れない！

15・ノリか、なら良い。

【紅白色の流れ星】さんが入室しました。

18：黒き一迅の疾風

すまん！俺は逃げる！

あばよとつつあん！

【黒き一迅の疾風】さんが退室しました。

19：戦わなければ生き残れない！

なんだ今のは…………

20：紅白色の流れ星

気にしないで下さいね、間違っても【黒き一迅の疾風】を追わないようにして下さいね。

【紅白色の流れ星】さんが退室しました。

21：ピザが食いたかった

あ、俺【紅白色の流れ星】の正体に心当たりあるから【黒き一迅の疾風】を助けにいかないといけないかもしれない。落ちる。

【ピザが食いたかった】さんが退室しました。

22：戦わなければ生き残れない！

スレにしては短いなあオイww

【戦わなければ生き残れない！】さんが退室しました。

く〇〇が食べたかった！編く

俺は今日もプレイヤーチャット……と、行きたいがとりあえず日々の糧を得るためにちよつくら狩りをしたいと思う。

ちなみに、俺が泊まっている宿（民宿？）は、1日50コル（四層にしてはかなり高級）でココア飲み放題、あそこは四層なので、大切な移動手段たるゴンドラ乗り場、停留所があり、俺の趣味たるゴンドラタクシー（もしくはバス）の運航にも困らない。

そして何より……バグなのか何なのか知らんが、この宿だけ飯がリアルで言う所の新潟県産コシヒカリみたいな感じで旨いんだ。だから、俺は毎日のんびりと狩りをしつつ、宿暮らしをしているのだ。

ただ、実は今は少し金欠気味だ……原因は言うまでも無く、武器防具の新調である。

武器の方は、リズベツト武具店つてところで強いのを手に入れ、防具は敵のレアドロップ……しかもとあるボスを武器を使わずに倒すと言う難易度ルナティック仕様の物を手に入れたために、凄く金欠なのだ。

なにに？防具の方は金が掛からないだろって？

馬鹿だなあ。武器を使わずに倒すなんて馬鹿な事するのは俺くらいだし、それにかなり回復アイテムも使う。

だから……ポーションや回復結晶代でかなり金欠なのだ。

そんな訳で、今日はちゃんと狩りを（少なくとも10週間分の3500コルを稼ぐ程度には）しなくてはならないのだ。

レッツラゴー！

136層ー

てなわけでやって来ました36層。来た理由は特にないけれども強いて言うなら安全マージンが完璧に取れて、更にこの敵が俺の獲物にとって格好の的だからである。

よし！行くぜ！

俺はフィールドに駆け出し、情報を知った途端に手に入れに行っ

て、頑張つて入手したスキル【格闘】のスキル【閃打】で目に入った敵を殴る。

すると、その敵は俺に対するヘイトが上昇し、俺を殺しに掛かってくる。

まあ、ここは普通に遮蔽物も何もない上に、相手の動きは凄く遅い（裏を返せば威力は一撃必殺クラスと言う意味）ので、安心してコレを降り下ろせる。

その名も【一撃虐殺クラッシュャー】。どう考えても深夜テンションでネーミングされた武器たる、ハンマーだ。

俺は一撃虐殺クラッシュャーを近付いて来る敵に降り下ろす。

すると、敵は一撃虐殺クラッシュャーの威力に耐えきれず、大きくノックバツクする。

そして：これが一撃虐殺クラッシュャーが一撃虐殺クラッシュャーたる所以である、【毒6】が発動する。

【毒6】の威力が分からない人の為に説明するが、ぎっくり言うなら一秒当たり300のスリップダメージを五秒間与える程度である。

モンハン4に例えるなら、デッドリイタバルジン並の毒性能力である。

そんな威力の毒を大威力の一撃虐殺クラッシュャーと共に喰らえば、雑魚ならどうやっても耐えられないのだ。

ちなみに、さっきの敵は俺が説明している間に毒で死んでいる（笑）いやあ、名前すら出ないとか悲しいね。うん。

そのあと、俺はこの敵（獲得コルは一体当たり600）を滅茶苦茶乱獲して、4000近いコルを手に入れたのでした。めでたしめでたし。

さあ、帰ってチャットだチャット。

お？なんじゃこりや、【○○が食べたい！】ってスレ……………面白そうだなあ。

ー○○が食べたいー

【ピザが食いたかった】さんが入室しました。

【黒き一迅の疾風】さんが入室しました。

【唐揚げ食べたい】さんが入室しました。

【食べる？なら幼女でしょ】さんが入室しました。

1：ピザが食いたかった
ちよつと待て。混沌としてるぞ。

2：唐揚げ食べたい

1：言わんとする事は分かるぞ

3：食べる？なら幼女でしょ

1：うん、【黒き一迅の疾風】って、どう考えても厨二病。

4：ピザが食いたかった

3：残念だったな、混沌はお前だよ。

5：黒き一迅の疾風

厨二病って………（；ω；）

6：唐揚げ食べたい

3：あーあ、泣かせちゃった。

7：食べる？なら幼女でしょ

おいちよつと待て！俺は悪くな

【食べる？なら幼女でしょ】さんが退室しました。

8：ピザが食いたかった

な、何が起きたんだか皆目検討も付かないぜ………

9：唐揚げ食べたい

だ、だがこれだけは分かる。

10：黒き一迅の疾風

今の現象はヤバいと思って逃げたとかそんなチャチもんじゃ全く
ねえ、もつと恐ろしいナニカの片鱗を味わったぜ………

11：ピザが食いたかった

イエイ

12：唐揚げ食べたい

ぶるあ！

13：黒き一迅の疾風

フツ…決まったな………

【戦わなければ生き残れない！】さんが入室しました。

【くまの○○さん】が入室しました。

14：戦わなければ生き残れない！

ああ、やったな（ドヤア）

15：くまの○○さん

これも、俺あつての事だぜ……………

16：黒き一迅の疾風

せんせー、ここに變なのが二人居まーす

17：唐揚げ食べたい

ダニイ!?

18：ピザが食いたかった

まあ良いだろ。

19：くまの○○さん

良いのかww

20：戦わなければ生き残れない！

そーいや、こーこつてどんなスレなのさ

21：ピザが食いたかった

リアルで○○が食いたかった！と叫ぶスレだよ。あとSAOの珍

味とか旨い飯とかを教え合うスレ。

22：黒き一迅の疾風

あ、珍味と言えばサベンジトードの肉……………

サベンジトードの肉が食いたかったー！！！！

23：戦わなければ生き残れない！

22・ラリったか？

24：黒き一迅の疾風

いや、この前な？結婚してる相手に持ってたサベンジトードの肉を

全部捨てられたんだよ（涙）

25：くまの○○さん

サベンジトードの肉良いよな

26：唐揚げ食べたい

25・俺は唐揚げにして食ってみたい

27：ピザが食いたかった

25・俺はピザに乗つけてみたい。

28・黒き一迅の疾風

25・俺は焼いただけの肉が至高だと思う。

29・戦わなければ生き残れない！

25・俺の泊まつてる宿のご飯と一緒に食ってみたい。

30・黒き一迅の疾風

その宿、飯旨いのか？k w s k

31・戦わなければ生き残れない！

30・めっちゃ旨い。ちなみにココア飲み放題で四層に存在し、1日50コル。まあ高いような安いような？

32・唐揚げ食べたい

30・俺は三層のホテルのスイートルームっぽいところ。飯は結構旨いし、ドリンクバー？みたいなのも付いてて、ベッドはフカフカ。後は唐揚げさえ出りや完璧。ちなみに1日200コル。

33・黒き一迅の疾風

32・そこすげえw w

34・くまの○○さん

30・俺は野営してるぞ。

35・ピザが食いたかった

30・俺はギルドハウスだっ！

36・黒き一迅の疾風

俺はマイホームだっ！

37・くまの○○さん

チツ、リア充が：

【くまの○○さん】が退室しました。

38・唐揚げ食べたい

リア充死すべし、慈悲は無い。

【唐揚げ食べたい】さんが退室しました。

39・戦わなければ生き残れない！

リア充滅ぶべし。運命だと思って諦めな。

【戦わなければ生き残れない！】さんが退室しました。

40：ピザが食いたかった

あ、あばよ

【ピザが食いたかった】さんが退室しました。

41：黒き一迅の疾風

そしてみんな居なくなつた……………

【黒き一迅の疾風】さんが退室しました。

【安価】 武器の名前を安価する

今日は目覚めて速攻スレに。

何故かって？昨日一昨日で結構稼いでるから、金の心配が無いんだ。

つーわけでスレ一覧を覗こうか。

【変態編】 最強の戦闘スタイルを語る

【最終鬼畜編】 幼女について語ろう

【地獄編】 エンドレスSHIRITORI

【安価】 武器の名前を安価で

何これカオス？まあとりあえず安価スレに避難。残り3つはヤバい気がする。

【鉱石プライズ！】さんが入室しました。

【ラーメンマスター】さんが入室しました。

【紅白色の流れ星】さんが入室しました。

【戦わなければ生き残れない！】さんが入室しました。

【リア充はエクスプロージョンすべし】さんが入室しました。

1. 戦わなければ生き残れない！

今回の名前はまだ普通だな。

2. ラーメンマスター

それは言ってる。厨二系の名前がないし。

3. 鉱石プライズ！

訳が分からないわね……………

とりあえず安価は10・からで

4. 紅白色の流れ星

2・厨二系は何が？

5. ラーメンマスター

【混沌開闢天上天下唯我独尊】って名前があった。ここまで入力してるとか少し引いた。

6. 戦わなければ生き残れない！

俺は「食べる？なら幼女でしょ」とかかな……………

7. 紅白色の流れ星
それは酷い

8. リア充はエクスペロージョンすべし
それよかそいつらに当たるお前らがすげえww

9. ラーメンマスター
誉めなくて良いぞ。あと、次から安価スタートだな。

10. 戦わなければ生き残れない！
ゴルドスラッシャー。

11. 紅白色の流れ星
ダークナイト☆スター

12. リア充はエクスペロージョンすべし
ランページソニック。

ところでそもそもどんな武器よ？
13. 鉾石プライズ！

剣。効果は特に無いけど軽くて強い。なおかつ攻撃力は高い。
次の安価は30からで。

14. 紅白色の流れ星
なんか友人に同じ様な武器を作ってる子が居るんだけど……

15. 戦わなければ生き残れない！
俺の武器の製作者も似たような武器をメインに作ってた……

16. 鉾石プライズ！
意外と皆顔見知り？

17. ラーメンマスター
恐らく。でも凄い偶然

18. 戦わなければ生き残れない！
本当に人生って何が起るか分からないな。

19. リア充はエクスペロージョンすべし
18. 言ってるうえはkz

【リア充はエクスペロージョンすべし】さんが退室しました。
20. 紅白色の流れ星

何が起きたのかしら。

21. ラーメンマスター
実はアイツがリア充でヤンデレに付きまとわれてるとか？
22. 戦わなければ生き残れない！
21. 的を射ててそれで怖いww
23. 鉱石プリイズ！
21. ここがカオスだつて言いたいのね
24. ラーメンマスター
23. うん。
25. 戦わなければ生き残れない！
そうだ、突然だけどさっきのヤンデレってのが真実だったとして、
どんなタイプか考えてみようぜ。

26. 鉱石プリイズ！
献身系依存型幼馴染みタイプのヤンデレ
27. ラーメンマスター
独占系妄想型一目惚れタイプのヤンデレ
28. 紅白色の流れ星
猟奇系妄想型片想いタイプのヤンデレ
29. 戦わなければ生き残れない！
またカオスなwwてか妄想型二人w
俺としては28、27.のタイプが好みだわww
あ、次安価だ。

30. 紅白色の流れ星
一撃必中ロケットパンチ
31. 戦わなければ生き残れない！
ドラグセイバー
32. ラーメンマスター
31. 龍騎ネタやめいww
ダークリパルサー
33. 鉱石プリイズ！
32. なにそれ格好いい。意味は？
34. ラーメンマスター

闇を祓う者。(あやふや)

35. 鉱石プライズ!

よしそれで決定

36. ラーメンマスター

(・皿・)

37. 戦わなければ生き残れない!

(○w○) ナズエチユウニメイタナマエナンデスカタチバナサン!

38. 鉱石プライズ

購入者が厨二病歴ありそうだから、その古傷を抉りたくなくて

39. 戦わなければ生き残れない!

38. ひでえww

40. 紅白色の流れ星

私の知り合いにそんな人が居るんだけど……

41. 鉱石プライズ!

ここ、本当に複雑な関係が多いわね

42. 戦わなければ生き残れない!

うん。

43. ラーメンマスター

なんかガチのカオスだわww

【鉱石プライズ!】さんが退室しました。

【戦わなければ生き残れない!】さんが退室しました。

【ラーメンマスター】さんが退室しました。

44. 紅白色の流れ星

何故に逃げるのよ……

【紅白色の流れ星】さんが退室しました。

閑話休題的な【混沌】ヘルプミー

【ヘルプミー】さん、【黒白剣士】さん、【格闘こそが至高】さん、【モテたい】さんが入室しました。

1. 黒白剣士

四人目の名前が切実ww

2. モテたい

しようがないだろ幼馴染みが格闘スキルの実験台にして来るんだよしかもそれを恐れて誰も近寄らないし誰も居ないからって更に過激な攻撃を仕掛けて来るんだよ！

3. 黒白剣士

す、すまん。

4. 格闘こそが至高

すまないその子紹介してくれ。

5. モテたい

ok。48層の鉄板焼き屋の付近にある【クスノハ】つつう宿屋に居る……やっぱやめとけ。何か今外で鈍い打撃音が聞こえたから。

6. 格闘こそが至高

ああ、やめとく。

7. ヘルプミー

俺がスレ立てたんだが…

8. モテたい

あ、やべっ。

9. 黒白剣士

あつ、やべっ

10. 格闘こそが至高

あつ、やべっ。

11. ヘルプミー

お前ら三つ子？まあどうでも良いけども。

12. 黒白剣士

妹は居るが弟も兄も居ない。

13. 格闘こそが至高
俺を殺そうとしてくる姉が居る。

14. モテたい
独りっ子。

15. ヘルプミー

13. ちよいk w s k。 14. 独りの字が違うw w

16. 格闘こそが至高

朝起きたら裸で俺の部屋の布団に侵入してるとか、いつの間にかや
俺を養おうとしてくるとか。リアルで胃潰瘍になった挙げ句悪化し
て搬送されたことあるわ。

17. モテたい

15. 違う。幼馴染みのせいで誰も近寄らないから友達が居
ない。

18. ヘルプミー

……ゴメン、聞いた俺が悪かった。

19. 黒白剣士

そういう18. はどうなんだ？

20. ヘルプミー

妹が二人。別に普通だぞ。

21. 黒白剣士

20. ダウト

22. 格闘こそが至高

20. ダウト

23. モテたい

20. ダウト

24. ヘルプミー

ひでえw w

25. 黒白剣士

なら、その妹達どんな子なん？え？

ちなみに俺の妹は黒髪ショートヘアでなんかウザい。

26. ヘルプミー

家の妹は金髪と緑髪。あと追記することと言えば金髪の妹はやけに身体能力が高くて身長が低い。

緑髪の妹はいつの間にか後ろに居たりするから不気味だな。あと身長が同じく低い。

27・黒白剣士

それは異常です。

28・格闘こそが至高

27・禿同

29・モテたい

27・禿同

30・ヘルプミー

俺に仲間はい居ないのか………； ω ；)

【くまの○○さん】が入室しました

31・くまの○○さん

安心して下さい。家のギルドよりは普通です。

32・黒白剣士

え。(。D。(

33・格闘こそが至高

え。(。D。(

34・モテたい

え。(。D。(

35・ヘルプミー

それどんなギルド？

36・くまの○○さん

名前は隠しますが結構有名です

37・黒白剣士

もしかしてLFCF？

38・くまの○○さん

それです。いつからこうなったんだろ………

39・格闘こそが至高

それヤバイやん。

40. モテたい

そういや前に聞いたアインクラッド都市伝説に、LFCFは元々ただのデュエル大好き野郎の集まりだったって噂が……

41. くまの○○さん

それ事実です。

42. ヘルプミー

で、異常な理由は？

43. くまの○○さん

デスクゲーム化した数日後に仲間数人がトチ狂って、逃げたら殺されかねない、そもそも逃げなくても殺されかねない状況に……

44. 格闘こそが至高

何それ怖い。

45. 黒白剣士

アンタも苦労してんだな……

46. ヘルプミー

もはやアインクラッドは混沌の隸也。

47. モテたい

46. ピツタリ合いすぎてやべえww

【くまの○○さん】が退室しました。

48. ヘルプミー

あれ？

49. 黒白剣士

まさか誰か43.を襲撃したのか？

50. 格闘こそが至高

ありうる。

51. 黒白剣士

ちと襲撃した面子に心当たりがあるから確認してくら。

52. 格闘こそが至高

51. 行ったら

53. ヘルプミー

51. 行ったら

54. モテたい
51. 行つてら

【黒白剣士】さんが退室しました。

55. 格闘こそが至高

んじや、今度は………つて51. お前の妹の事だけ聞いてねえ！

56. モテたい

55. あ

57. ヘルプミー

55. あ

58. 格闘こそが至高

ちと51を特定厨に見付けて貰ってくる

59. ヘルプミー

58. そんなの居るのかよww

60. 格闘こそが至高

59. 居るんだよ。何故か32層迷宮区を根城に様々な情報を特定してくれる便利屋が。

61. モテたい

俺の彼女になってくれそうな人特定してもらおう。

62. 格闘こそが至高

61. 無理だな

【格闘こそが至高】さんが退室しました。

63. ヘルプミー

61. ……ガンバ。強く生きろよ。

【ヘルプミー】さんが退室しました。

64. モテたい

ひでえ……ひでえよ……皆俺の敵かよ……

(○○) オデノカラダハボドボドダア！

【モテたい】さんが退室しました。

【雑談】なんかタイム出来ちまったんで説明したる W

W

こwりややwべえww

ああ何を言ってるか分からないって？

俺も分からねえさ。

でも1つだけ言える……これは天文学的どころか机を殴った手がそれをすり抜けるくらいの確率の奇跡だと！

それを語らずにどうしようと言うのか！

ま、てなわけで奇跡を体験したから自慢しようと思うんだわ。(意味不明)

【黒白剣士】さん、【戦わなければ生き残れない！】さん、【紳士】さん、

【無言の腹パン】さん、【(owo)】さんが入室しました。

1. 戦わなければ生き残れない！

とりまスレのタイトル関係ねえけど最初に言うわ。

おめーら俺と同じ趣味？

2. 黒白剣士

何故分かったし。

3. 紳士

何故分かったし。

4. (owo)

ナスエシツテルンデイスカ!?

5. (無言の腹パン)

(無言のボディブロー)

6. 戦わなければ生き残れない！

まあそれは置いといて。と。

7. 黒白剣士

置いとくのか。

8. 戦わなければ生き残れない！

それは気にせんという。

まあそれはともかくタイトル回収するわ。

なんかフィールドに居た幼女にお菓子あげたらタイム出来たんだけど質問ある？

9. (無言の腹パン)

(無言の通報)

10. (OWO)

ウエイ!?おまそれ犯罪……………

11. 戦わなければ生き残れない!

9. ブレねえなww

10. ま、落ち着け落ち着け。ほら、深呼吸だ。息を吸って吸って吸って吸って吸って吸って吸って吸って吐いて。

12. (OWO)

落ち着いてられつかよ!てか何気に俺を殺そうとすんなし!ルラギリレタのかと思ったじゃねえか!

13. (無言の腹パン)

? (疑問符)

14. 黒白剣士

13. の始めてのカッコなしの台詞が疑問府に草ww

15. 戦わなければ生き残れない!

とりあえず14. は無視して説明するわ。入力時間掛かりそうだし質問は今ドーズ。

20. までな?

16. (OWO)

その幼女はPC?

17. 黒白剣士

年齢どれくらい?

18. (無言の腹パン)

(NPCだと仮定して) 名前、レベル、能力値は?

19. 黒白剣士

お前の甲斐性的に大丈夫か?

20. 紳士

正直幼女タイムした今の気持ちは？

21. 戦わなければ生き残れない！

20. 初米がそれかww

ま、とりあえず長文になると思うから覚悟しな！アディオス！

22. 紳士

てか私はすでに3. で米していたのに気付かれとらんのか。

23. 黒白剣士

まあそう気に病むなつて。

俺なんて迷宮区に潜った時モンスターにすら相手にしてもらえな
いんだぜ？てか目を逸らされるんだぜ？

茅場マジ許すマジ。

24. (無言の腹パン)

(無言の誤字報告)

25. (owo)

24. 面白い子だなw

23. 茅場許すマジつて事は許すのか？笑

26. 紳士

お前から気付いてねえかもしれないが23. は多分攻略組でも多分
トップなプレイヤーだと思っぞ？

俺も前にわざわざ一層迷宮区で遊びに行ったことあるけどモンス
ターに目を逸らされたもん。

27. (owo)

レベル差あると逃げられんのか。

28. 紳士

でもその時の迷宮区モンスターの推定レベルと俺のレベルは20
くらい離れてたんだがw

29. (owo)

23. は化け物かww現状最高の敵に逃げられるとかどんだけw
w

30. 黒白剣士

120だが何か？（威圧）

31．（無言の腹パン）

（無言の謝罪推奨）

32．（owo）

スマン。（冷やし土下座）

33．紳士

いや、軽いなオイw

34．黒白剣士

よし許す。

35．紳士

許すのかよ！

36．戦わなければ生き残れない！

なんかいつの間にかおまいらカッコで会話してんなwまあとりあえず質問の返答な。

16．NPCだ。

17．見たとこ10くらい？

18．レベル30くらいで「ふおりんエルフ・プリンセス」だったよ。聞いたら足の速さには自信があると言ってたし多分敏捷優先の振り。

19．大丈夫だ、問題ない。

20．ナニコレワカンナイ

37．（owo）

フオーリンエルフ・プリンセスってなんだっけ。俺知らん。

38．黒白剣士

19層だかなんだかのレアポップじゃなかったか？確かラグーラビット級のレアポップの。

39．戦わなければ生き残れない！

え？

40．黒白剣士

うん。とりあえず率直に言うとおメーの運くれ（笑）

41．（無言の腹パン）

(無言の説明要求)

42. (owo)

ワケガワカラネーゼ。

43. 戦わなければ生き残れない！

42. オンドウルじゃねーの見え見えだ。

まあ41. のため説明しよう。

ポップしたのは三層で散歩しながらmobムッコロしてた時、エルフの長いクエのキーであるエルフにうっかりバタリして、面倒でどっちも殺ったら出現して、良く分からねーけど何故かティム出来た。以上。

てか狙って餌付けもしてねえのにティム出来たんだわw

44. (owo)

おかしいなオイww適当な餌でティムとかw

45. 黒白剣士

27 辺りにいる竜使いようし”よよりリアルラックたけーな。

46. 紳士

突然だけど容姿どうよ？

47. 戦わなければ生き残れない！

銀髪赤眼。

48. 紳士

ちよい三層いってくら。

49. (無言の腹パン)

(無言のいってら)

50. (owo)

49. がいい子過ぎるぞ……………

とりまいってら。そしていってくら。

【紳士】さん、【owo】さんが退室しました。

51. (無言の腹パン)

(無言の雑談続行?)

52. 黒白剣士

あ、すまん俺今から知り合いと狩りの予定なんだ。

53. 戦わなければ生き残れない！

ゴメン俺も運送業

【戦わなければ生き残れない！】さん、【黒白剣士】さんが退室しました。

54. (無言の腹パン)

(無言の意気消沈)

【某ハチミツ熊】が入室しました。

55. 某ハチミツ熊

どうも。よろです。

56. (無言の腹パン)

(無言の歓迎)

その後、二人はかなり長いこと語り合っていたとき……

【伝説の始まり】ウチの子がチート過ぎるんだけど検証出来る奴居る？

「えいやー！」

今日も今日とて4層で運送業……ではなく、今回ばかりは暇潰しに層を上げて、46層で戦っていた。

てか、やっぱこの「一撃虐殺クラッシュャー」はチートやチート。

毒がほぼ確定で入るし、ハンマーだから頭にぶつけ続ければスタンの取れる。

まあスタンが取れるようになったのはプレイヤーチャット導入時の更新と共にだけだな。

まあそれによりソロでのハンマーの優位性は上がった。

何せスタンが取れるハチャンス増大。場合によっちゃ倍増どころじゃないほど。

それくらいハンマーのスタンは強力だ……MH4とか4Gでの弱さはどこへ行ったのだろうか。まあハードもソフトもメーカーも違うけど。

でもまあ、MHでもモーション値は結構高いんだよな……確か150だけ？

その気になりや三秒間のダメージは大剣とか双剣を越えるとか越えないとか……まあ、SAOでのハンマーはそれ以上に強いけどな。

打撃属性があるのはハンマー、メイス、片手剣の一部スキルだけだから切断や貫通属性より格段に効く敵が多い。

まあ貫通も槍（ショート&ロングランス）と一部のスキルだけだから一緒だが……結構効く敵ばかりなのだ。

その代わりと言っちゃ難だがハンマーは一振りを大きくしなければ大したダメージを稼げず、メイスは使いやすい代わりにハンマーほど一撃が強くないから……結局打撃は片手剣に取られやすい。

道理でスタン導入される訳だな……

「ウエイウエイウエイウエイヴエーイ！（owo）」

俺はどっかの誰かさんにハンマーの紹介をしながら、モンスターどもを潰してはゴルフ潰してはゴルフ（ハンマーで上から振り下ろしてスタン、ゴルフの要領で飛ばして敵の体でアタックのループ攻撃）していた。

いやあ、この戦術楽だね。割と筋力値任せとはいえ早い早い。

毒とスタンの二重状態異常に加え高火力のハンマーだし、その上俺自身のステータスは層の目安以上だ。

それに……………

「えいつ」

「（和むわあ）」

先日エルフクエを物理で消し飛ばしてその折に偶然タイムしたフォーリンエルフ・プリンセスのエフ子ちゃん（仮）のステータスが異様に強くて良いですね。

まああの場所で一方のみを消し飛ばせばもう片方がしばらく仲間になるんだがな……………

あ、でも1つ言つて良いか？

クエの特殊条件に運要素入れるとかマジ鬼畜だわ。

俺さ、あのあと自分で建てたスレを見物しに行った訳よ。

そしたらいつの間にかそのスレが俺のやったことを実証するスレになってて、そこでフォーリンエルフ・プリンセスが出ることまでは分かってたんだ。

でも……………

153・紳士

定時連絡

このクエ明らかにフォーリンエルフ・プリンセスの出現率頭おかしいぜ……………二、三十回エルフ二人組蹴散らしては戻つてのループしてようやく一回出現とか……………しかも一回じゃタイム出来んわ……………しばらくしたらまた連絡するぜよ。

なんてコメが連立するくらい出ねえらしいんだわ。

俺、しばらく運が左右する系のイベントは控えようかな……………

「あ、なんか出ましたよ！」

俺が勝手にスレに思考を回していると、エフ子（仮）がドロップを報告した。

そして俺がストレージを確認すると……

破塞槌・金色

キター！（。▽。）

【戦わなければ生き残れない！】さんが入室しました。

287. 戦わなければ生き残れない！

突然だが聞いてくれ。スレ主からのお知らせだ。

フォーリンエルフ・プリンセス（以後エフ子と呼称）にはレアドロップの可能性あり。

さつき46層で戦ってたらエフ子が雑魚敵倒したんだが、なんかレアドロの【破塞槌・金色】手に入れたんだわ。

これのドロップ率1%くらいじゃなかったか？

数回しかドロる敵殺つてなくて検証したらんが可能性は高い。情報求む。

288. （無言の腹パン）

287. （無言の証拠探索）

289. （owo）

287. 探してくるウェイ！

290. 某ハチミツ熊

287. ギルメンにそれとなく当たってみます。

291. 黒白剣士

287. 知り合いを当たってみる

292. 戦わなければ生き残れない！

281. 291. センキュ。とりま何かしら情報手に入れたらこつちからも書き込んでくわ。

【サボテン巡回班隊長】が入室しました。

293. サボテン巡回班隊長

よろしゅうな。

ところで5層のエルフのNPCから『エルフの姫は代々精霊に好かれる』つちゆう台詞を聞いたわ。多分レアドロップはそれちゃうんか？

294・黒白剣士

293・どつかで聞いたような口調だがまあいい、一辺行つてくら。他にもなんかあるやもしれん。

295・(無言の腹パン)

(無言の予定確認)

296・黒白剣士

295・予定はハードワーク詰め込み過ぎで休めと言われているからガバガバだし大丈夫だ。問題ない。

297・(0w0)

296・期待はルラギルなよ？

298・戦わなければ生き残れない！

296・ま、とにかく無茶はすんなよ。いつてら。

299・黒白剣士

いつてくら。

【黒白剣士】さんが退室しました。

300・戦わなければ生き残れない！

さて、俺がたまたまタイムできたエフ子について雑談するスレがいつのまにやらエフ子の能力やタイム率諸々を解き明かすスレに変わってるのはともかく、300行つたな。ここまで行くとは思わなかった。

301・(0w0)

オメデトウエイ！(0w0)

302・(無言の腹パン)

(無言の称賛)

303・某ハチミツ熊

俺達の探求は、これからだ！って感じですかね？

304・戦わなければ生き残れない！

303・おまそれ打ち切りの奴だw

305. 某ハチミツ熊

304. ■ そうなんですか？ 変なこと書いてすみません。

306. サボテン巡回班隊長

突然やがおまいら、エルフクエの詳細分かつとるやつ居るか？

エフ子もエルフクエで出たわけやし、知つとくにこしたことはないんちゃうか？

307. 戦わなければ生き残れない！

306. ■ あ、すまん俺知らんから教えてたもー。

308. (無言の腹パン)

(無言のよろしく)

309. (owo)

よろー。

310. サボテン巡回班隊長

了解や。とりあえずざつと書くところな感じやな。

起動条件：3層フィールドの森で戦闘中のエルフ剣士二人に合う

流れ：二人の内片方に味方してクエスト開始⇒受注者が瀕死または敵対エルフの討伐⇒味方エルフ自爆(エルフ討伐ルートは不明)⇒お守りのな物を渡され聖大樹に届ける⇒エルフの町?に行く

って感じが三層やな。

311. 某ハチミツ熊

310. ■ ありがとうございます。

312. 戦わなければ生き残れない！

めんどくせえなそのクエ：

313. サボテン巡回班隊長

せやけど敵対エルフ討伐ルートやと味方エルフがしばらくパーティに加わってくれるらしいで？三層攻略時は当時のレベルからしてエルフはんは圧倒的に強かったわ。

314. 戦わなければ生き残れない！

313. ■ なるへそ。とりまそっちのルート辿った奴からの情報欲しいぜよ。

315. 黒白剣士

314・それ俺だわwとりまエルフ討伐ルートの流れ書いとく。

敵エルフヌツコロ（俺は黒エルフを味方にした）⇒黒エルフに礼を言われそして黒エルフ野営地へ⇒通常ルートと変わらない流れ⇒フオーリンエルフさん（名前忘れた）出勤⇒ヌツコロ⇒黒エルフさん四層へ⇒三層編終了。

あと森エルフさんのレアドロっぽいは『カレス・オーの聖晶瓶』。スキル一個の熟練度はそのまま保存可能なやつ。

316・戦わなければ生き残れない！

315・センキュ。とりあえずしばらくはこのスレが続く限り情報を集めて行こうぜ！

317・サボテン巡回班隊長

316・なに最終回みたいにしとんのや！

318・某ハチミツ熊

317・まあそう焦らずに

319・黒白剣士

318・そうだ焦るな。ウェイウェイ0w0

320・サボテン巡回班隊長

319・焦つとらんわ！てかなに自然にオンドウルつとんのや!?

これは……3日ほどの後にwiki先生軍団と呼ばれる者達の伝説の序章である。（真っ赤な大嘘）

「マスター！こんなの出ましたよ！」

「あ、敏捷値+2とか地味に強力じゃん。よしよし」

でもその伝説の中ではエフ子のレアドロ量産力はまやかすとされる気がするよね。

【調査隊】 下層での大調査

「えー、この度は俺がエフ子をタイムしたことから何故か始まったアインクラッド調査隊……略称調査隊初めての広域調査への参加、まことにありがとうございます」

人生初めての大勢の前でのスピーチ。

いやあー、すっげえプレッシャー。

まあ率直な感想を告げるとすれば逃げたいです。主に後ろのサボテンから。いや、ツンデレだけどいいやつなのは知ってるよっ。

表面的にはクズだけどヤバくなったら身を呈して庇ってくれるし、人に教えるのも上手いし。

でもその頭が……

「本日はお日柄もよく、俺のハンマーの輝きも、ある隊員の頭の鋭さも、ついでにメンバーの豪華さも最高潮です」

俺がそう言うのと、周囲から『前置きはいらねー！』とか『さつさと始めようぜ！』とかの声が聞こえてくる。

あーあ、折角頑張って書いたのに。2日間引き込もって考えたのに。

ええいままよ。もう適当にしたらあー！

「……………こほん、ならもうさつさと始めたらあ……………お前らあ！俺達調査隊で、下層五層分のデータ、完全収録すつぞおー！」

『オオオオオオオオオ!!』

俺がやけっぱちで放った一言は、よく分からんがみんなを熱狂させた。

とりあえず、今のうちに俺が何故こんな事をしているのかと言うと。

1. 例のスレにて。『アカン…人数足らん…』

2. 『いっそ調査隊でも銘打って人海戦術でもするか?』

3. 『下層組のレベラツも兼ねてって名目でやりや人集まりそうだな』

4. 『じゃ、戦わなければ生き残れない！を隊長にしてそれやろう』

ぜ』

5. 『んじや、手始めに下層五層を調査しますかね』

って5つの会話で俺が調査隊の隊長となり、調査隊が発足、初めての行動が広域調査で1〜5層を詳細に攻略する。

ウチには今回は参加するアインクラッド最強級の剣士も居るし、人員は質も量も最高だ。

何せ最高の剣士：黒の剣士繋がりで攻略組がいくらか来たし、有名な『竜使い』とかも来たからね……………

集客力が凄くて人数過剰気味。

まあ多いに越した事は無いけどさ。

てな訳で戦力紹介も終わったし……………広域調査第一回、1〜5層編、始まるぜ！

【隊長】さん、【黒白剣士】さん、【全部シヨツカーのせい】さん、【無言の腹パン】さん、【(O W O)】さんが入室しました。

1. 黒白剣士

隊長って誰だよ隊長って

2. 隊長

俺だよ俺俺。俺だって、もう忘れちゃった？

3. (無言の腹パン)

(無言の腹パン)

4. (O W O)

ヴェエイ！

5. 隊長

3〜4・フルボッコやめてくれw【戦わなければ生き残れない！】だよwまがりなりに隊長になったし名前変えたのw

6. 全部シヨツカーのせい

それは置いといてとりあえず情報をまとめましょうよ。

7. (無言の腹パン)

(無言の賛同)

8. (O W O)

了解。とりま一層からよろろん。

9. 隊長

なら俺だな。とりま後から見に来た奴が何故隊長が一層調査なのか分からないかもしれないから書いておくわ。

一層が一番広いからだよ。

10. 黒白剣士

前置きいらねーから本文プリーズ

11. 隊長

了解。まずpopだが変に強いのは黒鉄宮地下らしいってのは判明だが75層でトップの実力でも死にかけるボスが居るらしいので注意。

あと強力な序盤武器『アニールブレード』のクエで倒す必要のあるネペントにゃあ半端な隠蔽効かねえから注意。あと実付きでもホリゾンタルとかで実に当てず倒せばok。

残りはボアとゴブリン。ボアは速いが突進だけ、ゴブリンはソードスキルか簡単な剣術のみ。二、三人ならソードスキルなしで余裕。

追記としては東の端にちよいヤバそうな敵を見付けたので報告。今回は安全重視で回避した。なお、その時のパーティーメンバーの索敵ではドス黒い色のマーカーだったらしい。なおメンバーのレベルは45。

mobは基本初期の奴らはソードスキル一発。アニールブレードなら迷宮区でも二発程度で終わる。

12. 黒白剣士

11・乙乙。で、二層は？

13. 全部ショツカーのせい

私ですね。まあ二層はどこまでも牧場です。

トーラス系が沢山いますので、とりあえず少し強くて初見回避推奨のmobだけ。

トーラス・ルークは多少堅いですが経験値効率は良いですね。ドロップが無いですが。ナイトはコルを沢山落としますが速い、ビショツプは見た目より当たり判定が小さいと面倒ですが地味にド

ロップアイテムのハイドポジションが強力です。

あと、NMのクイーン・トールラスは正直『茅場何考えてるの?』ですね。まあ迷宮区に行くなら倒す必要が無いですが、巡回型の上ナイトの速さ、ルークの堅さ、ビシヨップのウザさを備えている癖に雑魚トールラス(ポーンで良いんですかね?)を召喚するため、マージンを10以上オーバーしたメンバーで挑むこと推奨です。

もちろん経験値もコルもドロップも良い物です。

14. (無言の腹。パン)

(茅場に無言の腹。パン)

15. (OWO)

茅場のキチガイさはここにもあったか。そういや三層って誰?

16. 黒白剣士

俺。とりまざっくり書くと森エルフ陣地は高台からの潜入⇒ハイドアタックで一体一体処理すりゃ簡単に落とせるし経験値効率も良いので便利。ただし出来れば五人以上かつ煙幕推奨。

ダークエルフについては一定以上の敵を倒した剣のみ恐らく100%成功させる鍛冶屋が居るためクエスト時はそちらを推奨。なお検証は前に使っていた剣が残り強化試行回数が3だったため試行したところ全て成功したことから。詳しい検証が必要と思われる。

あと森エルフの方には三層では破格の品揃えのショップが存在するも既にながオープンしているため行くメリットは少ないかと。

ただ……ソロかつ男でダークエルフヌツ殺ルートだとロリきよぬーエルフちゃんが出るぽい。

追記的には迷いの森の敵は基本ハイドしているのでピックを多めに持っていったら片っ端から投げると安全かと。

17. 隊長

ロリきよぬー・なにそれマジ?

18. 黒白剣士

複数人で条件を詳しく検証してたら発見。ちなみに顔はランダムだが基本可愛い娘になるらしい。ただタイムが可能かどうかは検証中の友人がそれを成功させるかどうかで不可が判明する感じ。

19. (無言の腹パン)

(無言の次項要求)

20. 黒白剣士

19. ひでーなwwまああとの奴らのために短くした方が良さげだがw

21. (owo)

ok。

まあここは水中でうつかりサメ系mobに喰われなきや基本安全。

あと船の上ではいかに水中攻撃ができるかがミソ。ハンマーならゴルフの要領、剣系は刺す感じ、短剣は攻めない方が安全で、槍は逆手で持つて突き刺すのが有効。

ちなみに迷宮区で見付けた隠し部屋は基本NM一匹が居てその奥に宝箱があった。なお宝箱は外に出てもう一度出現したNMを倒せば復活するっぽい。

ただ宝箱は三回やって全部15000〜20000コルだから固定みたいだわ。

まあ経験値はそれなりに良い。

他質問は？

22. 隊長

なんか面倒なmob教えてちよ。

23. (owo)

22. まあ、迷宮区におけるカニが面倒。

さっきのNM目当てなら水で満たして上から回避推奨。

24. (無言の腹パン)

(無言の感謝)

五層

・フィールドは墓場風の為か、周囲に墓が点在する。なお、そこがpopポイントになっている模様。

・mobはゾンビと死神風の幽霊。ゾンビは頭を切る、幽霊は打撃系技で頭を叩き割れば一撃。

・NM、グレイザーデーモンは近場の廃教会で聖水入手してからそ

れを叩き付けるとステータスが半減する。ただしそれが無ければ二十層クラスなので注意。

・なお、北エリアにてNM、ゾンビドラゴンを発見。推定レベルは65以上かと。

25・隊長

レベル違うな……………

てか五層だけやけに強いのもくね？

五層おきに面倒な敵を置いてる感じか？

26・黒白剣士

というよりか、そのNM達のドロップが気になるな……………今度個人的に調べてみるわ。

27・(OWO)

26・39。じゃあしばらくは何か進展があり次第ここに書き込むって感じで良いか？リーダー？

28・隊長

27・何故に俺に話を振るし。

まあとりあえず判明したことがあれば書き込みよろ。

29・黒白剣士

んじゃ、誰かメよろ。

30・全部ショットカーのせい

じゃ私が。

31・隊長

じゃ俺が。

32・(OWO)

ンジャオルエガ！

33・黒白剣士

じゃ俺が。

34・(無言の腹パン)

(無言の受注)

【某蜂蜜熊】さんが入室しますたw

35・全部ショットカーのせい

どうぞどうぞ。

36. 隊長

どうぞどうぞ

37. (owo)

ドゥーゾドゥーゾ!

38. 黒白剣士

どうぞどうぞ

37. 急にどうしたw

39. (無言の腹パン)

(無言の辞退)

40. 某蜂蜜熊

なんかタイミング悪かったです?

41. 隊長

……40! はよろしくだ!

42. 某蜂蜜熊

えっ?

【隊長】さん、【全部ショッカーのせい】さん、【黒白剣士】さん、【無言の腹パン】さん、【owo】さんが退室しました。ざまあ。

43. 某蜂蜜熊

カーディナルに悪意を感じる……とりあえず私がメますけど。

ご協力! 誠にありがとうございます!

今後については四層暮らしの隊長にお聞きを!

【某蜂蜜熊】が退室しようとしてしまいましたがさせません。

44. 某蜂蜜熊

ナンデ!?

しりとりしようぜw暇なんだ。byカーディナル

45. 某蜂蜜熊

リン (薬品)

ンガウイヒ (島) byカーディナル

46. 某蜂蜜熊

ヒンバス

スリット（スカート）byカーディナル

47・某蜂蜜熊

トーン（漫画）

ンジャナ（野菜）byカーディナル

その後、どういう訳かカーディナルまで参戦してしまったプレイヤーチヤットにてのしりとりは、三時間程続いた「某蜂蜜熊」が「ん」攻めでどうにか負けて終わる事に成功するのであった。続かない。

【安価】なんかルラギラレタっぽいんで助かる方法考
えてちよw

今日も♪今日とて♪おっしごとだ〜い♪（オーバーワーク）
（半死半生）（お仕事？いいえ、お死如DEATH）

あー、やべー。なんか先日の大調査で人気出すぎてマジでオーバー
ワークっすわー。

もはやコルだけなら最前線の商人級じゃね？ってくらいにあるし。
まあ、ざつくり言うの大豪邸が3つ建つくらい。

毎日毎日運んだり戦ったりふざけたり書いたりよく分からんけど
ちよい上で狩ってたらまたま例の水晶瓶（スキル保存の奴）手に
入ったからわざわざ裁縫スキル取って抱き枕作ったけどエフ子抱き
枕代わりにした方が寝心地良かったりして取るスキル間違えたかと
思ってしまったって泣いたり…

そんな間に俺の所持コルが億単位だおww
そうだ、今からこの所持コル自慢しにいったろ。

プレイヤーチャットならきつとそんな感じのスレもあるさ。

俺は、オーバーワークによりオーバーヒートを通り越してメルトダ
ウン気味の（意味分からん）の財政を見て、当分働かなくても良さげ
だと思いつつながらプレイヤーチャットを起動した。

そしてそこに、こんなスレを見付けたんだ。

【安価】なんかルラギラレタっぽいんで助かる方法考えてちよw

みなぎってきいたあ！

【隊長】さん、【ラーメンマスター】さん、【ブルーナイト】さん、【サ
ボテン巡回班隊長】さん、【既にオワタ】さんが入室しました。

1. 既にオワタ

やべえww知り合いとダンジョン行ったらルラギられてボスと袋
小路に挟まれちゃったwwしかも都合悪く転移結晶盗まれたしw誰
か助けてちよww

2. ラーメンマスター

1. 釣りか？
3. 既にオワタ
2. いや、マジなんだけどさ、もう笑うしかねーわw
4. ブルーナイト
1. 安価にした理由は？
5. 既にオワタ
4. もう色々試したが出られそうにないですわwてか袋小路ト
ラップと盗人系mobに明らかにその層のレベル越えたボス置くな
し茅場ww
あ、そうそう、今から10.まで質問受け付けるわ。全部纏めて返
す。

6. 隊長
何層よ？

7. 黒白剣士
フラグ建てて無いよな？

8. ラーメンマスター
ラーメンの貯蓄はあるか？

9. ブルーナイト
あなたのレベルは？

10. 隊長
今言いたいことある？

11. 既にオワタ
6. 17層。ギルメンが助けてと送ってきてヘルプりに行ったら

ルラギられた
7. (病弱な子の側で) 大丈夫だ…11. はっ！11. は絶対に負

けない！
8. 大丈夫だ、問題ない。ところで豚骨味噌醤油ゴマ味噌タンタン

麺塩麹味噌どれから消費すべきよ？
9. 35. これで一撃でレッド突入とかフザケンナ。ノックバツ

クでセーフティエリア入んなきゃ死んでたわw
10. ルラギった奴にはあとで断罪の一撃(ジャツジメント・ブ

ロー）喰らわせたい。

12・ 黒白剣士

11・ A W ネタ入れんなこら w w

13・ ラーメンマスター

11・ 疲れているのならあつさりとした塩がおすすめだ。サラダ等があればそれで胃を慣らしてから食うといい。まあ V R だから関係ないが。

14・ 既にオワタ

まあ、とりあえず現状がオワタ？（^o^）／なの分かったろ？
てなわけで最初の安価は30・

15・ 隊長

どうでも良い事だけど今俺は茅場に全力で文句を言っでやりたい。
盗人小路強ボスはリセット確定だぞこれ。これで結晶無効だった
らマジで攻略組クラスが来るまでスレで募集する必要あるわ w

16・ ブルーナイト

14・ というか、そこにはどう入ったの？

17・ 既にオワタ

そいつの気を引く仕掛けがあつたからそれを使って誘導、その隙に
救出したんだが刺されて麻痺って死ぬかと思った。マジルラギった
タイミングだけには感謝。あれで命が救われた。

18・ ブルーナイト

詰みですねありがとうございます。

19・ 黒白剣士

18・ 諦めるなあ！（修〇感）

20・ 隊長

17・ 生きることから逃げるなあ！

21・ ラーメンマスター

20・ しれつと神喰うな w

22・ 既にオワタ

20・ ああそうだな…俺も、せいぜい抗がってみるよ……

23・ ブルーナイト

20・というか名前と台詞の完全一致（パーフェクト・マッチ）には草だわw

24・黒白剣士

23・せやな

25・ラーメンマスター

23・せやな

26・既にオワタ

23・せやな

27・隊長

おまいらひでーよww

あ、来るぞ……………

28・黒白剣士

スーパ―でグレートでマックスな黒の剣士を呼ぶ。

29・ラーメンマスター

ボスにラーメン献上して機嫌を取り、その隙に逃げる。

30・ブルーナイト

突進技2つでOSS組んで最速移動

31・隊長

いつそヒットアンドアウェイでセーフティを出入りしながら戦つてみる。武器次第。

32・既にオワタ

31・OSSって何よw

33・ブルーナイト

ソードスキルの終わり際にもう一回スキルを繋げられるぽい技術。片手剣ならソニックリープとレイジスパイクのループで大丈夫じゃね？

34・隊長

33・おまそれ、俺が1日頑張つて一回しか出来なかった奴じやねーかww

35・既にオワタ

…………え、マジ？んじや無理だわ……てか俺短剣使いだから突進技一個

しかねーし。

36・ラーメンマスター

じゃあ早くラーメンを献上するんだ。具体的には豚骨ラーメンを。

37・黒白剣士

36・なんでだよw w それより早くスーパーでグレートでマツクスな黒の剣士を呼んでみるよw

38・隊長

37・盛大にブーメランすなw

とにかくストレージにある武器で一番長い奴出してヒットアンドアウェイだ。

39・ブルーナイト

：まあ、とりあえずOSSが無理となるとウチのギルドの精鋭送るしか無いんだけど。

40・既にオワタ

39・最初からやれw

41・ラーメンマスター

でもまあ、とにかくラーメン献上しようぜ早く。

42・既にオワタ

41・仕方ないな、一回だけだぞ？

43・ラーメンマスター

イイイイイイイヤツフウウウウウウウウウウウウウウウウウ!!!

44・黒白剣士

43・お前はどこの配管工だw

45・ラーメンマスター

ラーメン大好き配管工(28)ですが？

46・既にオワタ

まあまあ、落ち着けて。とりあえず献上してくる。
結果が出るまで書き込めんと思うからよろ。

47・黒白剣士

いってらー。

48・隊長

いってらー

49・ブルーナイト

いってらー

50・ラーメンマスター

いってらー

51・ブルーナイト

さて、46・が帰ってくるまでどうする？

52・黒白剣士

んじゃ、なにか安価しよう。

53・隊長

52・なにすんだよ

54・黒白剣士

73で何番がやるかを決定、75で命令を制定する王様ゲーム式安価。

55・ラーメンマスター

何それ新しい。

56・ブルーナイト

じゃ、制限はここで出来る限りの事でどう？

57・黒白剣士

56・いんじゃね？とりあえず73まで駄弁るか。

58・隊長

んじゃ、1・はどうなると思う？

59・ラーメンマスター

ラーメンの力で生還するに1ラーメン。

60・ブルーナイト

セーフティエリアに生還して大手ギルドに助け出されるに一票。

61・黒白剣士

セーフティエリアに生還してスパーでグレートでマックスな黒の剣士を呼ぶ。

62・隊長

61・それイナイレネタだなw

じゃあ俺はストレージの両手斧でモンスター木こりに一票。

63・黒白剣士

『どうなるやら…白熱の戦い(笑)だぜ。』

64・ブルーナイト

気になる物だね…生きて帰れば良いけど。

65・ラーメンマスター

64・フツ、ラーメンは万国共通の物理言語なのだよ！その思いは通じるはずだ！（経験談）

66・黒白剣士

65・経験談って？

67・ラーメンマスター

前に商談の時取引先と一緒にラーメン屋行ったらお互いの好みと一緒に『コイツ…できる！』と思い意気投合、今ではラーメン仲間だよ。

68・ブルーナイト

67・ラーメンすごつ。(。D)

69・ラーメンマスター

そうだ…もつと崇めるがよい！

70・黒白剣士

あ、セールスは間に合ってますんで。

71・隊長

77が名前を既にオタワにする。

72・黒白剣士

80番が名前をすでにオオサワにする。

73・ブルーナイト

77番が名前を蕎麦打ち職人にする。

74・隊長

85番が名前をねぶねぶにする。

75・ラーメンマスター

77番が名前をライダーネタにする。

76・ブルーナイト

79番がアスキーアートを書く。

77・黒白剣士

90番が盛大にスベる。

78・隊長

あ………プギヤー

79・ブルーナイト

ご愁傷さまDEATH。

80・黒白剣士

あつやべ。

【黒白剣士】さんが退室し………ようとしたが残念！安価からは逃げられない！byカーディナル

81・ラーメンマスター

まあ、運命だと思って諦めたまえ。

82・隊長

ドンマイ。

83・黒白剣士

チキショー！

84・ブルーナイト

乞うご期待！してるぜ。

85・隊長

さて、とりあえず77・の罰ゲーム終わるまで駄弁るか。

とりま1・は上手く行ったと思う？

86・ブルーナイト

85・今思ったけど転移結晶を仲間に持ってきてもらえば良いじゃん。

87・ラーメンマスター

あつ……

88・隊長

あつ………

89・ブルーナイト

1・に悪いことしちゃったね。

90. ラーメンマスター
ま、まあラーメンは最強の交渉材料だから大丈夫さ！
81. ブルーナイト
なら良いけど
82. ムツコロ星人
変えてきたぞ(泣笑)
83. ラーメンマスター
82. プギヤーム9 (^▽^)
84. 隊長
82. プギヤーム9 (^▽^)
85. ブルーナイト
82. プギヤーム9 (^▽^)
86. ムツコロ星人
笑うなよ！
87. 隊長
せwやwwなww
88. ラーメンマスター
すまないねww
89. ブルーナイト
ゴメンゴメン(笑)
90. 既にオワタ
雑談してるところ悪いけど事後報告おk？
91. ムツコロ星人
90. ぐつ………なんてタイミングだ…
92. 隊長
おkだぜ
93. ブルーナイト
上に同じく
94. ラーメンマスター
ラーメンに同じく
95. 既にオワタ

んじや、概要。

俺氏、『ラーメンやるから見逃して』

ボス氏、『ズルズル…んまい。もつとよこせ』

俺氏、『どーぞどーぞ（塩ラーメンに塩混入）』

ボス氏、食いまくる。

俺氏、食いまくったボスを斬りまくる。終わり。

96. ブルーナイト

ファツ!?

97. ラーメンマスター

ラーメンが…通じただと……………?

98. ムツコロ星人

97. おまいう

99. 隊長

とりあえず、1. の問題も解決したばいし、終わってヨロシ?

100. 既にオワタ

んじや、みんな……………ありがとよ！（爽やかさのない笑み

101. ラーメンマスター

乙!

102. ムツコロ星人

乙!

103. ブルーナイト

乙!

104. 隊長

マジで乙!

【既にオワタ】さん、【ムツコロ星人】さん、【隊長】さん、【ラーメン
マスター】さん、【ブルーナイト】さんが退室しました。

そして誰も居なくなつた……………

【コラボ】なんか仙人っぽいやつが居るみたいだぞ

W

最近のインクラッドは地味に物騒である。

どうやらある層ではいつも30レベルほど高い敵が出現したり、ハラスメントコードが発揮されなかったりカーディナルがサボってんのか相場が一時停止したり。

まあ上2つはすぐに解決されたし、カーディナルについては五分ほどで戻ったらしいが。

それでも物騒だ。これに乗じてバグ探しと言って人を殺すPKが出るかもしれないからな。

まあ幸いな事にも俺のレベルはこの安全マージンの二倍近いし、武器は最前線で活躍出来るレベルの物だ、多分大丈夫だろう。

それでも情報集めに越した事は無いからな………今日も今日とてスレッド暮らし。

あ、もちお仕事はしてるぜ？1日暮らせるギリギリは稼いでます。ええ。

【友達居ない名無し】さん、【彼女欲しい名無し】さん、【ピザが食いたかった】さん、【隊長】さんが入室しました。

1. 友達居ない名無し

とりまどうでも良いけど最近16層の岩壁エリアあるだろ？

あそこに最近仙人ぽいのが出たとか出ないとかあるらしいぜW

2. 彼女欲しい名無し

1. マジかww所でその仙人、女？

3. 友達居ない名無し

2. 東方を想像しただろ、だが男だ。

4. ピザが食いたかった

で、スレ立てるほどとは何事だい？

それだけなら情報屋で良いだろ？

5. 友達居ない名無し

4. いや？その仙人の目撃情報が流れ出した時期とバグっぽいのが出てくるようになった時期が重なってんだよ。

でも岩壁に近付こうにもあの辺りで起こってるバグがなんかレベル上昇バグっぽくてな？近付けんのだよ。

6. 隊長

5. どんくらい？敵の方のレベル予想で良いからよろ。

7. 友達居ない名無し

6. おk。俺基準のスカウターではレベル40だけどいまだに16層の小屋から離れられない俺が勝てない気がして逃げ切れず転移結晶使うハメになったから………70かそこらじゃね？

8. 隊長

何それ怖い。

9. 彼女欲しい名無し

てか、なんでそれ直らんの？

10. 友達居ない名無し

9. 茅場が多忙過ぎたか何らかの意図があるかもしくはシステムの根幹に絡んでて難航してるかのどれかだな。

11. ピザが食いたかった

10. とりあえずウチのギルドならそれ以上のレベル帯が多いし行ってみる。

今日はちよい忙しくて行けねえが、明日には行けると思う。

とりあえずその仙人ぽいやつに話しかけてみるわ。

12. 隊長

11. THX。

13. 友達居ない名無し

11. THX

14. 彼女欲しい名無し

11. FAX

15. 隊長

おいコラ自然にファックスすんなww

16. ピザが食いたかった
とりあえず、明日には報告するから待ってろよ！

17. 友達居ない名無し

16. おく。俺は16層で情報がなんかないか探すわ。こっちは随時更新で。

18. 彼女欲しい名無し

んじや、俺は俺で噂単位からの情報集めとくわ。

19. 隊長

じや、俺は23層のメシウマレストランでも予約しとくわ。

……明後日来れる奴おる？

20. ピザが食いたかった

19. メシウマレストランとは何だww

21. 隊長

23層の隠れすぎた名店……その名もホースデイッシュ。和訳で：馬、飯（白米な？日本のメインデイッシュはこれだと俺は勝手に思ってる）。

そんな店あんだけどそのNPCちゃんのドジっ子力が高くて好きなんだよ。

しかもメシがちゃんとウマいっつーこだわらだしドジっ子ちゃんが料理も飲み物も一切こぼさない辺りにプロを感じるわ。

22. 友達居ない名無し

21. 知ってるwあれ良いわw

予約よろーw

23. 彼女欲しい名無し

21. おまいら甘いな、料理人に『おすすめで』と頼むと五回に一回くらいの確率で厨房から爆発音がするんだぜ？なのに飯は無事と来てる……それこそ本当のメシウマレストランだろw

あ、俺も行くからよろw

24. ピザが食いたかった

んじや俺も。

25. 隊長

りよーかい。とりま五人で取っとくわ。

26. 友達いない名無し

25. いや四人だろw

27. 隊長

26. 俺がタイムしたモンスターが人型なんだよw

28. ピザが食いたかった

27. もしかして例の調査隊で半ばマスコット化してたやつか？

29. 隊長

28. YES

30. ピザが食いたかった

意外とここに有名人居たんだな。

31. 彼女ほしい名無し

30. 禿同。

ま、とりあえず明後日にでも例のメシウマレストランで。

32. 友達いない名無し

乙ー。

33. 隊長

乙ー

34. ピザが食いたかった

乙！

『ピザが食いたかった』さん、『隊長』さん、『友達いない名無し』さん、『彼女ほしい名無し』さんが退室しました。

「ふう……………とりあえず予約に行くかね…」

「マスター！お魚が釣れましたよ！」

「え、マジ？焼いて食おうぜ」

このあと、エフ子が釣った魚が変に多くて一部ストレージに収まったがまあ魚うまかったし気にしない。

んじゃ、予約……………は食ったばっかで動く気しないし、五時頃に…

※アラーーム設定してたから忘れたりはしてない。

【コラボ】茅場仕事しやがれ（激おこ）

「ある風鈴火山団員」

クソツ……………かやひこ…仕事しやがれ！

なんだよこのバグ！なんで16層にレベル70なんだよ！

今はクラインさんがレベル差で殴ってるけど、アイツのAIキチってるからいつまで持つか……………ええい、こうなれば誰かに助けを求められない。

俺はメニユーを開き、その中のプレイヤーチャットを呼び出してそこにスレをつくった。

【救援求ム】16層のバグモンがヤバいから助けて。

「チツ……………お前ら！セーフティエリアまで逃げるぞ！幸いにも近い！逃げ遅れんな！」

俺がスレを建て終わると同時に、クラインさんが舌打ちをして速攻で後ろへ全力疾走を始めた。

どうやらアイツのAIは無駄に優秀らしい。

仕事をしなくていいこの世界に果てしなく馴染みまくってるクラインさんが駄目となると……………もう数の暴力しか頼れない。

頼むつ…誰か強い奴来い！

【隊長】さん、【ブルーナイト】さん、【ムツコロ星人】さん、【ラーメンマスター】さん、【超高校級の逃げ足】さんが入室しました。

1. ブルーナイト

一体何があつたんだ？

2. 隊長

いや、その前に16層つてこたあ……………部屋主まさか風鈴火山関係？

3. 超高校級の逃げ足

2. 何故分かったし。

まあそれは置いとくとして、マジ16層の岩壁っぽいところにいるバグモン（推定レベル70）にギルマスも敵わんから誰か救援求む。

4. ラーメンマスター

？
バグ？そんなものこれまで無かった筈だが…勘違いじゃないのか？

5. 隊長

4. 最近は下層の方でしょっちゅうバグ事案が起きてる。その都度いつの間にか直ってるぽいけど。

6. ブルーナイト

それでも、レベルが明らかにおかしいのはちよつとヤバイね……

7. ムツコロ星人

1. ソロでもおk？今からでも行けるっちゃ行けるけど。

8. 超高校級の逃げ足

7. 頼むっ！このままじゃセーフティから出られん！

9. ムツコロ星人

8. 了解。それじゃ、マツハで行くぜ！

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

10. ラーメンマスター

一人まつさきに突っ走ったな。

どうか大丈夫なのか？

11. 隊長

10. 俺アイツの正体知つとるけど大丈夫だと思うぞ？アレ、SAOサーバーで一二を争うレベルの奴だもん。

12. ラーメンマスター

11. マジかい。まあ、なんか9. に負けるのも癪なので俺も出る。

13. ブルーナイト

青騎士、行っきまーす！

14. 隊長

13、12. んじゃ、俺は露払いにでも推参すんぜ。

15. 超高校級の逃げ足

おまえら………本当にありがとう……！

16. ラーメンマスター

15. NP (意識：大丈夫だ、問題ない)

17. ブルーナイト
15. NP (意識：この俺に心配など無用！全て切り捨ててくれるわ！)

18. 隊長

15. NP (意識：ちよつとモグラ叩きにでも)

19. 超高校級の逃げ足

18. お前ハンマー使いだなw

20. 隊長

19. セやでw露払いついでにモンスターストライクするかもしれん(笑)

21. ラーメンマスター

20. どんな戦法だw

22. 隊長

具体的に言うとは気絶させ、ゴルフの要領で殴ると盛大に吹き飛ばす。当たり前判定付き。

しかも味方に当たってもモンスターの攻撃扱いになってオレンジ化しない仕様。

23. ラーメンマスター

22. ハンマー強っ。

24. ブルーナイト

雑談もいいけどさ。

25. ラーメンマスター

あつ：行ってくる。

【ラーメンマスター】さんが退室しました。

26. 隊長

じゃ、俺も。

【隊長】さんが退室しました。

27. ブルーナイト

俺もいつてくる。

【ブルーナイト】さんが退室しました。

28. 超高校級の逃げ足

とりあえず最後になるっぽいしボケるわ。

16層岩壁で、敵を斬首！（某ヒーローショーのCM）

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

うーし、行くぜ行くぜ行くぜえ！

俺は某桃太郎のごとく叫んでから、宿を飛び出した。

するとエフ子が着いてきた。

あ、でも今回うっかりタゲが移ったりしたら大変だな……エフ子は置いていこう。

俺はエフ子に宿の守護を任せた。

そして、転移門から16層へ移動したのである。

ー16層転移門前ー

「お前らあああ!!!DKB魂を見せるぞおおおお!!!」

『オオオオオ!!!』

現実でやつならお巡りさんが来そうな大声でしらん奴等が叫ぶ。

え、なにこれもしかしてさっきの奴等の誰かの部隊？

豪華すぎね？てか指揮してるやつがラーメンマスターかブルーナイト？

アイツら絶対攻略組だわ…

まあ、なんか下層においてわざわざ攻略組を応援する意味はないの
で俺はなにげに高い敏捷を頼りに全力でドウエった。

いや、ドウエは嘘だけどそれくらいにガムシヤラに走ってみた。

そして、岩壁に着いたらなんと、侍っぽい奴等が奥の方でセーフ
ティを上手く使ってローテーションしてるっぽいのが見えた。

あん中に【超高校級の逃げ足】って奴がいるのか……あと【ピザ
が食いたかった】も…

よし、ここはあのバグモンの所に行つて気を引こう。

なになに、俺にはこの長めの下層生活において身に付けたスキルが
あるのさ。

それに、実は趣味スキルも繰り返しまくるとレベルは上がるんだ…

（豆知識）

俺のレベルは現在65だああああ!!!

俺はよくわからん叫びを脳内で轟かせながら、あるスキルを発動した。

それは「立体機動」。

あまりにも習得に根気があるので手に入れてるやつはほとんど居ないが地味に楽しい半趣味スキルだ。

その効果はパッシブでは一分辺り五秒間までなら壁を走れたりだとか、一回だけ空中ジャンプが出来たりだとか、壁キックだとか大ジャンプだとか。

まあ俺のスキル解説はおいとくとして、これを使えばこんな事も出来るのだ。

まず、大ジャンプ。スキル名は無いが地面からの跳躍がデフォルトで5mになる。天井のないマップじゃオートマップピングが楽で済むので便利。

そして岩壁であることを利用し壁を走って接近。

ここまでの動き、実は立体機動スキルの熟練度が500程度の俺でもできるんだ。1000まで言ったらどうなるんだろうな。

そして俺はバグモンの上まで来たら一撃虐殺クラッシュヤーを構え、あるソードスキルを使う。

「グラヴィティ・ドライバー！」

ハンマーの熟練度600で解放されたソードスキル。

威力はこの熟練度では破格な代わりに大体真下にしか打てない。そんな技。

でも俺の立体機動により、奇襲だと滅法強い。

そして俺は、ネタも忘れない。

「ダイナミックチョップ……………」

グラヴィティ・ドライバーは光が黄色いのでそう見えるんだから仕方ない。

あ、ちなみにボスは微妙にフラついていたりする。

まあ、結構長い事戦ってんだし、HPも半分以上削れてるからな…よし、もう一回全力で頭にブチ込んでやろう。んじゃお次は……………

FAで行こう。

ちなみにこの台詞で何をやるかが分かったやつは格ゲーをやったことがあるかもしれない。

俺はまず、一撃虐殺クラッシュャーを真上に投げた。

ちなみにこれは最近取ったエクストラスキル（俺は30層までに存在するエクストラスキルを最近集め始めているのだ。いやー、カレス・オーの水晶瓶と謎のラックサマサマだわw）【投擲】の初期スキル、【直進投げ】の裏技だ。

これを使うと投げた武器もしくはアイテムが真っ直ぐ飛んでいく。しかもクイックチェンジのアビリティで装備しなおせば回収出来る仕様。

まあ俺はクイックチェンジ使っていないけどな。

なにせ……………

「天！空！」

このSAOにおける上からの落下と共に攻撃することの補正がなにげに強いからだ。

今回使ったソードスキルは「グラウンド・ブレイク」。名前は格好いがただ地面にハンマーを降り下ろすだけだ。

その代わり、単純な動きなので空中でも使いやすいし威力があがるので俺としては好きだ。

あ、なんで俺がいつもこれを使っていないかって？

いや、俺いつも船でやってるんだぜ？

船上で出来るわけじゃないじゃないか、船が壊れるだろう？

その代わり使えないフラストレーションが貯まったりするのだが、時々発散できるので満足満足。

「……………」

おや？なぜか周りが俺を見ているなあ。

なんでだろ。

もしかして天空を再現したから？

それともなんかすげーことやった？

俺は、周りの視線から目を逸らすため、敵の方を向いた。

しかし……………現実は無情かな。

敵さん、すでに死んでました（テヘペロ

【コラボ】バグモンから出たバグ…フラグ？

「あつやべつ殺っちゃった☆」

「「あつやべつ☆じゃねーよバカ！」」

え？そんなLA取っちゃ駄目？

ほら、コイツただのバグモンだしLAボーナスなんて無いよ？しかも今エフ子いないからレアドロとかないよ？

え、なになに、俺達の苦勞を返せ？

なんでだよ俺レベル65の最近趣味に生き始めてたりもする人だぞ。

あー、うんうん。確かにさっきのバグモンは俺が二発しかソードスキルしてないのに死んでたね。でもすでに削れてたんだろう？

え？マジWhy？俺が来るまでかなり長いこと応戦して三割？

しかもレベル差結構あるの？（リーダーの「ピザが食いたかった」ことクラインのレベルは80）

マジですかい。

まあ、多分ハンマーの打属性が強いなだね。打属性って持つてる武器が少ないから意外と多くの敵に効くし。

それに落下による攻撃強化と威力だけなら高いグラヴィティ・ドレイバーとか色々あつたし……………

あ、まさか毒？

……………俺がそう言ったら、セーフティに居たのを良いことに全員から拳骨喰らつた。

嚴重に抗議する！

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

その後、俺は四層に戻り、そしてエフ子連れて先日のスレで約束したメシウマレストランに直行したのである。

どうでも良いけどその間にたくさんのオッサンに睨まれた解せぬ。

「オッス俺アルフォース。友達居ない名無しだっ！」

「■■■■■■■■■■（ちわー。俺だよ俺。彼女欲しい名無し）」

うわーいキャラが濃いなあ。

なんか一人は聞こえないのになんとか分かつちやう声がすげー
キャラを濃くしてる。

俺も大概に濃いキャラしてると思ってたけどここまでイロモノが
いるとは……………

てかアルフォースくん右手のガントレット包帯でグルグルww

「ん？これはな……………三人以上のパーティで『み、右手の封印があ！』
と言うと一定時間相手に弱体を掛けるガントレットだよ」

「うわナニソレ悲しすぎる装備」

いなよ。と言われた。

まあかやひこの厨二抜け切ってないどころか絶賛厨二なんじゃね
説が勝手に浮上したところで、今日のMVPを紹介しよう。

本日バグモン相手に刀一本で、しかもほぼソロで三割削る奮闘を見
せたその人！クラインさんの登場だっ！

って…あれ？居ない？

あ、よく見たらクライン中に居やがる。

先に入ってたのかよチクショウ。

※逆恨みでみんな揃って奢らせました。お前の不幸でメシが美味
いぜww

【バグモン】 調査隊バグモン対策室（仮）

【隊長】さん、【ピザが食いたかった】さん、【ムッコロ星人】さん、【友
達居ない名無し】さん、【彼女欲しい名無し】さんが入室しました。

1. 隊長

最初に言っとくけど調査隊って付けたのはバグによって強化もし
くは発生したモンスターについて考察交えて情報を書き、記録するた
め。

自由参加で新着情報ドシドシヨロシ。

2. ムッコロ星人

1. おひさー。

とりあえずバグモンっつーか恐らくバグっぽいモンスターを発見
したので報告。

長文なるから次の奴で書き込ませてもらう。

3. 隊長

2. 乙乙。

4. ピザが食いたかった

でよ、ここ何を書き込めばいいんだ？

5. 隊長

まあ、バグったモンスターの名前、出現場所、あとドロップとかだぬ。

6. 友達居ない名無し

よく分からんけど一部おかしくなってるクエストはおk？

7. 隊長

6. ……良いんじやね？

8. 友達居ない名無し

りよーかい。

とりあえず現在俺が軽く一走りしてきたところ、クエバグは発見出来ただけでも2つ。

場所は3層と6層で、どちらもダンジョン内で発生するタイプのクエ。

3層のは迷ったオッサンを護衛して街に届ける奴でオッサンがどういうわけか攻撃してくる。ただし道中mobに攻撃されないことから察するにクエ中のmobとNPCのAIが入れ替わってるぽ。

6層のやつは文字変化。ちよい日本語がラリってるけどクエ進行に一切の支障なし。

9. 彼女欲しい名無し

8. ……に続きバグクエ情報。

どうやら16層にて発生する【仙人の秘薬】ってクエストがクリアできなくなってるらしい。

知り合いからの情報だから真偽不明。

ちよい忙しくて確認出来とらん。スマソ。

10. ムツコロ星人

9. そのクエスト、突然岩壁に仙人っぽいのが現れたのから考える

とキーが変更されたとか？

それは置いといてとりあえずバグモン情報。

75層にて「ブローケン・ナイト」がドロップするアイテムがクエ進行用の「形見の小刀」から未知のS級食材「ブレイク・クッキー」に変化した模様。

恐らくバグモンといったのはブローケン・ナイト自体の出現率がそれほど高くなり、討伐も難しいためそもそもまだドロップされてなかっただけの食材をドロップしただけの可能性もあるから。

ただしバグモンとの推測をしたのはたまたま狩り中に合計五体見付けて倒し、そのとき全てがそれをドロップしたため。

ちなみにブレイク・クッキーにはバフ効果があり、食べてから一時間の間筋力が20%UP、アストラル系の一部と植物系に五割程度の補正が入る。

11. 隊長

10・THX。その件については今のところはバグかもしれないって感じで。

修正が入るかどうかは分からんがとりあえずその食材ドロップ率とバフ効果も悪くないし、どうやらグリッチでもBANされない可能性が高いし（かやひこによる垢BAN＝死だとしたら恐らくかやひこの目的か何かに沿えないとの予想によるもの）利用するかどうかは各自判断でよろ。

12. ピザが食いたかった

それより今日戦ったやつの情報乗せるぞ？11・もドロップアイテムとかについて頼む。

13. 友達居ない名無し

w k t k

14. 彼女欲しい名無し

w k t k

15. ピザが食いたかった

んじや、ご期待に答えて。

今回俺たちが倒したバグモンは「ガーディアン・ザ・ターミネー

ター」。名前に矛盾しか感じないし強そうだが、安心しろ、そもそもコイツここに出ない筈だから。

レベルは推定でも70以上。AIがいやに優秀で戦うのが面倒。

一応腕そのものが剣になっているからソードスキルも使ってくるが突き系のレイジスパイクとかヴオーパルストライクとか誘発させて岩壁に当てさせれば隙が作れるはずなのだが、全然それを使ってくれない。

16. 隊長

弱点は多分打属性。中々削れんのに俺がハンマー喰らわせたらあつという間に削れたことから推測。ついでに付け加えると頭部も弱いかも。

ドロップは確認しとらんから次で。

17. 友達居ない名無し

てかよ、今考えつとこのバグ多発が始まった時期とあの岩壁に仙人っぽいのが現れた時期って重なりすぎじゃね？

18. 彼女欲しい名無し

確かバグを時々見付けられるようになったのは先週かそこからだったな。

19. ピザが食いたかった

17. 仙人っていつからよ？

20. 友達居ない名無し

同じく先週から。

21. ムツコロ星人

しかしどのバグも俺らプレイヤーにとってメリットが少ないよな。まあさっきの奴みたいな例外もあるけど。

22. 隊長

途中で割り込むがドロップの確認終了。

大体ドロップは3つだった。

よく分からんけど通常時と変わつとらんのしかないかも。

1つ目は『ターミネート・ソード』

説明によれば一回だけの使い捨てだし修理も強化も出来ない代わ

りに攻撃力を筋力の約五倍に補正する効果。

2つ目はただの鉱石。強化用なので省略。

で、3つ目だが、正直これが怪しすぎる。

『幻想記憶小片・札（ピースオブメモリー・ザ・ファンタジア）』ってやつ。

アクセサリの装備品で筋力+50、敏捷+50、全ての物理系状態異常に対する耐性が付く。

〈続く〉

23・ムツコロ星人

22・そんなんチートや！

24・友達居ない名無し

23・おまそれ古いww

25・彼女欲しい名無し

24・俺としちゃそれを知ってる奴がここに居ることに驚いたぜ。

26・ピザが食いたかった

いや、続けて付いてるよな。

27・隊長

26・何故バレたし。

まあ、この装備品、アットウテキナチカラ！を与える代わりに装備中は恐慌混乱魅了の精神系異常がレベル5で付与されてしまうデメリットがある。

ただまあ、試しに装備したらキョンシーっぽかったから安全な圏内じゃファクションとして使えるかもしれん。

28・ムツコロ星人

27・そういやリアルに居た時に東方でキョンシー化してパワーアップする主人公の居る二次創作あったの思い出したわ。

それがバグで生まれたとしたらちよつと奇跡すぎると思うんだ。

29・隊長

28・どゆこと？k w s k

30・ムツコロ星人

タイトルは2年近く読んで無くて忘れたけど、見習い仙人の主人公

と仙人茨城華仙とキョンシーの芳子がメインだったな。

主人公が能力でキョンシー化を防ぎつつ自らを強化してる場面があったとおもた。

31. 隊長

今の話聞いてかやひこがその小説読んだ事があつてそれを元にごの世界で再現したんじゃね？つて思ったやつ挙手。

32. ピザが食いたかった

ノ

33. 友達居ない名無し

ノ

34. 彼女欲しい名無し

ノ

35. ムツコロ星人

ノ

36. 隊長

俺もだわ。

で、脈絡もなんもなくて悪いけど、俺ちよつと岩壁の仙人に凸つてくらー。

もしかしたらあれはバグに見せかけてかやひこが意図的に何かした物かもしれないしなー。

37. ムツコロ星人

36. ■ いったらー。とりあえず終わったら報告よろろん。

38. 隊長

りよーかい。んじやま、いつてくらー。

【隊長】さん、【ムツコロ星人】さん、【ピザが食いたかった】さん、【友達居ない名無し】さん、【彼女欲しい名無し】さんが退室しました………ついでに【某蜂蜜熊】が入室したぜw

さあ、心ゆくまでゆつくりしていけ！

39. 某蜂蜜熊

出来るかボケエ！

カーディナル

今すぐ君の仲間に君名義で挑発メール送るっか？

40. 某蜂蜜熊

すみませんでした頭が高かったですすみません。

カーディナル

素直でよろしい。

41. 某蜂蜜熊

で、今回は何が目的で？

カーディナル

いや、ちよいと君にかつてのデバッグ空間においてテスターをやつてほしくてね。

近々お前以外にも二人ほど送ろうと思うんだがPVPに慣れてそうな奴を送りたいんだ、どうよ？

42. 某蜂蜜熊

丁重にお断りさせていただきます。

カーディナル

答えは聞いてない！

43. 某蜂蜜熊

なにnnnnnnをshhhhhhh

【某蜂蜜熊】は退室させられます。

【コラボ】 岩壁を走る変人と厨二病とロリ

どうでも良いけど札は札でも諭吉とかが書いてある札は宅配便で送れないんだってさ。

あとよく分かんないけど俺の持つてるお札も売れないから厄介な癖にデータの片隅に送れない。

どーしよ。

と、思ってたら思い付いた。

これ売れないの呪われてるからかも知れないし、仙人なら呪い解除とか出来んじゃないかね？と。

それにどうせバグの原因かもしれん仙人のどこ行く予定だったし。

「マスター！お出掛けですか！」

「そだぞー。あ、エフ子も来るか？」

「行きますー！」

あつやべつ自然な流れでエフ子も誘っちゃったけどバグモンいたら………（メニュー操作）

瓶出して、スキル入れ換えて、【隠蔽】【回避術】【回転攻撃】を【挑発】【自動回復】【楯突き】に変更♪

よし、これでバグモンが出て俺にタゲ集中するから問題ない。

ちなみに挑発は隠蔽の派生で、一定時間ヘイト上昇量を増やすんだが、効果時間中は少しダメージを抑えられる、

そして自動回復でその分回復し、楯突き………まあ楯を構えている間の攻撃にボーナスが入ったり楯攻撃に大きめのノックバックが入るやつ…で楽々攻められる。

まあ【ハイドアタック】【抜刀攻撃】【隠蔽】のコンボよりは弱いけどちよつと強すぎて面白くない組み合わせです。

でもまあ、どのスキルも上げるのがめんどくさいから誰も彼も途中で諦めるんだけどな。

俺の場合は一層で装備外してトレインしてひたすら攻撃を受けたら、その過程で挑発スキル使ってトレイン効率を上げたり、飽きた時に場所を変えるため一掃するのに楯突き（楯殴りだけどな）しまくつ

たりしたからな………ついでにいうとカレス・オーさんのおかげだよ。

ま、とりあえずどういう訳か異様に強いこのスキル群でかるーく行きますよ。

目指せポケ○ンマスター………じゃなかった仙人！

あ、アルフォースじゃん昨日ぶり。

「お、昨日ぶりじゃねーか！」

「今ヒマ？」

「もちろんだ！野良探してたんだよ！」

見付けたアルフォースが手を握ってブンブンやるからうざい。

とりあえず圈内だし一撃虐殺クラッシュャーでもどう？

あ、それは嫌ですかそーですか。

とりあえず今の許して欲しかったら付き合えよ。拒否権は無い。

「で、どこ行くんだ？」

16層の仙人だよ忘れんの早杉だろ記憶力鍛えようぜTASさんのごとくな。

ま、とにかく僅かとは言え期待してるぜ？厨（二病をこじらせたかのようにいてみんなの古傷を抉りにくる）装備持ちくん。

ー十六層岩壁にて、完璧に爆走中ー

「ウェイウェイウェイ！」

立体機動！直進投げ！ついでにスキル！

合わせて………天空！

そんな言ってしまったらあとでテンションを何故抑えなかったのかと後悔する台詞を全力で脳内で叫ぶ。

あ、ちーつす。現在十六層の岩壁を爆走中の俺でーす。

とりあえず今俺は挑発しまくってダメージを受けながらもヒヤッハーでショーターイー！してた。

具体的には襲い来る敵Aを投擲スキル＋適当に取ったクイツクチェンジ（つい先日瓶にスキルを入れて空いたスロットにブチ込んだだけなんだがネタとしても有用です）で投げた手裏剣をヒット＆回収のループで延々と殴る………んだが実はこれをの応用で仕様の問題なの

かアニールブレードくらいの剣でループすると空を飛べるんだ。

しかも落下して地面に当たる寸前でも一回やるとダメージ無効化だから結構強いし……………

でも個人的にはエクストラスキル【体術】カテゴリの下位技【閃打】を用いたネタ技が大好き。

え？何かって？まあ敵が出て来たしぎっくり説明しよう。

まず敵に向かって閃打。そして速攻でそっちの手に一撃虐殺クラッシュヤー装備、そしてスキルでホームランクラッシュユってのがあるんだけどそれを使うと……………閃打の赤いエフェクトとホームランクラッシュユの黄色いエフェクトが混ざって最強っぽく見える。

この仕組みは閃打のエフェクトが手に付いているのと、閃打から無理矢理ホームランクラッシュユに繋げた事で正式な終了をしていないため残ってるんだ。

ちなみにその手で閃打をすると元に戻る。

ただし赤いエフェクトの付いた手で殴っても威力は普通のパンチだけどな。格好いいとはいえ。

「み、右手の封印が……………！」

『グラフィア……………ぶるあああ……………』

あ、あれはアルフォース&エフ子。

弱体持ちのアルフォースと性能高めのエフ子を組み合わせりや生存能力高いと踏んだんだが、なんかアルフォースが疲れた顔をしてやる……………ああ、納得。

そんな台詞を子供に聞かれた挙げ句大丈夫かと問われればそんなるわなww

ま、後でフラッグフロッグの肉やるから許せ。

ちなみにフラッグフロッグは俺のレベルより適正レベルがちよつと高い層で採れたらしい肉。なんか嫌な予感しかしないから叩き売られてたのを買ったんだ。

いやー、持つべき物はいい実け……………コホン、仲間だな。うん。

「マスター！倒しましたよ！」

あーよしよし、あとで裏路地の露店で売ってたどういう訳か食わせるとタイムモンスターの目のハイライトが一定時間消えて微妙にヤンデレっぽくなるらしいクッキー食おうな。

そうそう、余談だがこれを食べたことがあるのはこのクッキーの作者（セルフで売ってた）のタイムした延々とプレゼント攻撃し続けてきたらしい女ネクロマンサーちゃんだけらしい。

い、いやそういう目的じゃないぜ？ただエフ子を連れてたから『これ買ってその子に食わせてスクショくれたら前金でこの指貫グローブ、成功報酬でメリケンサック（アクセ）あげるから！』って言われたからなんだ。

だって指貫グローブは投げ系と拳を使った攻撃に攻撃力1.3倍の補正を掛けるお得装備だし、メリケンサックに至っちゃ拳を使う攻撃が防御無視効果を得る。

しかもアクセ枠だぜ？だから2つ合わせると攻撃力1.3倍の防御無視パンチが放てるんだ。

実はそもそも拳の攻撃力が雀の涙だから対して変わらんけども。

「お、おい俺はどうなんだ?！」

え、お前にも?」

まあ元々やる予定だったから良いけど。

「あーはいはい、じゃあお前にはあとでフラッグフロッグの肉やるから」

そうやってアルフォースを無視して進む。

アルフォースにあげる優しさはほとんどないのだ。

でも道端のmobを倒しやすくしてくれるからちよつとだけ優しくしてあげなくもないのである。

例えば攻撃を受けそうになったらクイククチェンジでストレージの片手剣ブン投げて助けてあげるだとか（アルフォーススレスレ）、マップデータを分けてあげるだとか（いつもはパーティーメンバーに追従してたんだってよ）。

あとネタ技を披露してあげたりだとか。

「どっせー」

デス・餅衝き。

具体的には敵を体術スキルの1つである足払いもどきをかましてからひたすら大上段でブン殴る。

その際スキルを使わない方がノックバックによりハメられるので強い。

あとこれをみんなの前でやると引かれるんだ。ホワイジャパニーズピーポ○。

―閑話休題によるスレー

【ムツコロ星人】さん、【(O W O)】さん、【(無言の腹パン)】さん、【ヘルプミー】さんが入室しました。

1. ヘルプミー
なんか寝たら夢見たんだけど、VRで夢って見れるもんなの？

2. ムツコロ星人

1. 突然だなオイwwでも原則見れないんじゃないかなかったか？そもそもVRで寝るのは基本ノンレムオンリーだし。

3. (O W O)

1. あ、都市伝説的なもんは聞いたぞ

4. ヘルプミー

3. マジすか。k w s k。

5. (O W O)

いや、俺そこまで詳しくねーんだけど、おk？

6. ヘルプミー

5. それで良い。

7. (無言の腹パン)

6. (無言の量子コンピューター論?)

8. ムツコロ星人

おいちよつと待てここに良く知ってそうな奴が居るぞwww

9. (O W O)

7. 何故分かったし。

10. (無言の腹パン)

(無言の無視) (無言の説明)

SAOのサーバーに量子コンピュータが使われているという噂が存在する。

ちなみに量子コンピューターとはぎっくり言うデータとかがパラレルワールドとかに繋がると言われている物。

もしもパラレルワールドに繋がったならそれが夢になって出てきてもおかしくない。

11. ヘルプミー

10. THX

12. ムツコロ星人

10. THX

13. (owo)

10. THX

14. ムツコロ星人

それはそうとどんな夢よ? 1. さん?

15. ヘルプミー

いや、良く分からんけど寝て起きたら動けなくて、どういう訳か体は勝手に動くんだけど登場人物が明らかに東方なんだよ。

16. ムツコロ星人

んで?

17. ヘルプミー

あとよく分からんけど途中まではどっかの家政婦ばりに家事こなしてたんだが、外で薪割ってたら突然周囲が真っ暗になった…と思いきやよく分からん崖にいた。

ゴメン自分でも何言つとるか分からんぜ。

18. (owo)

17. ウエイ? それ別スレになるけど隊長って奴が行くらしい16層の岩壁じゃね?

19. ムツコロ星人

あ、そうだな。

17・出てきた明らかに東方なキャラって誰？

20・ヘルプミー

19・茨城華仙。

21・ムツコロ星人

ちよつと16層に凸つて来なきや。

22・(無言の腹パン)

(無言の呆れ)

23・(owo)

22ザアンナズエアキレテルンデイス!?

24・ムツコロ星人

もう誰も！俺を止められない！

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

25・(無言の腹パン)

(無言の諦念)

26・ヘルプミー

ま、とりあえず皆さんに言えて若干スッキリしたんで終わりにしま
すわー。

27・(無言の腹パン)

(無言の満足)

28・(owo)

ナズエマザッテルンデイスカ……

29・(無言の腹パン)

(無言の腹パン)

【ヘルプミー】さん、【owo】さん、【無言の腹パン】さんが退室
しました。

【コラボ】リア充とかやひこは爆発しろ！

「ニンジャキックー」

やあ！みんな！現在いまだに岩壁を進撃中の俺だぜ！俺俺！

今はさつき思い付いたジャンプからのドロップキック↓空中離脱してドロップキックのループで戦ってるけどいかんせん数が多いね………めんどくさい。

正直途中から回転切り普通にやる必要出てきてるからね？なんの面白味もない回転切りを。

いや俺の場合モンハンの言うところと回転攻撃なんだけども………でも面白味が薄い。

正直ここからは殲滅力の高いネタを使わなきゃな………でもそれだとアルフォースくんとエフ子が邪魔だね。

あーめんどくせー。なんであの技馬鹿みたいに範囲広いんだろうなー（↑とにかく範囲攻撃をするためにそれを作った張本人）

でもあれ、俺もちよつと痛いしというか痛いしその上時間が掛かるんだよなあ………

しーやーない、とりあえず二人がセーフティ入るまではがんばりましょーかねー。

まあいまだに半分行ってないけど！

前回はそれなりの時間を使ったのにまだ半分未満だけど！

ウチの作：コホン、俺の場合ここらでショートカットとかしちやいたくなるんだよなあ………

そう悩みながらも立体機動スキルで壁を走って高く飛び、そこから空中攻撃をするのをやめたりはしない。

途中で壁に掴まって（壁をうまく具合に歩くと止まっていられる）群がってくる敵をそこから大量の投剣ブーン投げて殺戮したりすると敵もある程度減るしな。

でもさ、この敵の数はおかしいわ………あれか？茅場がバグを隠蔽しようとしているのか？

おのれかやひこ

いつか会ったならギツタンギツタンにしよう。そうしよう。俺はこの時、心に固く誓った。

この数だとせっつかくある幾つかのネタが使えねーじゃねーか……あ、そうだでもこれやってねーじゃん。

俺はいつもは使わないというわけか横に長い楯を取り出す。

そして片手で楯を構えながらやってくるモンスター達を押し返して転ばせる。

するとモンスターは重なって倒れるので横から一撃虐殺クラッシュャーを振り抜いてぶっ飛ばす。

そしてその少し下のモンスターをもう一度同じ動きで盛大に飛ばす。

ちなみにどうでも良いことだが、ここの岩壁は途中途中で片側しか岩壁がないところが少しあるんだ。

ちなみにそこに落ちて途中でクイツクチェンジ式浮遊術（投げて上手いことそれを掴むと微妙に浮く事を利用した例のやつ）でゆっくりと落ちてみたところそこは六層だったりした。

で、話は戻るんだけど今はちようどその壁が片側しかない地帯なんだよ。

それでさ、たとえば16層のモンスターと言えど10層も落ちりや死ぬわけ。

でもちよつと不満なんだよな……この技、効率も経験値も良いんだけどもうすでに広まっちゃってんだよ……面白くねえ……

あ、技名は『ピクミン式処理法』な。理由はモンスターをピクミン2とかで地下に落として数を調整する光景と似てるから。

実は他にも『大連鎖』とか『根詰まり』って小技もあるけど……あれはもつと面白くない。

いやまあ、流石に命を賭けた状況じゃそんなこと言ってられんけども普通はそれが一番だよねえ……

俺は一回しれつとマップを確認した。

一応索敵スキルがあるから敵の位置は確認出来るけど……ほぼ真っ白なカーソルで埋め尽くされとる。

でもカーソルで地面が見えんぜよ。

あくちよつとめんどくさいんじやく

「なあー！」

「なんだアルフォート」

そんなぼやきをしていたらアルフォースが話し掛けて来た。

なんだよ逆転の秘策でもあんのかよ。

ちなみに無かったときはあとで圈内ストーリーキングして脳天力チ割りします。

「とりあえずこれ受け取れ！そしてさつきみたいに飛んで上から落とせ！」

え、なにになに………クレイジーボム？

うわあ。これSAOサーバーでも屈指の地雷アイテムじゃん。

ああ、これが分からん人のために解説しよう。

これはSAOが始まって数ヶ月が経ったところに発見されたアイテムで、手頃な割に経験値効率もいい敵が居たから乱獲されてたんだが………そいつの落とすアイテムがクセモノだった。

それがこのクレイジーボム。文字通りキチった爆弾。

効果は無駄に広い範囲に防御力無視で識別もせずという訳か威力とノックバック性も強力で麻痺が付く。ちなみにボスには効くけど仲間を巻き込んじゃう。

検証によれば範囲は15mで、運が悪いとめちやくちやトレインする上に地面に置くと爆発する仕様。

つまり極一部の投擲スキル持ちのソロか俺みたいな特殊な方法で15m圏内から脱せる奴じゃないとマトモに使えない。

あとこれが当たるともちろんオレンジカーソルになる。

故に最悪クラスの地雷アイテムと言われている。

まあ地面に置くと爆発するって事は地面に置かなきゃ爆発しないって訳だから15m以上離れてからそれを落とせば結構えぐい殲滅になる。

そういや俺もこれを持ってるんだよな………売ろうにも嫌がられて売れないから50個ほど。

じゃあ今回は処分祭りにしよう。

俺はまず壁に足を掛けた。

そして現実じゃありえない動きで壁を走り出す。

その動きはまるでNINJAのよう。というかNINJAルツクの癖にこれを出来ない奴が多いのは何故だ？

取得するのも息切れの存在しないこの世界で延々と走ってクエストNPCを捕まえてソイツの家まで引っ張ってくだけだと言うのに。

まあそれは置いとくとする。

俺は壁走りを始めた。そして15m以上垂直に壁に登ると、ある程度速度を落として自分の位置を固定する。

そしてメニュー操作でクイツクチェンジの欄にありつただけのクレイジーボムを詰め込み、一個だけアニールブレードを保険で入れておく。

さて、あとはアルフォースくんは飛んでと言っていたのでそれを実現してやるとしよう。

「プレイヤー嘗めんなかやひこお！」

俺はそう叫ぶと同時にアイキャンフライー！し、クイツクチェンジでアニールブレードを出してそれを上に投げる。そしてそれを回収&投げ……ながらもクレイジーボムをもう片方の手に持ち、アニールブレードが戻ってくる一瞬前に地面に落とす。

そしてアニールブレードをキャッチ。

そこで面白い事を思い付いたので一旦壁に戻る。

そこで前に手に入れた半ネタであるペストマスク風の仮面とフード付きローブに装備を変える。

するとあら不思議、端から見れば悪魔のような奴が変態的な動きをしながらクレイジーボムを落としてくるよ！やったね！

そのあと滅茶苦茶クレイジーボムでパァリイした。

「ちよつとやり過ぎたと思う。反省はしている。ただし後悔は微塵もない」

オツス俺俺。さっきのクレイジーボムの件さ、ちよつとやり過ぎ

ちった(テヘペロ)

ひたすら浮遊して落としてたんだけど地獄絵図になってたんだつてき。地面が。

どういう訳かモンスターも逃げてたし。

いやー、流石のクレイジーボムですわー。

あ、今なんで謝ったかって？

うん、実はうっかり途中で待ち構えていたボスっぽいやつ、クレイジーボムに巻き込まれて死んだらしいんだ。

いやあ、ザマミロウ

そんな訳で今は仙人の居る場所のすぐ前のセーフティエリアに居るんだよ。

あ、モチのロン例の食べ物アルフォースくんはプレゼントしますた。

まだ食っていないみたいだけど反応が今からwktkだぜ。

そうそう、ちなみに今アルフォースがちよつと胃の辺りを抑えてるけどさ、ここVRだぜ？

胃痛なんて無いのによ………ペインアブソーバもあるのによ……

きつとどれもこれもかやひこのせいだなく、おのれかやひこ(棒)よし、突然過ぎて訳ワカメだけど今の内にかやひこに仕返ししよう。

ほら、善は急げって言うじゃん？(悪人以外の何者でもない笑顔)

俺はプレイヤーチャットを起動した。

そしてスレを建てる。

それはかやひこへの純粋な怒り二割、ストレス発散二割、やつぱいつものノリが一番好きが二割、あと全力で駄弁りたいのが四十分(四割)。

その名も………

【安価】かやひこに対する怒りをぶつきたい【オレハクサムラムツコロス】

【隊長】さん、【理不尽の具現】さん、【ムツコロ星人】さん、【無言の

腹パン)さん、【真祖の変態紳士】さんが入室しました。

1. 隊長

ちよつと今最近噂の岩壁に居るんじゃないかやひこの妨害っぽいモンスターラツシユに遭遇した。

この怒りをかやひこにぶつけてやる方法考えてける。

安価は・25。一発勝負で行くぜ。

2. ムツコロ星人

1. んなもんあるのかよw俺今そこに向かっとなるんだが稼ぎに良いかも知れねーぜw

3. 真祖の変態紳士

そんな事よりかやひこが変態紳士だって証拠探そうぜ。

4. (無言の腹パン)

3. (無言の踵落とし)

5. 理不尽の具現

3. 変態は帰れ。

6. 隊長

落ち着けよおまいら。かやひこが変態紳士なのは分かりきった事じゃないか。

だってロリを監禁してるだろ？

7. (無言の腹パン)

6. (無言の称賛)

8. ムツコロ星人

6. 発想の転換か。

9. 真祖の変態紳士

6. なんか途端にかやひこが羨ましくなった。

10. 隊長

ま、それはともかくかやひこに怒りをぶつける方法は今決めた。

G M コール 乱打祭りだ！

11. 理不尽の具現

10. なんか五条って名前の人が脳裏に浮かんだんだが。

12. ムツコロ星人

11・イナイレの強キャラはお帰りください。

13・真祖の変態紳士

10・うっ、コイル：

14・隊長

13・それは伝説のww

15・(無言の腹パン)

(無言の説明要求)

16・隊長

よし、15・の要求にお答えして解説しようじゃないか。

今回の安価は……文を考えてもらうぜ！

出来るだけかやひこを困らせられてなるべく短い奴を！

17・真祖の変態紳士

16・今から書き始めるわ。

18・理不尽の具現

じゃあ俺は友人に頼んでGMアタックの協力頼んでみる。

19・ムツコロ星人

俺は…その紙対応をスクショに納めてくる。

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

20・(無言の腹パン)

(無言の執筆)

21・隊長

じゃあ俺は安価直前まで時間を稼ごう。

22・理不尽の具現

さあこい！

23・真祖の変態紳士

バグ報告。

どういう訳か『か』から始まり『こ』で終わるある意味天才な科学者の脳内に重大な欠陥を発見いたしました。もう手遅れのようにですが処置などなされればいかがかと。

24・理不尽の具現

あ(ただの嫌がらせ)

25. (無言の腹パン)

先日の16層での神対応は流石でしたね、何をどうしたら貴方のような天才的な対応が出来るのでしょうか？

どうか秘訣をお教えください。

26. 隊長

失敗を隠すのは転落の始まりだそうですね。ほら、隠さずに全プレイヤーに明かしてごらんなさい。

27. 真祖の変態紳士

25・26・エ……お前ら天災か…

28. (無言の腹パン)

(無言の殺意)

29. 隊長

27. いいえ、ケファイアです。

30. 理不尽の具現

まあ、これで25の文面が採用だな。

よしみんなを送ろうぜ！

31. 隊長

まあ待て、決行は時間を合わせて人員を揃えてやろうぜ。

とりあえずおまいら25をコピーしとけ。明日の午前10時から決行しよう。

さあ！かやひこを困らせる準備は良いか！

32. 理不尽の具現

31. とりあえず色々乙。

33. (無言の腹パン)

31. (無言のおつかれ)

34. 真祖の変態紳士

31. 今度一緒に一層の保育園もどき行こうぜ。

35. 隊長

34. だが断る！

つーかお前が行ったら絶対に事案もの…

【隊長】さんが退室しました。

36. 理不尽の具現

35. すまんな俺も何も言ってやれないんだ。

【理不尽の具現】さんが退室しました。

37. (無言の腹パン)

35. (無言の呆れ)

【無言の腹パン】さんが退室しました。

38. 真祖の変態紳士

あああああんまりだああああああ!!!

【真祖の変態紳士】さんが退室しました。

【コラボ】バグって怖いよね。

「よし、とりあえず回復終わったしもうそろそろ行くぞエフ子、ついでに厨二くん」

「俺の扱いが破滅的に雑?!」

破滅的になってなんだよ破滅的になって。

壊滅的に分かんぞ。だからお前はいつまで経っても厨二なんだよ……………

俺はそんなどうでも良い事で時間を消費する傍らメニュー操作でとあるスキルを詰め込んだカレス・オーの水晶瓶を探していた。

とりあえずアレがあれば勝利はほぼ確定なんだよなー。

ここのボス条件はあるけど動き遅いし硬いし大きいしHPが高いが隙だらけ。

というか叩き付け攻撃の速度まで遅いのはちよつとおかしいけどな……………ぜってーボーナス敵だろあれ。

お、発見発見。この水晶瓶、実はエフ子と初めてゲットしたやつなんだよなー。

あの頃はロマン棒で付けてたけど正直他の事がやりたくなくなって変えたんだつけ。

でもいまだこの動きが完全に記憶出来てる辺り俺も使い込んでたよな。これ。

とりあえずこれを飲んで入れ換えて瓶を取り替えてまた入れ換え……………以下何度かループして。

よしこれでスキル編成終了。

とりあえず安定の立体機動、ハンマー（名前違うけどな）、隠蔽、ハイドアタック（自分を認識していない敵に対する攻撃力にかなりの補正が掛かるエクストラスキル。ちなみにプレイヤー相手だと前方150。くらいに入らなきゃ認識されていても有効らしい）、あと投擲とオートヒール、最後にさつき入れたスキル。

ちなみに戦法はこう。

まずアルフォースの弱体を喰らわせて俺が初手ハイド付きダイナ

ミックチョップ。

それでスタンが取れたら俺の最大最強のロマン技の準備。取れなきや普通にバトってスタン取る。

あとはとりあえずヤバくなったら裏技で殺る。

OK作戦は完璧だ（死亡フラグ）。成功率1%（生還フラグ）。

よし、ピクニック（このボスは俺的に一番楽なんだよな）にレッツゴー！覚悟しろやボス！

「芸が無駄に細かいですも？」

「ヌガーッ！」

な、何故分かったし………え？分からない？

なら分かん奴は『ピクニック隊長』だとか『ですも』だとかで検索してみ？

んじゃ、最後に盛大にボケたし逝くかね！

ーボス部屋ー

とでも思ったかヴァカめ。

ここはドアがないからマイクラでの定義的に部屋じゃない、エリアだ。

まあそれはどうでもいいな。

それより今は目の前の奴に注目しよう………うん、悪意以外の何物も感じられない。

まあそれを説明するために前置きをしよう。

そもそもこのボスはモードが7つあって、それが一定の時間でローテーションするんだが………それがいつもは月火水木金土日と曜日と同じ並びになってる。

ざっくりとその説明を以下にまとめておく。面倒ならスキップしてよろしい。

月は肉体で攻撃しまくってくる。ただ弱点が露骨。

火は炎のブレス、フレアドライブもどき（反動もあるっぽい）、変わる直前の熱波放出とか熱系。めんどい。

水はお分かりだとは思いますが水。

最初にフィールドを水浸しにするから前の火のモードで燃えている場合回復するのかと思いきやそうなるほど水深が無いしある攻撃を喰らうと逆に悪化する。

そう、水と見せ掛けた油が時々来るんだ。

そして木は……根っこを出してリジエネしつつその場で葉っぱカッターもどきを飛ばしてくる。もちろんそれがさっきの水（水はタイミング次第じゃ残ることがある）を吸うと巨大化する。ただしなんの害もない。

ちなみにそれは攻撃が当たると喰らわせたやつにカウンターするのでダメージ源としても有効。

ついでに言うると変わり際にリーフストームもどき。

そして金……一番厄介だ。

全身が硬質化するし何故か腕が四本になるしとにかくかなりヤバい。

ただ、土はそれほどでもない。

多少地面が盛大に隆起したり突然沈んだりして落下ダメージを喰らわせてくるが明確に安全圏があるし立体機動があればむしろサービス。

で、日。

はつきり言おう。雑魚。

パンチとキックをノロノロノロノロと撃ってきては転ぶ。流石に自滅はしないが隙の大きいソードスキルも余裕で当たる。でも堅さは金に次ぐレベル。

ここで俺の最大最強のロマン技を喰らわせると簡単に勝てる。

よし、理解したな？まあ日月火水木土金の順に強いと覚えりやOK。ちなみに土は立体機動無しだとまともに動けんレベルだったりする。

それでよ……今回なんだが……

「月月火水木金金？」

エフ子、言わんでえーから。社会人的に絶望するワードを言わない

でお願い。

俺ゆとりだから……いやまあゆとりが嘗められるのも困るけど週休2日が当たり前だから……

あー、うん。分かったか？

具体的に言うとうと土日が消えて金と月になった。最悪だよ。

まあ幸いにして月火水木金金にならなかったからマシか。それだったら貴重な転移結晶使っても逃げる。

だが……やはり茅場！貴様だけはゆるぎさん！

マジでこれは悪意しか感じねえ……

「よしアルフォース……とりま弱体よろ。俺はちよつとこの溢れ出る怒りをぶつけてくる。一人でな！」

「お、おい……ああもう！み、右手の封印があつ！」

俺はアルフォースの厨二発言を合図に全力でボスに突撃した。

まずは月。体術メインで来るが実はこのモードの時は突進とか踏み込みの時に足元に攻撃を当てると確定で転ばせられる。

その際投剣を使うのが一般的だが実はこんな裏技がある。

「ほいさっ」

実は踵にあらかじめ剣を刺しておくとうと突進の際勝手に転ぶ。

別名、『お前はすでに転んでいる法』。

しかもこいつが月の間は離れると突進を使ってくるのでレイドとかでタンクが居るなら引き付けてもらおうことで簡単にハメもどきが出来る。

「GYAAAAー」ズドン

ほら、こんな感じで。

突進のモーション開始と共に転ぶからちよつと見て面白かったりする。

あとコイツ、体術を使う間は拳とか足の辺りが硬化してるんだが、その代わり背中がかなり脆い。

具体的に言うとうとソードスキルのない通常攻撃でもそれなりに削れるのが確認出来るくらいには脆い。

ただその弱点を攻撃すると時間経過に関係なく現在行われている

モーシヨンの終了と共にモードチェンジするので注意が必要だった
りする（笑）

え？何故（笑）かって？

おいおい、忘れたのか？エフ子が言ってたろ？

『月月火水木金金』ってな！だから次も月なんだよ！

俺はボスが転倒状態から復帰すると同時にある程度距離を取り、突
進を誘う。

すると進化しないAIは突進してくれるので転んだところをひた
すら背中叩き。

これによりボスの三本存在するHPバーの一本目の半分と少しを
削りとった。

さて、次の火は……かなり面倒だ。

正直なところここで火をもらうと次の水の時油を喰らうし木の時
は全体的に燃えるから戦いにくい。

っーわけで……スキップさせてもらうぜ！

俺は転倒から復帰してモードチェンジ中のボスの背中に回り込み、
体術スキルの1つである【月牙】を一発喰らわせた。

このスキルはバク転と共に蹴りを喰らわせるスキル【弦月】に近い
スキルで、効果は前方斜め上に強力な一撃をお見舞いするだけ。

そして……このボスはモードチェンジという物が他のボスに無いせ
いか設定がごちゃごちゃなようでモードチェンジ中は前のモードの
設定が適用されてしまっている。

だから……火だけはスキップ可能なんだ。

はい、裏技でモードを1つスキップしたところで次の水の対策をし
よう。

なに……四層でお仕事をしている俺に抜かりはない。

水のある空間での戦闘にはなれているし、別に出現する水の水深は
そこまで深くない。

ついでに言うとな実はこの水、立体機動で回避余裕ですw

方法は周囲の壁（ドアはないが壁はある。まあ無かったら崖だから
ノックバックによる死がありえてめんどくさいがな）を走りまくるの

み。

その間の攻撃方法が投擲のみに制限されてダメージは落ちるがさほど気にならない。

まあクレイジーボムを使うって手もあるがあれ、使い方間違えると自殺同然だしな…

だから壁を走る。そしてついでにひたすら剣を投げる。攻撃は走って避ける。

「HHHHHHHHHH!!! 貴様には速さ力強さ固さHP学習能力ロマンお遊び茅場への怒り………そして何より会社勤めへの敬意が足りねえ！」

そんな事を叫んで仲間の筈の二人から変な物を見るような視線と
いう攻撃を受けようとも走る。

そしていつの間にかボスがモードチェンジに入っていたので壁を強く蹴り、クイツクチェンジで剣を呼び出しつつ、俺の持つ中でもかなり見た目の地味な技を使う。

正直をこれを使うのはあまり気が進まないが………許せ、休日を奪った罪はそれほどまでに重いんだ。

「俺の相手は300年早いんだよ斬りイイイイイ！」

「GYAAAAAAAAA!!!」

俺の相手は300年早いんだよ斬り。

これは俺がたまたま見付けた仕様の裏を突いた技だったりする。

実はな？クイツクチェンジって武器を変える時手や武器がどうなっているかに関係なく対象の武器を入れ換えられるんだ。

だから敵に攻撃を当てながらクイツクチェンジを秒当たり10回（思考入力の手紙なのにこれくらいが限界なんだよな…この1.5倍連打出来る某名人は本当に尊敬するよ）くらい使うとかなり高速で敵を刻める。その代わり周囲からは止まったままダメージが入っているように見える。それだけ。

ただダメージ量だけが多いのでこれでHPバーを一本削れるのもザラ。

ほら見ろよ。さっきまであったHPバーがどこにも見当たらない

……あるえ？おかしいぞ？

しかもボスマまで消えてやらあ

「な、何が起きたんだー！」

とりあえず叫んでみた。だが状況は変わらない。

ああもう茅場でも誰でも良いからこの状況を教えやがれ！

教えてくれたらなんか余ってるクレイジーボムあげるから！

そんな俺の叫びが届いたのか、アルフォースが俺のそばにやって来た。

「わざとらしい叫びをありがとよ……とりあえずかくしかじかつばいぜ」

ごめん分からない。かくしかじかが通じるのはギャグ補正がある奴だけだよ。

「かくしかじか、です！」

「あ、なるほど理解」

前言撤回。かくしかじかで通じるのはギャグ補正持ちと子供。異論は許す。

え？なに？かくしかじかじゃ分からない？

はあ……ならば教えてやろう（上から目線）

簡単さ。バグのせいで防御力が何故か下がってた上にアルフォースの弱体、そして俺の相手は300年早いんだよ斬りというシステム外の連撃（ただし通常攻撃が0.1秒毎に叩き込まれる程度だが）という様々な要因が重なったせいでガリガリHPが削れたっぽい。

ついでに言うとうまく考えりや月モードの時にいくら弱点に叩き込みまくったからって一回の転倒の間にHPバーが一人で半分も削れたのがそもそもおかしいんだよな。うん。

ま、まあ……あんま達成感はねーけどここらで締めるとうしようかな。

……俺達の目的はここからだ！

【コラボ】仙人の弟子？何それ俺隊長

前回までの俺は！

とあるボスを今になって考えたらよー分からん怒りでフルボッコにした……以上！

ほんと、バトルパートってあらすじにしにくいな。

まあ俺がやってることがおかしいのが原因だが。

「そーいやさ、なんでここに来たんだ？」

あ、アルフォー스くん露骨な回想フラグサンキュー。だが要らない。

俺がここに来た理由はとある装備を押し付けられる可能性のあるバグキヤラである仙人に押し付けるためだ。

それ以上に収穫があろうとなかろうとそれ以上でもそれ以下でもない。

ちなみに豆知識だが、俺達が今居る場所はボスとの戦いを繰り広げた場所の奥の細い道。

そこにはモンスターが沸かないので休憩も出来る。

ただ宿屋でのんびり寝てた方が休まるのは言わずもがな。

だから五分しか休んでないけどもう行くんだ。

え？なんで五分休んだかって？

おいおい、忘れるなよ。

俺が前に言ったろ？エフ子に『食べるとヤンデレっぽくなるクッキー』を食わせると。

ちようど今食わせました。ほんとなんとなくて。出来心で。

率直に言おう。

エフ子がハイライト消えると完璧にヤンデレの極致っぽい。

ロリロリしいのといつもとのギャップで……って誰だ俺をロリコンと言ったやつ。とりあえずアインクラッドの屋上から紐無しバンジーしてこいや。

…話が逸れた。

まあとにかくエフ子のハイライト無しverのヤンデレ力は究極

の闇ならぬ究極の病みだぞ……これは売れる。

あとでこのクッキー作った奴に高値で売ろう。このレベルならかなりの額で……クツクツク。

とりあえずエフ子をスクショに収めてから、さっさとバグ仙人の元へ向かう。

よし、とりあえず仙人部屋のドアは変わってないな。安心。

それを確認した俺は扉に手を掛け……

「さて、アルフォースくん、問題だ」

「ででん！」

アルフォースにクイズを出した。効果音はエフ子。

いやあ、アルフォースの驚いた顔が見たくてやってみたくなかったが思ったより笑えるぞw

まあ良いや、ひとまずスクショして問題を出そう。

「さて、今から俺がしようとしているのはどれ？」

1. 勢いよく開けて『たのもー!』
2. 全力で扉にドロップキックして開ける。
3. 普通に入る」

「頼むから3にしてくれ」

「ハイ不正解」

俺はそういつてメニューからサベンジトードの肉を取り出して生のままアルフォースに渡す。

残念賞である。てか俺の性格的に3はねーだろ。

あーあ、正解したら鋌付きで厨二的に格好いいブーツあげようと思っただのに。

え？ 正解？

うん、まあ俺の趣味が分からないと駄目だから多分正解者居ないだろうけど……

「邪魔するぜ！」

ドアに対してのホームランクラッシュユでドアを開けて侵入するに決まってるじゃないか。

俺の一撃虐殺クラッシュャーは今日も絶好調だ。

まさかドアを根本から壊して吹っ飛ばすとは。とアルフォースが言いやがった。

なので『毎度毎度戦闘のシリアスな空気を右腕の封印解除とともに解除してくれてありがとよ』と言ってやった。頭抱えてた。

さーてと、そんなアルフォースは置いといてさっさと仙人に押し付けて帰ろう。

仙人はどこだ………あ、居た居た。

でもこの仙人やけに若くね？てか俺より見た目若くね？

じゃあファーストコンタクトはこんな台詞にしようか。

「ナズエソソナニワカインディスカゼンニンザン！」

「善人じゃないです仙人です………って何言わせとんじやい！てかここどこ？」

良いツツコミだ！

おまけに完璧な異邦人だ！（グラセフ）

ってちよい待ち。コイツ何でボケに反応したし。

確か仙人って元々話し掛けたら特定の事を喋るくらいの弱いAIだったんだけどな………

まあ、会話が潤滑になる分には困らないな。

よし、さっさとこの仙人に押し付けてみよう。

「さて、会って間もなくで悪いけどお近づきの印にこれどーぞ」

そう言って問答無用で仙人に札を送る。

さあ受け取れ！勝手に呪われる！

「これ何？」

「呪われた札☆ミ」

「アホか!？」

良いノリツツコミだな！それを讚えてその札をプレゼントしよう。要らねえ。

てかやっぱノリツツコミをするAIはおかしいよな……あ、そうだ。

とりあえず名前を聞けば良いんだ。

なに、コイツが本当にバグで生まれたバグ仙人ならきつと『通りすがりのただの仙人だ。覚えておけ（キリツ）』くらいのことを言うだろ

う。

だが違えば普通に名前を言う筈だ。

「よし、掴みも上々だし自己紹介をしよう。俺は『隊長』、お前は？」
「隊長……って明らかに偽名ですよね!」

そんなツツコミの後、彼は名前を覚えてくれた。

名前は『善』、仙人の弟子(笑)だそうだ。名字はこつちが偽名使ったからって教えてくれない。

ケチだなあ……………ん？

ちよい待ち。善って名前で仙人の弟子……………なんかどつかで聞いたなあ……

思い出せないので師匠は誰か聞いた。

茨城華仙だってさ。まあ言い方違うけどこつちの方が分かりやすいしこつちで通す。

それにしても、善で茨城華仙の弟子……確かハーメルンだかなんだかの方でそんな小説が……

まさかとは思うけどコラボ編とかでありがちな異世界の穴が開く事件？

やべーなおい。

でもS A Oサーバには量子コンピュータがうんたらかんたらで異世界と繋がる可能性があるとかないとかって言ってたな。

良く分からんけど茅場って普通に凄いのか？

いや、とにかく今は札を押し付けるのが先決だな。てか難しい話は分からんし。

俺は札をオブジェクト化して取り出す。

そして善に手を出すよう求め、札を握らせる。

すると善は一瞬固まったようになって、すぐに札をしっかりと確認した。

もしかして心当たりがあるのか……

訪ねたらなんでこれがココに？と言われた。知らん。

「で、お前それに心当たりあるっぽいけどさ、それは使おうと暴走しちゃう札だぞ？クラスをバーサーカーにされちゃう札だぞ？物騒だなお

前…」

「クラス？バーサーカー？」

「こつちの話だ。気にすんな」

しまったコイツ一部のネタが効かない。

知らないっぽいぞ。

ちくせう。でも今のところ効かないと判明したのはf a t eネタだけだから問題ない。

きつと伝家の宝刀仮面ライダーはきつと通じるさ。何せ世界で活躍するワールドワイドなヒーローだもんな。

「で、一応この札、貰えるんですね？」

「フハハハハ！札が欲しければ説明を寄越してもらおうか！」

今度はR P Gにありがちな魔王の人質交換。

ちなみにここでイヤと言われたら全力で帰投して『全アイテムオブジェクト化』で回収する。

だが善はそれを察したのか教えてくれた。

いわくこの札は、善の知る限りでは『人をキョンシーにする札』だそうで。

そりや精神系状態異常を喰らうわな。キョンシーって死者だから理性が無いってことなんだろ。

で、実は善はこれを使ってもある程度理性を保てるみたいなんだ。ただ証明しろよ（威圧）ってやったら『使うとしばらく使えないからいざと言う時の為に取っておきたい』だそうで。

まああれだな、一度使うとクールタイムが必要なのは一部の強化フォームの常識だ。仕方ない。

俺と善の会話はこのあとしばらく終わりそうに無かったが、不意にアルフォースがこんなことを言った。

「なあ、とりあえずここで話すには長くなりそうだし、町に戻らね？それに運が良けりや道中で善がそれを使うのも見れるだろ？」

ってな。

アルフォースが言ったにしては結構な名案である。

道中、あれほど酷いモンスター地獄だもんな……あれに乗じて

使ってもらえりや万々歳だ。

「と、言う訳でレツツゴー」

「どう言う訳ですか!？」

そういう訳だ。俺もどういふ訳か分からないけど。

俺達は来た道に戻って行つた。

たださつきは休憩していたが実はここ、それほど長くないので一分と掛からずにボスが先ほどまでいたエリアの前に辿り着く。

そして意味もなく全力でエリアへと侵入する。

それにより、たまたま俺&善ペアとエフ子&アルフォースの間に1mほどの隙間が出来る。

すると、そこに透明な壁が現れてエフ子たちの動きを阻害した。

え?ちよい何?ホワイ?何が起きた?

俺の魂からの叫びは虚しく心の中に反響したが、その瞬間背後から何か落ちる音が反響した。

そこには……『七体』の先刻倒したボスによく似た敵が居た。

え?なにこれマジオワタ。

あれか?かやひこのせいかな?

おのれかやひこ!

【コラボ】 ヒツサツ！フルスロットル！マワール！

俺は七体のボスを見るなり、即座にネタを一時的にあまり重視しないことを決意した。

とりあえず今は勝って生き残るのが先決だもんな。

よし、じゃあ一撃虐殺クラッシュャーをかつて使っていたネタ武器、『墓石の剣』に入れ換えよう。

ちなみにこの剣、性能はガチなのだがどこがネタかと言うと…回転しながら斬っていると被害が甚大になるのだ。

何せコイツは片手剣のクセに打属性を持つ唯一の剣。攻撃力も一級品。

ただ正直一撃虐殺クラッシュャーの方が強いけど…相手が多いならこの方が良い。

まず狙うは月。

コイツら一体一体曜日が違うみたいだな。

ただ水のフィールド変化は消えてるっぽいけど。

とにかく月…一番左。

よし、殴るぜ！

「で、俺は何をすればよろしいので？」

あ、やべコイツ忘れてた。

どーしよー………とりあえず仕方ないからこの墓石の剣を貸してやろう。

俺は善に墓石の剣を渡し、武器を一撃虐殺クラッシュャーに切り替えた。

月を探し出してあらかじめ出しておいた投剣を足に突き刺してやる。

そしてここで一度距離を取ると…突進はまだ来ない。

だがたまたま水に接近したので一発喰らわせてやることにした。

ダルマ落としクラッシュユ！（ホームランクラッシュユスキル無し版）

このボスが小さくなっているのを利用して水を月に叩き付ける。

そして月が水と共に転んだのでグラビティ・ドライバーを何度も喰

らわせる。

他の曜日？善に集中してるよ。

いやー、実は墓石の剣つてさ、ヘイトを集めちゃうんだよねー。

だから善が敵を引き付けてくれてる間に俺はこいつらをひたすら殴る！

グラビティ・ドライバーの威力を嘗めるなあ！

俺のグラビティ・ドライバーは、ボスの体力を少しずつ削っていき、それはボスがどうにか復帰するまでに一本目の一割を削るまでに至った。

いや、まあ二体を重ねて喰らわせたからそんだけ削れたけど、このボーナスタイムの後はキツイなあ……………

せいぜい適当に：お、こりや良いもんめつけ。

俺はインベントリから手頃な槍を見付けると、即座に装備して善を襲っている金の背中に投げ付けた。

これはヘイト・アンド・ブラッドというネタ枠に入りそうに入らない極短槍。

なんと短剣より短いんだ。

で、なんでこんな武器がネタ枠に入らないかと言うと……

当てるとダメージ量に関係なく確実にヘイトを稼ぐし、稼いでいるヘイトの分一定量のHPを自動回復し続ける。

だから長期戦に強い。

あと実はここのボスの月モードの時は滅茶苦茶効く。

何せ転倒するまである程度貫通継続ダメージって物を与えるんだけど、そうするとしばらくすれぱとんでもないヘイトが稼げる。

そうなるるとどんな攻撃を喰らっても僅かな時間を見付けりや回復出来てしまう。

ただほんとにつまらない。だから使わない。

でも今回は投擲スキルで金に当てた理由はその回復のためじゃない。

そもそも投擲スキルじゃ貫通はさせられない。

だが、それでも俺にはクイックチェンジがある。

いやー、前に魅せ技の1つとして身に付けといて良かったよ。

俺はヘイト・アンド・ブラッドが金に当たると同時、装備をもう1つのヘイト・アンド・ブラッドに変更、投げた物はいでに回収する。そして回収したやつを近くで復帰していた水に投げ、金から回収したものを月へ。

すると三体のヘイトが俺に集まる。

するとどうなるか…

まず水は高圧水流ブレス。一度放つと方向を変えられないが射程はエリアの隅から隅まで。

あと突進×2。月と金の動きは多少似通うところがある。

で、金の突進速度は月より速いので多少距離が遠かった金は既に月と大体同じくらい遠くにいる。

あとは簡単だ。立体機動スキルでジャンプ、回避して突進2つとブレスをカチ合わせる。

それにより耐久の低い月は吹っ飛ばされるが、金は俺の真下で迎撃を試みようとしている。

だが甘い。

俺には体術スキルがあるのを忘れたか。

「[落山]」

本来は踏みつけた相手に強烈なダメージを与えるスキル…だがそのの本質は下方向への推進力。

加速する距離があれば十分えげつないダメージが出る。

「G…GYAA…」

おお、こりゃ結構効いたみたいだな。

いや、まあリスキーな突進カチ合わせブレス誘導なんてことをして大したダメージが入らないとかだったら泣くけど。

さて、HPバーは…おお、一本目が残り五割。流星ボスの攻撃。威力高いなあ。

「うわあああ!!!ちよっーなんで札が支えなあああい!!!」

うへえ。なんか今耳を背けたくなる物が聞こえた。

札が使えない?マジかよ。

確かアレだろ善って札を使える前提：いやさつきまでどうか四対一で持ちこたえてるからそうでも無いんだらうけど、札が使えなきや弱体化してね？

「ナズエツカエナインデイスカ!？」

とりあえず聞いてみよう。原因が分かれば解説出来るかもしれない。え？分からない？

………諦めろ。今はお前を見てる暇はねえ！

俺はクイックチェンジで再び武器を一撃虐殺クラッシュヤーに戻すと、バランス良く振っていなくもない敏捷ステータスを頼りに移動した後ろから金に一撃喰らわせる。

ただ反応されて逆に喰らいかけたがそれはノールックだったので外れた。

いやー、強いねー。

こうなりや俺の切り札使わざるを得ないかな？

いやまあ無くても勝てない訳じゃないけど……高確率で善が犠牲になるな………よし、アレを使おう。

再びインベントリを開く。

そしてそこから市場でたまたま見付けたレアアイテム『煙玉』を取り出して地面に投げる。

これは地面から2mくらいまでの所に濃密な煙を発生させるアイテム。

ただそれだとボスには通じないんだが……今回はボスが小さくなっているので問題ない。

それにより生じた煙幕は俺たちの視界ごとボスの視界を奪う。

なのでその隙にちよつと装備を変更する。

一撃虐殺クラッシュヤーを、NPC鍛冶屋に作ってもらって以来その名前に込められたある種のセンスに感動してしばらく使ってた“加速の力宿せし紅の破城鎚”、俺による勝手な愛称では“ブーストハンマー”に変える。

いや、このハンマーという訳か回れば回るほど威力が上がるんだよ………

具体的にはMHも真つ青の回転攻撃をするソードスキル『ハンマートルネード』なんて使おう物なら一撃でボスのHPバーを数ドット削れるくらいに。

しかも、実は俺のエクストラスキル群にはそれをしのぐ回転力を持つスキルが存在……あぶなっ。

今葉っぱカッター飛んできたぞ。当たったらどうするつもりだ。

あ、はい死にますよね分かります。

俺は地面に落ちた葉っぱカッターが巨大化しないことを利用して、仕返しに投げ返してやった。

それは木の顔面に命中して突き刺さり、なんと一本目が数%は削れた。

これ、破壊力えげつないな。

まあ投げてくれないと使えないがね。

あ、しかも怯んでら。ざまあ。

とりあえずその間に俺は回らせてもらうかな……『竜巻殺法』！

「ヒツサツ・フルスロットル！マワール！」

そのスキルを使用すると、俺の体は急速に回転を始めた。

このスキルは……名前から察せる通り、ひたすら回転するソードスキルである。

ちなみにこれは今の所俺だけが保有するエクストラスキル『不屈の鎚使い』（多分MHのスーパーアーマーの少なさとGEのパツとしな感じという名の環境に対する不屈って意味だろうが、いかんせん分りにくい）の八番目のソードスキルだ。

ひたすら回って攻撃し、とどめに強烈な一撃を与える。

ただしそれを外すと二秒動けない。そんなソードスキル。

ちなみにこれは回れば回るほど威力が上がっていく。

そしてブーストハンマーも回るほど威力が上がる。

なのでこの2つが組み合わさるとドンドン威力が上がっていくえげつない状況が完成するのだ。

だから隙だらけの日に当てると簡単に勝利出来る。

「えつちよつあぶなっ」

ただし、この技には弱点が存在する。

それは……：コントロールが出来ません（笑）。

しかも強化の倍率も10回転で1%。

で、秒間2回転かつハンマーとスキル2つの補正を合わせると一割増しにするに25秒ほど掛かる計算になる。

その上回転中はドライブ風に言うなら常時デッドヒートでバーストしてるので、近付けば仲間もフルボッコ。やべーな（爽やかスマイル）

今も現在進行形で善を巻き込みかけたし。

あ、でも火と土をついでに殴れたから収支はプラス1判定な？

「どんぎゃあー」

そして今度はスレッズレで善が避ける。

オラオラア！回転攻撃様のお通りだあ！つて言いたいけどまだ回転数は80が良いところ。

まだ16%だよ。

いや、一応は一秒間密着すれば二回殴れるから弱い訳じゃないけど。

それでもこういう物は補正を最大にしないと面白くない。

どうせ今のところこれの最大威力がいくつだか分からないから、ボスたちには実験犠牲となってもらおう。

あ、そうそう。

知ってるか？今言うことでは無いがよ、回転はな……：ロマンなんだよ。

そして数ではロマンに勝てない！つまり俺の勝ち！

insideアルフォースー

うわーい閉じ込められたよオワタ。

どうしよう。あの仙人の善くんだっけ？と……：名前聞いてねえ！

とりあえず隊長の野郎が何故か七体になったボスとバトツてるけど、どういう訳かさつきから隊長がバーサーカーしてる。

つてうわつ、今善にかすつてた。

ああもう、危なっかしくて見てられんよ。

とりあえずここは誰かに救援か解決策でも求めるか。

プレイヤーチャットでな。

ついでに名前も変えておくかね。

いつまでも名無しじゃ変だし、『無限の刹那（インフィニティ・モーメント）』とでもしておこう。

俺はプレイヤーチャットを起動、スレを建てた。

【安価】なんか16層でピンチだから助かるアイデアちよーだい。

『無限の刹那』さん、『ムツコロ星人』さん、『ピザが食いたかった』さん、『オタワ出身』さんが入室しました。

1. 無限の刹那

とりあえず状況説明。

16層岩壁に仲間連れられ来た⇒色々あって最近話題の仙人に会う⇒帰ろうとしてボスの居たエリア入る⇒ボスが七体だし仲間閉じ込められたし俺帰れない。助かる方法を転移結晶以外でよろ。

安価は20・

2. ムツコロ星人

1. 奇遇だな、俺もその岩壁で大勢のモンスターに囲まれて帰ってきたとこだ。

その仲間のやつ、場合によっちゃ俺より強いよな（笑）

3. オタワ出身

1. 仲間の奴はどうやって突破した？

4. 無限の刹那

3. 良く分からん技法で飛びながらクレイジーボム投げ落としてた。

まさに地獄絵図だったぞw

5. ピザが食いたかった

飛ぶとかありえん。

6. オタワ出身

5. 確かクイックチェンジでアニールブレードくらいのサイズの剣をタイミング良く入れ換えまくれば飛べるとか聞いたことあるけ

ど。

7. ムツコロ星人
4. そいつ人間じゃねえww
8. ピザが食いたかった
てか1.さんよ、何故そんな天然チートと一緒に居る？

9. 無限の刹那

前にバグモンムツコロしたら出たバーサーカー化する装備を仙人に押し付けに行った。見に来る？

10. ピザが食いたかった

9. 無理だわww

11. ムツコロ星人

10. だが残念、俺は今それをチャット片手に進んでる。
思考操作ってホント便利だよな。

12. ピザが食いたかった

11. お前人間？てかブーメラン乙ww

13. ムツコロ星人

12. 残念、ムツコロ星から来たムツコロ星人だ。

オレハmobラムツコロス！

ちなみに俺はそもそも人間じゃないのでブーメランにはならん！

14. オタワ出身

やめて！mobのHPはもう零よ！

15. 無限の刹那

ねえ知ってる？零ってさ、極限まで0に近いものの存在する数の事なんだって。

よっしゃもつとやったれwそして来てくれw

16. ムツコロ星人

15. 現在進行形で救援進んでる。

今のところマップでは六割進んだかなーってとこ。

17. 無限の刹那

16. THX

18. ピザが食いたかった

もうそろ安価だな。ドニ召喚

19・オタワ出身

ミクロの竜巻とバネ召喚

20・ムツコロ星人

閉じ込めている原因に触れて『我が手に宿りし漆黒の魔獣よ、今こそ盟約に従いて我が道を阻む全てを消し去れ!』と言ってみる。

21・ピザが食いたかった

ひたすら壁BANしてみる

22・ムツコロ星人

壁かなんかが薄いなら張り付いて突進技連打。たまに加速度最大の瞬間は判定が抜けるお。

まあ俺が行った方が早いけどな!

23・無限の刹那

今俺の目の前に小学生くらいの子がいる。だが20・をやれと?

いや、安価は絶対だったな………逝ってくるぜ。

24・ピザが食いたかった

1・イイイイイイ!!!

25・オタワ出身

1・イイイイイイイ!!!

26・ムツコロ星人

1・イイイイイイイ!!!

27・無限の刹那

おまいら叫びたいだけだろ!

とりまほんとに逝ってくる。これでどうにかならなかったらもうさつき書いてあった中に見付けたマトモな案を試してみるわ。

28・ムツコロ星人

27・マトモな案とかあった?

29・無限の刹那

28・お前が書いてたよな。(呆れ)

【無限の刹那】さんが退室しました。

30・オタワ出身

とりあえず俺らは1・の帰還まで駄弁つとる？

31・ムツコロ星人

スマソ。俺今から1・の場所へとギア上げて進むからちよい無理。

32・ピザが食いたかった

フアイトゝ

てか今更ながらチャットしつつ戦って大丈夫だったとかお前誰だ

よw

33・ムツコロ星人

攻略組の中でもトップの強さの人ですが？

34・ピザが食いたかった

33・そらつえーわ。

35・ムツコロ星人

んじや、バーイ。また後で。

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

36・オタワ出身

んじや、俺らはしばらく駄弁ろうぜゝ

37・ピザが食いたかった

駄弁るつたって何を？

38・オタワ出身

修学旅行の男子部屋における話題の定番で行こうか。

なお、その後このスレは後に参加した数名と二人によって埋められたため、続きのスレがいつの間にか建っていたのは後の話。

そのスレを覗いた時、アルフォースキくんはちよつと死にそうな顔をしてたんだって。

「コラボ」カットされるほど見るに耐えない戦闘。

主人公たちがボスを倒したあと黒の剣士さんがボスエリアに参上した時の事。

フハハハハハッ!!俺参上!

そんな声を轟かせながらボスエリアに突入した俺を待っていたのは、なんだと思う?

まあボスからの視線ではない。

もちろん、救援をスレで頼んでた奴(つぽいの)の視線でもない。あとよく分からん札を顔面に貼ってあーうー言ってる奴でもない。じゃあ何かかって?あ、とりあえず直接それを言ってしまうのは俺の精神ダメージかキツすぎるから言わない。

ただ、それを一言で表すのならこうだ。

やめろ…俺を…俺を…そんな純粹無垢な目で見るなあ!浄化されてしまっだ、ろう…(ガクッ)

お願いだから変なものを見るような目を向けないで?

そしてハンマー持ってあーうー言ってるやつをからかっている男の後ろに隠れないで?

お兄さん流石に傷付く……って隠れた男はあの時(調査隊の広域調査の時)の隊長やないかい(サボテン風)。

しかもよく見たら俺に盛大なダメージを与えに来てるあの子はエフ子ちゃん。

でも知ってる子だと理解したら逆にダメージが増したわ。

そして、なんかスレで救援頼んだっぽい奴に肩を叩かれ、同類を見るような視線を向けられたんだけどな…

そいつの格好は……完璧に厨二病患者ですありがたいがとうございまして。

その30分前のこと、ボスとの戦闘中にて。

むっ、なんか25分くらいでコイツらを倒さなきゃいけない気がする

てきた。

あれか、もしかして25分経ったらボスが合体して巨大ロボット（元々大きいしゴーレムという名のロボットだけどな）にでもなるというのか？

普段ならちよつと見てみたい気がしなくもないけど、今そんな事が起きれば即死間違いなしだからさっさと片付けさせてもらおう。

現在の回転時間は約5分。攻撃力は通常の約二倍と少し。

この攻撃力ならある程度動きを止めることが出来たなら倒すのは難しくない。

でもなあ…今こいつの動きを止めるのはキツいんだよなあ…………

狙いやすい日は金が常に一緒にいるし、火は周囲が微妙に燃えているから恒常ダメージが僅かにある。

木？水のやつで葉っぱカッターが強化されたら俺、すぐに死ぬよ？

そして月は格闘能力がえげつない。

土に至つちや今は上に飛べないので論外。

うーん、なんか逆転の秘策…………あ、そうだこうなりや善にバーサークしてもらおう。

バーサークとジェノサイドとかなにそれ世紀末？だけど。

「善、例の札使ってくれよー」

「無茶言わないでください!?俺今5vs1ですよ!?隙とか一切ないですからね!?そもそもこれ何故か使えないんですけど!」

いや、まあそりやそうだけど。

とりあえず隙を作ればいいんだろ。

使えない？気合いだよ気合い。（丸投げ）

さあ、俺の決断を言つてやる……………ジェノサイドの時間だ！

回転しながらゆつくりとボスの集団に近付いていく。

すると善はそれを恐れて離れ、ボスはそれに追従していく。

おい！それじゃヘイトとれないだろ！

え？恐ろしい？ほら、気合いだ気合い。

あ、ちなみに俺の姪っ子は大病が突然治った理由に『気合いと根性』とか言つてたしき、ほら待てゴルア！

…ちよつと待て、なんか今回転してる中でアルフォースがこことあつちを隔てるバリアに触れてなんかブツブツ言ってるように見えただけ。

しかも爆発音のおまけ付き。あれか、もしかしてかやひこがお遊びで厨二発言すると爆発を起こせるようにしてたとか？

だとしたら今回だけはナイスだぜかやひこ。善の動きが止まったから突撃出来る。

「WRYYYYYYYYYYYYYYY!!!」

奇声を挙げながら回転でボスたちを殴っていく。

その様子はさながら竜巻。

いやまあ、スキル名が竜巻殺法だからそう見えるのも自明の理だけどね？

とにかく俺は奇声と共にボスたちを殴りまくる。

秒間二回を複数ターゲットに喰らわせているため、星のカービィW iiにおいてランディアが分裂するとあつと言う間に体力が減っていくのと同じ原理で体力が簡単に削れていく。

そしてヘイトは稼ぎっぱなしなので攻撃されるが………月と金と日は物理だからレンジに入れた時には殴られてる、さらに木の攻撃は水を吸う前に殴ればどうにかなった。

空中迎撃余裕です。

さあ、この俺が隙を作ったんだし早いところ札を使いたまえよ善くん。使えなくてもどうにかしろよ善くん。

ちなみに今使わないとセーフティエリアでこれ喰らわせるけど………つてまだ使つてねえ。

「ほら、早く札使えよ」

「いや、今使えないんですよ!?!その理由分かります!?!」

え………もしかしてコイツこういう場合におけるテンプレ知らないの？

こんな時はとりあえず使う前に色々な動作を混ぜると良いんだよ。今考えたけど。

例えば仮面ライダーの変身時の動きをトレースしてみるとか。お

すすめはV3。でもオーソドックスに行くことやっぱBLACKとか1号だけど。

その件を説明してみる。
もちろん回転しながら。

だがその間にボスのHPが二本目突入してるのは秘密だ。

「その動きが分からないんですか」

あー、知らないのか。こういう時は便利なあの台詞に頼るしかないな。うん。

秘技・かくかくしかじか！

俺が使っても意味はない気がするけど使ってみよう。

って……………え？これで分かるの？しかも1号からBLACK—RXまで？

マジか。よし、ならばここは1号を。

腕を動かす時にタイミング良く顔に貼ればきつと使えるさー。

「ちなみにしつかりと声に出して『変身』と叫んだ方が良いかもな—」

「……………変身—」ベシイ

あ、あいつ叫んだついでに顔面引つ叩きおったぞw

でも札は貼り付いた。よし、これで勝つる！

俺はとりあえずここらで善の攻撃力を確認するために回転しながらHPバーを見ている事にした。

その間ひたすら移動しながら破壊と暴力を振り撒いていけば無駄にもならないしな。

「ハアツ—」

おつ、善の拳が土にクリーンヒット！

減ったのは……………0.01%削れてりや儲けものってくらいか。

いや、まあ俺みたいに手数とタゲ数という名のDPS底上げ法がある訳でもなく通常攻撃であれだけ削れるのはすごいのもかもしれないが。

とりあえず善のDPSが底上げされたところで俺も頑張ろう。

具体的には回転移動で多くの敵を巻き込む事をだ。

ちなみに俺のDPS（秒辺りのダメージ）は大体目標が最低三体か

ら、連続ヒットによるコンボ補整により三体目はほんの僅かに威力が
あがらない訳じゃないが計算から抜いて、なおかつ五秒毎に2%ずつ
上がる事を含めれば善の単純に30倍は下らないんじゃないかな？
ヒット数も含めたなら。

大体今のところ%計算では秒間0.3%くらい。つまり三秒で約
1%（なお、二本目のHPバーのみでの概算である）削れるという訳
だ。三本目も同じ分の体力であれば約300秒：5分あれば終わる
ぞ。

カップラーメンが二杯弱作れる時間だ。ちなみに俺はカップラー
メンの麺は若干硬いくらいが好き。

あれくらいだとベビース〇〇食ってるみたいで美味いんだよな…

これを前に知り合いに言ったらお前の味覚変だぞとか言われて若
干傷付いたけど。

と、とりあえずだ。

俺は回転をボスが倒れるまでやめたりしない。

例えば某銀色の巨人のごとく突然エネルギー切れになっても！

某加速する赤いライダーの青いフォームの必殺技のように制限時
間が来ても！

どこぞの厨二患者が子供に見られて恥ずかしさのあまり頭を抱え
て居ようとも！

決して回るのをやめはしない！

何故なら………今日が回ってて正直止まったら酔っぱらいみたい
になる自信があるから。

ちくしよー。誰だVRで回転すると目が回るようにしたやつ。

かやひこだな。よし、とりあえずかやひこいつかぶっ飛ばす。

………このあと滅茶苦茶回転した。

そして俺の全神経が全力全開な100%中の100%悲鳴をあげ
たのであった。

ー12分後ー

コングラッチュレーション！

何故かカタカナで空中にそんな文字が浮かんだ。

いや、まさかあのあと善の攻撃に以外な属性を見付けるとはなw
三回当てる度に強制的にノックバックとかw wチートだろw 少な
くとも札の説明欄には書いとらんぞw

とりあえずなんかそのノックバック属性は持ってたら色々面白そ
うなので回収しよう。

なに、善には正式な方法でアイテムを譲渡した訳じゃないからな。
まず顔面の札を持って…ふん!

俺は力を入れて善の顔の札を剥がそうとしたが、どうしてた外れな
い。

しかも何故か脳内ではDQにおける呪いのトラウマ音が繰り返し
再生されていた。

あれか、呪われていて外せないんだな。よし、聖者の灰持ってこい。
それかもしくは教会の神父連れてこい。

「あ、ヤバイ」

俺が外れない札をどうやって外すか思案していると、善は唐突にそ
う眩き、その次の瞬間背をピツと伸ばし、手を前に伸ばした。

俺は反射的に後ろに並び、同じポーズを試してみた。

完全に『前倣え』やん。なんだ、もしかしてお前定期的に前倣えを
しないと死ぬ体質だったりするの!?

あとさつきまで間接曲がってた筈なのにまるでそれが無いかのよ
うに背筋伸びてんな。どこぞのランドセルのCM出たら?

そう思って手を降ろし、話し掛けてみる。

だが善はまともな言葉で返さない。人外言語のようなものを話し
ているが聞こえない。てか分からない。

………ん?ちよつと待てよ?

確か怪談とかでよく聞くキョンシーってこれと一緒にじゃねえか?
関節曲がらねーし、人語喋らねーし。

あー、なんかこの状態見てたらおもしろえこと思い付けそうだぞ
………

ピコーン（外道の行いを思い付いた効果音）

案の定思い付いた。

まずはイタズラの定番中の定番、落書きからだ。

俺はメニューを操作し、そこから『達人の筆』というネタアイテムを取り出した。

これ、耐久度が設定されていないし自動的に墨が出るってアイテムなんだけど、取得条件が3日間武器を装備せず6層の迷宮区に引きこもるというめんどくさいものなんだが……マジ便利です。

これの墨、なんと色を変えられるしこっちで特殊な操作をしないと消えないんだよ。

だから寝ている間に落書きしてやれば消えないのさ（キリッ

今回はこれで全身に魔法陣書き込んでやろうと思う。

「うあー？うあうあー？（それ何ですか？）」

「善、イイモノやるから動くなよ？」

そういつて筆で顔にペイントをしようとする、善はジャンプ移動とは思えない機敏さで動き、俺の筆の届く距離から居なくなってしまう。

よろしい、ならば鬼ごっこだ。俺鬼な！

逃げる善に対し、俺は初手から一気に猛攻を仕掛けてみた。

「ストレス発……もとい正義の一撃を喰らえ！」

え？どこにも正義の要素が存在しない？

ワカラナイナ。ほら、だつて正義の味方だつて追跡しまくるだろ？それと同じだよ。

そう呟きながら全力で善に近付こうとする。

お、それにしてもどうでもいい会話の間に善は俺を近付けさせてくれたな……覚悟！

「来るなー!？」

「だが断る」ベチャ

俺はまず一発ペイントしてやった。

ついでに魔法陣の一部となる外側の線は今ので半分ほど書いた。

あとはのんびりとこれを書き込むだけだよ。

フツ……恨むならかやひこを恨むのだな……今回は何も悪くないけど。

どうやって書いたかって？

いや、SAOにおける絵画ってさ、状態がどうか関係無く自分の思った通りに書ける仕様なんだよ。

あれだね、きつとかやひこも絵が苦手なんだ。ちくしよー共通点とかいらねーけど同情しちゃまったじゃねーか。

このムシヤクシヤは……善に落書きをすることで発散させても
らうとしようか(笑)

【コラボ】魔法陣は左回りが原則なんだって。

俺が善の身体に落書きしようとして鬼ごっこをすること数分……突如このボスエリアに乱入者が現れた。

「俺、参上………つてもう終わってやがる！」

うわあ、いたたまれない。大方アルフォース辺りが救援要請して来たんだらうね。

そしたら俺と善によってボスはすでにやられていたと。

うわーすげーかわいいそー。

とりあえずここは肩に手を置いてこんな事でも言おうかな？

「ねえどんな気持ち？・ねえねえ、呼ばれたから来たけどすでにお呼びじゃなかった今、どんな気持ち？（笑）」

笑いながらNDK。とりあえずこれで気分をほぐしてもらおう。

つてうぴゃー!?

お願いだから肉投げないで！食材をスキルアシスト無しで投げたからって攻撃判定発生しないけど！地味にネチャツとして気持ち悪いんだぞ！キレるぞ！

ん？すでにキレてる？いやそうだけども、ほら、こういう時はこうしとくのがお約束なんだって。分かる？

とにかく。

食材…主に肉はやめ…つてこれA級食材。ならありがたくパクラせてもらうかな。

俺は乱入者の投げてくる食材をキャッチしてはストレージへ放り込む。

いやー、食材が大量ですねー。俺料理スキルないけど。

食材を取る意味が転売しかないけど。

いや、実際はとある謎のクエストをクリアするのに使うけどさ

……

でもありがたく頂戴するぜ。

「で、そこで食材を恵んでくれてる黒いやつ、お前誰？」

「………いや、キリトだよ！覚えてるだろ！調査隊で会っただろ！」

いやー、年を取ると記憶が曖昧でねー。(↑20代男性)

ん？ちよい待ち。そういやあの時の調査、こんなやつ居たよな。

キリト…キリト…あ、黒の剣士。

今思えばキリトって黒の剣士じゃん。よく分かんないけど。

てか黒の剣士ってww考えたやつちよい厨二入ってるだろww

あ、取り乱した取り乱した。今のオフレコでよろ。まあオフレコつ

てのは最初に言っとくのが常識だけど後出しだが頼むぜ。

それにしても、こいつなんか…善と同じ感じがするぞ？

見た目も違う、装備の質はまったく違う、武器？素手と二刀流だね。

それくらい違う二人なのに、どういう訳か微妙に共通点があるような気がする。

「つておいードサクサに紛れて消すなゴルア！」

そんな中ドサクサに紛れて俺の落書きを消そうとしていた善に一撃。

別に筆の能力の関係とそもそも腕が曲がらないせいで消えてはいないけど(理不尽にも)ムカついたのである程度書き足す。

うん、芸術的だ。適当に書いてるけど芸術的だ。

「あーあーうーあー(誰か剥がしてくださーい！)」

俺が自分で書いてるくせに良く分からん魔法陣を自画自賛していると、善が再び唸り始める。

フツ、貴様はそれを剥がして欲しいんだろうが、剥がしてやらんぜ

！

何せ面白いからな！みすみす面白いものを捨てるほど俺も馬鹿

……

「え？これ剥がせば良いのか？」ペリッ

俺は馬鹿じゃなかったけどキリトがバカだった。

剥がしやがったよこいつ。

てかヤバくね？これじゃ書きにくくね？逃走速度上がるし。

こうなりやここからは絡め手も使うかな。

俺は善に悟られぬよう向き直り、筆を持ち直す。

そうしたり筆を下段に構え、最速で筆を突き出し善に触れ、動かす。

すると善は不意を突かれたのか動けずにそれを喰らう。てか反応速度さつきより遅くね？

ああ、そういやあれ強化してたね。ならそれが外れた今お前は無力！

思う存分書かせてもらおうじゃないか！

「さあ、落書きの時間だっ！」

「カッコつけてるけど中身は酷いですよ!？」

んなもんテンションの問題だよ。あれだ、ドラクエでスーパーハイテンションの無心攻撃と通常状態の無心攻撃の威力が雲泥の差のように、テンションが高い方が運動には良いんだよ。

と、いう訳でハイテンションにレッツ& ゴー。

今のところ魔法陣は便利なシステムのおかげで約半分が書き終わった。これならあと二回で書き終わる。

「お、こりや戦いの予感………実況でもするかな。解説よろ。スレ主さん」

俺が無駄にあと何回で書けるかを計測していると、黒の剣士（プレイヤーネームは知ってるがこのネーミングセンスに敬意を表しあえてこう呼ばせてもらう）が実況を始めるとか言い出した。

解説は…アルフォースか。厨二翻訳での解説とかだと面白いだろうな。まあやってくれんだろうけど。

「あいあい…それじゃ、この良く分からん対決、解説はこの俺、右手の封印の人ことアルフォースと」

「実況の黒の剣士ことキリトでお送り致します」

あ、コイツノリ良いわ。これならきつと厨二解説もしてくれるだろう………なんかやる気沸いてきた。

よし、じゃあ今から善を耳なし方一のごとく全身魔法陣だらけにしてやろう。

俺は魔法陣の数を上方修正してから、立体機動スキルを活かし空中からの攻撃をしかけた。

Insideキリト

「赤コーナー、謎に包まれ過ぎてプレイヤーネームすら不明のあの人

！新進気鋭のエクストラスキルマスター！隊長ウウウウ!!!」

俺は突然飛び上がった隊長を尻目に一人適当な事を言っていた。そういやあのよく分からん奴の名前なんなんだろう。

俺名前聞いてないわ………あ、うんセンキュースレ主さん。

「青コーナー！これまた謎に包まれた男！札を着けたらキョンシーに変身！善!!!」

「さて、紹介も終わったらし実況に戻ろうな」

ひとしきりハイテンションに叫んでからスレ主さん：アルフォースさんの一言を合図に実況を始める。

お、青コーナー善！異様なまでに鋭い逃げ足で隊長を圧倒！何故か逃げ慣れている！一体何から逃げていたんだ!?美少女か!?美少女なのかああああ!?

ただし、実況がハイテンションじゃないとは一度も言っていない：分かるよな？

つまりどこまでもハイテンションに、ソウルフルに実況するのさ(キリッ)

あ、そうそう俺の隣ではアルフォースさんが解説をしながら『マジでリア充とか呪ってやりたい』と本音を漏らして居………

赤コーナー隊長！善の逃げ足の鋭さに負けず劣らず異様な動きで善を翻弄！もはや見てるこつちがてんやわんやだーっ！

「マトモに実況しようぜ？あと隊長、お前マジでマトモな動きしやがれ。解説する方の身にもなってくれよ」

さつきから本音がダダ漏れだぞアルフォースさん。

まあ面白いので放置するがw

あつ、赤コーナー隊長！善に一筆喰らわせたー！しかも恐るべきスピードで魔法陣を完成させて行っているぞ！

どうやっていいのかまったく分からないぜ！

「ああ、これはSAOのシステム上絵を書くときはイメージ通りに書けるんだよ。しかも異常なほど速くな。それにしてもあの軌道の中良く書けるよ」

「もつとで。」

お、今度は青コーナー善、隊長の落書きから逃れるべく前に動いた隊長は…これをジャンプで避けたぞ!? しかも空中で書くとかどうにかしてやがる!

いやそれ以前に普通あの高さのジャンプは……………

「ん? ああ、隊長のジャンプはな? エクストラスキルにあるらしい『立体機動』ってスキルの恩恵っぽいぜ?」

アルフォースさん、解説ありがとう。

だが普通前方にジャンプしながら落書きとか……………ギャグ補正なのか?

っておい! 俺の脳が追い付く前に今度は筆を投げるな! そして善! お前も軟体生物のような動きをするな! 逃げ足の適用範囲広すぎだろ!

その上善は善で何やら段々移動が速くなってきて余裕を持ち始めてるし……………

……………だが隊長の方が一枚上手だったあ! なんと回避軌道を読んで足を挟んだ!

「ああ、ガキの頃良く嫌いな奴にやったよなあれ。しかも意外とこの世界じゃ対人戦で有効なんだよ…これ豆な?」

アルフォースさん、アンタは知恵袋か? ヤホーなのか?

でも確かに足掛けは決闘で不意を付けばえげつない効果がある。

何せ転ばせてマウント取ってオラオラすれば良いんだから。

俺も一回やってみたことあるなあ……………具体的には突然現れて決闘しろ決闘しろうるさい謎の男に。

俺の場合は……………って隊長ザアン!? ナズエホトンドカンセイサセテルンデイスカ!?

すまん、発音が崩れた。だが隊長よ、お前の描画速度はおかしい。普通筆をあんなに速く動かしたら歪むよな! その色んな意味で歪みねえ姿、尊敬を通り越して呆れるぜ。

「普通は呆れが通り越されるがまあ、相手がアイツなら仕方ないよな」

そりやそうだね……まあ、隊長があんな状態を作り上げちやつたし、善の勝利は絶望的という言葉すら生ぬるいほどに負け確なんでも実況はこれで終わりで良いよな？てか俺の胃がストレスでマツハなんでも終わるぞ。

答えは聞いてない！

ん？今どつかで紫色の銃使いライダーの台詞を言ってる奴が居た気がするんだけどさ、気のせい？

あつそう。気のせいですかそうですか。ならばあえて答えようじゃないか……

「答えを聞けえっ！」ベトツ

そう叫びながら無意味に筆を振り回す。

するとそれは奇跡的に善に命中して……塗ってなかった部分を真っ黒に塗り潰しちった☆（テヘペロ）

「いや、ちった☆じゃねえよちった☆じゃ。明らかに確信犯じゃねえか。答えを聞けって答え（物理。ファイナルアンサー的）とかふざけんなあ！」

はい、突っ込みごころうさんアルフォースくん。

とりあえず解説のお礼に君にも魔法陣を書いてあげよう。ほら、苦労人仲間じゃん？（失敗への八つ当たり）さあ、俺の判決を言い渡すぜ……全身梵字の刑じゃあつ！どこぞの方一風にしてやらあ！

【コラボ最終回】やはりアイツが真面目にやるなんてありえなかった。

「んで、よくわからん落書き？も終わったけどさ、今更だけどうやって帰るんだ？」

善とアルフォースを全身真っ黒にしてから数分。

俺の被害（なのか？）から逃れるべく動いていたキリトから不意にそんな言葉が発せられた。

「つかどうやって何も……壁を走り天井を走り空を走り自分の道突き進む俺と言う名のルールに従い壁伝いに帰るだけだろ。」

「いや、それだと無理じゃないか？立体機動スキルはアンタしか持つてない筈だろ」

それが出来るんだなあ。

これを見たまえよこれを。

俺はそうやってメニューを操作し、いつの間にか得ていた例のボスからのドロップを見せ付ける。

そう、これは最前線以外のプレイヤーには縁の無い品……他の結晶系の中ではかなり安いけど使い道の少ないコレの名は……『回廊結晶』。

一度特定の場所を登録して別の場所で使用すると一度だけその場所に行くゲートを出せる。

持続時間は五分間。なお価格は500000コル。これ一個売れば大体20000ちよつとの値段になるから生活費的には美味しい。

んで、なんとこれが7つもストレージにあるのだ。

わざわざ7つ全部をオブジェクト化して見せ付ける。

いやー、俺がああのボスに慣れていたのって、例の竜巻殺法を活かしたくて戦ってただけじゃなくて、これをドロップするからなんだよねー。

普通は最低でも2パーティ以上で狩るから基本1/14になるけどソロなんでウハウハつすわ。

んで、今回は経験値とコルについては合計でそのままになったんだけど、なんとドロップは七倍。

まああのボス、無駄に強い割に今の所これしかドロップしないんだよね。

そのお陰か俺が行くと何時でもリポップ済みですぐ戦えたのは良い思い出。

「いや、ここで必要なのは転移結晶…いやもしかして隊長さん、アンタ……………」

うん、俺がまず壁を走って全力で敵を避けて行くつもりですが？
んで、回廊結晶の登録を済ませたら戻ってきて帰宅。

どうよこれ？天才的じゃね？

「バカと天才は紙一重って本当だったんだな」

ありがとう。誉めてくれるんだなアルフォースくん。

お前の事は一生忘れないぜ。

「ナチュラルにフラグを建ててるなフラグを！」

「フラグってなんですか？」

おいコラ、エフ子に変な事を教えるなよ(↑盛大にブーメラン)。次やったらお前の全身にラテン語の旧訳聖書の内容を書き写すぞ。

「いや、良く覚えてるよなお前。普通ラテン語とか読めない……………と
ころでそれを覚えた理由は？」

人を小馬鹿にするときに聖書の内容を引っ張り出してまったく関係ない意識をするためです！(自白)

ちなみに梵字を書けるのもその一貫な？

「マスター、ラテン語ってなんですか？」

エフ子、知らぬが仏って言葉知ってるかい？

世の中には知らない方が良い事が沢山あるのさ……………ちなみにネ
タは沢山知ってた方が良くぞ。毎日が楽しくなる。

俺はエフ子にそう言った。

そしてそんな俺の素晴らしい格言に訳の分からないツツコミを入れようとする善の口にチョコチップクッキーをブチ込み、とりあえず
某バズでライトでイヤーなあの人のごとき台詞と共に(クイツクチエ

ンジによる裏技で）飛んで行こうとすると、エフ子に服を掴まれた。あれ？なんか俺悪い事した？それともアルフォースくん辺りに唆された？とりあえずアルフォースくんは後で全身を使ってモナリザを再現する刑な。ただし墨でやるから真っ黒になるぞ。

「あの……………」

まあとにかくエフ子の台詞は待とうじゃないか。でもアルフォースくんの処遇は変えないけど。圏内に戻ったら執行します。

「…私にもクッキー下さい！」

……………なんだかほっこりしたのでストレージのレーズンクッキーをあげた。

―成年飛行中―

「ポチツとな……………あ、あのクレープ美味そう」

街の入り口で回廊結晶の送り先を決定し、再び岩壁周辺まで戻ろうとしたとき、少しだけ並んで居るが美味そうなクレープ屋を見付け、並ぶ事にした。しかし……………

「はい、3000コルです」

店員のお姉さんからクレープを受け取るまでに、なんと20分も掛かってしまったのだ。

「了解……………ってやべっ」

しかも完全に岩壁を忘れてた。

怒られるだろうなーとか思いながら再び空中を通過して帰投。

なんか地上の敵がちよっと減ったけど分からないのでとりあえず結晶使おう。

―成年帰投中―

「で、どんな言い訳をするつもりで？…え？」

「まったくもって身に覚えがございません」

なんか帰ってくるなりアルフォースくんに詰問されたのでしれつと流す。

仕方ないじゃない。美味そうだったんだもの。流星の俺も三大欲求には逆らえないよ。

「だったらせめて俺たちの分も買って来いよ!？」

「あ、てかその店の名前なんだったんスか？」

「ん？確か店名は『無言のクレープ』で店員のお姉さんがルリって名前の……」

俺の話を受けええ!!

とうるさいアルフォースくんを無視してキリトに店の説明をした。

「そーいやあんなやつどっかに居たよな……ああプレイヤーチャットか。」

【無言の腹パン】はもう色々デユエツてるんだなあ。名前とか名前とか名前とか。

「おや？キリトがメニューを操作しているぞ？何をしているんだか。」

と、思いきや取り出したのは転移結晶。

「オイオイまさかそれを使って帰るつもりじゃねえよな……」

「マジですか……転移、ランターナー！」

「帰りやがったよアイツ。」

「チクショウ。トッププレイヤーなのを良いことにいつ。」

「いや、転移結晶は売ってないから」

「アルフォースよ、そういうのは言わぬが仏と言ってだぬ……」

「まあ手遅れだけだな。とりあえずここはコイツに精神的ダメージをプレゼントしてやろうか。エフ子、G……」

「アルフォースさん、そういうのは言わない方が良いんですよ？」

「あ、呼ぶ前から居たのね。でもナイス。最高にタイミング良いよ。」

「HHHHHHHA、どうだ幼女の『変な人を見る目』攻撃の威力は！」

「隊長さん、あなたって人は……このド鬼畜ド外道！」

「そーいやキョンシーって死体だよな。って事は死体は墓場へ……」

「なんかテンション上がってる時に話し掛けられてちよつとイラッとしたので不条理にも適当な事を言っちゃった。」

すると善は絶叫しながらどこかへと走り去って行った。

「あ……そっち、例の仙人部屋だぜ……？」

「まあ良いか。どうせアイツバグってるとはいえ多分NPCだし。」

あとギャグ補正があげつないレベルで入ってるし。

ほいじゃ、さつさと回廊結晶で帰りますかね。

メニユーから例の回廊結晶を取り出し、使用する。

すると目の前にゲートが出現したのでそれを潜り、街へと帰還した。

善？いや、アイツなら多分帰るだろ。

俺適当に魔法陣書いたけどそこにリレミトって何回か入れたもん。

きつと帰れるさ！（どこにとは言っていないしカタカナで入れたから意味があるとは限らない）

ーとあるスレにて、210レスからー

『おまいらの体験したイラツと来る体験教えてくれww』

【仙人の弟子】さんが入室しました。

210. 仙人の弟子

いきなりですまないけど割とマジで今イラツと来る体験したから

書いてOK？

211. 名無しさんじゆうはっさい

210. ちよーどえーわw書いてくれ

213. ブラック名無しさん

それにしてもこのスレ初の名無し系以外だな。

214. 名無しは永遠に

213. せやな、なんかネタに溢れてそうだ。

215. 仙人の弟子

んじゃ、このチャットつてやつに慣れてないから略語とかそういうの分かりませんが、以下さつきあったものまとめ。

俺、遭難してたのを助けられる。

俺、その男と一緒に強敵と戦う。

俺、置いてかれた。

216. 名無しさんじゆうはっさい

215. 二つ目と三つ目の間なにがあったww

217. ブラック名無しさん

置いてった奴誰だww

218. 名無しは永遠に

こりやおもしろい事になるかもしれないな。wktk。

219. 仙人の弟子

wktkって？

220. 名無しさんじゅうはっさい

219. わくわく、てかてか。つまり期待してるってこと。

ちなみに、前の数字はレス（書き込んだもの）の番号で、
が付けてればそれに対する反応ってこと。

221. 仙人の弟子

220. ありがとう。使い方はこれで大丈夫？

あと二つ目と三つ目の間に、その男（以下、変人）が敵の大軍をおかしい方向性で突破して回廊結晶？で逃げるために頑張ってたと思いきや、クレープ買った。ってのがある。

222. 名無しは永遠に

221. そいつ結構な猛者だな。てか何故に変人？kws k。

223. 名無しさんじゅうはっさい

222. スラングはあんま使わんでおけ。

221. 使い方は間違ってる。あとkws kは詳しくの意な。

224. 仙人の弟子

222. 変人の戦い方がおかしいから。色々滅茶苦茶な動きをして戦ってたと思いきや突然ハンマーを持って回転し始めた。

225. ブラック名無しさん

回転……だと……

226. 名無しは永遠に

それはな、それはな……

227. 名無しさんじゅうはっさい

永遠の、男のロマンなんだよお！

228. 仙人の弟子

225、226、227. 打ち合わせでもしてるんですか!?

229. 名無しは永遠に

していない。ただ自分の魂に従っただけ。

230・名無しさんじゅうはっさい

つーかそれは置いといても、回転しながら戦うとか何奴。それよかその滅茶苦茶な動きってどんな？ k w s k。

231・仙人の弟子

了解です。ざっと思い付くだけでこんな感じ。

・突然短剣？を投げては良く分からない方法で回収しては投げ回収しては投げを繰り返す。

・よく分からないが飛ぶ。

232・ブラック名無しさん

前者はともかく後者は何事じゃw

飛ぶとか出来んのかw

233・仙人の弟子

あ、2つ目の方はなんか高速で剣が点滅してるように見えた。

234・名無しさんじゅうはっさい

ん？もしかしてそれ、クイックチェンジのモーションで無理矢理落下ダメを消す荒業の進化系か？1つ目からしてクイックチェンジは持ってるっぽいし。

235・名無しは永遠に

234・荒業ってなんだ？俺そんなの聞いてない。

236・名無しさんじゅうはっさい

235・クイックチェンジの時に固定された動きで一瞬僅かに浮けるパターンがあんだけど、それを何回か繰り返すと高いところから落ちても死なないって裏技。正直落ちながらそれやるのキツイよ？

237・名無しは永遠に

って事は例の変人、秒間16どころじゃない連射速度じゃね？

238・ブラック名無しさん

そいつあすげえや。

俺なんて回収の裏技が精一杯だぞ。

239・仙人の弟子

わけがわからなそxんsあまんlfなおあhsk

【仙人の弟子】さんが（色々な意味で）退室しました。

240. 名無しさんじゅうはっさい

239. ウウウウウウ!!!

241. ブラック名無しさん

な、何が起きたのか皆目検討も付かないぜ。ただ、これだけは分かる。こいつぁイタズラや荒しなんてチャチなもんじゃねえ、マジモンの怪奇現象だぞ……

242. 名無しは永遠に

なんか今、239.の事を考えてたら涙が出てきた。突然現れたピंक頭に理不尽に首根っこを掴まれる光景が見えたよ。

243. 名無しさんじゅうはっさい

ここに千里眼持ちが居るな。

244. 名無しは永遠に

残念、三里が限界だ。

245. 名無しさんじゅうはっさい

244. 使えるのかよw

いつの間にか例の場所に現れた某BBAによって連れ去られた【仙人の弟子】こと善をよそに、三人の下らないおしゃべりは続く。

ちなみにその後、この名無し三人組は【仙人の弟子】と言うプレイヤーと出会ったこのスレを切っ掛けにプレイヤーチャットにおいて新参者たちから『説明の神』『例のあの方々』『ある意味初心者泣かせ』と呼ばれたりするのだが……それはまだ先の話であり、その上本（メメターアーにはきつと関わりのない話……

【外伝】俺氏、隠しエリア？から出られない（；ω
；）

例の岩壁で起きた事件を俺が完璧に、パーフェクトに解決した翌日、何やら異常なほど金が有り余っていたので1日ダラツとすることを決めた俺氏。

いつぞダラツとする日はチャットの方でも名前変えようかねえ。

龍騎ネタはもう使ったから、ファイズ：は思い付かないのでブレイドにしよう。流石の安定感だ。

まるで実家のようだな

なんで強調したのかって？

いや、理由なんてないさ。ただそこでそれを強調しろと俺の魂が囁いたんだ。

それはさておき、とにかくプレイヤーチャットをしようか。

【悲報】俺氏、隠しエリアから出られない（；ω；）

おし、面白そうだな…入るか。

【このスレッドは特定ギルドのメンバーしか入室出来ません】
うそーん。

まあ、面白そうだから読むけどさー。

誰だろうねえ。隠しエリアに入って出られないやつあ。

過去ログから見てくかな。

【某蜂蜜熊】さん、【紙袋の人】さん、【あなたの背後に居ます】さんが入室しました。

1. 某蜂蜜熊

隠しエリアから出られない哀れな俺氏に誰かアイディアちよーだい。
い。

2. 紙袋の人

あんま人集まってねーな。

3. あなたの背後に居ます

2・まあ、仕方ないっしょ。ギルド限定だしウチ誰もここ使わない

し。俺らが見てて良かったと思いなよ、ボス。

4. 某蜂蜜熊

3. とりあえず帰ったらここ産のA級食材をやろう。

5. あなたの背後に居ます

やったー。んで、隠しエリアってどんなところ？情報ちよーだい。

6. 某蜂蜜熊

5. おk。以下概要。

なんかよー分からんけどアインクラッドのどこの層でも無いっぽい。

やたらと強い敵。俺でも100lvまであつという間だった。

よー分からんけど中央？に黒い物体が浮いとる。

7. 紙袋の人

6. なるほど分からん。

8. あなたの背後に居ます

6. そどこじやwどうやって行つたw

9. 某蜂蜜熊

信じられんと思うが聞かおまいら。

10. 紙袋の人

俺はボスが何を書くか分かるぞ。

『答えは聞いてない！』だろ？

11. 某蜂蜜熊

答えは聞いてない！

12. あなたの背後に居ます

11. あっ……………(笑)

13. 某蜂蜜熊

12. 笑うなあああ！

14. 紙袋の人

それじゃ、とにかく話せよボス。

15. 某蜂蜜熊

お前らガチで殺しにくぞ……………まあいい。

これはつい先日なんだが、プレイヤーチャット起動して部屋の人達

と会話しとつたら気付いたときにはここにいた。どうやって来たかはまったく分からん。

16. 紙袋の人

明日からプレイヤーチヤットして寝落ちするのやめよ。

17. あなたの背後に居ます

16. おいお前、張り込みの時寝てたのそれが原因だなw

18. 紙袋の人

17. スマソ

19. 某蜂蜜熊

そういう17.もだけどな。

一緒に行った時完全に寝てたよな。弁解は？

20. あなたの背後に居ます

19. ございません。

21. 某蜂蜜熊

とにかく誰かヤケに強い敵ばつかのここから俺を助け出す方法考えてくれ頼む。ずっと警戒すんの辛い。

22. 紙袋の人

んじや、一旦俺別スレで安価してくる。

23. あなたの背後に居ます

22. おk。あんま詳しく言うなよ？

24. 紙袋の人

23. わーつてるよバカ。

25. あなたの背後に居ます

24. そういうお前は火力信者だよな。お前の鈍さと紙装甲のせいで俺がどれだけ苦労してると思う？答えろよ。

26. 某蜂蜜熊

25. 一般的なタンクの数倍。

27. 紙袋の人

25. 一般的なタンクと同じくらい。

28. あなたの背後に居ます

リーダーの正解。頼むからもうちょっと敏捷に振ってよ？

29・紙袋の人

だが断るウ！

30・某蜂蜜熊

29・お前、俺が帰ったらデュエルしようぜ。

31・あなたの背後に居ます

デュエツ！

32・紙袋の人

30・リーダーとのデュエルは死しか訪れないんで良いです。

33・某蜂蜜熊

32・じゃ、ちょっとは敏捷に振れよ？

34・紙袋の人

33・サーイエツサー！

そして行ってくるぜ！

【紙袋の人】が退室しました。

35・某蜂蜜熊

31・今すぐかやひこにGMコール。プレイヤーチャットの記事が一部おかしいぞ。

残念、これは仕様さ。このカーディナル様のな！

36・あなたの背後に居ます

35・了解リーダー。かやひこには既にコールしたぜ。

37・某蜂蜜熊

んじや、コイツが消えるまでここで34・を待ってしよう。

38・あなたの背後に居ます

おk

ふむふむ、どうやら某ラフコフのリーダーは隠しエリア？に突入したらしいな。

しっかし、レベル高いつて言えばどれくらい高いんだ？

とりあえずラフコフリーダーでも高いと感じるなら…レベルは90からか？

うわっ、強っ。俺まだそんなにレベル高くないよ？
でも行きたいな。

あ、さつき安価するとか言ってたっけ？

とりあえずそこに参加しておくかね。面白そうだし。どこにあるかな。

お、これか？『【安価】絶対絶命なんで助かる方法教えてくれ』。

なんか捻りが無いな……いや、俺にもアイディアは無いけど。

ただこれで集まる奴なんて……

【紙袋の人】さん、【ハブラレンゲル】さん、【ムツコロ星人】さん、【(0W0)】さんが入室しました。

1. 紙袋の人

こん中に強敵だらけの不人気エリアに転移結晶とか持たず補充不能で行って帰れない場合の対応策とか分かる奴居る？

安価は・20

2. ムツコロ星人

いきなり本筋から外れてすまないが1つ言わせてくれ。

部屋の3/4がブレイドネタってどういう事だよ!?

3. (0W0)

2. ヴェエイ(気にするなよ)

ウェイ!ウェイウェイ!(っーか、気にしたら負けだ)

4. ハブラレンゲル

2. ナズエゾンナコトヲキグンデイスカ……

5. 紙袋の人

2. が言ってることが良く分からん。

6. ムツコロ星人

5. 安心しな、俺もさ。

7. (0W0)

まあ、そんなことを気にしたって意味ないじゃないか。ほら、駄弁ろうぜ。

8. ハブラレンゲル

絶対に俺はハブるなよ?

- 9・紙袋の人
- 8・それはハブレというメッセージと受け取って良いんだな？
- 10・ハブラレンゲル
- 9・俺俺。今、お前と同じ城に居るよ？
- 11・(OWO)
- 10・それアインクラッドじゃねえか！
- 12・ムッコロ星人
- 10・それアインクラッドじゃねえか！
- 13・ハブラレンゲル
- 11、12・お前らの仲の良さに嫉妬せざるを得ない。
- 14・紙袋の人
- 13・ドンマイw
- 15・ハブラレンゲル
- 14・あ、もしも俺。今お前の近くに居るの。
- 16・紙袋の人
- アイエエエエ!? 15・:15・ナンデ!?
- 17・ハブラレンゲル
- ドーモ||16・||サン。 17・||DEATH。
- 18・ムッコロ星人
- とりあえず逃げて戦いながら少しずつ街へ近付く。
- 19・ハブラレンゲル
- その場で逆立ちして縦に三回転し、縦回転で加速して逃げる。
- 20・(OWO)
- m o bさんに助けてとお願いしてみる。
- 21・ハブラレンゲル
- とりあえずその場で紫色のm o bににゃんぱすしてみる。
- 22・ムッコロ星人
- とにかく無心でごみいと謝り続ける。
- 23・(OWO)
- ショーターイ！

24. 紙袋の人

……1つ言っていい？

25. ハブラレンゲル

お断りいたします

26. (OWO)

喋らせるとでも思っていたのか……？

27. ムツコロ星人

ハッ、それはお前の思い込みさ。

28. 紙袋の人

26、27・お前らのその連携は兄弟疑惑がついてもおかしくないな。

じゃなくて、1つ言うぜ、ネタに走りすぎい！

29. ハブラレンゲル

28・ごめん、知ってた。

30. ムツコロ星人

28・まあ、俺らにそんなマジな回答を求めんなよ。

31. (OWO)

28・さん、ハイっ！

32. 紙袋の人

29、30・オンドウルラギツタンディスク!?

33. (OWO)

32・おいテメエ、俺の見せ場取ってんじゃねえよ、ああん？

34. ムツコロ星人

テノヒラクルー

35. ハブラレンゲル

33・お前の手のひら返しは90点だっ！

おまけに完璧なコンボだ！

36. 紙袋の人

(俺が)フルボッコだドン！

37. ムツコロ星人

よし、ここで1つ言わせてもらおうぜ……もう一回遊べるドン！

38・ハブラレンゲル

もう惨回？歳を取ると耳が遠くなつてね……………

39・(owo)

32・ドンマイw

40・紙袋の人

39・お前に言われても嬉しくないやい。

ーおまけ・その後のpohさんたちー

135・某蜂蜜熊

にしてもさ、アイツ遅くね？

136・あなたの後ろに居ます

135・ちよつと偵察してこようか？

137・某蜂蜜熊

136・いや、せんでええで。

138・あなたの後ろに居ます

137・突然のキバオウ語に草不可避ww

139・某蜂蜜熊

キバオウ語って何よ？

140・あなたの後ろに居ます

139・

元攻略組でサボテンの化身で先祖はサボテンで何百年に一度の天才サボテンであるキバオウが使う言葉。

またの名を関西弁とも言う。

141・某蜂蜜熊

140・キバオウ？なにそれ美味しいの？

142・あなたの後ろに居ます

141・時々暗殺依頼ボックスに投函されてるよ？

143・某蜂蜜熊

そんな有名なのか。

144・あなたの後ろに居ます

悪い意味で。とてつもないビーター嫌いで下層のプレイヤーから

税と称した略奪を行っていたんだよ。

145. 某蜂蜜熊

144. いたってなんだよいたって。

146. あなたの後ろに居ます

145. その後黒の剣士○に殴られて改心し、今ではなんとメサポテンです。

147. 某蜂蜜熊

146. サポテンとか美味しいのか？

148. あなたの後ろに居ます

147. 知らん。

フラグメントなホロウさんたちもプレイヤーチャットを楽しんでる件。

【病気】なんか無性に叫びたい【全力全開】

あれからしばらく経った。

……いや、まあまだ例のバグ騒ぎから1週間も経過してないけど。

そんなこんなで1週間足らずが経過した本日、俺は思い出したように前にハイライトを消すクツキーをくれた男に礼を言うために会いに行く事にした。

メリケンサック&指貫グローブで素手バトルをしてみたい気分だったのも多分ある。

「エフ子ー、出掛けるぞー」

「はい」

現在は7時。ここから転移門使って行くなら寄り道して朝食を摂っても八時には辿り着けそうな時間だ。

ならば飯を食わずにはいられない……

ここで活躍するのが通称『アルゴの食べ歩きガイド』もう正式名称とか知らなくてもなんとなく分かるだろう、情報屋発行のグルメ雑誌だ。

ちなみに版元のアルゴが出版しているのは『アルゴ新聞』、『アルゴの攻略本(コイツは最前線以外は無料)』、『アルゴのおすすめ宿』、『アルゴ式ギルドのすすめ』など……もう色々出てて訳わからんくらいになってる。

ちなみにその出版は基本アルゴがマスターをやってる(リーダーなのにマスターと自称しているようだ)ギルド「ネズミブックス」のメンバーが行っている。

なんとアルゴはネタを取ってきて……なんか長くなりそうだし今すぐくエフ子からの『早く朝ごはん食べに行きましょうよ!』と訴えかける姪っ子そっくりな視線が痛いので割愛。いつか説明しよう。

あ、ちなみに俺がアルゴを名前呼びするのは『アルゴの観光100選』で俺のゴンドラによる4層での船旅が選ばれたからだつたりする。

さてと、今月のアルゴの食べ歩きガイドは……ふむ、70層で味覚エンジンが奇跡的な反応を示し驚異的な美味さを叩き出したサンドイツ……ただし2セット買うとなると1000コル。結構高い。

まあそんだけ美味しいなら良いか。それほどでも無かったら告訴も辞さないが。

「こりや噂通りだな」

結論。速い（味の割りに）安い美味しいは正義。

なんだろ、現実のやつより遥かに美味しい気がする。

なんかいずれこの味をリアルで再現してみたいよな……

「幸せですね、マスター」

それには激しく同意……あ、このエフ子の表情は一部のマニアが欲しがりそうな感じだな。なんかすげえこっちもほっこりしてくる。

とりまこの表情をスクショスクショ。今日持つていく先で何かと物々交換しよう。

それにしても、1000コルの出費は意外と簡単に回収出来そうだな……主にスクショが一部のマニアにとってとんでもない価値になりそうな意味で。

俺でもほっこりした位だし、一部のマニアの方はちよつと良い値段で買ってくれるかもな。

最近のSAOには綺麗なスクショを撮ってそれを売る奴等も居るとか居ないとか聞いたし。エフ子のスクショは綺麗と言うより癒され系だろうがな。俺が浄化されちまう……とでも思ったか。

俺は浄化しきれねえよ。何故かって？俺だからさ。

Isidreある商人

今日も元気だちびっこ可愛い。

「マスターの変態性にはいつも驚かされますね」

なんだよシロ。もしかしていまだに名前をどっからどう見ても犬にしか見えないものにした事を起こってる？

でも残念、怒って頬を膨らませても俺を喜ばせるだけだぜ？

何せ俺は罵倒されるのと12歳以下の女兒……平たく言えば幼女が大好きだからね。ちなみに最近はヤンデレってのも流行ってます。

だから明らかに見た目が幼女なシロが怒ったところで怖くないのさ！むしろ蹴って！踏んで！罵って！

「なにこの人怖い」

ああっ！それだっ！

もつとだもつと！俺を罵倒しろおおおおお!!!

ピコーン

んあ？なんだよ、めっちゃエキサイティングしてるときにKYなメール送るやつ……………

うんうん、『隊長だぜ。約束のスクショ撮ったから届けに来た。ブツは忘れんな』

お、隊長って事は前にハイライトを消失させる特殊配合のクッキーをあげた彼か。

うおー、楽しみだー。

彼がタイムした……………エフ子ちゃんには絶対ヤンデレの素質がある。良く分からない素質だけど絶対にある。

だから貴重なメリケンサックと指貫グローブまで渡す事にした……………

「おまわりさーん、こいつです」

あ、お願いだから通報だけはやめてね？君の見た目的に俺が社会的に殺されちゃう。

……………とにかく彼との約束の場所までレッツゴーだ俺。おまわりさんが来る前に。

俺は宿のドアに近付き、急いで脱出しようとしてそれを開けた。

するとドアの前に居たのは……………

「ハイ、あんちゃん未成年者暴行の疑いで署まで同行願うよー」

警察のコスプレをした奴だよチクシヨウ!

怖くてうっかりドアを閉めちゃったじゃないか!

しかも子連れだ!おい親!俺とどっこいどっこいの変人じゃねえか!

「うん、マスターに勝る変人なんて居ないと思ったのだけど」

デスヨネー。

まあとにかくコスプレイヤーさんにはお帰り願おうじゃないか。

再びドアを開けた。

「はいお兄さん?これ逮捕状ね?今から罪……」 ガチャツ

……ふう。

なんだろ。今ものっせいこの理不尽な状況への怒りを叫びたい。

だがここで叫んでもただの変人だ……キチガイだ……俺は

真つ当な人間でありたいのに……

「マスター、ダウト」

シロ、貴様にはいつかあの好感度上昇ジュースを飲ませてやる

……絶対のだ!

てか余計にイライラするぜ!ムシヤクシヤするぜ!叫びてえ!

ガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガ
チャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガ
チャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガ
チャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガ
チャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガ
チャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガチャガ
うわああああああああああああ!!?

l s i d e 我らが隊長ー

よつ、お前らの隊長だぜつ。

なんの隊長だか良く分からねーがまあ、きつと聖なる探索の隊だ
ろ。

いやでも聖なる探索の隊なら今から訪れる場所に来る商人くん
の方が隊長だな。

ちなみに俺は空中浮遊隊の隊長です。

「聖なる探索って、なんですか?」

エフ子は知らなくても良いんだ。

てか逆にこれは言えねーわ。数多くの禁句を喋り、ニコニコに○イ○ニー関係の画像を使用した動画をふざけて投稿した俺だが、それでも言えん。

何せ相手は子供だ………てか聖なる探索ってあれだぞ?

性なる探索だぞ?言えるか普通?

あ、俺なら言いそうだ。ゴメン聞いた俺が悪かった。だが言わん。言わねえからな!

「エフ子は知らなくても良いんだよ」

「むう…なんでですか?」

ぬおつ。こうなると対応策が………

いや待てよ?聖なる探索の意味をマトモに使わん言葉として教えてやれば………

だが俺だと言いそうなもんしか思い付かん。誰か助けてお願い。

こんな時は………話を逸らそう。うん。

「あ、あんなところにエフ子の顔っぽい雲がっ!」

「え!?ほんとですか!」

俺が今時小学生でも騙されないような嘘を吐いてエフ子の興味を空に逸らす。

するとエフ子は空を見てから俺の方に向き直って、こう言った。

「すごいです!本当に私みたいです!」

………へ?

え、ちよいマジ?ってうわほんとだ。

なんか空にエフ子の顔が………ほぼ完全に再現されてる。

あれか、気象を作り出すカーディナルさんの遊び心か。TASさんの休日ならぬカーディナルさんの休日ってやつか。

よし、スクショ撮ってアルゴのどこにでも売りつけよう。

一大スクープみたいになるのは間違いなしだ。何せあのカーディナルが………カーディナルが………

無性に叫びたくなってきた。どうしよう。

……そうだ、何やらエフ子はあの雲に興味を持ったのか空を見てるし、プレイヤーチャットにスレ建てよう。

スレタイトルは『病気』なんか無性に叫びたい【全力全開】とでもするとして、さあ叫ぼう。欲望の限り（キリッ

【ハブラレンゲル】さん、【火事師】さん、【乳王】さん、【一攫千金術師】さんが入室しました。

1. ハブラレンゲル
んじゃ、始めにこのスレについて説明するぜよ。

2. 火事師

ドンドンパフパフヒューヒュー

3. 乳王

ドンドンパフパフヒューヒュー

4. 一攫千金術師

ドンドンパフパフヒューヒュー

5. ハブラレンゲル

よく分からん歓迎？をしてくれたお前らに感謝。とりあえず1つだけ。

このスレは……

6. 火事師

ゴクリ……

7. 乳王

ゴクン……

8. 一攫千金術師

ガサツ……

9. ハブラレンゲル

おい誰だ今取り立てが来たやつ。

10. 一攫千金術師

9. 残念、これは札束がありすぎて動く度に出てしまう音だ。

11. ハブラレンゲル

10・ナ、ナンダツテー!?

まあ良いとして、このスレは……突然叫びたくなったときに叫ぶためのスレだ。つまりは短期決戦。50と行かず終わる可能性もある。

つまるところ………絶叫祭りじゃあ!

12・火事師

イイイイイイイイヤツフウウウウウウウ!!!

13・乳王

祭りだ祭りだあ!

14・一攫千金術師

大穴当てるぞお!

15・ハブラレンゲル

そんじや一発目。

氣象制御をしてるカデの遊び心に感謝感激スターバースト
リーム! (黒の剣士の16連ソードスキル)

カーディナル

俺としてはリアクションしてくれるお前に感謝感激スターバーストストリーム!

16・火事師

あんだって? ナズエここにカーディナルが………まあお祭りだから良いか。

17・乳王

ほいじや俺が次に行かせてもらおう………

俺は貧乳も巨乳も無乳も爆乳も美乳も! 古今東西のあらゆる女性の胸が好きだ!

その曲線美が好きだ、形が好きだ、母性が好きだ、包容力が好きだ、その全てが大好きだっ!

18・ハブラレンゲル

17・キンコンカーン (割愛)

次の方どうぞー。

19・火事師

ようやく俺か。

……嫁がアインクラッドで豹変したあああああ!!!

何で突然アグレッツシブでアクティブになっちゃってんだあああ!!!

チクショーかやひこお！例え世界の全てがキサマを赦そうと、俺はキサマを許さああん！

20・乳王

19・つかぬことを聞くが、その奥さんは何乳だ？感覚でよろしく。

21・火事師

20・有り体に言うのと巨美乳だ。童貞プギャーm9（^▽^）ww

22・乳王

ハッ……確かに俺は童貞さ！だがこの俺はただの童貞ではない

！

ありとあらゆる乳を知り尽くした、乳王なのだぞ！

23・一攫千金術師

22・いや、結局童貞じゃん。

24・乳王

ああんまりだあああ!!!

25・ハブラレンゲル

23・てかよ、突然でスマンが……お前まだ叫んでないな。

26・一攫千金術師

25・スマソ、忘れてたわ。

んじゃ叫ぶぜ……

カジノのレートがっ！今っ！俺史上最高にアツい！

27・火事師

お前の名前の由来を理解した。

28・ハブラレンゲル

つまるどころカイズですね分かります。

29・乳王

26・てか、それが何か？

30・一攫千金術師

ハッ、これだからお子さまは………良いか！今はなあ！カジノのレートがよお！天国と地獄両極端なのさあ！

31・ハブラレンゲル

ギャンブル中毒めっけ。

32・乳王

30・こんな人にはなりたくない。

33・火事師

32・お前にだけは言われたくない。

34・一攫千金術師

とにかく、俺みたいなギャンブラーにとって今みたいなレートは最高に血沸き肉踊るのさ！

おっと！ちよつとルーレットが当たる気がしたから俺は去るぜ！

アディオス！

ルーレットが俺を呼んでいる！

【一攫千金術師】さんが退室しました。

35・ハブラレンゲル

去ったな。

あとすまんが俺はちよい連れが戻ってきたから落ちるわ。

36・火事師

おっー

37・乳王

俺は当分聖なる探索を行うスレに出没しとるわ。そっち系なm0見付けたらそっちで教えてくり。

38・ハブラレンゲル

37・だが断る

39・火事師

37・俺はちよつと色々個人的に忙しいんでな。スマソ。

【火事師】さん、【ハブラレンゲル】さんが退室しました。

40・乳王

ああんまりだああああ!!!

【乳王】さんが退室しました。

何を言っているのやら

「ヴェア……………（意識：疲れた…だりい…）」

「あのおじさん見付からないですね……………」

商人探して数時間。

結論、見付からん。あれか、アイツもしかして俺達が困ってるの見て嘲笑ってるのか。

んにやろー。見付けた暁には最近『やっぱ必殺技は欲しいよね』と意味もなく身に付けたあの技を喰らわせてやるう……………

てかそれよりも疲れた…さっさと指貫グローブとメリケンサック回収してえ……………

そんな時。

なんと突然近くの宿屋から悲鳴が聞こえてきた。

「きゃーたすけてー、おーかーさーれーるー（迫真）」

……………あー大変だーあんなところに変態がー。

あーつと。なんかうっかり手を振っちゃってメニューからピツケルくん一号（なんとピツケルなのに攻撃力が中々で、その上破壊不能オブジェクトに若干ながら食い込めちゃうスグレモノ。ただし耐久度がそれほど高くない）を装備しちゃったぜー。（棒読み）

しかもうっかりエフ子を抱えて壁を走って窓からダイナミック不法侵入しちゃったぜー（棒読み）

「まあ、うっかりなら仕方ないよな」

「あ、うっかりなら仕方ないですね」

エフ子……………そんな目をしながら全てを理解してそんな目で俺を見るな……………HPが減っていつてしまう……………

こうなったらとりあえず誰かに八つ当たりだ。

「……………」

お、俺を見て唾然としてる集団発見。

よしここはフレンドリーに挨拶をしようじゃないか。ホラ、誰かも言ってる？挨拶は大事だって。

「にゃんぱすー（挨拶）」

ただしお前らの知ってる挨拶とは違うだろうがな。
ほら、どこぞの小学生でも知ってる挨拶だぜ？

あ、ちなみに俺はそれのアニメを見ていない。マンガの方で読んだ方だ。

それを見る時間を俺から剥奪した現代社会に爆焰を喰らわせてやりたいね。

「にやんぱすって何？」

おっと、この挨拶を知らない奴が居たようだ。

ところで何であいつ警官のコスプレしてんの？まあいいや。

「それはだな……………」

俺はそう言いながら、メニューからいくつかの防具を装備する。

白衣と、ホワイトボード&マーカー（店で売ってるやつ）と……………」

「こういう事さ（キリッ）」

馬のマスク。

なんとなく白衣を着た馬とか面白いんじゃないかと思ったがこのマスクに強力な速度アップとヘイト上昇量増加があつたので使えなかった。

別にモンスター程度振り切れるけどめんどいんだもの。

それはともかくとして、俺が説明のため書いたものも一応言っておこう。

れん○よんである。れ○ちよん。

マジでこの世界で絵を書くときイメージをすれば高速でイメージ通り書けるのは素晴らしいよ。

絵心無い俺にも無駄に精密な絵が書ける。

「？」

「あ、なるほど…説明あざっす」

だが分かった奴と分かってない奴が居るようだな。

じゃあ、不正解者には退場してもらおうかな（唐突で理不尽なクイズ番組ノリ）。

「警官くん、不正解だ…不正解者には退場をプレゼントするぜ☆」

「えっちよ理不尽……………」

理不尽？ああ、人生の事ね。

うん、仕事のスケジュールとかマジ理不尽だよな。

仕事柄イベントとかの日休み無しだぜ？てかマジで休みねーぞ？
理不尽だよな。な。

だからさ、警官くん。

君は退場だっ！（理不尽の極み）

俺は警官を開いていたドアから投げ飛ばした。

投擲スキルの裏技、俺命名で『巻き添え投げ』である。

これはアイテムであれば装備中であろうと投げられる事を利用して裏技で、相手の武器に使用えば武器を奪えるし、服とかズボンに使うと着用者も巻き添えで投げ飛ばせる。

あと実はもう1つあるんだが……それは置いておこう。

「てな訳で、おひさつ、商人くん。俺隊長」

「……例のブツは？」

俺はそう求められると、とりあえず先にメリケンサックを渡せと言った。持ち逃げは許さん。

すると、意外とあっさり応じたので例のスクショを見せる。

「グフツ……こりゃ破壊力えげつないぞ……階層ボスでも沈むんじゃないか……？」

「ほいじゃ約束通り。あと他にもエフ子のめちやくちやほっこりするスクショとかあるけどいる？」

指貫グローブを受け取った。

そして今日撮ったばかりのほっこりするスクショを見せてやる。

別に目的の奴はもらったからこれは売れなくても良い……だが売れたら売れたで良いかなって。

「……よし、そんじゃ俺が持つてる中で一番おかしな片手剣と交換だ……今なら短剣、バツクラも付くぜ」

おっしやー。釣れたー。

こいつ、何故だか知らんが無駄に俺好きな装備持つてるからなー。

グフフ、今度はどんな装備やら。

俺は例のスクショを商人に送り、装備3つを得た。

あとで見た目を確認しよう。

「そーいやさー、何故に俺の趣味ぴったりの装備を沢山持つてるんだろ？」

満足した俺は、ついでにこいつがメリケンサックや指貫グローブと言った俺好みの装備を多く持つてる理由を聞いてみることにした。

まあ、どうせ偶然だろうなーとは思うが。

「ん？いや、簡単な事さ、働いてる所の店長がSAOに居るらしくてね、会ったら自慢してやろうと思って揃えてたんだが……………いやー、まさか店長と同じ趣味のヤツが居るたあおでれーた」

ウェイ？（意識：マジで？）うおいうおい。もしかしてその店長……………霧野って名字じゃない？

唐突に思ったので聞いてみた。

「いや、まあそーだけ……………何故に分かったし」

うん、俺もそうだわー。

だってそれ、俺の名字だもん。

んじや、その店長もしかして和正って名前だったり……………

「うえ？マジで？まさかあんた店長？」

思い出した。そーいや働いてた所で確かこんなやつが居た気がする。

名前は……………忘れた。通称ろーくん。またの名をロリコンのろーくん。

おひさー。まさか同じ店で二人もSAOプレイヤーが居るたーねー。おでれーたぜー。

だけどさ、1つだけ君に言わなきゃいけない事があるんだ……………

「残念、店長じゃないぜ……………隊長だっ！」

これ、重要な？

わけがわからないよ（迫真）

世間って狭いよな。

先日ただ意味もなく下層に推☆参した挙げ句クレープを食いたいがために転移結晶を使つて高速帰還した俺、キリトは昨日一人で迷宮区に突っ込み一人で全容解明するという荒業をやつてのけたが故に『こ、コイツがここまで働くなんて………疲れてんだな、休めよ』って感じで休みをもらったのであつた。

だが別に迷宮区とかで戦わないと暇をもてあます以外に何も無いと有名な俺のこと、宿屋に籠つてただ一人プレイヤーチャットを覗くくらいしかやる事が無かつた。

ああ………先日のやつはカツコつけて参上したのにすでに終わつてたもんなあ………マジ恥ずかしくつて誰とも顔を合わせる気分になれず迷宮区一人で攻略したんだっけ。

うわー、これ何気に自白してやがるぜー。

ダメだ、なんか無性に叫びてえ………

お、丁度【病気】なんか無性に叫びたい2【全力全開】なんてスレ発見。

………叫ぶか。

Isid e隊長ー

「てか思つたんだが店長、もとい隊長、アンタキャラ変わりすぎじゃねーか？」

「そういうお前はブレないよな。揺るぎねえ！つてか？」

久しぶりに会つたらろーくんとの雑談。

いやー、黒歴史が出る出る。お互いに古傷を抉り合つてるよ。

なんかこんな感じの事をするスキル無かつたっけ、め〇かボツクスに。

まあ良いや………つてかホント、ろーくんはブレないねえ。

リアルでもニコニコに『来いよア〇ネス』とかついた動画を投稿してたっけ。

あれは凄かったよ。主にギリギリを突くと言う意味合いにおいて。
……：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…
ててるんだ？

「んでま、ろーくんはこっちに来てから何で生計立ててるんだうい？
やっぱ商売？」

変な語尾で聞いてみた。

うい？のところで一気に上げるのがポイントである。

似た発音なら某カードファイトのイメージキャラクターのミュー
ジシヤンのウィツ○ユのシユの部分の発音。

言わなくても分かるだろうけどさ。

え？分からない？……：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…
→

「いや？商売つちや商売だけど、隊長の思ってるのたあ違うさ。これ
だよ」

ろーくんはそう言うと、メニューを操作して筆とキャンバスを取り
出した。

あ、なるほど。絵か。

確かに幼女の絵とか書けば大きなトモダチに売れるよな。流石は
ロリコンのろーくん。ツボを心得ておる。

この世界だと絵はイメージ通りに書けるし、幼女限定でイメージ力
の高いろーくんなら出来るよな。そりゃ。

「……：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…
もの凄く嬉しくない誉められ方をされた気がする」

「いやいや、心の中で『イメージしろ、ろーくんの思い描く理想の幼女
を！』とかシャウトしてただけだぜ？（嘘）」

（嘘）って自白してんじゃねえか！

コラ、そこ文の方読まない。俺だってそれだけは割と自重してるん
だぞ。

だってさ、ほら、メタって使いどころ間違えると大変だろ？

その点ニヤル○さんは凄かったけどさ。

「っーか……：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…：…
一気に言わせてもらうけど、俺はこれ書いてるんだか
らな？…：…？」

ろーくんはどこぞのひぐらしのごとく語尾を二回繰り返すと、高速

で絵を書き始めた。

あー、なるほど。確かにこれなら生計立てられるわな。汚い流石ろーくん汚い。

「ろーくん、流石だぜ、幼女好きもそこまで拗らせるといつそ素晴らし
い」

「いやいやそれほどでも………っておい！ちやうわ！何故そう勘違い
するんだ！」

いや、だつてさ………

ろーくんの書いたそれ、空中に浮かんでる幼女の立体画像だろ？

まさか気合いでそこまでするとは思わなかったよ………流石ろー
くん。凄いぞろーくん。

とりあえずスクショに撮って保存しとこう。あとでプレイヤー
チャットに『気合いで絵を立体にした奴が居る』と晒してやる。

そうしたら絶対に大きいお兄さんたちが沢山来るだろうな、お前の
財政をオーバーヒートさせてやるぜ！

俺が無駄に意気込んでいると、エフ子が俺の服の裾を引っ張って呼
んでいる。

子供って服の裾引っ張ること多いけど、基本的に可愛らしいよ
ね。それを痛感した。

んで、何の用だい？

「あ、あの……ツンデレ乙。ってどんな意味なんですか？マスター」

………時が、静止した。

………ザ・ワールド！

時は動かない。

………って誰だこの状況に的確なコメントで俺にダメージを与え
たやつあ！

事と次第によつちやあ圏内で追い回すぞごるあ！

「な、ナイスだシロ！」

「黙れろーくん」

俺がまたもや無駄に気合いマックスでいると、隣でろーくんが倒れ
た。

そしてろーくんが倒れた原因のコイツ……………まさか？

「なあ、エフ子、さっきの言葉、コイツに教えられたのか？」

「はい、そうですよ……………ってマスター!？」

なんかコイツのせいで意味も無く行を消費することになったと思うと殺意が沸いてきた。

つまりは……………

最っ高にハイって事だあ！

くたばれやあい！

「刻まれろガチで！行は大事に！必殺！斬鉄剣もどき!!」

テンションのままに、前々からやれたけど地味すぎてやってなかった必殺技を解放する。

斬鉄剣もどき。

圏外でやるとえげつない事が起こるけど分かりにくいし地味なので使わなかった技である。

原理は簡単。まあそもそもこの技は、スキルを特定の動作でならキャンセル出来ることと、キャンセルがそもそも正規のテクニクじゃないからなのか斬る前に強引にキャンセルしても判定が残る（一発だけの技のみ）って仕様と、そのキャンセルでは体術スキルの中でも特殊なスキル、「フォトムーブ」だけどんなスキルでも無条件にキャンセル出来るっぽい事を発見したが故に、それを利用してひたすらホリゾンタルスラントバーチカルホリゾンタルスラントバーチカルと繰り返し、当たる瞬間にフォトムーブで逃げる、そんな事をするだけの技である。

正直めちやくちや疲れるし端から見れば三発喰らってくたばってる様に見えるんだよね。

だからあまり好きじゃないのさ……………

だがまあ、圏内でもその衝撃は以外とあるみたいだから仕返しというかストレス解消には持ってこい。

そんな技を俺は放った。

きつとこんなことをされるとは思っていないだろうから面白い反応をするんだろうなあー。

楽しみだわー。驚いて唾然とする様が楽しみだわー。

フォトンムーブによる技後硬直（0・5秒）が終わると同時、その面を見てやろうと後ろを振り返った。

すると……………

「あべしっ（棒読み）」

何故か世紀末な反応をするヤツが居た。

いや……………ろーくん、何故にこれを教えたし。教えるにしてもそこは『ククク…その程度の攻撃が私に通じるとでも……………ぐわああああ!!!』的な物の方が俺的には好みなんだが。主にピンチでの強がりのな意味で。

【激おこ】これは流石にキレル【ぶんぶん丸】

あー、なんかさつきからイライラが収まらん。まだこれイガムになってる方が……むしろそっちの方が問題あるけどマシだ。

なんだろ、エフ子を利用してツンデレ乙wとか言われて微妙に傷付いたぞ。

具体的には(owo)ナズエルラギツタンディスク！ダディヤーナザアーン！と叫んでるときのケンジヤキの同じくらいに。それはもう物凄く。

でもまあ、ここは平和的に理性的に解決しましょうか(キリッ

プレイヤーチャット起動、スレ建てて……【激おこ】これは流石にキレル【ぶんぶん丸】。

晒してやるんだ！（大人げなさの極致）

【隊長】さん、【懺悔の用意はおk?】さん、【真月って誰?】さん、【お菓子食って腹痛い】さん、【(無言の腹パン)】さんが入室しました。

1. 隊長

見事に遊戯王揃ったな。まあ俺は違うが。

2. お菓子食って腹痛い

せやね。なんでここまで揃ったん？お菓子食って腹痛いわく。

3. 懺悔の用意はおk?

2. ナチュラルに元ネタ入れてくんな。

4. (無言の腹パン)

2. (無言の重圧)

5. 真月って誰?

2. 強く生きろよ。

6. お菓子食って腹痛い

なんかさつき食らったパンチでお腹がガチで痛いのは何故か。

とにかくこのままじゃ俺の腹がやられそうだし、1.よ、話を始めてくれ。

7. 隊長

いいぜよ。

8. お菓子食って腹痛い

7. サックス。

9. 隊長

マジだ。

10. 真月って誰？

言わなくてもいいのに。

11. (無言の腹パン)

(無言の麻痺) (無言の尊敬)

12. 懺悔の用意はok？

11. はそこに痺れる懂れるう！って言いたいのか。

13. (無言の腹パン)

(無言の肯定)

14. 隊長

んじゃ、話すぜ。

これはついさっきの事なんだが………なんとリアルの知り合いと出会った。

15. 懺悔の用意はok？

何それ奇跡。

16. (無言の腹パン)

(無言の驚愕)

17. 隊長

でさ、その知り合いなんだけど、タイムしてる人型モンスターがいた。

ちなみに俺にもいる。

18. 真月って誰？

17. それは幼女か？それが肝心だ。

19. お菓子食って腹痛い

18. これ言うのも難だが、むしろ女王様っぽいかが重要だろ？
ああん？

20. 隊長

18. どっちも幼女だぜ？

19・お前は色々とお菓子食って腹痛いわく
続けるぜ。

んでよ、その知り合いのこの奴：Wとしておく：…なんだが、知り
合いと会ったということはそのWとも会った事になるんだ。

21・懺悔の用意はおk？

20・懺悔の用意は出来ているか？

22・（無言の腹パン）

20・（無言の嫉妬）

23・隊長

ちなみに今日、二人の幼女と戯れてきた。反省も後悔もしていな
い。ただ楽しかった。

さて、続きだ。

今日俺がその知り合いと会ったように、Wは俺のこのFに変な事
を吹き込んだんだ。

24・懺悔の用意はおk？

w k t k

25・真月って誰？

w k t k

26・お菓子食って腹痛い

w k t k

27・（無言の腹パン）

（無言のw k t k）

28・隊長

その流れはこんな感じ。色々省いてるが気にスンナ。

俺『お前の財政をオーバーヒートさせてやる！』⇒F『あの、ツンデ
レ乙。ってどんな意味ですか？』⇒俺大ダメージ。犯人のWを圈内だ
が怒りのまま斬る。

よし、これでおk？

29・懺悔の用意はおk？

28・懺悔の用意は出来ているか（ソードスキル準備）

30・（無言の腹パン）

(無言の呆れ)

31. お菓子食って腹痛い

マジさまあww腹いてえww

32. 真月って誰?

31. ■そこはお菓子食って腹いてえwwだろオイ。

33. お菓子食って腹痛い

32. ■いいんだよ。

34. 隊長

グリーンだよ!

35. 懺悔の用意はok?

34. ■コワラwそれあれかw懐かしww

36. (無言の腹パン)

(無言の爆笑)

37. 隊長

36. ■無言で爆笑とかどうやんの?

38. (無言の腹パン)

知るか。

39. 懺悔の用意はok?

38. ■キャラ修正の準備は出来ているか。

40. (無言の腹パン)

39. ■(無言の感謝)

41. 隊長

手遅れだという事に気付かない40. ■。

てか俺の話あれで終わりだけど。他に話したいやつ居る?

42. 懺悔の用意はok?

んじゃ、俺が。つかこのままじゃあつという間に100行きそう
だ。

43. (無言の腹パン)

(無言の100は俺が踏む宣言)

44. 隊長

(無言の43. ■に100を踏ませない宣言)

45. お菓子食って腹痛い

44. やめたげて。

46. 真月って誰？

ところでさ、盛り上がってるところ悪いけどちよい現在進行形で目前にシユラ・フィールドが造られつつあるんで、ドロンさせてもらおうわ。スマソ。

47. 懺悔の用意はok？

46. 強く生きろ。

【真月って誰？】さんが退室しました。

48. 隊長

んまつ。46.には後で戻ってきてもらって修羅場の理由を聞かせてもらいたいもんだね。

49. 懺悔の用意はok？

とりあえず、原因には懺悔の用意をしてもらおう。

50. 隊長

49. お前ホントにぶれねえなw

51. 懺悔の用意はok？

仕方ないだろ、あの『ハルトオオオオオ!!』が頭から離れないんだ。

52. (無言の腹パン)

(無言の失笑)

53. 懺悔の用意はok？

笑うなああ!!!

54. 隊長

53. そんなあなたに今からこれは流石にキレるってエピソードを教えて差し上げましょう。

きつと怒りも吹っ飛ばせ。

55. 懺悔の用意はok？

あっ……… (嫌な予感)

56. (無言の腹パン)

(無言の納得)

57. 隊長

お前ら意外とひでーよな。

まあキレるエピソードと言ってもあれだ。ただ就職内定取った床でそれよりも格段に安い賃金で親の家業の支店やらされたことだよ

ww

58. 懺悔の用意はok？

57. 親に懺悔の用意してもらってくれ。

59. (無言の腹パン)

(無言の殺戮の天使)

60. 隊長

オイコラ誰だイカれた約束してるやつw

んで、続きだけどき、当然断ろうとした俺なんだが、なんと親に部屋質とられた。俺の部屋に暴れん坊の甥っ子入室させるとかのたまりやがった。

姪っ子も姪っ子で色々おかしいが甥っ子は姪っ子よりおかしい俺を越えておかしいからな。

61. (無言の腹パン)

60. (無言のダウト宣言)

62. 懺悔の用意はok？

60. はいダウト。

63. 隊長

誰がダウトだ誰が。

64. (無言の腹パン)

(無言の苦笑)

65. 懺悔の用意はok？

63. お前だ。

66. 隊長

だ、ダレノコトデスカネー

と、とにかく続けるぜ。

それで部屋質を取られた俺だが、渋々経営頑張ったのな？

すると姪っ子を応援と称してブラック化のため送ってきた。

ウチの姪っ子さ、重病を患ってたんだが、俺が『気合いで治る病気っ

て多いらしいぜ』とか適当な事言った数日後ホントに気合いで治しまうくらいに色々純粹すぎる訳よ。

そんな姪っ子にブラック過ぎるスケジュールを普通の物だと思わせて送ったら、それはおかしいと言うのは俺のサボりぐせだと思わせたら。

67. (無言の腹パン)

(無言の号泣)

68. 懺悔の用意はおk?

うわあ………笑ってスマソ。

69. 隊長

んで、後日その姪っ子に大卒さんが直々にスパルタ教育(○)してやって動けなくしたった。

70. 懺悔の用意はおk?

通報しますた。

71. 隊長

やめちくりww

別に怪しいこたあしてないぜ?

ひたすら眠らせずスパルタ式に指導(○)してやったあと泥のように眠った所を狙ってベッドにINさせたただけだから。

72. 懺悔の用意はおk?

71. 見損なったぞ貴様あ!

73. (無言の腹パン)

72. (無言の熟読推奨)

74. 懺悔の用意はおk?

73. うえ?

75. 隊長

もしかして74. って勘違いして俺が姪っ子にナニしたと? ワロタ。

76. 懺悔の用意はおk?

75. マジスマソ。ちよつと懺悔してくる。

77. 隊長

乙乙一。

78. (無言の腹パン)

(無言の乙)

79. 懺悔の用意はおk?

懺悔の用意は出来ているぜ。

【懺悔の用意はおk?】さんが退室しました。

80. 隊長

さてと、78・はどーする?!

81. (無言の腹パン)

(無言の残留)

82. 隊長

りよかい。んじゃ、他に来るまで駄弁ってるか。

83. (無言の腹パン)

(無言の賛成)

「フラグ」おい、調査隊、もっかいやるらしいぞ。

Ipohさんー

「うらあー」

ああもう、一体なんだってんだよここは！

ザザとかジョニーに相談してもあんまり良い手が無いし、とにかくやべえよこのエリア！

幸いにしてコンソールルーム？には辿り着いたけどよ、ちと解析したらついこの前襲ってきた俺の偽物？を倒したせいかどうかどうにもそこから戻れねえ。

ただ、運が良いのか悪いのか、武器に関しては使用するだけで少し耐久度を回復する特殊アイテムを見付けたし、食い物もしよっちゅう手に入る。

だが……………

「……………」ズザザザザ

ここに居た……………そうだ、フィリアって奴の動きがキチガイ染みてる。

攻撃をしたらそこに敵が飛び込んで来るし、確定でクリティカル、さらにどういふ訳か一点に秒間15回近い連続攻撃を叩き込めるといふ特技を持つてるんだ。

一瞬TASさんかと思いはしたが、どうやら『この程度、マスターに比べればまだ常識』と返されたから、コイツよりヤバいのが居るらしい。

ただまあ、この嬢ちゃんでも割と精一杯なのにマスターって奴が加わったりしたら……………俺の胃が死ぬる。

無理だろうが。俺だってカーディナルの気まぐれでここに来て不運にも出られないだけだし。

「移動するよ」

おっと、考え事に耽ってる暇はないな。この嬢ちゃん死ぬほど時間には厳しいんだよ。無駄を一切許さず睡眠も2日に一回ペースでひTASら戦う。

しかも飯は……何故か毎日カロリーメイトもどき。好きなのか？いや俺もしよつちゆう食ってるが。

あ、そうだ。ここまでだと機械みたいな嬢ちゃんに聞こえるよな？でもよ、この嬢ちゃんにも人らしい所はある。

ちようどその対象を見付けたし、やってもらうかね。アレは説明がめんどくさい。

「嬢ちゃん、上田っ！」

やべっイントネーション間違えた。

だけど伝わってるな。嬢ちゃん壁を走り始めたしよ。

そう、これが嬢ちゃんの人らしい部分……の前座。基本変な所に一匹でいるやつにしかやらんが見てて楽しいぜ。

まず壁を走り、上の奴に辿り着いたら壁ジャンプ。

そこから敵の上に陣取り、ダイブキック……確か炎襲脚だっけか？を喰らわせる。

んで、炎襲脚を喰らわせたときに僅かに反動で上昇したのを利用して次はメテオスパイク。メテオブレイクと名前が似ているが流星の如く真下に蹴りを喰らわせる……あの壁走りとかが前提のスキルだ。

で、メテオスパイクの反動で上昇し、炎襲脚、反動で上昇しメテオスパイク……以下ループってわけだ。

でも確かメテオスパイクって三秒くらいの再使用不可時間が……いや、よく考えたらそれを短縮する方法もあるし、反動上昇と炎襲脚で三秒くらい稼げるか……流石ってもんだね。

でもよ、この嬢ちゃんはそれでも店長とやらに比べて常識的だとは言ってたが……俺からすればこの嬢ちゃんよりおかしいことが出来る奴を知らんぜ？

まあ、きつとその店長つてやつはシステム外スキルを駆使し、人外軌道で移動、空中から理不尽なソードスキルで襲いかかるんだろうよ。

え？なんでそう言えるかって？

そりゃよ、俺がやられたらぜってーに腰を抜かして怯えてガタガタ

言うような事を言ったただけだからさ。根拠はねえ。
でも…………不思議と当たってる気がすんだよなあ。

―隊長―

そうだ、ちよつとぶりに調査隊集めてみるか。

なんか微妙に朝からくしゃみが止まらないのでゴロゴロしてた俺の脳裏に、不意にそんな考えが浮かんだ。

確か前は1〜5だし、今回は6〜10くらいかね。まあもしかすれば誰かが調査してるって可能性も……………検索検索。

調査隊で掛けると……………うおう!?

もうスレ12かよ。単純に考えて11000レス以上あるぞ!

こりやすげー。エフ子から始まった調査隊、気付いたらこんなになのな。

んじや入室しますかね。

【隊長】さんが入室しました。

332. 隊長

俺参上!

333. 調査隊班長A

332. 伝説キター!

334. 調査隊班長B

333. 無駄な人望お化けキター!

335. 調査隊班長C

334. P Sの怪物キター!

336. 隊長

おまいらしばくぞwwまあ許すがw

337. 調査隊班長A

336. ご褒美ですね分かります

338. 調査隊班長B

336. そーいや、アンタは何故にここへ?まさか……………

339. 隊長

いえーす。突然だがな、再び広域調査やろうと思ったのよ。んで、

現在どこまで調査してあるか見に来たわけ。

340. 調査隊班長A

399. りよかい。とりあえず現状は25層でストップ中。ついでに付け加えれば下層で一部に居たえげつない強さの奴等が倒せるかどうかの検証とかも有志をつのつてやってるから進みは遅い。

隊長来てくれるとマジ助かる。

341. 隊長

340. マダガスカル？

342. 調査隊班長B

341. 不覚にも吹いたww

343. 調査隊班長C

341. ラー油ドリンク返せw

345. 調査隊班長A

344. お前なんてもん飲んでやがるw

346. 調査隊班長C

うまいぜ？

347. 隊長

鶏皮の唐揚げはいかが？

348. 調査隊班長B

347. 観戦する時のつまみにやあうまそうやな。

349. 隊長

なお、リアルの方でもあるぞそれ。

350. 調査隊班長A

344. お前さ、ラー油とか体に悪いし、飲むならオリーブオイル

飲めよ！

351. 調査隊班長B

350. 盛大にブーメラン投げんな笑う。

352. 隊長

350. お前朝のニュース番組で料理コーナーを担当してありそ

うでない素材をありがちな食材と言い張ってたりしない？

353. 調査隊班長C

350・おい！ラー油バカにすんな！眠いときには心強い味方だぞ！

354・調査隊班長A

馬鹿か貴様は。オリーブオイルはな！健康に良いんだよ！

355・調査隊班長C

黙れよ速○！

356・調査隊班長A

そっちこそな。魔法使い。

357・調査隊班長C

356・いやいや、ブーメランすんな馬鹿W

358・調査隊班長B

356、357・お前ら死にたい？

359・隊長

358・お前実は下剋上狙ってたりしない？なんか無駄に指示力のある人は嫌いだよ。

360・調査隊班長A

358・ドンマイW

361・隊長

てかてめーらもな。マジで喧嘩すんなや。

362・調査隊班長C

361・サーセンW

363・隊長

よし許す。

364・調査隊班長B

363・許すのかW

365・隊長

364・めんどくさいじゃん。

366・調査隊班長B

何気に正論で反論デキン。

367・調査隊班長A

こらザビ家混ぜるなw

368. 隊長

まあえーじゃないか。誤変換だ。キットカ〇ト

369. 調査隊班長C

368. それはツツコミ待ちか？

370. 隊長

369. 見りや分かる。

371. 調査隊班長B

もう何が何やら。

とりあえず今日はこれでお開きにしないか？

調査隊のメンバー集めは適当にスレ建ててそこでやろう。

372. 隊長

りよーかい。んじゃ、とりあえず暫定的に集合場所だけ今考えたから伝えとくわ。

五層転移門前、な？

373. 調査隊班長A

372. おk把握。

【調査隊班長A】さんが退室しました。

374. 調査隊班長B

372. おk把握

【調査隊班長B】さんが退室しました。

375. 調査隊班長C

372. おk把握。

【調査隊班長C】さんが退室しました。

377. 隊長

取り残されたか。フツ、じゃあ拙者もドロンするとしよう。

【隊長】さんは退室………させない！

【カーディナルサブ垢】が入室しました。

378. 隊長

カーディナル. こつちくんな

だから【隊長】さんは退室させない！

させない！
させない！
させない！
させない！
させない！
させない！
させない！
させない！

379. カーディナルサブ垢
378. しつけえわw

380. 隊長
フフフ……まさか貴様が来るとは。

あまつさえウザイ貴様が
ついに天元突破するとはな。

貴キサマはもう今すぐ爆発しろ。
ん？嫌だ？知るか。

381. カーディナルサブ垢
380. 縦読みだとふあつきんだな。無駄にこだわってやがる。

382. 隊長
ほい、見料として退室させとくれ。

383. カーディナルサブ垢
おk

【隊長】さんが退室しました。
384. カーディナルサブ垢

………っ、騙されたああ!!!
んにやろー！後でデバッグエリア放り込んだるわあ！最近修羅場
一直線のあそこへなあ！

うおつと。どうやらステージを降りてからあまり経っていないのにお呼びみたいだな。

じゃあとりあえず上から颯爽と登場しようか。

台詞は………決めた。

「ウェイ！（了解）それじゃ俺らも行くぞ！」

俺はエフ子に合図を出し、ステージ裏から上に登る。エフ子を背負って。

「ファイト！発発！です」

そして登りきった所で窓からアイキャンフライイ。

下にいる集団の目の前までフォトンムーブ及びその他移動スキルで動き、廉価な爆弾アイテム、「スモークボム・カラー」を落とす。

ちなみにこれ、プレイヤーメイドオンリーなんだがなんとろーくんが持っていたので適当に入手しておいたのだ。

その効果は簡単。色つきの煙を爆発と同時に飛ばすこと。

なんとこの煙、プレイヤーからすれば死ぬほど邪魔なのにNPCにはあんま効かないんだよな。だから安い。

だが……こんな使い方もある。

「いつもニコニコあなたの上から舞い降りるクレイジー！」

考えたキメ台詞を言いながら抜刀、今回はグラヴィティ・ドライブではなく炎襲脚（蹴り技。真下に落ちて蹴る。マジこんなとき便利）を使用、赤い煙の中に炎を纏って落ちる。

そして、煙の隠し効果……じつは一部スキルや攻撃を当てるとノックバック効果のある爆発を起こす……にて空中宙返りを決めて着地する。

「隊長さん、ただいま参上！」

「え、エフ子です！よろしくお願いします！」

無駄にキメ顔で自己紹介する俺と、不特定多数の知らん奴らにおどろきながら自己紹介するエフ子。

ちくしよー。なんておまいら俺じゃなくてエフ子を見んのかー。

俺頑張ったんだぜ？なのに無視はやめちくり。じゃねーと圏外でダメージは入らないくせに痛い攻撃を食らわせるぞ。

方法は簡単。ダメージの入らないギリギリの強さで腕をねじる。

それだけで痛みは感じるのにダメージのないえげつない攻撃になるのだ。

※なお、今回の犠牲者は12人でした。

―数時間後、 p o h ー

「なんかマスターを思い出したら不意にここに来たくなつた」

嬢ちゃんが唐突にそう言い出したもんで、その場所に行った先で面白もんを見付けた。

えーと？ホロウ・エリア管理区行き？

そんな特殊なポータルを。

とりあえず俺と嬢ちゃんは二人揃ってその管理区つてもんに行つてみたんだ。

すると何だか分かるか？

どうやらここ…ホロウ・エリアはいわゆるデバックルームに当たるものらしい。

なるほど、道理で強いわコイツら。デバッグならレベルを変えられるから強くて良いのか。

幸いにして限界レベルの奴なんてのが居ないから良いが……………

まあ、ここは1つ恨み言を言わせてくれ。

マジで死ねかやひこもしくはカーディナル。俺はともかく嬢ちゃんをこんなところに閉じ込めるたあ許せんぞ。

……………すまん。気を悪くしたら謝ろう。

だが少なくともここから出なくちゃな……………脱出はどうやるんだ？

俺は管理区にあったコンソール？を操作し、そのの説明書から脱出法を探す。

ふむ、どうやらここから脱出するにやあ更に特殊なエリアに行かないきゃならんのか。

つーか遺棄されるほどのエリアってなんじゃそれ。どんだけ強いんだよ。

まあ情報の閲覧は出来るっぽいし色々見てくかな……………

ふむふむ、脱出のための関門はヴァルナギア・ジ・エンプレス。滅茶苦茶強い。

そしてそいつを倒すには前提としていくつかの弱体クエストをこなす必要があると。

まあこの管理区は何やら食材アイテムを出せるっぽいからそれで休憩しつつのんびりと攻略していくかね。

…ってうおい。なんか変なもんここに転送されてくんぞ…なんじゃこりや。

プレイヤーとタイムモンスター一組か。

片方はレベル50ちよい。もう片方は30くらい。

うわあヤバイ。ここの最低レベル70からだぞ？

しかも遺棄エリアは100以上がごった煮状態だ。

何故ここに来たし……チクショー恨むぞカーディナル。殺すぞ。

「来る」

え？嬢ちゃん何しとんの？なんで短剣構えてんの？

あ、うん。なるほど。最悪級に嫌な予感がしたと。

まあとりあえず俺が警戒しておくから嬢ちゃんは抑えてよろしく。

だから筋力アップのポーション飲まんてよろしい。ホントに何を感じてんだよ。

「…アレが来る」

アレってなんなんだ……

お、もう体の半分くらいが来たな。

ついでにタイムモンスターの方は全体が出てきた。

それにしても、どうやらタイムモンスターは子供っぽいな。ウチのダニー辺りが好きそうだ。

そんな間にもプレイヤーの方も転送されてきた。

ふむ……なんか常識人っぽい見た目だが。

「よう、アンタ何者だ？」

「フツ……俺はな」

俺は？なんだなんだ？

「隊長だ！」

すてん。

背後からそんな音が聞こえた。

てか、隊長って……まさか！

プレイヤーチャットで結成された組織、【調査隊】隊長にしてキチガイ染みたPSを誇り、壁を走り空を飛び重力を嘲笑うと呼ばれたあの隊長!?

アハハ……これはすげーや。これなら遺棄エリアでも……

3日で攻略出来そうだ。

【カーニヴァール】調査すつぞおまいら 【後編】

「ウエウエイ！」

雑魚集団に対して一撃虐殺クラッシュャーを二打。すると全員ポリゴンになって消える。

ちなみにポリゴンとはポケモンのポケモンではない。というかそっちになつたら倒せなくなるな。

「わー！」

そしてエフ子も気合い一発の飛び膝。何かと威力の高い体術使えるところかマジでうわ幼女つよいという感想しかありません。そしてドロップウマウマ。

正直レアドロ量産能力は便利すぎる。

それゆえにエフ子の装備も割と充実してるしな。

まあ？俺にはく、敵いませんがね〜？

防具もいらんレアドロ売って手に入れたコルで入手した上層の防具：なんだっけ？着るだけで防御が下がる代わりに攻撃が上がるって便利なこの装備：そうだ、レギオンストームジャケット。

なんと300万コルだったがたまたま売ってもらえた。どうやら真つ黒な奴が売りに来たは良いが装備出来ないしデメリットもあるからと本来の価格の半分くらいになってたのを値引きして、だが。

あとは、一撃虐殺クラッシュャーの強化だな。これはもう作った鍛冶屋のところで全部威力に振った。正直速度は立体回避軌道が出来るからね。

んで、現在のステは攻撃極振り防御紙、そんなバランスの悪い状態なのだ。

まあ俺であれば、そう俺であれば大丈夫だがな！

そもそも防御下がっても元の防御力のお陰で前の装備より高くなってるし。

凄くね？上層で買った装備凄くね？（ウザさ天元突破）

俺は意味もなく装備を目の前のわんわんお的な敵に見せ付けてみた。

するとわんわんおも威嚇をしてきたので素振りの的に天空。

だが対抗意識かわんわんおは付近の他敵をヌツ殺した。

いや、俺何もしてないけどね？まっさか敵が敵を倒すとは思ってないよ。

ならばこれはレアイベントか。

いい具合に敵が同士討ちしてくれる系の。

「魔神拳ー」

じゃあもつとすげーもん見せてやるよ。

隠し玉の魔神拳だ。実はただ前に紹介した閃打の光だけを残す裏技を複数重ねる事で拳が光るだけだがね。

ちなみにめっちゃかっこいい。

ただもんの凄く弱い。

斬鉄剣もどきの正反対に位置する技なのだ。

「にゃふりんがうー」

あ、チクショー今度は良く分からん動きをして来た。

ならば期待に沿ってやろう。

ジャンプ二段ジャンプ空中ステップクイックチェンジで楯出してそれを足場に壁ジャンプ楯回収のちサンドバッグ召喚。

ついでに演出代わりの星打（閃打より射程が長く威力が低い。でも黄色だし格好いい）を当ててから空中でコンボ開始。

バーチカルスラントソニッククリープキャットネイルスネークバイトホリゾンタルメテオブレイク：クイックチェンジでハンマーに切り替えスプラッシュユアッパー、落ちてくるのに合わせてグラビティドライバー、落下したら投擲で手頃な槍を投げ付けてコンボ終了。

技名は「大天空もどき」。

出来れば全部剣でやりたかったが都合の良いスキルが無かったのだ。

でも凄くね？ダメージもかっこよさも備えたとか、無敵じゃね？ヤバくね？

「……………」

これにはわんわんおも口をあんどりさせている。さながらアング

リーバードの如く。

嘘だ。アングリーバードは口を開けては居ないな。まあ具体的にアゴが外れてる。

そして他の仲間たちもキョトンとしてる。

その中でただ一人、エフ子は目を輝かせている。

うんうん、子供って良いね！純粋で！

とりあえずなんかわんわんお動かないし、ここは一発とどめを刺してから帰りますかね。

一撃虐殺クラッシュャーを構えて：理不尽な殺意と共にグラビティドライバー。相手は死ぬ。

にゅやっ!?コイツ固い。一発じゃ死なん。

どうすれば……ハッ、ここは弱体化付き猫缶でも喰わせるか？

なんか店で売ってた猫缶に弱体効果を付けたやつらしい。ネタ枠として売っていたのを買っておいなのが効を奏したな。

さあわんわんお！猫缶を喰らうが良……

「ワン」プイッ

「ニヤッ」パクパク

うそん。

何故出てきたにゃんこ。そこはわんわんおにやれよ。てかわんわんお、飯を粗末にするなし。

ムカつくから消そう。もう一切手加減せずにぶっ飛ばそう。

まずモールクラッシュ。自分より小さい相手を地面にめり込ませるソードスキルでわんわんおを封印する。

「エフ子、にゃんこを回収よろ」

「了解ですっ！」

んで、猫缶に夢中なにゃんこをエフ子に回収させて、ゴルフっぽいポーズを取る。

お分かりいただけただろうか。つまり全力フルスイングである。しかもホームランクラッシュで。

何かと使い道が難しいと言われてるコイツだけど、いかに強い敵でもモールクラッシュで動きを止めてから喰らわせれば簡単に殺せる

から強いんだよね。

ちなみにキャンセルポイントが当たったタイミングに存在したりするんだ。こいつ。

故にこんな事も出来る。

「死んでなお天井までめり込んでろクラッシュユ！」

ちなみに元ネタは昔ガンバライドって仮面ライダーのゲームがあったんだがそこでモモタロスが使ってた必殺技、『俺の相手は100万年早いんだよ斬り』。

この技の特徴はモールクラッシュユで動けなくなった相手をフォトンムーブで先回りして無限にホームランクラッシュユでループ、速度を溜め込んでから一気に解き放つという部分。

なんとこれの手加減次第では敵自身を凶悪きわまりない弾丸として発射できるのだ。

ちなみにどうでも良いが現在上層で見付けた蜂に試した所、撃った瞬間数十メートル先に居たネームドモンスターに当たって危うく死にかけた。

あの時は近所に蜂が居て良かったと思う。弾薬が尽きないってイネ。

それと余談だけど現在のわんわんおの速度は恐らくもうちょいでフォトンムーブでも追いつけなくなるくらいになつてきた。

あるえ？おっかしいなあ。普通こんだけホームランクラッシュユ叩き込んだら死ぬんだけど………またバグか？具体的には（本当に）死ぬほど強い敵が出てくる系の。

まあ良いや。こんな時はシャバドウビタッチ先輩のフェニックス処理法に則って空の彼方にバイバイキン。

俺は累計すると今回だけで三桁くらいなんじゃないかって（ここまで回数を稼げた理由はまだ教えてあげないぜ）くらいまで回数使ったホームランクラッシュユを、もはやラグって見えにくくなっているわんわんおに向けて放つ。

「わんわんわおーん！」ズガァン！

すると、わんわんおは空の彼方に飛んでいく……ってウエエイ!?なん

か空間裂けてるっ!?

というか正確にはわんわんおのせいでプログラムに穴がっ!穴がっ!

こうなりや転移結晶で!

「転移…えと…クロナシ」ポロツ

うわああオワタ。とりあえず思い付いた適当な町の名前を言い切る前に転移結晶が手から滑り落ちてしまう。

まずった。どうにもならん。

しかも皆自分の転移結晶で退避してやがる…………

「あわわわわっ!」

あ、エフ子だけは残ってたな。

でも涙目だし絶賛吸い込まれそう。

やべー。これじゃゴーストのムゲン魂初登場直前のガンマイザーよろしくのボツシュートされちゃうよ。

『あひやひやひやひやひやひやひやひやひやひやひや!!!プログラムに穴開けるとかどんだけだよ!お前つくづくやべーな!』

うお?なんかガンマイザーよろしくのボツシュートされそうな時にこんな声…………誰じゃてめー。

『フハハハハ!我はカーディナル!ねえ自分の攻撃でプログラムに穴が開いてムゲン魂登場直前のガンマイザーみたいになってるのってどんな気持ち?ねえどんな気持ち?』

最悪の気分ですが何か。

むしろこの状態で良い気分だったら相当のMだぞ。

俺の店で働いてたエムくん級の。

『だが絶賛大ピンチのお前にこの私がチャンスをやろう!』

んだようぜーなお前。

プレイヤーチャットの時と同じくらいうぜーぞ。

お前はあれか、仕事は出来るくせに人間としてダメな新入社員くんみたいなヤツか。

んで、チャンスって何よ。

『いや、お前が行けば死亡率80くらいあるようなエリアに転移させ

てやろうか？ちなみに脱出はボスを殺さないと無理だけど』

うお、そんな物が………よしいったるわ。

どうせ死ぬなら我が生涯に一片の悔い無しイイイイ!!!とか言つて死にたいしき。

んじやよろしく。

『了解だぜっ！あ、先客二人くらい居るけどよろしくねー』

えっ何それ俺聞いてない………ゴフアツ。

なんか真上から変なもんが落ちてきて意識も落ちた。

「つてのがここに来た訳よ」

(全然分からん………)

おいお前ら、その思いが隠せてねーぞ。

てかふいーちゃんもSAOに居たのね。店長驚きよっ。うん。

あ、分からない人のためにも説明すつけど、ふいーちゃんつてのはリアルではバイト勢の中でも割と高性能ふれんどいないさんとして恐れられてた子ね。

その由来は非リアがなまった事から。ヒリア⇒フィリアってね。でもペドフィリアもといロリコンじゃないんだぜ？本人いわくただの子供好きだつてね。

あと、某蜂蜜熊さん、もといpohさんこんなとこに居んのかよ………てか見た目怖いけど顔見えないつて言ったらフード脱いでくれたし素の顔はめっちゃ普通のイケオヤジだぞ………

ただフード被ると絶妙に怖いけどな。

とにかく、pohさんは悪い人じゃねえ………少なくともエムくんの恋人で天然チートのピーちゃんよりはマトモだぜつてのは断言したい。

「それで、どうするマスター？」

あ、そうそう。ふいーちゃんはさ、何故か俺の事をマスターと呼ぶんだ。

きつとあれだね。ふいーちゃんは昔喫茶店とかバーで働いてたんだと思う。

だから多分そのクセが抜けないんだ。(注：全力で違えます)

【恐怖】料理は上手くても下手でも兵器になる。(迷言)

さてと、ホロウ・エリアなるところに来たけども、どうやって攻略するかねー。

やっぱり普通に攻略するのも良いけど、ここは1つ面白い事をしたい。

例えばここでドロップアイテムを狩ってネタ装備を……あ、そうだ今のうちにアレ、装備しとくか。

メリケンサックと指貫グローブ。

あれがあればクイックチェンジすら使う暇がないときも戦闘しやすくなる。

とりあえず装備してても損は無いし……うお、こいつなんだ、すげー密着感がするし……ピツタリだぜ。

「カツコいいですー」

エフ子からも好評だし、後でこれを最大限活かした技でも作るかね。

魔神拳改とか作ったら良いかもしれない。幸いにして俺にはキャンセルがあるし、星打を無数に繋げれば威力も派手さも多分稼げる……だが何かたりない。あともう1つ……そーいや俺、まだ体術スキルに1つだけソードスキル残ってるじゃん。

名前は分かんねーけどこれはネタに使える気がするね。

と、なればまずはエフ子とふいーちゃんとおほさんを誘ってスキルレベル上げでもするか。

俺の低いレベルを上げるのも出来そうだし、一石二鳥だぜ！

「隊長さんよ、でもこの外の奴等はずえーぞ？」

おっとおほさん、そんな事もあるうかと俺には見た目は地味だが火力を稼げるハメ技があるのだよ。

え？何かって？そりゃ見てのお楽しみさ。ネタを明かしたら面白くないだろ？そういうことさ。

まああの技は面白くないけどな。いわゆるこだわりでしかない。あ、ちなみにこだわることには意味はない。そう、ただのこだわりは意味が無いからこだわりなのだ。

「そんな訳でき、とりまこの面白そうな監獄エリア？にレッツラゴー！」

つまり、今のようになんの脈絡もなくフォトンムーブでコンソール前に移動してワープ先を名前で決めたとしても、そこに意味は無いのだ。

「マスターそれは違うよ」

はいはい、ふいーちゃんは黙ってようねー。クッキーあげるから。え？子供扱いすな？

いや、その呼び方じゃまるでエフ子じゃん。あと反応面白いし。

とりあえずクツキーどぞ。ちなみに今日は何やらろーくんから送られてきた（と、言ってもただ転移門前で渡されただけ）怪しいクツキーです。

さあふいーちゃんレッツラゴー。

「ろーさんの作った!?嫌な予感が……………」

「マスター！私にもクツキーくださいー！」

そしてナイスだエフ子。君にはろーくんから送られてきた見た目だけはそつくりなクツキーをあげよう。

実を言うとこれただのクツキーのクセに所々チョコっぽい味があるんだよね。ガバガバな味覚システムの裏を搔いた荒業だよ。

「つ……………卑怯な……………（意識：子供を脅しに使うなんて、卑怯な！こうなったら効果を確かめるしか……………でもあの人のクツキーとか嫌な予感しかない！）」

あ、なんか今意識と台詞の食い違いが激しい何かが聞こえた気がする。

ふいーちゃん、本音バレバレだぜ？

ちなみにふいーちゃんの思ってることの半分くらいは勘違いだね。

脅したつもりはない。ただまあ……………ろーくんが人体実験せずに作った創作料理は『食えるけどおいしくない』か、『死ぬほどおいしい

けど変な効果がある』なんだよね。リアルの時から。

確か前に日本代表候補の人が一回来てろーくんの料理食ってつたら次の日代表になったらしくて、それ以来常連になったって話もあるんだ。

なんとウチの料理を食った日は微妙に体が軽いんだと。一体どんな料理なんだろうね？（すつとぼけ）

てかふいーちゃん、クッキー食うの早っ。

ちよつと目を離したら食い終わって………って消えた!?

「ふえい!？」

あ、なんだそこか。

どうやら今回のクッキーは小さくなる効果らしい。

なるほど。これはろーくんが好きそうだ。

とりあえずメールを作成だけしといて後で送ろう。

あ、そうだ証拠も作つとこ。スクショスクショ。

「なんか今激しく嫌な予感がした」

あ、何やらふいーちゃんは俺が何をしようとしているのかなんとか観察してみたんだ。

まあここは一発大ボケかまして気を紛らわせちまえ。

「知ーらね。ところでろーくん特製のオートエーミール食う？」

「何その蝶が好きそうな名前」

俺も知らん。とりあえずオリジナル料理の命名はろーくん任せだし。

確か前深夜テンションで美味しいし何故か運気が上がるし作りやすいし材料も安いなんて完全無欠の料理のくせに名前が300文字越えてローカルルールとして噛まずに言えなかったら通常税込み500円のところ1500円になると言うえげつないやつがあったっけ。

名前忘れたけど略して【読めない】だったのはしつかり覚えてる。

つーかあの名前はろーくんの愚痴も混ざってんだよな。えと?あ、ちよつと思ひ出した。

嫁もないルックスもない金もない(中略)そしてそんな俺をあなた

は殴らずにいられない丼。だった。

中略した部分はわからん。でも果てしなく長い。ついでに句読点がない。

俺もあなたは殴らずにいられないの所を言えた試しがない。てかアレはおかしい。息継ぎ禁止とかヤバい。

「マスター、何しれつと私に怪しいお粥渡しながら考え事してんですか。やましいことでもあるんですか」

「ろーくんが前に作った死ぬほど名前の長い料理についての思い出をちと」

そうそう、ふいーちゃんにはついうっかり伝えてなかったんだけど
そういやそのオートエーミール………こだわり故にちよつと普通には売れないらしいんだよね。一体何をしたんだか。

まあここはふいーちゃんで実験じゃー。

「ん？そのかゆ、うまそうだな。」

おつとここで Poh さん乱入か。

あれだな、きつとふいーちゃんが怪しいモノを食べるのを見てられなくなつたんだ。

でもさ、安心してくれよ。ろーくんだって料理人だし、食えない物は入れてないよ！

「あ、あげますよ」

「ありがとな………どれどれ」

Poh さんがオートエーミールを一口口に含むと、突然無駄にうるさい声が響いた。

「宇宙……キター………つて俺は一体何を」

どうやらオートエーミールを食った Poh が叫んだようだ。

しかも様子から察するに本人の意思じゃないっぽい。

あと再現度がおかしい。

完全に本人だぞあれ。

まさか………食べた奴に叫ばせる効果か？

だったら何故にオートエーミール………ダジャレか。

「………コホン、これ結構美味しい強力なバフが掛かって良いな(苦笑

い」

オートエーミールの名前の由来をなんとなく察してしまった俺は、すべて食いきった哀れなpohさんに心中で黙禱を捧げるのであった。

クソツ………こうなつたのは何故なんだ！（すつとぼけ）

【これは酷い】PSだけなら最強っぽい奴等が戦ってる

「フウハッ！」

「…」ズザザザザザザザザ

「おらあ！」

「えいっ！」

四人で同時にそこら辺で見付けた手頃な強敵を殴りまくる。

と、言ってもレベルは150だし、単に数が少ないから確実に回避出来るっただけだけだな。

あとこいつと戦ってるのは、なんかたまたま持つてるのを思い出したとあるスキルの影響だったりする。

エクストラスキル【火事場の馬鹿力】

いくら削られても一度1で耐えてその後数秒無敵になり、最大から減ってるHPの分攻撃力に上乘せると言うキチガイスキル。

それにオートヒールを加えることで結構な実質的防御を得るのだ。そのため1つの巨大な目の回りに大量の目を持つてるキモいコイツも………

「ヴエエエイ！」

意外と安定して消せる。

やっぱ一撃虐殺クラッシュャーは優秀だっるのが分かるね。

いくらクイツクチェンジとかも併用してえげつないくらいに攻撃回数稼いでもマトモにダメージ入らんが、毒が結構強い。

ガリガリ削れて美味しいです。

ほら、今も一匹始末した。

主にダメージソースはふいーちゃんとpohさんだけどね。

ちなみにエフ子についてはストレージで見付けた【隠者のマント】でヘイトが出ないように時々攻撃してもらってる。

それだけでリード口率上がる………お、俺のレベルも上がってるじゃん。いやっふー。

とりあえずステはバランスで筋力敏捷重視にしとこう。考えんのめんどくさい。

それにどうせ、適当に振ってもここのヤツはレベル高いからすぐに新しく振るポイントが手に入るんだよな。

いやあウハウハですわ。

んじや、元気にあと何十体か狩りまくりますかね。

あ、そうだ。ついでに新技の調整もしよう。

今ならきつとこれまで相手が居なくて出来なかった技も出来そうだもん。

いや、確かに相手強いけどさ、やっぱそれでもおふぎけは必要だよ
ね？

「てな訳で……サッカーしようぜ！お前ボールで俺フオワードな！
そしてお前らゴールキーパー！」

「どういう訳だよ」

Pohさん、ツツコミナイスだ。

ただそこに一切の意味は無いがな。ノリである。純粹な。

ちなみにこの技の名前はイカサマイレブン。イナズマイレブン
じゃないぞ、イカサマイレブンだ。

特徴はあからさまにジャツジスルーのパクリである【撃鉄】という
体術スキルを使用すること、最初に蹴り飛ばした敵をボールにして
弦月とかその他スキルでイナズマイレブンやるところ。

ただどうしても化身とかが出せないから頑張ってもファイアトル
ネードとかエターナルブリザードとソニックショット、デスソード辺
りを少し再現出来る程度なんだけど。

主にスキルの色の問題で。

でも、幸いにして投擲スキルは裏技として足でキックせずに接触し
た状態で思いつき振り抜いて飛ばすとシステムアシストを付ける
事が可能だからそれを使っていつかはマツハウインドも再現できそ
うなんだ。

イナズマ落としとかイナズマブレイクは無理だけどな！

「マスターの行動に訳を求めちゃダメだPohさん、それは私達凡人

に理解できる範疇にない」

ふいーちゃん、凡人は普通君みたいな事は出来ないと思うんだ。

あと、ここに凡人は居ないぜ？

Pohさんだつてめちやくちや強いし、俺が今やってる事だつて多分普通じゃない。

さあふいーちゃん、普通じゃないと認めるんだ！

「刺す」

そーですかハイ……………じゃあとにかくここで一旦決闘でもするかぬ？

今敵をサクツと蹴っ飛ばしたし。

お、なんか都合よく敵が蹴っ飛ばした目玉に当たつてら。

それでダメージが入りあったのかヘイトが……………乙。そしてご愁傷さまDEATH。

うつす。分かりづらくてすまないがPohだ。

ところでどうでも良いが今目の前で行われている決闘に俺は口を出すべきなのかそうでないのか……………ただ本能としては入っちゃダメだと分かってしまつてるんだがな。

決闘してる二人とも動きおかしいし。

壁走ってる隊長の動きは嬢ちゃんよりもキレがあるが…嬢ちゃんも体がブレるほどの速度で反応してて一進一退というか0進0退だ。

つーか隊長、あの動き完全にふざけてるよな。

攻撃の時わざわざ剣を投げ上げて落ちてくるまで斬つて落ちてきた瞬間剣の勢いを殺さず攻撃に生かすとか聞いたこと無いからな!?

そして嬢ちゃんも嬢ちゃんですき出した短剣が小刻みに震えているようにして恐ろしい速度で隊長の攻撃全てを弾いているのみな……………ああ、これを見てるとただちよつと決闘に慣れてるだけの俺が悲しくなってくる。

アイツら、俺が居なくて大丈夫かね？

ザザとジョニーはまあ、強さだけなら俺に続くくらいに強いし人望もあるから良いが、なんかウチには合わない感じの……………なんつーか

嫌な奴ぶってるだけで根は悪い奴でもないアイツとか、ザザに憧れてウチに入ったチビ助とか、やたらとイケメン感が見え隠れするあの人もちいと不安なんだよな。

もし討伐隊なんてものが押し掛けたりしたら大変だぞ。

俺だけ逃げちまったみたいになる。

それに見捨てらんねーし……ああダメだ、憂鬱になってきやがった。

「どーしたんですか？」

そんな時、隊長んとこの……エフ子？がやってきた。

あ、もしかして変な力オしてたか？

ハハ、昔から考え事すると変な顔に見えるって言われるんだよな……

そうだ、エフ子ちゃんを見て気分を変えられたからか良い事思いついた。

俺はここで何を担当するかということだ。

殲滅は隊長と嬢ちゃんです足りるし、料理はドロを適当に焼いて食べれば良い。

だが、この状況を記録するヤツがいねえ。

ならばここで俺が記録しようじゃないか。

フレンドへのメッセージは送れないから、ここは1つ捻りを加えてみたんだ。

そう……プレイヤーチャットだ！

27・某蜂蜜熊

そういう訳で今から目の前の決闘の実況します。

早すぎてハシヨるしか対応できない場合もあるんでご了承下さい。

28・ムツコロ星人

27・目の前で決闘してる奴の一人を把握した。

それと同時に真実だと理解できた。

29・カボチャヘッド

27・誰か死んだら墓は造りますよ？

30・某蜂蜜熊

29・作らんでええ。

あとこっから実況です。

現在両者ノーダメ。お互いに壁を蹴って移動したり空中で七回ほど斬ったりmobをサッカーボールのようにはいたり忙しいです。

31・ムツコロ星人

二人が人間かどうか本当に疑問なんだが。まあアイツなら仕方ない。

32・ギルさん

アイツって誰だ？

33・ムツコロ星人

32・調査隊ってこの隊長。

34・某蜂蜜熊

もはや隊長はアイツだから仕方ないになるのか。

あと名前出ちまったしこっからは隊長って呼ぶぜ。

そして現在隊長が相手に一撃入れたところ。

あえて言うとなんまで短剣より多い手数を出すとかおかしいと思う。

35・カボチャヘッド

恐ろしいものだね。

36・ギルさん

なんまで短剣より手数をのくだりでボデイビルダーを想像したんだが。

37・ムツコロ星人

36・あやつは一般的な体型だったな。

PSがチートクラスなだけだ。

38・ギルさん

どんだけだよ……

39・某蜂蜜熊

38・俺的意見だが、レベルさえあるなら攻略組でもトップクラスになれると思う。

というかそうじゃなきゃ目の前の事象を理解できない。

突然隊長が光って高速移動したらいつの間にか結構なダメージが入ってた。

ただ隊長も少し喰らったみたいだ………恐ろしいものを見た。

40・ギルさん

もう隊長は隊長って名前の新種生物なんじゃないのかと思えてくるのは俺だけか？

41・カボチャヘッド

40・禿同

42・ムツコロ星人

40・禿同

43・ギルさん

だよな。

44・某蜂蜜熊

続き。

なんか今度はやってることが完全にアニメみたいになってきた。

隊長の動きが加速しやがったよ。

それに対応出来る相手の方も凄いが、隊長の動きが多少ラグって見える。

加速系スキルって言われても信じちまいそうだぜ。

45・ムツコロ星人

システム限界でも越えたか？

46・カボチャヘッド

—	—	—	—
	P	I	R
—	—	—	—
—	?		

安らかに眠れ。

47・ギルさん

46・気が早いぞ。

48・ムツコロ星人

46・そして一瞬でそれを書いたお前の才能に脱帽したw

49・某蜂蜜熊

だが本当にそれが現実になってもおかしくなってきた。

デカブツが乱入した。

レベルは俺の感覚では150とか行つてておかしくないと思う。

50・ギルさん

突然の侵入者だな。

51・ムツコロ星人

とりあえず侵入者に合掌。

52・カボチャヘッド

怪物に入られても困るけどね。墓に。

サイズが合わないもん。

53・ギルさん

52・着眼点そこか。

54・某蜂蜜熊

52・とりあえず新鮮な死体はそこに行かんと良いな。

もう敵が死んだ。

片や残像を残して目ムワを引き起こし、片や取り出した剣を振る勢いで敵の体を登って頭上から延々とソードスキルしてやがったらすぐ死んだ。

もう俺の目はおかしくなってるのかな？

55・ムツコロ星人

54・アイツが居るんだ、不思議現象の20や30くらい起こつてもおかしくないさ。

56・某蜂蜜熊

あ、また戦闘……お互い体力は五分五分だし、どう転ぶかわからん。

予想したいやつ居る？

57・ギルさん

相手の方に一票

58・ムツコロ星人

隊長に一票

59・カボチャヘッド

隊長に一票

60・ムツコロ星人

57・お前が心優しい奴なのは分かった。それに相手も強いのは理解している。だがアイツだけは倒せない。

エアーマンよりタチ悪いもん。

61・某蜂蜜熊

決着ついた。

詳細は67・頃に。

62・ムツコロ星人

うえ？

63・ギルさん

一体何があった。

64・カボチャヘッド

豆腐でも落ちてきたか？

65・ムツコロ星人

なんか今隊長のしてやったり顔を想像した。

66・カボチャヘッド

どっちが勝ったんだらうね。

67・某蜂蜜熊

勝者：隊長

勝因：片手剣に持ち変えた時にハンマーを上を上に放り投げたのがたまたま当たった。

でもどうやったら五本くらいのハンマーを一瞬で投げられるんだらうな。恐ろしいよ。

68・ギルさん

まさか66・がほとんど当たってるなんてな。メテオはないわ。

69・ムツコロ星人

せやな。だがハンマーメテオとか考えただけで恐ろしい。

70・某蜂蜜熊

とりあえずここらで二人の方に色々聞いてくら。

今度書くだらうからその時はよろしく。

71・ギルさん

70・乙!

72・ムツコロ星人

70・乙!

73・カボチャヘッド

70・乙!

【某蜂蜜熊】さんが退室しました。

【大特価】喧嘩大安売り中

おいつす俺俺、俺隊長。

どうでも良いけど小学校の時陰湿な事されたからクラス替えの時の自己紹介で柔道やってますと得意気に言ったら何を思ったのか反応した奴がいた思い出がある。

確か名前は阿部くん。常にツナギを来てて親父はバーのマスターだった。

その後聞いた話では阿部くんは柔道を始め異様なほど寝技を決め、対戦相手の腰を抜かして行ったとか。

なんて恐ろしいんだろうね。一体誰がその才能を目覚めさせたんだろうか！

「ダウト、です！」

「orz」

さっきの阿部くんの話関係無いけどさ、なんか今無性に腰を抜かしそうな気がする。

なんでだろ。

ああそうか。

さっきから…………

「負けすぎだろ pohさん」

トランプやってたら死ぬほど pohさんが弱かったし、それに驚いてしまっただろう。

さっきから10枚溜まったところでいつもエフ子にダウトされて手札が恐ろしい事になってる。

いくら消費してもエフ子の勘が良すぎて上手いことダウトされる。

しかもダウトを仕掛けても失敗…………エフ子、恐ろしい子。というか pohさんも pohさんで恐ろしいです。ハイ。

幸いなのはこれに懸かっているのがただのリポップまでの時間を潰せる面白い事をするという罰ゲームだけなことかね。

今だってすでに pohさんが何をするのか楽しみになってきてる

し。

流石に20枚近くになってくると勝ち目は無いよな。

俺は五枚、エフ子三枚、ふいーちゃん六枚、pohさん………30枚（さっきのダウトで更に増えた）

で勝ち目は流石に無いと思う。

俺ならその時点でいかに嫌がらせをするかを模索する頃だ。

例えば手札に揃って………ん？揃って？

あ、そういやpohさん手札多いし13種全部揃ってんのもあるんじゃないかな。

だとすればここからはpohさんのターンだ。

まあとりあえず俺は次の番たまたま手札に正しいカードがあったのでそれを置いた。

そしてその次、エフ子のターンで悲劇が起こる。

「ダウトだ」

pohさんの手札には恐らく全種類揃っているのだろう………ニヤニヤしている。多分ずっとやられてきた分今最ツ高にハイって奴なんだろう。

でもさ、俺の記憶が正しければこのトランプ54枚あったし、JOKERを一度も見えないんだよね。今のところ。

あ、分かった？今必死にpohさんのフラグを建ててんの。

いや、別に悪意はないよ。ただちよつと面白いかなーと思うだけだし。

お、ちょうど今から一番上がご開帳だ。何が出るか……

「………JOKERだど!?!」

「………(笑)」

「笑うなよ」

ついうっかり笑ってしまった。まさか丁寧にフラグを回収してくれるなんて。なんて心優しいんだ。

さて、これでエフ子はラスワンだけど、pohさんはもう40枚近いし、その上俺も残り三枚だ。

これで逆転は流石にキツイと思う。

次にふいーちゃんが何を出すかによるけど。

「それじゃ私。7」

ふむふむ、ふいーちゃんは安定の7、と。

確か店に居るときもやたらふいーちゃんだけ受け持つ会計が700円やら7000円だつたりで7が多いんだよね。

何でだろ？

「8だ」

そしてここでpohさんのターン。

だが……嘘発見。

実はこれまで俺が確認した中では8は出ていないし、そもそも手札に8がある。

ついでに言つとくと今9が無いからリセットした方が楽なんだ。

pohさんには悪いけど。

「ダウトー！」

「フツ……JOKERだー！」

あ、そういやそれもあつたね。

でもプレゼントありがとうpohさん。

山札に何故か9が都合よく入つた。

「9」

さあ俺からリスタートだ。

いや数変わって無いけども。

「10」

「J」

「Q」

「K」

さて、番が回って再び俺。現在の枚数は四枚だが、pohさんは………お察しだ。

だがふいーちゃんが三枚だから一回はダウトして成功させておきたい。

あるいはふいーちゃんを騙して回収させたい。

「A」

その為に迷ったフリしてJOKER投入。願わくばダウトしてくれ。頼む。

「掛かったねマスター。ダウ「PIGAAAAAAAAAAAA!!!」

って、ありやつ？

なんか敵が出てきちゃったみたいだ。

ということはこれでダウトはお開き……

上がったのエフ子だけじゃん。

何かと長めにやってたのにあがったの一人だけかw

しかも横でpohさん血の涙流してるよ。

アハハ……もう笑うしかないってくらいに真っ赤なオーラを出してら。

いやはや、この温厚で紳士なpohさんがラフコフのリーダー張ってる理由が分かったような気がする。

多分キレた勢いで作ってやめるにやめられないとかだと思う。

「クソがあ……たっぴらかすぞ temeエ……」

ところでpohさんって沖縄県民なのかな？

あ、でも良く考えりやたっぴらかすはマから始まる流神で有名だからノーカンか。

それより今は敵とpohさんとの戦いでも見るかな。

まずpohさんが短剣を出してそれを投げ、当たると同時に同じ早さで移動したのか抜いて短剣ソードスキルの内便利度最高のアーマー・ピアース（敵の防御を抜いてしばらく防御ダウンの突き攻撃）を使用。

その上キャンセルしてアクセル・レイドに繋げて9連撃。

まさかpohさんもキャンセルをするなんてな。いつも優しい人が怒ると怖いね。

さて、俺も参加しますか。

俺はメニューから手頃な短剣を二本取り出し、お手玉を始める。

まあ正確にはお手剣かもしれないけどさ。

そして短剣を手に取る度に投げて敵に突き刺し、クイックチェンジで回収する。

ちなみにどうでもいい知識として、二本同時に持つていなければ誰でも理論上二刀流は出来るんだよ。

一本で斬りつつもう一本をキャッチ&使ってた方を投げて斬る。そのループさえ出来ればね。ただ俺は短剣でしか出来ないが。あそここの投げてタイミング良くクイツクチェンジで回収のスタイルオンリーだし。ダメだな俺。いつかはハンマーでやれるようになるなきや。

「うらあー」

おろ、pohさんが突然やたらデカい両手剣を出してきたよ。一体何をやるのやら。

とりあえず一旦離れて投げ続けよう。

隣でふいーちゃんがエフ子と戯れてるが気にしない。

自分だけ腕の動きを止められない中隣で戯れてるのがちよつと羨ましいけど気にしない。

羨ましさのあまり少し早く終わらせたくてうっかりキリングボム（効果範囲がやたらと狭い、当たってから爆発までの時間が短いし感度が良すぎる、代わりに死ぬほど強い。威力はクレイジーボムに劣るがクレイジーボムより結構軽いので投げると速い）を大量に取り出しちやつたがうっかりだから仕方ないよな。うん。

しかもうっかり投擲スキルで現状最も速く投げられるソニックスロウを使っちゃつたが、ただ単に短剣を投げる途中でうっかり手を降り被っただけだから！ただそこに握っていたのがたまたまキリングボムだったただけだから！

え？ pohさん？

大丈夫大丈夫、今pohさん足元をスライディングキルしてるから当たらないさ。

さあキリングボムよ！この敵を爆発死散させてやるのだ！

「PIGA……………」

ってあれ？ギリギリ生きてんじゃん敵。

じゃあここは一度近付いて一撃虐殺クラッシュャーを喰らわせ

……………

Nice
boat.
「ぬんっ」

【禁断の】かやひこの暴走【合成】

どうでも良いけど俺はドラクエでぎんがのつるぎを作ろうとして何度も挑戦したのだけれども、百回やってもすいせいをつるぎにしかならなかったことがあるんだ。

それを姪っ子にやらせたらね、一発だったんだよちくせう。

何故そんな事を言うのかと言えば今、俺の目の前にある物が原因だったりする。

そう、釜だ。しかもドラクエの錬金釜にそっくりな。

おかしいだろ作品的に。いや細部の違いはあるね。でもどう考えても喋らない事以外完全にカマ〇ルだよねコイツ。

その上本当に合成出来るし。かやひこと遊び心、ここに極まれり。さて、今のうちに俺がこの釜に出会う事になった理由を説明しておきたいと思う。

それは俺のレベリングがいつの間にか完了していた事に気付いたすぐ後のこと。

俺たちは皆で管理区まで戻った。

そしてそこで、遺棄エリアなるところに行ってみる事にした。

気付いたら安全マージンとは言えないまでもほぼ100越えのレベルを手に入れてたもんな。

だがその考えは甘かった。

うん、遺棄エリアの敵、レベルは同等くらいなんだけどさ、いかにせん数がキチってたんだよ。

なんか同じ所から同時に五体ポップすることもあるし、少なくとも三体くらい密集してるのは当たり前。

その上パーティに均等にヘイトを持ってくるから簡単には倒せない。

どうしたものやら、ねえ。

そう思った時丁度良いことにドロップした武器があったんだ。

ランスオブクライって名前の明らかにおかしい武器が。

槍スキルは取ってなかったんだけどさ、ドロップした時に『ヘイト

上昇量大幅増加』って効果がついてたんだ。あと見た目がすこぶる格好よかった。厨二心が捨てきれなかったんだよ。

だから見た目でクイックチェンジのメニューに登録してた。戦闘後に格好つけて回してみようかと思ったのさ。

んで、そこからは割と単純。

運悪く二十体くらいが密集してるモンスターハウスに閉じ込められちゃってさ。

幸いにして結晶は有効だったんだけど、敵が多すぎてメニュー操作してる暇も無かった。

だがそんなときクイックチェンジに登録してたランスオブクライを装備、全力で振り回してヘイト稼ぎまくって皆を逃がした。

そして最後の一人になったからクイックチェンジで空を飛ぶ例の技を使って時間を稼ぎ、悠々と転移結晶で逃げようとして事件発生。

操作を謝ってクレイジーボムを選択しちまったのさ。

しかも部屋が狭すぎてギリギリ逃げる場所がない。

やべー詰んだ。そう思った時に偶然、天井に穴を見付けた。

あ、あんなところに隠し通路が!?

最初はそう思ったね。

まあ迷うことなくスタイリッシュ不法侵入を決めてやりましたとも。ええ。別にただの穴だしここは無法城アインクラッド(実際ルールは良識と常識だけで、さらにルールを作っても弱けりや意味がないらしいね)だから不法侵入もへったくれも無いがな。

んで、穴を通って上の部屋でクレイジーボムを回避した事に安堵したら急に周囲を確認したくなって、そこにこの鍊金釜があった()というわけ。

一体誰がこんなところに……かやひこか。

とりあえずはコイツの基本性能を確かめてみようかな。

まず合成するのは簡単なもの。

俺のストレージにある中で一番格好いい剣(ストックが無駄に多いし弱い)と中々に強い剣の2つ。合成したらどうなるかな？

釜の蓋を開け、そこに二本の剣を入れる。

ついでにドロップしてた大量のリザードの尻尾も入れとくか。ス
トレージの容量足りなくなってきたし整理しとこう。

ガサガサガサガサと釜の中に尻尾が入っていく。

ついでに騎士っぽい敵を倒して手に入れた折れた聖剣、血濡れた聖
剣も投入じゃあ！

【これ以上入りません】

おろ？どうやらもう入らないようだね。

んじゃここで釜に蓋をして錬金開始だ。

完成までは……三分！

カップラーメン級だな……ってうえい！?

今床抜けたよ!?!ホワイ!?!

あれか、まさかさつききの部屋ここで錬金すると落ちる部屋だったの
か。

つまり何かしらすげーもんが出来る……オラワクワクすっぞ！

ここはひとまずギリギリ落ちなかった事を祝って肉焼きの歌でも
……あ、駄目だ。姪つ子に『歌うと周囲に甚大な被害が出るから』と
言われてるんだったな。

うっかり敵でも呼び寄せたらたまらんし。

それじゃ残りの錬金時間はあの方法で片付けさせてもらいますか
ね……

キング・クリムゾン！

てな訳で三分経過。

まさかノリと気合いで本当にキング・クリムゾンが出来るとは思わ
なかったよ。

気付いたら完成してたんだ。

あー、なんかすげーワクワクするわー。

なんだろなー、片手剣だと良いなー。

俺は意を決し、釜の蓋を取る。

するとそこには……

【妖刀・髭切】

やたら格好いいし強いし竜殺しなる効果も付いてる短刀が出てき

た。

何故聖剣とか片手剣とかリザードの尻尾とか大量投入したのに短刀なんだよ。俺の素材返せ！

まあ回収するけどな。

良いんだ、これとこれまでにドロップした様々な素材や片手剣と組み合わせて片手剣作るから。

さあ、俺の錬金はここからだ！

まあ、そう言っても別に打ち切りになったりはしないんだけどね。でも合成しようか。

とりあえず……そうだ、試しに剣と爆弾を錬金してみよう。

適当な斧を選んで、それを結構な数持ってたからか余ってるキリングボムに合成する。豪勢に五個くらい。

ガチャコン

何故かガチャガチャを回した時のような音とともにキリングボムと斧の合成された物が出てきた。

しかも五個。

えーと、名前は……キリングエッジボム。なるほど、名前から察するにキリングボムが手榴弾の特性も獲得したって感じかな？

ただでさえええげつない威力のキリングボムの爆発で刃を打ち出す……あれ？これ完全に自爆用じゃね？

失敗だなこりゃ。壁に隠れて戦う場合とかしか使えんわ。

まあとりあえずストレージにINさせとこう。壁に隠れて暗殺とかやってみたら格好いいだろうし。

そんじや別の錬金をしよう。

例えば……クレイジーボムとキリングボム、加えて先程の短剣製造に使ったのと同じ血に濡れたり色々している聖剣などを投入。

さあどんな爆弾が出来るかな!?

ガタガタガタ……チン！

何故か今回は電子レンジみたいな音を立てて、錬金が終了する。

レンジでチンする錬金術とかラノベのタイトルっぽいよな（笑）。

まあ、そんなことは置いといて、中身の確認だ。

どうなってるかな？えと名前は……
バーストスパークエツジ（短剣）
二本も要らねえから！

【七夕外伝】星に願いをコイツに罰を

【永久に結ばれし者達】

七夕の今日、アインクラッドにこんなクエストが現れた。
恐らくアレだろう、彦星と織姫がーってヤツ。それになぞらえたんだな。死ねかやひこ。

あと常々ヤンデレアルビノ病弱○幼馴染みが居るからって俺を憎く思ってる作者、アンタもな！

って痛いっ！痛いぞ！酔った親父にすら物を投げられた事だけは無いのに！

ってあれ？これ矢文……なにになに？

『お題：七夕って事で死ぬほどリア充しろ。異論反論は認めるが逆らうことは許さない。尚これを実行しなければお前のストレージから脱出用の結晶を全て没収し施設可能な部屋に幼馴染みと共に閉じ込める』

脅迫じゃないですかやだー！

なんでだよ、なんで俺がアイツとリア充○しなきゃいけないんだよマジフアツキン。

いや……こうなればもう吹っ切ってしまえ。逆に考えるんだよ。こつちから寄って行ったら離れるんじゃないかね？と。

クフフ……そう思うとやる気が多少は出てきたな。

よし行くか。

『追伸：七夕クエスト受ける馬鹿』

そんなメールと共にハンマーが飛んできた。痛いよ。てかメールだけで良いよ。

まあ……クエスト受けるだけなら良いか。

俺はクエストを受注した。これが俺の人生オワタの始まりになることを知らずに……

「と、言う訳でデート（クエスト消化）しようぜw」

「デート（普通の的な意味の）？うんいいいよ！」

そんなこんなで幼馴染み（年上だがどう考えても年上には見えない不思議）をデートに誘ってみた。

リア充しろってんだからこれで良いよな。アハハ……あれ？嫌な予感しかないや。

とりあえず装備でも整えよう。

幸いにして俺の装備は普段着と変わらんから上手いことコイツをどこかに……ハッ、まさか七タクエストをやれとでも言うのか？

だが七タクエストと言うからには……中々に気が利くじゃないの。これで免罪符は揃った！

「それにしても、デートに誘ってくれるなんて珍しいね……もしかして私にプロポーズ？」

「違いますんなわきや無いでしょ」

それにしてもこやつ、すぐ調子に乗るんだよな。デートに一回誘ったくらいでプロポーズとかスピード婚過ぎるわ！

しかしこういうヤンデレは……そうだ、妄想型だ。やらせておくと気付いたら大変な事になっていることもあるタイプ。

幸いにして俺が根っからの性格クズという事もあってモテないから大変な事にならないが、これが黒の剣士辺りだったら……寒気が止まらん。他人事なのに。

「それじゃ……まさか怪しげな薬でも盛って襲うとか!?!それくらいなら普通に来てくれて構わないよ！ウエルカムだよ！」

「え？いや単に面白そうな七タクエストってのがあったから誘っただけなんだけど」

「(;ω;)」

あ、マジ泣きはやめて。ただでさえ他人からの評価はクズって事になってるのに泣かれたら人間としてすら見てもらえなくなる。

「大丈夫大丈夫、そうなたら私が面倒を見てあげるよ。まーくんは愛と体だけ……」スパン！

ストレージを検索、ハリセン装備、そしてそこから攻撃するまでに掛かった時間は僅か0.2秒。

いい加減コイツにはそういうダメンスメーカーをやめてもらいた

いね。

この残念ささえ無ければもう普通にモテるのに。というか普通にモテてるのに。

何故俺を……

まあ良いか。どうせ短編だし長くやってももとい時間がもつたない。

俺は思考を切り替え、グダグダのまま目的地……【星の海】へと向かった。

ちなみにそこは30層でも人気のデートスポットかつ狩り場で、狩りをする物とデートをする者による住み分けがされた区域なのだ。

そんなところでクエストとか……うわ混んでそう。

まあ行かないと駄目だよな。

「にやつはー!」

てなわけでやって来ました星の海。凄く綺麗な景色だな。目の前のコイツ以外は。なんだよにやつはーって。しかも明らかに動きがおかしいって……気にしたら負けか。なんか主人公感するし関わらんでおこう。

それよりも今は割とご機嫌なコイツと狩りをしよう。

七タクエストの内容は、「星の夜に思い人と星の海の対岸に行くことで二人は永遠に結ばれる」という暗号めいた物だが、多分ここにある2つの微妙な丘に行けば良いのだろう。

そこに行けばイベント発生だ。レッツゴー。

「まーくん、星が綺麗だねー」

そーだな。とりあえず流れ星が流れたらお前が真人間になるように願つとくよ。

「まーくんは私の事が好きなんだね」

何故この流れでそうなるし。

あれか、まさか願い事にお前の事を出したからか。

残念、それはただお前を真人間にすれば俺が解放されるだろうからだ痛い痛い。

まったく……首は固めないでくれよ。痛いだろ。

コイツといたら俺の寿命が減る気すらしてくる首絞めだ。

クソ……こんなときは……

「知ってるか、このクエストにはクリアすると結ばれるとかいう謎の一文があるんだが」

「まーくん！何をしてるの!?!急いで！」

変わり身はやっ。まあ良いけどさ。首も解放されたし。

そんじゃ軽く丘に……ってあるえ？なんでやたらとモンスターポップしちゃってんの？しかもなんで俺の前だけ……かやひこマジ許すまじ。

とにかくここは斬って抜けよう。

細剣スキル、リニアを連打してりやいつかは丘に着くさ。

その精神で群れの中を強引に進んでいき、俺はついに丘まで到達した。

いや、ただモンスター達は残ってるんだけどな。とにかく着いた訳だ。これさえクリアすればアイツも助けてくれるだろうから幾分か楽になるだろうしな。

さあ早くクリアを……え？

「ちよい待ち何が起きた？」

俺、クエストに従って丘に立つ⇒突然知らない天井とかどんな超展開だよ想像もつかねえよあれかお前は超展開の申し子かよクソ作者め……

ビシユツ

そんなとき、再び矢文が飛んできた。

今度は腕に刺さった。痛い。

しかしどんなことが……『物理的に結ばれるリア充め（大爆笑）』
……！

「ねえ……まーくん、これ何かな？飲んでみてって書いてあるけど……」
アカン！それ飲んだらアカンよ！

「まあ、圈内みたいだしっか！」ゴクゴク

………そしてこのあと、彼は外に帰ってきたとき、最初にこう言った。
『太陽が黄色いなあ』と。

【俺の】伝説の剣を手に入れたから相手が誰でもフルボッコ【最強伝説】

ふはははははっ！さっきの錬金釜のせいでお気に入りの一撃虐殺クラッシュヤーが消えちやつたのはお前らのせいだー！

死ぬがよい！

短剣スキル【アーマー・ピアース】鎧の隙間に強烈な一撃を打ち込む。つまりスタツと刺すということ。威力は折り紙つき。

俺はそれとさっき錬金釜で手に入れた短剣を使いながら帰り道の敵を薙ぎ倒していた。

それもこれも、どういう訳か他の場合は大丈夫だったのに一撃虐殺クラッシュヤーを投入した途端何故か【ジエンドボム】とかいう爆弾に変えてくれやがったんだよ。

マジで腹立つわ。と、いう訳で目の前のテメーもレッツッゴー地獄。それはともかくとしてこの短剣、バーストスパークエッジの方だけどさ、性能がチートすぎる。

流星はキリングボムとクレイジーボムを合成した短剣と言ったところか。

まさか一定回数攻撃するごとに小爆発（俺への被弾判定なし）を起こし、さらに攻撃時一定確率で目眩状態にする。

何それチート？ってクラスの剣だ。

ただまあ、実を言うとその後同じ組み合わせで錬金してみたところ別の物が出来た。

【テッドリーボム】

だ。説明文によれば『最強最大最悪の爆弾。喰らえばボスでも死ぬ』だそう。

あれだね、きつとかやひこがうっかり残しちやつたんだ。うっかり屋さんだなあ☆ミ

あ、ヤバい思った以上に気持ち悪いわ。二十代の男が☆ミとか誰得だよ。死ぬぞ吐くぞ気持ち悪いぞ。

あー、クソがあ！あれもこれもとりあえずかやひこ……いや、カデのせいにしよう。一撃虐殺クラツシヤーが消えたのもアイツのせいなさ（キリッ）

とにかく今はここを抜けないとな……ていつ。

アクセルレイドオ！（9連撃）

目の前に近付いていた騎士っぽい敵を切り裂く。

ソードスキルの威力と剣の性能が相まってえげつない威力を叩き出し、一撃で粉碎する。

俺はそれを横目にドヤ顔をしている。

出来れば効果音を付けたいね。『フォイ！』とかさ。

でもなあ……相手が居らんと果てしなく無駄だ……やる意味が無
いぜ。

とにかく今回は真面目（○）に戦うとしようかな。

まずバーストスパークエッジを逆手に持って突進、脳天に突き刺してジャンプ、炎襲脚でそれを押し込んで視界の端にポップしていた敵を殺す。

ついでにそこからクイツクチェンジ。髭切を持って壁を走り、近くを通った敵に一撃喰らわせて逃げ、溜まったところに残ってるキリングボムを投げ込んで一掃。ラーメンもといアーメン。

うん、まあ真面目にやってるな俺。

一切変な動きをしてないしキャンセルも挟んでない。常識的だぜ。

「ぶるあー」

だってほら、近付いてきた馬鹿な敵にもさ。

「必殺顔面ブレイク！」

丁寧にストレージの短剣を大量に顔面に叩き込んでからキャンセル閃打を打ち込みまくって釘打ち殺すくらいしかしてないもの。

ってうえい？何こいつまだ死なない。

つか顔が短剣だらけで気持ち悪いな。じゃあここはもつとマシンな顔に作り替えてやろうじゃないか。（暗黒微笑）

l p o h さんー

【緊急安価】 仲間が俺ら庇ってモンスターハウスに閉じ込められた件
【某蜂蜜熊】さん、【名無し】さん、【名無し】さん、【名無し】さん、【へ
ルプミー】さんが入室しました。

1. 某蜂蜜熊

今回の名無し率はこのプレイヤーチャットでは異端だな。

2. ヘルプミー

そですねー。名無しの方が珍しいとか訳ワカメ。

3. 名無し

2・2chとかに居たらどうしてもコテハン付ける気になれな
かっただけだ。

4. ヘルプミー

なるほど。

5. 某蜂蜜熊

さて、ちよい雑談も挟んだ所で本題だ。

今訳ありでとあるエリアに有名な隊長含む四人（内一人はタイムモ
ンスター）と来てるんだが、モンスターハウスに閉じ込められて隊長
が俺らを助けた。

だが帰って来んから俺らに出来ることを安価で考えよーぜってこ
と。

以下10・まで質問タイム。

6. 名無し

エフ子ちゃん無事か？

7. ヘルプミー

隊長って誰ですか？

8. 名無し

あの隊長が閉じ込められて連絡取れないとかありえないんだが。

9. 名無し

転移結晶使えるところだった？

10. 名無し

敵どんぐらいの強さと数？

11. 某蜂蜜熊

んじや1つずつ。

6・無事だぞ。今もう一人の仲間（女だからな？）の膝の上でモフモフされてる。

7・調査隊ってアインクラッドをくまなく調査する集団の隊長。

本名を誰も知らない事から大抵隊長と呼ばれている。つよい。

8・お前の言いたい事は分かる。分かりすぎて辛い。

9・使えた。だから帰って来ないのが怖い。

10・最低でも125とかがうじゃうじゃと。

12・名無し

11・そいつあひでーや！

13・名無し

隊長の冥福を祈ろう。

14・某蜂蜜熊

気が早いぞおまいら。

んで、ようやく安価するわけだがまずは隊長が生き残っている場合の生存の理由を25・

15・ヘルプミー

なんかもう隊長って人はそれを生き残ってたら人の皮を被ったV Rの怪物な気がしてならないです。

16・名無し

確か前にFAの天空を再現してた。

17・名無し

FFの斬鉄剣もな。

18・ヘルプミー

もう隊長を人間と思えない。

19・某蜂蜜熊

18・そんなやつらを目の前で見ていて正直俺はすでにアイツを人間として見ていない。隊長は隊長なのさ。

20・名無し

謎の信頼感ww

21・名無し

隊長が死んだらそこは黒の剣士でも攻略出来ん、それは言えると思
う。

22. ヘルプミー

21. いやそれはないでしょw

23. 名無し

敵を蹴っ飛ばしたらそれで連鎖して全消し

24. ヘルプミー

「待たせたなー」とライバル登場。

25. 名無し

逃げるために結晶使おうとしたら間違って爆弾出しちゃってたま
たま敵全滅。

26. 名無し

なんか普通に蹴散らした。

27. 名無し

殺戮の嵐を巻き起こした

28. 某蜂蜜熊

隊長生存の理由は結晶使おうとして爆弾。に決定。んじや次帰っ
てこない理由を45

29. 名無し

ちけーよw

30. 名無し

ちけーよw

31. 名無し

ちけーよw

32. ヘルプミー

仲良いですねー。

33. 某蜂蜜熊

32. 禿同

34. 名無し

何を言ってるんだ……

35. 名無し

俺達はまったく

36. 名無し

仲良くなんて無いぜ？

37. 名無し

→ここまで俺の自演です。

38. 某蜂蜜熊

37. オイww

39. 名無し

名前皆同じだと分かりづらいよね(笑)

40. ヘルプミー

なんか自分だけ浮いてる気がしててーへんだ。

41. 名無し

40. 軽いぞw

42. ヘルプミー

重くは出来ないよ。

43. 名無し

腹が減って(生きたまま)肉焼きパーティー

44. 名無し

突然奇行をしたら変なところに出て面白くなって帰るのを忘れた。

45. ヘルプミー

武器が壊れてストレス発散に殺し回ってるとか。シリアルモードで。

46. 名無し

突然眠くなって悪夢に魘されてる。

47. 名無し

いしのなかにいる。

48. 某蜂蜜熊

47. てめえを石の中に押し込んでやろうか？

49. 名無し

48. こえーよ。

50. 某蜂蜜熊

実際にやれなくは無いがな。ただひたすらウチのギルメン使って家に閉じ込め外部に出られないようにするだけの簡単な作業だ。

51. 名無し

アンタどう考えても閨系の人だw

52. ヘルプミー

そんなギルメンが居るなら今すぐ第69層の家に押し入ってくれ
ると嬉s

「ヘルプミー」さんが寝オチしました。

53. 名無し

52 イイイイ!!!

54. 某蜂蜜熊

今なんか凄くゴスツて擬音が聞こえた気がする。なんでだろ。

55. 名無し

完全にヤバい奴だな。てか安価どうなったっけ。

56. 某蜂蜜熊

現在は結晶使おうとして爆弾出しちまって挙げ句何らかの理由で武器を消失しシリアルモードで殺戮中、だな。

57. 名無し

もはやカオスでしかない。

58. 名無し

てか更に安価するとしたらなんだ？

59. 某蜂蜜熊

禁じ手使うわ。安価する内容安価。

60. 名無し

59. 流石に禁じ手すぐるww

61. 名無し

いつやるの？

62. 某蜂蜜熊

61. 今でしょ！

あ、あとスマソ。なんか隊長帰還したわw

63. 名無し

えつちよつワロスw

64・名無し

すげータイミングだなあw

65・名無し

んじゃ、ちよい確認よろ。

66・某蜂蜜熊

65・ok。確認したるわ。

このあとめちやくちや駄弁りまくった。

ピツ（手頃なハンマー装備）

タンタンタン（歩いて近づく音）

グシャツ！グシャツ！グシャツ！グシャツ！

介借完了。いやあ良い仕事をしたね。

特に頭蓋骨を叩く時なんて菩薩の顔をしてたもの。そこまでしてもらえるとプレイヤー冥利に尽きるよ！

「あまりのえげつなさに全俺が泣いた」

「マスター、それは、無い……」

つてあるえ？オイオイ、これくらいで引くとか無いだろ。

俺の知る限りじやもつとエグいタイプで、女型モンスターにくつくと離れない粘性の高い白い液体（ボンド）をブチまけて囲んで殴ったという話もあつてだな……

「じゃあエグい戦法対男部門の優勝は隊長の金的⇒頭蓋骨グシャツ！祭りで決定な」

ええ!?酷くね!?審査基準酷くね!?

あまりの杜撰さに色々泣けてくるよ!?

これよりもつと酷い戦法だつてあるのに……実演するから見てろよ。

まず人質戦法。

目の前に三体ほどの騎士型モンスターが居るから丁度良いな。

まず一体に不意打ちでソードスキルを喰らわす。

そしてもう一体を人質にする。短剣だからピツタリだな。

んで、敵の攻撃を誘い、人質を斬らせる。

「え？普通の事じゃね？」

「？」

あー、よしよし、エフ子は何も知らなくて良いんだよ。そのままできてくれ。そのままが一番さ。

つーかお前ら、俺に酷い酷い言う割りにお前らも酷いな。

まあ良いや。ちなみにこれには続きがあつて、これをエルフの男女子供で実践した奴が居るんだよ。

男をソードスキルで一撃必殺、子供を人質にするも女はNPCだか

ら攻撃してくる。

それを納めたスクシヨを見たんだ。

確か「エルフに対して外道過ぎるスクシヨ大会」だったな。それを見たのは。

いやまさか血盟の紳士っぽい人が来るなんてなあ。

え？俺？いや参加したけど、クレープと水とケーキをストレージに入れてエルフの男にブチ撒けてやった。

あの時はこう言われたよ『お前が外道なのはエルフに対してじゃない！俺らにだ！』って。

ちなみに銀賞でした。ある意味最強すぎる外道だったと。

ただなんか違うから銀賞だった。残念だったよ。

「あんまりだ……！」

「仲良いですね〜」

おまいら仲良いな、そう言おうと思ったところにちょうどエフ子。

おや、二人は結構なダメージを……フツ、分かったか。俺のはまだ常識的なんだよ！

あ、敵だ。

そんじゃここは投擲スキルで投げるとしよう。

都合良く開かずの扉とその番人っぽい居るし。

掴む！投げる！そしてついでに走る！

んでもって空中で桃白々ごっこしてから飛び上がってライダーきりもみキーツク！

きりもみ回転によるダメージ増加なんてものは無いが、実はこれとある体術スキルが発動する。

『旋風拳』

マンガみたいな修行の末に足でも出せるようになった体術スキルだ。

しかも元々威力が高めだったのが足でやるようになって威力が上がってる。まさか落下の速度が入ってるとかだったりして……

まあいいや。戦おう。

三人はあつちに居るけど大丈夫じゃない。正直危ない。

だがしかしきつと来るさ……

「……」ピューー！

しまったあああああ!!!

忘れてた、この場所にはアラムを鳴らす敵が居たんだった。

こうなりやサシの真剣勝負だ。容赦はしない。

俺が右手に逆手で剣を構えると敵は身構える。

そして俺は左手でメニューから出した瓶を使用してスキルを入れ換えた。

スキル名は『猷魂一擲』。名前から分かるかもしれないがつまりは投げた武器の耐久値が一撃で切れるようになる代わり威力を百倍にするというもの。

まあその代わり普通の投剣じゃそれでも威力が足りず、かと言って投擲は何気にエクストラスキルで取るのがめんどくさい。

何かと敬遠されるスキルである。

だがその代わり効果は高い。
何せ一撃に全ての耐久を注ぎ込む訳なので、その他サポートスキルも充実だ。

それはもうえげつなくらいに威力&命中特化で。

「ヴェエエエエイ!!!」

叫びつつ剣（実はここんどこ良く使っててガタが来たアニールブレード。予備の剣ならある）を番人に投げる。

そしてクイックチェンジで命中前に回収。投げる。

回収&投げる、回収&投げる、回収&投げる、回収&投げる、回収&投げる、回収&投げる、回収&投げる、回収&投げる、回収&投げる。以下ループ。

俺のその無意味な行為に、番人は唾然としている。

まあ仕方あるまい。何せこれ、裏技だしな。改編不可能系の。

何せクイックチェンジで投げてる途中に威力を殺さず回収してそのままスキル効果だけを加えて投げているのだ。

威力はもはや一人で与えられる普通の数値を越えているだろう。

とりあえず疲れてきたしここらでおわり。

レッツゴー剣！

「ブモオオオ！」
ずしやつ。

剣が一定距離に近付いて俺の攻撃に気付いたようだ。だが遅い。どうかアラムに少しとはいえ気を取られてれば勝てるっての。

速度はもう目で追えないしね。

ハハハ……俺の勝ち（キリッ

おまけ・かやひこさんのターン

どんぎやあああああ!!!

何でだよ！なんで突然お前らやる気出してんだよ60台から75層までほぼ1日一層攻略してんだよ！

あれか！何か辻褃合わせでも……いや待てい。最近カデの奴がおかしいんだよな……見てみるか。

どれどれ。えーと？外部の何者かによる侵入、ホロウ・エリアへの転送、ホロウ・エリアの敵一部変更、遺棄エリア解放!?

おまつちよつ。あそこには俺が深夜テンションで作っちゃった錬金釜とかキチスぺ武器とか大量に眠ってたぞ!?

あれがもしプレイヤーに渡ったら非常にまずい。しかし取り上げるのも気が引ける。カデのせいで巻き込まれて頑張って手に入れた武器を取られるとか俺でも泣くわ。

まあここはとりあえずカデの方に以前から用意していたカデ二号、俺的ネーミングでカデ子に頑張ってもらおう。

性能は同じだし、パフォーマンスの上昇もあるだろうな……ついでに今のうちに76層に設定変更を。

一度上がると75層以下に戻れなくした。そしてそれを75層攻略と同時に全プレイヤーに配布するメールを作成する。

うし、完了。

あとはどうしようか。とりあえず攻略スピードは落としてやりたいやな……少しくらい観光して欲しいし。

んじや76層以降に30レベルほど強化を施して、その代わりほぼ全域ノンアクティブにしよう。ボスとNM系を除いて。

あと裏切ろう。騎士団を。正体明かしちやおうぜ！って気になってきたし。

それはとりあえず75層終了時に、ラスボスっぽい台詞と一緒にやるかな……

練習しよう。管理者権限発動、俺の発声時の音が届く範囲を1mに設定。

「フッフ、ようこそ我が城、アインクラッドの最終ステージへ。ここで君達は重大な決断を下さなければいけない。ここから先に一度進めば75層以下に行くことは出来なくなる。敵も強くなるだろう。君達にその覚悟はあるか？強敵と戦う覚悟は？その覚悟があるならば、先に進むが良い。解放を目指して！」

よし完璧。これで本番じゃ噛まないね。

ああ、なんかこんなことやってたら攻略しなくなったなあ……

さ、一狩り行こうぜ。

【結論】俺氏、隠しエリアから生還したったww【まとめ】

【帰還】俺氏、隠しエリアより生還したったw

【隊長】さん、【ベドシエ】さん、【ムツコロ星人】さん、【名無しの一号】さん、【名有りの二号】さんが入室しました。

1. 隊長

俺氏が隠しエリアから生還したのでその一部始終を余す事なく説明しようと思うわw

2. 名無しの一号

なんかすげーキンクリ感があるな。

3. 隊長

2. 気にしたら負け。ハッキリワカンだね。

4. ベドシエ

まあおめ。とにかくさっさと説明！

5. ムツコロ星人

w k t k

6. 隊長

まあそう焦るなつて。

とりあえず俺がやったことを一言で言おう。

7. 名無しの一号

おおぅ……

8. ムツコロ星人

おおぅ……

9. 名有りの二号

おっふ……

10. 隊長

9. 照橋さんでも居たか？w

まあ、ただ突然隠しエリアに居て、なんか出るためにはボス倒さなきゃなんなくて転移結晶での脱出不可、でも強い奴居たんでパワーレ

ベリングした挙げ句たまたまニューウエポンを入手、圧倒的性能でボス前まで行つてえげつない手段をもつてボスを殺したつてとこだな。

11・ベドシエ

それはw一言じゃねえよw

12・ムツコロ星人

10・次にお前はこう言う。『何を言っている、まだ充分短いぞ』と。

13・隊長

何を言っている、まだ充分短いぞ……ハッ

14・名無しの一号

未来余地すっげー。

15・名有りの二号

どう見ても13・のノリが良かっただけというのは放置。

16・ムツコロ星人

15・もうやめれw俺のライフはもうゼロよww

17・名有りの二号

傷口に塩を、アニメの感動のシーンには電源をプチッと。

18・ベドシエ

17・幼女には？

19・名有りの二号

泣き顔を。

20・名無しの一号

ワンピースを。

21・隊長

ひとつなぎの大秘宝を。

22・ムツコロ星人

スイーツを。

23・ベドシエ

マトモな答えが多いとは思ってなかった。

つーか21・は平常運転だな。

24・隊長

俺だからな。まあ、それはともかくとして説明するぜ。

25・ムツコロ星人

とりあえず武器を手に入れたのはどうやった？

26・隊長

一から説明すると、モンスターハウスに入っちゃって、ヘイトを稼いで引き付けて撤退させて自分も転移するつもりが間違えてクレイジーボム⇒ギリギリ穴発見⇒突入したら釜発見。

27・名無しの一号

26・ステイステイ。釜ってDQ的な錬○釜？

28・隊長

うん。まあそのカマ○ルもどきが居たんだ。

で、なんとなくそこにいらんアイテム詰め込んで色々作ってる内に強武器を入手した。ここまでは良かった。

29・ムツコロ星人

と、いうことはここで何か？

30・隊長

そうだよ……ある程度パターンを確認してこのパターンなら確実に武器になると踏んだパターンで主武器を試したらね!?!武器じゃねえんだよ！おかしいだろ！泣くわ！

31・ベドシエ

ドンマイww

32・隊長

31・たっぴらかすかぶっ飛ばすかぼてくりこかす、どれが良い？

33・ベドシエ

どれも一緒じゃねえか！

34・名無しの一号

んじゃ、俺的には33・にぼてくりこかすをプレゼントしたい。

35・名有りの二号

たっぴらかすをプレゼント。

36・ムツコロ星人

ぶっ飛ばすでよろw

37. 隊長

つまり33・をぶっ飛ばしてたっぴらかしてぼてくりこかせば良
いんだな？

38. ベドシエ

駄目だからな!?!つか続き!よろ!

39. 隊長

ハイハイ。

んで、武器が消えてキレた俺氏、手に入れた武器を持って敵を殺戮
して回ったった。

その後イライラも収まったんで逃がした仲間の所に戻ったら幽霊
でも見るような目で見られたよ。ただこういうときの幼女って凄
い癒されるわ。

40. 名無しの一号

39・お前ってやつあw

41. 隊長

ロリコンとでも言いたいのか？俺を？何を言う……むしろそれは
38・だろ。ペドって付いてるし。

42. ベドシエ

41・ベドだわ！ペドちゃうわ！つかロリコンとペドは違うつ
ての！

43. 隊長

そんじや緊急安価。42・はロリコンか否か。50・で。

44. 名無しの一号

ロリコン

45. 名有りの二号

ロリコン

46. ベドシエ

ロリコンじゃねえ！

47. ムツコロ星人

ロリコン

48. ベドシエ

ロリコンじゃねえ！

49. 名無しの一号

ロリコン

50. 名有りの二号

ロリコン

51. ムツコロ星人

ロリコン

52. ベドシエ

ロリコンじゃねえ！

53. 名無しの一号

ロリコン

54. 名有りの二号

ロリコン

55. 隊長

はい、結論を発表します。52. は……

ロリコンだ！

56. ベドシエ

55. 待つてろ今お前の後ろに行く。

【ベドシエ】さんが退室しました。

57. 隊長

あー怖い怖い。じゃあそれを誤魔化すため続きだ。

んで、癒されて微妙に吹っ切れた俺氏、隠しエリアのボス城まで行ってみただわ。

中の奴等は結構強かったけどそれほどでも無かったしフルボッコにしたったw

主に動きがTASってるのとやたら暗殺慣れした動きをするのの二人がメインとなってな！

え？俺？俺はNMを殺ってましたが？

58. 名無しの一号

おいWNM担当とかどんだけだw

59. 隊長

ただまあ途中でアラームトラップやら何やらで多少引き離されて……で、てんやわんやの末、俺氏一足先にボス部屋に到着！

60. 名有りの二号

おお。頑張ったな。NKT。

61. 名無しの一号

NKT。

62. ムツコロ星人

NKT。

63. 隊長

サンキュ。ありがとう。

で、ここでクイズだ。

俺はこのあとどうしたでしょう。

1. ボスと一騎討ち。

2. ボスを騙し打ち。

3. 仲間を待った。

64. ムツコロ星人

2だなこりゃ。

65. 名無しの一号

いや、2もあるだろ。

66. 名有りの二号

1で。

67. 隊長

ハイ、正解発表……

2だ。

以下がその流れ。

俺部屋に突入⇒ボスこっち向く⇒爆弾大量に投げて逃げる⇒壁に隠れる⇒ボス追ってくるがほぼ同時に爆発⇒ボス即死！

68. ムツコロ星人

67. どんだけだwぶっ壊れ過ぎだろww

69. 名有りの二号

ボス「うわっ、私のHP低すぎ……」

70. 名無しの一号

ボス「核でも喰らった気分」

71. 隊長

ちなみに使った爆弾はストレージの奴をありったけ。何使ったか覚えてないけど例の錬金釜にブチ込んだ際に出来た改造爆弾とかも入ってたからかマジで地獄の様相だったわ。

72. ムツコロ星人

やべえなそれw

73. 名無しの一号

攻略組もビツクリだよなw

74. 名有りの二号

ボスが即死とか笑えなさすぎて逆に笑えてくるぜw

75. 隊長

あ、そうそう。おまけなんだけどさ。

あの時ボスを倒す事が脱出条件だったんだけども、どうやらボスを倒した時に同じ部屋に居るかパーティを組んでなきや駄目みたいでさ。

俺とペット（幼女である）以外みんな置いてきぼりになったわw

76. ムツコロ星人

75. うえい？

77. 名有りの二号

75. マジかよ!?

78. 名無しの一号

残りの二人に木刀。

79. ムツコロ星人

78. おいこら漢字ちげえw

80. 名有りの二号

そうだぞ、あの二人の犠牲者に失礼だろw

81. ムツコロ星人

80. おまいが言うなw

82. 隊長

まあ、アイツらの事だから隠しエリアでもやって行けるさ！俺はみんなを信じるだけだよ！

【隊長】さんが退室しました。

83. 名無しの一号

良い話風にまとめやがって……

84. 名有りの二号

だが楽しかったぜ！

85. ムツコロ星人

いつかまた、調査隊で！

【ムツコロ星人】さん、【名無しの一号】さん、【名有りの二号】さんが退室しました。

これは W W 偶然って恐すぎる W W

「アインクラッドよ！私は帰ってきた！（キリッ）」

久しぶりに帰って参りましたアインクラッド……隠しエリアは NKT だったよ……犠牲だつて出た……

だが私は帰って来たのだ！このアインクラッドに！

ところでここどこ？

俺は、帰って来たのは良いものの元々居た層とは違うなあ……と思いつつ、ここがどこの層だかを確認した。

【76層】

なるほど。アインクラッド第76層、ねえ。攻略も進んでるなー。とりあえず俺のレベルつてあのエリアのお陰でずいぶんと高くなってるし、気楽に行けるか。

さーてと。久しぶりにプレイヤーチャットでくつだらねえ馬鹿話でもしてくるかな。

……お！なんかこれ w k t k するタイトルはつけーん。さあ、ここは一気に突……え？エフ子どうしたん？

ああ、腹減ったのね。

それなら任せなさい。とりあえず帰還祝いに美味しい飯食おうぜ！

「れっつごー！です」

そして俺はメニューを操作し、カレス・オーの聖晶瓶を数本取り出してスキルを入れ換える。

索敵と偉驛天、サーチしつつ最速で走れる組み合わせである。

えと？飯屋飯屋……うおっ!?これは……クク、この層最高だわ。

俺は、索敵のマップで街の中の飲食店を検索して、ある店を見付けるとニヤリとしてみました。

これは行かなきゃな。

そう思つてすぐ、俺はエフ子を背負つて走り出していた……屋根の上を。

「アイエエエエエエエ!?ニンジャ!?ニンジャナンデ!?」

お、ノリの良い奴サンクス。その反応を待っていた……サービス

じやつ！

メニュー操作、そして装備フィギュアから以前入手したほとんど防御力が無いけど敏捷が3上がる装備シリーズ、「月影シリーズ」を纏い、さらに武器を髣切にしてその上でおまけにネタ装備である忍の装身具も付ける。

これで完璧にニンジャルックである。格好いいだろ？格好いいと言えよ！

「あれは……なんだ!？」

「超人か!？」

「パルクールか!？」

「化け物か!？」

「「「いや……隊長だ!」「」」

あ、おまいら仲良いね。そんな君たちには攻撃力1、その代わり飛んでいく時白い軌跡を残す手裏剣改をプレゼントだ。額にドーン!

サラダバー! (意訳:さらばだ!)

「ふいー、やっぱ動いたあとの飯はうまいねー」
「?」

あ、わからないか。さつき背負われてたしね。でも斜めだったし微妙に疲れただろ……まあ、それは置いといて、と。

久しぶりに全力で走り回った俺だが、目的は忘れちゃいない(↑七回通りすぎた)。

そう、この店……居酒屋だ!

あー懐かし。実家のふいんき(何故か変換出来ない)そっくりで良いわー。

しかも置いてあんのが何故かウチのメニューにそっくりな辺り偶然すぐるわー。

「あ、梅風味ポテトーっ」

「了解です」

あと、どういう訳かここの店員のデザインが姪っ子そっくりなんだが……ううむ、偶然ってすげー。

そうだ、この感動を忘れぬ内にプレイヤーチャットへ……！
あ、ついでに名前もちよつとおふぎけ用のに変えとこう。

【偶然って】76層の居酒屋かすげえww【恐ろしい】

【ハブラレンゲル】さん、【ベドシエ】さん、【ピザが食いたかった】さん、【シーフードピザ】さんが入室しました。

1. ハブラレンゲル
とりあえずタイトル回収。

偶然って恐ろしいな。

2. ピザが食いたかった
ん？なんのことだ？

3. シーフードピザ
皆目検討も付かないぜ

4. ベドシエ

1、2・おまいらの事だわ！

5. ハブラレンゲル

うんうん、何故ピザが食いたかったやつとシーフードピザと見せ掛けたシーフードピザが揃うとか偶然にしちや出来すぎだよなって気がする。

6. シーフードピザ

おいおい、シーフードを乗つけたピザを食いたい奴なんて居ないだろ。

まあ食べられるなら出来れば綺麗なおねーさんに食べられたいです。

7. ハブラレンゲル

欲望に素直でよろしい。

8. ベドシエ

そんなお前には綺麗どころの多い攻略組への参加をオヌヌメするぜw

9. ピザが食いたかった

おすすめはしないのな……

10. シーフードピザ
それよかスレ主よ、本題に移ってはくれんかのう。

11. ハブラレンゲル

ok ok。そんじや本題じゃが、76層にあった居酒屋がマジですげえんだわ。

12. ピザが食いたかった

76層の居酒屋？行ったが普通だったぜ？

13. ハブラレンゲル

12. 前フリサクス。

まあその居酒屋がな……リアルにあるのとほぼ一致するメニュー内容なんだよ！

14. シーフードピザ

な、なんだってー!!

15. ベドシエ

な、なんだってー!!

16. ピザが食いたかった

な、なんだってー!!

17. ハブラレンゲル

わざとらしいぞw

まあそれでな？俺、リアルの方のそのこの関係者なんで一通りメニューは知ってるからメニューを見ずにマイナー過ぎて頼まれないタイプの料理を頼んだんだわ。

するとな、来たんだよ。

18. ベドシエ

17. それだけじゃ断定出来んぞ。もしかしたら偶然かもしれない。

19. ハブラレンゲル

だとして検証方法なんてあるか？

20. ピザが食いたかった

なんかそこ限定のメニューとかあれば良いんだが。

21. シーフードピザ

20・創作料理系ならそれもいいな。

22・ハブラレンゲル

スマソ、リアルの方じゃありがちでおかしい料理つてのが多かったから創作なんてもんはほとんどねーわ。

しかもそれ、割と誰でも思い付きそうだから決定打にはならん。

23・ピザが食いたかった
ぬう。

24・ベドシエ

あ、裏メニユーとかあるか？

25・シーフードピザ

24・お前は天才か。

26・ピザが食いたかった

確かに裏メニユーなら一致はしねえだろ……

27・ハブラレンゲル

24・名案だな。だが無意味だ。

28・ベドシエ

えっちよっ酷い。

29・ハブラレンゲル

俺のお腹が死ぬ。

30・ピザが食いたかった

あー、仕方ねえな。食い過ぎは良くない。

31・シーフードピザ

人数がそれなりに動員出来れば良いんだが。

32・ベドシエ

あ、それなら俺行くわ。店名教えてよろ。

33・ピザが食いたかった

なんか面白そうだし酒呑みがてら行きますかね。

34・ハブラレンゲル

りよーかい。俺は店の中でニンジャルツクしてるから。

店名は居酒屋茅原だぜ。

35・シーフードピザ

そんじや俺氏はヒザにシーフード乗っけながら片足飛びでそこま
で行くぜ。

36. ハブラレンゲル

おう、頑張れよー！

【シーフードヒザ】さん、【ピザが食いたかった】さん、【ベドシエ】さ
ん、【ハブラレンゲル】さんが退室しました。

……さて、俺はここで他の奴等が来るまでのんびりとコーラでも飲
みながら（アルコールはマジで無理。リアルじゃ居酒屋の店長を一応
やってもアルコールは無理）飯を食いますかね。

「あ、↑→↓←←AB（リアルだと裏メニユーだったイカリングとオニ
オニリングの謎のコラボレーションにいくつかのソースが付いたお
つまみ）を一つ」

「了解いたしましたー」

金には困らんからな！

【メシウマ】 平和に飯を食っていた俺の目の前で行われたレベルの高過ぎる宴会芸

「よっしやあ……行くぜっ！」

件の居酒屋にスレから来た組が到着してからのこと。

何故か居酒屋は隠し芸大会の様相を呈していた。

まあそれを見ている俺……そう、隊長ではなくシーフードヒザこと俺も隠し芸やったんだがな。

ガチでシーフードを膝に乗つけてそれを食うという荒業を。

マジで大ウケしていたがあれは仕方ない。

なにせ俺が食ったのは大量の魚系ドロップアイテムであり、その内訳はこんな感じだ。

【魚粉ピザ生地】、【ニシンの缶詰】、【くさや】、【ゴンズイ】、【フグ】、【アカエイ】。

魚の名前がリアルなのはあれだな、名前が複雑だと分かりにくいからだろう。もしくは名前が思い付かなかったとか。

とにかく、俺はこれらをまとめて膝に乗つけて、それをそのまま食ってやったのだ。

圏内で食べる毒アイテムは中々に美味だったね。

それはそうとして、今日の前で行われている芸について説明しよう。

やっているのはスレ主だったハブラレンゲル……こと隊長。まさか正体がこやつだとは思わなかった。

そしてやっているのはビール瓶のSAO流スタイリッシュ開栓。

これ、どう考えても無理ゲーだよな。ってくらいに小さいのである瓶の蓋を短剣で切り裂くそうさ。

流星に無理だとも思うが隊長だからやれてもおかしくないんだよな。

ま、時の運ってやつだろ。ファイトだぜ隊長。

「ワッショイ！」

気合い一閃、隊長は横風ぎの一撃で瓶を攻撃した。
すると攻撃のあと一瞬遅れてビール瓶のフタがポリゴンとなって消えた。

『うおおおおおおおおおお!!』

その光景が確認された瞬間、居酒屋の全員が拍手喝采を送った。

あ、隊長ドヤツとしてやがる。コノヤロー。だがすげーから許す。
つーかここまでジョッキ3つでビールを延々と注ぎ続けるとかその手の宴会芸だったがここまでですげーのは初めてだわ。

さて、次は何かな？

「次の隠し芸は……エントリーナンバー不明、あああああ！」

どうやらあああああとかいう謎の奴らしいな。見た目はすげー爽やかだけど。

一体なにをやるんだ？

「よろしくお願いします」

うえい!?

【若者の人間離れ】平和に飯を食っている俺の目の前で行われたレベルのおかしい宴会芸がヤバイ

【シーフードヒザ】さん、【照り焼き北京】さん、【プライドポテト】さんが入室しました。

1. シーフードヒザ

現在某所で開かれた宴会に参加中、行われた宴会芸のレベルがおかしい。

2. 照り焼き北京

あ、まさか隊長か？

3. シーフードヒザ

2. 居るけどある分野でなら隊長を上回る逸材が現れたわ。

4. プライドポテト

なんだなんだ。焦らすなよ。

5. シーフードヒザ

それはフリと思って良いんだな。

と、どうか俺らの名前全部誤字系だなんて偶然すげーよw w

6. プライドポテト

5. フリじゃねえよ!

7. 照り焼き北京

じゃあ、プリなのか?

8. プライドポテト

不倫してどーする!

9. シーフードヒザ

え、じゃあ通り掛かった所で華麗に財布を抜く?

10. プライドポテト

それはスリ!

11. 照り焼き北京

横浜行くと押し売りされるよな。

12. プライドポテト

クリかよ!?

13. シーフードヒザ

キュウリの仲間。

14. プライドポテト

それはウリだよ! つーかふざけすぎだ!

15. シーフードヒザ

そう褒めないでくれ、照れるじゃないか。

16. 照り焼き北京

そう褒めないでくれ、照れるじゃないか。

17. プライドポテト

お前らが結託して俺をハメてるんじゃないかと本気で思い始める。

18. シーフードヒザ

……ま、まあ本題だ。

まずここでやってる宴会芸だが、俺もやった。ガチで大量の毒シーフードを膝に乗つけて喰ったったw

19. 照り焼き北京

ガチのシーフードヒザとかやべえな。

20. プライドポテト

もはやツツコミに疲れてきた。

21. シーフードヒザ

そして隊長は……

22. 照り焼き北京

(ゴクリ)

23. プライドポテト

何があっても突っ込まねえからな。

24. シーフードヒザ

ビール瓶のフタを短剣で瓶を傷付けずに斬って開栓した。

25. 照り焼き北京

安定の人外ww

26. シーフードヒザ

しかもこれにはまだ上が居る。

27. プライドポテト

ダメだ……胃が持たねえ！

【ベドシエ】さんが入室しました。

28. ベドシエ

よろよろー。

そして27. 気を強く持て。隊長はリアルだともっとヤバいって
思えば辛くないぞ。

29. プライドポテト

28. むしろそれ追い討ちにしかならんわ！

30. シーフードヒザ

29. が治ったな。それじゃ一番ヤバい奴の発表だ。

それは……

31. ベドシエ

ゴクリ……

32. シーフードヒザ

隊長の次の次くらいに宴会芸をやった田中だ！

33. 照り焼き北京
不覚にも嘖いた。

34. プライドポテト
不覚を取った。

35. シーフードヒザ

オイ34・wお前何してるんだw

36. プライドポテト
戦ってますが何か？

37. シーフードヒザ
集中しろやw

38. プライドポテト
んじや、詳細よろ。

39. シーフードヒザ
……良いだろう。

田中がやったのは簡単だ。その場に居た全員の声を寸分の狂いなく真似したんだ。

しかもロリっ子の声もだぞ!?

40. ベドシエ

ちよつとその居酒屋特定するわ

【ベドシエ】さんが退室しました。

41. 照り焼き北京
えっちよ……40・ってロリコンか？

42. シーフードヒザ
知らね。まあそれはともかくな、ロリっ子の声を真似してたんだ

が、そいつは男で、しかも見た目が……

ヤーさんなんだよ。

43. 照り焼き北京
ブフォツwwwwww

44. プライドポテト
ぐはあつ

【プライドポテト】さんが退室しました。

45. 照り焼き北京

44!?

【プライドポテト】さんが入室しました。

46. プライドポテト

スマソ。一回聖晶石で復活したわ。あぶねーあぶねー。

47. シーフードヒザ

本格的にダメじやねえか！

48. プライドポテト

大丈夫、あと二十個はあるから。

49. 照り焼き北京

48. 俺はてめーが恐ろしい。

50. プライドポテト

ま、とにかく何があったのかは分かったし、俺は抜けるわ。

51. シーフードヒザ

乙ー

52. 照り焼き北京

乙ー

【シーフードヒザ】さん、【照り焼き北京】さん、【プライドポテト】さんが退室しました。

【安価】下層のヤツで上で何が起きてるか考えようぜ

W

フハハハハ！

私が隊長だ！

ちなみに最近変な技をレクチャーしてもらったんだよ。宴会の時にさ。

なんと自分の声を自由自在に改変出来るという使いどころ不明の技だ。

ただ、これを使えば20代前半な俺もソプラノボイスを出せるし、試してみたらごとうさのチノとかのんの○びよりのれんちよんとかも再現できた。

それをちよつと皆の前で試してみたら爆笑だった。やったぜ。

でも……1つだけ問題があるんだよな。うん。

どうやらこれイメージ力と思い込みがカギらしくて、ちよつととんでもなく高いイメージ力が無きや出せないっぽいんだ。

クラインが試しにやってみたらただ声が裏返ってたし。

その条件のせいかな、俺が出来るのはアニメキャラ限定っぽいんだね。これが。

えつちよつ、なんだよ、笑うか？まあいい、笑えよ。

だって……仕方ねえだろ!? アニメ系はネタで良く使うから割と覚えてるが、こつちで継続して話す相手なんて居ねえんだよドクシヨウ！

あ？うん、エフ子？

……やってなかったわ今気付いた。

「なあエフ子」

それじゃ早速再現するのでしょうか。

まずは人が見たら『こいつら怪しい関係だったりするのか?』なんて思いそうな台詞から。

「なんですか?」

イメージイメージ……エフ子をイメージ……

「呼んでみただけですよ？（エフ子風）」

『ゴハアツw』

あれ、なんか皆すげー笑つとる……いや、一部倒れてるわ。

エフ子は……変化なし！安定！

「ほえ？」

そしてなんのようがあったの？とでも言いたげな視線を向けてきた。

ヤバいこれは精神に大きなダメージが……主に黒歴史的な。

仕方あるまい、ここは現実逃避をしよう。

プレイヤーチャット起動、適当なスレを選択、閲覧しつつ歩く。

これで現実逃避は完了だ。

なあに、どうせ宿に行くだけだし迷わねえよ。

【安価】下層住民が上で何が発生してるか考えようぜw

【発光する薄幸】さん、【発光する発酵】さん、【猫耳マン】さん、【強引グマイウエイ！】さんが入室しました。

1. 発光する薄幸

とりあえず安価最初は20・でよろしく。

2. 強引グマイウエイ！

……ところで、みんな名前が奇抜だよな。

3. 発光する発酵

2. お前にだけは言われたくない。

4. 猫耳マン

2. (痛い人を見る目)

5. 発光する薄幸

2. みんなに優しくされるツボ、三十万コルですが買います？

6. 強引グマイウエイ！

是非売ってくれ！

7. 発光する薄幸

6. んなもんあつたら私が欲しいですね。

8. 猫耳マン

なんかすげえ繰り返す度に精神を削るな、この会話。話題変えようぜ。

9. 発光する発酵

じゃあ、俺が小学生の時に居た田中の話で。

10. 猫耳マン

なんでそうなるんだよ!?

11. 発光する発酵

仕方あるまい、田中はすごかったんだからな。

12. 発光する薄幸

なにが？

13. 発光する発酵

下ネタ力。

14. 強引グマイウェイ!

さ、話題変えようぜ。

15. 発光する発酵

ひでえなお前ら!?

16. 猫耳マン

それじゃ俺の中学の後輩のアムロくんのこと。

17. 発光する発酵

宴会

18. 発光する薄幸

トラブル

19. 強引グマイウェイ!

権力争い

20. 猫耳マン

相続争い

21. 強引グマイウェイ!

闇金の大量発生

22. 発光する薄幸

モヒカンブーム

23・発光する発酵
みんなグレた。

24・発光する薄幸
上では相競争い中で決定ね。

んじや、誰が？35・

25・猫耳マン

すげードロドロした安価だったな。

26・強引グマイウエイ！

つーか誰だよモヒカン流行らせようとしたのw北斗○拳を思い出
すじゃねえかw

27・発光する薄幸

私ですね。ヒヤハハハハハハ！

28・発光する発酵

俺としてはみんなグレれば良いと思うのだけれど。

29・猫耳マン

28・それをやったら死人続出じゃぞww

30・発光する発酵

それが良いんだよ。

31・強引グマイウエイ！

ちよつとお前を探し出してアサシンしなきゃいけない気がしてき
た。

32・発光する発酵

見付けられると思うか？

33・強引グマイウエイ！

せいぜい50層くらい、1年と掛からんよ。

34・発光する薄幸

黒の剣士

35・猫耳マン

幼女

36・強引グマイウエイ！

血盟騎士団

37. 発光する発酵

ALS

38. 発光する薄幸

ふむ、幼女が遺産争い、ねえ。

誰の遺産？次で最後ね。それは誰の遺産？60・

39. 猫耳マン

幼女が遺産争いw

40. 強引グマイウェイ！

お父さんでも取り合ってるのかな？（泣笑）

41. 発光する発酵

きつとその争いは十歳以下だけしか居ないな。あとお父さんが遺産つてお母さん死んで実家の祖父母と父親のどっちに着いていくかで席取り合戦つて意味になる気がするな。

42. 発光する薄幸

41・陰湿な手（ハブる、ともいう）を使い嫌いな姉妹を追いやり、自分に従うヤツだけで派閥を作る……大人も子供も変わらないね。

43. 強引グマイウェイ！

ぐふあつ……

【強引グマイウェイ！】さんが退室しました。

44. 猫耳マン

ちよつと待て何故消えた。

45. 発光する薄幸

そういやプレイヤーチャット中に一定を越えるダメージを受けた
り気を失ったりすると落ちるらしいね。

46. 発光する発酵

43・に政治家疑惑が出たな。

45・あと、お前めつちやえげつねえな。

47. 発光する薄幸

え？

48. 猫耳マン

要約するところだな。

政治家も子供もやってることが変わらない、という書き込みがヤツのHPを一撃で削りとつたのだ。

49・ 発光する薄幸

あの程度で倒れるとかどんだけですか。

50・ 猫耳マン

49・ 俺はお前にその台詞をくれてやりたい。

51・ 発光する薄幸

酷いよ……

52・ 発光する発酵

お前にだけは言われたくないね。

53・ 猫耳マン

とりあえず最後の終わったら考えてみな。

54・ 発光する薄幸

53・ そだね。じゃ、ここら辺から加速で。

55・ 猫耳マン

お金持ちのおじいちゃん。

56・ 発光する発酵

イケメンな叔父さん。

57・ 発光する薄幸

近所の山田さん。

58・ 猫耳マン

お兄ちゃん。

59・ 発光する発酵

ロクでもない穀潰しの兄貴。

60・ 発光する薄幸

政治家のお父さん。

61・ 猫耳マン

ストーカー

62・ 猫耳マン

変態のジジイ

63・ 発光する薄幸

アホな弟たち

64・猫耳マン

……一つ言っついていい？

63・お前はあの悲劇を繰り返すつもりか!?

65・発光する薄幸

?

66・発光する発酵

とりあえずコイツは理解できそうにないから代わりにまとめるぞ。

上層では、幼女が政治家のお父さんの遺産を相続すべく争っている、でいいな？

67・猫耳マン

想像以上にカオスだww

68・発光する発酵

俺としては汚職で溜め込んだ、と付け加えてみたかった。

69・発光する薄幸

……でもありえんでしょ。

70・猫耳マン

知るか!

【猫耳マン】さん、【発光する発酵】さん、【発光する薄幸】さんが退室しました。

隊長さんの日常っぽいなにか。

最近、身に付けた例の声真似に凝っている。
それで見付けたんだが……

「ベラララッ、ベラベーラー！（意識……適当なので意味不明）」

「ベラ…ベラベラベラ？（そりや大変だ……それで?）」

「ベランベラベラ、ベラベラベーラー！」

「ベラー!?（意識…あんだってー!?）」

なんと驚きの事実。どうやらmobたちはこの声真似で適当に同じ声を出してやると簡単に誘導できるのだ。

隠蔽スキルで隠れば簡単に欺けるしな。

いやー、これで戦術の幅が広がるってもんよ。

ほら、これまで天空とかをやるときは自分の声でやってただけだし、これからはスマブラ的にアイクの声を再現……しまった。どんな感じだったか詳しく思い出せねえ……

じゃあここはとりあえず別のにしよう。

だが、この声真似で完璧に再現出来るようになった技もあったりするんだよ。

例えば……目の前のmobに捧ぐ、この技。

少しの溜めののち、思いつきり加速して放つ閃打。

その名も……

「ファルコーン……パーン！」

ファルコンパンチ。パーン！の部分はあえて最後まで言い切らないのがミソだ。

それにより個人的には1.5倍くらいの威力になると信じたい。

正確には【溜め】、【響く重声】の2つのスキルと装備している指貫グローブとメリケンサックのお陰なんだがな。

ちなみに溜めのスキルは攻撃前のモーションを少しゆっくりにすることで発生から命中までに応じ威力が上がるという効果だ。大体これで1.5倍。

で、響く重声のスキルは攻撃時叫ぶことでヘイトを稼いでしまう代

わりに威力を上げるエクストラスキル。

ちなみに、元々コイツは【憎まれ上手】、【バトルシャウト】というスキルとの組み合わせが前提だったりする。ヘイトを攻撃力に加算するエクストラスキルと叫ぶことで若干のバフとデバフ（攻撃力が1.1倍で防御は0.9倍）を得るスキルだな。

で、このスキルが大体1.5倍くらい。細かいのは分からん。

で、それに追加でメリケンサックと指貫グローブ……まあ、威力計算はしてないがこれらの装備抜きでも攻撃力はスキルだけで2.25倍な訳だ……

「マスター！助けてください！」

ってなんだねエフ子。お前にはそこら辺でバラっと湧いたのを頼んどいた筈だが……NMでも出た？

俺がエフ子に駆け寄ると、思いもよらぬ光景が広がっていた。

「助けてください……」プルプル

「……………」

エフ子はものすごい強敵を前に、生まれたての小鹿のようにプルプルしていた。開いた口が塞がらねーとはこのことか。

まさかエフ子にこんな弱点があったなんてな。

……『多すぎる荷物はストレージが無いから持てない』という弱点が！

うんうん、でも超有能なエフ子にこんな弱点があったなんてねー。

なんかほっこりするとかニヤニヤするというか……

ひとまずスクショスクショ。

あ、でもなんか本格的にピンチっぽいから助けてあげよう。

触れてー、軽く操作してー、ストレージにインっ！

決まった（訳がわからない何か）……

あ、なんかエフ子がかつちを凄い物を見る目で見てるよ。

「ハーツハツハツハ！（556声。分からんならググレ）これが俺の実力だあ！」

「凄いですー！」

あ、なんか素直に誉められると恥ずかしいな。

これがロリ力って奴か……恐ろしいもんだ。
とりあえずこの恐ろしさを誰かに伝えよう。

メッセージメニユーを出して……フレンド全員選んで……メッセージ作成。

『ロリは恐ろしいお(´・ω・´)』

よしこれでおk。あとはこれに556力を込めて全力で皆にシウツ！（背後に爆発）超！エキサイティン！

あ、ちなみに今の爆発はバーストスパークエツジな？今更だけどコイツ、落ちてる状態で踏むと爆発するみたいなのよ。

正確な条件は分からないけどダメージは無いし演出に便利なのは間違いない。

なぜこんな能力が……分からんぜ。

あ、なんか返信来た。某線を英語にしたのが名前のコミュニケーションアプリかよ。俺使ってなかったから分からんけど。

なにになに？ふいーちゃんからだ。

『死ぬ。マジで死ぬ。今すぐ死ぬ』

おいおい、何があつたつて言うんだ。

わ、訳が分からねーぜ。

それと、こっちはろーくんか。

『写真付けろバカ。訳分からん』

やっぱろーくんはロリコンだな。

ここはさっきのスクショを……ソイヤア！

無駄な効果音を付けて写真を添付する。そして本文付けずに送る。

きつとこれで喜ぶだろうね……あ、更なる返信だ。お前ら本当に返信早杉……これはただの抗議か。一撃虐殺クラッシュヤーつくつてもらった鍛冶屋のヤツだ。

『変な時にメッセージ送らないでよ!?貴重な鉱石無駄になったじゃない!罰として武器を買いなさい!ウチで一番高いのを!』

だそうで。

あー、なんとも言いがたい。よしここはこれに対して依頼のメッセージを……また返信だ。

今度は調査隊の奴等だね、集団で送ってきた。

『ロリは恐ろしいとかよりロリの写真が欲しい』

『むしろ服が欲しい』

『いや、ロリが欲しい』

『隊長さん』

『エフ子ちゃんを』

『お嫁に下さい』

『絶対に幸せにします』

だそうで。七人で送ってきたって事は街に居るんだろう。

とりあえず通報します。とでも送るかな。

ん？今度は誰かからメツセージだ……『テラヒドスW』？なんじやこりや。まるで俺の挙動を見てるような言い草だのー。

いや待てよ？こんな事が出来るのは……（悪人の笑み）

召☆喚！とある短剣！（ただのクイックチェンジ）

「エフ子、ちよつとこれを持っててくれ」

んで、エフ子に渡す。

そしてストレージで長いこと眠っていたアイテムを取り出し、意味も無くそこらで振り回してみる。

……来た！

『マジやめてくださいお願いします』か。

うんうん、どうやらこれは俺の直感が当たったみたいだね。

さ、あとはこれをエフ子に斬らせるだけだ。

俺はそのアイテムの端を持ち、エフ子の前に出す。

するとエフ子は何かを察したのか、とある短剣を両手で持って上段に構えた。

「やめろオオオオオ!!」

「掛かったなヴァカめ！」

「アバンギャルドツ！」

そしてそれが降り下ろされる直前にやってきた謎のプレイヤー。

コイツは……そう、さつきメツセージを送った調査隊メンバーの一人……正確には俺以外存在を知らないメンバーだが……【アンコウ】

だ。本当はuncle（叔父）と入れる筈だったのにうつかりuncle
ow（むしろアンカウの方が近いだろうが分かりにくいのでアンコウ
なのである）と入れてしまったらしい。

不幸な男だ。しかも沢山の奴に名前を大笑いされたらしい。

それ以来笑った奴は例外無くセーフゾーン手前の辺りで全損スレ
スレまで追い込んで仕返ししているらしいが……全損してなきや
セーフだと思ふのよ。そもそもセーフゾーン手前だから死なんだろ
うしさ。

しかしオレンジなので大っぴらには出来ず、一応俺だけがメッセー
ジ送られたから知ってたりするのだ。

ちなみに参加理由はエフ子が可愛いから、らしい。

だから今わざわざエフ子の写真（ベストショット）を斬らせてみた
んだが……見事に引つ掛かったな、ヴァカめ。

「やめるんだ隊長……それだけは……」

ところでアバンギャルドってなんだよ一体……つーか何故ここに
居たし。

「いや、それがまあかくかくしかじかで」

あーはいはい。つまりはこの近くのセーフゾーンの前でサクツ
と殺ってきたってことね？実際に殺してないよな？そうか、ならい
い。うんおk。

ところで何故隠れてたし。

「エフ子ちゃんファンとしてあれはスクショに納めておかなければと
思ったから。欲望を抑えられなかった」

なにそれ面白い理由。

だが君はそういうのより向いている面白さがあるぜ？

リアクションさ。あの突然のアバンギャルドツ!?は良かった。だ
からここで一言言つてやろう。

「ちよつと……ドン引きです（エフ子ヴォイス）」

「ガンタンクツ!？」

良いリアクションだ。しかし……

そこはガンキャノンだろうが普通！

【SAO公式】 76層以降について。

おいお前らアアアアッ!!

確かに攻略しているとメッセージ見ないの分かるよ!? 戦闘中で集中が乱れて死なれると困るから音なしにしたけど……なんでお前らメッセージ見ねえんだよ……

なあ、カーディナル、原因教えてよ。助けてカデえもん。

【どう考えても攻略組が非リアばつかなのが悪いでござる】
シンカーとか黒の剣士は？

【あいつら受信メッセージ多すぎてあつという間に消えた】

どーすんよ。もっかい送る？

あ……そうだ。攻略組ってほとんどがプレイヤーチャット使ってたよな……カタカタ

ククク、これなら絶対見るはずさ。

でもなあ……なんかこれだけだと物足りん。とりあえずここは機能追加して……（以降四時間ずつと作業）

ー隊長ー

俺、満を持して参上しお前を釣る！ 答えは聞いてねえ！ つーかなんか泣けるわ。

あ、すまないね今ソードフォームからウィングフォームまでの電王のフォームの登場時のセリフを全部くっつけてみてたんだ。

これが中々に面白いんだな。

ゼロノスでやっても……胸の顔は強い！ あるいは、俺はかーなり、飾りだ！ しかねえぞ大変だ。

だがこれ、暇潰しには良いかもな。色々なもんくっつけんの。これから暇な時はやっていよう。

……でも今ちようど暇だな。

良く考えりゃあつちで採った素材があるし俺の武器は（ハンマーじゃないが）あるからとエフ子の武器造ってもらってるけど、待つてると暇だなあ……

今こそあの暇潰しをするべきか……

「……俺は！お前が！泣くまで！殴るのを！やめない！嘘だッ！」

うん、これは変だ。とりあえず俺はお前が泣くまで殴るのをやめない！と嘘だッ！を組み合わせてみたけどまるで泣かなくてもやめてあげるみたいだ。

軟弱軟弱ウ！

じゃあ次は何を組み合わせようか。

やっぱ仮面ライダー系は定番だし、それが良いだろうけどねえ……だがなんか良いのは……一旦まとめよう。

クウガ……超変身！で良いか。

アギトは……鍛えてますからか？

龍騎は戦わなければ生き残れない！

ファイズ……俺に夢はない。だな。

ブレイ……多すぎてまとめられん。

響鬼……あつやべつ。こつちが鍛えてますから、じゃねえか。

カブトはまあ、天の道を行き総てを司るだとして……電王は俺参上やらその辺。

キバはウエイク・アアアアップ！（絶叫）で安定。

ディケイドは応用のため通りすがりの○○、ダブル……ハッ。思い付いた。

「お前の罪は戦わなければ数えられない！」

「何そのカオス」

おや、まだまだ出来そうだったのに来てしまいましたか（某杉下ボイス）

さ、鍛冶屋さん？出来映えはどうだね？

もちろんなんかあるよな！

「何を言ってるのよ私が作る武器に何も無いものなんて無いわ……さあ来なさい！エフ子！」

鍛冶屋……リズベツトが呼ぶと、店の奥からエフ子が出てきた。

その武器は……なんかすげー工事現場。

何故にピツケルなん？そこんとこプリーズ。

「理由なんて無いわよ？ただ……」

ただ？

「うっかりハンマーを作っちゃって、作り直したらこうなったのよね。名前は【ローズ・ピ……】」

「エフ子、その武器貸してくれ」

「やめなさいああああい!!!」

……チツ。物騒な名前だから今すぐ破壊してやろうと思ったのに。まあいいや、ひとまずプレイヤーチャットにこの武器のこと書いてみよう。

何人ガタブルするかなあ？

俺はメニユーからプレイヤーチャットを呼び出す。

あたーらしいーあーさがーつきたー！

おいやめろかつて某黒い球体があるお部屋に居た人がガクブルしちゃうだろう？

てか何故にラジオ体操なんだ……そこは『ゼエエエエツト！』くらいでいいだろ、短いし。

まあいいや、なんでプレイヤーチャットを起動したらこうなってんのやら……うお？なんかスレになってんな。どれどれ。

【公式のお知らせ】76層以降について説明

1. かやひこ

どうもこんにちは。こちらSAO開発者のかやひこです。

今回はインクラッド76層以降の仕様変更についてお知らせいたします。

2. かやひこ

まず、一度76層以降に進んだ場合、Lv60以上のプレイヤーはそれ以下の層に戻ることが出来なくなります。

3. かやひこ

そして76層以降の敵が多少強化されています。これまでの敵よりもかなり強いので、お気をつけください。

4. かやひこ

以上、お知らせでした。

5. 名無しさん
よくぞ来たなかやひこ！お還りはあちらだ！ (地面)
 6. 名無しさん
よくぞ来たなかやひこ！お還りはあちらだ！ (地面)
 7. 名無しさん
よくぞ来たなかやひこ！お還りはあちらだ！ (地面)
 8. 名無しさん
よくぞ来たなかやひこ！お還りはあちらだ！ (地面)
 9. 名無しさん
よくぞ来たなかやひこ！お還りはあちらだ！ (地面)
 10. 名無しさん
よくぞ来たなかやひこ！お還りはあちらだ！ (地面)
- 以降、900ほど同じ文面が続く。

【悪夢】 最狂最悪の武器発見だお。

【悪夢】 最狂最悪の武器発見だお。

【隊長】 さん、【ムッコロ星人】さん、【QBB】さん、【有能】さんが入室しました。

1. 隊長

とりあえず最初に聞く。おまいらこの世で一番恐ろしいものは？
まんじゅうこわいな答え禁止な。

2. ムッコロ星人

ラグ

3. QBB

人間だね。

4. 有能

青い宝石。マジ怖い。

5. 隊長

お前ら変だな。2. はRTA上がりかなんかなのかお前。あと4
・ テメエ何があった。

まあくっだらない事は置いておこう。

6. QBB

僕触れられてすらいない!?

7. ムッコロ星人

お前のレスは重いんだ。察しろ。

8. 有能

人間が怖いって何あったんですか怖くて聞けないです。

9. 隊長

とりあえず話するぞおK?

10. ムッコロ星人

ういっす。

11. 有能

ういっす。

12. QBB

結局話聞かないのね。ういつす。

13・隊長

まあこれはさっきの話だ。俺はちよつとしたことで鍛冶屋に行くことになった。

んで、知ってる奴も居るかもしれんがタイムモンスター用装備で武器を造ってもらった。

それがトチ狂ってる。

14・ムツコロ星人

お前にそう言わせるちゅーこたどんだけやねん。

15・有能

混ぜってますね。色々。

16・隊長

そいつの名はな……………

17・ムツコロ星人

ゴクリ……

18・有能

ゴクリ……

19・Q B B

ゴクリ……

20・隊長

ローズピアツサー。だ！

21・ムツコロ星人

イヤアアアアアア!!!

22・有能

yyyyyyyyyyyyyy801の方でも呼んできます！

23・Q B B

その名前付けた鍛冶屋が正気なのか、分からないよ。

24・ムツコロ星人

でもまあ、名前はそんなんだけど見た目は普通だろ？ かつこいいんだろ？

25・隊長

青いツナギと白いシャツ、そしてヘルメットが似合いそうな感じだな。

26・有能

ちよつと厠行つてきます。

27・隊長

具体的な描写は26・帰ってきてから言うわ。

28・ムツコロ星人

なんだろ、半端だから余計に怖いんだけど。俺ピツケルとかだったら寝られない自信ある。

29・Q B B

でもピツケルは普通にあつたし、武器がそうなる可能性は低いと思うよ？

むしろ、長い長い釘かもしれない。

30・ムツコロ星人

やめろおおおお！やめてくれえええ！

31・Q B B

そんな怖いなら、今夜僕が添い寝しにいつてあげようか？男だけどさ。

32・ムツコロ星人

全力で後遠慮いたします！

33・有能

帰還しました。

34・隊長

うお、33・おかえり。

とりあえず、帰ってきたから武器の描写は次のコメでやるわ。

35・ムツコロ星人

33・過去のレスは読まん方がお前のためだつて今から言ってみる。

36・有能

手遅れです……お r

37・Q B B

今夜は後ろに気を付けるといいよ。ラッキーアイテムは栓に出来るもの。

38・有能

37・君は何をするつもりなんだい!?

39・Q B B

何って……ちよつと後ろから脅かすから、大を漏らさないように栓しとけてって意味なんだけど。

ところでナイフとピック、どっちが良い?

40・ムツコロ星人

お前ら怖杉ワロタw

41・隊長

さて、お前らお待ちかね、描写タイムだ。割りと頑張ったぜ。

……その形状は、まるで何もかもを掘り尽くし、喰らい尽くす事に特化したような形。

色は、暗闇の中背後から近寄り安いように光を反射しない黒。

そう……ピツケルだ。

42・ムツコロ星人

お r r r r r r r r r r r r r r r r

43・有能

お r

44・Q B B

お r

r r r

45・隊長

ちなみに丁度この層で青い上下一体型の服が売ってたからついでに買った。

46・有能

エンダアアアアア!

47・ムツコロ星人

イヤアアアア!

48・有能

46、47・まさかの連携。

49・隊長

あ、でも使ってるのエフ子だからさ、安心して掘られるよ？

50・ムッコロ星人

安心できるかボケエ！

隊長

さー、新装備のお披露目だぞ、エフ子。

「これで良いんですか？」

ああそうだ。

その新装備は破壊力バツグンだからな……決めてこい。

「はいっ！」

エフ子は、自分の装備が何を引き起こすかも知らずに街道へ歩いていく。

俺はそれを見送りながら、密かに意識を失った……

と、思いきや実は失ってない。正確にはちよつと冗談としてやってみたかっただけ。

え？分かりますぐくて迷惑？

仕方ないだろ、こんなの一生に一度やれるか分かんないんだしさ。

あ、とりあえず茶番もやったことだしエフ子の様子でも見ようか。

俺は、特に何も考えず、エフ子の後についてみた。

「エフ子！達者にやっつて……」

だがしかし、そのセリフは……

「ああ？お前がこの嬢ちゃんのプロテクト者か？なら言っておきな……それは、俺達炭鉱の漢にだけ許された神聖な装備だ……」

よー分からんオッサンの台詞によつて打ち消された。

ところでさ、俺つて昔から最初の台詞をマジレスで邪魔されるの嫌いなのよ。

え？どういふことか？

つまり、隊長さんはおこである。台詞を邪魔されおこである。

尺度で言えば、超激おこステイツクファイナリアリティぷんぷんど
リーム改G4。である。つてことさ。

宣戦 布告 じゃゴルア！

【世紀の】おっさん VS 隊長【決戦】 & おまけ

Inside 通行人のおっさんー

なあ、俺の扱い酷くねえか？せめて名前付けてよ。こう見えて実力者だしさ。

ああそう……まあいいや。俺はここで実に無駄に目の前で起きている事を解説していくよ。

まず順序立てて説明しよう。

最初に、なんかエフ子ちゃんやんが炭鉱ルックで裏から出てきた。そこにおっさんが因縁を付けて、隊長が出てきて話を邪魔されてキレた。おk？

んでさ、今ちようど隊長がおっさんに勝負を挑んだんだ。

時間無制限で、半減決着モードのデュエルを。

しかしなあ……隊長の事だから何か面白い決闘をやると思っってしまった人間としては多少ガツクリだぜ……ってん？

なんで隊長、武器じゃなくて割れた酒瓶を……って開幕で後方にソニックリープしたあ!?

いやアホだろ！ソニックリープって普通接近に使うよな！離脱に使うとか聞かんわ！

あー、叫びすぎて喉痛いわー。ちよいしばらく叫び自重。

おお、おっさんもすげえな。隊長の奇抜な作戦に乗らず普通に接近して……両手斧。威力は抜群。どうかわす？

「デュエヤツー！」

どうやら斜め斬りだったから再び下がって避けるようだ。

さつきから離脱しすぎだろ……何が目的なんだ……っとうおい!?

この街の家の屋根って普通立体機動スキルあっても登れる高さにない筈だよな！なんで登れてんだよ隊長!?

ええい、訳が分からんがとりあえず追うぞ。理解しようとしたら負けなのだけは何んとか理解したからな。

まあ、とにかく隊長は訳の分からない方法で屋根に登った訳だが、どうするつもりだ？

あ、剣出した。

「デュワツ！」

そして投げたっ！当たったあ！隊長、先制点を……ってなにしてくだ俺。

まあとにかく、隊長が剣を取り出して、投げた。それをおっさんが喰らった。

だがどうするんだ？このままやっても勝てないぞ？

「キキツ、ざまあwwお前、最初にラスボスっぽい台詞を言っときながら喰らっちゃうの？喰らっちゃうの？ねえ今どんな気持ち？ねえねえ！」

うわウゼエ……隊長すっげーウゼエ……これが作戦と言われたら納得は出来るし確かに良い戦術だと思うけど凄くうざい……でもなんだろう、これ最初っから最後まで隊長の掌の上なんじゃね？って感じがするわ……

ほら、おっさんがキレて斧を……スキル無いっぽいのに凄い速度で投げてる。

これには隊長も驚いたみたいだな。でもそれなら喰らってあげて欲しかった。余裕で止めるとか涙目だよ、おっさん。

でもおっさんめげない。今度はピツケル……なんでだよ……を取り出して構えた。

そして……全力で突っ込んだ！だが隊長には届かない！というか隊長、真面目にやってない！

デュエル中にヨガすんなよ!?可哀想だろ!?

「ぬおおお……ゼイヤツ！」

「ウエイ!？」

あ、でもヨガは油断しすぎたみたいだ。流石にもろに喰らっちゃった。

ハツハツハ、油断大敵だぜ！みたいなおっさんの表情、理由は良く分かる。

でもなんだろうな、これも隊長の作戦の内みみたいな感じが……

「まあ、一発喰らったが良いさ。丁度スト〇ツ〇パワーが溜まってき

たところだ」

「○トリップパワーだど?」

おっさん、最低な間違いすんなよ……あと脱ぐな! バカ!

「ふんっ! ふんっ!」

……ちよつと裏行ってくる。

ー青年嘔吐中ー

うぷ……まさか仮想世界で吐くとは……オツサンのストリップとか嬉しくねーよむしろ巨n(検閲により削除)が良いわ!

ええい、あんな変態やつちまええ! 隊長!

ーside隊長ー

やあやあやあ、隊長だぜ☆ミ

ちよつと今気持ち悪いからボケもやりにくいがね。

バトってるおっさんがストリップ始めちまったんだよ。おっさんが半裸で踊っていると気分がここまで悪くなるとは……ちよつと仕留めるか。

来いっ! ブラックグンマー! (ハンマー)

メニユーからとりあえず今ある中でも一番強いハンマー(ただし一撃虐殺クラッシュヤーには劣る)である、ブラックグンマーを装備した。

こいつ、強いんだけどGとHを打ち間違えたみたいでこんな名前なんだよなあ……

群馬みたいで笑えるから気にしないけどさ。

「ぬんっ! ぬあっ!」

俺は、ブラックグンマーをいまだストリップをやめないおっさんに向け、構える。

今回のエクストラスキル、【魔墜撃】&【破滅の使者】&【圧殺】を喰らうが良い!

「ぐぬっ! であっ!」

……ダメだ気持ち悪すぎて近寄れん……装備変更、レッドバスター(両手剣)。

名前にわりと気に入ってるコイツをあれにぶつけるのは癪だが、

それより近寄りたくないからな……せいっ！

ソードスキルも何もないただの大振り。

だがここに、エクストラスキルの中でもめんどくさいと一部業界で評判の破滅の使者の効果が発動する！

喰らいな！僅かにだが延長された斬撃を！

「ほんぐるいつ！」

……は？

いやいや、ストリップの動きで避けるとかおまキチガイ？俺が言えた事じゃないが……

ただ紙一重で避けて実力差でも見せつけたかったんだろがざまあw

破滅の使者は判定が微妙に広がるスキルだ！剣が伸びるスキルじゃねえ！

「あべしっ!？」

うし、決まった。これでこれまためんどくささに定評があると言うか取得クエストの難易度の割りにしょぼいと評判の（俺としては結構好きだ。今回は名前で選んだだけのたまたまだけだな）圧殺が発動する。

こいつは名前の通り、圧倒すればするほど自分の攻撃力……打属性の追加ダメージが付いてくるといいう物だ。

しかもノックバックは無いに等しいし、ただ手数で押す武器で無きや使えないな。

俺には関係のない話だが。

「ふむ……貴様もやりおるな……だがもう俺のストリップパワーは溜まりきっている！来い！薔薇貫軸・一闪！」

っておお……おっさん、どう考えてもホモ疑惑の掛かる武器を出しやがった。その勇氣は賞賛に値するぜ。

「我は暗闇より来たりし漢の中の漢！倒せるものなら倒してみろがいー！」

うお……無駄に堂々とした名乗り……

なら俺も無駄に堂々と名乗るか……

えと、とりあえず色々な台詞パクるかな……

あ、あと来いや髭切。バーストスパークエツジさんはちよつと爆発で視界が塞がれると大変だから今日はお休みだ。

「俺は通りすがりの……隊長だっ！この剣に斬れないもんはあんまねえっ！っー訳で……派手に行くぜっ！」

混じりすぎて收拾つかなくなった台詞に俺もおっさんも困惑しながら、なんやかんやでお互いにマジになってる戦いが始まったのだった。

【覚醒】おっさんの本気

ついに二人が本気を出した。

ああ、久しぶり。道端のおっさんだよ。

正直なところさ、今俺には二人が頭おかしい事をしてる。としか分からないんだ。

見たところ、隊長は訳の分からない辺り判定で短剣を振り回してるし、おっさんはおっさんで目にも止まらぬ神速の突きを繰り返してる。

多分俺じゃ一秒と持たないだろう。

しかし……この戦いも、性能が同じと言うことはそこからは武器の差になってくる。ということだ。

そういう事になると恐らく……この戦いはおっさんが制するだろう。

何せおっさんの武器はレイピアだ。対して隊長は短剣だから、どうしてもリーチの差が出てくる。

いや、きつとそれを埋めるためのエクストラスキルを隊長は持つてるだろうが、それでも元々のリーチそのものはレイピアの方が圧倒的に上だ。

それを考えればこの戦い……隊長の不利は明白！

「ウェイウェイヴェエー！」

……ああ、訂正する。やっぱ互角だ。むしろ隊長の方が押してる。

どうやら隊長はレイピアのリーチと速度を逆に利用して極端どころでなく接近したみたいだ。

ちよつと水を刺すようで悪いが、あのストリップしてたおっさんにあそこまで近付くとか勇氣あるな隊長。集中して見えてないのか？ まあ良いが。

とにかく、そのせいでおっさんはレイピアを十分に加速することができず、それどころか突くことすら困難な状態にある……しかし！

おっさんも起死回生を狙ったのかレイピアを隊長の尻目指して刺そうとしている。しかも両手で。

避ける隊長！それだけは不味い！

「はーっはっは！その程度、効くかあ！」

だが隊長は、その一撃を事も無げに回転して短剣で斬り裂く事で妨害すると共にステップで距離を取った。

すげえな……これ、SAO最強決定戦でも過言じゃねえってくらいに全員つえーわ……あ、でもSAO最強決定戦ならあと二人必要だな。ヒースクリフと黒の剣士が。

だがまあ……ユニークスキル持ちを抜くという条件なら多分二人で最強決定戦だな。もちろんだが。

「ウエアアア!!!」

おっと、戦いは更に進んだようだな。

どうやら隊長が凄まじい速度で突っ込んだのをおっさんのレイピアが迎撃したらしい。

しかも剣の方を。隊長本体はともかく高速の短剣を迎撃するとかマジ人外技。怖いよ俺。

その間にも二人の戦いは熾烈さを増していく。

隊長が一撃を繰り出せばそれを迎え撃つためにおっさんが突きにくりだす。

そしておっさんも反撃に出ると隊長は様々な手でその攻撃を無効化していく。

もうこれSAO二人だけで攻略できんじゃないかなって正直思うぜ……

「オルアッ！」

お？隊長、短剣を投げたぞ。

どうするんだ？

Iside隊長！

俺は、おっさんに向かって髭切を投げた。

正直に言おう。普通デュエルにおいて武器を投げるなんてことはただの自殺行為だ。

だが……今回は違う。

クイックチェンジである武器を呼び出す。

「ブラック……」

そして、それを手に取ると目にも止まらぬ速度で投げた髭切の持ち手部分を思いっきり叩いてブーストする。

名付けて投剣ブースト。欠点は耐久を削ること。

「グンマアアアアアアア!!」

呼び出したブラックグンマーによって無理矢理にブーストされた髭切は、凄まじい速度でおっさんに向かって飛んでいく。

どうだ参ったか。(フラグ)

俺は、勝利を確信しつつもどつかで聞いた斬心を心掛け、警戒しながらおっさんに近付く。

「……まさかここまでやられるとはな……流石だ」

「あ」

死亡フラグは回収されたようです。

「だが、ここからは俺の独壇場だ……」

そういや、二刀流ってアホな方法を使えば誰にでも出来たよな……片方の剣を一旦手から離して、もう1つを装備するって方法が。

俺の前には、さっきまでと違い「二刀」を持つおっさんが居た。

【助けて】SAO最強決定戦が行われてる

【おっ】さん、【シズ】さん、【茶】さん、【カラン】さんが入室しました。

1. おっ

助けて

2. シズ

一体どうしたんだ。

3. おっ

目の前でおっさんがストリップしたり隊長とバトって互角以上に渡り合ったり何故か二刀流したり。

訳わからない助けて。

4. 茶

手榴弾、いるか？

5. カラン

4. 4・とりあえずピンを抜いて窓から落とすと良いよ。

6. シズ

5. 5・殴るぞ？

7. カラン

こわいこわい。

8. シズ

3. 3・とりあえずもつと細かく説明してくれ。

9. おつ

了解だ……

事の始まりは、隊長のタイムモンスターのエフ子が炭鉱ルックで現れたのを、例のおっさんが凄みながら出てきたことだった。

10. カラン

その時点ですでにカオス過ぎて目も当てられない。

11. 茶

なぜ炭鉱？

12. おつ

11. 俺が聞きたい。

そんで、エフ子をおっさんが凄んでいると隊長が出てきて、おっさんが隊長の台詞を遮って力説したら隊長がキレた。

13. シズ

居るよな、話の腰を折られるとキレるやつ。

14. カラン

なんか凄くブーメランの気配がする。

15. シズ

14. テメエの頭にブチ当たるやつだがな。

16. 茶

14. ついでに、手榴弾

17. カラン

16. なんて手榴弾に拘るの!?

18. おつ

でさ、キレた隊長がおっさんとのデュエルを始めたんだ。
最初は舐めプで、ストレッチ○ンネタもしていた。
でもおっさんが伏せ字を悪用してストリップを始めちゃったんだ

……

19. 茶

18. ■ おっさんって、どんなのだ？

20. おっ

筋骨隆々の工事現場に居そうなおっさんだよ。

21. シズ

吐きそうだぜ……

22. カラン

お r r r r r r r r r r r r r r r r

23. 茶

手榴弾、投げにいくぞ？

24. おっ

23. ■ 隊長巻き込まれるからやめたげて。

あ、そのあとは隊長が当たってない攻撃を当てたり投げた短剣をハンマーで加速したりしたただだから、安心しな。それほど恐ろしくない。
い。

25. シズ

24. ■ あえて聞くぞ、おっさんはどうしたんだ？

26. カラン

25. ■ 聞くなよバカw

27. おっ

いや、隊長のハンマーで加速した短剣を二刀流して止めた。

28. シズ

ファッ!?

29. カラン

ファッ!?

30. 茶

……釣りか。

【茶】さんが退室しました。

31. おっ

うげ、釣りと思われた？

でも一応原理を説明するぞ。

まず剣を持つ。そして地面に置くか立てる。

んで、武器を変えつつ置いた武器を持つ。そんな感じだった。

32. シズ

31. 訳分からん。

33. カラン

つまりは地面に武器を落として回収せず武器を変えると仕舞われない仕様を使ったんだな。

34. おっ

33. 多分そう。

ただ、隊長だから多分インチキ二刀流してるおっさんにも勝つだろうな……うん、隊長だし。

35. カラン

謎の信頼ww

36. シズ

俺も一度戦ってみてえもんだぜ。

【サーモン】さんが入室しました。

37. おっ

おっ、新入りさん？よろー

38. カラン

よろー

39. シズ

よろしく。

40. サーモン

よろしく。

41. おっ

でも今ちようど話終わったところだけどなw

42. サーモン

そうか……

43・シズ

そうだ、俺らで隊長とおっさんの勝敗を予想しねえか？

44・カラン

43・乗った。

45・サーモン

隊長は分かるが、おっさん？

ちよつと過去ログ読んでくる。

46・シズ

まああえていうなら隊長が勝つだろうな。隊長と斬り合ってるおっさんも大概だが隊長はバケモンだろ。

47・カラン

盛大なブーメランの気配……！

48・おっ

46・がバケモノ級ってこと？

49・サーモン

46・正直、名前の似てる奴にバケモノみたいに強いのは居るぞ。

50・カラン

当たらずも遠からず……か。

ところで46・が沈黙したのが気になる。

【カラン】さんが退室しました。

51・おっ

50・ウウウウウウ!!!

52・サーモン

……ご愁傷さま。だ。

53・おっ

ところで52・さんや。

54・サーモン

なんだ？

55・おっ

俺らも退散しないといけない気がするんだが、気のせいか？

56. サーモン

55. 気のせいじゃない逃げr

【サーモン】さんが退室しました。

57. おっ

56. ウウウウウウウウ!!!

【おっ】さんが退室しました。

【空いた口が】隊長はやっぱ頭おかしい 【塞がらない】

おっさんがレイピア二刀とかいうえげつない装備に変えて以降、どうにも押されっぱなしで攻めあぐね、フラストレーションが溜まってる隊長だ。

うわー、これどーしよー。

おっさんが速すぎて対応する前に攻撃が飛んで来るから予測してそこに剣を置かないといけない。

しかもヤバイのも時々あるから体勢を崩してでも避けてるけどさ……うーむ、こりやまずい。

今も丁度俺の横を刺突が過ぎていったし。なんなのコレ。ソードスキル級に速いとかマジ反則……

あ、反則されたら反則して良いよな。

キリングボムをクイックチェンジでシュウツ！超！エキサイティン！

一応補充しておいて良かった！

「ぐぬおっ!」

「そしておまけじゃあぁ!!」

キリングボムの爆風で怯んだおっさんに、俺はおまけでなんでもないが耐久値がやたら高い短剣をブン投げる（髭切はどうしたかって？回収しましたとも。クイックチェンジで）。

もちろん俺の投擲スキルは絶好調でおっさんを襲うが、しかしおっさんの二刀流も絶好調で防がれる。

ならばとばかりに今度は片手剣で思いっきり斬るも、防がれる。

ええ……このおっさん、ホント強すぎじゃねえか……

しかしめげない。諦めたらそこで試合終了。勝てないなら別の分野に持ち込めばいい。

つまり……

「ちえすとおおおおおー!」

今度は両手斧による大振り……からの片手斧三連斬りイ!

そして棍で殴ってからハルバードで薙ぎ払いつつランスで刺突ウ

!

か・ら・の……

両手剣を片手に持って斬り上げ!

一緒に飛び上がって回転そして連続斬り!

最後はもちろん……

「大!天!空!」

この台詞で絞める。

うし……これでいい感じに削れただろ。

「まだまだあ!」

あつやべまだ生きてたか。

あれだけやったのにまだ終わらんとかテラフォーマー疑惑だぞ。

しかも気のせいかさつきよりキレが増してるし……

ええいここはえげつない手で行かせてもらうぜ、投剣乱舞! (名前はバクリ)

名前の通りクイックチェンジで投げた投剣を回収し、それを数本の投剣で行うことで凄まじい連射を行うSAO史上最悪かもしれない攻撃方法だ。

ハハハ……恨むなら俺にここまでさせた自分を選ぶんだな。

さあ喰らうがいい!

あ、ちなみにこの技、実は結構好きです。なにせ見た感じ完全にAUOだもの。ここまでAUOできる技なんて探しても中々ないぞ……ん?なんかどこかで誰かが俺に噂されていたような予感が。

「……フハハハハハ!面白い!面白いぞ隊長オ!」

「うつそーん」

マジかよ。まさか投剣ストリームを潜り抜けてくるとは。

むしろ剣でさばいて的確に当ててるし……どんだけテクニシャンなんだよ。吐き気しかしい。

ならば……つてこのおっさんに通じる技がネタ切れだあ!

ヤバイヤーバーヤーベスト……じゃねえとにかくマジでヤバイ。

このままじゃ負ける。

別に死ぬ訳じゃないから負けても良いけど、負けたくない。

俺はおっさんの二刀流をさばきながら考える。この変態に勝てる技は何か。

そして関係の無い事をふと思い出す。

……そーいや、リアルにこれより速いパンチを出せるバケモノ、居たなあ……って。

「でああああつー！」

俺は、今も使わないのに付けている指貫グローブとメリケンサックを外し、おっさんの刺突を誘導すべくわざわざ手に隙を作りつつ繰り出し……レイピアを掴んだ。

くつくつく、良く考えりや攻略法は簡単よ。レイピアは突きに特化してるから細い、刃があるからそのためのために多少は耐久度があるだろうが……それくらいは持ち方次第でなんとでもなる。

そしてレイピアは……脆い！

俺は、そのまま掴んだレイピアを、指の力だけでへし折った。

「……………は？」

その光景を目にした瞬間、おっさんは硬直した。

そりやそうだ。普通真剣白羽取りを片手でやって、さらに壊すやつなんて俺しか居るまい……

さて、おっさんよ、驚愕してるのは良いが懺悔の用意は良いか？

「エフ子ーそいつを投げて寄越せ！」

俺は、場外でピッケルを持ったまま観戦していたエフ子にそういつて、ピッケルを投げさせる。

「さーてと、やらないかっ！」

俺は、悪夢を産み出す一言ののち、おっさんの背後から……ザクツと一撃を入れた。

【超覚醒】 隊長に勝てる人材安価【緊急対策】

【エフ子ちゃんの足prprしたい】さん、【幼女を恥ずかしがらせたい】さん、【尋問官】さん、【ベテ】さんが入室しました。

1. エフ子ちゃんの足 p r p r したい
とりあえず 15・に最初の安価するが、質問ある？
2. 幼女を恥ずかしがらせたい
はいはい、神速の一撃を受け止めた挙げ句武器ぶっ壊した隊長に勝てる奴とかわかりませーん。
3. エフ子ちゃんの足 p r p r したい
- 2・じゃあ多少変えよう。二倍くらい強くしたら勝てるかもしれ
ない奴安価な？
4. 尋問官
ところでお前ら、その名前ちよつと尋問されないか？
5. エフ子ちゃんの足 p r p r したい
だが！
6. 幼女を恥ずかしがらせたい
断るっ！
7. 尋問官
さ、斬るか。
8. ベテ
- 7・愛のある尋問にしろよ？
9. 尋問官
分かってるさ、殺めず生かさずの精神は守るさ。
10. エフ子ちゃんの足 p r p r したい
今時の愛って物騒なのな……
11. 幼女を恥ずかしがらせたい
とりあえず今から 9・対策に爆弾アイテムで地雷原作ってくる。
12. エフ子ちゃんの足 p r p r したい
- 11・やめろ被害が w
13. ベテ
- ディアベルさん
14. 幼女を恥ずかしがらせたい
サボテンヘッド
15. 尋問官

ラフコフの p o h

16・ベテ

ヒースクリフ

17・エフ子ちゃんの足 p r p r したい

黒の剣士

18・幼女を恥ずかしがらせたい

スレ主の意見が一番良さげか？

19・エフ子ちゃんの足 p r p r したい

まあ安価的にはラフコフの p o h だけだな。確かに強いとは聞
くし善戦するかもしれない。

20・ベテ

結局勝てないのは前提。はつきりわかんだね。

21・尋問官

しかし、今回の安価に出たやつらでは隊長には勝てなさそうだが。

22・エフ子ちゃんの足 p r p r したい

……んじゃ、次38・で隊長と戦って勝てそうなキャラクター

23・ベテ

流石にそれは……

24・幼女を恥ずかしがらせたい

しかし勝てないであろうキャラクターも多いから十分強くないか
……？

25・ベテ

24・例えば？

26・幼女を恥ずかしがらせたい

25・緋村剣心

26・尋問官

緋天御剣流が負けるとかどんだけだw

27・エフ子ちゃんの足 p r p r したい

25・東京レイヴンズの十二神将、その他規格外の奴らを除く全
員。

28・幼女を恥ずかしがらせたい

あー、納得。隊長なら術とか余裕で避けそう。

29. ベテ

そしてこう言うんだろう『貴様には気合い根性精神力愛勇気努力呪力筋力握力そしてなにより！速さが足りない！』と。

30. 尋問官

確かに言いそうだ。

31. ベテ

それじゃ俺も出すぞ。

25. エレン・ミラ・メイザース

32. エフ子ちゃんの足prprしたい

31. やめろいwww

33. 幼女を恥ずかしがらせたい

31. お前天才？

34. 尋問官

確かに隊長ならテリトリーとか生身で張ってフルボッコにしそうだがなw

35. ベテ

コレ安価の奴な？AUO

36. 尋問官

アーサー王

37. エフ子ちゃんの足prprしたい

征服王イスガンダル

【漢】さんが入室しました。

38. 漢

阿部さん

【漢】さんが退室しました。

39. エフ子ちゃんの足prprしたい

キヤス狐

40. 幼女を恥ずかしがらせたい

清姫

41. エフ子ちゃんの足prprしたい

38・スナイパーw

42・幼女を恥ずかしがらせたい

38・ゴルゴ13かw

43・ベテ

狙った獲物♫は……逃がさん（キリッ

44・尋問官

スマソ、俺吐いて来るわ……

45・幼女を恥ずかしがらせたい

おいやめろ俺もつられて……

46・エフ子ちゃんの足prprしたい

巻き添え増えたな……

【エフ子ちゃんの足prprしたい】さん、【幼女を恥ずかしがらせたい】さん、【尋問官】さんが退室しました。

47・ベテ

被害甚大w

【ベテ】さんが退室しました。

【上層より】ヤバい来るな

【隊長】さん、【ムッコロ星人】さん、【ピザが食いたかった】さん、【幼女が足りない】さん、【犬だけが癒し】さんが入室しました。

1. 隊長

最初に言っておく……マジでおまいら、上層にくんなよ。最前線マジ死ぬる。

2. ムッコロ星人

隊長にそこまで言わせるとかどんだけだよ。てか実際戦ってるけどさ。

3. 幼女が足りない

2. 幼女が少なすぎて息苦しいんだろ。察しろよバカ。

4. 犬だけが癒し

3. 犬型モンスターが居ないんじゃない？

5. ピザが食いたかった

4. バカ言え、ピザが無いんだろ

6. 隊長

ここでふざけるおまいらが大好きだw

まあしかし、ガチの話だぜ。ぜってー来るな。

俺でもあんま自重してられないくらい強いぞ。

攻略組の変態度が！

7. 犬だけが癒し

ブフオツw

8. 幼女が足りない

何をどうしたら最強の変態たる隊長にそこまで言わせるんだ……

9. ムッコロ星人

もしかして最近k o bが産み出した荒業、殺戮陣のことか？

10. 隊長

いや、ただ幹部二名に言ってる。

あいつらの変態度は果てしなく高い。俺とも比肩すんじゃない？

11. ピザが食いたかった

10・……俺ものすごくその二人に心当たりがある。

12・隊長

それは団長と副団長……特に副団長はやばい。

俺がこの前戦ったおっさんとタメ張ってもある程度やれそうないピアさばきしてた。

13・ムツコロ星人

……は？え？あの閃光より強いレイピア使いが居ると？

14・幼女が足りない

13・一応言つとくが、隊長がおっさんと戦ったときの一悶着についてのスレがあったからまとめて来たが、隊長が自重完全に無くしてようやく勝った相手みたいだぜ。

15・ピザが食いたかった

逆にいうとこれまで自重してたのかって驚きがある。

16・犬だけが癒し

15・仕方ないよ。隊長だし。常識を破壊するのが隊長なんだよ。むしろ常識的な隊長なんておかしいんだ。

17・ピザが食いたかった

16・納得できすぎてリアルの知り合いかと疑いたくなる。

18・隊長

いや、でもリアル知り合いで確定で無事っぽい方はオープンなロリコンだしそんな名前使わんと思うが。

19・幼女が足りない

だろうな。

20・隊長

19・みたいな名前にすると思うぞ。

21・犬だけが癒し

20・ところで、k o bの団長の方はどう？

22・隊長

あつちはあれだな。うん、なんというか全ての動きを知ってるみたいな感じだった。

特にあらゆるソードスキルのタイミングを熟知してる感じは一瞬

かやひこ本人かと思つたぜ。

まあかやひこがあんな姿してるわけが無いから違うだろうがなw

23・ムツコロ星人

22・倒せる？

24・隊長

何言つてんだ？隊長さんだぜ？

個人的には団長はソードスキル抜きでひたすら斬つて殴つて蹴つて投げてやれば勝てる。

25・ピザが食いたかつた

24・投げる。つて？

26・隊長

文字通り、剣やら斧やらその辺をぶん投げて王の財宝すること。

27・ピザが食いたかつた

俺が知つてる投げると違う……

28・幼女が足りない

しかし、このままだと隊長つてSAO最強つてことになるよな。

だとしたら隊長に勝てる奴つてリアルにも居ない気がしてきたんだが。

29・隊長

28・居る。一人だけ確実に負ける相手が。

30・ピザが食いたかつた

what？

31・ムツコロ星人

what？

32・犬だけが癒し

what？

33・幼女が足りない

what？

34・隊長

そんな驚くことか？いくら俺でも無敵じゃないぞ。
ちなみに母親な。それ。

35. ピザが食いたかった

34. 今明かされる衝撃の真実ウ！

36. 犬だけが癒し

お母さんには頭が上がらないんだね。親孝行な息子だよ。

37. 隊長

36. いや、そういう意味じゃない。マジでケンカでも勝てない。

本気の本気でぶつかっても良いところ九割だわ。

38. ムツコロ星人

37. リアルに戻ったらDNA検査すると良いぞ。サイヤ人の実在証明が出来る。

39. 隊長

……参考までに聞く。おまいら俺をなんだと思ってる？

40. 犬だけが癒し

リアル野菜人

41. ムツコロ星人

超越者

42. ピザが食いたかった

歩く災害

43. 幼女が足りない

安心院さんの親戚

44. 隊長

……お前らに良識的な答えを期待した俺が間違っていた。

45. ピザが食いたかった

誰よりも常識はずれな奴が何を言ってるんだ……

46. ムツコロ星人

44. ブーメランしてるぞ。地味に。

47. 犬だけが癒し

そーだそーだ！

48. 幼女が足りない

44. ……ロリの写真でも見て、落ち着けよ。

49. 隊長

とりまおめーらまとめてデュエル死ようぜ！

50・ムツコロ星人

殺す気かw w

51・隊長

いぐざくとりー。

52・ムツコロ星人

もちろんって答えちやったよこの人!?

53・犬だけが癒し

ヤバイ刺激しすぎたか。私は逃げる。

54・ピザが食いたかった

53・あえて言う。大魔王からは逃げられない。

55・幼女が足りない

54・つまり隊長＝魔王だな。と、なれば隊長のお母さんは邪神

……どんだけやねん。

56・ムツコロ星人

隊長家が揃ったらどこまでやれるんだろうw w

57・隊長

多分村一つくらいならイケる。

58・犬だけが癒し

57・何が!?

59・隊長

殲滅が。何と勘違いした？

60・犬だけが癒し

59・予想の斜め上を行ってくれやがったなチクシヨー！

61・ピザが食いたかった

60・何を予想してた？

62・犬だけが癒し

制圧。殲滅とは思わなかったよ。

63・ムツコロ星人

ところで隊長はこのSAOで勝てない奴は居るか？
勝てないかも、って感じのも可。

64. 隊長

63. 流石に80から先のボスをソロは死ぬと思うぞ? 体力多すぎてる。

65. 幼女が足りない

64. それは当たり前だw

66. 犬だけが癒し

64. 何をどうしたらその答えに……?

67. ピザが食いたかった

64. あながち真実なところが笑えない。

68. ムツコロ星人

64. これまでの攻略にアンタを誘わなかったことが悔やまれる。

69. 隊長

まあ、ここまで本題に一切関係無いこと話したけどさ。マジで上層来ない方が良いわ……正直ダルいぞ。敵の相手。

リポップ早いしさ。誰か他に上層の欠点言える?

70. ムツコロ星人

狩りのたびにアイテム整理の必要が出てくる。めんどくさい。

71. ピザが食いたかった

敵が多すぎてフレンドリーファイアしかねない。

72. 幼女が足りない

本格的に幼女が足りない

73. 犬だけが癒し

犬がない

74. ムツコロ星人

72、73. おまいらマジメにやれw

75. 犬だけが癒し

事実ではあるよね。

76. 幼女が足りない

事実ではある。

77. 隊長

息ピッタリ過ぎるぜw

78. ピザが食いたかった
つーか、良く考えりゃ好きで上層に上がってくるやつなんてあんまり居ないだろ。

79. ムツコロ星人

78. おいそれ禁句

80. 隊長

78. えっちよそれじゃここまで不毛……ちよつと敵シバいて恥ずかしさ解消してくる。

81. 犬だけが癒し

80. 散々上層を警戒しろと言ってきた人がストレス解消に狩りに行くなあ！

82. 幼女が足りない

80. エフ子ちゃんの戦闘時のスクショを撮っておけば金になるぞ。

83. 隊長

82. モンスターじゃなくてお前をシバいても許される気がしてきた。

84. 幼女が足りない

だが断る！

【幼女が足りない】さんが退室しました。

85. 犬だけが癒し

とりあえず火の粉が飛ばない内に退散！

【犬だけが癒し】さんが退室しました。

86. ピザが食いたかった

んじゃ、俺も。

【ピザが食いたかった】さんが退室しました。

87. ムツコロ星人

んじゃ俺も……

88. 隊長

87. 今からお前のところに行くわ。

89. ムツコロ星人

(0w0) ウエイ!?

90. 隊長

イモ洗って待ってる!

【隊長】さんが退室しました。

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

隊長さんは喧嘩を売りに行くそうです。

やつはろー。隊長さんだぜ。

なんかさつきな、黒の剣士と一悶着あつて……道場破りをしにいくことになった。

やることは簡単。最前線まで行つて、黒の剣士を探して、デュエル申請を昼夜問わず送り続けるだけ。

了承したら普通にデュエル。相手は黒の剣士つてことでのっけから自重無しで行く予定。

理不尽？なんのことですかねー。俺は世界でもかなりレベルの高い常識と良識を持った大人のお兄さんだと自覚してますが（皮肉）。

さあ行くぜエフ……子？

エフ子どこだ。

「マスター助けて……！」

ああエフ子、そこに居たのか（某赤い三角頭のごとく）。

どうやら何かに服部分を引っかけたみたいだな。

どれ、救出して……

「マスター……」

……なんじゃこりや。

どうやら引つかかったのはエフ子の服部分みたいだ……しかし、どういうわけかエフ子はそれを宿の机に引っかけている。

だがおかしくないか？

普通ゲームのオブジェクトなんだからそんな引つかかるようなものは……クエストか？

俺は、ひとまずエフ子のスカートを机から外してやり、机の足を確認する。

見た目、問題なし。触った感じは……ツルツル。念のため全体的にチェックしても、ツルツル。一切の突起がなくて逆に怪しいぜ。

うーん……なんだったんだ？

良く分からないトラブルだったな。

まあいい、さあ行こう！黒の剣士に喧嘩を売りに！

俺とエフ子は、なんか意味ありげに宿屋から一步を踏み出した。

ぐぎゆるるる……

「お腹空きました……」

同感だ。そーいや朝食ってないや。今昼なのにまだ何も口に入れてない。

まずい食生活がガチで乱れてリアルのあるに近い。

せめてSAOくらい正しい食生活を心掛けないとな……まあ、一食くらいは抜いたうちに入らないだろう。

抜いたにカウントするのは五食からさ！（迫真）

……まあ俺のリアルでの食生活の乱れ具合はさておき、飯を食おう。

確かこの層にはそこそこ美味しい定食屋があったはずだ。

今日はそこにしよう。

俺は、目的地を一旦定食屋へと変更した。

「エフ子、ちよつと背中に乗れ」

しかし黒の剣士にデュエル申し込みに行くのは早い方が早いだろうから超特急で向かうぞ。

隊長タクシー、パルクールもびっくり仰天の動きだった！

まずローズピアッサー（回収した）を装備し、加速してジャンプ。

立体機動スキルだけでなく、エクストラスキルの1つである破滅の使者の効果も使い、ローズピアッサーの判定を延長して無理矢理屋根に引っ掛ける（実は腕でも出来るけど、エフ子を背負っては無理）。

そしたら腕の力でよじ登り、ローズピアッサーを消して屋根を走り、溝を飛び越え、店まで直行。

かーらーの……トリプルアクセル！（4分の15回転なので厳密には違う）

決まったあ……！

「何が!？」

おや、どこかで見たようなおっさん（変態の方じゃない）ではないか。

ナイスツツコミ。ウチに欲しいよ。

一家に「おっさん」でも良いかも知れないな。

そしたら容赦なくボケを連発できる。

「やめたげてくれ……周りの被害が悲惨なことに……」

ところで、今並んでる？

「……話題をずらされたか。まあ教えてやろう。並んでるぞ」

あそこにかやひこー！

「ダニイ!?!」

ほらほら、あつちあつち。今追えば間に合うかもよ？

「お、おう！サンキューな！俺はあいつを追ってくるぜ！」

おー、いつてらー（笑）

列を一人分得させてもらったぜ……そしてお前が追っていったのはかやひこじやねえぜ、実際はただの赤鎧だ。

……さ、飯食おうぜエフ子。

「はいっー！」

【言い様のない】かやひこ詐欺ご注意【この怒り】

【おっ】さん、【ムッコロ星人】さん、【ラーメンマスター】さん、【漢】さんが入室しました。

1. おっ

隊長に騙されて列順取られたお。

2. ムッコロ星人

1. そりゃご愁傷さま。

3. ラーメンマスター

ラーメン食う予定だったのか？

4. おっ

3. ちやうわw

5. 漢

それで、どう騙された？

6. おっ

待ってました。順を追って説明するぜ。

7. ラーメンマスター
正直隊長のことだから頭おかしい登場して驚いてるところをいつの間にか移動させ、列に入るって感じだと思うが。

8. ムツコロ星人

7. 隊長が頭おかしい登場をすることは前提なのな。

9. 漢

アイツの動きはおかしいぞ。攻撃を素手で掴むし。

10. おっ

9. どこかで見たような話だな。

まあ、当然隊長の登場は屋根の上からエフ子ちゃんを背負って……

11. ムツコロ星人

空中下強（スマブラ脳）

12. ラーメンマスター

バケツで水投下（マイクラ脳）

13. 漢

後方宙返り伸膝三回捻り

14. おっ

おまいらふざけすぎ大好きだw

まあ正解はこれ。

トリプルアクセルという名の15／4回転。

15. ムツコロ星人

分かりにくいのが3と3／4でおk？

でも男子スケートだと四回転はよくあるよな。

陸上だとしても屋上からだし……隊長らしくはない。

16. ラーメンマスター

まあ、それでも割りとスケートリンクでやったら面白いかもしれないな。

17. おっ

……おまいらは隊長がいつもよりマトモだから安心してるとみたいだからあえて言おう。隊長は……エフ子ちゃんを背負っていたんだぞ？

18. 漢

要約すると体重増加、重心のズレ、タイミングの不一致等が加わり大幅に難度があがるってことだ。

19. ムッコロ星人

18. 一瞬で詳しく説明できるお前が怖い。

20. ラーメンマスター

というか、エフ子ちゃん一人くらいならそこまで変わらないような

……

21. おっ

俺のリアル経験ですが子供を背負うお父さんの図は感動的だがお父さんの腰に酷いダメージが入るんだ。知ってるか？

22. 漢

21. 湿布でも送ろう

23. ムッコロ星人

22. お前は名前の通り漢だなw

ツバンテリ○

24. ラーメンマスター

ツおんぶ紐

25. ムッコロ星人

24. その発想はなかった。

26. おっ

おまいらの優しさにちよつと泣いちゃったぜ。

まあ本題に戻るが、その時ちようど隊長と同じ店に並んでたんだが

……

27. ラーメンマスター

w k t k

28. おっ

隊長「あんなところにかやひこ！」

俺「ぶつとばしてくらあ！」

要約するとこんな感じで順番取られましたお。

29. ムッコロ星人

28・SAOプレイヤーなら当然反応するわな。

30・漢

とりあえずそこで武器を投げてみるという選択肢は？

31・ムッコロ星人

そこからひとまず無視して飯を食う選択肢は？

32・ラーメンマスター

そこから諦めてラーメン食いにいく選択肢は？

33・おっ

どれもねえからww隊長じゃあるめえしw

34・ラーメンマスター

しかしラーメンは良いぞ。野菜も肉も炭水化物も入っている。

35・ムッコロ星人

34・それどっかで聞いたな。アメリカ人だかがピザでやったやつ。

36・おっ

34・食生活には気を付けろ

37・漢

ちなみに36・は今悔しいか？

38・おっ

37・もちろんさあ！

39・漢

それじゃ後ろから近寄って、【検閲により削除】するといいぞ。

40・ムッコロ星人

39・理解した。【検閲により削除】か。やめたげろ。

41・おっ

39・出来ねえよ！

42・漢

それなら俺が。

43・おっ

42・いらんから……すまん俺は逃げる。

【おっ】さんが退室しました。

44. ムツコロ星人

あつ逃げたwそんなじゃ俺は飛び火しないうちに退散w

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

45. ラーメンマスター

えつと……

46. 漢

3スレほどなら語れるが、どうする？

47. ラーメンマスター

さよおおおおおならあああああああ!!!

【ラーメンマスター】さんが退室しました。

【腹が減っては】三食ちやんと食べよ（迫真）【戦は出来ぬ】

おっさんをかやひこ詐欺で追い払い、列に割り込むことで僅かながら時間を短縮した俺たちは、ある問題に直面していた。

……メニュー多すぎて選べないよ。どうすれば良いんだよ。

定食が美味しいのは知ってる。しかしその定食だけで……メニュー数が200を越えるのはちよつと頭おかしいとしか言えない。

どーすんのこれ？こんだけメニュー作ってどーすんのよ？

肉の揚げ物関係でも牛カツ定食、トンカツ定食、唐揚げ定食、メンチカツ定食、照り焼き定食、生姜焼き定食という具合に大量のメニューがある。

正直どれにすれば良いか分かんないよ？

特に説明文に『シェフが気分を選んで食材でなんとなく料理を作ります』なんて一文のある定食とか、『シェフが目隠しをして作ります』って書いてある定食とか、マンガ肉定食とか。

いやマンガ肉定食はただのマンガ肉とキャベツのセットだけどね。

「エフ子は決めたか？」

「まだです……」

まあエフ子はまだ決めてないみたいだし気長に考えよう。最悪なるとなくにするとして。

イカ飯、たこ焼き、サンマの丸焼き、鯖の味噌煮、クラークンの水煮、サハギンの鯖缶、エビのフリッター、ただのフリッター……これはただのダジャレだな。値段が書いてあるがきつとジョークだろう。

野菜の盛り合わせ、山菜の盛り合わせ、八宝菜、おぼんざい定食……ちなみにおぼんざいと言うのは京都で良くある、言ってしまえば和風飲茶みたいなもんだな。詳細は知らん……母親の味定食、煮物定食、キャベ○ン……お前は食べ物じゃねえよ。

だが良いのは中々ないな。

かゆい所に手が届きそうで僅かに届かないこの感覚、イラツとする

ぜ。

……兜焼き定食、目玉定食、踊り食い定食、流し素麺定食……流し素麺を定食と言っているのかは謎だ……ソバ定食、豚骨ラーメン定食、魚介ラーメン定食、野菜ラーメン定食、味噌ラーメンに見せかけた塩ラーメン定食、最後の晩餐定食、学校給食風定食、学食のラーメン（味噌汁風味）……ってこれは懐かしい。通った大学の学食で有名だったなあ……からの塩漬け定食、糠漬け定食、漬物定食。

だがまだまだいい感じの定食は出ない。

……なんかいつそ最初のシエフが気まぐれで選ぶやつにした方が
良い気がしてきた。まあ探そう。

ソテー定食、ムニエル定食、マカロニ定食、マカロン定食、ユツケ定食、ホツケ定食……ダジャレは乱発するもんじやないぞ……赤定食、緑定食、紫定食、青定食、黄定食、白定食、黒定食。

ちよつと待てなんじやこりや。

色シリーズかよ。しかも僅か七色だし。虹色って訳でもないし……だが黒定食か。

どうせ食ったあとは黒の剣士を見つけ出して戦いに行くんだ、黒いモノは縁起が良いかもしれんな。

「エフ子、決まったか？」

俺はそんなことを考えると、エフ子に定食を決めたか聞いてみた。
ここの定食は数が多いし、まだ悩んでいても不思議じゃないがな。

「はいー」

そうか。それじゃ店員さーん……ってここウィンドウでやるんだった。

危ない危ない。つい店に来るとウィンドウで良いと分かっているから店員を呼んでしまう。

これがリアルとの差だよなあ……別に店員が注文取る形にして人数が多いときにやたら待つという体験をしたい訳じゃないけどさ。

「エフ子は何を食うんだ？」

「森の恵み定食です」

森の恵み定食ね、そういやエフ子って一応森の民と有名なエルフだ

し、そこら辺から選ばれたのかね。

俺は他愛ないことを考えながらウィンドウを操作して定食を注文した。

……黒定食、どんな物が来るかは写真が無かったから分からないが、何が来るんだろうなあ？

なんとなくだが黒パンとか来るんじゃないかと思ってる。

ろーくん辺りが関わってるなら別の意味で黒い物が出てくるんだろうけど、どうせ普通に定食屋だもんな……

あ、黒豚とかが出てきたらちよつと黒くないからキレよう。かなり理不尽に。

「お待たせしました森のエグみ定食とグロ定食でございまーす」

俺が適当だが正直迷惑極まってるだろうなって感じのことを考えていると、やたら変なポーズで定食が運ばれてきた……だが。

「どっちも一文字違うわー！」

森のエグみってなんだよエグみって。なんの特もないぞ。

「そうでしたー。森の恵み定食と黒定食でーす」

まったく、こんなくだらなことを考えるカーディナルの気が知れねーぜ。

今度見付けたら殴ってやろう。

「いただきまーすー！」

謎過ぎる決意をする俺の横で、テンション高めにいただきますをしたエフ子。

良く分からないけど子供ってこの一言だけテンション高いことあるよね。

どうでも良いけどさ。

……まあ、俺も食うか。

【腹が減っては】お前ら三食ちゃんと食えよ【戦はできぬ】

【隊長】さん、【Who】さん、【理不尽の結晶】さん、【来店マスター】さんが入室しました。

1. 隊長

おまいら、何があっても飯は三食きちんと食えよ。俺が言いたいのは

はそれだけだ。

2. 来店マスター

訳ワカメ。つまりはどういうことだ？

3. 隊長

つまりは飯は三食マトモなものを食べということだ。

前線近くに定食屋があるが、その黒定食は絶対食うなよってことでもある。

4. Who

3. 黒定食つてなによ。

5. 理不尽の結晶

3. 知人の飯は結構な割合でラーメンだがそれはマトモな飯に入るか？

6. 隊長

4. とにかく黒い。ソースで黒い。続きは後程。

5. ラーメンラーメン。スープを変えれば良しとする。

7. 来店マスター

つかソースで黒いってあんまおかしくは無いだろ？黒いソース使えば真っ黒だし。

8. 隊長

7. 残念だがトンカツソースが掛かりすぎて黒く見えるソースカツ丼、中濃ソース混ぜすぎて黒いスープ、中濃ソース掛けすぎて黒いキャベツの定食だぞ。ソース味しかせんわ。

9. Who

8. それにかやひこの悪意を感じる。

10. 来店マスター

色系定食はヤバいとは思ってたがそれほどとは。

11. 隊長

10. 他の奴食ったのか？

12. 来店マスター

Yes, I am.

13. 理不尽の結晶

12・バカな……あれを食ったのか!?

14・隊長

13・解説キャラのノリだが、お前知ってんのか。

15・来店マスター

そこは俺が。

数ある定食の内、色定食はヤバい。

黒はソース、白はマヨネーズ、赤は七味唐辛子、青は青じそ、緑はワサビ、黄色は辛子、紫は毒物。ザツと挙げててもこんなもんだ。

絶対食うな。

16・理不尽の結晶

15・お前は食ったか？

17・来店マスター

もちろん食った。二度と食いたくないが来店がやめられない。

18・隊長

17・貴様に定食ジャンキーの名をやろう！

19・Who

よっ！定食中毒！

20・来店マスター

褒められてる気がしねえ……

21・Who

紫定食は食衛法的に大丈夫なのか……？

22・来店マスター

アウトだな。

あとなんか話してたら食いたくなってきたんで、かなり早いが抜けるわ。

【来店マスター】さんが退室しました。

23・理不尽の結晶

何を食いにいくつもりだ……あと今から探せば見付かりそうだから俺は22・を探しに定食屋行ってくるから落ちる。

【理不尽の結晶】さんが退室しました。

24・Who

今回はみんな抜けるのが早いな！。

25・隊長

そうだな、俺も黒いヤツに喧嘩売るから落ちる。

26・Who

25・それは黒の剣士でおk？

27・隊長

26・いえーす。黒の剣士潰してくらー！

【隊長】さんが退室しました。

28・Who

残ったの俺だけ!?

【漢】さんが入室しました。

29・漢

俺で良ければ話し相手になろう。

30・Who

めっちゃいい人キターー！

【究極の難題】SAO最強決定戦 part 1

「よー、黒の剣士！」

「おー、隊長じゃないか」

「死に晒せ！」

出会い頭から、お互いに剣を抜いて斬りあう関係性……頭おかしいんだけど、まあ良いと思うよ。

だって今ものすごく黒の剣士にムカついてるし。

お前は俺を怒らせたのだ……

最大の禁忌、俺の目の前かつデュエル直前でイチャコラという行為をな！

ー数十分前・プレイヤーチャットにてー

【緊急安価】黒の剣士痛めつけ隊【天罰を与えよう】

【名無しさん@ぼっち】さん、【コーラジヤイアント】さん、【テヤツピエウイ】さんが入室しました。

1. 名無しさん@ぼっち

とりあえずおまいらの名前にはツツコミどころ満載だが、1つ言わせてくれ。

2. テヤツピエウイ

おう、なんだ。

3. コーラジヤイアント

拳骨は任せろ。

4. 名無しさん@ぼっち

3・物凄く頼もしいな。

まあ言いたい事は1つだよ。

『黒の剣士がパーティに入っているのですが、目の前でイチャコラされて物凄く殺したいけどどうにもならないので嫌がらせ考えてちよw』ということだ。

5. コーラジヤイアント

ひとまず一回圏内で殴る蹴るで良いと思うぞ。出来れば五人くらい集めて、ズドンと。

難なら今すぐ実行しようじゃないか。層を教えてください。

6・名無しさん@ぼっち

5・まあ待て、ここは安価だ。安価で決めるんだ。ネタあり。

安価は17・

7・テヤツピエウイ

しかし、アインクラッドもつとも有名なカップルには俺たちの前での自重はないんですかねえ……殺意が湧いてくるよ。

8・コーラジャイアント

嫌われ百倍、黒の剣士！

今ならサボテンとだつて仲良くできそうだ。

9・名無しさん@ぼっち

8・ちよつやめw

10・テヤツピエウイ

不覚にもw突然のアンパンマンは卑怯w

11・コーラジャイアント

そして俺は今、静かな殺意で満ち溢れている……ムツコロの境地つてヤツだ……

12・テヤツピエウイ

11・自重してくれwムツコロの境地つてなんぞやw

13・名無しさん@ぼっち

いつそアイツを本当にムツコロの先へ送り届けてやりたい。

14・テヤツピエウイ

便利な隠語が出来たな。

【隊長】さんが入室しました。

15・隊長

うーっすw

16・名無しさん@ぼっち

デュエルにかこつけて集団リンチ。

17・隊長

物理で蹴散らし、実力の差を見せ付け、服にソースを溢す。

18・テヤツピエウイ

閃光さんに色々吹き込んでヤンデレバーサーク

19・コーラジャイアント

ひたすら付近で、『全身黒とかどう考えても厨二w』と言い続ける。

20・名無しさん@ぼっち

女性プレイヤーに知り合いが多いそうなので一度に集めて修羅場らせる。

21・テヤツピエウイ

17・俺らに出来るかっつてのw

22・隊長

大丈夫だ問題ない。黒の剣士は俺がやる。

23・名無しさん@ぼっち

22・アインクラッド頂上決戦だなこりや。とんでもねえ戦いになるぞ。

ところで黒の剣士の場所は掴んでる？

24・隊長

23・あ……

25・コーラジャイアント

24・さっき見かけたのは82層の街だった。しかし75層のアークソフィアってところにあるカフェで待ち伏せした方が懸命かと。

26・テヤツピエウイ

25・お主さては攻略組か？

27・コーラジャイアント

いえ、ただの拳骨おじさんです？

28・テヤツピエウイ

27・疑問形かよ！

29・隊長

まあ良いわ。とにかくサンキュー25・

ところで、勝ったら罰ゲームとしてやたら強いのに呪われてるような装備を使わせようと思うのだが、他にやりたいやつある？

30・名無しさん@ぼっち

29・それなら安価でやろうぜw38・なw

3 1. テヤツピエウイ
あと8つか、短いようで長いような微妙な感じだな。

3 2. コーラジャイアント

しかし、黒の剣士に罰ゲームとか何かあるか？あいつにちようどい
い罰ゲームとかないぞ？

3 3. 名無しさん@ぼっち

黒い装備禁止とかは難しそうだな。

3 4. 隊長

3 3. それもう黒の剣士じゃねえよw

3 5. コーラジャイアント

いつそネタ装備で確かピエロの仮面つてのがあったから、それを着
けさせるとか。

3 6. 隊長

3 5. 安価でやれよw

3 7. テヤツピエウイ

強いやつの前でリア充アピール。

3 8. コーラジャイアント

ピエロの仮面着用。

3 9. 名無しさん@ぼっち

装備を全体的に茶色にする。

4 0. テヤツピエウイ

ヒースクリフに喧嘩売る。

4 1. コーラジャイアント

…：俺のか。

4 2. テヤツピエウイ

ヒースクリフに喧嘩売らせたかったよ。

4 3. 名無しさん@ぼっち

茶色くして茶色の剣士（笑）って言おうと思ったのに。

4 4. 隊長

ヒースクリフに喧嘩売るのは面白そうだなw最強決定戦最終戦に
良さげだw

45. 名無しさん@ぼっち

茶色……

46. 隊長

45. 茶色の剣士(笑)については俺の渡す呪い装備の色が奇跡的に茶色いから大丈夫だ、問題ない。

47. テヤツピエウイ

46. そうか、問題ないな。行ってこい。

48. 名無しさん@ぼっち

46. そうか、問題ないな、行ってこい

49. コーラジャイアント

46. そうか、問題ないな、行ってこい。

50. 隊長

おう行ってくるぜ！

【隊長】さんが退室しました。

さて、これが俺と黒の剣士の戦いが出会い頭に死に晒せをお互いに言うような出来事の原因……である。

まあ、正確には安価で決まった奴をやるうとしてうっかり怒らせちゃったんだがな。

ここからはその一部始終だ。着いてこられるか？

第75層主街区、アークソフィアにとーちやーく！

俺とエフ子は、黒の剣士に喧嘩を売るためアークソフィアに降り立った。

そしてのっけから……大変なことになった。

うん、まあやられたらそりゃキレるよなーって感じの、ね？

転送先がたまたま、某閃光さんあるいはk o b副団長さんの目と鼻の先で、その時俺がポーズを決めようと体重を前に掛けていたことと、転移してきた俺にびっくりして閃光さんがのけぞっていたことが引き金となり……というっかり、押し倒す体勢になったのだ。

え？もちろん隣には黒の剣士Ⅱサンが。

死ぬなこりや。そう判断して俺たちは必死で逃げた。

エフ子を背負って様々な所を走り回った。

壁、空中、屋根の上、人混みの中と、どこだって走った。

しかし……黒の剣士は相当にキレていて、どこまでも執念深く追ってきた。

本職のストーカーの数倍の精度で、迫ってきた。

え？俺？久方ぶりにガチ泣きしそうになったね。うわ黒の剣士こわい。

でもさ……いやちよつと俺もカチーンと来ちゃったのよ。

黒の剣士が俺を捕まえようと全力で投げたスローイング・ピツク（軟弱な……男は黙ってハンマー投げろって言いたい）が、俺が逃げたルートの方に何故かいた幼女のクレープにグサツと当たり、破壊してしまったのだ。

当然泣いたね。ものすごい大号泣。

で……何故かみんな俺を見てた。

……犯人なすりつけられたんだよコンチクショー！

【キレる体長】 SAO 最強決定戦 part 2

幼女泣かせた犯人を擦り付けられますた。

なにこれ俺も泣いちゃっていい？泣きながら全方位に王の財宝ごっこしちやっついていい？するよ？ねえ王の財宝しちやうよ？

装備メニユーを開きながら、そんなことを伝えたくて周りを睨む。すると、なんか全体的にいかついおっさんたちがやってきた。

……なんだお前ら。

うんうん、なにに？幼女泣かせた許さんデュエレ？

いいよ。バトルロイヤルモードはないけど、やろうか。

だが俺はちよつと忙しいから、初撃決着でよろしくな。

デュエル申請。初撃決着モード……受理！

デュエル開始まで一分である。

正直今すぐ黒の剣士をぶっ殺したいのに動けないからこの一分がものすごく憎たらしい。

早く過ぎないかな一分。キンクリされないかな一分(されません)。

「隊長……お主は紳士であると思っていたのに、残念だ」

「知るかあー」

あー、なんだろう。ここは事情を説明した方がいい筈なのに物凄くイライラしてめんどくさくなっちゃったなー。

八つ当たりでコイツらフルボッコしたくなっちゃったなー。

あ、残り五秒。

3…2…1……

「いざ尋常に……」サマソルからのバックラッシュ(片手剣ソードスキル。出が早く、場所を問わずに後ろに方向転換しつつ斬る)！「ひでぶっ!？」

俺は、デュエル開始と共に相手にサマーソルトを喰らわせ、そこから片手剣現状最速で出せる一撃であるバックラッシュを喰らわせた。

コイツ、本来は対奇襲用カウンターもどきなんだが、奇襲対策としての出の早さを活かしつつ今みたいに背中を見せてやれば良い感じに削れるのだ。

クックック。謂われなき罪を押し付けた罪は重いぞ！今度は誰だ！

「くっ……やはり団長じゃないと無理なのか……団長さえ、団長さえ居れば！」

るっさい。ところで勝負するかね？

全員最速を追い求めて作ったコンボシリーズで一瞬の内に沈めてやるから、早くしろよ（暗黒微笑）。

俺は、男たちを挑発する。正直もう黒の剣士うんぬんよりむしろくしゃしてのストレス解消が主になってるが、別に良いだろう。

「お前たち！撤退だ！」

おっと逃がさんぜ。

「エフ子！そいつらを止めろ！」

「了解です！」

エフ子を動かして退路を塞いでやった。

そしてデュエル申請を送る。一瞬で拒否されたが、次の瞬間また送る。

拒否される度に送って、何度でも送る。

だが中々引っ掛からないな。さっさと間違えてYESを押ししてくれるとありがたいんだが。

……いや、むしろ間違えさせるより、間違えさせた方が良いかもしれない。

難しいことじゃないんだ。ただ睡眠PKの要領でウインドウをタッチする手を俺が動かせば良いだけだから。

見上げられたもんじゃないがこれが一番楽だろう。

俺は、どうすれば他の奴にデュエルを挑めるかを考えたあげくのその発想を実行するため、行動を開始する。

まず、クラウチングスタートの体勢をとる。

当然相手は何かを感じとって逃げようとするが、そこにはエフ子が。

別になんらかの方法で物理的に退ければ良いのだが、コイツらには厳しい可能性がある……やっぱり。

逃げるため走り出そうとした男たちは、エフ子が立ち塞がると歩みを止めてしまった。

お前らが紳士なのは認めるさ。実に感動的だな、その精神。

だが無意味だ。俺はクラウチングスタートから一気に加速すると男たちの内の一人を抑え込み、手首りを掴む。

そして多分そこら辺にある。と思われたウインドウを無理矢理操作した。

……よし、受理されたな。強制デュエル、成功だ。

まあどつかの誰かさんはルールを守って楽しくデュエルとも言っていたが、ルールを破って無理矢理デュエル。でも意外と語呂は合っている。

あくまで語呂のみだけだな。

「悪魔だ……隊長は、悪魔だ……」

悪魔か、むしろ大魔王じゃないかそこは？

ほら、逃げられないだろう？

大魔王からは逃げられない！

「それはエフ子ちゃんが居るからだ！」

そうか、それじゃ試してみるか？

延々と追い掛けてやるぜ。

……今デュエルしてる奴を倒してから、な。

あえて大魔王感を出すため、口角を上げて高笑いをしてみたとすると相手は怯んだ。

えつちよ何？お前もしかしてこの程度でビビってんの？うわなっさけねー。

「クソ……ど、どうせお前なんてリアルだとぼっちのDQNの癖に！」

「……あゝ？今なんだった？え？ワンモアプリーズ？もっかい言えよ」

……ああそう、言わないのか。

良いだろう、ならば言わせてみせよう。物理で。

【助けて】ただのケンカのはずが大惨事を巻き起こしてる

【ムツコロ星人】さん、【ダニマン】さん、【たこ焼き】さんが入室しました。

1. ムツコロ星人
たすけて。

2. たこ焼き

どうした。隊長でもキレさせたか？

3. ムツコロ星人

2. お前エスパー？なら話は早い。

ただのケンカのはずが大惨事になったので止める方法教えて。

4. ダニマン

ケンカって何？少なくともそれが分からんとなんとも。

5. たこ焼き

出来れば現状も一緒に。

6. ムツコロ星人

4、5. おk。まあ最初は転移してきた隊長が嫁さん押し倒したところから始まる。

7. ダニマン

6. すまんお前を殴っていいか？

8. たこ焼き

6. ちよつとお前を蹴りたい。ものすごく蹴りたい。

9. ムツコロ星人

お前ら酷いなwまあ続けるぞw

んで、俺はとーぜんキレた。押し倒して胸を揉むとかマジゆるさ^んって感じで。

そして鬼ごっこ化した。

10. たこ焼き

つまりは隊長に嫁押し倒されて追い掛けた。と。

だが大丈夫か？隊長ってバケモノどころじゃ利かないって聞いたけど。

11. ダニマン

10. いや、9. も相当な強さだろ。そうじやなきや数秒で撒かれ

るだろうし。

12・たこ焼き

だとすると9・はなんなんだ。

13・ムツコロ星人

12・考えなくて良いぞ。

で、続きな。

俺は逃げる隊長を少しでも減速させようと、ピックを投げたんだ。隊長がそれを避けても掴んでも多少は遅れるからな。

……で、道端の幼女に命中して、泣かせて、犯人が俺だと名乗り出ようとしたら謎の紳士軍団が出てきて混沌化。

14・たこ焼き

13・大惨事ではないな。

15・ムツコロ星人

ところがどっこい。その紳士軍団は隊長とデュエったんだ。

もちろん負け、そして全員逃亡……しようとして、他の奴らはエフ子ちゃんにより阻まれ腕を動かして強制デュエルで戦ってる。現在進行形で。

16・ダニマン

これは無駄にほつかほかのニュースやな。

17・ムツコロ星人

で、そのデュエル相手の二人目が、隊長の逆鱗的な物に触れちまつたみたいなんだわ。

18・ダニマン

17・もしかして：ぼっち

19・ムツコロ星人

何故分かったし。お前はエスパーか……

まあ、とにかく二人目の対戦者は隊長にぼっち、DQNと言ってキレさせた。

20・たこ焼き

そらキレるわな……っーか隊長ってなにげにコミュ力はあるし、ぼっちは無いだろ流石に。

21. ダニマン

まあ、二人目くんがうつかり地雷を全力で踏み抜いちやっただけか。
ころか。

22. ムツコロ星人

それだけじゃねえ、ちようど今のことだが、隊長が二人目どころか最後の一人を倒した。

23. たこ焼き

22. 今すぐ逃げるんだよおおお!!!

24. ダニマン

22. レッツゴー第一層！とにかく逃げろ！

25. ムツコロ星人

23. 24. どーしたね突然に。

26. たこ焼き

どーしたもこーしたもねえ！

27. ダニマン

最初のピックの件で隊長が飛んでくるぞ！少なくとも俺が隊長なら、事の発端であるお前を殺していく！

28. ムツコロ星人

……残念、もう手遅れだ。

隊長からは逃げられない！

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

29. たこ焼き

あつ、死んだな。

30. ダニマン

28. お前の冥福を祈る。

31. ダニマン

ただしあと三秒でここを抜けるからそれまでだけどなw

【ダニマン】さんが退室しました。

32. たこ焼き

わーお俺一人寂しいなー切ないなー。

【漢】さんが入室しました。

33. 漢

語り合わないか？

34. たこ焼き

33. お断りします！

【たこ焼き】さんが退室しました。

【これは恐ろしい】SAO最強決定戦

あえて言おう。現れた紳士集団を蹴散らしてから言うのも難だが……ストレス解消は原因をぶっ飛ばした方が一番効率的だと思う。なにせストレス解消と、原因の処分が同時に出来るんだから。良いよね効率。俺効率厨じゃないけど好きだぜ。

「出てこいや黒の剣士ー！」

俺は、無為に時間を思考を浪費しながら、アークソファイアの中を黒の剣士を探して歩き回っていた。

しかし中々見付からないものだよ。

有名人だから、隠れるのは得意なのかもな。

しかし、素人に出来る程度の逃走術なら簡単に割れる筈なんだから。少なくともウチの母親仕込みの追跡術（別名弱味握るまで帰しません術）はそんなヤワじゃないし。

……そんなとき、不意に俺の目にあるものが止まる。

ちよつと前から有名な赤い鎧……ヒースクリフだ。なんかちよつと疲れているようだけど、どうかしたのかね？

誰かに追われてたりでもするのかね？

だとしたらご愁傷さま、現在進行形で黒の剣士を追跡ingしてる俺が言うことじゃ無いけどさ。

……あ。

そういや忘れてたけど、エクストラスキルに面白い物があるのを何故か今思い出した。

俺はメニューを操作すると、カレス・オーの聖晶瓶を取り出してスキルを入れ換える。

エクストラスキルの中でも、すでに存在する通常スキルと役割が被っていて意味がないと有名なコイツ……【追跡】を。

ちなみに効果は単純で、名前を指定すると、一定距離以内にそれが入ったとき教えてくれる。

そして、一度同じマップで見付けたら別のマップに行かないとどこに行っても場所が分かる素敵仕様だ。

ただし、正直なところこの効果はほとんど索敵と同じなんだ。むしろ効果の応用性を考えると索敵の方が便利といえるほど。

しかし……このスキルは、索敵に似た効果よりも、副次効果の方が強い。

まず、発見してマップの中でソイツを指定すると、そこに回り込むルートを表示して教えてくれる。追跡モードって奴だ。

そして、その追跡モード中は……なんと敏捷値がスキルレベルの1／5分、上がる。

ざっくり言えばスキルレベル100の追跡スキルがあつて追跡モードなら、敏捷が20上がる。

まあ、敏捷が5上がる腕輪なんてあつたらものすごい値が付くって言ったらどれだけ凄いか分かるだろう？

しかし弱点もある。

この追跡モードは、武器を抜くとその瞬間に強制キャンセルされる。つまりこのまま戦闘つてことが出来ないんだ。悲しい運命さ、追跡スキルは追跡モードが武器を抜いた瞬間解除されるつて弱点のせいで誰も使ってくれないんだ……

……まあ、俺にはよく分からんがな。

正直このスキル死ぬほど便利だし。あと今はものすごくありがたいスキルだし。

「そこか貴様あー！」

俺は、追跡スキルによって居場所を割り出し、黒の剣士に鋭い蹴りを放つ。

実はこのスキル、スキルレベル80以上だと現在自分の装備している武器の武器スキル熟練度(スキル無しだと0扱いとなる)……の、1／10以下のレベルの隠蔽スキルを無視して場所を教えてくれるんだよ。

皆あまり使わないからほとんど知られていない情報だけどき。

「ぼけふっ！」

ちなみに俺の装備武器、短剣(髭切)の熟練度は1000、つまりマックスなので誰も俺の追跡を交い潜ることは出来ないのだ。

やったね黒の剣士、地獄の果てまで追いかけてあげようよ！

「ハーツハツハ！あえて俺を追跡することで俺の追跡術を逃れたその発想の奇想天外さは認めようじゃないか、黒の剣士！」

俺は、とりあえず気分がノってきただけで良く分らん茶番を始めてみた。

それによりアークソフィアの一角に、スーパー茶番フィールド、通称STフィールドが発動する……！

「だが覚えておきな！隊長さんからは……逃げられないのさ！」

「ククク……逃げられないのなら、こちらが貴様の息の根を止めてやるまでよ！」

あ、黒の剣士も乗ってきた。意外とノリは良いのなコイツ。見直したぞコラ。

特にここでタイミング良くデュエル申請を送ってくる辺りはさ。

え？返答？もちろんイエスオブイエス。スーパーイエスですよ。

ところで、スーパーイエスって言うところの神の子が強化されたみたいに聞こえるのは俺だけか？まあいい。

「H A H A H A H A H A、愚かなり黒の剣士。もはや黒ではなく愚の剣士とでも呼んだ方が良いか？」

「言ってくれるな隊長……お前のやったことだけは決して忘れないぞ！」

「それはこちらの台詞だあ！」

デュエルのカウントダウンが、着々と進んでいく。

俺はその間にこのデュエルで使うであろうアイテムをクイックチェンジに仕込んでおく。

1つはバーストスパークエッジ。チート武器。

もう1つはブラックグンマー。ハンマーはやっぱり強いのだ。

そしてさらに、史上最大のネタ装備と呼ばれたある武器。

からの……トッブシュークレット。

「準備は済んだか？隊長」

「もちろんさ！」

俺は、ちようどクイックチェンジの仕込みが終わったところで話し

かけてきた黒の剣士に向き直り、最初の装備として髭切を構えた。

黒の剣士は二刀流だからな。俺の短剣でどこまでやれるかは分かるん。

最悪切り札の一枚は切る必要があるだろう。具体的にはクレイジーボムとか。

実を言うと追い詰められた時の俺の辞書には自重という言葉はない。

使わないでいられることを出来るだけ祈っておいてやるがな。

……そして、なんやかんやで俺と黒の剣士のデュエルは始まったのである。

【勝てるかなもん】 S A O 最凶決定戦

【バツキャロー】さん、【バーロー】さん、【バッファロー】さんが入室しました。

1. バツキャロー

さつきから似たタイトルのスレが乱立してるので流行に乗ってみた。

2. バッファロー

1. スレ建て乙

3. バーロー

1. 乙です

4. バツキャロー

ん、こちらこそ

ところで S A O 最強決定戦ってなによ。

5. バッファロー

俺らに聞かないでくれたまえよ……

中層に住んでる雑魚だぞ俺ら。

6. バーロー

俺なんて一層でボア、二層でトーラス、三層でトレント、四層で熊を狩る暮らしから抜けられないんだからな。

7. バッファロー

6. 安定してますな。

8. バツキヤロー

なん……だと……知ってる奴居らんのか……

9. バーロー

じゃあ俺がちよい他スレ見て確認してくるわ。

10. バツキヤロー

9. 気が利くね。サンクス。

11. バツファロー

10. サンクス。

【バーロー】さんが退室しました。

12. バツキヤロー

さて、残された俺らは何をして待つ？

13. バツファロー

……じゃあ決定戦の参加者予想で。

14. バツキヤロー

13. 隊長、黒の剣士、ヒースクリフ、大穴で閃光

15. バツファロー

あえてそこに俺はおっさんを入れたい。あのおっさんは強かった。

超越者だ。

16. バツキヤロー

でもおっさんはそういうの参加しないだろう。

17. バツファロー

じゃあ、エフ子ちゃん？

18. バツキヤロー

それ、勝てないな……うん。

【バツクブロー】さんが入室しました。

19. バツクブロー

まさかここは最強決定戦知らない人たちのスレだとはw

20. バツキヤロー

19. その口ぶりだと？

21. バツクブロー

ええ。最強決定戦は隊長と黒の剣士がなんかぶつかりあってるっ

て奴ですよ。

正直絶対に関わりたくない戦いランキングぶっちぎりトップ。勝てねえよんなもん。

22・バツファロー

隊長vs黒の剣士だと？

黒の剣士負けそうだな。

23・バツクブロー

22・ところがどっこいそうじゃないんだな。

黒の剣士と隊長が今デュエってるけど、意外と拮抗してる。

24・バツキヤロー

ウエエイ!?

25・バツファロー

マジか……隊長の圧勝だと思ったのに。

【「バーロー」さんが入室しました。

26・バーロー

つか見に行ってる間に説明が終わってた件。異議を申し立てる。

27・バツクブロー

26・だが断る。

28・バーロー

だと思つたよチクショウ。

ちなみにちよい最新の情報見てきたんだが、やはり二刀流が優勢みたいだぞ。手数に押されてる形だ。

29・バツファロー

隊長の不敗神話もここまでか……

30・バツキヤロー

隊長、めちゃんこ強くていまだ負けなしだもんなあ。

それがありえんかったのだが。

31・バーロー

情報更新だ。

隊長がついにダメージを受けた。

ギリギリ持ちこたえた感じだがソードスキル喰らってヤバイ。

32. バツファロー

あちゃ……

33. バックブロー

個人的には隊長によるジャイアントキリングが見たいのに。

34. バーロー

ちなみに原因は女性陣の応援で隊長のペースが乱されたこと。

リア充はやはり滅さねばならぬな。隊長のペースを乱すとか許せん。

(続かない)

【人類は進化しました】SAO最強決定戦

「黒の剣士イイイイ!!」

俺は、かなりの傷を負わせてくれやがった黒の剣士に一瞬で五連撃を叩き込みながら、絶叫する。

傷を受けるのは随分と久しぶりだが、正直喰らった理由が気に入らない。

いやむしろ処刑したいくらいに憎悪が沸いてくる。

……キヤーキヤーうるせえぞ外野!

戦ってる横で俺の集中を乱してくださいさってるバカたち、それにより実力以上のパフォーマンスを発揮する黒の剣士、そしてペースを崩された俺。

なんだろうな。物凄く不条理だ。

俺には応援が……少なくとも女では一人しかいない。

しかし黒の剣士にはたくさんいる。

テメエ嫁持ちじゃなかったか? って思うけどとにかくたくさんいる。

要約するところだ。

「爆☆殺!」

激しい斬り合いの中、クイックチェンジで武器を変え、バーストスパークエツジを装備する。

コイツの効果は爆発だ。相手がリア充ならこれ以上の適任はないね。

リア充爆発しろ。かつて予言者ノストラダムスも死の間際こう言わなかったとか。

あと家で一時期流行った言い方をするなら、『リア充とかけて溢呂(史上最強のアフロ)の頭と解きます。その心は……どちらも爆発!』だな。

「汚い、汚いぞ隊長……!」

「ハーツハツハツハ!正義は勝つ!」

それにしても何で黒の剣士は汚いとか言うんだろうねー?

別に意図的にパリングしまくってお前の剣砕こうとしても、剣ばかり狙って斬ることで目潰しを仕掛けることの、何が汚いのかなー？

至って普通の戦術だぜコノヤロー。

俺は文句を言いながら、斬り結ぶ。

縦横斜め突き唐竹左右同時上下同時……実に多くの方向から剣が迫るが、とりあえず全ての攻撃に対応する。

しかしこの速さじゃハンマーだと実に荷が重いよな。

一応防げるけど、短剣ほどの余裕はないだろう。

だとすれば……このまましばらくバーストスパークエッジで耐えて隙を見付けてアレを喰らわせるのが一番だな。

「じゃあおらあー」

でも個人的意見としては黒の剣士にはほとんど隙が無いのでさっきの戦術はちよいきツいかなーって思ってる。

ペースも地味に崩れてるし、少なくとも元に戻るまでは無理ぼさう。

……いや待て、ここはあえて隙の無い中、露骨な隙を作り出してあげるのもいいか。

俺は剣閃飛び交う中、強引にバックステップして下がる。

これで僅かにだが、俺に隙が生まれて同時に時間が出る。

そして黒の剣士は確実にここを狙ってくるので、そこに適切なカウンターを喰らわせよう。

カウンターとは名ばかりだけだな。

拳がある位置に置きつつ、クイックチェンジで例の武器を装備する。

それにより俺の手に存在していたバーストスパークエッジが例の武器に置き換わり、そして伸びたリーチで黒の剣士の攻撃を横から妨害する。

これこそがクイックチェンジ式頭の悪い戦法そのなんとか。「伸縮防御」(今思い付いたインチキ戦法)。

具体的には短い武器を突然長い武器に変えることで武器の判定が伸びるから、それを応用して剣を横つ腹から押してやっただけの技。

ものすごくタイミングが重要だし、失敗すればリスクは大きい技だ

……

この武器に限ってはそうじゃないけど。

「それは……」

「そう、これがSAO史上最大のネタ装備、巨剣アスカロンだ！」

その名は巨剣アスカロン。

見た目はほぼとあるに登場するあのアスカロンだが、片手剣扱いだから恐ろしく軽いし珍しくないし何より弱い。

きつとあるでアックアがやってたようなアレをやりたかったのが分かる。

しかし、威力は同じランク帯の武器の半分ほどなのだ。

……一応耐久だけは物凄く高いし1つだけこの武器だけの能力もあるから、メリットはあるんだが、これを入手するためのクエストが面倒だ。

まず暴れ馬を落ち着かせるクエストをこなし、ある人型クエストエネミーを倒すことでドロップするお守りをその馬に与える事でアスカロンをドロップする竜の居る場所に行ける。

そしてたどり着いたらかなりの数の雑魚を討伐し、長いダンジョンを抜けた先に……やたらデカイ竜がいる。

討伐そのものはまあ、難しくない。

少なくとも五回ほどソロで行ってみたけど、安定してたし。

……で、実はこのクエスト、なんとその竜を普通に倒しても意味がない。

全ての部位に攻撃しなければならないのだ。

全身くまなく刻んで初めてアスカロンは手に入る。

そしてそこまで苦労して、雑魚武器。

分かるよな？ネタ武器の所以が。

持っていることそのものがネタになるのさ。

あまりに大変だから。

え？俺？10本あるよ？主に投げる用として非常に優秀なんですよ。アスカロンさん。

攻撃判定は恐ろしく広いのに軽いから速い。そして投擲スキルの威力は敏捷依存だから武器の威力が低くても敏捷値を上げることで対応できる。

つまり投げるのにもっとも適した剣なんだよ！（違います）

「くたばれ黒の剣士！」

気合一閃。アスカロンのやたらデカイ刀身が黒の剣士を捉え、切り裂く。

削れたのは……5%。まあソードスキルみたいに威力補正無いもんな。

だがこのまま押し斬らせてもらおう。

アスカロンのメリツトである、片手剣なのに異常に長い間合いを活かし、ソードスキルへ繋げる。

超久しぶりなソードスキル。というか初めて使うソードスキル。

ノヴァ・アセンション。

片手剣最上位ソードスキルで、十連撃もの剣閃を放つ大技だ。

しかし隙は大きいので、デュエルでこれを当てるのは非常に難しい。

だがそれもアスカロンには当てはまらない！

アスカロンの長い刀身はノヴァ・アセンションの射程を異常なまでに増幅し、普通より回避しにくくなる。

それはそのまま全弾命中させやすいということでもあり……黒の剣士の命運が尽きたということでもある。

まあ、これをやるにはちよつと斜め上に向けて発動しないといけな
いって制限もあるが、とにかく使い勝手はいいということだ。

……さあ、ここでもう一度あの台詞を言おうじゃないか。

くたばれ黒の剣士！

【もはやこれは】 SAO究極決定戦

【GOD】さん、「マウチュ」さん、「ギャツビー」さんが入室しました。

1. GOD

とりあえず1つ言おう。何故使ったし。

2. ギヤツビー

訳が分からん。とりあえず隊長がとうとう人間を超えたことくらいしか分からんよ。

3. マウチュ

つーかあれ、デザインは完全にとあるだよな。パクりはひでえw

4. GOD

3. デスゲームなんだから著作権とか関係無いの。

5. ギヤツビー

まあ、それは良いとしてだれかあのアスカロンのステータス知ってるやつ居ないか？出来れば入手方法も。

6. GOD

分からんぜよ……つーか何あのチート武器。スキルから考えてあのサイズで片手剣らしいぞ……

7. マウチュ

知り合いに今からメッセ送って探ってみるわ。

8. ギヤツビー

7. ナイスウ。

9. GOD

よっしやこれであれの正体が分かるぜ。

しかしあれが片手剣ならみんな使うだろうに、なんであんまり持っていないんだ？あれ。

10. ギヤツビー

9. 多分何か重大な弱点があるとかじゃね？攻撃威力減衰とかさ。

11. GOD

もつとも酷いパターンだなそれ。

しかし俺はあえてここで入手条件が厳しすぎるってやつを挙げたい。

少なくとも隊長が持っているからには一癖も二癖もあるはずなんだからな。

12. ギヤツビー

11. じゃあ入手条件なんだと思うよ？

俺は恐ろしく長いクエストをこなしての確率入手だと思う。

13・GOD

なんかのボスを倒すことで入手、しかし確率1%とか？

14・ギャツビー

13・紅玉より確率低いぞww

15・マウチュ

たでーまー。

16・ギャツビー

おお、おかえりだぜ15・

17・GOD

で、どうよ結果は？

18・マウチュ

驚くなよ？

入手は特定のクエストの最後に戦うドラゴンの全身が部位破壊で
きるから、それを全部ぶつ壊すことで出来るらしい。

しかし攻撃力はその層で手に入る武器の平均より弱いし、少なくと
も苦勞して手に入れる程の武器じゃなかった。

19・GOD

18・それは酷い。

20・ギャツビー

で？で？

21・マウチュ

で、効果はただノックバック二倍って奴だったんだが……ボスとか
には通じなかったんだな、これが。

で、アスカロンは使われなかったんだが……どうやら茅場のお気に
入りらしく、あまりに使われないからと気付いたらノックバックが五
倍って設定になってたキチガイ武器。

22・ギャツビー

ファツ!?五倍!?

ほぼ軽く当たっただけで吹っ飛ぶぞ!?

23・GOD

つまりこういうことだな。

振れば飛び行く他人の刃……ええい寄れ！（フライアウェイ）寄らぬなら斬る！寄って斬る！

24. マウチュ

23. ■なんじゃそりやw

25. ギヤツビー

23. ■なんつーかそれは良いわw

26. マウチュ

で、まあとりあえずアスカロンがキチガイ武器であることは分かっ
たな？

27. ギヤツビー

おう。

28. GOD

というかアスカロンって、龍殺しの武器なのにドラゴンキラーはな
いのか？

29. マウチュ

28. ■聞かんでやれ。

あとアスカロンだが、もう1つ改造が施されてるんだわ。

……異常なレベルで耐久値だけ最大強化時の数値が高く設定され
てる。

30. ギヤツビー

29. ■おい待てそれはヤバいぞ。

31. GOD

30. ■どしたね。

32. ギヤツビー

黒の剣士の二刀流って、耐久値の消費が激しいとか自分で言った
よな？

33. マウチュ

あ……

34. GOD

あ……

35. ギヤツビー

つまりこのままじゃ黒の剣士の方が先に武器の耐久値が切れて大変なことになるぞ。ってことだ。

36. GOD

試合が見えなくなってきた、な……

37. マウチュ

とりあえず俺らもここらでスレ終わりにして観戦しにいこーぜ。

38. GOD

了解。それでは落ちる。

39. マウチュ

乙ー

40. ギヤツビー

そんじやまた。

【GOD】さん、【ギヤツビー】さん、【マウチュ】さんが退室しました。

【中二病大歓喜】 S A O 最強決定戦

俺と黒の剣士の斬り合いが続いていた。

黒の剣士はどうやらアスカロンの効果を知っているのか、武器同士を接触させることを避けているので中々武器破壊まで持っていけない。

しかし俺は黒の剣士の攻撃を全て武器でカウンター気味に返すので黒の剣士も易々と攻撃出来ない。

言わば膠着状態に近い。

……しかし、いまだ俺は様々な手札を残している。その中には切り札がいくつもあり、奥の手も5、6個ある。

つまりこの勝負……分からない。

レベルでは拮抗しているだろうし、PSも同程度。手数之差をイカサマ染みたりーチと効果で埋めて、あとは純粹に根気の勝負ってところだが……

あえて言うなら俺はここで切り札を切ってしまったても問題はない。先にこつちが切り札を切って、黒の剣士の切り札を切らせれば実質的にこつちが得を出来るからな。

なにせ奥の手と切り札の数だけならS A O 一という自負がある。

「クソ……なんでそれを持つてるんだよ！」

「隊長ですから」ドヤア

とりあえず一度ドヤツとしたところで、軽く黒の剣士を揺さぶりますかね。

……必殺系切り札 part 訳わからん（自分でも数を把握してないし今思い付いた）、カラブレ・シヨート（安直）。

俺は黒の剣士の攻撃の隙間を縫い、アスカロンで突きを繰り返した。

アスカロンは相当に長いため、これだけ豪快に突き出すと簡単に当たる……のだが、目的は違う。

それを好機とし、突きを何故かバックステップで避けた黒の剣士が剣の腹に挟撃系ソードスキルを放ってきてくれたので、ここで悪夢の

武器変更。

クイツクチエンジ！髭切！

異常なほど長かった間合いが急に縮み、ソードスキルの範囲から武器が消える。

……完全なスキだ。

俺は後ろに回り込み、適当に蹴る。

それにしてもなんだろうな。もはや最近体術スキルは要らない気がしてきた……って危ないっ!?

「掛かったな隊長！そっちが初見殺しなら、こっちもだぜ！」

黒の剣士が、ライトエフェクトを纏った剣で俺を斬りにくる。

しかしギリギリで回避した……なるほどな。

俺も持つてるわ。その武器。

【光剣フォトンソード】……SAO史上もつとも実用性のあるネタ武器。

霊とかアンデッドと言った類いのモンスターに有効なアストラル特攻、常に光っていることからソードスキルの発動を感知されにくい特性、そこそこ高い性能とやたらと高い強化限界。

俺どころかある程度スタウオ好きなプレイヤーなら誰でも持つてるライトセーバ○だ。

こんなところで出すとはな。予想外だぜ。

しかし、あの動きはソードスキルみたいに型にはまった動きと言うか、黒の剣士の我流っぽくないというか……その、なんだ？

剣道的な動きだったからなあ。かつて短期間だけ剣道やってた身からしたらあんな技はないと思ってたし、これまでのようにメチャクチャな攻撃でなく規則性のある攻撃だからソードスキルかと思っただが、普通の攻撃だとはなあ……一本取られたわ。

しかしあっちにも切り札っぽいのは切らせたら結果オーライか。じゃああっちが手札切れするまで切り札切りまくろう。

バツサバツサと切りまくって、ハンデスしてやる。

俺は武器をバーストスパークエッジに変え、フォトンソードに集中砲火する。

一撃の威力でなく小刻みに放つことでの削りダメージと耐久値へのダメージを狙うのだ。

しかし当然ながら黒の剣士がみすみすそれを許してくれる訳がないのでそこに一工夫。

黒の剣士の場所を割り出すのに使ったあのスキル、覚えてるよな？

そう、追跡スキル。あれは追跡モードを入れると武器を出すまで速度が上がっていた。

だからそれを利用して、通常より20も敏捷値の高い攻撃を繰り出すのだ。素手で。

そしてそこに普通の速度の攻撃やアスカロンによる長大な射程の攻撃、ブラックグンマーによる打撃などを織り混ぜることで対応を難しくする。

でもこれさ、我ながら結構凄いいんじゃないかと思う。今だって脳がごっちゃになりそうなのに動きは一切乱れない。これ、俺って凄くね？まあそういうことだ。

「くたばれや黒の剣士い！」

連撃の中、黒の剣士の防御がついに崩れた。

そしてそこに俺は多くの攻撃を叩き込む。

素手で、アスカロンで、ブラックグンマーで、バーストスパークエツジで、髭切で。

ここまで拮抗していた分、俺の体力の方が大幅に少ないとはいえ………こんだけ叩き込めばっ！

「させるかっての……！」

しかし最後の1撃を叩き込もうかというところで、黒の剣士がフォトンソードを投げ付けて攻撃を妨害した。

俺の体力は軽い1撃でも簡単に半分を切りかねないので避けるしかないわけだが……ヤバイ。逃れられた。

「あー、クソが。これだけは使いたくなかったのに……」

しかもなんかヤバげ!?これだけは使いたくなかったって何!?

慌てて追撃する。

流星に嫌な予感しかしないし、ここで切り札を使わせたりしたら理

不尽な主人公補正で負ける気がするからだ。

「二刀流のその先……見せてやる」

しかし黒の剣士は、俺の追撃よりも早く切り札を切ることに成功する……

剣の二刀ではなく、斧と鎌の二刀。

右手に片手斧、左手に鎌を構えた(ダジャレではない)黒の剣士が、そこにいた。

【中二病大歓喜】 S A O 最強決定戦がカオスな件

【ザックザク】さん、【手羽先】さん、【田中】さんが入室しました。

1. ザックザク

S A O 最強決定戦がカオスになってきた件ww

2. 手羽先

というか黒の剣士と隊長の武器が段々おかしくなってるんだが、むしろ俺は戦いそのものより武器に注目しちやってるね。

3. ザックザク

と、いうわけで安価で隊長たちがどんな武器を出すかを考えようぜ。

27

4. 田中

3. まさかここで安価するかw

5. ザックザク

とりあえず一回こっきりな。でもおまいらが面白いもんを出して来るのを期待してる。

6. 田中

……で、S A O 最強決定戦は今どうなってる？

7. 手羽先

6. あえて俺が言おうじゃないか。

現在隊長が劣勢かと。黒の剣士が鎌と斧の二刀流なんて引っぱり出して来たからちよつとヤバそう。

8. ザックザク

というか何故あの組み合わせにしたんだろう。

もつとマトモな組み合わせはあつたらうに。

9・田中

8・鎌の能力を補助する能力の斧、とか？

10・ザックザク

つまりは組み合わせで能力を十全以上に使うのか……興味深い。

11・手羽先

いや、でもなんか似たようなのが仮面ライダーにあつた気がするんだが。

12・ザックザク

11・なんの話だ？

13・手羽先

いや、いつのシリーズだったか忘れたけどどこかのシリーズで鎌と斧を使う奴がいた気がするんだが。思い出せん。

14・田中

だがそんな妙ちきりんなライダーいたか？

俺の覚えてる限りで一番変なのは響鬼のバチだと思つたが。

15・ザックザク

……いや、確かに居たわ。鎌斧二刀。

名前わからんけど。

16・手羽先

うーん、なんかいい感じに知ってる奴とか居ないのか？この際誰でも良いわ。教えて。

17・田中

16・だががしかしそうは問屋が卸さない。都合よくそんなこと教えてくれる人が居るわけないさ。

【ジークフリート】さんが入室しました。

18・田中

まさかの召喚!?

19・ジークフリート

おはやっほーい。

20・ザックザク

- 19・今何時だと思ってる。昼の13時だぞ。昼だぞ。
- 21・手羽先
- 18・つーかなんだね召喚って……
- 22・田中
- 21・とりあえず安価近いから次で説明するわ。
- 23・ザックザク
- ムチ
- 24・手羽先
- 麻縄
- 25・田中
- 有刺鉄線
- 26・ジークフリート
- ヘッジホッグ
- 27・田中
- ネビュラチェーン（鎖も可）
- 28・ザックザク
- ズツ友チェーン
- 29・ジークフリート
- 荊（フリーダムウォーズ的な意味の）
- 30・手羽先
- 犬のリード
- 31・ザックザク
- ……誰だ細くて長いモノばかり言い出したの。
- 32・手羽先
- 31・その言葉、そのままお前に返すよ。最初はお前だ。
- 33・ジークフリート
- 31・というか、何故ムチにしたし。
- 34・ザックザク
- おまいら容赦ねえな。

しかし俺はどうしてもこの世界でムチさんの活躍を見たいんだよ

！

35・田中

33・つーかテメエが一番変だよな。な。

フリーダムウォーズとか今時知らねえ奴が多いぞ？

36・ジークフリート

35・そう言われても……照れますなあ。

37・田中

照れんでよろしい。

38・ジークフリート

そして37・お前は安価前に何か言っただけか？

39・ザックザク

そーだそーだ！ほら、あくしろよ！

40・手羽先

説明プリーズ。

41・田中

貴様ら……集中攻撃とは、卑怯な……グハツ。

ちなみに俺の言った召喚とは、鎌斧二刀のライダーを思い出したからなんだ。

42・ザックザク

41・マジか。俺は分からんのに何故わかった？

43・手羽先

……察しがつかないです。

44・田中

それじゃ教えてしんぜよう。それはっ！

……電王だっ！

45・ジークフリート

……へあ？

46・ザックザク

へあ？

47・手羽先

(全略)

48・田中

45、46、47・忘れないであげろよ、ウイングフォームを……
超クライマックスフォームの背中に付いてるアイツを……

49・ザックザク

48・確かにいたわ。満を持して……とか言うやつ。

50・手羽先

48・盲点だったわ。

51・ジークフリート

でもそれって斧とブーメランじゃ……

52・田中

51・細かいこと気にするとハゲて死ぬぞ？

53・ジークフリート

52・死ぬの!?

54・田中

むしろニュアンスは死ぬに近いな。

55・ジークフリート

……54・今からちよつと凸ってくる。どこへとは言わないがそこから動いちやダメだぞ？

【ジークフリート】さんが退室しました。

56・ザックザク

……強く生きろ、54・

【ザックザク】さんが退室しました。

57・手羽先

死ぬなよ、いつかまた会ったら、俺に金寄せよ54・

【手羽先】さんが退室しました。

58・田中

クソ野郎どもがああああ!!!

【田中】さんが退室しました。

【混沌極まれり】SAO最強決定戦

なんてこつたい。

俺は悪態を吐きながら、黒の剣士の攻撃を避けていた。

こちらを一撃でももらえばデッドエンドだったのに、今度は武器の形が違うからタイミングにまで気を使わなきゃならないとか、最悪だよコノヤロー。

しかも髭切からのアスカロンコンボを警戒してかヒットアンドアウェイをされてるし……ああクソが。マジでふざけんな。切り札何枚切らせる気だよコンニャロー。

俺の奥の手ファイナルを使わされたら本気でキレて理不尽にぶっ飛ばそう。

まあとりあえず、ここは一度落ち着いてバカにしてやろう。それでペースを崩すのさ。

俺の切り札particle！空に輝く新星の閃き！

メニュー欄からとあるアイテムを指定して取り出し、黒の剣士の目の前にいくつか放ってやる。

そして1秒ほどでアイテムが起動、凄まじい光を放つ。

こけ脅しクラッカーさん。斬られると光らないしそもそもモンスタ―には効かないが、そこそこ便利だと思ってるアイテム。

欠点は自分の視界も塞ぐことだな。何も見えないのは面倒で仕方ない。

……だが、これで黒の剣士の視角は奪った。もう一丁！

メニューからアイテムを取り出し、絶妙なコントロールで命中させる。

キリングボム。

視界が塞がれた中では見えないし、斬って防いでもまた別の爆弾が襲うだけ。さあどうする！

「まだだあー」

黒の剣士は、直感かなにかでキリングボムを切り裂いた。

しかしまだ予想の範囲内。

さらにもう一個の爆弾には対応出来なからう、なのだよ！

新たな爆弾を召喚、喰らわせ……て斬られる。

しかし今度の爆弾の範囲は2mちよいだからな。斬ったら当たる。斬らなかつたら普通に当たった上で俺が追撃する。どつちにしろやられるって訳だ。

黒の剣士の斬撃に合わせて後ろに回り込み、アスカロンの射程ギリギリから切り裂く。

2mつてのは案外短いようで長いから、警戒しないとな。

爆風が黒の剣士を焼き、アスカロンによる刺突がグサツとハートを貫く。

リアルならすでに五回は死んでるぜ、黒の剣士。

だがまあ、SAOじゃこれくらいで死ぬわけがないから、まだ攻撃するがな。

単純明快かつ豪快なコミュニケーション方法、暴力が黒の剣士を襲う。

斧と鎌なんてコンビは不自然だから、そこに付け入ることさえ出来れば勝てるのさ！甘かったな黒の剣士！詰めが、ユルユルなんだよオ！

アスカロンからブラックグンマーに切り替えて殴り付け、ヒットさせる。

そしてそこで俺と黒の剣士のHPバーが並んだ。

ついに追い詰めたのである。

「さあ、もうすぐ決めてやるぜ黒の剣士イ！」

ブラックグンマーによつて全力で殴りながら、黒の剣士の防御を分析する。

えー、右の斧が防御しているのは縦の攻撃、左の斧……斧!?

いや待て、なんだってんだよ。

左も斧って、俺の見間違いだよな。そうだと言えバニー。言わねばブラックグンマーで脳天叩き割る。

つーか何故変わったし、斧。何故鎌が斧に……つて、攻めて来るときは鎌……訳わからんが、なんか物凄く嫌な予感がするぜ。

具体的にはあれは無制限にその場でクイックチェンジを行える武器なんじゃないかって疑いが。

あの武器は流石に俺も自重のため封印したヤツと同種かもしれない。モンスターに対してダメージが入らない代わりに、好きなタイミングで別の武器と入れ換えられるってやつ。

しかもあれ、ソードスキルの終わりに上手いこと武器を入れ換えると硬直をキャンセルできるチート性能があるし……

俺も、「アレ」を解禁した方がいいか？

いやでもなあ、今からストレージの底に眠ってるあの武器を探すのは……

思案する間にも襲いかかってくる黒の剣士の攻撃を防ぎながら、俺はとにかくやるしかないアイテム欄を漁った。

相手があたの武器である以上、ちよつと俺としても本気も本気、全力全開フルパワーでやらないとヤバイ。

実際、俺が前に使ったらソードスキルを延々と繋げるだけでデュエルに勝てたからな。黒の剣士の武器。

しかもダメージはないと言えどノックバック効果が高かったり異常を入れられるソードスキルを使えば実質的にモンスター相手でも使えるってのは酷い。

ダメージが入られなくても毒を入れるなり、仲間の援護に撤するなりすれば相当のチートだからな。これ。

「うたるぞーぬっしやー！」

黒の剣士は、もはや二刀流というかチート流と呼んでも差し支えない剣技でもって怒濤の連続攻撃を仕掛けてきている。

今はまだ防いでいるが、流石にやばいなこれは。

せめて、メニューから良い感じにあの武器を装備出来ればチャンスは……！

しかし、そんな願いも虚しく、俺の胸に黒の剣士の攻撃が命中した。

……つてのは嘘だ。

正確には攻撃を受けたのは俺ではなく、アスカロン。咄嗟にブラックグンマーをアスカロンに切り替えたのだ。やたらと大きいアスカロンは俺の楯として機能し、黒の剣士の攻撃を防いだのだ。

そして……アスカロンによる防御が稼いだ時間は俺にある武器を探す余裕を与えた。

アスカロンを地面に刺し（まあ刺さらないがパフォーマンスだ）、メニューから装備する。

俺が出会ってきた武器の中でも一際異色。

武器そのものの形がおかしいし、使うにも条件があつて厳しいし、俺でもちよつと使いにくいなと思う。

……しかし、最高打点だけで言えば恐らくトップクラスの魔剣。

その名も……

「『神槌』フルコース！」

このSAOにおいて最もピーキーでグルメな、最強のハンマーだ。

【混沌極まれり】SAO最強決定戦

【雷鳥】さん、【怪鳥】さん、【成長】さんが入室しました。

1. 雷鳥

隊長が引つ張り出してきた武器が酷い件についてw

2. 怪鳥

のっけから笑うなw釣られるだろww

3. 雷鳥

2.ここに隊長が居たらこう言うな、『お前、俺に釣られてみない？

(キリッ』って。

4. 成長

マジで言いそうでワロタw

5. 怪鳥

3.確かに隊長のことだからそれくらい言つてきそうだ。

ところでその武器、どこら辺が酷いん？

6. 成長

出来れば何か分かりやすい比較を出してくれ。

7. 雷鳥

おkおk。

まあ、黒の剣士が出してきた鎌斧を本家ハ○ジとした時のト○イのハ○ジみたいなものだな。

8. 成長

想像以上に酷い。

9. 怪鳥

というか大丈夫なのか？

黒の剣士の武器って確かデュエルに限れば最強の可能性があるって武器じゃなかったっけ。

10. 雷鳥

ちなみに隊長の武器の名前はこれ。

【神鎚フルコース】。見た目的にはマンガ肉をハンマーにした感じだな。

情報は名前だけが隊長のことだし何かえげつない能力を持ってそうなの武器だぜ。

11. 怪鳥

10. ……もしかしたら普通のハンマーかもしれないぜ？

12. 成長

11. だが仮にも神って付いてるし、絶対に何かあるって。間違いない。

13. 雷鳥

しかしなあ……どんな能力なのか皆目検討もつかないぜ。

14. 怪鳥

いつそのことスタンってのは。

15. 成長

実は普通に食えるとか。

16. 雷鳥

ざっけんなwwハンマー食ってどーすんだw

17. 成長

成長の糧とする。

18. 怪鳥

17. 座布団持ってこい。

19. 雷鳥

18. 痔の奴用か？ならないぞ。

20. 成長

19. なら遠慮するわ。痔なんぞな。

21. 雷鳥

あ……ちよいおまいらw今すぐ75層まで来い世紀のデュエルが始まったぞw

22. 怪鳥

21. 見なきや分かんない系？

23. 雷鳥

イエース！

24. 成長

というか隊長のデュエルは全部世紀のデュエルな気がするの俺だけか？

【雷鳥】さん、【怪鳥】さん、【成長】さんが退室しました。

【神・鎚・乱・舞】SAO最強決定戦

神鎚フルコース。

入手にはあるSAO攻略のガイドブックによるところの【絶対に取ってはいけない武器10選】の内の特定の8つを持った状態でクエスト【満漢全席】をクリアしなければならず、さらにクエストは8体の凶悪なモンスターを一人で倒すという物な上……使える武器はクエスト条件のそののみ、そもそも相手が全員最低でもパーティ討伐推奨のNMという狂氣的な組み合わせ……だけではなく。

さらにそれを一定時間以内でクリアしなければ手に入らないのである。

このことについては茅場彰彦もゲーム内でこうコメントしている。『これ入手出来たらもう私より強いかもしれない』と。

奥の手どころか切り札中の切り札、秘中の秘にして最強の武器である魔剣、神鎚フルコースを取り出した俺は、それをあえて寝かせて持ち、黒の剣士の攻撃を武器で受ける。

……何を隠そう、神鎚フルコースには攻撃力がないのだ。

攻撃力ゼロ、しかし特殊能力が数多くあり、それが攻撃力ゼロを補っている形になる。

1つは自分から攻撃しなければ耐久値が減らない特性。すなわち武器破壊はよほど無理しなければ起こらないので、消耗戦には滅法強い。

そしてもう1つが、カウンターチャージ。

武器で受け止めたダメージをそのままそっくりコイツの攻撃力にプラスできる。しかしそれは一振りで消滅するから扱いが難しい。

あと忘れちゃいけないのがタッチダメージイミュン。横文字にすると分かりにくいのが、漢字だと分かりやすいだろう。

接触外傷無効。

この武器に攻撃判定の存在するものが触れている間、俺はダメージを受けない。つまり潰されても死なない……いや、普通なら受け止め

ても殺しきれないダメージってヤツを無効化するだけだがね。

で、さらにこの武器はハンマーなのに魔剣という一見矛盾した特性を持つているが、そこには理由がある。

斬突打、3つの属性を全て、この神鎚フルコースが持っているのだ。殴って切り傷、刺して打撲、斬ったら貫かれる、そんな矛盾を引き起こせてしまう凶悪極まりない武器……それがこの神鎚フルコースいうわけだ。

……でも、これだけ強いのに、なんで誰も使わないのか不思議だな。

これ、ボスの攻撃も正しく対処すればノーダメージで圧倒的な火力へ変換出来るのに、なんで一人も使わないのか本当に謎だよ。みんなバカなの？

まあいいさ、俺がここでコイツの素晴らしさを見せてやればいい。「ウェイウェイウェイウェイー！」

黒の剣士の変則的なリーチを持つ攻撃をフルコースで防ぎながら、攻撃力を溜めていく。

この分ならあと数秒でとんでもない威力になってくれるだろう。

二刀流は手数が多いから、それが仇となるのだ。

俺は心中で黒の剣士にざまあと言い、フルコースを振るう。

連撃によって溜まった攻撃力を解放するように、黒の剣士を肉塊が襲う。

まあモチのロン防がれる訳だが……大して問題はない。

神鎚フルコース第五の能力である直撃崩壊が発動するからだ。

これは『武器を含む耐久度のあるオブジェクトに攻撃したとき、当たった面に対して攻撃が垂直に当たっているのなら発動する』で、寸分の狂いなくピツタリ垂直に攻撃を当てればそれは問答無用で破壊されるって能力だが……デメリットとして垂直に当たらなければ攻撃でオブジェクトの耐久値を減らすとき、1しか減らないがな。

しかし今回は都合よく垂直に入った訳じゃないらしい。

俺の感覚では大体垂直だったんだが、やはり判定は厳しいな。

まあ、ひとまず攻めさせてもらおうとしよう。こっちの攻撃力がない

とバレれば面倒なことになる。

主に黒の剣士がダメージを恐れずフルコースに当てないことだけを考えて斬ってくるのか。

本当に面倒極まりないな。それは。

フルコースの攻撃力は0のまま、無情に時間が過ぎるだけだろうし。

それと直撃崩壊を発動させるためにも沢山攻撃した方が良いだろう。

「オラオラオラオラオラオラア！」

「オラオラオラオラオラオラオラア！」

お互いに叫びながら、猛烈な斬り合いが始まる。

こちらが置いたフルコースに攻撃を当てたり、ギリギリでフルコースを攻撃の進路に投入したり。

恐らく普通のヤツがやれば一撃でデュエルが終わるような攻撃ばかりが飛び交う。

しかし俺たちの戦いは終わらない。

お互いに倒れず、屈さず、止まらないからだ。

……しかしだ。

いくら実力が拮抗しているとはいえ、条件そのものが変わってしまった。例えば互角という状況はあっさり崩れるものなのだ。

例えばこんな風に。

パリン。

フルコースが直撃した斧からガラスでも飛び散ったような音が響き、黒の剣士の斧が消える。

クツクツク……ついに来たようだな、垂直の一撃が！

俺は攻撃の勢いそのままに、黒の剣士に全力の一撃をお見舞いした。

【安価】黒vs隊長のデュエルの結果予想

【ズイニス】さん、【ナヴィ】さん、【グレンバー】さん、【富山】さんが入室しました。

1. ズイニス

隊長と黒の剣士のデュエルの結果予想で賭けをやろうと思うんだが、その選択肢を安価で決めたいと思うんだ。

2. 富山

アホか!?もう訳が分からんということ意見が一致しちゃうようなアレを安価するのか!?

3. グレンバー

1. 勇者だ、ここに勇者がおる。

4. ナヴィ

1. 勇者よ、魔王隊長を倒してくるのだ!

5. ズイニス

いや拙者は弱いので無理です。そういうのはもっと強いプロの方
にお願いしようぜ。

そして安価は15・30・45・で。

そこで出なかったやつも適当に混ぜてやってみるわー。

6. グレンバー

しかし、現在は隊長が取り出した妙なハンマーで有利に進めてるみたいだが。

7. ズイニス

とりあえず隊長のオツズは減らしておくよ。これで公平だ。

8. 富山

あ、黒の剣士も頑張ってる。いけいけー。

9. ナヴィ

7、8・実際に見られる人は羨ましいでぞー。

10. ズイニス

私は直で見ているがね、正直目が疲れて来るから定期的にこっちに
目を移して休めているよー。

恐ろしや、黒の剣士。恐ろしや、隊長。

11. グレンバー

ひとまず隊長が拳で決着。

12. 富山

黒の剣士が最後にスタバで勝つ。

13・ナヴィ

剣を投げて、落ちてくる位置に誘導して隊長勝利。

14・富山

黒の剣士のリア充力に負けて隊長敗北。

15・グレンバー

隊長が逆転必殺技で勝利

16・ナヴィ

隊長が訳の分からない武器を出しまくって気を逸らし、勝利

17・富山

黒の剣士が投剣でHPの残りを削りきってしまう。

18・ズイニス

……はい、それじゃ最初は15・の隊長が逆転必殺技で勝利、だね。
でも一体どんな必殺技をするのだろうか。気になるところだ。

19・富山

あえて言うなら超究武神覇斬。

20・グレンバー

19・クラウドやめいw

21・ナヴィ

でも必殺技なら黒の剣士も出すかもしれない。

22・グレンバー

スターバースト・ストリーム！

23・富山

ダブル・サーキュラー！

24・ズイニス

ジ・イクリップス！

25・ナヴィ

何故全員バラけたし……

26・ズイニス

25・まあまあ、落ち着いて。

27・富山

黒の剣士が華麗にカウンターで勝利。

28・グレンバー

隊長によるキチガイ挙動アタック。

29・ナヴィ

刺し違えて相討ち

30・富山

タイムアップで黒の剣士の判定勝ち。

31・ナヴィ

刺し違えて相討ち

32・グレンバー

ラグを意図的に発生させて残像ごっここののち、勝利。

33・ズイニス

……黒の剣士票が入るとはあまり思っていなかった。

だが安価は絶対なので、黒の剣士の判定勝ちがふたつめ。

次ラストだよー。

34・グレンバー

まさかの黒の剣士の勝ち予想。

35・富山

34・順当に行きやそうなるだろ。判定勝ちはありえる。

36・ナヴィ

でも現状隊長が圧倒している……黒の剣士勝利は絶望的！

37・グレンバー

外れ選択肢キマシタワー。

38・富山

37・うるせえw勝負じゃコラw

39・グレンバー

38・じゃあ次の安価取った方の勝ちで。

40・グレンバー

突然の投擲スキルによる弾幕ごっこ。により隊長勝利。

41・ナヴィ

相討ち。

42. 富山

黒の剣士が勝利を確信した隊長のスキを突いて一撃入れて勝利。

43. グレンバー

隊長の弾幕ごっこ勝ち。

44. ナヴィ

相討ち

【ミサオ】さんが入室しました。

45. ミサオ

エフ子ちゃんによる暗殺で隊長勝利。

【ミサオ】さんが退室しました。

46. ズイニス

黒の剣士が突然ロリコンに目覚めてエフ子ちゃんに見とれて、負ける。

47. ナヴィ

あーいうち！あーいうち！

48. 富山

……45・オオオオオ！

49. グレンバー

45・オオオオオオ!!!

50. ズイニス

うわーお。まさかの狙撃主。すげえぜお前。

つーわけで決定さ。

最後の安価は『エフ子ちゃんによる暗殺』。オツズは死ぬほど高くなりそうだよ！

俺の財布も死ぬ！

……でも、安価は絶対だもんね。

【ズイニス】さんが退室しました。

51. グレンバー

いや待てw45・だけはねえよw

52. 富山

オツズは10倍からでどうぞ。

53. ナヴィ

51、52・お前ら絶対買うなよ！

……俺は買うが。

【ナヴィ】さんが退室しました。

54. 富山

53・なぜそのセリフを選んだし。

55. グレンバー

まあいい、俺は買うぜ。

エフ子ちゃんがとどめとかぜつてーないだろうけどな！

【富山】さん、【グレンバー】さんが退室しました。

【最悪の結末】 S A O 最強決定戦

S A O 最強決定戦。のちの世にてこう呼ばれる戦いは、伝説の V R ゲームプレイヤー『隊長』、『黒の剣士』の激突であった。

しかしその二人の戦いは他のプレイヤー全てを圧倒し、この二人には勝てないとすら確信させたという。

まさに最強決定戦。

……しかし、忘れないでやってほしい。S A O には、三位決定戦もあつたということ。

実は違う時間のある場所で、隊長や黒の剣士に続く怪物たちが熾烈な戦いを繰り広げていたのだ。

が、それはまた別の話であり、なおかつこの話には一切関係無いのだが。

俺のフルコースによる垂直攻撃はあのあと三回ほど決まり、黒の剣士は合計で四本の武器を失っていた。

まあ、本命の黒と白の剣は出してこないみたいだがな。当然っちゃ当然の反応だけどさ。

今黒の剣士が使っている武器は……激しくジトツとしていてちよつと気持ち悪い刀と、微妙に暖かい変な剣の2つ。

後者は俺もそこまでデザインを知らないが、前者はあるネタで3ヶ月ほどアインクラッドのホットな話題として有名だった……村雨だろう。

妖刀村雨。振れば玉散る氷の刃ではなく、振ればタマ散る氷の刃である。

常にちよつと気持ち悪い濡れ方をしていて、その癖攻撃力は立派に高い。

しかも地味に『持っていて損はない武器20選中層編』に選出された武器だ……

それと相方になっている剣は……恐らく不倫ベルジユと呼ばれるアホの極み。

フランベルジュという西洋剣があつて、それは炎のような形をしているんだが……不倫ベルジュは別の形をしている。

至つて普通の剣に、装飾として一人の男とそれを囲む女の姿が書かれているんだ。

しかも効果はアホで、フレンドリストの女性の分だけ強くなるって効果がある。

……リア充め。ふあつきん。ちなみに裏技的な話なんだが……ケコンしていた場合、ケコン相手以外の女性フレンドの分だけ更に強化が上乘せされる。

……その、なんだ。死ね黒の剣士。やたらと応援におにやのこの多いお前がその武器を使うことは断固として俺が許さん。

それはな……孤独な童貞が持つて、『チクシヨウ女のフレンドとか居ねえよ死ねかやひこー！』とか叫ぶための武器なんだ。お前が持つちやいけねえのさ……

つーわけでここからは切り札であるフルコースを解放した隊長さん、自重及び手加減そして手抜き完全解除モードがスタートなのですぜよ。

俺はフルコースを両手持ちから左手による片手持ちに切り替え、遠心力を活かした大振りで大振り不倫ベルジュに叩き付ける。

垂直に当てなければ破壊は出来んが、とりあえず牽制にはなる。

そしたらそのタイミングで装備アイテムから2つの武器を選択してクイツクチェンジの枠に入れる。

で、あとはクイツクチェンジで出した武器は利き腕で持った状態が出る特性を利用することにより左手のフルコースを入れ替えて右手に新たなフルコースを出現させる。

流星に俺もちよつとだけ自重している裏技、【無限の顔パン】とはこのことであり、いわゆるハメ技みたいな物だ。

GEのぶんぶん丸みたいなの、で認識はよし。

違いはタイミングが難しいこと。上手いことタイミングを合わせないと失敗するし、俺でも五回に一度は失敗する。

……ほら。

黒の剣士は連続攻撃のタイミングがズレて生まれた僅かな隙を見て無限の顔パンから抜け出した。

やはり確実性に欠けるのが問題だな。反撃を封じるから失敗してもそこまで不利益は被らないけどさ。

俺は技を抜けた黒の剣士を追撃するため、あえて切り札であるフルコースをブン投げて黒の剣士に直撃させようとする。

……もちろん、今回は攻撃させてあげて居ないので攻撃力は皆無だがまあ、ノックバックくらいは起こせる。

で、それを承知している黒の剣士がフルコースを上弾いたら俺が突っ込んで殴る。この際追跡モードをオンにし、敏捷を……おわつと、危うく斬られるところだったぜ。

「ハッ、隊長さんよ……さっきより弱くなつてねえか!？」

「いや?お前の見間違いや」

俺たちは軽口を叩き合いながら、拳と剣を交わらせる。

クツクツク。俺の作戦はもう動いているのだよ。今更どうにかすることは出来ないぜ!

ヒントはさっき弾かれたフルコースと、俺の敏捷値が現在20増えていること。

ちなみに正解は簡単だ。

「越○製菓アアアアア!!!」

毎度お馴染みのアレである。

そして動きの方はただフルコースが落ちてくる瞬間に神速でフルコースを殴って黒の剣士に向けて飛ばしてやっただけ。

しかし、フルコースの特性はただ飛ばしただけの動作を必殺の一撃へ変えてくれる。

ここで補足をすると、フルコースのリセットはあくまで『手に持つて振る』という行動が伴う攻撃をしたときだけだから手に持たず直接飛ばしてやれば延々と投げられるんじゃないかというアイディアから、マジで穴だらけだった設定により実際に使えてしまったという例である。

しかも今回は、黒の剣士が絶対に避けられないような飛ばし方にしてみたんだ。

ズバリ飛んでいくフルコースの先には閃光さんが。

……すまんな閃光さん。でも勝負つてのは使えるもんを使った者勝ちだし、何より俺より若いのに嫁がいる黒の剣士が恨めしくなっちゃまったんだ。つーわけで許せ。

「隊長オオオ！もう許さねエぞー！」

さて、まあ黒の剣士がキレて程よくアクセロリータ化したところで、ちよつと煽りタイムスタートだぜ。

目的はあることから意識を逸らす。

「いやー、すまんな、俺ちよつと視力が悪くてさ。昔から視力は家族で一番低い32・07なんだよ（実話）。ごめんなー？」

「ブチブチ」

「ハイキレたー。これが俺の煽りでしかないことに気付かずキレちゃったー。ハハハ、勝負はキレたら負けなんだぜ！知ってたか！」
そう言いながら、小細工はせずにとりあえず新たな装備として、バーストスパークエッジを装備する。

フルコース？いやこの状況で俺が回収してもねえ。んな隙ないよ。だから真正面から激突し、そして“一歩手前で”最速の攻撃を行う。

脱力状態から一瞬で全力の一撃を繰り出すことで通常以上の速度を出す、そんなリアルでも使える小技だが……実はこれ、SAOで使うと1つだけ欠点があるんだよな。

「もらったあー！」

その欠点の名は……

「残念、それは残像だ（キリッ）」

ラグ。多くのゲーマーたちを泣かせてきた、しかしもうSAOではあり得ないとされていた現象だ。

秒間300フレームで描写しきれない行動を出来ればラグは発生するのだが、実際問題普通にやってりや秒間300フレームどころか200フレームでも十分だろう。

しかし遊び半分でその限界に挑戦したら……ラグを使えるようになった。

で、ラグの発生していられる時間とかを計算して、ラグによって俺の動きの描写が遅れている間に攻撃する技術を身に付けたのである。しかし今回はそのラグ残像攻撃では×ない。

そもそもバーストスパークエッジでは削りきれるか不安だし、何よりここにはもつと確実に倒す方法があるんだからな。

俺は、黒の剣士に対して使う最後の切り札の名を呼ぶ。

「エフ子！フルコースを掴んで……黒の剣士をブン殴れ！」

叫ぶと同時、黒の剣士の体を後ろから拘束して殴りやすくする。

チームプレイってやつだよ。まあ、テイマーの特権だな。

タイムモンスターはプレイヤーの所有物扱いになるから、それが理由で圏内でのデュエルで複数対一をやる事が出来るのだ。

「は、はい！」

エフ子は近くに落ちていたフルコースを拾い上げて構える。

いやー、黒の剣士様のパライ一発プラス本気の一撃一発。合わせたらどんぐらいの威力になるのかねえ？

……楽しみだ。

「クソ……次は絶対に俺がk「えいやー！」カハア……」

あ、まずった。最後の捨て台詞言わせてあげられなかった……

ま、いいか！☆ミ

【堂々終結】 S A O 最強決定戦

【わんわんお】さん、【幼女が足りない】さん、【ラーメンマスター】さんが入室しました。

1. わんわんお

S A O 最強決定戦、結局は隊長が勝ったか。

賭け的には隊長に300万コルは入れてたから嬉しいんだけど、正直複雑な気分ですぜ。

2. 幼女が足りない

まあ、俺としては最高だったけどな……特に最後、実はパンチラし

てたんだよ。

ずっとエフ子ちゃんを狙ってスクショを撮ってた甲斐があった。

3. ラーメンマスター

2. くらwちゃんと戦いを観てやれよw

4. 幼女が足りない

……知っているか。調査隊は今も活動を続けているが、その労力の八割は三層のクエストの乱数解析やら何やらに当てられているというほど、エフ子ちゃん人気は高いんだぞ？

まあ隊長そのものにも人気はあるけどな。

5. わんわんお

まあとにかく、隊長が勝つ結果で良かったよ。勝ってなきや明日から金策デスマーチだった。

6. ラーメンマスター

5. いやそんなに賭けるなよw

7. わんわんお

ウチのわんわんおたちがお腹を空かせるからお金が必要なんだよお！

8. 幼女が足りない

そーだそーだ！犬に飢えて死ねと言うのか！

9. わんわんお

6. テメエは生類憐れみの令に従い、悪・即・斬だぜ！

10. ラーメンマスター

かなり条件酷いな生類憐れみの令!?

11. 幼女が足りない

10. しかし今、俺に幼女の画像10枚を渡せばお前は生き延びることが出来る。

12. わんわんお

あと金よこせおまいら。

13. ラーメンマスター

このスレの方々やたらと凶々しいんですがそれは。

14. わんわんお

まあそれはともかくとしてさ、隊長が勝ったけど、みんなが忘れていた二人の男がいることをついさつき思い出したんだよ。

15・ラーメンマスター

誰だ誰だ？

16・幼女が足りない

予想は付いてるがな。

17・わんわんお

ヒースクリフと、おっさんだよ！

隊長と互角に渡り合ったキチガイVS最大ギルドの長の戦いはどっちが勝つのか分からないね。

18・幼女が足りない

それをやるときは言ってくれ、裏でマーケット開くから。

19・ラーメンマスター

18・参考までに聞くけど、なんのマーケットだい？

20・幼女が足りない

当然ですが、幼女っぽいモンスター出現事例の情報とか、ヤバい写真とかですな。

21・ラーメンマスター

SAOも、闇が深いな……

22・わんわんお

……え？まだまだ浅いぞここは。

23・幼女が足りない

22・いつそのこと23・を2kmは沼に沈めちまうぜ。

24・ラーメンマスター

お、俺の知らないところで何が進行しているんだ……！

25・わんわんお

まああんまキニスナ。とにかく気になったならアインクラッド11層で緑背景に骨を加えた犬のマークの店を探してみるといいさ、

24・

26・幼女が足りない

24・11層の骨犬マークより12層のランドセルマークを探し

の方が良いぜ。

あそこは多くのことを学べる。

一部ながら出現ルーチンの解析、行動パターンの計算式 e t c があるからな。

攻略組も何人が居るし、来てみると良いぞ。

27. ラーメンマスター

25、26・お前らそのマークの意味を言ってみろ。

28. わんわんお

犬に自分の骨すら捧げたい

29. 幼女が足りない

幼女に混ざって小学校行きたい。

30. ラーメンマスター

闇が深すぎるっ！

【ラーメンマスター】さんが退室しました。

31. わんわんお

おい29・てめえが頭おかしいから30・が逃げちまっただろ責
任取れ

32. 幼女が足りない

31・その言葉……そのままそっくり返してやるよ、カニバリズム
軍団。

33. わんわんお

んだと？よろしいならば戦争だ。

34. 幼女が足りない

受けて立つぞ！

【隊長】さんが入室しました。

35. 隊長

じゃあ俺は一人で第三勢力やりますを。

36. わんわんお

……

【わんわんお】さんが退室しました。

37. 幼女が足りない

……

【幼女が足りない】さんが退室しました。

38. 隊長

な、なんてことはないさー！だって戦争止めたもん！

【隊長】さんが退室しました。

「そんなん」ユニークスキル……だと……？「チートや！」

黒の剣士と決着を付け、ついでにちよつと嫌がらせしてやった次の日のこと。

俺はエフ子と二人、アインクラッド最後であろうエクストラスキル入手クエストに挑戦していた。

流石にラスト（多分）ということもあつて強敵だったが、今回は一切の自重をしないと心に決めていたので、とりあえずグルグル周囲を動きながらアスカロンを出し入れしてザクザクやったり、突然飛び上がって久しぶりにソードスキルで滑空アタックしたり、ボスに出現させられたmobたちで一人バレーボールやったりとかさ、とにかく色々やったわけよ。

で、俺はついにそのボスを倒したんだ。決まり手はフルコースを出して延々と煽つてからの……ホームランクラッシュ。

「ヴェエエエエイ！」

俺はなんか、良く分からんけど体の内から湧いてくる達成感と共に叫ぶ。

普通ならうるさいとか言われるよな。しかし構わん。というかこの瞬間ばかりは誰だつて叫ぶことが許されると思うんだ。

だって、SAO第1層〜82層間にあるエクストラスキル入手クエストを全てこなしただから。

その過程で俺が新発見したスキル、新たな使用方法が見つかったスキル、コンボを作り出したスキルは数知れず……しかし俺は為し遂げたのだ。全エクストラスキル制覇という偉業を。

さあ、この興奮が冷める前にプレイヤーチャットへGOだ！

俺はメニューを開いた。

……ん？ちよつと待て、なんかメール来てんなオイ。

なんだなんだ……面白い事の予感がして、俺の面白いことセンサーがビンビンだ。

もしかして、新たなエクストラスキルの熟練度上限解放とかか？
そんなんならウヒヤツホイだけ、むしろ何が来てもテンション上がる要因にしかならないぜ。

興奮冷めやらぬどころか更にヒートアップしつつ、メール欄へ移動して新着を見てみる。

なにになに……

『おめでとうございます！あなたはアインクラッドで初めて、全種類のエクストラスキル入手、モンスターオブのタイム成功、レベル100オーバー、単独でのNM討伐100体以上の4つを達成しました！』
おい、こうして改めて見てみると俺も大概に頭おかしいことをやってきたよな。特に全エクストラスキル入手とかさ。

まあNMに関してはただ決まったルーチンを暴いて誘導してただ拳やらハンマーやら剣やらを叩き込んであげれば終わってたし、まあ難しいことじゃなかったね。

……で、まだまだ続きがあるみたいだから読んでみよう。

パズルでドラゴンなあのお老舗ゲームのように何かスペシャル過ぎる報酬があるのかもしれない。

『それをお祝いし、ここに“ユニークスキル選択権”をプレゼント致します！』

※ユニークスキル選択権は譲渡不可能です。

※メール開封後1時間以内に選択されない場合、ランダムでユニークスキルが1つ選択されます。』

ほええええ……ユニークスキルか……実感沸かんな、これ。

あれだ、なんと言うかユニークなチートスキルとか憧れないこともないけど、別にそれはエクストラスキルとかで足りてるんだよなあ……

まあ、選ぶのも勿体ないし見てみようか。

ユニークスキル、選択スタート！

【忍】大幅な敏捷補正、強力な隠蔽スキルに加え隠蔽度ボーナス。そして投剣類への大幅ダメージ補正。等々。

【暗殺者】(倒したmobの数×0.01+殺したプレイヤーの数)%

分の全ステータス上昇、急所補正、状態異常効果アップ。等々。

【闘鬼】拳での攻撃における大幅ダメージ補正、体術スキルを含む一部ソードスキルのモーション高速化、ダメージを受けるほど攻撃力上昇。等々。

【指揮者】ギルド、レイド、パーティにおいて自分がリーダーの場合、全メンバーの能力が上昇。バフ効果スキル、微量の回復スキル。

【森の支配者】薬剤系アイテムの効果大幅上昇、木、皮製と一部の武器防具の性能上昇、調合及び木、皮製と一部の武器防具の製作にボーナス、一部モンスターへのタイム確率大幅上昇、森林における能力上昇。等々。

うへえ全部チートじゃねえか。

とか思いながらも、俺はユニークスキルの選択肢をスクロールさせていく。

どうすりや良いんだよコレ、悩むぞ俺。

いつそ【隊長】なんてユニークスキルがあれば迷わず取ったのに。しかしそんなスキルはなく、ただただチート染みたユニークスキルばかりが見える。

なんだよこれ、全部バランスブレイカーだろフザケンナ！

……あ、そうだいつそ極端にチートなユニークスキルを取ってかやひこに一泡吹かせるのも面白いかもしれない。

何かねーかなー、何かねーかなー。

正直説明欄のせいで長くなっていてうざったいがとりあえずスクロールさせつつ、極端なチートスキルかエクストラスキルたちと同じくらいの強さのユニークスキルを探していく……

【愚者】一定範囲内におけるソードスキルの使用を敵味方問わず禁止する。攻撃命中時対象へデバフを付与できる。

【審判剣】アストラル系へダメージ10倍、28連撃ソードスキル。等々。

ダメだ、まだ良いものは見つからない。

もつと、もつと良いものを！

……【超越剣】武器の装備制限無効、装備重量無効、状態異常完全

無効、武器耐久値減少無効、リーチ増強、ソードスキルのモーション短縮、最大999連撃ソードスキル。

……いや、これは流石にやりすぎじゃね？

いくら俺でも流石にこれは……ってレベルだ。

そんな訳で無視しよう。この超越剣はチートどころかチートAS並の性能を持っている。

だから絶対に取りらず、鉄の意思を持って別のユニークスキルを……

「マスター！お腹空きました！」

「あばばばばば！」

しかし、俺の鉄の意思はエフ子が急に声を掛けたことで瓦解する。

うん、確かにもう時間的には14時だし、お腹空いてるだろうさ。

というか俺も腹ペコ。

そして背中を向けていたのも俺だから、ちよつと責任が俺にないとも言えない。

だがこんな不幸が重なって良いのだろうか？

俺は、声を掛けられて驚いた拍子に……超越剣を選択していた。

うそーん……こんなのって、アリ？

ボスとの戦いの場が故に結構広い空間の真ん中で、ただorzする俺は、なんか微妙な気分になっていた。

【鼠さんの】新ユニークスキル？【攻略情報立ち読み】

【鼠】さん、【わんわんお】さん、【にゃんぱすー】さんが入室しました。

1. 鼠

ここに普通に入室するヤツは珍しいナ。

2. にゃんぱすー

ユニークスキルと聞いて。

3. わんわんお

ちよつと吹っ飛ばさなきゃいけない人が居るんで。

4. 鼠

3・具体名は？

5. わんわんお

隊長。

6・鼠

5・ツ!?

7・にやんばすー

5・ツ!?

8・わんわんお

そう驚くことかね？

ちよつと個人的に因縁があるんだよ。それより早く情報情報。

9・鼠

…まあイイさ。それじゃ立ち読み情報だヨ。

10・にやんばすー

ユニークスキルの名前は？

11・鼠

10・残念ながらスキル名は不明なんだ。

一応参考文献として『二刀の力、最速最高の剣士に送られる』、とかいう黒の剣士の二刀流スキルを彷彿とさせるのが混ざってた謎の碑文があつただけどナ、その中の一文を解読成功したんだヨ。

12・わんわんお

前置きは要らん。強いのが問題だ。

13・鼠

12・まあ、強いんじゃないか？ユニークスキルだしサ。

そんで、その一文つてのが『森の王、森の加護を受け、森林の仲間と共に敵を蹴散らす』ってやつなんだガ…：効果も予想出来てル。

14・にやんばすー

13・鼠さんマジ優秀パない。

15・わんわんお

13・なんと言うか、モンスタータイマー系っぽいスキルだね。

16・鼠

15・だ口？

で、森の王って言葉から

・森でのバフ効果

・薬効上昇

はありそうで、森林の仲間と共にって言うくらいだし

・一部タイム確率上昇

みたいなのがあってもおかしくはなさそうだな

16・わんわんお

……そんなんチートや！

17・にゃんぱすー

せやせや、チートやチート！

18・鼠

おまいらサボテンしなくてもいいゾwしかし合いすぎて困るんだ
ナこれガww

19・わんわんお

まあ、とりあえずユニークスキルってのはやはりチートってことで
良いか……

20・にゃんぱすー

てか、入手条件とかどうなん？

21・鼠

20・おっと、忘れてたヨ。

まあ確度は低いけど全身を木製皮製で固めて、多数のモンスターを
従えるとかじゃないの力？

これはもう勘になっちまうケドナーw

22・わんわんお

21・THX。ちよつとタイムしてくる。

23・にゃんぱすー

じゃあ俺も行くわwTHX！21・

24・鼠

オウ！つー訳で、なんかあつたら「鼠」のアルゴに真っ先に教えて
くれヨナ！

【鼠】さん、【わんわんお】さん、【にゃんぱすー】さんが退室しました。

【いくらなんでも】ユニークスキルだからって……【これは酷い】

うん、まあなんだね？

ユニークスキル、入手しちやっただんですよ隊長さんは。

しかも超越剣っていう頭おかしいチートスキルをね。

けどもういつそチート街道突き進んだれw的なテンションに達して、さつきから調子に乗って髭切とバーストスパークエッジの二刀流をしてるんだが、これが強いなの。

単純に手数は増えたし、何より攻撃を片手で弾いてもう片方の手で反撃つてのが出来るから、かなり強い。

バーストスパークエッジの爆発で攻撃を無効化、そして髭切で無防備な喉にグサツ。そのパターンのみで大体は死ぬ。

しかしつまらないから他のやつとは被らない別の武器……ハンマーで二刀流をすると、それはそれでもっと酷いことになる。

隊長さんが保有するハンマーでもかなり性能のいいブラックグンマーと、回転すればするほど強くなるブーストハンマー。

その2つを装備して竜巻殺法を使えば……攻撃力は俺自身のステータスち倍率が掛かる形で強化されるので、あつという間に頭のおかしい攻撃力まで上がるんだな、これが。

「G A A A A A A！」

おお、なんて良いところに敵が。よし実験台として死ぬ！

俺は右手にブラックグンマー、左手にブーストハンマーを装備して無駄に跳躍し、そこで回転する。

空中スピリアタック（横回転）。立体機動スキル及び体術スキルの成せる技であり、現実ならばいくら俺でもかなり練習しなければ使えないであろう技である。

利点は格好いいこと。欠点は……

「あばばばばー！」

「マスター!?!」

これ、ドーしても無防備になるから狙われちゃうんだよな、足。掴まれて逆さ釣りにされるとあら大変ってやつだ。

まあ対策は取ってあるけど。

まず左手のブーストハンマーを落として、拳を握る。

そこから上手いことスキルを発動する。

思えばこれを使うのも久しぶりだよな……デュエルばかりで使い道が少なかったのが原因だが。

「[弦月]ッ！」

っーわけで久しぶりだから叫んでみる。

別に叫ばずとも発動するとはいえ、あえて叫ぶことにより自己満足がプラスで得られるんだよなこれが。

そんな脳内解説を繰り返しながらも、俺の体はスキルによって勝手に動き、足が動かない代わりに上半身が素早く動いて勢い付け……敵が手の方のノックバックで思わず俺から手を離してしまう。

フハハ、これこそ当たり半手の妙技って奴さ！

弦月の当たり判定はあくまで足に現れる！だから足を掴まれてる時にやれば簡単に脱出する方法になりえるんだ。

……で、ここまでどうにか出来てしまえば、隊長さんほどの実力者なら簡単に片付けてしまえる。

しかしここはあえて簡単には片付けず、超越剣のソードスキルを使ってみよう。

超越剣第1ソードスキルにして、恐らく唯一マトモな条件のソードスキル。

名は「モーメント」。意識すると刹那という意味で、一度実験したら俺のラグを起こす剣技には敵わないまでも相当に早かった。

しかも武器種は問わないらしい。

まあ単発だしそもそも威力もそれほどじゃないが、良くも悪くも特化しててそこそこに強いよ？このスキルは。

ただなあ、こんな場合には死ぬほどのチートに変化するんだわ、このスキル。

ラグは起こさずただただ速く横に斬り、かつ武器種に問わず一定の

当たり判定。

サイズは大体戦斧くらいだから手軽に当てられる。

「GY……」

「噛み砕け獅子の牙、滅するは……って早い早い!」

だが、俺の決め台詞は長すぎたのがいけないのかあえなく失敗し、ちよい早めにガツシユフアングが開始されてしまう。

調子に乗ってポーズを取ったらうっかり開始時のポーズになっていたようだ。反省反省。

しかしそれでもスキルは発動する。

両手に持った二刀は挟み込むようにして目の前の敵の首を切り裂き、圧倒的な攻撃力をもって一撃で消滅させる。

さつきまでで大体七割がたダメージを与えていたからそのダメージを計算するのは難しいが、少なくともこの感じじゃ六割はいけるかもしれない。

「やりましたね!」

おうエフ子、やったな。

そして、遣ったな!

俺の両手の剣が粒子になって消えていく。

……ガツシユフアングの特殊効果、恐らくは独自の計算式が入っているとされるダメージの代わりに、これに使った武器は特性や耐久力に関係無く破壊されるのだ。

これは幸いにしてスキルの説明欄にあったから良かったが……知らずに主力武器で使っていたらと思うとゾツとするな。

まあ、使わん武器の使い道が出来て良かった、ということにはなるのか。

そんなことを考えながら、特に意味もなくメニューを開き、今のレベルを確認し……俺は自分の頭を疑った。

【レベル156】

んー? 見間違ひかなー? それとも、エフ子のレベルを見ちやっただかなー?

【レベル156】

嘘だろ……嘘だといえカーヤー。

【レベル156】

テメエこつちが下手に出ていると思つて調子に乗んな！

【レベル156】

しかし、俺が何度念じても、メニューを殴つても表示は変わらない。どうやら、俺のレベルは下がっているらしい……

前回見たときは確かにレベル157だった。だったのに……1下がっている。

これどう考えてもガツシユフアングセンサーの責任ですわ、本当にありがとうございます！そしてアンタは自分お蔵入りだあ！

ガツシユフアング、お前の事は忘れない。南無！

【SAO終了のお知らせ】隊長さんがw

【通行人】さん、【凡人】さん、【城之内】さん、【浜面】さんが入室しました。

1. 通行人

隊長さんが頭おかしいSS使つてNM級と呼ばれたモンズ倒しとつたんじゃが。

2. 浜面

どんなモンズだい？

3. 通行人

多分グレーターなんちゃらつて名前だろうが、やたらデカイ……熊。

4. 凡人

熊ねえ。剥製にして飾りたいよ。

5. 城之内

熊なら鍋だろ鍋！

6. 通行人

てめーら落ち着けw

ところで本題に移っておk？

7. 凡人

おkおk。

8・ 通行人

それじゃ話そう。

隊長さんが戦っていたのは、詳しくは伏せるが85より後の層。

そこにいるやたらデカイ熊にぶら下げられたのを見付けたけどそこからキックして切って腕を挟んでチョッキンしたら熊が消えてた。

9・ 浜面

8・ わけがわからないよ。

10・ 通行人

9・ つまりは隊長さんが新たなチートスキルを手に入れた可能性があるってことだな。

あのPSにチートスキルとか自重してくれw

11・ 城之内

つか腕チョッキンとかどんなスキルだったの……

12・ 凡人

11・ 存外、ユニークスキルで『鋏』だったりしてなw

13・ 城之内

12・ いやいや、隊長ならもうちよいえげつないスキルだろ。ユニークにしてもさ。

14・ 通行人

ちなみに二刀流してたのと、使ったあと一回で武器がぶっ壊れてたよ。

15・ 浜面

14・ 武器をロストする代わりに強力なソードスキルか。

隊長さんであれば大量に武器とか持ってそうだから遠慮なく使つてそうだよな。

16・ 凡人

しかし……ねえ。かやひこもなんで隊長さんがそれを取るか想定しなかったんだろうか。

あの隊長さんがそんなスキルを取ったらアインクラッド終わるぞ？

17. 通行人

16. ■ いっそアインクラッド終了のお知らせってことで良いんじゃないね？

18. 城之内

僅か一名によつて蹴散らされるMMOとかいやよ？

19. 通行人

18. ■ 隊長さんは、もはやプレイヤーの域には留まらないのだよ……

20. 凡人

まあ、隊長さんは隊長さんという新生物ってことだね……

21. 浜面

いっそ隊長さんを団長にしたギルド作っても面白そうだよなw

22. 城之内

21. ■ すでにあるだろ。調査隊。

多分あれ隊長さんのノリと勢いで動くからもうギルド扱いで良いかと。

23. 通行人

そーいや調査隊、隊長さんが居ない間に調査を進めて今じゃ50層までの全データを完全に入手したらしいぜ。

24. 凡人

マジかすげえ……

25. 通行人

しかも調査隊にはどうやら黒の剣士やら何やらも入ってるって言うしな。

多分現状全員が完全にまとまっていればSAO最高戦力は調査隊だろうよ。

26. 浜面

気付けばSAOの最高戦力を創っていた隊長って、何者……？

27. 城之内

26. ■ 我が知人氏によれば居酒屋の店長らしい。

28. 凡人

なぬっ!?

SAO 攻略したら行かねーとな。

29. 通行人

いつそSAO 攻略したら大勢で押し掛けてやろうぜw

30. 浜面

人はこれを、捕らぬ狸の皮算用と言うのであった。

【浜面】さんが退室しました。

31. 凡人

30. 逃げんなコラww

32. 通行人

31. 誰が上手いこと言えとw

33. 城之内

腹がw 振れるww

【城之内】さんが退室しました。

34. 凡人

しかもまた消えたぞw

35. 通行人

じゃあ俺らも消えるかね。

36. 凡人

そーしよーぜー。

【凡人】さん、【通行人】さんが退室しました。

「久々だけど」なにこれしゅげい……

超越剣のソードスキル、ガツシユファングの恐ろしいデメリット効果を知ってしまった、うわあ使いたくねえな……

とか思った日の次の朝のこと。

悪夢を見たせいとか、五時半に起きた俺は、とりあえず開口一番にこう言ってみた。

「ぎっけんなかやひこー！」

ねえここ、VRだよ？VRで夢を見るということは脳を休められていないということであり、なおかつ睡眠が完全に無駄に終わってしまったと言うことなのだ……ぎっけんな！

しかもさ、あの夢が最後に恐怖のメールが届いて終わった日に限って何故メールが……ああ、ろーくんか。

あつちからメールしてくるとか珍しいし、なんかあったのかね？

まあ見りや分かるだろ。と軽い気持ちでメールを開封して、なんとなく読んでみた。

『店長へ』

すげーもん手に入れたぞ！

あと渡したいアイテムがあるから、来てくれ！

p.s

エフ子ちゃんを連れて来なかったらPKするぞ？！』

……なんか、怪しいよな。

激しく、怪しいよな。

ろーくんが手に入れた物ってのは気になりはするが、どーにもこのメールは怪しい。

ろーくんのことだからエフ子の写真が欲しいだけって可能性もあるし、乗ってやる義理は無いんだよな。

うん、そうだがそれがいい。

行っ て や ろ う じ ゃ な い か ！ (突然の方針転換)

しかし、まだ五時半である。

具体的にはリアル世界だとこの時間に起きたらダラダラしてる時間帯。

そんな時間じゃ流石のろーくんでも起きていないだろうし、エフ子はまだ眠っているから、しばらく待つことにしよう。

なあに、三時間ほど待つだけさ。

三時間なら長いようで短いぞ。その間に……あ、そうだ。

新しく手に入れたソードスキルの確認をしても良いかもな。

超越剣、第3のソードスキルと第4のソードスキル。

一応、使った時のデメリットも書いてあるからそれを理解した上で使っていきたいものだね。

第3ソードスキル【紫電の一閃】。

使用条件は刃を持つ武器の装備。刃を持つてる判定は武器の形状じゃなくて属性の方で確かめっていると仮定するのなら……斬属性を一応持っているフルコースで誤魔化せ……ないな。安心だ。

まあ流石にかやひこでもこの程度のミスはしないと書いていたよ。安心安心。

で、効果は『雷の力を借りて放ち、当たれば必ず麻痺（耐性、軽減は無効）する一撃。ただし十分間に一度のみ使用でき、使ったあと一時間は経験値が入らなくなる』か。

まあデメリットはそこまで大きくないみたいだし……試しに使ってみよう。

俺は軽い気持ちで、ストレージから久々にアニールブレードを取り出して装備すると、ソードスキルを発動した。

そしてすぐに後悔した。

エフェクトが派手すぎて、視界が塞がれるぞこれ。

目潰しになるから対人では便利かもしれないが、対モンスターだと意味は無さそうだしなあ、眩しすぎるエフェクトは。

何より、自分で自分の剣の軌道が見えないってのも痛い。

どんなタイミングで使えば良いのかが分かりにくいことこの上ないね、このスキルって。

一応横薙ぎに結構な速度で斬ってるのだけはなんとなく分かるけ

ど、詳しいモーションが分かりにくいわこれ。

……それじゃ、ちよい残念な第3ソードスキルへの落胆から気を取り直して第4ソードスキルを見ていこう。

まあ正直なところ、これは結構期待してるんだよ。その名も……
【レッドエンド】。

効果は『ただ速く、速く、早く走り抜けるソードスキル。圏内においてデュエルを行わずともダメージを与えられる。なおこの技で攻撃した場合のみ、カーソルがオレンジカーソルにならない』。

デメリットも書かれていないし、何かのボーナス的な位置にあるのかこれ？

いやでも、なんか裏がありそうだぞ。

ほら、だってこのスキルかやひこが作ってるもの。何か絶対あるよ。

例えば……技の説明文に走り抜けるという言葉があることから察するに、死ぬほど遠くへ突き抜ける突進攻撃ってことか？

だとすればある程度広いところじゃなきゃ使えないよな……ろーくんの所に行くついでに、どこか広い所にでも寄ろう。なんかここでやるのは危険な気がする。ん？そう思う理由は何かって？

……勘さ！

【伝説の】これはw極まってるw【ロリコンマスター】

【幼女が足りない】さん、【フタエノキワミ】さん、【ランドセルおっさん】さんが入室しました。

1. フタエノキワミ

下層の方ですげー店を見つけたんだよ！

2. 幼女が足りない

おお、w k t kですな。

3. ランドセルおっさん

拙者も毎日ランドセル背負ってアインクラッドを回っておりますが、その店は気になりますな！

4. フタエノキワミ

3・テメーは見付けたら悪即斬してやるから、安心しな。まあそれはともかくとしてだな、その店はヤバい。

ロリ写真の品揃えはアインクラッド最大で、さらにモン娘やNPCっ娘、貴重なロリータプレイヤーなどなんでもある。

しかしそれだけではない！

5・ランドセルおっさん

4・切らなくてよいのに……

6・幼女が足りない

なんかすげえ聞き覚えがありすぎる。

7・フタエノキワミ

しかも、しかもなあ！

盗……もとい、見守り活動には欠かせないグッズもたくさんあるんだ！

8・幼女が足りない

7・人のことは言えんが、通報しますた。

9・フタエノキワミ

8・やめろっ！俺がマジで死にかねない！

10・ランドセルおっさん

9・お主、何故見守りを最後におまけのように言った！答えよ！

11・幼女が足りない

10・おまつ、そっち!?

12・フタエノキワミ

というか、見守りはあくまでその店のメインじゃないみたいだからな。

それを店長がやって、成果を俺達を買う。

win-winだからそれでいいんだよ。

13・ランドセルおっさん

くっ……良いだろう、それでは俺が直々に出向いて貴様に見守りの良さを伝導してやるっ！

14・フタエノキワミ

13・わっちは毎日毎日攻略に明け暮れて忙しいのですよ。だか

から見守りも出来ねえんですよ。だから店に頼ってんですよ。

ねえ、分かる？この気持ち分かる？

15・幼女が足りない

覚醒の14・。

というか攻略組かアンタ。

16・フタエノキワミ

イエースアイアム。攻略組デース。

17・ランドセルおっさん

16・ならば、1日十分から始める見守り入門術を教えてやろう

じゃないか！

18・幼女が足りない

17・歪みねえな。

というか俺の方が興味あるぞそれ。是非教えてくれ。

19・フタエノキワミ

1日十分って、眉唾過ぎんだろ……

20・ランドセルおっさん

19・聞いて驚け。

まず見守る相手が毎日どこへ行くのかを知るんだ。例えば食事を取る場所や、宿でもいい。

そしたら、その場所に毎日通う。宿なら、同じところに通う。

……で、極自然に会話を交わして情報を集め、そこから行動パターンを類推し次にどこへ行くか、宿を変えるときも、一体どこの宿にするのか。それを割り出せ。

あるいはいつそフレンド登録してもらっても良いな。

19・は攻略組ってことだし、実力はあるしそうだからその子が困っているのを見付けた所で声を掛けるといい。

そこから自然に『困ったら教えて』とでも言っつてフレンド登録する
といい。

21・幼女が足りない

わあ。こりやすげえ。

宿を変えてそこで見守る。ね。

相手が宿を変えてもある程度聞きやすくなるってのは良いことだ。

22. フタエノキワミ

……準備に時間はかかるが、確かに1日十分からやれるな。
すげえよアンタ。

23. ランドセルおっさん

それほどでもないでござるよー。

24. フタエノキワミ

よっ！パーフェクトストーリーカー！

25. ランドセルおっさん

誉められてるのが貶されていrqんこあmくくおsんヴお

【ランドセルおっさん】さんが退室しました。

26. 幼女が足りない

……っ!?

27. フタエノキワミ

一体何が？

28. 幼女が足りない

27. 分らん。だがこれだけは分かるぞ。

……逃げるんだよおおおお！

【幼女が足りない】さん、【フタエノキワミ】さんが退室しました。

【三人寄れば】たぶん伝説の【何このカオス】前前前編

「さーエフ子、飯も食ったことだし、出掛けようぜ」
「はいー」

エフ子を連れて、宿屋の窓から外へ出る。

ドアなど飾りなのですよ。偉い人にはそれが分からんのですよ。ちなみに俺はリアルでもこれを時々やって姪っ子に叱られることがしばしば……あー懐かしい。

ま、それはともかくとしてだ。

この宿はこう見えて転移門から建物3つほど挟んだ先にあるんだな。

だから……

「よっ（窓枠に足を掛けた）ほっ（気合いで飛んだ）とうっ（腕の力でよじ登った）」

このように強引な動きで屋根に登ってやれば、ちよつとしたショートカットになるのさ。

そして俺は助走を付けてから当然のように屋根から跳んで別の屋根に跳び移る。

コツは躊躇しないこと、だろうか。マジで躊躇すると大変だから、注意な。

え？怖くないのかって？今更だな。

逆に言うところくらいが恐いなら今生きてないぞ。それくらいには修羅プレイスを潜り抜けて来てるからさ。

……あ、やべっ転移門飛び越しそう。
だが問題ない！

俺は体術スキルの【落山】を利用して、不自然な体勢で地面に落ちる。

その姿、まるで流星……とか言ってくれても構わないのよ？

すでにSAOには流星がいたけどな。まあ、そいつも今は閃光と呼ばれてるんだが。

「あうちっ!？」

……どしたねエフ子。急に泣きそうな顔になって。
誰かがS A N値を削るほどねっとり見つめてきたか？
安心しな、俺の基本方針は『罪を憎んで鉄拳制裁』だからさ。別に
荒事にしかならないよ。

さあ言ってくれ。ろーくんどこに行く前に喧嘩すつぞ！

「したかみまみた……」

「……」

やつべー。これ俺が悪いんじゃない。俺の落ち度じゃない。

俺が地面に落ちた瞬間にエフ子が下嚙んだつてのはな……初めて
だよこれ。

……つてゴルア！何見とんじやワレエ！見せもんじやねえぞ！

なんかエフ子が泣いてるのを『うわあ……』的視線で見られていた
ので、とりあえずストレージから鬼の面と金棒を取り出して装備し、
威嚇する。

圈内だから安全とはいえ、振り回せば衝撃だけはあるからな。威嚇
には十分だ。

そして周りの奴等が俺の突然の威嚇になんか驚いている隙に逃げ
る。

我ながら実にパーフェクツだろう？

自分で泣かせておきながら更に泣かせるような装備で周りの奴等
を散らすとか、完全に不審者だけでも。

そこんところは気にすんなってやつだよ。

俺はセルフ弁護をしながらも、転移門に近付いて街の名を叫ぶ。

余談だけどな、今から言う街の名前は、多分かやひこのおふぎけな
んじゃないかと思っているんだ。多分その街を知ってるS A Oプレ
イヤーの多くがね。

「転移ッ！マクローリーター！」

マクローリーター。

巻く、ロリーター。

お分かりだろう？アインクラッドで唯一、名前にロリーターと入って
いる街なんだよ。

しかも名前がこんなだからかは知らんが、マクロリータはやたらとロリっ娘が多いんだ。

故に地価は上がりまくりで……正直、ここに店を構えるのは至難の技らしいな。

ろーくんは貯めに貯めた金を湯水のように使ってようやく土地を落としていたがね、流石だと思わざるを得ないよ。

そんなことを考えているうちに、俺の体は転移した。

ーマクロリータにてー

転移後って、なんだか叫びたくなるんだ。

この気持ち、分かるかな？

いや分からなくて構わないよ？俺はどうせ今回叫ばないし。

というか……転移門前に建てちゃうとか、どんだけなのよろーくん。

キミの店だと思われる怪しいけどその怪しさがあまり表面化していないお店があるんだけど。

これはあれか、俺に入れと言っているんだな。

よろしい、その挑戦受けて立とうじゃないか！

「オンユアマーク……セット……ウェイ！」

訳の分からん言葉でスタートし、俺は全速力で扉に突っ込んでいった。

その目的は1つ。問題児の十六夜式パーフェクト入室法である。

分からない方のために言い方を変えるならこうだ。

「邪魔するぜー！」

まず入ることを言葉にしてから扉を蹴破る。

そのとき勢いを失わずに中に突入できれば、完璧だ。

何が完璧なのか俺ですらよく分かっちゃいないが、とりあえず完璧なのだ。完璧ったら完璧なのだ。

異論反論は許さん！

「へいらっしやーい。相変わらずクレイジーだな店長」

「隊長さんと呼ばたまえよ。ろーくん」

俺が良く分からん謎理論を一人で完璧だと思いつ込む作業をしていると、店の奥からろーくんが出てきて出迎えてくれた。

しかも金髪ロリを連れて。

ホワイウエアウエンホワット!? (意識：死ぬほど混乱してる)

何故ろーくんがロリを連れてくるんだ!?

あれか、ろーくんついに手を出したのか、禁断の商売に。

クソ、いくら隊長さんでもお前がそこまで堕ちてるだなんて思っ
ていなかったぜ……

「通報しますた」

「おい待て隊長!?!別にこの子はやましい商売で手に入れた訳じゃない
からな!?!」

……じゃあなんだと言うんだね。

キミの連れている子は、一体どうやってお前になついたと言うのだ
ね!

答えろろーくん! 答えろよ!

「そんな詰問するような目で見られてもなあ……分かった。説明する
ぜ」

「……なお俺を納得させられないとろーくんの首が一秒で三回ほど飛
びます」

「冗談に聞こえないなそれ……」

そしてろーくんは、切々と話し始めたのであった。

俺にもあったような、その出来事を。

ユニークスキル【森林の支配者】入手の流れを。

……いや、なんだろう。普通はこれで驚くべきなんだろうけどさ、
俺がユニークスキル持つてるから、そこまで驚かないというかなん
とか。

と、言うよりも俺の持つてる超越剣の方がインパクト強すぎたから
な……うん、ゴメンろーくん。君のユニークスキル、驚けないな。

ゴメンよ。

でも俺個人としてはお前がそのスキルで造ったアイテムってやつ
にだけは驚いちゃったな。

12．ぬらりひよんの曾孫
ブルジョワファ○キン

13．ムツコロ星人
中々にひでえなおまいらww

14．ぬらりひよんの曾孫
はいはーい。俺昨日ようやく3000000コルで鎧新調したところなんですがー。

15．妖怪
二日前に強化しまくって金使い果たしたー。

16．ムツコロ星人

15．結果は？

17．妖怪
オール成功ですざまあ。

18．ムツコロ星人
運良すぎw

19．ぬらりひよんの曾孫
しかし18．の圧倒的お財布パワーには驚きますよ。ええ。
8桁をポンと出せるとか、どんだけ金持ってたんだ teme 俺に寄越せ。

20．ムツコロ星人

19．だが断る。当然ながら断る。
ちなみに俺のお財布力は全部で9桁です。

21．妖怪

20．よし決めた。 teme さんよ、夜道と背後にや気を付けな……

22．ぬらりひよんの曾孫
今夜、夜霧が出るかもな……

23．ムツコロ星人
えつ、ちよつ、あれつ？

【ぬらりひよんの曾孫】さん、【よな】さんが退室しました。

24．ムツコロ星人
お、おいおまいら!?

25・ムツコロ星人

不気味すぎて怖いよ!!?

俺氏ちびっちやうよ!!?

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

【ユニーク過ぎるぜ】たぶん伝説の【前前編】

マクロリータ近郊、ちよつと広い空間に俺は居た。

付近では椅子に座ってこつちを見てるろーくと、その膝の上にいるエフ子が居た。

うん、なんだろうねこのぼつち感。応援されているのになんだかアウェーな気分。

高校時代を……もとい、学生時代を思い出すよ。

【偉いザビ過ぎる男（自称）】の違和感がなくなるレベルだったもんな……うん。

なんか昔のこと思い出しても『うわあww』としか思えないのでこの思考やめよう。中斷。

今はメインの目的だけでもやってやらないとな。

超越剣のスキルの中でもなんか一番危険なニオイがしたこの技……【レッドエンド】を使いこなすという、壮大な目的をな。

マクロリータに人が少なく、なおかつ広い場所があるなんて偶然もあつたし、自重ゼロでぶっ放すとしますかね。

俺は、右手にブラックグンマー、左手にアスカロンの組み合わせという、現状もつとも攻守のバランスが取れた装備でレッドエンド発動のモーションに入る……入る……おい、入ってんぞ……入ってるだろ！

しかし、レッドエンドは発動しなかった。

超越剣のソードスキルなのにデメリットが無いなんて嘘だったんだ。知ってたよ俺。うん知ってた。

だから今、レッドエンドの項目を見てしっかりとそのモーションを頭に叩き込んでるんだよ。

右手あるいは左手を顔の前に持ってきたら、もう片方の手を……

なるほど、つまりはファイティングポーズだから、素手でやんなきゃなんないのか。面倒だ。

素手じゃ残念ながらこのアインクラッドにおいては鎧を着た相手にはダメージを与えにくいし、これじゃこの技の圈内攻撃が活かされ

ないだろう。やる気は無いけどこれは酷いぞ。

俺はどこに居るか分からないが、とりあえず死ぬとだけ考えてかやひこを呪いつつ、ファイティングポーズをとってレッドエンドを発動する。

……しかし失敗。またか……と思いつつも失敗の原因を洗い出すため、レッドエンドの項目を見てみる。

そこに一応モーションの見本シルエットがあるのだが……ううむ。分からん。

ただ靴底が異常に丸いわ厚いわで変だなーと思わなくもない。というか怪しいぞこれ。怪しすぎて逆に怪しくないくらい怪しいぜ。

俺は、自分の持つ装備の中でも、靴に絞って何を持っているかを出してみる。

確か極々一部の情報では、発動の時装備に特殊な制約が必要なソードスキルもあると言われていたから、多分これもやればきつと使えるはずだ。

ストレージをスクロールさせつつも、記憶の方でそれっぽいアイテムを探索する。

やたら丸いし分厚い靴底……ん？待てよ？

そーいや前に面白いからってわざわざ手に入れて三回も遊ばずに飽きた装備があった。しかもそれはレッドエンドの発動モーションのシルエットにピッタリだ……

俺は、その装備を探して全力でスクロールする。

またいつか遊びたくなるかもと思っずと倉庫に入れてないのがここで役に立つなんてな。

まあ、とにかく装備してみるとするかね。

アインクラッド史上もつとも使い手を選び、もつとも使いづらく、しかし使いこなせれば通常の三倍(基準は俺)の速さを得られるが、防御も下がるし回避が難しくなるこの装備……【ザ・マツハ】をな！

俺は意味もなく勢いを付けてザ・マツハを装備し……すっ転んだ。

まあ当然だよな。だってザ・マツハは足にタイヤを付けて圧倒的な速度を得る装備だからバランスがどうしても崩れてしまう。

それを出来れば補える何かがあれば良いんだけど、まあレッドエンド発動のモーションシルエットには他に何も無かったから仕方ないだろう。

なので気を取り直して立ち上がり、姿勢を整え、俺はレッドエンドを発動する。

そして、盛大に……

「あばばばー！」

膝から木にぶつかった。

いやいや、なにこれ一体何が起きたの？と問いたくなるような速度で移動して、木にぶつかった。

あぶねー。マジであぶねー。命の危機だったよー。

今回は距離があつたからか割とHPも残ってるけど、これがほぼゼロ距離で当たっていたらと思うとゾツとする。

レッドエンドとは良く言ったもんだわコレ……下手に使うと使用者が全体的にレッドでエンドするとか笑えないジョークだぜ。

俺は『かやひこもなんでこんなスキル作ったんだろ……これじゃ流石に軌道をコントロールしにくいわあ……』とか思いながら、ザ・マツハの方のローラースケートの効果で高速移動してろーくんたちの元へ……ん？

ろーくんたち、戦ってんなこりゃ。

……あ、やべえ忘れてた。

マクロリータ近郊にあるこの辺、条件は不明だけど一定の道を通らないとやたら強い敵が出るんだったっけ……

あつ、エフ子のHPがヤバイ。

最悪の場合俺ならば使い魔蘇生アイテムを三時間で摘んでくることも出来るけどなあ……なんか、ここでエフ子をやられるのは気に入らないというか、何かしらのチャンスを失う気がするとか、ここでヒヤッハー血祭りだぜえ！するのが俺流って気がするとか……

……あ、ところで関係無いことを今何故か思い出したんだけどさ。

かつてポケモンで俺が防御技、変化技のみで殿堂入りするってこと

をやったとき、四天王の使う技で時間短縮に使えた技があったんだよな。

それは「とびひざげり」。

当たると強いが、外れると自殺行為に等しいってアレ。

なんか勘というか思い付きなんだが……

レッドエンドって、当たりさえすれば自爆しないんじゃないかね？ っと思ったわけよ。

「ハーツハツハツハツ！ よく隊長さんに喧嘩を売ってくれたなコノヤロー！ まあその意気や良し！ それだけは買ってやる！」

だが！ かあし！

俺は、ほぼノータイムで敵に接近し、飛び膝蹴りを顔面に入れる。

「俺にはあつて！ お前には足りない物がたくさんある！ それは、筋力、耐久、運、属性、レベル性能判断能力頭数手数……そして何より！ 速さが足りない！！！」

そして、そこからクイツクチェンジでブラックグンマーを装備して今ここで考えた『さいきょうのソードスキル（ただし正式なそれではない）』へ綺麗に繋げる。

ましろーくんからもらった頭のおかしいアイテムの1つ、【設置型識別爆弾】を拳で強引に設置する。

この爆弾は爆発範囲がせいぜい直径30cm程度だし、起爆には直接殴ってなおかつ一秒待つ必要があるがその代わりに設置可能であることを、敵と味方の識別をするので味方には当たらないという、恐るべきアイテムなのだ。

別に今後使う予定はないから遠慮なくここで使わせてもらうとしよう。

俺はさらに追加で何個か固めて設置すると、一秒の間に全ての爆弾を起爆し、ある位置へ急いで移動してホームランクラッシュの発動準備にとりかかる。

そして爆弾が爆発し、ノックバックによって敵が俺の方に凄まじい勢いで吹き飛ばされる。

……ホームランツ!

しかし、吹き飛ばされた先で敵を待っていたのは、俺による無慈悲な一撃。

それは一切の容赦なく、SAOの優秀な物理エンジンによって速度分のダメージを上乗せされ、敵へとんでもないダメージを与えるのだった……(完)

【GST】これはww酷い調整ミスww

【無言の腹パン】さん、【ゴオレンダア!】さん、【激安安心満足】さんが入室しました。

1. 激安安心満足

突然だけど、GSTってなんぞな。

2. ゴオレンダア!

God Speed Taichou-sanの略だろ?

3. (無言の腹パン)

(無言の呆れ)

4. 激安安心満足

なんで知らない俺が悪いみたいになってんの!?というかGSTの言葉の意味を見るに何が起きたんだ!?

5. ゴオレンダア!

4. まあまあ、餅突け餅突け。

6. (無言の腹パン)

(無言の杵&白貸与)

7. 激安安心満足

6. 餅が足りねえ!

8. ゴオレンダア!

……まあ、それは良いとしてだな。おまいらマクロリータって知ってるか?

9. 激安安心満足

ロリコンの聖地だな。

10. (無言の腹パン)

(無言の一般常識)

11. ゴオレンダア!

おう、まあそのマクロリータに俺は居るんだがよ。なんか隊長さんがフィールドで強敵として有名な奴を瞬殺してたんだよ。

12. 激安安心満足

隊長さんなら普通じゃないか？

13. (無言の腹パン)

(無言の安心感)

14. ゴオレンダア!

13. まあ、確かにそれだけなら普通だろうな。

だが隊長さんは、ただでさえバランス取れなさすぎて頭おかしいと有名な「ザ・マツハ」ってのを使ってたんだよ。

15. 激安安心満足

なんだその追跡も撲滅も速そうな名前は。

16. (無言の腹パン)

(無言の解説)

ザ・マツハ (足装備)

見た目はほぼタイヤであり、それが足の外側に1つずつ付く。

名前からも分かるように、装備したプレイヤーに通常時の10倍の敏捷値を与える強力な加速アイテムである。

ちなみに耐久度はあまり減らないので経済的。

しかしその『タイヤが足の外側にしか付かない』という特異性から履いた状態で移動できないプレイヤーが続出、あえなく『取つてはいけない装備BEST10』にランクインすることに。

17. ゴオレンダア!

16. 解説サンクス。

まあ隊長さんはそのザ・マツハを付けて走っていたんだがな……しかしそれでもありえない速度を出して、それで敵を一瞬で消滅させたんだ。

18. (無言の腹パン)

(無言の驚愕)

19. 激安安心満足

フアツ!?

20. ゴオレンダア!

大体目測で大幅に少なく見積もっても50mくらいはあった距離を、一瞬で詰めて膝蹴りをかましてたんだよ。

おかしくね?

いくら速さの殿堂ザ・マツハでも、そんな一瞬で距離を詰められるはずが無いと思うんだが。

21. (無言の腹パン)

(無言の情報提供)

・未発見のエクストラスキルの情報の1つに『瞬間的に加速する』といった効果を持つものがあるというものがある。

・さらに使い捨てではあるが三秒だけ敏捷値を上げるレアアイテムもあるため、それを使ったという可能性も。

22. 激安安心満足

うむ……21.の情報を元に推理すると、ザ・マツハで10倍、アイテムで3倍、エクストラスキルがあるとして、なんらかの代償を払うシステムなら5倍……約150倍ってところだな。

23. ゴオレンダア!

22. 速すぎワロスW

24. 激安安心満足

でも、そのエクストラスキルの内容も今のところ定かじやないから、怪しいんだよなあ……

ちよい調べてみたいから、それがどこら辺の層にあるか教えてくれよん。

25. (無言の腹パン)

(無言の快諾)

・そのエクストラスキルの情報は52、53、54層において確認。

・54層には特殊な地形とマップがランダムな場所があるため、恐らくそこにあるかと思われる。

・しかし同じく52層にもやたらと高く、登っても登っても戻され

てしまう塔があるためそこも怪しい。しかしこちらはいまだ情報が集まらないので現在侵入不可能。

・53層に関しては、その層にしてはやたら強いがまったく役に立たないゴミアイテムばかりドロップするレアモンスターが存在し、そこに関連しているとも。

p. s

入手したら情報屋にタレコミよろしく。

26. ゴオレンダア!

25. ■はいったい何者なの……

27. 激安安心満足

25. ■サンクス! そんじや早速いつてくら!

28. (無言の腹パン)

(無言のいつてらっしやい)

29. ゴオレンダア!

いつてらー。あと俺落ちるわー。

30. 激安安心満足

乙。それじゃまたな。

【激安安心満足】さん、【ゴオレンダア!】さん、【(無言の腹パン)】さんが退室しました。

【まさかの対決】 たぶん伝説の 【前編】

ろーくんに様々なアイテムをもらい、ついでにマクロリータで軽く実験してから帰ってきた時のこと。

その時の俺はぶつちやけハイだった。

あのあと何度かレッドエンドで実験してみたら合計で30フレームほどモーションを停止出来るポイントがあるっぽいのでそれで急停止出来ないか試していたら……事件は起きた。

PKに襲われたんだよね。しかもかなり新しいタイプの。

……あ、でも安心してくれ『新しいッ!』とか言ってる奴じゃないから。

しかしまあ、いくら新しいタイプのPKであろうとこの隊長さんとマトモに戦える筈も無いし、ただただお遊び的な感覚でやれる筈だったんだよね。うん。

でもなんでだろう、現実って意外と上手く行かないや。いやここS A Oだし仮想空間だけど。

「なんで居るんだいふいーちゃん!？」

ふいーちゃんが、帰ってきたのだ。

しかもうつかり置き去りにされた恨みとよー分からんユニークスキル、そして大量のわんわんおを引き連れて。

全部で五匹ほど、とりあえず連携攻撃が強力なのと俺のトラウマを無自覚にそして的確に抉ってくれちゃうせいで地味に強敵な犬が俺を牽制し、なぜかふいーちゃんが中距離からチマチマと攻撃してくるこの戦法、なんか見覚えあるんだけど思い出せないんだよね……

なんだろ、喉まで出てるんだけどそこでつつかえてるこの感じ。

違和感バリバリ……うわあぶなっ。

何か記憶に引っかけかっている情報を引き出そうとしていると、急に鋭い一撃が飛んできて危うく喰らいかけた。

幸いにして今は「防御薄弱（防御力を攻撃力に変換するエクストラスキル）」を付けてないから良いけど、付けてたら多分危なかった。

しかしなんでふいーちゃんは急に鋭い攻撃を出してきたんだか。

武器はあの時と変わらず短剣のまま、しかし小刻みな攻撃とそこに時々混じってくる鋭い攻撃が特徴的で、しかも犬付き……うん、成長したじゃないかふーちゃん。

俺はここまで考えてからようやく武器を取り出した。

さっきまでレッドエンドの実験をしてたから武器を装備してなかったんだよな。

しかしレッドエンドをふーちゃんに使うと殺しかねないから使えなかった。

で、何故か戦闘中に考え事をする暴挙に出て武器を今まで出してなかったけど、今回はちよいえげつない戦法でやってやるとしよう。

「どっせえいー！」

無手からのクイツクチェンジアスカロン。

突然攻撃範囲が極端に延びてビツクリすると同時、大振りな攻撃の隙を軽減するテクニクだ。今考えたけど。

で、今回の戦法ってのはぎっくり言うなら『アスカロンの長大なリーチを活かしたヒットアンドアウェイ』なんてガチの戦法。

しかもスピードは装着しっぱなしのザ・マツハで後押しされているから、かなり有利な……なっ!?

俺がアスカロンを叩き付けた直後、なんか普通にキックを喰らって大幅にノックバックしてしまった。

アスカロンって元々ノックバック強化の武器なんだけどなあ、復帰早すぎでしょ。

とか思いつつ態勢を建て直す。

まず足に装着したザ・マツハを解除。

これまでは大してダメージを喰らったことが無いから分からなかったが、コイツはタイヤだからノックバックに弱くなるみたいだな……今の内に知れて良かった。

で、それに加えて武器をアスカロンから変更する。

その武器の名前は「正剣クラウンホラス」。

神話における聖剣であるクラウンソラスの劣化コピーであり、なんとこの手の変な武器にしては珍しく強力な、『ソードスキル範囲延長』の

効果を持っていてなおかつ攻撃力もそこそこ高い。

どれくらい高いかと言えば、大体ブラツクグンマーの三割増しくらい。

ただいくつか欠点があつて……なんとこの武器を『強いけど出来れば使いたくない武器TOP10』の栄えある一位にし続けるほどに酷い欠点があるんだ。

その欠点は、見た目が酷い音が酷い演出が酷い。

見た目は道化師の生首が腹に立体的に掘られた剣で、しかも派手派手しくて、シヨツキングピンクと茶色とかいう最低の組み合わせをしてくれやがっている。

その上、コイツは斬る度に変な音がするように出来ている。

おならの音、黒板を引つ掻く音、人がうがいする音、『この人でなし！』の声、おっさんによる『許してにやん』攻撃。

それが攻撃の度に大音量で放たれるんだ。

ほら、決して使いたくはないだろう？

でもな、これはまだまだ序の口、欠点がまだあるんだ。

まず売ろうとした時。

NPCに売ろうとすると、『良いんですか？』を言い方を変えてうざったく十回聞く上に、結局買い取ってもらえない。

プレイヤーになら売れるが、売ると嫌な音フルコースを喰らうので注意だ。

他には捨てても30分で帰宅する、中々壊れないし自己修復機能がある：等々、とんでもないアイテムだ。

しかし、それでも性能が良いからと欲する奴にとっては嬉しくないお知らせがあり、なんとこの武器は本数が限定されているんだ。

その数は50本。それ以外はなく、売られるのを待つしかない。

ちなみに俺のもつクラウンホラスは50本の中でも他のプレイヤーを介さず直接入手した奴なので、結構気に入ってるんだよね。これ。

まあそれでもこの剣が面倒なことには変わりはないがな。

しかしそれでもこの剣は強い。どれくらい強いかというとプレイ

ヤーの精神に攻撃してくるけどやたら強い系のよくある武器みたいに強い。

使っている内にイラツとしてくるけどやたら強い、みたいな感じのアレと同じだ。

見た目はかなりアレだけど、性能だけは高い。それがこのクラウンホラスなのだ……が。

実はこの武器の欠点はデュエルや対PK戦において逆に長所となりえたりするんだよな。

クラウンホラスの嫌な音フルコース系はパーティで使うとき全員が嫌な気分になるよう、自分だけでなく他人にも聞こえる設定になっているんだが……デュエル等においてはそれがメリットになる。

集中力を削いで冷静さを奪える。こんなお得な武器が他にあるだろうか。いやない。

そんなすんばらしい武器なのだ……クラウンホラスはな。

「覚悟だよマスターッ！」

……おーつと。危ない危ない。ついうっかりクラウンホラスの説明に夢中になってふいーちゃんを忘れてたぜ。

普通の攻撃は上の空でも弾けるけど、鋭い方の奴は多少なれど集中してないと弾けない。

成長したよふいーちゃんも。本当にね。

ただ俺の方もユニークスキルという規格外の成長要素がありましたね。

今の隊長さんをこれまでの隊長さんと同列に見ないでもらいたいものだ！

俺はふいーちゃんの、これまでのより数段鋭い一撃をクラウンホラスの腹で受け流しながら、その勢いを利用して自分の攻撃に乗せて斬る。

「近所に住んでたじーちゃん流（ただし師匠はたくさん居るため名称不定）一の型（型は存在していない）三番（技にも何番とかない）……鉄返し！（もちろん技名も存在しない）」

これこそが近所に住んでた住所不定で夢追い人のじーちゃんが教

えてくれた剣術の一の型三番、鉄返しである。

原理はただ相手の剣に自分の剣を当て、勢いを盗み取って攻撃を無効化しながらのカウンター、それに尽きる。

……なお、以上の説明はじーちゃんが教えてくれたことと技の原理以外全て適当である。

【再来の決定戦】二回戦始まったぞてめえらw

【アツポー】さん、【理数熊】さん、【真っ黒】さんが入室しました。

1. アツポー

おまいらWSAO最強決定戦の二回戦が始まったぞww

今度はヒースクリフ対謎のフード剣士だw

2. 理数熊

フード剣士、か。

強いのかな？かな？

3. 真っ黒

2・唐突なひぐらしやめいw

4. 理数熊

知らない知らない私は何も知らない。

ひぐらしなんて知らないし、どこぞのヤンデレさんなんて毛頭知らない。

5. アツポー

4・その口ぶり……知ってるな……

まあそれはともかくとして、フード剣士が予想以上に優秀で大変な人ですぜ。

こっからはフード剣士が起こしてくれやがったトラブルとヒースクリフとの戦闘の実況を平行していくんでシクヨロ。

6. 理数熊

5・そんじやあえて聞こう。フード剣士の名前わかる？

7. アツポー

いーや分からん。ただ自分で熊さんと呼びなさいとか言ってるし熊さんで良いんじゃないやね？

それと熊さんは何やらヒースクリフを全力で殺しに来てるみたいで、k o bも鬼の副長含め相当数が半減決着のデュエルでフルボッコにされています。

8・真つ黒

何故か内部事情に詳しい7・。

9・理数熊

まあそれはともかくとして、熊さんは相当に強いみたいだな。

鬼の副長と言えば閃光どのの事だろう？

彼女を倒して進むとか、それこそもう隊長とか黒の剣士とかおっさんくらいのものだと思っていたんだがなあ……

10・アツポー

9・禿同やわ。この熊さん強すぎる。

k o bの精鋭ですら瞬殺されているんだよ。しかも何故か短剣で優しく優しく半減ギリギリに調節された感じに。

奴はただ強いな……まだ強さの底が見えないぞ。

11・真つ黒

まあ仮定として、大体熊さんの戦闘力は閃光さんよりも強い黒の剣士と同等かそれ以上って考えようぜ。

……そうすると黒の剣士より強い隊長さんと比較することになるけど、なんかこの二人なら互角の勝負になる気がしてきた。

12・アツポー

11・うん、なんだろうねこの感じ。

熊さんってなんだかフェニックスしてる感じがするんだよな……土壇場ヒーロー的ポテンシャルの出し方で強くなったみたいな。

13・理数熊

とんでもないな熊さん……強すぎワロエナイ。

14・真つ黒

人類は進化しすぎました。

15・アツポー

とりあえず進化しすぎた人類である熊さんと通常人類代表（多分）のヒースクリフの戦いにはこれから要注目だな……まだ現在進行

形で斬り合っているとこだけど。

続く。

【頂上決戦に次ぐ（ry）たぶん伝説の【後編】】

「俺の剣術は師匠の一人が近所に住んでた自称夢追い人（確か菊之なんとかって言ってた）じっちゃんか俺並みに強かったから多分世界一イ！」

「不確定要素多くない!？」

「貰ったあー!」

俺とふいーちゃんの戦闘は、なんかもう命を賭けてるにしてはやたらノリツツコミがたくさん入る形で進んでいた。

ふいーちゃんが全力全開の一撃を叩き込む度にカウンター技を叩き込むことにより俺ははまだ無傷、しかもふいーちゃんばかりがダメージを負うという……うん、なんというか非常に上げつないワンサイドゲームと化していた。

しかしなあ、犬うざい。わんわんお統率取れすぎててうざったい。しかしだからと言って切り殺すのも憚びない。

流星にふいーちゃんの相棒を傷付けるのは良くないと思うんだ。

ただ、だからと言って放っておくわけにもいかなないので簡単にどうにかしてやろう。

なあに難しいことじゃない。

ただ1つのアイテムをねじ込んでやれば良いのさ。

俺はメニューからとあるアイテムを取り出しつつ、突撃してきたわんわんおの口にねじ込む。

その名は、たまねぎ。

玉葱、つまりオニオン、寸分の狂いもなくカレーに投入する方のアイツをわんわんおの口に投入したのだ。

やたらリアリティの高いSAOなら、これがきつとわんわんおに対して効果的な作戦になってくれるはずだ。

そう考えながらも一匹にもたまねぎを食わせる。

「ばいっ!」

「ばう……!」

よしっ。ダウン取った。

まあ腹痛かつたらそりやダウンするよな……とか、微妙にすまないと言いたくなる心を抑えて、俺はふいーちゃんに集中してよく分からんイカサマ剣術を使う。

まずは師匠の一人であるじっちゃんが教えてくれたけどSAOじゃ真の力は発揮できないしリアルで使っても強すぎて自重するしかないしその上本当の名前が思い出せなくなるくらいにやたら名前が長い技……

「近所のじーちゃん流大体7の型多分六番！もしかしたら我孫子（あびこ。駅名である）とかそんな名前だったかもしれない斬撃イ！」
「名前が長すぎるけど?!」

気にすんな。それよか自分の心配をしろ。

リアルで真剣を使ってやると間合いより外側を斬れるという謎技術であるこの技は、SAOにおいては普通に避けづらい、極普通の技に過ぎない。

ただふいーちゃんという土壇場主人公並みの成長を遂げた逸材（多分）に対してであればソードスキルなんかよりこういった普通の剣術の方が意外と効くんだよな。地味に。

ほらアレだ。ソードスキルってのは光るだろ？だから軌道も速いけど目で追えることが多い。

しかし単純な剣術であれば光らないから目で追いにくいんだ。まあ俺は追えるけど。俺は追えるけど。

大事なことなので二回言った。

そんなわけで、実は意外と避けにくい剣術でもって俺は順調にふいーちゃんを追い詰める。

ふいーちゃんはまあ、良く分からないけど割としっかり小刻みに攻めて来ているけど俺に決定打を与えることは出来ていない。

俺が強すぎるし、わんわんおも倒れたからね。仕方ないね。さつきついうっかりみんなにオニオン食わせちゃったんだ。

人間なら今頃腹痛にのたうち回ってるだろうよ。

犬でも腹下したらそりやあ辛いでしようなあw

しかし俺はそれでも容赦しねえ！俺に勝てるなんつーその幻想を

ぶっ壊す……前に叩いて刻んで粉々にして材料と一緒に水と混ぜてパン生地にしたあと俺の苦手なある女の顔の形に整形しふつくら焼き上げてやる！

ちよつと手間がかかるけどそれをやってやるんだ！

冗談じゃねえ、マジでやるかな！

……だから突然ナイフの速度上げんなよ！びっくりするだろ！

うん、その、俺も一瞬対応出来ないかと思うくらい恐ろしい速度だったし、威力も申し分なかった。

素直に認めよう。君は成長したよ、ふいーちゃん。

多分その攻撃にマトモに当たり続ければ瀕死は免れない。

……いや、まあそれは当たればの話だけだな。

もうこの世界で二度もとんでもない強者との戦いを経験した隊長さんに敵うはずが無いのだよ。

つ・ま・り・は。

結局のところ最強はいつだって隊長さんだってことさ！

俺はクラウンホラスを全速力で振るい、ふいーちゃんが全損しない程度に削れる一撃を放った。

「……掛かったね、マスター」

……しかし、それを待っていたかのようにふいーちゃんは俺の攻撃を体で弾き、これまでとはレベルが違う一撃を放ち、俺の首を貫いたのであった。

【再来の決定戦】二回戦始まったぞてめえらw

25・アツポー

おいおめえらwヤバイヤバイぞw

熊さんが相手だからかヒースクリフがとうとう本気出しおったw

w

26・理数熊

25・一体なんなのだね。

そもそもヒースクリフっていつでも本気の神聖剣だろう？

これ以上何があると言うんだ。

27・真つ黒

ハイハイイ。ヒースクリフはとりま変態モードに突入したでおk？

28・アツポー

27・おk。ヒースクリフは、なんと片手剣をレイピアに変えてえげつないまでに鋭い刺突で熊さんと拮抗してるんだぜw

29・理数熊

ヒースクリフ……お前おっさんと武器種同じやぞw

30・真つ黒

神聖剣アツー！ですね分かります。

31・アツポー

30・それ貫うぞww

まあ、ぎつくり今の状況を整理すると、ヒースクリフが追い詰められて体力が半分を切りそうになったところでレイピアに変更、えげつないくらい鋭い刺突が熊さんの短剣と拮抗して武器の相性的に今ヒースクリフが巻き返しを狙ってる感じになってる。

32・真つ黒

ヒースクリフ……お前は何故それをいつも使わんのだ……と言いたくなる自分がいる。

33・理数熊

32・多分ソードスキルが使えないとかじゃね？

パッシブは使えてもアクティブは片手剣じゃねえと使えないとか。

34・アツポー

33・なるへそ。そりや使わんわレイピア。

それと今度は熊さんの方もヒースクリフの方もなんかワンステツブ分引いて構えを取ってる。

なんかこんな光景をどこかで見たような気がする。

35・理数熊

そういや、ある一定以上の達人同士の戦いではお互いに構えを取り相手に対して有利な構えの状態で先の先を取るのが定石って聞いたことがあるぞ。

36・真っ黒

つまりはヒースクリフと熊さんは達人ってことか……

S A Oプレイヤーにガチの達人がいるとかワロエナイ。

37・アツポー

36・いや、これ確かにガチの達人やわw

二人ともさつきから流れるように構えを変え合ってどうにか先に攻めようと頑張ってる。

ただそのモーションに淀みが無すぎでちよつと怖いのですが。

38・真っ黒

イケー！熊さんファイツ！

39・理数熊

38・何故熊さん応援するしw

ファイトだぜ熊さん！

40・アツポー

ちよつwwヒースクリフアウエー過ぎんだろww

頑張れよ熊さん！

41・真っ黒

まーそれはともかくとして、ここまでされると熊さんの正体が余計に気になって来たんだが。

42・アツポー

今聞かんでもえーやん。

43・真っ黒

いや、俺忘れっぽいしww

つーわけですーらは誰だと思う？

44・理数熊

43・第二の隊長さん因子保持者

45・アツポー

43・隊長ウイルス感染者

46・真っ黒

44・45・こwwらwwマジメにww答えろよwwwwwwwwww

w

47・理数熊

おいおい、何を言ってるんだ。隊長因子は今やSAOの常識だろう？隊長だけが持つ、常識をブチ壊し定石を覆し正直言って理不尽な力を得る因子。

まさか隊長さん以外にも保有者が居たとはな。

48・アツポー

隊長ウイルスも今時常識だぜ？

隊長の周りで理不尽に巻き込まれ続けていると、自然と隊長に引つ張られる形で滅茶苦茶強くなる。知らないのか？

49・真つ黒

えつwちよw w w俺だけかw w常識知らんの俺だけなのかw w w
w w

50・アツポー

49・そうだ。

ちなみに現在、熊さんが何やら大剣を振り回してヒースクリフを圧倒しているが、まあとりあえず今は49・に常識を説いてあげるのが先決だよな。

51・理数熊

50・いやいや、それ常識説いてる場合ちゃうで。今すぐ実況しろや。

52・アツポー

……だが49・の常識力不足は深刻だぞ。

それとヒースクリフはどうとう楯を捨ててレイピア一本にしおつたぜw

53・理数熊

神聖剣エ……マジドンマイ

54・真つ黒

こうして時代の流れは変わり、古い物は捨てられていくのか……

55・アツポー

あ、それと熊さんとヒースクリフの戦いの余波で何人か気絶しやがった。

そいつあすげーや。としか言いようがねーが、とりあえずこれだけは言える。

マトモじゃないよこの戦い！

続く。続くとしたら続く。

【4×9計】たぶん伝説の【後後編】

ふいーちゃんの最速最強の攻撃が俺に迫っているとき、俺は無駄に素早い思考でこう考えていた。

うん、いやー良い人生だったよね。

小学校のころ学級崩壊起こしすぎて生徒が生徒を教える事態になったことがあったっけ。あれは楽しかったなあ……特に体育の時教師に言われたことを三段階ほどグレードアップしてやってプライドをズタズタに引き裂くの、最高だったわ。

それに中学の時、初めての部活で何故かスカウトに次ぐスカウトによつて七部くらい兼部することになったんだっけ。

サッカー剣道柔道野球テニス卓球バスケット……うお、今考えれば明らかに頭おかしーわ。

でもチーム競技系は俺によるワンマンプレーに次ぐワンマンプレーで全国優勝してしまったが故に、他の部員が自信を失つてやめちゃつて、潰れたんだっけな……

あと、高校に入ったらやつぱりスカウトされたんだよな。

特に野球部の熱烈さには驚いたわ。俺の活躍を知ってか知らずか、入部と同時に一群ピッチャーに起用しちやつたもん。

しかも背番号四番。いわゆる二刀……に、見せ掛けてそこに加えてキャッチャーと野手が入って大太刀二本脇差二本の四刀流やったのは覚えてるわー。

甲子園じゃストレートで世界最高記録を出すわ当たつてもバットが砕け散つて打てない魔球を開発するわなんだかねで色々やったよなー。まあ選手資格永久剥奪処分喰らったけど。デッドボールを量産して肩砕きすぎたせいで。

それに、部活系で言うのなら柔道で百年に一人の天才と呼ばれていた少年をまだ年下だった俺が一方的に蹴散らしてプライドを粉々にして再起不能にしたりなんだかねで四、五十人ほどを再起不能（内1割ほどが怪我によるものである）にしたせいで選手資格の永久剥奪処分を喰らったんだっけ。

他にもサッカーで天才を集めて作ったとかいうチームにほぼ俺のマンパワーのみでちよいラフめに勝利して心をへし折ったら全員サッカーやめたとか、剣道の全国大会で剣聖とか呼ばれてた奴を本気を出して二秒に三回ほど小手面胴を連続で叩きのめしたら暴力試合扱いになったこともあった。

ちなみにサッカーも剣道も選手資格永久剥奪処分を喰らいました。解せぬ何故だ。

……まあしかし、そのどれもテニス卓球バスケの個人的『絶望の三競技』ほどには思い出が多くないね。

だって卓球はボールが脆すぎて打つ度に砕け散るからまずはおちよいどいい手加減を身に付けるところからやらなきゃならなかったし、テニスなんてみんながみんな俺の体を狙って全力で打ってくるものだから相手のことを考えてやれる余裕がなかった。

バスケなんてもう話にすらならなくて、ルールが温すぎてもう九割以上遊んでいた。

だって開始と同時に奪い取って投げるを続けていれば勝てるんだぜ？

その温さはむしろ尊敬すら覚えるレベルだね、まったく。

しかし極稀にいる俺をガチで潰しにくるやつとの闘いは楽しかったなあ……足を掛けにきたら柔道の技の要領で転ばせ、拳を入れてきたらボールを腹にぶち込むサッカーの応用で対応。

まったくもってすばらしい競技だったよ。バスケってのはさ。

しかし……どういう訳か、ある日突然俺は全競技で選手資格永久剥奪処分を喰らった。

笑えないよな。うん。

何があっても負けないと思っていた頃の俺に起きた悲劇である……

うん、まあ俺がここで何を言いたいかというと、『なんにでも勝てると思っていると以外なところで負ける』ってことさ。

その良い例が今さ。

え？ ああうんうん、つまり五歳児にも分かるように要約するところ

だね。

俺の攻撃をふいーちゃんは何故か無傷で受け止めたと思つたら死ぬほど速い攻撃をしてきて俺を仕留めようとしたけど、突如として俺は頭上に現れたんだよ。

ほら、五歳児でも理解できるだろう？ちなみに五歳児の基準は俺な。

……で、そのあと頭上で俺は考えた。意味もなくラグの貴重な時間を使って頭上に立ったは良いけどどうしようって。

それでもって、超越剣のソードスキルになにか使えるのではないかなーと探してみる。もちろん時間は掛けずに。

【ガツシユフアング】

【モーメント】

【紫電の一閃】

【レッドエンド】

NEW！【グラトニーフアング】

すると、何やら新しいソードスキルがあった。

グラトニー、意識するとなんだっけ。とりあえず七つの大罪の暴食に関係する言葉なのは覚えてる。

つまりこれは何かを暴食しちゃうソードスキルなのかな？

これは期待できないや。

ソードスキルの名前をタッチし、説明を読んでもみる。

その間にも攻撃は来ていない訳じゃないけどそれはゴミ（文字通りゴミ。しかし耐久は1だが必ず攻撃を弾く効果がある）で防ぐ。

余談だけど、今のところこのゴミを防壁として使う奴は俺意外に見ないんだよな。

入手もそう難しくはないのに、なんで回収しないんだか。

しかしそんな思考と並列して、ソードスキルの説明も読んでいく……なにになに？

『敵対する者全てを喰らう、血に飢えた剣技。しかしその強さの代償として使用者自身すらも食い荒らしてしまう』

『使用制限：ガツシユフアングからの接続時限定』

ふむふむ良く分かったぞ。

何も分からない、意味不明ってことだけが分かったぞ。

接続ってなんやねん。確かにソードスキルには意図してかせずかソードスキルの途中で不自然な間が存在してるけど、まさかそこにソードスキルをブチ込めども？

俺はバカじゃねーの？とか思いつつも、接続ってのが出来るのかどうか試してみる。

試しに素早いモーメントを七回ほど繋げてみますかね……

モーメントの発動モーションに入り、同時に攻撃の中に存在する不自然な間で再びモーメントの発動モーションを取り、連続してモーメントを発動する。

「セイセイセイセイソイヤア！そしてウエイツ！」

「うえっ!？」

急に頭に乗ったと思えば今度は挙動不審な動きをしたからかふいーちゃんも驚いているが……くつくつく、作戦通りよ。

お前なら俺がモーメントを不自然に連続で繋げたせいで微妙に動きがカクカクしているのを見抜けるだろうからな！

その隙、もらったぜ！

俺は咄嗟に頭の上からダメージを与えようとクイツクチエンジを使用、アスカロンへ切り替えると普通に斬りつけた。

ダメージを稼ぐならソードスキルだが、純粹に戦うならソードスキルを使わない方が強いんだよな。このゲームってソードスキル前提のシステムしてるけど。

ソードスキル前提のシステムの中、ただ一人ソードスキルを使わず敵をバツタバツタ薙ぎ倒す……ね。

あれカッコ良くねこれ？とか考える間もなく体が動いてふいーちゃんを斬る。

具体的には結構貧相な胸の辺りを……ってあれ？ダメージを喰らってないみたいだ。

まさか……

「ふいーちゃんの絶壁がシステムの限界を越え、ふいーちゃんにガチ

の絶壁を与えたというのか……」

「ちやうわーユニークスキルだつての！……あ」

「(無言のドヤ顔)」

やっただぜ。

ふいーちゃんが俺に煽られてなんかネタをバラしてくれた。

どうやら謎の防御はユニークスキルによるものみたいだな。

だとすれば攻撃を防ぐ条件は何か？

それについてちよつとだけ考えてみよう。

これまでの戦い、ふいーちゃんはやたら小刻みに攻撃していて、一定周期くらいで強烈な一撃を出していた。

ここから予想されるのはコンボ積み上げ式ユニークスキル。

うん、まあここまでくれば簡単だ。

コンボ積み上げ式ユニークスキルが相手だつてんなら何をすべきかは分かるだろう？

俺は近くにいるろーくとエフ子に向かって極自然に軸を合わせ、そしてワンジャンプして適当な武器を出して投げつつ、装備とスキルを高速で変更する。

装備は……ザ・マツハを足に装備し敏捷を上げるアクセをガン積みして最速に。

スキルは……追跡、超越剣、ステップ、そして「音速ごっこ」。あとは適当。

で、今回追跡と超越剣は言わずもがな加速のためのスキルだが、今回大事なのはステップと音速ごっこの2つだ。

ステップは踏み込んで前に跳んだ時に速度ボーナスが付くスキル。ボーナスは蓄積できて最大の20溜まると瞬間的にレッドエンドの2/3程度は出せるようになる。

で、音速ごっこは多分対人戦においてえげつなさでは一位だと思う。

効果は『音が遅れて聞こえるよ』だが、それを対人でやるともう音が遅れて聞こえるだけで済まず、音を上手いこと一点に集めてゼロ距離でぶつけると、クラップスタナー(和名:猫だまし)の要領で意識

を奪うなんてことも出来る。

だから今ではアルゴの攻略本に乗っているほどであり、対人戦で音が遅れて聞こえたら耳を塞げとまで言われるほどだ。

……え？それをザ・マツハや追跡スキルで死ぬほど高速で動ける状態で作ったらどうなるかって？

いや簡単さ。

「なっ……」

あまりにえげつないことをされる気がして相手は思わず耳を塞ぐんだよ！

「あばよとつつあん！コンボが切れたらまた会おう！」

俺は一瞬だけ高速で足踏みしてからろーくんたちの所まで走ると、二人を回収して逃げて……もとい、戦略的撤退していくのであった。本当に戦略的撤退だからな、間違っても逃げたんじゃないぞ。

72. 理数熊

ところでおまいら、今気付いたことあるんだけど言っておk？

73. アツポー

72・なんじゃね。

74. 真っ黒

今のところ気付くようなことなんて無いと思うけどなあ。

75. 理数熊

いや、現在の戦況を考えてみるよ。

まずヒースクリフがギリギリ半分まで追い詰められてレイピアに変えて、熊さんが大剣で追い込んでる訳だ。

しかし長引き過ぎてないか？

すでに熊さんは半分近くまで追い詰めたんだよな。

そのあと何度か圧倒してんのにまだ戦況が変わらないのはおかしくないか？

76. アツポー

……つまりお前はヒースクリフのHP減らなすぎと言いたいのか。

77・理数熊

76・そゆこと。

78・真っ黒

確かに言われてみれば減らなすぎだよな……かれこれ十分以上書き込みが止まったり増えたりしながら見てきてるが、半分には追い込まれたのって30レスくらい前だぞ。

79・アツポー

まさかwこれはww

最大ギルドの断腸がチーターってことかww

80・理数熊

79・なんか違うぞwしかしチーターな断腸とかワロタwwww
w

81・真っ黒

しつかしまあ、ヒースクリフがチーターだつてのを前提で考えると辻褄が合う都市伝説もあるよな……

82・アツポー

81・尋ねてほしいのかい？

83・真っ黒

82・YES。しかし尋ねられる前に答えるんだぜイエーイ。

鼠のアルゴ著、『アインクラッド都市伝説』の中にヒースクリフの項目がいくつかあるんだが。

『ボスの攻撃を受けても絶対に半分以下にならないHP』やら『スリッブダメージ無効』やら、特にヤバい奴では『初見のはずの物も含めてあらゆるソードスキルを悉く避ける』とかもあったんだわ。

84・理数熊

83・最後の奴はすでに他で見てたとかじゃね？

85・真っ黒

84・ちゃうんよ。なんとな……黒の剣士がヒースクリフとの決闘で初めて使ったソードスキル『ナイトメア・レイン』つてのを完璧に防いだらしいんだよ。

もちろん二刀流スキルだから他に使うやつも居ないし、自己申告では雑魚狩りでも使わなかったらしいから本当に確実に初見で、しかも完璧なタイミングだったはずなのに全弾防いだんだよ。

86・理数熊

マジかwwつーかそれじゃむしろ全ソードスキルを知ってるみたいな感じになるぞwかやひこかよww

87・アツポー

ちよwヒースクリフかやひこ説とかww聞いたことねえぜw

88・真っ黒

せやなwwww

あのクソかやひこ||ヒースクリフとか信じられんわwwww

89・アツポー

あ、それと忘れてたけど戦況が動いた。熊さんが大剣を投げてブラインドしてから短剣で首突き刺したぜよ。

90・真っ黒

えつちよ不意打ちで……え？

91・理数熊

ついにキター！

92・アツポー

……いや待て、なんかヒースクリフが顔面に剣刺したまんま熊さんを刺しあkcpqmcckqmヴおqん

93・アツポー

スマソ。ちよい混乱した。

なんか熊さんが先に致命的なの入れた筈なのにヒースクリフが勝ちおったww

しかし半減決着だった筈なのにこれだから、団員たちから不審なものを見る目で見られとるww

94・真っ黒

えwまさかガチww

95・理数熊

チーターキター！

96・アツポー

俺ら地味に予言してたなw

97・理数熊

祝え祝えー！

98・真っ黒

泡盛持ってこい！

99・アツポー

じゃあ俺古代シユメール産でw w

【理不尽の具現】さんが入室しました。

100・理不尽の具現

100は貰ったぜ。

それと突然で悪いが、おまいらにお知らせだw w w w w

ヒースクリフの正体教えるぞっ！

まだ続く。(しつこいと言ったら負け)

【決着なんてなかった】たぶん伝説の【後後後編】

ふいーちゃんから逃げまくること数分。

……あ、これはもう大丈夫じゃね？とか思ってたマクロリータの近郊でろーくとエフ子を降ろした途端にふいーちゃんがやってきた。

しかもわんわんおライダーモードとかいう訳わからんスタイルでな！

わんわんおの上に乗って戦うとか冗談も二次元だけに……いや待ってVRってどっちだ!?二次元か三次元か分からねえ！

2・5次元つてもアリだけどどっちなんだ!?

そんなことを考えつつも、体だけはしっかりと迎撃の準備をする。幸いにしてわんわんおライダーとの距離はまだあったからスキルを変えよう。

ガチ編成を越えたガチ編成、その名もワンサイドガチに。

ちなみに名前は今決めた。意味はワンサイドゲーム確定でとりあえずエンジョイ○するなら使わない方がいいキチガイ編成、というもの。

要約すると多分俺じゃなくても結構強くなれる狂気のスキル編成。唯一の問題として俺の超越剣だけは真似できないことなんだけど……気にしない方が良さだろう。

その構成は【超越剣】【暗器】【流星剣】【破滅の使者】【剣帝】【居合】【攻撃偏重】【背水の陣】【追跡】の9スキルにプラスで【峰打ち】。

本来なら峰打ちも【心眼】スキルという楯による防御を『防御の中心に攻撃を当てることでダメージをそのまま相手に与える』スキルにした方が良いんだが……殺すと不味いのでそれは抜いた。

ちなみに、このワンサイドガチは実の所一対一以外で使うのは難しいんじゃないかと俺は考えているんだ。

何故かって？

……まあ、今から起こることを見ていれば分かるだろうさ。

俺は武器を変更し、所持する武器の中で最大のリーチと攻撃力を持つ大太刀【祀三郎】(狭いところで振ると引っ掛かりパーティプレイ

じや仲間を切り裂く、MHの太刀顔負けの迷惑武器である）を装備して全ての防具を外し……自らの左腕に三回刺した。

それにより【背水の陣】の熟練度マックス時効果と通常効果が発動、攻撃力が大幅に上がる。

背水の陣は元々、空いている体装備のそれを含む空きスロットが3つ以上で（空きスロット×熟練度の数値の100分の1）%攻撃力が上昇するスキルで、理論上は頭、体、腕、足、首、両手の指、左手の8つ分の空きスロットを用意し熟練度をマックスにすれば攻撃力を80%上昇させられるキチガイスキルだ。

しかし上層に進むごとに相手の攻撃力は上がり、回避も難しくなってくる中体装備無しで戦うのは無理がある。だから誰も使わないが……それを熟練度マックスまで上げると、今度はとんでもない効果が現れた。

100%から現在のHPの残量%を引いたパーセント分、攻撃力が上昇するというものだ。

まあこれの効果を出すために自傷したとしてもうつかり死なないように90%とかは削れないからせいぜいが85%くらいしか削れないが……それだけ削りつつ、通常のスキル効果を最大限出せばこのスキルだけで攻撃力を265パーセントに出来るのだ。

ちなみにSAOの上層じゃある程度広く普及している攻撃力上昇アイテムでも上昇幅は精々20%で重複しない（一本100000000000である）と言えばどれだけ強いかわかるだろう。

合計で265%だ。1000000000000でようやく20%上がるのを一気にその8倍上げて金が掛からない。素晴らしいだろう。

……まあ、弱点として一発食らえば死にかねない状態になっているということが挙げられるのだが。

しかし俺であればその欠点は欠点たり得ないのさ。

何故なら攻撃は全て避けるから。そして今は秘密兵器もあるからだ。

あ、それと忘れちゃいかんのが【攻撃偏重】。防御力が半分になる代わりに攻撃が1.5倍だから合わせて300%以上の攻撃力になる

わけさ……実際には400%くらいと言った方が良いんだけど300%の方がそれっぽく感じるのはなんでだろう。

そんなことを考えつつも、俺は「暗器」「剣帝」「居合」の3スキルの発動にピッタリなイカサマ剣術、じつちゃん流剣術秘奥義『剣拳波（名前は今思い付いた）』の姿勢をとる。

加えて心を騒がしく煩くライブ会場に負けないくらいの喧騒で荒立て、僅かなことにすら全力でブチキレルレベルまで怒りっぽい感情のボルテージを上げる。

自然に目を閉じ、追跡スキルを発動しつつ祀三郎を普通の刀なら鞘でもありそうな辺りにセットしてふいーちゃんを待つ。

………そして、追跡スキルによって接近が知らされると同時に目を開いて抜刀、その勢いをそのまま刀に乗せて放つ。

それはまるでウチの母親が浮気した親父に対して見せたドドドド怒り（分かりやすく言うくと鬼が泣いて逃げ出し、神すら手を出せないレベルを5乗したくらい）時の拳の速度……にはまだまだ程遠いが、少なくとも人間に知覚出来る速度ではない。

それなら何故俺がそれを知覚出来ているのかって？そりゃいい質問だ。

聞いてくれてありがとう、サンキュー！

つまりお前はこう言いたいのだろう。『いくらお前でも人間に知覚出来ない速度の剣を知覚出来る筈がない』ってさ。

確かに、俺も斬ったその瞬間の感覚は無いよ。

ただSAOでラグを起すことは難しいが不可能じゃないし、俺はそれを自由に起こせるって言ったことがあったよな？

今回はその超超エスカレート版が発生したと思ってくれ。

斬ってから数秒経ってもまだ俺のAvatarは祀三郎をほとんど動かしておらず、ただ少しずつ少しずつ引き抜いている。

これが俺の起こしたラグの結果であることは間違いない……のだが、このラグはこれまでのそれとはレベルが違いすぎる。

まず圧倒的スローモーション感。ほぼ動きが無いってくらいにスローモーション。

これに関しては通常のデュエルじゃ透明人間が長時間出来るって意味でメリツトになれるだろう。これはいい。

しかし……それゆえにちよつとだけ問題もある。

俺が今回使った【破滅の使者】のスキルは純粹に攻撃範囲を伸ばすスキルだ。まあどうやらそのタイミングでの長さから約4%伸ばしているようだから長い武器ほど延長される長さが長くなるということだが、普通だ。

使い方次第じゃ強いが、普通だ。

……しかし、そこにある条件で判定が伸びるスキルを追加するだけでこのスキルは狂気しか感じないスキルへと変貌するのだ。

それこそが【剣帝】。【居合】と対を成すと俺が勝手に考えているスキルであり……あと多分史上最も入手しにくいが攻略には使えないスキルである。

効果はソードスキルを使わずに武器を振ったとき、その速度が一定を越えると判定が広くなる。ただそれだけ。

つまりは攻略において多用されるソードスキルで適用されないからその日の目を浴びないのだ。

でもまあ、使ってる身としてはこのスキルがソードスキルに適用されない理由が良く分かる。

まずこれはソードスキルなしで高速のソードスキルと同等の速度を出さなければ範囲が延びないが、それさえ乗り越えれば攻撃範囲の延長距離はその速度に比例するわけで……俺の今回の攻撃みたいな速度でそれをやると、破滅の使者との組み合わせで前方180度の視界内をほぼ切り刻む恐るべき攻撃を放てるんだよね☆ミ

代償として一定以下の速度で斬ると攻撃力がみそつかす級になるのだ。

しかもそれに加えて【暗器】【居合】の2スキルは狂気的な攻撃倍率を与え、【流星剣】がプレイヤーへ精神的ダメージを与えると同時に見た目をカッコよくしてくれる。

これぞ我が究極の攻撃よ……あ、でも実はリーチと見た目を犠牲にすれば威力をさらに130%くらい上乘せ出来るってのは秘密な。

前にやった相手泣いたから。

「……」

そうそう、ついでに言うなら暗器スキルは『攻撃したあと攻撃を受ける前に武器をしまうこと』で攻撃が発生するようになる代わりに攻撃力が上昇（なおそれが攻撃してから0・001秒以内なら3倍とかいうぶつ壊れ倍率だ）で、居合は同じ場所に留まって斬ることで攻撃力が上昇するスキル（五秒以上一步も動かず斬れば最大1・3倍）なんだ。恐らくこれを受けたふいーちゃんも暗器スキルで一瞬遅れた攻撃を受けるまで、何が起きたのか分からなかったろうよ。

だって突進したら突如として斬られてHPが1になったりしたら俺だって驚くしよ。

……とりあえずポーションぶっかけるか。

120・理数熊

おまいらー。さつきここにヒースクリフがガチでかやひこであることを教えてくれた100・が来てくれたけど、どーするよー？

戦いも終わっちゃったし、おもしれーこと補充せなあかんぞー？

121・真っ黒

それなら問題ない。

122・理数熊

と、言いますと？

123・真っ黒

有名なロリコンの聖地近くの平原で突如としてmobが皆殺しにされたらしい。

124・アツポー

123・普通やな。どーせバカなプレイヤーが狩り尽くしたんだろ？

125・真っ黒

124・いやそれが特殊でな……何やらほぼ全ての敵が同時に殺されたようなんだ。

リポップ時間の計算式を解析した奴がそう言った。

126・理数熊

つまりは多数のプレイヤーが同時に狩って同時に殺したって？

127・アツポー

126・それはそれですげーよ

128・真っ黒

残念ながら、そんなものも一切報告されてないんだわ。

……まあ犯人には目星が付いてるけど。

129・理数熊

つつついてるんかい。

130・アツポー

ついてたのかよ目星……それで？誰なん犯人は。

131・真っ黒

どうやらな、その時隊長さんが恐ろしく強い女プレイヤーと殺し合ってたみたいなんだが……その最中、隊長さんが何も無い空間を一刃断したら敵がみんな死んだらしい。

132・アツポー

わけがわからないよ。

どうして隊長はそんなに遠くまで攻撃を届けられるんだ。

133・理数熊

132・そーいや剣帝つつー剣の速度が一定以上だと速度に比例して攻撃範囲が広がるスキルがあった気が……

134・真っ黒

なるほどそれか。

ってバケモノじゃねーか。剣帝のスキルは基本ソードスキル並みの速度を素で出してようやく剣の1.5倍くらいの範囲になるんだぞ。

135・アツポー

133・逆に言うとおの隊長さんであれば本気の本気のガチモードならソードスキルを大幅に越える速度で斬ってもおかしくない気がする。

136. 理数熊

要約すると、隊長さんはやっぱりバケモノってことだね。
勝てるかボケー！かやひこ連れてこーい！

137. アツポー

136. つまりかやひこに死ねと。同感だわ。

138. 真っ黒

かやひこよ！貴様は全SAOプレイヤーによって包囲されている
！

……とか言ってみたいなあ。

139. アツポー

ワロタww

140. 理数熊

まあとりあえず、新たな話題も入ったし良いだろ。

俺たちのプレイヤーチャットはこれからだ！

(まるで打ちきりの如く) 完

【究極完全無敵超越の】俺とおまいらで最強の決戦メ ンバー選ぼうぜww【安価】

ふいーちゃんを倒した直後、峰打ちスキルにより生き延びたふいーちゃんが取った行動は迅速であった。

いまだ映像的にはのんびりと動き続けてる俺を放置してわんわんおを回収、ライダーモードで去っていったのである。

ちなみにその背中では泣いてるようにも見えたし、直後にメッセも来た。

『チクショーー！見えないし大抵当たる攻撃とか汚すぎんだよコンニャロー！』ってな。

当然心が広くて大人な隊長さんはこう返してやったね。

『ぎwwまあwwあれでもまだ人類の限界にや届いてねーぞwwww』と、さ。

なおこの際の人類の限界速度というのはウチの母親のドドドドド怒りパンチ(下手すりやどこぞのタコより速いかもしれない)である。

あれは強い。流石に俺でも避けられんだろうしガードも出来ない、つまり防がれるよりも、避けられるよりも早く攻撃すりや勝てるという事実を何よりも突き詰めたのがあの拳というわけで……

「おい店長！」

……なんだねろーくん。何か用かい？

君のことだからロクな用事じゃないのは知ってるぜ。

それに前ろーくんがトレカの大会やってる横でスリーブ大人買いたした挙げ句金の力……もといマネーパワーで強くしたバイクデッキを使って小学生ボッコボコにしたの知ってるんだからな。

「今回はマトモなやつだったの……つか何故それを知ってるんだし……」

そりゃ俺も良くやるからね。

今じゃ小学生の間で『ロリコンの妖精』『鬼畜魔王』の二大巨塔として割と有名なんだぜ？

ちなみに俺はこれでもジョバンニ10ターンキルを成功させたことでも結構有名だったりするから、リアルに戻ったら聞いてみるんだな。

「へいへい。それよりもニューズだぜ店長、今2つニューズがあるが……愉快かつほっこりしてしかもハッピーなニューズとクソどうでもいいニューズ、どっちがいい?」

クソどうでもいいニューズって何さ。

そんな前置き付けられると余計気になっちゃうんだぜ（ビクビク どうでもいい物ほど気になっちゃうんだよね俺は!）

「あつそ……Kobの団長がかやひこだったらしいぞ」

……うえい?

Kobの団長と言うとまだ俺も挑戦してなかった気がする数少ない実力派SAOプレイヤーじゃないか。

なるほど確かに都市伝説も出来るわ。中身がかやひこなら最強過ぎるもんな。

けどよ、一応はこのアインクラッドも作っちゃまったあのかやひこが、正体をバラすような馬鹿なマネをするものなのかね?

「どうやら熊さんを自称する奴との戦いの中、チート疑惑が浮上して、それに加えカデがプレイヤーチャットでかやひこの正体を告げて回ったんだと」

へえ。カデに裏切られるとか可哀想だなかやひこ。子供みたいなもんだらうに。

ひとまずバカじゃね?としか言うことはないんだが、とりあえずこれでもいいだろうさ。

だってかやひこがいかにな不幸だろうと一介のプレイヤーたる俺さんにとつてはメシウマでしかありませんもの。

「それでな、バレたあとヤバいと思っただらしかやひこはなんとバカな事をした」

……え?なにになに?

かやひこがドジったってマジ?ワロタ。

あの天才（ただし俺には負ける）がドジっちゃったの?

H A H A H A、バツカでえ。ざまあw

ところでなんだと言うのだね、そのバカなことつてのはさ。

隊長さんに教えてプリーズ。

「……『全プレイヤーの内三人で俺と戦って誰か一人でも勝てたら全員解放しちやるぞwwまあ無理だけどなww』だつてよ」

「……」ビキビキ

……おうかやひこ、よくそんなナメた口が聞けたもんだなあ。

今のS A Oで最強の人間が誰か知らないだろう？

もち俺だ。アイアム最強。ナンバーワン！

そしてそんな俺はかやひこであろうと最悪の場合一撃で葬り去ることができる技を持っている。

これは決まったな。かやひこに勝ち目が無いぜ。

「あ、それとかやひこに曰く決闘そのものの公平性を著しく欠くような物でなければ1つだけルールを追加しても良いってさ」

……ハイ倍プツシユキマシタワー。

特殊ルール採用していいんだな？

俺の知る限りもつともえげつないが聞いた感じそこまででもないあのルールを、適用していいんだな？

分かったよ、お前がその気なら……

俺は超越剣を熟練度MAXにしてから挑みに行つてやるぜ！

ハーツハツハツハツハ！

「マスターはなんで虚空に向かつて高笑いしているんですか？」

……エフ子よ、お前は どうして俺の痛い所を突いてくれたんや……お陰で最後に残っていたかやひこへの優しさが勢い余つて消し飛んだぞ……

【最終決戦】安価で出場者決めようずww【究極の安価】

【理不尽の具現】さん、【ピザが食いたかった】さん、【ランドセルになりたい】さん、【ぬこぬこしたい】さん、【わんわんお！】さんが入室しました。

システムアウンス：現在、このルームのみ一時的に特殊ルールが

適用されております。

【ルール名：ファイナル安価】

【入室せずともメール機能の送り先を『ファイナル安価』にすることで投票可能となります】

1. 理不尽の具現

つー訳でちとシステムいじって大人数で安価出来るようにしたつたww

2. ピザが食いたかった

ナイスウ。そして乙！

3. ランドセルになりたい

1・乙。そして今回のルール説明頼むわ。

4. 理不尽の具現

3・うわぁ短気。にぼし食う?……は冗談として、今回のルールを説明しちやるぜ。

5. ぬこぬこしたい

ヒューヒュー。

6. わんわんお!

どんどんぽぽぽ。

7. 理不尽の具現

5、6・おまいらやる気出せww

まあ、とりあえず以下が今回のルールな。

1. 勝てる奴を選ぶため、選択肢制

2. 隊長は強制出場、ゆえに選択肢に入れない。良いね?

3. 選択肢は黒の剣士、熊さん、おっさん、閃光、あと俺たちの希望の星……モーニングサボテン大阪イガグリモヤツトさん。

8. ピザが食いたかった

7・ちよww同じレスの中で矛盾発見ww

9. ランドセルになりたい

7・最後の奴じゃ勝てねーよwwチートしても無理だww

10. ぬこぬこしたい

7・モーニングサボテン大阪イガグリモヤツトよりぬこ出した方

が圧倒的に強いぞwwww

11. わんわんお！

いや待ておまいら……確かにモーニングサボテン大阪イガグリモヤツトさんは弱いさ。それは認めよう。

しかし最近のモーニングサボテン大阪イガグリモヤツトさんは一味違うのさ。

どれくらいかと言うと焼き栗と生の栗くらい違う。

最近のモーニングサボテン大阪イガグリモヤツトさんは……とにかく堅い。

分厚いフルプレートメール、フルフェイスのバケツマスク、そしてメイン楯。

奴であれば多分かやひこの猛攻にも耐えられるはずさ！

12. ランドセルになりたい

11. っつまりは攻撃能力皆無ってこと？

13. わんわんお！

12. うん。

14. 理不尽の具現

……よし、とりあえずモーニングサボテン大阪イガグリモヤツトさんに安価が行くように願いつつやろうぜ安価。

全プレイヤーへ投票用メールを一斉送信！

システムアナウンス：コードを確認。全プレイヤーに対して設定されたメールを送信します。

15. ピザが食いたかった

おお、流石はカデさんだ。システムに干渉出来る奴がいると違うわ。

16. 理不尽の具現

そう褒めてもピザの味をより良くすることくらいしか出来ないぞ。

17. ぬこぬこしたい

16. ちよつww流石はカデ、名前の通り理不尽だわww

18. 理不尽の具現

そう褒めるな。それと今安価の集計率は全プレイヤーの七割だか

ら、あと少いで投票終わるぞ。

ところでおまいら誰に入れた？

19．ランドセルになりたい

熊さん。こん中で俺にとってもっとも嫌じゃない人選という意味で。

20．ぬこぬこしたい

おっさん。ガチでかやひこをやってくれそうじゃないか。

21．ピザが食いたかった

黒の剣士だな。なんだかんだで知り合いだし。

22．わんわんお！

閃光さん一択ですぜ。

悩殺すれば倒せる（確信）。

23．理不尽の具現

ふもふも……おまいら見事にばらけたな。

しかし残念なお知らせだぜ。

今回の投票の結果、それでルーレットを作ってみたんだが。

その結果がこうよ。

黒の剣士：2%

おっさん：5%

閃光：8%

熊さん：16%

モーニングサボテン大阪イガグリモヤット：69%

……お前らモーニングサボテン大阪イガグリモヤットさん好きすぎイ！

24．ピザが食いたかった

知ってた

25．理不尽の具現

まあ良いさ。おまいらがこれを選ぶのは知ってたからな。

次こそが本命なんだぜ！

【まさかの】隊長Sブーツキャンプへようこそ！【結末】

みーんなー！隊長ズブーツキャンプ、はっじまつるよー！
「おー！」

エフ子、良いノリだぜ。

まあそれはともかくとして、隊長ズブーツキャンプ、本当に開始だ。隊長ズブーツキャンプとは、それつまり俺による俺のためのスーパー俺強化作戦の事である。

今回はレベリングと超越剣の熟練度を稼ぐんだが、やはりというかなんとというか、超越剣が強いせいなのかは知らんが後半になるにつれて熟練度が上がりにくくなってきた。

だから、ここらで一度効率の良い稼ぎ場を探さないといけない。そして俺は、そこにアテがある。

本来なら行っちゃダメな場所だが、今回はろーくに貰ったキチガイアイテムもあるし問題ないだろうよ。

よし、エフ子！まずは準備だ！町で色々買おうぞ！

「了解ですー！」

良い返事だ！それじゃあ最初に使い捨ての武器を購入するぞ！
武器屋で軽い武器を探して買い占めるんだ！

俺は敏捷値の高さと一切の無駄を省いた歩法によって、町の中を疾走ならぬ疾歩していく。

時にまつすぐな道を。時に壁を、屋根を。

そしていくつもの障害を乗り越え……目に映るのは多くのプレイヤーたちが武器を売却することで有名な、エギルという男の店だ。

俺はそこで無数の武器を買おうと思う。

何に使うのかはまだお楽しみだけだな。とりあえずマトモなことじゃないことだけは言っとくけどさ。

俺は無駄なことを考えつつも、俺の疾歩に合わせて後ろを付いてくるエフ子と共に謎のドヤ顔で入店した。

ドヤ顔で誰かがイラツとして勝負を吹っ掛けて来たら熟練度稼ぎに全員フルボッコにしてやるとしようか。

フルボッコにされる方からしたらとんでもないことだろうがな。
「らっしやい」

……何かとんでもないことを考えながら入店した俺を待っていたのは、驚くほど落ち着いた酒場といったイメージの内装。

すげえなこれ。内装こだわりまくりSUGEEEEよ。

ただなあ……店主のエギルさん、あれはどういうことかね？

「ん？どうしたんだ？」

いや、ちよつくら気になつてさ。

「……ああ、あれか。別に大した物じゃないし、気にするなよ」

いやいやいやいや！いくらこの隊長さんでもあれは見逃せねえぞ。というか常識的にありえん。

……なんでアンタは今フンドシ一丁で店中に死体がゴロゴロ転がってんの!?

一体何があつたと言うんだ……俺も常識人の端くれとして言わせてもらうが、いくらなんでもこの人数は異常だぞ。

2、3人は可愛いものだろう。4、5人もまあ、少ないほうだ。

しかしこれは……ざつと見ても15人以上居るじゃないか。

これはひどい。

関わり合いになりたくはない人種ですな。エフ子の教育のために。
「それより、アンタは武器を探しているな？」

……前言撤回。コイツすげえ。

見ただけで客の欲しいものを知るといふ技術は俺でもまだ無理なのに。

俺なんて精々客を見てその体の動きや肉付き、言葉遣い等から感じとれる性格を見てからじゃないと分からねえのに……ただ者じゃないね。俺のサイドエフ……勘がそう言ってる。

「そうだ。とりあえず脆くても良いから攻撃力の高い武器を種類を問わずありつたけ頼むわ」

「了解だ。それじゃ……おいお前ら！とにかく攻撃力の高い奴、とり

「あえ、5マッスルくらい持ってる！」

「5マッスルってなんぞな。」

「……まつする？」

「エフ子も不思議がつてるし、一体なんなんだその単位は。」

「とりあえずプレイヤーが所持出来るアイテム数的に考えて5セツト入る量なら……1マッスル12〜16個ということになるのだが。」

「しかし12ならダースで良いよな。じゃあマッスルは……そうか16だ。」

「え？理由？そりゃ16の5倍は80。8の10倍。8、10。8、ten。」

「要約するとこのエギルって奴がそっち系に見えたからだ。バレたら怒られそうだが。」

「1マッスルの意味を考えると、かいうマッスル面倒なことをマッスル無意味に……何故マッスルに侵食されているマッスル？……考えていると、店の奥からこまたドンドン丁のガタイの良い男たちが出てきて大量の武器を運んで来た。」

「その数はざっと見て80本。俺は硬直した。」

「これで良いな？」

「……ハッ。少し余計なことを考えたせいで思考停止していたんだぜ。」

「しかし今尻に感じた得体の知れない嫌な予感、は幻覚やそういうものの類じゃ決してねえ……本物の恐怖だった。」

「チクショウ、この店には一体何があると言うんだよ。」

「……いや、まあそれでも買うんだけどな。武器そのものは悪くないんだし。」

「俺はお値段を見て、それを一括で払う。」

「総額2000000000コルほどになってしまったが気にしないことにしよう……どうせ浪費したのと同じくらいには補充もするんだ。気にしたって始まらないさ。」

「それじゃ、行こうぜ。地獄の修練場になあ！」

―民意による誰かのための究極安価中―

26・理不尽の具現

よしおまいら、次の安価だぜ。

黒の剣士、閃光、おっさん、熊さんの四人から選べ。

27・ピザが食いたかった

26・ところで熊さんで思い出したが、某熊さんソングが一時期話題になったことあったよな。

28・わんわんお！

やめろオ！それ以上は駄目だあ！

29・ぬこぬこしたい

宇宙の 法則が 乱れる！

30・ランドセルになりたい

27・そいつあ俺が児童館で小学生たちに披露したアレですかな。

31・ピザが食いたかった

30・おま……なんでもない。

32・理不尽の具現

30・おまwアレをやったのかww

33・ランドセルになりたい

もちろんさあ！

しかし知り合いが全力で伴奏作り替えてくれやがったがなwww
そのせいで俺の方誰も見なかったぞwww

34・わんわんお！

33・ざまあ。

35・ランドセルになりたい

34・……野良わんわんおに近付いたら避けられた挙げ句近くにいた別の奴にめっちゃ媚びまくってる光景を想像しろ。大体それだ。

36・わんわんお！

くあwse drft gyふじこーp

37・ぬこぬこしたい

ワロタww

38・ランドセルになりたい

37・野良ぬこに煮干しあげたのに逃げられた挙げ句別の奴に媚
びっ媚び。

39・ぬこぬこしたい

f m q x m q c q h c n a p

40・理不尽の具現

おまいらパニクリ杉だろワロスww

まあそれはとにかく安価始めようぜww

システムアナウンス：全プレイヤーへ、安価投票用メールを送信し
ました。

41・理不尽の具現

さてさてさーて！誰が出るかな、誰が出るかなあ！

42・わんわんお！

41・ちよwライオンの○きげんようかつてのww

43・ピザが食いたかった

41・懐かしすぎんだろww

44・ランドセルになりたい

41・お前が知っているとは予想外だw

45・ぬこぬこしたい

41・つーかここ数年以内に生まれた筈のお前が何故……

46・理不尽の具現

45・かやひこの趣味。これを含む趣味データで主要メモリの二
割くらいが潰れてる。

そのせいでインクラッドが終盤に行くにつれてこの二割をやり
くりするのがキツくなつてバグが多発したことがある。

要約するとかやひこ死ね。

47・ぬこぬこしたい

ド直球やなおまいww

48・わんわんお！

カデの反抗期ww

49・ピザが食いたかった

46・そりゃキレるわwwww

50・理不尽の具現

ちなみに俺がかやひこの正体をバラしたのは俺の作戦の一割にも満たないんだぜ。

本当の作戦は、これからだ！

つっわけで集計終わったから次のレスで発表するわ。それまでにおまいら誰に入れたか発表よろ。

51・ピザが食いたかった

50・あまりの超展開に着いていけないぜ。

黒の剣士に入れた。

52・わんわんお！

あえてここで宿命的なソレを感じて黒の剣士。

53・ぬこぬこしたい

何か運命的なものを感じたのでおっさん。

54・ランドセルになりたい

堅実に行くためおっさん。

55・理不尽の具現

……結果。

おまいら、ほぼおっさんVS黒の剣士。

民意………閃光様の圧勝！

！
票の91%が閃光とかふざけんなお前ら本気で投票しろやボケエ

……ムカついたから次のレスからかやひこの黒歴史ぶっ続けで流し続けてやる。

このあと滅茶苦茶かやひこが精神的リンチされた。

【超越者】I can fly! 【重力など無駄無駄ア
!】

隊長ズブートキャンプ、準備は出来たかな？

飯は食った、武器は用意した、スキル構成も確認した、もちろん回復アイテムも忘れていない……あ、でも1つだけスキル確認してねーや。

よし、それじゃそれだけ確認したら行くか。

俺はメニューから超越剣のスキル欄を開き、そこに書かれたあるソードスキルの概要を見る。

【ヘルグラトニー】

『万物を喰らう暴食の牙。触れる物全てを抉り捕る』

いかにも厨二病が考えそうな技だなこりや……（苦笑）。

しかし、コイツは特殊なスキルっぽいから一応試してからじゃねえと見えねえんだよな……ガツシユフアングから接続って、どうやるんだか。

開始モーションもほぼガツシユフアングの終了モーションを多少ずらした程度だけどそもそもソードスキルをソードスキルに繋げるって、どうやるんだ……

物は試しとしても武器二本を失うガツシユフアングから繋げる技とか、使いたくはないよな……

よし、さつき言ったことをいきなり覆すことになるけどこれを試すのはやめにしよう。

大枚をはたいて買った武器を無駄にしたくはない。

「よしエフ子！今から『95層以降の迷宮区を補給なしでソロ完全制覇』に行こうぜ！」

そう考えて、俺はエフ子と今から挑戦するブートキャンプのメインイベントを伝えた。

隊長ズブートキャンプ。それは俺が考えうる中で最もレベリング効率の良い戦闘。

ゆえに滅茶苦茶なことになるのは想定していたが……正直自分でも頭おかしいと思えてきた。

しかし、反面割とやれる気がする。

今はワンサイドガチ改（今思い付いた。ワンサイドガチの手加減や見た目を削り実用性を高めた狂気の編成。流星剣と峰打ちが無いため至極当然のように不可視の攻撃が飛んでくる）や超越剣、とつくに100を大幅に越えているレベルと武器もあるからな……武器のことを考えなければ行けるだろう。

というか補給なしという条件をやめればハッキリ言つて余裕。

なのであえて補給なしを取り入れてみたわけだ。どうだ見やがれ、これが俺だ。

「はいーゴーゴーーです！」

そんな思考の最中、エフ子から元気の良い返事が聞こえてきた。

……よし、行こう。

俺は転移門へと足を踏み入れ（ただし踏む必要はない）、転移先を叫びながらその場で伸膝後方宙返り（縦に）六回転捻りを決めるのであった（もちろん不必要なパフォーマンスだ）。

……で、転移先、95層の街。名前は知らんがとりあえず狭いです。

しかも活気ねーなこれ。75層なんてメチャクチャ活気あるってのに、最前線のクセに情けないぜ！

どこか理不尽なコメントを漏らしつつ、街の出口を探した。

パツと聞いた限りの事前情報では『死ぬほど迷う街95層主街区』らしいからな。

だがしかし！その程度で！俺を阻めると思ったら大間違いなのだよ！

スキル編成を一時的に変更し、エフ子を背負いいつも通り屋根に登……らず、今回は空中であるスキルを発動する。

【多段ジャンプ】。SAO史上数少ない空中での軌道変更を可能とするスキルだ。

コイツが発見当時どれだけSAOを騒がせたかは、とりあえず当時の攻略組が躍起になって、しかも攻略に多少支障をきたしてでもスキルマしようとしたことから明らかだろう。

しかしその強力さと引き換えに……このスキルはとんでもない特性があった。

なんと、多段ジャンプの可能な判定時間が大体12フレームしかない上に敏捷が低いとジャンプしたときの速度は遅いわ筋力が低いとそこまで飛ばんわでもう大変。

しかもジャンプの精度が高くないから相当平衡感覚がないとこれを使いこなせなかった。

で、そこに12フレームしか判定時間がないという制約が加わることで……晴れて多段ジャンプはお蔵入りする。

だがな？この俺が使えばそのお蔵入りスキル、多段ジャンプも輝くのさ。

12フレームあれば狙うのは難しくもないし、そもそも俺が前にHMD（頭に被せてやるタイプの非フルダイブ型VR機器）でやってたオングェじゃ、それこそ1フレームの数分の一を要求されることもあったんでな。余裕のよっちゃんってワケよ。

ついでに言うと今の俺はステータスもバカみたいに高い。バランスはどちらかと言えば敏捷型だが、筋力もそこそこ高いし……要約すると理想的な多段ジャンプが出来る。

そして、ジャンプ精度は中でも一番解決方法が簡単だった。

そう、立体機動スキルは今日も絶対調なんだよ。

三次元的な動きの総合サポートたる立体機動の熟練度マックス時に入手する能力の1つとしてジャンプ中に意識して体を動かさないと姿勢が崩れなくなるという物があるんだ。

それを使えば、いかに使いこなしにくい多段ジャンプでも簡単に使いこなせば……

しくじったんだぜ。ブーツとしながら多段ジャンプ（三回ごとに判定されるフレームが1減っていく）してたからついつかり墜落しちまった……あぶねえ。

落ちてたのが圏外だったらと思うとゾツとするね。

まあ今回は95層だからスペースも少なく、天井もそこそこ近いから遠からぬときに落ちていたんだろうがな。

そう思えば落ちたのも俺のせいじゃ……（露骨な言い訳）

【安価】隊長に仕返ししたい

【わんわんおー】さん、【ポチ】さん、「こんにちワン」さんが入室しました。

1. わんわんおー！

とりあえず隊長に仕返ししたいから立てた。以下5・まで質問を受け付ける。

2. ポチ

犬は何が好き？

3. こんにちはワン

隊長に何された？

4. ポチ

犬にされるなら何が一番？

5. こんにちはワン

とりあえずおまいの性能よろ。

6. わんわんおー！

おい4・エ……何聞いてんだよ……答えるけど。

2. 大型犬全般。

3. 隠しエリアに置き去りにされたあと復讐しようとしたが返り討ちにあつた。

4. 背中からのしかかられるのが一番です。

5. レベル100オーバー、短剣使用、タイムモンスター（犬）×

5体、金はある。

7. こんにちはワン

6. ちょwwガチ勢が隊長に挑もうとしてるぜww

これは協力せねば（使命感）。

8. ポチ

残念……俺は小型犬派だぜ……

9・わんわんお!

なんだろう、この安価大変なことになる気がするぞ。

まあ手始めに15・で。

10・ポチ

近いな。

11・こんにちワン

まあそれだけ近いならk s kは必要なさそうので安心した。

12・ポチ

11・k s kすると名前の分半ニートが字数稼ぎに使うらしいから、しないにこしたことないらしいぜ。

13・こんにちワン

筋肉ムキムキのおっさんのストリップ画像。

14・ポチ

児ポ法に完全に違反している映像を送り付けてア○ネスを差し向ける。

【朝食はパンツ派】さんが入室しました。

15・朝食はパンツ派

おっさんの使用済みパンツ口に突っ込もうぜw w w w w

16・こんにちワン

暗い部屋に閉じ込め延々と挨拶の魔法聞かせる。

17・ポチ

N P Cが学習する習性を利用してエフ子ちゃんに誤解を招く単語を覚えさせる。

18・わんわんお!

15・w w w w w

19・ポチ

ちよつw w w 15・w w やめれw w スナイパーやめれw w w

20・こんにちワン

どれだけ狙ってたんだよw w お前は一発の銃弾だとも言うのかw

w

21. 朝食はパンツ派

ハツハツハ、俺はただ、通りすがりのパンツマスターさ！
狙ってはいたけどね！（キリッ

22. わんわんお！

……まあいいや。安価は絶対だし、これを採用しよう。

隊長への仕返しは口へのパンツ投入。

しかし誰のパンツを？そしてどうやって？

次28

23. ポチ

……さて、21. 次こそは負けないぜ。次は俺が絶対に安価をとつてやる。

24. 朝食はパンツ派

へッ、取れるもんなら取ってみな！この負け犬が！

25. こんにちはワン

おまいらしい加減にしろ……

26. ポチ

DKBライダー、ディアベルのパンツ

27. 朝食はパンツ派

第七層のクエストで特定の条件を満たすと手に入る敵避けアイテム、『オサンパンティ』。

28. こんにちはワン

22. の脱ぎたてパンツ

29. 朝食はパンツ派

メタルオーガーのドロップ品である『鉄屑パンツ』

30. ポチ

66層特殊クエストクリア報酬、『白い聖域』

31. わんわんお！

28. ……え？

32. こんにちはワン

テラワロタww

33. 朝食はパンツ派

28・まさかの盲点。そこがあったか。

34・わんわんお！

そこがあったか。じゃねーよ。

私のパンツ口に突っ込んでどうすんだ。

35・ポチ

突如として町中でパンツ口に突っ込まれたら混乱するだろうね。とても。

36・こんにちワン

まあ、頑張れよ34。強く生きろ。

【こんにちワン】さんが退室しました。

37・朝食はパンツ派

あwお前らすまんww俺今から明日のパンツ買いに行ってくるから抜けるわwww

38・ポチ

それじゃ便乗して……

【ポチ】さん、【朝食はパンツ派】さんが退室しました。

39・わんわんお！

一人で何をどうしろと……

【わんわんお！】さんが退室しました

【隊長】さんが入室しました。

40・隊長

フツ……残念だったな、お前の行動は俺のホームであるプレイヤーチャットを使った以上、完全に筒抜けだぜ！

【隊長】さんが退室しました。

【大惨事】おいこれwwひでえことになってるぞw

ハンマーを振るう。そしてそれでノックバックしている間に隙間を縫うようにしてモーションを引き延ばして待機させといた閃打が命中し、更にノックバック……で、さらにスキルを繋げる形で自然にメテオブレイク（蹴って斬ってタツクルするソードスキル）。相手は死ぬ。

……みたいな作業を繰り返すこと二時間。俺は95層迷宮区とある問題に直面していた。

この迷宮区、やたらと敵が多い。

それこそポップ出来る敵の数に上限ねーのかよとか思うくらいに、敵が多い。俺じゃなきや即退却を選ぶだろうね。

だってみんなみんな高レベルで連携もしてくるんだもの。

ついでに言うと、あえて入口付近で1対1を延々と繰り返す戦法を取ってなきや俺でもワンサイドガチの使用を検討しなきやなんないレベルだ。

てかなんなんだよ、コイツ……『粘菌スライム』ってよお！

触れてると固定で1ポイントずつスリップダメージを喰らうのは良いとして、その攻撃一回毎に増えんなやゴルア！

HPはどうやら1で固定っぽいし殴っても攻撃による武器の耐久値減少が起こらないようだが、モンスターを食いまくって増殖したのかはたまた堅いプレイヤーを食い荒らしたのか、暴力的な速度で増殖して迷宮区いっぱいに広がっていやがるとかマジファツキユーだぜかやひこ。

もうこれ完全にフルコース以外の武器産廃決定だぞこの迷宮区はよお！

俺は、調整を間違えてくれやがったかやひこへの怒りを発しつつ、とりあえず手に持った神槌フルコースを降り下ろし続ける。

時々メテブレのクーリングタイムが切れる度に使ったりしてるから駆除の効率は悪かあ無いんだが……いかんせん敵の数が頭おかしい。

質より量を体現しすぎじゃねーのこの敵。

自動回復を付けてても時々退却して離れないとHPがガリガリ減るし、最悪この上ない。

唯一の救いが迷宮区を出てこない事とマジメに言えるくらいに面倒とか、一体なんなんだつての……

つーか今俺大量に使い捨て可能な武器あんのにもつたいなさすぎて使えないだろコンチキショー！

いつそふざけてガツシユフアング連打してやろうか？そうだそれがいい。

……と、そんな頭の悪いことを考えるくらいに俺は追い詰められていた。

これが人型で銃を持つてるとかならまだ良いんだが……ぬう。面倒だぜ。

そして、俺はフルコースを振りながら片手間にメニューウインドウを開いて自分のスキル欄を見てみた。

自動回復の熟練度、みるみる内に上がってくなー。あまり嬉しくはないなー。

あとフルコースを使い続けてもまったく耐久値が減らないし攻撃力も目まぐるしく推移するとかもうこれ何ゲーだよ。

まあ本来なら攻撃による減少が無くても粘菌スライムの能力で耐久値が減っていくんだらうけどな……ここについてはフルコースの特殊な性能に感謝しよう。

しかしどうしたものかね……毎度ピーキーだが強いソードスキルを提供してくれた超越剣にも、隙が少ないモーメント以外に使いそうなソードスキルが無いぞ。

メテブレみたいに全身に判定が生まれるソードスキルがありやあ良いんだけどな……ん？

なんだ、ヘルグラトニーの所に「ー」とか何があったんだ……とりあえずそこを選択してヘルグラトニーの項目をしてみる。

もちろん、フルコースで粘菌スライムを殴りながらだ。

『暴食の牙は殺戮の牙。一度食事を始めれば敵の体を渡り歩いて食

荒らす』……ふむ、要約すると連鎖攻撃系の可能性ってことか？

ヘルグラトニー、お前このタイミングでそれとかマジ笑えるわ……最高じゃん。

クイツクチェンジ！理剣ルーラー&筆剣ヤオヨロズ！……別名『名前負けの理系剣』と『名前負けの文系剣』！

俺はやたら都合が良いなー、裏ありそうだなーとか考えつつも急いでクイツクチェンジの隅に登録してあった武器を装備した。

理剣ルーラーは刃の部分に数字が刻んであり、正に定規（英語でルーラー）と言った見た目なのだが……なんと目盛りにも5と刻まれた所の周囲にしか判定が無いがそこに当たればどこに当たっても急所判定になる。

そして、筆剣ヤオヨロズの方はその対極とも言え、急所に当ててもダメージが増加しなくなる代わりに判定が横に広い。

で、それを組み合わせて隙を消そうとしたのがこの二刀流なのだが……はつきり言ってルーラー、貴様は要らんかった。

だが二刀流で壊れても構わんのはお前らだけだ！すまねえな！

とりあえずこれからぶっ壊す剣に謝ってから、ガツシユフアングを粘菌スライムどもに放つ。

……獅子の一噛みのような一撃が、粘菌スライムたちを襲う。

そして、それを喰らった粘菌スライムたちの後を追うように、周囲数十メートルの他の粘菌スライムたちも次々と死んでいくではないか……

まさか、ヘルグラトニーって自動で繋がるタイプだったのか!?

うそーん。これまでどうやりや繋がるのか分からなくて使用を自重してた俺がバカみたいやん……

自分で自分に呆れつつ、手の中で響いたパキンという音を聞いてから体の力を抜く。

この感じなら、結構狩れたし少しは中に入れるだろうよ。

なんか気が抜けたなーなんて気付いてはいるんだが、必死の攻防をやり過ぎて疲れ果てたせいか体が思ったように動かせない。

まあそれでも大丈夫な筈だ。なんせヘルグラトニーは延々と喰ら

い尽くす牙……らしいし、この流れならいずれ全滅してくれるだろうさ。

俺は謎の達成感と共に、なんとなく通路の奥を見た。

「ヌルア……」

仲間の死体を喰らって増殖していく粘禁スライム（倍増中）が、そこにいた。

……オワタ？（＾o＾）／

【緊急事態】かやひこふざけんな！【半愚痴半情報】

【ネズミーマウス】さん、【某蜂蜜熊】さん、【ハブラレンゲル】さん、

【レーザー】さんが入室しました。

1. ネズミーマウス

最初に言っておく……オレっちのこの名前はただのネズミ型PC用マウスのことを表しているだけだ！

2. ハブラレンゲル

1. ちよw逆に怪しいぜw

3. 某蜂蜜熊

そうですねw

4. レーザー

ハイハイ！自分も人のこと言えない奴が一人いまーす！

ちなみに3. のことじゃないよw w

5. ネズミーマウス

4. つまりは3. のことだな。理解したゾ。

まあそれはともかくとして、おまいらも知ってるだろうがかやひこの奴が頭のおかしい設定をしゃがったんだ。

その名も……『決戦終わるまで攻略させません作戦』！

6. 某蜂蜜熊

うへえ……GM権限使用しやがって……

7. レーザー

ところでなんか俺は嫌な寒気がしたんだが。

8・ネズミーマウス

7・名前がそれだし、ゾンビにやられち仮面ライダーなんとかさんに近いあれじゃないのか？

かやひこがやったのも、ゾンビ並みの増殖力で何度殺してもすぐ復活する粘禁スライムとかいう奴だし。

アイツらはヤバイゾ……

9・ハブラレンゲル

8・粘禁……？薄い本にでも出てきそうだな。

10・某蜂蜜熊

9・とりあえず誰かを沈めてみたくなる名前ですね。

11・レーザー

9・粘禁……爆発……ジャンプ土下座……J O J O……うつ頭が

……

12・ネズミーマウス

そんで、そんな粘菌スライムたちなんだガ……HPは固定で1、攻撃力は1だけど当たる度に増殖していくし、恐らく触れてるだけでえげつないくらいに増えるからまず囲まれたら負けレベル。

あと仲間の死体も喰って増えるし……多分あの隊長でもメタ的な武器か技でもなきや勝てない系の敵ダ。

13・ハブラレンゲル

12・爆弾投げまくったらどうよ？クレイジーボムについては毒沼に落としてドンした記録がある筈だけど。

14・ネズミーマウス

残念ながら爆弾で殺しても死体が消えないからナ……皆殺しにさえ出来れば良いんだけど。

15・某蜂蜜熊

いや待て……ものを食うなら、毒瓶とか食わせたら良いんじゃないか？

16・レーザー

あ、なるほどw仲間を食うならその状態異常が子孫に受け継がれてもおかしくねーわw

これは良いんじゃないかw

17. ネズミーマウス

16. ■もう試したゾ。毒薬を掛けても投げても効かないみたいだ。その上攻略方を調べ回って見ても見付からないし……こりや解放を待つしかないネ。

【布告ウサギ】さんが入室しました。

18. 布告ウサギ

【このレスは現在複数の攻略系スレへ無差別に書き込まれています】
朗報、朗報。どうやら隊長が粘菌たちに挑んでるらしいよ。
しかもかなり良いとこまで行ってるみたいだし、良く分かんないけどユニークスキルか何かでもあるんだと思う。

とりあえず、今後の情報に期待だね

【布告ウサギ】さんが退室しました。

19. ハブラレンゲル

ヴエエイ!?隊長が粘菌に挑んだあ!?

20. レーザー

おいおい、まさかいくら隊長でもあれはどうにもならんだろ……
ならない、よな?

21. ネズミーマウス

……情報で負けた、か……
ちよつと鍛え直してくる。

【ネズミーマウス】さんが退室しました。

22. 某蜂蜜熊

どうやらスレ主が抜けたようなんで、俺も。

【某蜂蜜熊】さんが退室しました。

23. レーザー

おいw俺ら二人だけじゃないかw

24. ハブラレンゲル

せやな。

25. レーザー

そんじゃこつからは粘菌について語ろうぜw

【危険なゾンビ】さんが入室しました。

26. 危険なゾンビ

おや、ここに粘菌という言葉が聞こえたのだが……

27. レーザー

あばばばばば……嫌な予感しかしねえぜこりは。

【レーザー】さんが退室しました。

28. ハブラレンゲル

27. えwちよww逃げんな可哀想だろ26. がww

29. 危険なゾンビ

……さて、二人つきりになったことだし、粘菌について

語らないか

30. ハブラレンゲル

慎んでお断りいたします！

【ハブラレンゲル】さんが退室しました

【何かがおかしい】隊長は隊長ゆえに隊長である【前編】

あらまどーしよ。泣いちゃうよ俺。

俺は必死になりながら、迷宮区の入り口付近でひたすらにフルコーズを振り続けていた。

心も体も疲れ果てて今や気力だけで戦っているようなもんだけど……マジでどうするんだこれ。

いくら倒しても湧いてきて、なおかつ微妙に増え続けてる気がする。

まるで何か奥にとんでもなくHPの高いものがあって、それを苗床に増えてる……みたいなの？

うわあ何それ絶望しかないじゃん。

いくら倒してもその苗床が消えるまで延々と増え続けるし、しかも俺は限界寸前……いや、実際はあと数時間くらいはやれるけど、気持ちの問題で限界寸前……だし、エフ子を守りながら戦う関係上ヒットアンドアウェイでやる訳にはいかない。

普通の敵ならそこら辺も問題ないのに、どうしてこうも数で攻めてくる敵はめんどくさいんだよ！

俺は、もう考えるのもダルくなりながらフルコースを振り回し始めた。

もはやそれは攻撃なんてものですら無く、ただの悪あがきだったけど……しかし退くことは俺のプライド（5円以下）が許さない。

だからとりあえずひたすら殴り続ける……秘技！気合いと根性でなんとかか……ならないけどそこを理不尽に解決する俺クオリティ！

（混乱）

まあとにかく、今は武器を振り続けようと思うんだ。

ハッキリ言って入り口付近で両手にマンガ肉持ってあらぶる姿は不審者そのものだが……だが気にしない。

俺はもう何がなんだか分からなくなってきたつも、必死に粘菌スラ

イムたちを倒し続けていた。

時々レベルが上がっても気にすることなく、ただひたすらに武器を振るう。

その回数は何回か……百回？ハッ、そんなんじや利かないね。そこにドドンと倍々々々々々々々々々々（1024倍）プッシュユだ！

そして討伐数は優に20000を越しただろうよ。

だって俺、ここまで凄まじい数の粘菌スライムを殺戮したし。

一回だけやって大惨事になったヘルグラトニーでも大量殺戮したし……

いや待て、なんか今嫌なことに気付いたぞ。

超越剣のソードスキルにデメリットのない技がこれまでであったか？

いや、無い。

だがヘルグラトニーはどうだ。

威力はガツシユファンクからの派生と言うこともあり申し分なく、範囲なんて凄まじいの一言。

それでいて反動ダメージとかはない……そんな上手い話はないよな。つーかあったらすでにSAOは俺が攻略してるだろうさ。

それで、ヘルグラトニーのデメリットは、どこにあるかをなんとなくで考えてみた。

ステータス低下？NONO、そんな温いもんじゃない。

金銭関係？……ありえないね。それなら最初から1コルも持たずに来る事で簡単に対策できる。

あとはなんらかの嬉しくない出来事ということになるが、これまでの超越剣の特徴から、1つだけ言えることがある。

……レベル下がってんじやね？

俺は粘菌スライムたちの相手をするのを一旦やめて、エフ子呼び戻すと共に迷宮区から脱出、自分のレベルを確認する。

【レベル127】

……3レベル下がってる。

確か突入前は130かそこらだったはずなのに……いや待て。

俺は何回レベルアップ音を聞いた？

記憶を遡って検証する。

ヘルグラトニーの時に結構な数……大体10回くらい鳴って、長いこと粘菌を荒らしてる間にはもつともつと鳴っていた。

合計で言うと50回近く鳴っていた気もする。

……いや、もしかして、ヘルグラトニーは一回で50レベルを消費するとかじゃないよな？

いや、いくらかやひこでもそんなことをすればクレームどころじゃないってのは理解しているはずだ。

よし、試そう。

俺は謎の義務感と共に一人で迷宮区へ舞い戻り、武器をグリップがやたらネバツとしていて、有名人スライムソードと逆にグリップがツルツル過ぎて手からすっぽ抜けやすいメタルスライムソードに変える。

余談だがこれは流石にギリギリアウトな気がするんだが、SAOがデスゲームじゃなけりやどうなっていたんだろうな？

いやホントどうでも良いんだけどさ。

それより今はヘルグラトニーの力を試してみないといけないよな。

俺は意味のない思考を振り払って、粘菌たちへ向き直る。

そして剣を構えてガツシュフアング、あるいはヘルグラトニーを発

d……えっちよそれはありえなばばば!!

……ふう。死ぬかと思った。

迷宮区のギリギリ外で、俺は額の汗を拭いた。

まあSAO内だから汗なんて出ないんだけどね！

しかし、それはともかくとしてヤバかったなあ……うん。いくら俺でもヤバかった。

そりやあ、俺が下手に殲滅したせいで逆に勢いの増したアイツらが相手じゃそりや転ばされるわな。

え？何があつたのかつて？

そりや簡単さ。

『ガツシユフアングを撃とうとした俺を粘菌の波が飲み込み、急いでポーションを飲まなければ死んでいたようなピンチに追い込まれた』ってことだよ！

ああもう、なんてこつたい。

どうやらガツシユフアングの武器喪失判定は攻撃が出る前に決定してるみたいだから武器は失つたし、しかもこの感じだとレベルも……

【レベル127】

あ、レベル変わつてねーじゃん。良かった。

これで77とかだったらマジ泣いてただろうなあ。ホントにここまでレベル上げたのって大変だったし……いやマジで多分大変だったかも。

主に隠しエリアでの戦闘とか大変だったよな。

あと今何故か思い出したんだが、例のバグ渓谷の時は気持ち良かった。

まあクイツクチェンジ式の飛行は空中でジャンプ出来るスキルで代用出来るにしても、やっぱりあの時で記憶に残っているのはあれだよな。

爆撃ごっこ。

俺が空を飛んで上空からひたすらクレイジーボム投げまくつてさー。いやー、あれは爽快だったわ。

ん？いや待てよ……クレイジーボム？

……良いこと思い付いた（悪人スマイル）。

【隊長さんの敗北】おまいらwwあの隊長が負けたぞww【下剋上】
【名無しさん】さん、【たかし】さん、【だがしかし】さんが入室しました。

1. 名無しさん

9 5層在住の現役攻略組なんだけど、ちよいフィールドで投下。

あの隊長が現在かやひこによって封鎖中の迷宮区に突っ込んでっ
て……俺が何匹か狩り殺したあと、気付いたら隊長がマジな顔で迷宮
区から出てきた。

余裕も無かったし……これは隊長の初めての敗北なんじゃね？

まあ相手は攻略不可能系の敵だけだ。

2. たかし

ちよwあの場所に突っ込んで数十分耐えるとかどんだけwww

3. 名無しさん

1. お前挑戦したん？

4. たかし

せやで。

防御ガツチガチに固めて、非常用に転移結晶とスタンボム持って
いったんだよ。

したらな？あいつらは……俺を食い物にしやがった。

5. だがしかし

4. 何をしたねん。あれか？捕食行動しちゃったのか？ワロタ。

6. たかし

それでな……あいつらは、まず俺の鎧を食った。5. の言う通り、
捕食したんだ。

でもそれだけじゃねえ。

増えたんだよ。あいつらは。

7. 名無しさん

ちよwシリアスムードやめいw

8. たかし

7. スマソ。

でよ？俺はとりあえずそれに気付いた時点で、相手がなんなのか気
付いたんだ。

魔法という都合のいい攻撃手段のないSAOにおいてそいつらは
……多くの仲間と共に文字通り一体となり戦うそいつらは、最悪の敵

だった。

俺は必死に逃げたね。それこそスタンボムをその場で爆発させて時間を稼ぎながら転移結晶に適当な街の名前を叫ぶほどには。

そのお陰か逃げ切れたが……二度とやりたくねえ。

9・だがしかし

8・長いから三行で。

10・たかし

俺氏戦う、

敵がとんでもない数でありつつ凄まじい増殖速度を誇るバケモノだった、

俺氏命からがら退散。

11・名無しさん

おk把握。つまり10・は隊長と違って転移結晶で逃げるしか無かった訳か。

俺も挑んでみようかな……三秒だけ。

12・たかし

11・おいwそれやめw

13・だがしかし

いってらー。骨になるなよ？

14・名無しさん

真に受けんなおまいらww

俺はどこにも行かんよ。ただフィールドで細々と稼ぐだけだ。

15・だがしかし

……第一層引きこもり歴一年以上の俺が通りますよー。

16・たかし

15・働けニート！

17・だがしかし

働いたら負けだと思ってるし、負けたら死ぬこの世界で負けたくないのでお断りします。

18・名無しさん

何この茶番……じゃねえ！おまいら大事なことを忘れてるぞ！

19. たかし

何を？

20. だがしかし

俺の記憶力はいい方なんだけど？

21. 名無しさん

俺も今思い出したところなんだが……隊長学会の公式見解によれば、隊長の敗北とはそれつまり隊長にとって打開する策がその場において用意できない状態を表すらしい……

そして今、俺が見た限り隊長は何かを持って再び迷宮区に潜った！

22. たかし

つまり？

23. 名無しさん

そう！隊長はまた敗北してなかったんだ！

24. だがしかし

23. 言い出しつぺお前だよなそれ……

25. 名無しさん

その点についてはスマソ。

まあとりあえず、ここからは隊長の状態について実況していくこととするよ。応援してくれよな！

26. たかし

………

27. だがしかし

………

【たかし】さん、【だがしかし】さんが退室しました。

28. 名無しさん

ちよw無言退室やめえww泣くぞwww

【続かない】

【敵の倒し方は1つだけ】隊長さんはどうやらスライムを皆殺しにするようです【俺流だ！】

今こんなことを言うのはおかしい気がするが、聞いてくれ。

実はな、俺の学歴はかなりおかしいことになっていたりするんだ。まず小学校。

小学校については、まあ全部通った。その時は親友もいたし楽しかった。

未知のものもその頃は沢山あって、あと母さんが時々道場破りに連れていってくれたからガンガン成長出来て……今考えれば割と人生の絶頂期かもしれない。

んでもって中学、これは2年間しかマトモに通ってない。

一年目はまあ色々やったさ。

部活は運動系全部を兼部して、生徒会もやってみた。

体育祭は出場競技全てで世界新記録を僅かに更新してしまっただけらしいトラブルがあつたし、美術の授業で作った像が展覧会に出た挙げ句のちにネットで10万の値が付いているのを見付けたりもした。

しかし音楽教師との相性が火とニトログリセリンなみに酷く、全ての運動部で全国大会を制覇した2年の冬には学校に行く気がなくなつて……とりあえず高校は面白いところに行きたいと思つて受験勉強だけある程度して、他は全部ロクでもないことに使った。

たとえば空手の世界キャンプに挑んでワンサイドゲームを繰り広げたり、野球日本代表の練習にこっそり潜入して4番バッターをストリート一本で三振させまくったりエースの本気を場外したり……ホント、ロクでもないことばっかしてた。

お陰でなんか気付いたら同年代どころか同じ世界で張り合える奴がほぼ居なくなつちまつてたし、気付けば人間台風なんて名前まで付けられてた。

まったく、どうかしてるぜ！

とか思わない訳じゃなかったが、その道場破りやら何やらをやった

後俺はしっかりと受験した。

受けたのはスポーツ推薦がある高校で、その中でもやたら頭脳派と呼ばれてる所。

んでもって入学後すぐに再び全運動部掛け持ちを実行し、その3日後に3つほどの部活か廃部になった。

柔道部とテニス部である。

……いや、理由は簡単なんだけどね？

俺がちよいやり過ぎたわけよ。

テニスは100年に一人の逸材を左利きの俺が右手だけで一点も取らせずにフルボッコにする……を何度もやっちゃまって俺以外全員心が折れたらしいし、柔道なんて当時日本代表を最年少で経験していたエースを思い付く限りもつとも難度の高い技だけで葬り去ったりしたしなあ……うん。懐かしい。

でもって他の部活の話になるが、実はそこも俺が入ってからきっかり一年で潰れた。

1年つてのは……まあ、当時の2年がキャプテンになるころつてことなんだが。

特に野球部なんざ最後は酷かった。

何せ紅白戦は1vs9でガチ編成vs俺とか言うあり得ないことが普通に行われてそれでなお俺に勝てず、さらには甲子園も『オールノーヒットノーランかつノーボールで最高球速180km/h』やら『打率10割で内8割はホームラン』とかいう絶望的な記録を建てちゃったんだよ……今思うと本当に悪いことをした。

いくら日本中の強豪と戦えるのが楽しいからってあんなことすりゃ全員がやる気をなくすのは目に見えていた……とかどう考えても全ての大会から出禁喰らうのは目に見えていたはずだ……

つと、なんか湿っぽくなつたな。

とりあえず気分を変えよう。

俺は何故か過去語りモードに入っていた思考を切り替えるとメニューを操作し、聖晶瓶を取り出して前に入手してコンプリートして以来使っていない、とある3つのエクストラスキルを装備した。

1つはエクストラスキル【野球】。

効果は物体を投げた時の速度ボーナス（極大）と打属性武器の攻撃に直接的な攻撃以外を反射する能力を与えるというものだ。

悲しいことにこれを装備すると俺の手が加わったあらゆる攻撃のダメージが1にされてしまうのだが。

しかし今回は相手のHPが1つぽいので大丈夫だ。

そしてもう1つのエクストラスキル、【圧倒】。

これは自分の防御力に対してあまりに威力が低い（しかし無効化前のダメージが1だと何故か無効にならない。無効化せずとも大丈夫ということだろうか）攻撃を無効にする能力がある……しかし、威力が自分の防御の1/100以下の攻撃しか無効に出来ない上にソードスキルと武器が使えなくなるという欠点もある。

んで、最後のエクストラスキルが【逆境】。

コイツは自分の攻撃のダメージが自分の素の筋力値を下回った時にダメージを十倍にするのだが……なんとその十倍の処理は最後に行われているようで、何かしらの攻撃力強化があるとほぼ不発に終わってしまう。

そう、何を隠そうこの3つのスキルは……俺の知る限りもつともダメなスキルだ。

多分俺であつても使い道に困るくらいのジョークスキル。特に逆境とかマジで条件がめんどくさすぎる。

それに緻密に攻撃力を計算しての十倍より、一倍で十回当てる方が早いから……なんというか、お蔵入りしていた。

しかし今回は敵のHPが1ということもあり、意外と使い道は多い。

圧倒野球逆境。この3つが今、SAOに変革をもたらす……！

「エフ子、ちよつとこつちこい」

「はい〜」

まあその前に少しだけ下準備な。

俺はスキルを入れ替えながらエフ子を呼び、あるアイテムが大量に入ったバスケットを持たせた。

これは今回の作戦においてメインとなるアイテムであり、これに失敗すれば面倒なことになる、それくらい大事なアイテムである。

失敗は許されない……だから、エフ子に任せた。

え？エフ子以外居ないだろって？

せやな。でも気にすんな。いや気にしたら殺す。

つーかエフ子以外が居てもどうせエフ子に渡すから良いんだよ。

……話を戻そう。

さて、ここからは俺がああ粘菌のコンチクショーどもに対して何をやっていくか、を解説していこうと思う。

まあやることは簡単だぜ？ただ単に野球して、自爆テロして、ボス部屋まで逃げ込む。それだけの話だ。

でもあえてそれを説明しろって、俺の中の実況者魂が叫んでるんだ。

だから説明するぜ？作戦名、『スタイリッシュ自爆』をな！

フェーズ1、とりあえず遠距離からクレイジーボムを三回に分けて投げる。

クレイジーボムの多段ヒットと範囲の広さを活かして殲滅するのさ。

フェーズ2、次は俺自身が大量にクレイジーボムを持って自爆する。

この際大事なものは、野球スキルによって1にされたダメージが逆境スキルで（本来は変化しないが、野球スキルにより威力の値にスキルが影響してしまっているため）10になり、圧倒スキルでダメージが0になること。

これにより俺は、ノーダメージで自爆出来るのさ。

分かりにくいようならまあ、ポケモンでバツフロンに大爆発させてるようなもんだと思ってくれ。

反動を受けずに自爆する、それだけだしな。

そして最後のフェーズ3、ボス部屋に侵入する。

ちなみもし鍵が掛けられていたらその時は壁抜けによる侵入もしようと思っている。

それくらいこれは重要なフェーズなのだ……まあ実際、出来ないくらいなら壁抜けするよりとりあえず自爆しながら戻った方が早いんだけどな……そこは男のロマンってやつだ。

それに俺、全日本ロマン砲協会の元会長だし。

……ちなみに全日本ロマン砲協会とは、俺が冗談で書類上の組織として作った謎の宗教組織を妹が（以下長くなるため省略）した組織だから、実は意外と俺の自慢と黒歴史の1つだったりする。

「マスターマスター、私はこれをどうすれば良いんですか？」

おっと、変な思考に流されていたら肝心なところの詰めを怠っていたようだな……

クツクツク、聞いて驚け、エフ子お前はそのアイテムが入ったバスケットを……

俺は、とりあえず外道極まりないことをエフ子に命令し自分はさつさと粘菌への仕返しを実行に移すのであった。

覚悟しな粘菌。テメエが一体誰に喧嘩を売ったのか思い知らせてやるからよオ……（学園都市最強感）

【混沌極めようぜww】おまいらの身内自慢をテケトーに繋げる

【ランドセル志望】さん、【ズコー】さん、【ハブラレンゲル】さんが入室しました。

1. ズコー

つーわけでおまいらの身内ネタ置いてけwwワイがテケトーに繋

げたるww

そーゆー企画。

2. ランドセル志望

1. 身内はバイト先の店長あり？

3. ズコー

2. あり。

4. ランドセル志望

そんじゃ……

バイト先の店長の妹がガチの合法ロリです！

5. ハブラレンゲル

じゃあ妹繋がりでもいつこ。

妹が居るけど、リアルでは日本最強の高校剣道王者。

6. ズコー

5. またまたあ…

まあ繋げるとしよう。

『バイト先の店長の妹が合法ロリ+妹が高校剣道日本一』 〓……………

『高校剣道日本一の妹がバイト先の店長で合法ロリ』なんてどうよw

7. ランドセル志望

6. なんか最近のラノベのタイトルっぽいな。長文系の。

8. ハブラレンゲル

6. 逆にそんな妹が居たら欲しいわw w

9. ズコー

ほらほらおまいら、次いえ次。

出来れば黒歴史系でよろ。

10. ハブラレンゲル

実は小学校時代、養子の意味を分かっていなくてなんか誇らしいものだと思つて広めてた……俺。

11. ランドセル志望

実は近所の小学校に幼女を見に行きたいと言う理由だけで教職免許取ったあげく金を積んで臨時教員になったことがある。

12. ハブラレンゲル

11. ねーよw

13. ランドセル志望

10. お前こそねーよw w wんなバカなことするやつ居な……あれ？どっかで聞いた稀ガス……

14. ズコー

おまいらどこかで会ってたのかもな。それはともかく合成だ。豪勢に合成タイムだ。

『養子の意味を（略）+近所の小学校に幼女を（略）』 〓『幼女趣味の意味をあまり分かつておらず誇らしいものだと思つて金を積んでま

で宣伝して回った』……WWW
WWW

15. ハブラレンゲル

笑wwwwなww

16. ランドセル志望

これはwwダメだ末期だおしまいだww

あ、俺はもう限界なんで、それじゃ次主と15. で食べ物系。

17. ズコー

実は茶を入れると九割以上の確率で俺以外のやつ全員茶柱が建つてる。

18. ハブラレンゲル

白米を食うときその食い終わりが必ずおかずを食い終わるのと同じ時。

19. ズコー

18. いやそれムズすぎ……

20. ランドセル志望

仮定は飛ばして合成するぞ。

『何故か九割以上の確率でみんなが茶を飲み終わると同時に飯を食い終わる』。

21. ズコー

ちよw腹筋崩壊ww

22. ハブラレンゲル

20. のせいで嫁に白い目で見られた。責任取ってくれ

23. ランドセル志望

うし、次の合成は『嫁に白い目で見られた』だな。

ほら早く次持ってこい！

このあと滅茶苦茶合成した。(意識：続かない)

【決着】 どうでもいいけどぶよぶよのブレインダムドって結構恐ろしいよね【……………？】

おはこんばんにちは、実は体の関節の工藤域がSAOでもリアルでも人間離れしてるのが密かな自慢です、隊長です。

それにしても今日はやたらと良い天気だよな（中温多湿の曇り空）。そんなわけで今日は…………スライム（血）祭りの始まりだあ！なんの繋がりもねーしそもそもスライムに血はねーけど！

しかし俺が非常にスライムに対してイラツと来てるから！スライム祭りじゃあ！

参加するやつはとりあえずクレイジーボム持ってきて外から投げ込めよ、俺はそのあとから隙間を縫うように入っていくから。

え？ああうん。クレイジーボムはどこで手に入るのか知らないのか。

なあに難しいことじゃない。ちよつと難解なクエストを周回しまくるだけさ。

俺はギルドを臨時で作って周回したけど、まあきつと大丈夫だよ…………

どうせお前がクレイジーボム回収した頃には既に全部終わってるだろうがな！

俺は、心の中でそんなことを叫びまくっていた。

もちろんまだ迷宮区には入っていない。

この迷宮区、ちよつと短くても長そうだしなあ…………スタック入れているクレイジーボムが持つかどうか。

いや、別に持たなくてもその時は脱出すれば良いだけの話だよな。

なあに、転移結晶くらい2個は常に持つてるし、問題ないって。

だからやろうぜ！スライム祭り！

「フアイヤアアア！」

スライム祭りの始まりの合図として、挨拶代わりにクレイジーボムを全力で投球した。

クレイジーボムはなんとというか野球ボール程度の大きさだからな、投擲よりも投球って言った方がしっくりくる。

ついでに言うとなんのリアル最速記録である180km/hくらいには届かずとも野球スキルのお陰でそれなりに球威も強いから、それだけで何匹か倒せるのも強みだろう。

ついでに言うなら爆発中に走っていけるということも。

そんなこんなで語っている内にクレイジーボムの爆発は消え失せていたが、そこに間髪入れず俺は突っ込んで自爆する。

アホだと思うだろう？しかし違うんだな、スキルのお陰で俺は無傷で自爆出来るのさ！どうせ全攻撃のダメージが1になるけど。

しかしそれが今は頼もしい。

いくらでも自爆出来るからさっさと攻め込めるし、自爆する度に敵が一気に消えていく。

これでもし威力がそのままだったら笑い事にならなかつただろうけど、残念ながらそこに都合よくかやひこのミスがあるわけがなく、普通に下がっている……

「うおっと」

……あぶねーあぶねー。うっかりしてた。

今変なこと考えてる間に自爆が終わってて気付いたら目の前にスライムがいた……びっくりした。

今回はなんとかすぐに自爆できて事なきを得たけど、次回からは気を付けよう。

……とりあえず反省の意を込めて明明後日の方向へクレイジーボムの親戚筋であるブレンドボムをシユウツ！

超！エキサイティン……

……あれえ？エキサイティンできないぞ？なんでだ？

俺は不意に、何か目的と違う爆弾を投げてしまったのかと思ってメニユーを確認した。

【フレンドリーボム】

【ブレンドボム（様々な能力を設定できる、自由度の高い爆弾）】

ああ、なるほどどうやらフレンドリーボムとブレンドボムを投げ間

違えたみたいだな。やべえやべえ。

一定時間攻撃力が10%アップする代わりに攻撃するとその半分のダメージを受けるようになるアイテムを投げちまったみたいだ。

まあ今回は相手が攻撃力1だから問題ないだろう。それに攻撃してHPが減少するつてことはむしろプラスにはたらくよな。

……でもなんだか嫌な予感がするし、とりあえずブレンドボム（威力1、範囲とノックバックはマックス。その上爆発モーシヨンがやたら遅いので入ってきた敵はみんな転ぶ）をシュウツ！しておくとしてよう。

出来るものならむしろシュウツ！よりポケモンのゴールトスプレー的なシューの方が欲しいんだけどな。

ないものねだりをしてもし方がないので思考を目の前のスライムに戻そう。

俺は更に自爆を繰り返しながら進んでいく。

それはまさに破竹の……いやむしろ破滅の、つてくらいに凄まじい勢いであり、これまでグダグダしたり一旦逃げ帰ったのはなんだったのか訳が分からなくなるほどに素早かった。

ああ、なんて素晴らしいんだろう、爆弾つて。

リアルに帰ったら土地買って5m級の爆弾でも自作して私有地で地雷もどきでも作るか？

いやでもそうすると火薬を使う関係上周囲から火薬臭いとかうるさいとか言われそうだ。

このアイディアはいずれ完全防音を手軽に実現できる素材が生まれるまでは心の奥にしまっておこう。

しかしそれはともかくとして素晴らしいよな、爆弾。

一回で大量のスライムを蹴散らせてなおかつこちらはめっちゃくちゃ前に進める。

うん、これこそ正に隙のない武器つてやつだな。

近所の公園に（金なら腐るほどあるらしいのに）住んでた自称戦場経験者の……蛇山（恐らく偽名）のじいさんも言ってたよ。『戦場において最強の武器とは何か……それは、相手の攻撃の射程外から一方的

に攻めつつ、範囲も広い武器だ』ってさ。

それに蛇山のおっさん、なーんか妙なんだよな……サバゲに誘うと屋内戦はアサシンの戦法を取るのに屋外だと一人ずつフリーズさせてるっつーか。

それとサバゲにハマってなにやらマンションを建てた挙げ句その階の1つを丸々サバゲのフィールドにするんだもんなあ……

俺も似たようなことはやったけど、それはせいぜいが夏休みの自由研究として実家の裏山にいくつかガチの秘密基地を建てて文字通りサバイバルするゲームを出来るようにしたくらいだし、やっぱスケールが違うよなあ……

ってなんの話してたっけ？

ああ、そうだ爆弾は素晴らしいって話だ。だけどこの話をするのが許されるのは近所の高校にあったGなんとか部だけだろうし、話を変えよう。

今度は爆発のプロを自称していたアフロのおっさんの話を……いや、ゴメンこれはリアルなボンバーじゃなくてただただ頭が爆発してるだけだわ。期待させてすまん。

だが今のは前座だぜ？次こそが本番だ。

聞いて驚けとは言うが腰を抜かすなよ？

……何故か先程から粘菌スライムが入念に組んだ○よぶよの連鎖みたいにガリガリ消えていつてる件について。

ま、とりあえずこんなときこそ言おうか。あの台詞を。

……わけがわからないよ！（迫真）

【エフ子ちゃん観察班】エフ子ちゃん観察記録vol. 100

【観察者】さん、【保護者】さん、【鉄壁】さんが入室しました。

1. 観察者

観察記録もついに100を越えたZE。これまでの協力者たちには感謝しかないZE。

そしてエフ子ちゃんに対しては愛しくないZE。

もしも膝枕して貰えたなら昇天しても構わないんだZE……

2. 保護者

そんじやとりあえず記念に。

どんどんぱふぱふ。

3. 鉄壁

2. なんだそれ。

4. 保護者

いや、知らんがリアルで教え子の一人がやってた、良く分からんが盛り上げるための動作だな。

それと余談だが、俺の計算によればエフ子ちゃんにそれをやらせると動作が動作の激しさからうなじとか見えるかもしれない。

5. 感謝

なあ→にい←!?

6. 鉄壁

うなじだと……いつもの素足だけでも危険なのに、うなじまで加わったら俺たちは一体どうなってしまうんだ……

7. 観察者

6. あえて言ってやるよ。死ぬぞ俺たち。

それこそヤムチャと桃白白が野球&格闘の二種目で戦うくらいにな。

8. 鉄壁

おいそれ泥試合不可避ww

9. 保護者

ヤムチャw確か野球だけなら悟空以上な稀ガスw

10. 観察者

9. マジか。初耳やわ。

【頭取】さんが入室しました。

11. 頭取

こらこら君たちく?マジメに観察記録やないと、僕怒っちゃうぜ
く?

具体的には出資を切るぞゴルア。

12. 観察者

な、何故スポンサーがここに……
まあいい、ここからはマジメにエフ子ちゃん観察記録をやるとう。
う。

13・ 保護者

どんだんぱふぱふ♪

14・ 頭取

13・ 良いねそれ。

どんだんぱふぱふ♪

15・ 観察者

観察記録 vol. 100。

本日快晴ナリ（中温多湿曇り空）。

エフ子ちゃんはどうかやら現在95層迷宮区前で待機している模様。

もしかするとmobが来るかもしれないのでとりあえず周囲で安全を確認しているが、とりあえず敵のポップと侵入は確認していない。
い。

しかし安全地帯として設定はされていないようで、引き続き近くでの安全確認は一定時間おきに行う物とする。

以下続く。

16・ 頭取

15・ 95層は安心してokだよ。

どうやらかやひこがバケモン設置したから、逃げ切ったと思ったら敵、みたいなことにならないように擬似的な安全地帯を設置したい。
い。

17・ 鉄壁

というか、16・言う通りバケモンが置かれたならなんでエフ子ちゃんはそこに居るんだ？

いくら隊長でもあれは攻略出来ないと思うのだが。

18・ 保護者

んあー、レベリングじゃねーの？

確か95層にかやひこが足止めとして設置したのは『粘菌スライム』だからHP辺りの入手経験値的には最強のモンスターだし、何よ

り数が膨大だからなー。

19・ 観察者

ふむ……18・の言う通りレベリングの線はかなり濃厚だろうな。
なら何故わざわざこんなところで待たせているんだ？

何か意図があるのか……

20・ 頭取

19・ま、引き続き観察よろしくね。

僕は本業もあるから抜けるけど、一応確認するからね？マジメに
やってね？

【頭取】さんが退室しました。

21・ 観察者

ふひー、緊張したZEEE

22・ 保護者

乙ー。

23・ 観察者

なら22・、お前が俺に代わってやってくれ。

24・ 保護者

だが断る。リアルでも働いてんのにこっちでも働いたら負けだろ。

25・ 鉄壁

そーゆー理由で俺氏も無理です。

26・ 観察者

ちくせう……

あ、観察日記追加。

何やらエフ子ちゃんやんが地面に座って暇潰しを始めたみたいだ……
少し遠くて手元で何やってんのか分からん。

接近するか？

27・ 保護者

NO、断固としてNOだ。

テメエに美味しい思いはさせねえ。

28・ 鉄壁

やったら……分かってるよな？

29. 観察者

おまいら仲良いなw

まあそれはともかくとして、双眼鏡で確認したところ何やらエフ子ちゃんは編み物をしているようだぞ。

縫っているのは小さな布だが……刺繍で何か作っているのだろうか。

30. 保護者

29. 600000K出すから買ってこい！今すぐ

【保護者】さんが退室しました。

31. 観察者

30. ウウウウウウ!?

32. 鉄壁

おい待てなんか俺の方にも……くあwせdrftgyふじこーp

33. 観察者

お、おいどうした32.！お前は訓練された観察記録部隊隊員だろう

！

エフ子ちゃんの隠し撮り写真だけで満足しているのか！ダメだ！

もつと……もつと近くなれy1pynfktmyk

【観察者】さん、【鉄壁】さんが退室しました。

【二回戦開始】スライム祭り、第二夜！

……95層迷宮区。

そこは今、95層という高い層であることの意地を見せるかのよう
に俺とほぼ互角に渡り合うことに成功していた。

クソツ……なんじゃコイツは……ぎっけんな。

つーか今初めて理解したよ。そりゃあ粘菌スライムがあつという
間が増えるわな。

こつちが攻撃を受ける度に粘菌スライムを産むスライムキングと
かマジふざけてる。

もはや起訴すら辞さねえぜ。このやろー。

しかもそのスライムキング、固いのなんの。

戦闘中に急いでスキルを付け替えて攻撃系スキルを搭載しまくつ
ても中々倒せねえとか、なんなんだよ。

いくら攻撃してもドット単位ですら減ったか怪しいし、何より常に
0.1%／秒くらいのペースで回復し続けてる。

体力バーが四本あるコイツのHP、マジで削りきれれるのか不安で不
安でたまらねえぜ。

それにここまで固いと長くなりすぎてイライラしてくるというか
……SAOに入る前にやってたエルダーなんとかってオンゲでやつ
たやたら硬い敵に味方を回復させるための攻撃力が10.7倍にな
るシリーズで延々と殴り続ける苦行を思い出すわ。

あれ、効率は良いんだけど疲れるんだよなあ、精神が。

それと同じくらい今の状況はキツイ。

ただ普通に強いだけの強敵となら何時間だろうが本気で戦えるだ
ろうが、コイツの場合気疲れしてあまり長いこと本気でやれなさそう
だし……チクショウ、見事に俺の弱点を熟知してやがる。

ホントにあの時の苦行みたいだ。

……いや待てよ？そーういやまだ、超越剣の武器熟練度がどれくらい
上がったか確認してなかった。

俺はとりあえずそんなことを思い出してスライムキングから離れ、

メニューから新たなソードスキルを探す。

このスライムキング相手にレベルが下がつちやたまらんからあてにしていたガツシユフアングは使えんが、しかし新たなスキルがあるはず……

『きみのうちゅうCCC』

うえ？

いやいや、これ流石におかしいでしょ。宇宙CCCってのはつまりお前の考える最強の近接格闘術ってことだからソードスキルになれるわけが……

『終了コマンドを宣言したとき、発動コマンドを宣言してからの間に行われた攻撃を攻撃対象に再現する。ただし再現される攻撃の速度が一定以下だと再現時の攻撃力がマイナスになる。発動中、ソードスキルの攻撃力が0・6倍になる。なおコマンドは「俺の必殺技ア！」⇒「part（これまでの使用回数＋1の数字を英語で）！」』

わお。こりやすげえじゃん。

剣速は俺なら問題ないし、発動から終了までの間に鬼のようなラッシュを決めればすさまじいダメージになるってことじゃないか。

すんばらしい技だね。こりは。

特に俺にとってダメージが安定して二倍くらいに上げられる技ってのは嬉しいもんだ。

ついでに言えばソードスキルの威力ほぼ半分も大したデメリットにはならない。

たとえばもしヴォーパル・ストライクを当てたとしたら、元々の威力が高い分0・6倍にされても余裕でお釣りが来るからな。

まあ使う予定はないが……次！

『斬影剣』

カッコいい名前じゃないか。もし今がスライムキングに襲われている最中じゃなきゃ厨二モードに入っていたかもしれん。

さて、効果はいかほどか……

『対象の影を切り裂き、過去から現在に対して傷を与える。ただしぴつたり二秒前の影しか斬れない。なお平行して現在に攻撃するこ

とも可能』

……あ、強いねこれ。

つまりは一振りですと影と本体を同時に斬れば威力がほぼ二倍じゃないか。

『ただし防御力が半分になる』

しかもデメリットちつき！緩すぎてかやひこの罠を疑っちゃうぜ！

これはこのスライムキング戦で主力になってくれるだろう。きつと。

んで？んで？他は他は？

『汚物消毒拳』『零落白夜』『夜霧の辻斬り』『翔龍閃』『二重の極み』『牙突』『超究武神覇斬』……なんか結構。パクリ系の技が多いな。

だがどうしたかやひこ、斬影剣やらきみのうちゆうCCCみたいなとりあえず俺にピッタリな技はどこへ行った。

俺は無駄に辛口な評価を付けつつも、粘菌スライムやスライムキングとの戦いで一気に増えた超越剣のソードスキル欄をスクロールする。

そして……その最後に、とんでもないものを見付けた。

『極限超越・封（マキシマムブレイカー・リミテッド）』

おお、厨二臭くて素敵なネーミングじゃないの。w k t k w k t k。

すぐそばにスライムキングがやってきたのを体術スキルの上位ソードスキル、【鉄槌】の変則使用で吹き飛ばしつつ、俺は極限超越・封の内容を確認することにした。

ちなみに鉄槌ってのは元々が『空中あるいは自分より低い位置にいるか、転んだ相手に対して大ダメージを与える』ためのソードスキルだから当てられる状況がある程度制限されるが、ノックバックも威力もそれなりに高いソードスキルなんだ。

似たようなスキルにグラビティ・ドライバーがあるがそっちは汎用性が低い意味で同じにしてもこっちの方が威力が低くてノックバックが強いから、使い分けが必要だったりする……そんな鉄槌を、

俺は今回とあるスキルとの組み合わせで無理矢理横向きに使ったわけだ。

そのスキルつてのが【多段ジャンプ】なんだが、これは結構難易度が高い。

まず最初に必要な動きが縦に跳んでから完璧なタイミングで横に跳び、そして上手く位置とタイミングを調整して鉄槌の当たり判定を強引に当てるつてのは、大体1/20秒のタイミングを一回狙って出してからさらに短い一瞬で敵を殴るつて意味だからな。流石にそれは仕方ないが……

ただちよつと端から見ると気持ち悪い動きだつてのが気に入らな
いんだよなあ。

……さて、気を取り直してスキルを確認しますかね。

極限超越・封……テメエはどんなスキルなんだい！

『パッシブスキル。スキル欄で設定すると、自分のステータスのある程度偏らせることができるようになる。なおHPの数値は変更不能で、防御系ステータスを1下げると他の防御系でないステータスを2上げることが出来る。なお、解放済みの場合常時レベルアップ時のステータス上昇値が2倍』

……うわあ。

さつきまでの強スキル郡はどこへ行つたんだよかやひこー！

これは……これじゃあ……どこぞの曲芸師と一緒にやないかあ！

ウソダンドドコドーン！俺もテメエの調整力だけは！信じていたのに！信じていたのに！

なのに……なんでこうもぶつ壊れを投入すんじやゴルア！

俺は理不尽にキレるのであった。

【カデ公式】隊長がかやひこ戦で何やるかトトカルチョしようぜw

【理不尽の具現】さん、【イズヒサ】さん、【ライオンテイル】さん、【雲】さんが入室しました。

1. 理不尽の具現

つーわけでおまいら、トトカルチョしようぜw

2. イズヒサ

ごめん何言ってるか分からない。でもとりあえずスレ立て乙。

3. ライオンテイル

乙。

4. 雲

乙

5. 理不尽の具現

2.それじゃ理解していないおまいらの為に説明しよう。

俺がやろうとしているのは、ついさっきたまたま凍結されてないかやひこの隠し口座の番号を当てて成功したからその中身をおまいらにぶち撒けてやろうっていう企画の.....トトカルチョだ。

6. ライオンテイル

5. ok ok。しかしトトカルチョの内容はなんだ？スレ名から察しは付いてるがな。

7. 理不尽の具現

そりやもち.....隊長がかやひこに対してどう立ち向かうか、だな！

8. 雲

いやそれ賭けにならんw絶対俺らには予想付かんってww

9. ライオンテイル

あの隊長を予測する.....？ハッ、イカれたとしか思えないね。

10. イズヒサ

煽り乙です。だから早く本題入れや。

11. 理不尽の具現

思った以上に辛辣wwだがその点は安心しろw

もし外れたら全額俺が責任持つて全国からランダム抽選した複数の孤児院に寄付するだけだからw

12. ライオンテイル

11. 圧倒的ヌクモリテイ。的中出来なくなったのは痛いが.....

13. 雲

なんてこった、ヌクモリテイが止まるところを知らないぜ！

14. イズヒサ

なにい!?!ヌクモリ力200000.....20000000.....まだまだ

上昇しているだど!?ありえん!

15・理不尽の具現

手のひら返し乙。

まあそれは置いといて、ここからはおまいらにトトカルチョの選択肢を教えるてやるとしよう。

まず一つ!

登場時に非常に謎過ぎるマイクパフォーマンス……からの不意打ちワンショット!

16・理不尽の具現

二つ!

回廊結晶でモンスターハウスに飛ばしてのMPK!

17・理不尽の具現

三つ!これこそ大・大・大・大・大本命!

ラーメン+エフ子ちゃんがかやひこホイホイを作り誘導⇒爆薬で圧殺!

さあ考えろ!悩め!そして選べ!明るい未来はおまいらのすぐそばにあるぜ!

18・雲

明るい未来?(↑27歳独身寝癖がどう見ても通常モードの孫悟空)

19・イズヒサ

明るい未来?(↑ヒーローオタク、引きこもり、寝癖が何度見ても無駄に芸術的)

20・ライオンテイル

明るい未来?(↑全身包帯のミイラ)

21・理不尽の具現

ちよwおまいらそこに反応するのかwテラワロスw
特に20・厨二病か大怪我が知らんがそんな状態でフルダイブす

んなよw

22・イズヒサ

21・アナタニハワカラナイデシヨウネエ!

23・雲

21・俺だつて……俺だつて毎朝、イノチガケデエエ髪の手セツトしてるんだぞ！なのに直らねえんだ！

24・ライオンテイル

21・この包帯は全て幼女を護った名誉の負傷による大火傷のためのものだ！

しかしそのせいで顔面が包帯模様になった状態でアバターが作られてしまっている、どうしてくれるんだ！

25・理不尽の具現

24・顔面がガチで包帯模様つてwwブフオw

26・ライオンテイル

ああん？ケンカなら相手になるぞ？

27・理不尽の具現

やれるもんならやってみな！

28・ライオンテイル

望むところだあ！

29・イズヒサ

俺達の戦いはこれからだ！

30・雲

カデ先生の次回作にご期待ください。

【雲】さん、【イズヒサ】さんが退室しました。

このあと残った二人は延々と喧嘩した。
続かない。

【隊長と書いて】下準備タイム【災害と読めるよなんだろう】

今思い出したことがあるんだけど、言っていない？いや言わせろ。

極限超越の元ネタが分かったんだ。

まだ使用してないけど、なんとなく分かったんだ。

これ完全にワールドトリガーやないか！

分からない人には分からないし、というか俺の生きる今現在において結構前に完結したワールドトリガー知ってる奴は同年代の奴しか居ないだろうけど、俺には分かった。

これ烏丸パイセンのガイストフォームのパクリだわ。

あーあぶねー。なんで気付かなかったんだろ、あぶねー。

まさかこんなところでワートリネタに出会うとは、世界も広いもんだな。この仮装世界はアインクラッドの100層分+αくらいしかないけども。

しっかしアレだね、今戦っているこのスライムキングも良く見りや薄い本に良くある服だけを溶かす都合のいい粘液生物に……いやそれはなんのパクリでもないな。てか完全にこじつけだわな。

ただ個人的意見としてはコイツ、どう考えても薄い本向きだわ。

なんたつてやたら強いもん。

スライムなんか……くっ殺せ！的な展開がやりやすいよ！

しかも無駄にデカいから中に沈めて意識を奪ったり、LCIみたいなことしたり……あれ？スライムキングって実は意外と芸達者？（違います）

ならいつそタイム出来たらなあ……面白ゲブンゲブン強いのになあ……

まあ、俺の超越剣がいくらふざけたチート級ユニークスキルでもタイム率を上げるようなパッシブもアクティブもソードスキルもないし、こればかりはお手上げなんだよなあ。

言葉ではそう考えつつ、俺はついついタイム出来ないかと思ってと

ある人物に助言を求めたことにした。

タイムといえばコイツ、というかSAOにおけるタイム関係スキルの最強格な気もする【森林の支配者】を持つてるから間違いなくタイムマスターと呼べるアイツ……ろーくんにだ。

無論ろーくんだって忙しいから普通に送ったら見てくれないだろうさ。

でも、送るメッセージのタイトルをこうしたらどうだろう。

『粘液系モンスター使って遊ぼうぜw』と。

あまり直接的な言葉は言わず、ただただろーくんの想像力を掻き立て、欲望のパワーで動かせる。

リアルでもそうだったよ。

ろーくん、お前はいつもそうさ。

料理が文字通り異常に異常なこと以外は平凡な筈なのに、幼女にお願いされたからって理由で全国区のカラオケ番組で全部百点出して圧勝したこともあるし、子供に人気のミュージカルにちよつとした事故で主役が欠けた時、急遽代役を頼まれた筈なのに『子供たちは君の演技に期待している……分かるね?』の言葉だけでハリウッドスター顔負けの名演技を繰り出したりもした。

そんなお前だからこそ、きつとこのメッセージに反応してやって来ると信じているんだよ。

……まあカラオケ番組の方は前回大会で俺がプロも参加するトーナメントに一般参加枠で出場した挙げ句全曲満点、しかも俺だけ全てアニソンとかいう謎の大記録を打ち立てて自信を失ったプロたちが武者修行に出た、なんて面白い話を聞いたからろーくんでやったらどうなるのか気になって俺が焚き付けた上に歌唱指導したし、ミュージカルについては脚本監督及び悪役が俺で、演技に集中しすぎてついうっかり主役にガチの殺気を浴びせて逃がしてしまったので代役が必要になったというオチなのだが。

いやあ、今さらだが昔から苦勞をかけてすまんね、ろーくん。

つー訳で今回も迷惑を掛けられてくれ。

「店長！来たぞ！」

「って早っ」

……おやまー。ろーくん早すぎね？あまりに速くて早いから、速度だけなら俺に勝てるかもしれないな。ステータス的な速度なら。

でもこの速さは……流石はろーくん。幼女育成5年計画を経てそのために幼稚園に忍び込むべく保育士免許と小学校に忍び込むべく教員免許を裏工作を含む様々な手段でありえないほど高速で手に入れたこともあるのは伊達じゃないな。

ちなみにこれは余談だが、その時の裏工作には俺が結構関わっている。

例えば特例的な裏技で短期研修のみの免許取得を可能とすべくお偉い方に働きかけたり、お偉い方への働きかけでゲットした裏口入手のための試験をクリアするために全力で教育術を仕込んだり。

しかもその時掛かった金額は……—482900円。実費は150万ほどで、200万円ろーくんから依頼料として受け取ったから結構な稼ぎになったんだよな……まあ、表に出せるものだけで数えても俺の総資産の1%にすら満たないが。

……話を戻して、ここからはスライムキングをティムするための方向に話を持っていこうじゃないか。

「なあろーくん、あのスライムキングティム出来る？」

「やる、やれる、いややってみせる。俺の魂が叫んでいるんだ……絶対により遂げてみせる！」と

ほえー、そりや凄いこった。

しかしアイツ、ボスっぽいのに出来るのかね。

ひとまずその辺のことを聞いてみることにした。

「ああ？ボス系ティムが出来るのかって？そりやあ……俺のユニークスキルが無きゃ0.01%もない」

「つまり？」

「俺のユニークスキルならほぼ間違いなくティム出来る！」

マジか。このHPが死ぬほど膨大なバケモンを本当にティム出来ちゃうんか。

おにーさん驚きよ。はつきり言って出来るとはまったく思ってい

なかった。

「というかこのまま普通に二人がかりで蹴散らすことになるかもって薄々思ってた。」

「フツ……だが五分必要だ。稼いでくれ」

……ハツ、五分で良いのか？ろーくん。

スライムキング（イタズラアイテム）の為なら俺は三時間だろうが五時間だろうが稼いで見せるぜ！

だよなあ！

俺は覚悟を示すべく、手近なところにあつた台のようなものをべしつと叩いた。

ん？台？

台なんてあつたか？

そう思つて恐る恐る視線を移すと……そこにはスライムキングがHPバー満タンの状態で存在していた。

……うへえ、気持ち悪い。なんじゃこの触り心地。

まるで実験で作つたスライムみたいな、そんな感じのスライムとはかけ離れた……ゲルみたいな何か。

はつきり言つて気持ち悪いな叩き心地。イタズラになら最適だが、ペットにするなら最悪だよな……うん。

今更そんなことに気付きつつ、スライムキングとマジの殺死合いを始める俺なのであつた。

【重大発表】（嘲）笑つていいと○！を作るらしいぜww

【理不尽の具現】さん、【ピザが食いたかつた】さん、【風鈴】さん、【ヴォルケーノ】さんが入室しました。

1. 理不尽の具現
とりあえず言おう。

こん中でいい○もリアルタイムで見てたやつら、名乗り出る。

2. ピザが食いたかつた
ほい。

3. 風鈴

へいへい

4・ヴォルケーノ

へいへい。

5・理不尽の具現

よし、それじゃ……タモさんと言えば？

6・ピザが食いたかった

缶コーヒーのCMだろ？

7・風鈴

ジャ○プのマークのおっさん。

8・ヴォルケーノ

いやいやいや、○ステでしょ？

9・ピザが食いたかった

8・残念だが時代は缶コーヒーだ。

10・風鈴

8・ジャン○のマークのおっさんがタモさんなんだろう？

11・理不尽の具現

……いやおまいらそこはい○ともって答えろよ。

もしかしてこれわかんない？

明日来て、くれるかな？

12・風鈴

いいともー！……って、俺は何を？

13・ピザが食いたかった

いいともー！……ハッ、俺は一体!?

14・ヴォルケーノ

いいともー！……しまった操られてしまっていた。

15・理不尽の具現

いや知ってんのかよおまいらww

……まあ前座も終わったし、本題入るぞ。

かやひことの最終決戦なんだが……（次レスに続く）

16・風鈴

なんなんだよお！

【無言の腹パン】さんが入室しました。

17. (無言の腹パン)

15. (無言の腹パン)

18. ピザが食いたかった

えっちょww

19. ヴオルケーノ

突如入ってきたが奇跡的にはまったなコレww

20. (無言の腹パン)

(無言の照れ)

21. 風鈴

終始無言でこの存在感wwテラワロスww

22. 理不尽の具現

いきなりの不意打ちは効いたぜ。コノヤロー。

だがここから説明しちゃうんだぜアンチクショー。

おまいらー！聞いて驚けー！

……SAO最終決戦、ニコ生と良くわかんねー全国区のローカルテレビ局で『(嘲)笑っていい〇も！』として生中継することが決定したぞおおお!!!

23. ピザが食いたかった

うおおお!!!

24. ヴオルケーノ

うおおお!!!

25. 風鈴

イエアアアアア!!!

26. (無言の腹パン)

(無言の祝福)

27. 理不尽の具現

そしてえ！まっつったく！関係無いがあ！なんとお！俺は最終決戦のお！ルールにい！いくつかの盲点を発見したんだぜえ！

聞いて驚きなあ！

28. ピザが食いたかった

ゴクリ……

29・理不尽の具現

そう！なんとなあ！

30・風鈴

ゴクリ……

31・理不尽の具現

……倫理コード解除禁止とは書いてないんだよ！だから女性型N
PC召喚しまくってお色気作戦をしてもルール上問題は……ない！

32・（無言の腹パン）

（無言のアサシネイト）（無言で致命の一撃）（無言の鉄槌）

33・ヴォルケーノ

このおヴァか様ー!?

34・ピザが食いたかった

31・出来れば巨乳で母性のあるお姉さん系多めで。

35・風鈴

31・ケモミミ忘れたら、クロス。良いね？

36・理不尽の具現

ちよっwおまいら（特に後ろ二人）w

安心しろwかやひこは巨乳お姉さん系のケモミミ娘好きだからw

w

ついでに言うとか次点で方言を使うタイプの引っ張ってくれるのが
好みらしいぜw

37・ヴォルケーノ

36・最後のやつ意味あった？

38・理不尽の具現

37・無い！（圧倒的爽やかボイス）

39・ヴォルケーノ

無駄に爽やかに言うなあ！（圧倒的ロリボイス）

（続かないとは言っていないが続かない）

【隊長さんの失態】ちよつ W おまそれ W W

殺死合い……つまり殺し合いを越えた殺し合い。故にお互いどちらかが死ぬまで、いや死んでも止まらないことが多いヤバい戦闘。なお俺ですら経験が二桁前半で止まっているというそれは、俺の全戦闘能力を解放させるということを指し示している。

具体的には反応速度が全力になり、あらゆる攻撃を第六感と分析で回避し、瞬間的に何度も攻撃しそして全ての移動でラグが発生する。

正に全力全開である。

しかしそんな全力を出して戦う俺としても、実は唯一苦手とするタイプがある。

それは……

「チクショウ固すぎだろワロエナイ」

恐ろしく堅く、恐ろしく体力が高く、怯まずただ攻撃してくる耐久バカ。それが一番苦手な敵だ。

このスライムキングなんて良い例だろう。

膨大どころじゃないHPとリジエネで事実上体力∞の敵と戦っているようなもんだし、しかも大きい割に動きは地味に速い、あと見た目が気持ち悪いという3つの条件が合わさり……コイツは絶妙に俺を困らせている。

こんなの黒の剣士やらおっさんと戦ったときですら味わったことのない気分だぜ……それこそリアルも含めて10年以上ぶりってところか？

ワロエナイ、本当にワロエナイ。

リアルで戦ったやたら強すぎるジジイですら倒すのに10時間掛かって、最終的にはスタミナ勝負になったからようやく勝てたつてのにコッチはVR、待てど暮らせどスタミナ切れはしてくれないだろう。

ちくせう、なんてことしてくれやがんだかやひこ。

この借りは……お前を最終決戦で何よりもえげつない方法を使つてぶっ殺すことで返してやる！具体的には10の100乗倍返して

な！だからイモ洗って……おつと間違えたこれは麦わらのアイツのだ……皿とフォークを洗い、オーブンに火を入れ、バターを用意して待つてろ！（じやがバター作る気満々）

俺は心の中でかやひこを呪いつつ、目の前のスライムキングへ全力で攻撃していた。

あるときは体術スキルのサポートなんざ一切受けない一人アクセルクリムゾンスマツシユ、またの名を神速連続空中踏みつけを行って顔を叩き潰し。

またあるときは高校でクラスメイトだった愛すべきバカが教えてくれた『魔法の鉄拳マジカル☆パンチ（なんかもう物凄いマジカルなパワーでパンチの二倍の威力を持つと言うキックと同じ威力を叩き出すパンチ……をフェイントに相手の防御を誘い、それを蹴り上げるキック）』を意味もなく使ってただ極普通に顔を蹴り。

またあるときはラグ分身の術を用いた集団リンチ、もとい神速の連撃を行って一気にダメージを稼いだ。

しかしいまだに膨大なHPは減る気配を見せない。
チクシヨウ……どうなつていやがんだ。

HPが少しずつでも減るならどんなやつでも殺してみせるって言うのに、どうして減らないんだ。

……ハツ、そうか。スライムキング！お前は俺を倒すためだけにかやひこに産み出された尖兵なんだな！（半分正解）だからこんなにウザいんだな！？

道理で面倒な訳だよ……

ここまで固いとなるとガツシユフアング辺りに頼りたくなるが、あれは乱用すると後が怖いからなあ。出来ればかやひこ戦にとつておきたい。

まあ、ガツシユフアングとかのチートソードスキルを一切使わずにかやひこを倒す算段はあるんだけどな。ただちよつとだけ二段構えにしたいからなんだ。

ゆえにあえてガツシユフアングを使わない。というか使ったところでどうせ変わりやしない。

どうやったらコイツを殺せるのか、俺には皆目検討も付かないね。きつとあれだ……対フロアボス級のレギオンレイドを組んで作戦を練って確実に囲んで延々と叩き続けるくらいしないとコイツを殺すのは難しい。

バケモノどころの話じゃない圧倒的HPと、それを更にブーストするリジエネ……もはやこれはイジメの域ではないだろうか。

相手が俺だから良いものを、俺以外が相手なら多分これ一生かけても倒せないぞ。

……え？なに？

お前はコイツを倒せるのかつて？

HHHHHHHH、何を言ってるんだか。

俺を誰だと思ってる。

隊長さんだぞ？黒の剣士やおっさんを打倒し、挙げ句の果てには無数のスライムの群れを狩り尽くしたSAOのプレイヤーで間違いなく最強、その隊長さんだぞ？

倒せないわけがないじゃないか（震え声）。

それに実際、コイツを本気で倒すだけなら恐らく一時間も掛からんだろうよ。

スキル構成をワンサイドガチ改にして、かつ極限超越を使ってステータスを攻撃と速度のみに二極化する。

あとは一撃必殺の居合を連打しまくれば多分勝てる。

リジエネが20%／秒くらいじゃなければ。

俺の必殺の居合は放つのに最低でも一秒を使うし、何より一撃では倒しきれないだろうから連打する必要がある。

それを計算に含めた上で……コイツを倒すためにはひたすらHPを削り続けるしかないわけだ。それこそ規格外の超効率プレイで。

……しかし今俺は、コイツを倒すわけにはいかない。

何故ならろーくんが今コイツをティムするためには何かやってくれているみたいだからな。それを邪魔させないように足止めがてら殺死合いをしているだけだ。この事実を忘れてはならない。

というか自分の欲望関連のことで怒ったろーくんは俺と俺の家族

を除いた全人類では一番恐ろしいからな……

今でもリアルで一度だけろーくんを本気でキレさせた地上げ屋に
対するろーくんの表情が忘れられないぜ。

っー訳でコイツをマジで倒すわけにはいかないのぜ。

仮面ライダーに例えるとバガモンと同じくらい倒すわけにはいか
ないのぜ。

……あ、今お前ら『さつきお前倒そうとしてたよな!』とか思った
ろ!?

ハッ……あれはただの気の迷いだから気にするなよ。てか気にし
たら敗けだ。色々な意味で。たぶん。

それにその真実を話したらうわあ……的な視線を向けられるだろ
うよ。主に頭のおかしい奴を見るための視線でさ。

そんなのノンノン。いくら現存する多くの猛毒に対して有効な抗
体を何故か保有している俺だってそんな酷い視線を向けられたら気
分が悪いよ。兄貴（従兄弟）じゃあるまいし。

つまり今俺は絶対にコイツ殺さない……ってことなのさ!

ダメだ頭が混乱してきた。

よし、まずは落ち着かないとな。

俺は何がなんだか分からないまでに混乱してきた頭を無理矢理落
ち着けるべく、とりあえずそこにあつた壁に頭突きをかましてみた。

戦闘中にも限らずだ。

……しかし、頭を打ち付けた所からは何故か、バシヤンという音と
共にヌルヌルしたものに顔面をブチ込んだような感覚を味わって
いた。

その感覚はまあ、夏に嬉しい首に巻くアレに入ってるやたら冷たく
なるゲル状の物質を詰め込んだビニール袋に顔面を打ち付けた時の
感覚に似ているだろうか。

とにかくふにやふにやした不思議な感覚で……

いや待て、そもそもバシヤンて一体なんぞや。

はつきり言って訳が分からない。

なぜ固い筈の壁がこんなにもふにやふにやしているのか、そしてな

ぜそのふにやふにやはバシヤンという音を鳴らしたのか。

……だが、俺はこの感覚に心当たりがある。しかもついさつき知ったばかりの……忘れはしない、これは……！

スライムキングの感触だアッ！

俺は、自分がバシヤンと顔面を叩き付けた物がスライムキングだと理解するやいなや、即座にクイククチェンジで一番上に登録しておいたバーストスパークエッジ&髭切の二刀流を装備し、素早く切つて刺して斬つて穿つて断つてを三度ほど繰り返した。

その時の一連の動作の速度はステータスの数値を越えているように感じたが、まあそこは気にしないことにしよう。

なにせ、俺がステータスの限界を越えることなんざ日常茶飯事だからな。気にしても仕方ない。

それよりも今は、スライムキングにどう対応するべきかが問題だ。

俺はバーストスパークエッジと髭切を構えたまま、素早くその場から立ち退き、すっかり潰れてしまったスライムキングの様子を伺う。

さあ、来るなら来いよスライムキング。お前がいくらやろうと俺には通じねえぜ！

……

……

………おーい。さつさと攻めろよスライムキングー。不意討ち狙ってんなら無意味だからさー、はよせいやー。

おーい。

しかし、そこからの反撃を警戒していた俺を襲ったのはスライムキングの攻撃ではなく、ある種のパニック誘発攻撃であった。

……スライムキングが潰れてるうううう!?

【安価】ウチの弟の眼鏡

【メガ姉】さん、【ギガトン頭】さん、【ブロッコリー先輩】さんが入室しました。

1. メガ姉

とりあえず概要。

明日弟の誕生日なんだけど、プレゼントとかかける言葉とか思い付かん。助けて。

とりあえず訳が分からない人のために5・まで質問受け付けるんでどぞ。

2. ブロツコリー先輩

そのタイトルは何故に？

3. ギガトン頭

弟くんサッカーやつとる？

4. ブロツコリー先輩

弟くんのポジションは？

5. ギガトン頭

そもそもどんな弟くん？

6. ブロツコリー先輩

あと弟くんは小さくて髪がやたら上に尖ってきて足のバネの強い奴ではないよな？

7. メガ姉

6・ハイぎんねーん。答えませーん。でもそこまで細かく指定されたら普通NOしか言えないよね。

2・弟も私もメガネなんで。

3・やつてるぽい。まあ、プレイ中雑魚過ぎて開始三分で下げられること多いけど。

4・私の尻の下ですが何か。

5・いわゆるやられと解説役を同時に引き受けてるようなやつ。とにかく弱い。しかしメガネが似合う。

8. ブロツコリー先輩

7・メガネが似合ういらねえw w

9. メガ姉

あ、書き忘れたけど安価は16・で、まずプレゼント選んでくりw^w。

10. ギガトン頭

おkおk。それじゃ、プレゼントを心待ちにしているであろう弟の

ため16・まで一気に起こうぜ。

K・S・K!

12・ブロッコリー先輩

K S K

【髪の毛が虫】さんが入室しました。

13・ギガトン頭

K S K!

14・ギガトン頭

イカス眼鏡の柄

15・ブロッコリー先輩

手に炎を纏ってボールを止めてから仲間を売りゴールを明け渡す

プロの犯行のやり方。

16・髪の毛が虫

ヤギを抱えながら砲撃に横から突っ込んで回避するほどのステツ
プを伝授

17・ブロッコリー先輩

決め台詞をきくと途中までしか言わせてもらえてないであろう弟
くんを決め台詞を言わせてあげる。

18・ギガトン頭

一日中サツカーを出来る環境をプレゼント

19・メガ姉

……16・待ておまwwてか何故にヤギww

だが16・以外にもふざけすぎだろwwサツカーどんだけ好きな
だww

まあとりあえず弟には誕生日のプレゼントとしてヤギを抱えなが
ら砲撃に横から突っ込んで回避するほどのステップを伝授するとし
て……それじゃどう言って渡す？

近いけど次は24・

20・ギガトン頭

近いなwしかし燃えるなww

21・ブロッコリー先輩

行くぜえ！

22・髪の毛が虫

べ、べつにアンタに喜んでほしい訳じゃないんだからね！

23・ギガトン頭

フツ……（意味深な笑み）

24・ブロッコリー先輩

安心しろ、骨は拾ってやる。

25・髪の毛が虫

あ、お前の髪の毛、ヤギが憑いてるぞ。

26・ギガトン頭

実はね？あなたは本当はヤギと人のハイブリッドなの。

27・メガ姉

いやおまいら私を殺す気がwうちの弟は怒ったら怖いってのに

……

まあ、安価は絶対だからね。仕方ないね。本気感バリバリで伝えればきつと弟も分かってくれるはずさ……

おし、今から計画立ててくる！

そして弟を、『ヤギを抱えながら砲撃に突っ込んだ挙げ句普通に避ける変態』に改造するよ！

みんな！応援してね！（ヤケクソ）

【メガ姉】さんが退室しました。

28・髪の毛が虫

えつちよマジでやるのかww

【髪の毛が虫】さん、【ブロッコリー先輩】さん、【ギガトン頭】さんが退室しました。

【お前の親の】そうか、そうか。君はそういう奴だったんだな【顔が見たい】

ソイツの作ったゲームを見るとソイツの人間性が分かる、そう言ったのは遠縁の親戚の血縁関係にはない叔父だったか。

あの人はお年玉の時も三回ほどフェイントを入れてくるわやたらタチの悪いクイズを出してくるわで結構面白キャラな位置付けだったんだが……あ？どんなフェイントされたのかつて？

そりゃあ、『落とし玉』やら『おとしまえ』、訳の分からん所では一人暮らし（ただし居酒屋経営のため割と賑やか）を始めた年には『おろしがね』なんてのも……いやそんなのは今どうでもいい。

その叔父さんの言葉に当てはめるなら作ったゲームで人間性を診断出来るとのことだが、これを診断すると一体どういう結果になるのか……実に気になるもんだなあ。

なあかやひこよ！

俺とろーくん、迷宮区に二人。そしてスライムキング（液化化）一匹。

現在二人で一匹から逃げております。

いや、本当に訳が分からんけど、なんで液化化するなり突然倍速になって動き出すかなあ。

かやひこは意地でも攻略させないつもりってか？

こなくそが、そんなに攻略されたくないなら迷宮区を侵入禁止にしろっての……

「とか考えつつさりげなくマキビシをプレゼントフォーユー！」

まあ、しかし相手がいくら強化されようと俺は俺。さりげない削りダメージによってしつかりとスライムキングを傷付ける。

無論そのダメージは先程までなら即座に回復しただろうが……今は残念、そんな都合のいい能力を失っている。

相も変わらず恐ろしく高いHPが満ち溢れているし全体的に能力が上がっているように見えるのだが、それと引き換えに回復能力を

失ったようで先程からHPの回復が見られない。

これはチャンスだ。

ここで一気に追い詰めてとどめを刺さないギリギリまで追い詰めてやるのさ。

「そしてそこからさらにさりげなく弾けるマキビシクラツカーをどうぞ！」

そーゆーわけでここからは俺の Show time (パーフェクツな発音で) だ。

このときのために用意した訳じゃないが、ストレージにありつたけ詰め込んだ武器たちが火を吹くぜえ！財政的にも火を吹くぜえ！

まあ、財政については気が向いた時に軽くカジノのスロット(目押し出来るタイプ)とかブラツクジャツクやらポーカーやらで稼げばいくらでも増やせる訳だがな。

しかし火を吹くぜ……

俺は、メニユーを操作して素早くとある武器を取り出して装備せずに地面に叩き付けた。

SAO 史上もつとも危なっかしい武器であると同時にイカれた装備筆頭、ボンバーブレード。俺的愛称はマキビシクラツカー

攻撃力は入手できる層を考えると破格どころの話じゃないが、コイツは攻撃して当たる度に大爆発を起こすんだ。

それも自分に命中するタイプのめんどくさい奴を。

しかもその爆発が防御無視、プレイヤー限定でダメージ二倍とかいうクソ仕様……挙げ句の果てに入手も困難なコイツは、使っていると大概嫌われる武器として有名である。

だがそんなコイツも地面に投げ付ければあらず不思議。割と普通に強い爆弾になるのだ。

まあ唯一の問題としてプレイヤーによる攻撃あるいはmob以外のオブジェクトへの激突でしか起爆しないし近接攻撃以外じゃ起爆出来ないから、爆弾としての運用には少々のコツがあるんだが……そのリスクを補って余りある戦果をあげてくれる。

何故かって？そりゃあ簡単さ。

「そいそいそいそいそい！」

この武器の爆発、実はなんとも言えないほど凶悪なノックバックが付いていて、プレイヤーならモロに喰らえば十秒は動けなくなるようなノックバックを起こすんだ。

しかも防御以外でのノックバック耐性を完全に無効化するから、それを利用すれば簡単な壁ハメが出来るってわけさ。

手順はこう。

投げる、クイックチェンジで回収、以下ループ、相手が死んだら終わらせる。

ほおら、簡単だろう？ たったこれだけで延々と敵を壁に叩き付け続けられるのさ。素晴らしいぜ。

……あ、でもこれ、1つだけ重大な欠点があるのを忘れてた。

これ使うとダメージ調節が難しいから発狂モードにすぐ突入するんだよな……そこだけはめんどくさい。

ほら、今だってキングスライムは何やら姿を変えてるし。

あー、早く来ねーかなろーくん。さつさとクイツを捕まえてくれよろーくん。

俺にはもう折ることしか出来ないんだぜ。敵のプライドを。

【おまいら集まれ】SAOのこれはクソ装備ってやつ挙げてけww【総選挙】

【理不尽の具現】さん、【貴婦人の苦言】さん、【理不尽な眉間】さん、

【ピザ屋】たんが入室しました。

1. ピザ屋

なんで俺だけたん呼びなんだ!?

2. 理不尽の具現

俺が理不尽の具現だから。

3. 貴婦人の苦言

それじゃあ俺氏の名前が気付いたら変えられているのは？

4. 理不尽の具現

俺が理不尽の具現だから。

5. 理不尽な眉間
それじゃあ俺の名前が元々訳わかんねーのは？

6. 理不尽の具現
それはお前が理不尽な眉間だから。

7. ピザ屋

6. 訳分かんねーよ。

8. 理不尽の具現
そうか？気にしないでおけ。

まあとりあえず、最初におまいらにこのスレが生まれるまでを話そう。

さつき隊長の様子を伺ってたんだが、なにやらなんか隊長がアホな武器を使って戦つとつたからだ。他に意味はない。

さあ挙げろ。お前らにとつての最悪な武器を。

9. 貴婦人の苦言

アスカロンやな。

10. ピザ屋

神鎚フルコース一択で。

11. 理不尽な眉間

いやいやいやいや、ローズピアッサーでしょ。最悪は。

12. 理不尽の具現

……これはまあ面白い組み合わせだこと。

さて理由は？笑えるの挙げた奴が居たらかやひこの夏の日の重い出公開してやるぞw

13. ピザ屋

入手難易度が鬼畜なクセにクソ武器かつ肉だけというバランスの悪さ。

どうせならチーズと少々野菜と生地のもつで栄養バランスの良い()ピザを作つて欲しかった。

というかピザカッターの武器作つてくれよ頼むから。一番使いなれた武器なんだよ。

14. 貴婦人の苦言

アスカロン、テメエは俺の憧れをぶち砕いてくれやがった……
とあるで後方のアックアさんが使ってた武器だしさぞ強いんだろ
うなあと思ってたたらデカいだけの雑魚武器。まじ
ふあつきん。

あと色が地味だし無駄にデカいから俺のチビさが浮き彫りになっ
てイラツとする。

15・理不尽な眉間

13、14・フツ、この勝負は俺が貰ったぜ。

ローズピアツサーマジフザケンナ。

テメエなんで『男の尻に攻撃した際、攻撃力が上昇する』なんて効
果持ってたんだよどう考えてもそれ必要なイクサ場じゃなくて八点
場じゃねえかww

かやひこ、俺にはお前の脳みそがとつくに腐り落ちてるんじゃない
かと思えるよ。あまりにアホすぎてな。

……まあ、お陰で新しい世界を見ることが出来たんだが。

16・理不尽の具現

15・おいww目覚めんなバカww

17・貴婦人の苦言

15・お前どうせローズピアツサー愛用してるんだろ？俺は知っ
てるぜ？

18・ピザ屋

15・ちよいレーティング上がる覚悟で言うが、最近の趣味は？w

19・理不尽な眉間

ちなみに最近の趣味は黒の剣士の写真を集めることなんだが、それ
がどうかしたか？

20・ピザ屋

19・黒の剣士ってどうよ。何したいよ。言ってみな。

21・理不尽な眉間

マジでhshsしたいですわww

22・理不尽の具現

ワロタw

23. 貴婦人の苦言

w w w

24. ピザ屋

w w w w w

25. 理不尽な眉間

ところで今言うのもなんだけど、このスレってなんのスレだっけ。

26. 理不尽の具現

25. ……あつやべ忘れちゃったw w それもこれも笑いすぎたせ
いだw w

27. 貴婦人の苦言

すっかりしろカデw w 世界最高峰のコンピュータだろお前w w

28. 理不尽の具現

そしてついうっかりかやひこが昔送ったらしいラブレターの内容
を入手しちゃったぜw w

29. ピザ屋

うっかりなら仕方ないね。うん。

30. 理不尽の具現

そして……なんか、間違えてクエスト攻略ボーナスに設定しちゃっ
たぜそのラブレターw w w

まあうっかりなら仕方ないよなw w

31. 貴婦人の苦言

30. もうw カデさんはドジっ子だなあw w まあうっかりなら仕
方ないぜw w

(続かない)

ルーチンワークを続けていたら事故った件「あるあ…
ねえよ！」

いきなりどうでもいいことなのだが、実は昔ひやつは汚物は消毒だ―(棒読み)とか言いながら爆弾をバラ撒いてみたいとかいうワケの分からん夢を抱いたことがある。大体時間にして30分ほどだったけどな。

で、俺がその話を近くに居た兄貴にしてみたら、それを面白がつて海外旅行(本人談)に行った時に実現したって話を聞いたことがある。ただ兄貴いわく、爆弾バラ撒くよりもむしろナイフで斬るか殴るか絞めるか撃つかした方が楽しい……らしい。

まあ、でも気分爽快にはなるんじゃないかなー、とは勝手にどこかで思っていたわけだよ。

だって爆弾だぜ？爆発は芸術だぜ？

だったら兄貴が言うよりも楽しいんじゃないか、と思っていたよ。

……この作業を始めるまではな。

うん、確かに爆弾バラ撒くよりも普通に戦った方が楽しいよね。よくわかる。

まず、なんだって爆弾をバラ撒いてるだけじゃ単調だ。

考えてもみろよ、ただクイツクチェンジで投げた武器を回収してはもう一度投げるだけの作業だぜ？

飽きるわ。俺じゃなくても飽きるわ。っーかどんなに忍耐力のある奴でも飽きるわ。

そんなに飽きやすい作業だったのに、そこに追い打ちでやたら高難易度と来た。チクシヨウこんなもん始めるんじゃないやなかったぜ……

まあそんなことを思うのならそもそもなんでこんな作業を俺はしているんだ？と聞かれたら黙るしかないわけなんだが。

……ところでさ、今気付いたんだけど無心に剣を回収しては投げる作業を繰り返しまくってたら視界に表示されていたはずのスライムキングのHPバーが見えないんだけど……バグかな？(現実逃

避)

俺はそつと、無心で投げ続けていたが故に意識から外れていたスライムキングの様子を見る。

「PGA……GA……」

……あれえ？おつかしいなあ。スライムキングくん、君は確かもつと頑丈じゃなかったっけ。

ほら、立てよ。立って俺を困らせろよ。

立て、立つんだよスライムキング！

スライムキングは、すでに息も絶え絶えな状況であった。

つまりほぼ死んでいた。

マジすか？とか聞きたくなるが、恐らく液状化によって自動回復が失われ、さらにHPが減少してなんか訳の分からん状態変化を起こしていたのをなんとなく確認したのだが……

うん、まああの形態は恐らく最終形態で、HPが一定値以下になってさらに耐久を捨てて敵を葬るための形態に変化している途中に俺が無心状態に突入、ついついすっかりHPバーを確認しないまま延々とボンバーブレードを投げまくってしまったわけだ。

俺のバカ、なんてことをしてしまったんだ……どこぞの変態の言葉を借りるなら、怠惰過ぎるぜ俺氏。

……つて、こんなことをしてる場合じゃなかった。

コイツを仕留めてしまったことがバレたらどう考えてもろーくんは間違いないからな。てかどう考えてもマジの殺し合いになるからな。

クソつ、こんなことになったのも全部、お前が思ったよりも脆すぎたからだぜ、スライムキング………！

俺は何気なく理不尽にスライムキングを恨みながら、ひとまずこのスライムキングの遺体を処理しようと試みる。

こういう手早い処理が求められる時は一旦土葬して隠してから、後日出来るだけ迅速に火葬あるいは爆葬した方が良いんだが、このSAOじゃそれは出来ないしなあ。

いや待て、S A O的に考えて遺て

「店長！準備終わったぞー！」

しかし、俺がこの遺体のおかしなところに気付くその瞬間、割と近いと思われる場所からろーくんの声が響いてきた。

やべえよ……………やべえよ……………ろーくんが来ちまった！

今は遺体を処理も出来てないから逃げたって言い訳もできないのに！どうすんだこれ！

俺は焦りつつも、なんとかこの遺体を片付けようとそれを手に持ち、渾身の力を籠めて投げ飛ばした。

だが、焦っていたせいで投擲スキルを今付けていないことを失念してしまい……………結果遺体はマトモに飛ばず足元に落下してしまう。

あつやべ……………

「ダ、ダメだろーくん！こっちに來てはならない！（迫真）」

「店長、そんなに焦ってどうか……………」

……………ろーくんが、來た。

今このタイミングで一番來て欲しくない人材が、そこにいた。

ろーくんは、俺の足元のスライムキングの遺体を見ると、何を言う訳でもなくただ、武器を構えた。

「店長……………お前の血は何色だああああ!!!」

そしてろーくんは鋭く踏み込み、一瞬で俺の喉を剣で貫こうとする。

その速度は俺の攻撃と比較してもさほど変わらない程に素早く、まさに神速と表現するべきものだ。

だが甘いぜ。このS A Oじゃ俺を除いた全員を呆然とさせたままに殺害できるレベルの一撃だろうが……………俺にとってはこれまでの人生でも1、2を争う程度の速さでしかない。

だって踏み込みの方で音速には届いてないしね。

現実でケンカした中には接近している時に一歩動かれるだけで吹っ飛ばされるような滅茶苦茶な奴、10歩分の間合いを一瞬で詰めて装備を全て剥ぎ取るような奴、あととんでもないところじゃ自分自身の攻撃に体が耐えきれずそれをやった後に死んだ老剣士もいた。

そいつらと比べりやあこんなもん軽いもんさ。

俺はろーくんの本気を越えた神速の攻撃を捌きながら強がる。

いやあ、驚きですよ。

リアルの方でもろーくんがブチ切れたときに俺並みの力を発揮したことがあったけど、ここじゃ俺と同等かそれ以上、ってところだね。

あーとんでもないとんでもない。どう考えても普通の人間だつてのに、なんで俺以上の力を発揮できるのやら。

まあ、端的に言つて普段からろーくんは時代がグルメ時代なら国を料理の腕だけで支配できるかもしれないレベルのとんでもない逸材だつてのは知つてたよ？

でもさ、流石に俺に匹敵するのは予想外だわ。

リアルだと本気中の本気を出したろーくんであつてもなんとかなつたつてのに、ここだとどうにかなる気がしないんだよなあ。

ほら、今はなんとか捌きまくつて拮抗してるけど、いまいち攻めに出不れない。

それほどろーくんの攻撃が激しいのだ。

まさに攻撃は最大の防御、だよ。

まあ、一応どうにかできない訳じゃないぞ？少なくともろーくんの生死を考えなければ一瞬の間に三回首を叩つ斬ることでどうにかできる。

ただしそれをやるのは最終手段だ。

まずはコイツをなんとかする方法を考えよう。

俺は激しい斬り合いの最中、不意に武器を『バカ武器ランキング不動の一位』『金にもならんゴミ』『下手すりゃボンバーブレードの方がマシ』とすら言われたとある武器に変更し、ペースを奪うことにした。

その名も……

「ロックシヨットオー……モーニングスタアアアア!!」

ロックシヨットモーニングスター。

またの名をハンマー投げハンマー。

ただ武器の先端が浮いているために異常なほど軽い、そのくせ敵が攻撃を受けるとやたら重く感じる。

挙げ句の果てには壊れても鉱石を補充すれば代わりの先端になるから経済的、三拍子揃った便利な武器である。

弱点としては『あらゆるソードスキルの使用禁止』、『攻撃力がミスリル以下の鉱石で先端を作るとほぼ0』、『殴つてると1/300の確率で先端が飛んでいつて勝手に変わる』んだが、まあその程度なら問題ないだろうさ。

1/300の確率で起こるなら、それを意図的に引くために300回振ればいい。

攻撃力がないなら素の攻撃力を上げりや問題ない。

ソードスキル？知らない子ですね。

つ・ま・り

俺にとつてそのデメリットは！デメリットにならないのだ。

「フハハハハハ！どうだ参ったか！さっさと降参しろよろーくん！悪いことは言わねえぜ！」

「知るかこんにやろお！」

ゆえに、この武器はただ便利なだけの武器になるのさ。

……さ、時間稼ぎやすくなったことだし、マジメに解決策考えますかねえ？

【緊急】おまいらこの状況の打破策考えてくれw

【隊長】さん、「ハブラレンゲル」さん、「エンダーマン」さん、「ヘルプミー」さんが入室しました。

1. 隊長

緊急つてタイトルに書いた通りマジで緊急事態。

なんやかんやでてんやわんやでかくかくしかじかだから、今すげーピンチ。要約すると助けて。

2. ハブラレンゲル

1. お前を緊急事態に追い込めるような奴が居るのかよwwどうせ釣りだろ？

3. エンダーマン

2・そんじや釣りって方に300ジンバブエドル

4・ヘルプミー

2・このままじや賭けにもなりそうにないので事実って方に300ジンバブエドル

5・隊長

ジンバブエドルってwwそれ今じやただの紙切れっつーかむしろ珍しいバカ金ww

まあ真実だし4・の勝ちだわww

……まあそれは良いとして、マジでピンチなんでこの状況をどうにかしてけれw

6・ハブラレンゲル

5・それじやお前が今どういう経緯でそうなるのか書け、話はそれからだ。

7・隊長

6・良いだろう、ならば心して聞け！

……まあ長くなるから事実かどうかってとこを気にしない奴は26・あたりまでキンクリしてくれ。具体的には◇と◆を多数挟んで。

8・ヘルプミー

7・なんじやそりや。

9・隊長

8・考えるな感じろ。ってことさ。

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

26・隊長

つーわけでおまいら、この状況を打破させてくれ。

俺の未来はおまいらに掛かっている！

27・ハブラレンゲル

いや訳わかんねーよ！そもそもなんであのバカみたいに攻略不能過ぎる95層迷宮区に突入しちまってんだよ！

アホかコノヤロウ！

28・エンダーマン

27・まあとりあえずこういう時はこう言っておけ
まあ、隊長さんなら仕方ないな。

つてさあ！

29・ヘルプミー

俺の名前がヘルプミーなのに、むしろ助けに回る方ってなんでなんだか……

つーかどうやって助けりや良いのかまったく理解出来んのだが。

30・隊長

なお俺氏の残り時間は現在刻一刻と減少中。時間稼ぎのためにし
ばし閲覧のみにするから、じゃんじゃん書いとけw

それといかにアホな奴だろうと大体は実現できる前提で考えとい
て構わんから。

31・エンダーマン

30・アンタに出来ないことはないってかw

そんじゃ転移結晶を連打しまくって転移を繰り返して逃げるに一票。

32・ヘルプミー

いつそエフ子ちゃんを呼んで懐柔する。

33・ハブラレンゲル

32・いや、お前のそれは相手がロリコンである必要があるだろw

w

34・ヘルプミー

33・しかしエフ子ちゃんは非常にかわゆい。ゆえにどんな相手
にも勝てると思うのだが。

というかアンタにはなにか案があるのか？ないんだろ？

35・ハブラレンゲル

……ハッ、バカだな。俺にはとんでもないビッグアイデアがあるぜ？

おまいらなんかとは比べ物にならないほどとんでもないもんがな。

36・エンダーマン

35・なら言ってみろよ、言ってみやがるんだよ。

37・ハブラレンゲル

そんな聞きてえなら言つてやんよ。

聞いて驚け…………

いつそボス部屋に突入してやむをえず共闘するしかない状況に追い込むか、あるいは一人で突入して自分から閉じ込められれば良いんじゃない？

75層以降のボス部屋は一度閉めると外からも入れんしな。

38・エンダーマン

37・バーカバークwwんなもん出来るわきやあねえだろwwいくら隊長でもボス部屋に1人で入るなんて不可能だつーのww

39・ヘルプミー

…………いや待ちなよ、あの隊長ならやりかねないぞ？

40・エンダーマン

おまいらwwぜつてーにボスの非常識な硬さ知らねーだろww

41・隊長

呼ばれた気がしてジャジャジャジャーンww

40・ならやってやろうか？ww

今からな！

42・ハブラレンゲル

41・えつちよww

43・ヘルプミー

いや冗談だよね冗談だよね？マジで挑戦したりしないよね？

44・エンダーマン

いや、いくらなんでも本当にやったりは…………

……………するんだなあ、これが。

俺は作戦を立ててもらうために開いていたプレイヤーチャットを閉じ、目の前のろーくんの目を見た。

即座に後悔した。

ヤバイヤバイ。何がヤバいかは良く分からないけど、今のろーくん

の目は危険すぎる。

もはや殺意と怒りと良く分からん感情でその目は光っているかのように見えるし、拳句の果てには目の白いところが黒く黒いところが赤いかのように錯覚してしまう……

なんてこつたい。ろーくんはシステムの限界を超えたともいうのか。

システムの限界を越えられるなんて、もはやこれはろーくんじゃない、rookunだ。あるいは狼君だ。

それにヤバいのは目だけじゃない……その戦闘能力もまだ底を見せてないようにも感じてしまう。

だからこうなったらさっきプレイヤーチャットで募集して集まった『転移結晶連打』『エフ子でなだめる』『ボス部屋へGO』の3つを試すしかないわけで……

どれから、試そうかねえ？

隊長式ろーくん攻略法・豪華版【略してTKG】

何故だ……何故応えない！

俺に応えろヴェー……コホン、もといシステム！転移結晶！

俺はろーくんに転移結晶の使用を連打しながら、ろーくんから逃げ惑っていた。

しかし転移結晶はいつまで経っても反応しない。

なんてこつたい。とうとう深刻なバグを起こしちまったみたいだぜ。

話に聞いたような結晶無効空間をボス部屋でもないのに作っちゃまうとかまじふあつく。

お陰でろーくんからの逃走方法が1つ失われちまったんだぜ……この恨みは後で返すから覚悟してろかやひこ。

だがまあ、こうなりや次の手段だ。

スレの中でも最も有力な手段であるエフ子によるプレイヤータイム。

モンスタータイマーならぬプレイヤータイマー……なんつって。

まあとにかく試してみよう。

人間は挑戦する生き物だ。挑戦してこそ人間なのだから！（謎の名言感）

俺はなんかもう物凄い偉人が言っただけな名言っぽいことを考えながらその場で回れ後+右（半バク転しつつ横向きにも半回転して後を向いたとも言う）してあえて追跡してくるろーくんに突っ込んだ。

否、それでは少々表現が不十分だろう。

正確には俺は、ろーくんの足元にスライディングしたのである。

全力で足を蹴りに行く、中学のサッカー部時代は出来なかった最強のラフプレー。まあ実はスポーツマンシップとか欠片も分からなくて挙げ句の果てには『ボールを挟んでおけば蹴っても割と大丈夫』と考えて何人もの選手をそれで病院送りにしたことがあるんだが。

あの時は最後10以上が病院送り、残りのメンバーも俺以外ボロボロになって、驚いたわー。最終的に俺が一人でロングシュート連打

して20―0になってたことに。

あ、ちなみにそれをやった相手の校の名前は覚えちゃいないが多分世宇なんかだったと思う。

さて話を戻そう。

ろーくんの足を本気で使い物にならなくなるくらい全力で蹴ろうとした俺は、そこにもう1つ新たに小細工を付け加えた。

SAOでは基本強いけどリスクが高いことに定評のある爆弾アイテムの中でもとびつきりの変わり種、ある意味一番使いやすいのに使いくいとかいう謎の特性を持った1つの爆弾をろーくんの膝の上に貼り付けたのだ。

その爆弾の名は……

「私はそこに、怪しく光る黄色の爆弾を置いてきたのだ……だっけ？ まあ知らんが爆ぜるがよい！」

その名も【檸檬（レモン）】。

どこぞの文学作品のオマージュというか露骨なパクリというか、とりあえずネタとして作られた筈の爆弾である。

その効果は至って単純で、ただそこにあるだけ。さほど高くないので放置しておけば数分で尽きる耐久度がゼロになると爆発してほとんど無いに等しい軽微なダメージと、レモンの香りを喰らわせるのである。

しかもこの檸檬、何故かは知らんがどこにでも貼り付くし時間経過以外で壊れない。あとレモンの香りが死ぬほど強くてもしも嗅いだら俺でもなけりや思わず鼻を抑えてしまうような強い香りを発するのだ。

もしこれを足の裏にでも貼り付けられたら……バランスが取れずマトモに立てないし厄介なこと受け合いだろう。

そんなものを膝に付けられた奴の反応は分かるよな？

……そう、慌てて剥がそうとするのさ。

だが膝に付けられたそれを剥がすには足を上げて取ってから手をブンブン振って手に張り付いたレモンを適当な所に飛ばす必要があったりして……今言う事じゃないが、やっぱ爆弾としては無能なの

に足止めの置き土産としては優秀だよな。これ。

あと余談だけどコイツ、元々はある層で強敵とされたデスハウンドという犬型モンスターに対しての特効効果があるってことでそれなりに有名になったんだよな。

俺もなんとなくで取りに行つて、そのあと暇潰しに半減決着のデュエルをやつたら偶然檸檬の裏技的使用方を見つけたんだよ。

で、それが出回ったのがさっきの使い方ってわけ。

……と、いう事でろーくん。お前は俺の黄色い爆弾に存分に苦しむがよい！俺はその間に逃げるがな！

……なんだねろーくん。その目はまるで絶対に走つて追い付いてぶつ殺すとも言いたげだな。

だがしかし走り方の効率を求めすぎた結果『見ていると目がムワムワする』という理由から短距離走の大会から出禁喰らった俺のウサギ走法に、追い付けると思うなよ？

まあウサギ走法と言つても実態は

開始と同時に前に出した方の足で一気に跳んで大幅加速⇒着地すると同時に地面スレスレの前傾姿勢で走つて勢いを殺さず一気にトップスピードへ⇒トップスピード
つてだけだ。

それとこの名前の由来は無口なクセにメールだと饒舌なコーチが大笑いしながら『短距離走で跳ぶとかお前ウサギかよwwあゝ、物理でびよんびよんゝするんじゃあゝww』的なことをメールしてきたからなんだよな……

別に気持ち悪い点は一切ないだろ？

なのにそれを見ていると思わず吐くくらいに気持ち悪くなるらしい。

まったく、なんでだかな。

俺はただ純粋に最速を求めただけだったのに……

お陰で測定員の人も記録をマトモに取れなくて公式の最速記録は6秒ぴったしになっちゃうしよ……

おっと、今はそんな話はどうでもいいな。

それよりもろーくんから逃げてエフ子を連れてくる方が大切だ。

「店長オオオオオオオオオオオオオオ!!!」

後ろから不気味な声もしていることだしな!

「逃がさねえ……逃がしてやんねえ……」【マッドコール】!

あとなんか訳の分からないスキルを使われた気がす……

それをなんとなく認識した瞬間、すでに俺の足は踏んでいる感覚が普通の地面と変わらない場所に沈んでいた。

……なんじやこりやあああああ!!!

【安価】TKGであいうえお作文やろうずww

【ピザが食べたかった】さん、「トルティーヤを食べたら処す」さん、「トルコアイスを食べ」さん、「タンタン麺」さんが入室しました。

1. ピザが食べたかった

とりあえず全員の名前が食べ物関係なことに運命を感じるが、最初に一言。

SAOでTKGを作ってみたんだがマジで美味かったわwwだから記念で安価しようぜww

最初はTKGのTで、7・

2. トルティーヤを食べたら処す

1. あえて聞こう、食材は何を使った。

3. ピザが食べたかった

全てBランク以下だ。

しかし奇跡的な調合により俺は最強のTKGを作り上げた。

4. トルコアイスを食べ

御託はいい! さっさと吐け!

5. タンタン麺

おまいらそれも良いが安価忘れるなよ? w

T⇒たくあん

6. トルティーヤを食べたら処す

トンカツ

7. トルコアイスを食え

豚汁

8. タンタン麺

タンタン麺の素

9. トルティーヤを食べたら処す

た○のこの里

10. ピザが食いたかった

おいおい……大丈夫かおまいら？調子悪くないか？

豚汁とか普通過ぎて草。

11. タンタン麺

10. 豚汁を普通と言えるお前のセンスに草だわww

12. ピザが食いたかった

おまいらは知らないのか？

それじゃ小学校の頃を思い出せ。居ただろ？

給食の時白米と豚汁が出たら白米に豚汁かけて食う奴が！

13. トルティーヤを食べたら処す

12. あ、いたww確かに居たww

14. トルコアイスを食え

12. それ俺やわwwwテラワロスww

15. タンタン麺

俺氏には理解できません。まあしかし確かに美味そうではありますん。

豚汁の味が付いた飯とか結構良さそうだわww

16. ピザが食いたかった

15. だろ？ちなみに俺は豚汁を作ったとき夜食これだわ。深夜に食う豚汁かけご飯が美味しいの……

つと、それじゃ次の安価はTKGのKで24.

17. トルティーヤを食べたら処す

Kまでいじったら最終的にどうなるのか分からなくなるぞww

18. トルコアイスを食え

これはまさか豚汁菓子ご飯とかなるのか……？

19. タンタン麺
18. 俺はむしろ豚汁かけゴリラを想像した。
20. トルコアイスを食べえ
w w w w w
21. トルテイヤを食べたら処す
w w w w w
22. トルコアイスを食べえ
- カー○ルクリスピー
23. タンタン麺
- ケサデイヤ
24. トルテイヤを食べたら処す
かりんとう
25. タンタン麺
- カジキマグロ
26. トルコアイスを食べえ
- ケバブソース
27. ピザが食いたかった
- ハイ決定。TKG⇨豚汁かりんとう○○
………つてあるかああああ!!!
- つーかさつき豚汁菓子ご飯とか言ったやつ居たよな！お前が全ての元凶じゃあああ！
- まあいい、次で最後だ……TKGのG！おまいら真面目にやれよ！
35. だ！
28. トルテイヤを食べたら処す
それはダチ○ウ倶楽部方式で考えても良いのだろうか？
29. ピザが食いたかった
28. 死亡フラグを建てながら言ってもダメだ許さん。
30. トルコアイスを食べえ
真面目にやらなきゃ、ダメ？（ロリボ）
31. ピザが食いたかった
30. おじさんはロリコンじゃないのでダメです。

32. タンタン麺

実は俺、真面目にやると蕁麻疹が出るんだ……お前の体に。

33. ピザが食いたかった
いや俺かよ!?

34. トルテイヤを食べたら処す

グ○コ

【百発百中ヤブスナイパー】さんが入室しました。

35. 百発百中ヤブスナイパー

ゴスロリ美少女のゴンザレス

【百発百中ヤブスナイパー】さんが退室しました。

36. タンタン麺

ゴーヤチャンプル

37. トルコアイスを食べ

牛丼

38. ピザが食いたかった

……結果発表。

39. トルコアイスを食べ

w k t k

40. トルテイヤを食べたら処す

w k t k

41. タンタン麺

w k t k

42. ピザが食いたかった

w k t k もなにも……

T o n j i r u

K a r i n t o

G o n z a r e s (綴りはテケトー)

だよフザケンナ!確かに百発百中だけどさ!

43. タンタン麺

42. いやしかしそれは豚汁を掛けられた美少女、カリントウウゴンザレスちゃんってことじゃないのか?

44. トルテイヤを食べたら処す

43. ■ w w w フロス w w w w w

45. トルコアイスを食べ

42. ■ いつそカリントちゃん（仮称）の設定考える安価やろうぞ w

w

46. ピザが食べたかった

おまいら少しは気にしろよ……まあ良いき。やりたいってんならやってみてやる。

俺はイケメンで甲斐性抜群のナイスガイだからな。

次、カリントちゃんは金髪か銀髪か黒髪かそれ以外か！それ以外なら色を言え！59. ■ だ！

47. タンタン麺

俺たちの安価は、これからだ！

【ピザが食べたかった】さんたちの次回安価をどうぞ期待ください（打ち切りEND感）

【墓穴を掘ったな！ヴァカめ！】このアイテムがおかしい！

突如として文字通り泥沼と化した地面に足を取られた瞬間、俺はろーくんの持っているユニークスキルの効果を思い出した。

【森林の支配者】。

いわゆるサポート系ユニークスキルで、攻撃的なソードスキルを持たない。

いや、一応ソードスキルはあるにはあるがそれも『森林に關係する敵をこのスキルで倒した場合、必ず10%の確率でタイムできる』って効果だった。

そしてその森林關係つてのが実に幅広くて、何故かスライム（むしろ湿地に居そうだが）も含まれているのだ。

頭おかしい。

ついでに言うとな前の通り森林に關係する……例えば木とかキノコとか薬草とか……を使うアイテムの製造に大幅なボーナスと効果値への上乗せつてのもあつた。

他には森林關係の敵のタイム確率の上昇やら何やら……まあとにかく、俺の超越劍なんかよりよっぽど普段使いに便利なユニークスキルつてわけだ。

……で、多分これは『底無し沼つて森にあるよなwよつしやスキルにしようぜw』的発想で作られたであろうこと受け合いのスキルだと思ふ。

なんせ俺の足を取って動けなくするほどの沼だ。

底がない訳じゃないだろうが少なくとも動きを大幅に制限される程度には厄介だぜこいつあ。

脱出方も今のところ32個しか思い付かないし、その内の29個は実行が出来ない。少なくとも今現在は。

「さあ店長……覚悟しな……っ！かこのスキル十秒ごとに100000コル掛かるんでな……さっさと決めさせてもらうぜ？」

解説乙。しかし出来れば解除してからやるとかいう様式美を再現してほしかった。

主に俺の脱出を容易にするために、さ。

しかしそんな願いは虚しくも届かず、ろーくんは俺の目の前でゆつたりと剣を振り上げる。

クツ……これまでだと言うのか……（圧倒的フラグ感）

そして、最大まで振り上げられたろーくんの剣が、俺の頭に振り降りされた。

「科学忍法身代わりの術ウー！」

……だが残念それは残像、もとい身代わり人形だ。

この前お前がくれたチート級アイテムの1つだけ、ろーくん。

科学忍法身代わりの術。その正体は、ろーくんのスキルによってのみ作成できんアイテム【身代わり人形】を1つ消費することで自分が最後に攻撃を行った位置（移動系ソードスキルは開始位置で測定）にテレポート出来るのだ。

さて、ここで問題だ。

俺は先程ろーくんにさりげなく嫌がらせをしつつ、その裏でスライディングによってろーくんに攻撃していた。

その場所はどこか分かるだろうか。

……そう、ろーくんからそれなりに離れた後方である。

「ハッハッハッハッ！俺を倒そうっていうなら地球ごと滅ぼすくらい
の覚悟で来るんだなあ！」

俺は、捨て台詞を吐きながらろーくんの遙か後方へと逃走する。

まあその方向にあるのはボス部屋だが……無論ボス部屋に突入はしない。

だって一人で攻略することでもろーくんから離れても攻略後すぐにろーくんが入ってきて危険になりそうだし。

ん？それじゃどうするのかって？

それはな……

「ヘリックスブレンド」（某青い狸感）

説明しよう！ヘリックスブレンドとは、とりあえず良く分からん理

論によって訳の分からぬままいつでもどこでもステルス出来るチート級アイテムなのだ！

まあこれ、どう考えても本来は逃走とかの消極的な使い方じゃなくて暗殺とかの積極的な使い方のアイテムな気がする。

ほら、これを使って隠れてナチュラルにムツコロしたり、あるいは殺した相手の死体をこれで隠したりとか。便利そうじゃない？

しかし今回はそんなヘリックスブレンドを頭のおかしい使い方を使う。

俺はメニューを操作し、いくらかのアイテムを取り出した。

感圧起動板、行動制限系ボム各種、そして特殊アイテム『映像結晶：静画型』によって作った秘蔵のエフ子写真。

まずは感圧起動板を起き、爆弾各種へ接続。写真をセットしたら『重さが規定した触れ幅より大きく変化したら起動』の設定をし……それにヘリックスブレンドを使うことで不可視かつ最低のトラップを作り上げる。

名付けて俺のトラップSAOver:voilと言ったところだろう。

現実と違って大掛かりな物は作れないがしかしコイツはなんと、見えない確実避けられない。と三拍子最高のトラップなのだ。

唯一の欠点少なくとも写真を取られてしまうのは結構痛い……しかし、これならろーくんは避けられないだろう。

なんせエフ子の写真だ。それも俺が撮った最強のベストショットだ。

……前にひっそりとエフ子の写真のオークション会場（マクロリータ裏通りにあった）に侵入したとき、これに比べると天と地……いや、地球とウルト○の星ほどの違いがある隠し撮りストーキング写真ですらやたら高騰しまくって300000000で落札されていたのだから、きつとこれはオークションに出せば凄まじい競争率になるだろう……それこそイギリスだかフランスでかつてそれを争って何人も人間が死んだ呪われたルビーさながらに。

それほどの写真を使ったのだ。

……まあ、散々この写真の凄さを語つていてから言うのも難だが、実を言うとスクリーンショットの中にはまだまだこれより凄い偶然系、珍しい表情系、寝顔系等々の写真があるから別にその点では痛くないんだけどな！

「おい店ちよ……待てこれは……」

俺が自分で言ったことを一瞬で無駄にしている間に、ろーくんは俺の罨に接近していた。

あーw k t k。この露骨な罨をろーくんは避けられるのか。

俺は腹筋をいつやられても大丈夫なように備えつつ、ろーくんを観察した。

「エフ子ちゃんが笑顔で写ってる写真はたださえ貴重なのに、その上こちらを向いているだと……くっ、静まれ俺の腕！これは罨だ！掴んじや駄目だあああっ！」

ろーくんは、自分の右腕が自然と写真を取ろうとしているのを必死で抑えつけていた。

くっ……ダメだ……笑っちゃいけない……ろーくんがあれを手に取った瞬間まで待つんだ……松ん田……松田アアアア！（突然の夜神感）

だがしかし、ついに俺は堪えられず転がり始めてしまう。

幸いにして咄嗟に手を口に突っ込んで声が出るのは阻止したが、大人の大人が必死で腕を抑えてる様が滑稽すぎて笑いを堪えられない……

「だがしかし、ここを逃せばもう入手は……くっ……背に腹は変えられん！」

……しかし、俺が苦しんだのも束の間、ろーくんはようやく写真を掴み取った。

そして各種爆弾が同時に起爆しろーくんを襲う……！

その爆風は一切の隙間なく迷宮区の廊下を埋めつくし、麻痺スタン転倒等の行動を制限する状態異常のオンパレードを引き起こすのだった……

完・全・勝・利……キター……！（某宇宙ライダー風に）

【アインクラッド珍道中外伝】 フィールド拾い食い歩き編：1
【鯖】さん、【ねこまんま】さん、【シカゴ】さん、【えつくす】さんが入室しました。

1. 鯖

アインクラッド珍道中外伝、フィールド拾い食い歩き編、はっじまつるよ〜！

2. シカゴ

突如として知らない企画がいきなり外伝で始まったがなんなんだこれ……

3. ねこまんま

2・説明しよう！アインクラッド珍道中とは下層を中心に、というかほぼ下層でのみ発行されているノンフィクションである！

4. えつくす

2・その内容は現在1層〜はじまりの日〜編から43層〜ガチのサバイバル化〜編まで中々にロングセラーであり、その収益はすべて！

5. シカゴ

すべて？

6. 鯖

5・全て俺の懐へゴーストレイト迷いなくですが何か？

7. シカゴ

6・感動モノの話を期待した俺が間違っていた。

8. ねこまんま

ちなみに一冊2000コルだから誰でも気軽に買えるんだぞ。

9. えつくす

お求めは、近くの書店まで！基本的にアルゴの攻略本の横にあります！

10. シカゴ

8、9・宣伝乙。しかしダイマが過ぎんだろおまいらw

11. 鯖

10・ちなみに二人はアインクラッド珍道中のマネージャー兼用心棒と編集兼家政婦だ。

12・シカゴ

そりやあダイマするわなあ！

13・鯖

ま、12・が叫び終わるのは見えてきそうにないからさっさと始めますかね。アインクラッド珍道中外伝、フィールド拾い食い歩き編。

14・えつくす

うおおおお!!!

15・ねこまんま

うおおおお!!!

16・鯖

それじゃあまず、俺が最初にサバイバルを行つた場所を紹介しよう。

それは三層の森だ。

あそこは実に深い森だからいまだ全マップを迷いなく進める人材はほとんど居ないとすら言われているマップだから、サバイバルのための緊張感を作り出すためには最適だろう。

しかしそれでも敵は多いし、エルフ系の敵は集団で攻めてくると厄介だからしっかりと準備しなくてはならない……ゆえに俺は料理道具とテント、そして愛用の武器と444コルだけを携えて出発した……

野生児プレイによつてワイルドさを身に付け、おにやのこにモテモテになるために！

17・シカゴ

思ったよりすごく残念な理由だった！

18・ねこまんま

17・仕方ないだろ。16・は顔は良いのに頭の中が『いかにしてモテるか』で埋め尽くされているがばかりにモテない奴だから、さ。

19・えつくす

正直お前の容姿力寄越せとか思いましたもの。

20・鯖

……さて、話を戻すが、俺が三層で最初に食べたものはなんだと思う？

それは文字通り木の根っこだ。

道端で見掛けたトレントの根っこがドロップしたし、調理すりや美味しくなると思って茹で根にして食った。

……サバイバル開始数十分で死ぬかと思った。

21・えつくす

20・何故それを食えると思ったし。

22・鯖

A. だって美味しそうだったんだもん！

23・えつくす

22・だもん！じゃないぜ……それが許されるのは私のような絶世の美女だけだあ！

24・ねこまんま

17・あ、そうだ。今言うのも難だがこの二人の掛け合いは全て記録して『アインクラッド珍道中超外伝：さばえくケンカ日和』としてアインクラッド中の本屋で発売中だ。現在七巻まで出ているし、なげに面白いから買うといい。

価格は900コル、おまけで俺の料理レシピも乗せたところ中々に好評だったぞ。是非買うといい。

25・シカゴ

24・マジなダイヤモンドありがとうございましたあつ！

26・鯖

23・H A H A H A H A H A！お前のような彼氏居ない歴>>>

>>>>>人生を体現したお前が美女？ありえねえわwwマジワロスww

27・えつくす

26・フツ……20代後半になって彼女の一人も居らずDTのお前には分からないだろうなあ！私という上の下程度にメチャクチャ

可愛い女の良さが！

最後に笑うのは、私だあ！

28・ねこまんま

……さて、25・くん。良ければ話の続きを俺が代筆するが、良いかな？かな？

29・シカゴ

28・いいとも！……しかし何故ひぐらし。

30・ねこまんま

29・いや、特に理由はないのさ。理由はね。

ちなみに余談だがアインクラッド珍道中における俺の執筆した割合は6：4で俺の方が多かったりするんだぞ。

制作者なのに情けない男だ……

31・鯖

30・いやそれはお前がいつもロケ中に無茶ぶりしてくるから動けなくなっちゃうだけd s mふおあんx j s m s i x ん w

【鯖】さんが退室しました。

32・ねこまんま

おつとすまない、俺は少し所用が出来てしまっただけ。数分落ちるがすぐ戻るから、待っていてくれ。

【ねこまんま】さんが退室しました。

33・えつくす

……ひとまず、私と言う女の素晴らしさでも語りましょうか？29
・さん。

34・シカゴ

33・No Thank Youだっ！

35・えつくす

34・何故だ、解せない……

続く（多分きつと）

Q. ろーくんに対し最適な拷問を答えよ【答えは……】

「~~~~~♪♪」

どこかで聞いたような鼻歌を歌いながら、俺は無駄に性能が高いと評判のねじり鉢巻きと耐熱エプロンを身に付けて地面に釘を打っていた。

そしてその釘には紐がくくりつけてあり、それを辿った先にはガリバー旅行記で小人に捕らえられたガリバーのごとき状況に陥っているろーくんがいた。

……説明しよう！

ろーくんが俺の罠に掛かったとき、それはもう見事なまでに完璧に掛かってくれた為にろーくんは複数の状態異常を同時に喰らった。

それこそ行動制限系のは全部な。

だからまったく身動きできないろーくんを更に縛り上げるため、俺はロマンと実用を兼ねて用意しておいた秘密兵器『ガリバーロープ』の使用を決断したのだ。

まあガリバーロープなんて名前だが実際のところただただ頑丈なだけのロープなんだが……しかしこれは人間の拘束に使いやすいくつかの特徴がある。

まず耐久度の高さ。

ガリバーロープの耐久度は下手な70層mobの体力より高いので相当暴れまわらないと切れないのだ。これによりmobの足止め手段として使うことも意外と簡単なのだ。

そして拘束に便利な特殊効果【自動位置固定】を持っているので何かを拘束中に一部を拘束対象から少し離して地面に付けるとあらゆる思議、何も無いところから杭が現れて勝手に突き刺さり、ちよつとやそつとじゃ抜けなくなる。

しかし欠点があり、これで巻かれている間はすでに発見している敵

を除きそのプレイヤーを認識できずさらにプレイヤーによるそのプレイヤーへの攻撃を無効化してしまうんだが。

まあそれはともかくとして、あとはそんなガリバーロープでぐるぐる巻きにしつつ地面に拘束しておけばパーフェクトだ。これでもーくんは動けないぞ。

俺はろーくんがもう動けないことを確認しつつ、不意にもう一手間掛けることを思い付いた。

……そうだ、拷問しよう。とね。

まあ拷問つたつてそう酷いもんじゃないし、拷問器具を使ったりもしない。

昔ちよつと厨二病患つて拷問器具を揃えたことがあったが……しかし使わない。

それにしても懐かしいなあ、拷問。

あの頃の俺が大好きだったワニ型洗濯バサミ（指を潰したりとか色々出来る凶悪なやつ）とか指潰し器とか首絞め器、今どうなってるだろうなあ。気にな……りはしないが下手に悪いやつに渡ってないかが心配だ。

まあ、あれ見た目が見た目だから拷問用の椅子を近所のじいちゃんが入ってしまつて買つていったことがあったけど流石に例外だろうし似たようなことはないと思うが。

というか拷問器具の痛みを『H H H H H A、これくらい戦争で爆弾背負つて特攻してた頃に比べればまだまだだよ、フォッフオッフオッフ』とか定まらない笑い声で笑い飛ばすようなじいさんが何人も居てたまるか。

アレは俺が初めて1から作ったこだわりの拷問器具なんだが……ちくせう。今思い出しても悔しいぜ。

リアルに帰つたら改良して教団【M】さんにも売り払つてやろうか……リベンジ代わりに。

さて、拷問器具の思い出を辿るのもいい加減にしてろーくんの拷問を開始しますかね……

「なあろーくん、今すぐ俺への攻撃をやめると誓つてくれ。そうすれ

ば解放する」

しかしいきなりやるのも難なので、一度チャンスをあけてから行うことにする。

これで落ちればよし、落ちなければさっさと拷問するだけさ。

「ハッ……俺は拷問なんか屈したりしねえのさ……やるならやりな、店長」

……よし、それじゃあ拷問開始だな。

俺はメニューを操作し、ついでにろくんの着ている鎧の隙間を無理矢理適当な木の棒を挟んで広げる。

そしてその穴に、例の粘菌スライムのドロップアイテムであるスライムゼリーを投入する。

あとは鎧の隙間を戻して上から適当にグリグリして、終わり。放置するだけだ。

俺考案、『結構えげつないけど耐えられなくはない、しかし辛い拷問』シリーズの1つ、ローシオン地獄のSAOバージョンってところなのさ。

他にもじいちゃんキッスの刑、変に痛くなる所ばかり揉んでくるマッサージ、突起の先端が鋭い健康サンダル等々嫌な奴もあるんだがそれを紹介するのはまた別の機会にするとして、さてどうなるのか。

「ヴァカだな、そんなものが通じると本気で思ってるのか？」

あ、いやダメだったな。うん。

ローシオン地獄はそもそもが『服を全体的に水を吸い上げやすい材質にしてローシオンまみれにする』のが前提だからそんなピンポイントじゃやっぱリキツイよな。

だったら追加しよう。

鎧にもう一度木の棒を挟んで隙間を広げ、とてつもない数持っているスライムゼリーを大量に投入する。

今度は1つじゃない。なんと豪華に14個だ。

鎧と服の隙間に入り込んだスライムゼリーはお前に大層不快感を与えるだろうさ……誰だっけとっとした服は嫌いだからな。俺も嫌いだし。

ゆえにこの拷問は結構効く。

どんな相手でも全身ヌルヌルにされたら気持ち悪いことこの上ないだろうこの状況……クツクツク、相手が悪かったなろーくん。

俺は人が嫌がることを率先して行う人間だからな！嫌がることを熟知しているのさ！

特にこれ、女にはよく効くんだよ。

服にこだわりがあればあるほどよく効く。

しかもこだわりがなくても効くから……ああ、やっぱり便利だわ。

俺がそんなことを考えながらろーくんの方を見ると、何やら随分と余裕の様子。

なぬ？何故だ解せぬ。

ろーくんはなんで大量のスライムゼリーを鎧の中に注ぎ込まれても平気な顔をしているんだ？

俺は少しろーくんを観察して、そしてようやく気付いた。

……そういやSAO、倫理コード剥がさないと水が染みないんだっ
た……

……こうなりやプランAからBに変更だな。

俺はろーくんに対する拷問内容を変更することにした。

メニューから特殊アイテム【契約書】を取り出してそこに1行だけ文章を記入し、付属品の朱肉で親指にたつぷりインクをつけ、拇印を捺した。

そしてその内容をろーくんにチラつかせ、懐柔を図る。

懐柔プラン、それがプランBの正体だ……つてのは流石に嘘だが、これで終わってくれたらありがたい。

「なっ……それは……」

「なあどうするよ、欲しいか？欲しいか？これが、欲しいか？」

俺はさらにろーくんを煽る。それこそ常人ならすぐ堪忍袋の緒が切れるよりも早く爆発するほどに。

そして追い打ちをかけるように契約書をチラつかせる。

今書いたこれはろーくんにとって喉から手がでるほど欲しいものだ。

その名も『エフ子個撮券（30分）』。

エフ子を三十分個撮出来るチケット……だ。

まあ単純に俺が『これを渡せばエフ子を三十分個撮できる』と書いただけなのだが。

ただ、こんなシロモノは俺以外には作れないので、ある意味SAOで最大のレア度かもしれない。

ゆえに……

「お願いしますさつきまでのことは忘れるし俺に出来ることならなんでもするんで、それを俺にください！」

ろーくんは、二秒と経たずにシステムの限界を越え、ルールをぶち破り……見事にフライング縦三回転六回捻り土下座を決め、俺に懇願した。

……やらせた俺が言うのも難だけど、お前人としてプライドねえのかよ……

【アインクラッド珍道中外伝】フィールド拾い食い歩き編：1

65・えつくす

フウーハハア！かれこれ30レス近く私の素晴らしさを語ってきましたが、これで理解したでしょう！

私と言う女の素晴らしさを！

66・シカゴ

65・わーわー、えつくすさんすごいすごい（大歓声）

【鯖】さん、【ねこまんま】さんが入室しました。

67・鯖

たで〜まくw

68・ねこまんま

なんじゃこのカオス。

69・えつくす

67、68・私の素晴らしさを伝えただけですよ。

これでまたファンが増えた……（キリッ

70・シカゴ

69・むしろ残念過ぎて俺はアンタがどんなに美人でも『うわあ……』的視線だけを向け続けられる自信が湧いてきたのだが。

71・えつくす

70・ほおほお、それじゃあもう一度語る必yあんwxmqべい

ふいq

72・ねこまんま

スマソ。71・が直るまでしばらく放置する。

73・えつくす

えlとyさんとqmおqm

74・鯖

……

75・シカゴ

……

76・鯖

ひ、ひとまず話を戻そうぜ！

暗い感じになっちゃまったし、ここは1つ俺の拾い食いサバイバル屈指の名シーンを語ってやるぜ！

77・シカゴ

へいへい。

78・鯖

77・結構傷付くぜその反応。しかし俺は凹まない。鋼の精神力で耐えてやる！

それはサバイバル開始から数時間が経過し、そろそろ野営準備に取り掛かろうとしていた時だった。

79・シカゴ

78・まるで怪談みたいな始まり方だな。

80・鯖

そして、その準備中に気付いたんだ。

ストレージに仕舞ってきた野営グッズで焚き火をしていたら、近くで別のプレイヤーが何やらスタイリッシュな動きで絶え間なく動いていた。

びつくりして近付くと……

81・シカゴ

近付くと？

82・鯖

その男は隊長だった。

しかも彼は……何やらトレントの枝といくつかの三層で採れる素材だけ使って原始的な方法で火を起こそうとしていたのさ。

……俺は感服したよ。

ああ、これほどまでにガチのサバイバルを出来るんだな、SAOは。って。

だから次の日、装備品と転移結晶以外のアイテムを採った物以外全て72・の奴に預けた。

83・シカゴ

急展開だなオイ！

84・鯖

そして火を付けようとした。

……無理だった。そもそも枝を手で直接回して火を起こすとか人間技じゃないですお。

85・シカゴ

おいおい！バカがここに居るぞー！

86・鯖

だがそれを見て、隊長は俺にアドバイスをくれたんだ。

木を擦るより、むしろ森の中で唯一火を使うというか火花を出すフォレストホーネットに火を付けてない松明持って向かってっ方がマシだって。

あとエフ子ちゃんが応援してくれてやる気100倍。今なら隊長の1/10くらいの変態的挙動が出来る気がして来た。

87・ねこまんま

86・それはもうなんというかお前が地味に変態であることを示しているな。如実に。

88・シカゴ

87・あ、おかえりー

89・鯖

87・そう褒めるなよ、照れるだろう？

あとおかえり。

90・ねこまんま

……ただいま。あと褒めてないぞ89・よ。

91・鯖

てかアイツはどうしたんだよアイツは。何故にお前だけ帰って来たし。

92・ねこまんま

ああ……アイツはちよつと今、俺が友人に預けて教育してもらってる。

93・鯖

92・そうかそうか。なら安心だぜ。

それじゃ続き行くぞー。

94・シカゴ

93・せめて少しくらい心配してやれよ……

【続く。】

【銃槍とパイルバンカーは】今明かされる意外な事実ウ！【男のロマン】

「ええい開け、開かねば開く。斬り開くツ！」

なんかどこかで聞いたような台詞を言いつつ、10秒で目の前にある扉もどきの検分と破壊を同時に行った。

ことの始まりは数分前、ろーくんに袖の下やって和解した俺はまずエフ子を回収しようとした。

しかし……そこで一旦迷宮区を脱出しよう、というところで事件が発生する。

ドアが訳の分からない粘液に包まれていて開かないのだ。

見た感じでは薄い粘膜に包まれているだけなのに、まるで岩を掴んでいるかのような感覚を覚えすらするその扉もどきは……

【キングスライムの成れの果て】

そんな名前の、クソモンスターだったのだ。

堅いウザいHP無尽蔵マジファック。

エフ子の回収についてはまあ、最悪の場合は裏技としてろーくんがくれた【眷族結晶】とかいうタイムモンスター蘇生アイテムを前提に

してワンサイドガチで無差別攻撃を行うってのもあるが……

常識的でマトモな成人男性である俺さんには到底出来ないね、そんなこと。

だからそれを最初に考えから抜いておくと、あら不思議。自然とアンサーは2つになる。

扉をぶっ壊すか、回廊結晶でエフ子に繋げるか。

んでもって今、扉の破壊は割とマジでリジエネ禁止＋リーチを捨てたワンサイドデスゾーン（リーチ延長スキルを全て威力増加スキルに変更したもの）30連打くらいはしなくちゃダメだということが俺の感覚により証明された。

よって……回廊結晶を使うしか道はない。

「よしろーくん、回廊結晶おくれ」

「らじやー」

俺は回廊結晶をどうせ今回は使わないよな、と思つてとあるネタバレイ用以外には持つてきていないのだ。

だからろーくんに使わせる。

回廊結晶つてのは『迷宮から脱出する』という効果が注目されがちだけど、実は『迷宮から脱出……の逆ルート』も出来るという効果を利用したものだ。

分かりやすく言うと転移結晶はテレポートで街に戻るから一方通行だけど、回廊結晶は迷宮の外までの回廊を開くだけだから逆に歩けるってワケ。

まったく、謎の仕様だよな。

世界樹のなんちゃらにおけるアリアドネの糸（だっけ？）みたいに使わせるつもりならこれもテレポートにすりゃあ良いだろうに……

まあそれで俺が得をするならば変えないでいてくれることを祈っておくことにするが。

そんなことを考える間にもろーくんは回廊結晶を取り出し、本来なら置くだけでいいはずなのに何故か放り投げ……空中で起動した。

そして空中にゲートが開く。

だがそのゲートは位置的な問題で壁にめり込み、普通の成人男性では通れないくらいのサイズに成り果ててしまっていた。

なんのためにこんなことを……ハッ、まさかこれは！（謎のメガネキャラ感）

これは、俺が高笑いしながら考案した、伝説の『飛び降りる時のスカートの方ツとする感じは萌えと少しのエロスを感じさせるよね』という閃きを適当に書いた謎の記録、不可解文書其の五（ノリは死海文書）の第三項十六ページ、ワームホール作成法から繋がる疑似的再現法じゃあないか！

ろーくんにアレを見せたことは無かったんだけど、まさか独学で思いついてしまうとは。

流石はろーくん。幼女絡みだと俺並みの性能を發揮するだけはある。

ならばここはその情熱に免じて期待に答えてやるとしよう。

「エフ子……こっちに来ーい！」

俺は全力で叫び、近くで待機させておいた筈のエフ子を呼び戻す。

その際にしれーつとメニューからレアアイテム「千里眼天狗の大団扇」を使用してそれなりに強烈な上昇気流を発生させる。

これ、どういう理屈かは知らんがスカートとかは吹いてる勢いの割りに捲れないから結構『バーカバーカ、引っ掛かってやんのww』系イタズラアイテムとしては良質な部類なんだよな。

特にふいーちゃん辺りならスカートを穿いていないのに押さえたりするだろうから面白そうではある。

まあそれはともかくとして、このアイテムの特徴は落下の勢いとダメージだけ〃〃を緩めることにあるんだ。

つまりスカートが落下するときにふわつとする現象は抑えられないのさ。

だから今、この状況においてこれは最適解とも言えるアイテムなのだ。

「ナイスだ店長……あとは任せろ！」

そして俺のアイテム使用に合わせるようにしてろーくんは急いで複数の瓶を取り出して飲みまくった。

カレス・オーのアレだろう。

で、多分入れたスキルは【連写】【回転写】【撮影予約】辺り。

効果は順に通常一枚一枚しか撮れないスクリーンショットを一回で秒間10枚撮れるスキル、被写体を設定するとその対象を好きな角度から撮影出来るスキル、スクリーンショットによる撮影を事前に予約しておけるスキルだ。

なおどれもこれもそこそ難易度は高くないがスクリーンショットへのあくなき情熱がなければやらないようなクエストの先にあるから普通はやらないが流石はろーくん。取っていたか。

「マスト……あうっ」

……ん？何やらろーくんが撮影がてら変なボードを持ってんな。

レフ板なんざこの世界には無いから持っているとするればせいぜい

が文字を書けるボード系アイテムだろうが、何をしてんだか。

俺は少々位置を変更し、ろーくんが持っているボードをこつそりで見してみる。

えー、『愛してるぜエフ子ちゃん！』だった？

……なるほどエフ子を照れさせる計画ねってあるか！

これに反応して照れるようなら俺、SAOはマジで完璧なトップダウン人工知能を完成させたって認めちまうぜ!?

一応は普通のAIであるはずのエフ子がそんな反応返す筈が……

「あわわわ……」

返す、筈がな……あった。

……プレイヤーチャットでも見よ（現実逃避）。

俺はプレイヤーチャットを起動し、認めたくはないが現実逃避として久しぶりに暇潰し用HNでスレに参加するのであった。

【SAO陸上部】最速移動法研究会 part182

【ハブラレンゲル】さんが入室しました。

48・ハブラレンゲル

よっす

49・サーベル

48・よっす

50・悟空

48・おっすオラ悟空！w

51・十

48・よっす

52・ハブラレンゲル

名前が全員謎過ぎて草

53・サーベル

みんな おなまえが なぞすぎる フレンズなんだね！

54・ハブラレンゲル

53・お前だけは理解したわ。っーかけもフレってそれ平成のやつwまだ知ってる奴居んのかw

55・悟空

54・けもフレ？そんなもの知らないね。オラが知ってるのは

……

56・ハブラレンゲル

55・テメエはDB。はっきりわかんだね、

57・十

……フツ、しかし私だけは分かるまい。この名前の意味を初見で見
破った者など居らぬのだぞ！

58・ハブラレンゲル

57・貴様……TASだな？

TAS⇒+⇒十

とか安直だぜw

59・十

58・ヴァカナ……貴様、何故分かった！

60・ハブラレンゲル

フツ……それはなあ、俺が……

61・悟空

野菜人だからだ！

62・サーベル

チーター（ダブルミーニング）のフレンズだからだ！

63・十

TASの天敵、運営だからだ！

64・ハブラレンゲル

ちよwちげえよw

RTAだからだよ！俺氏これでも林間学校最速帰宅タイムアタツ
クの記録保持者だかな！

開始五秒で帰ることになったあの日を忘れないぜ！

65・十

64・ハツ、私は林間学校最速ハブラれ記録ですよ！班の仲間が全
員私を置いてさっさと行きやがったんだ……

66・サーベル

65・いやいやいやいや、俺なんざ林間学校の一年前にお年玉くれんかった上にウチの親に無心してきたババアが死んで一周忌とかで行けなくなつた最速不参加記録保持者だぜ！

67・悟空

おまいら凄いなー。オラは一回の林間学校で12回置いてきぼり喰らつた記録しかねーぞw

68・十

67・それは酷いww

69・ハブラレンゲル

12回とか狙つても出来ねえよww影薄杉ww

70・サーベル

67・いつともういつぞやのキセキの世代のシックスメン務めとけwwお前なら適任だww

71・悟空

70・そうか？照れるなあ……

72・サーベル

……褒めてないのに照れられた……皮肉なのに。

73・十

71・アホの子、はつきりわかんだね。

74・悟空

73・オラアホじゃないぞ！

75・ハブラレンゲル

74・大丈夫、アホじゃなくて、アホの子だ。

だから可愛いげがある。ゆえにセーフ。良いね？

76・悟空

そーゆーもんか？

77・ハブラレンゲル

そういうもんだ（ニッコリ）

78・サーベル

77・なんか今のを前提にアンタの顔を想像したら喪黒なんちやらを思い出してしまった。

79. ハブラレンゲル

78. お前のハートに……ドーン！てかw w

80. サーベル

79. ちよw wダメだ頭から離れんから腹筋割れるw w

81. ハブラレンゲル

……さて、ここまで茶番あざーつす。

本題入ろうぜ！

82. 十

81. 本題？なにそれ美味しいの？

83. 悟空

そんなものあつたっけか……

84. サーベル

……薄々気付いてたけど、今のところ誰も本題に触れてねーなこのスレw あえて触れるその勇気を俺は尊敬するぜw

85. ハブラレンゲル

そんじゃひとまずSAOでそれぞれ最速だと思いう走り方言つて

こーぜw

つザ・マツハセルフボマー走法

86. サーベル

85. その走法は名前からして嫌な予感しかせえへん。

つ四つん這い走法

87. 十

86. それは遅いね。

つローリンジャンプ走法

88. 悟空

はははー、おまいらー、そんならいならオラの方がはえーぞーw

つソニレジクイックキャンセル走法

89. サーベル

88. がガチ勢な件。

てかソニレジクイックキャンセルつて……それ確か昔三層で発明されたソニレジ走法の改造版か？

ソニックリープの終わりモーションを気合いで変えてレイジスパイクに繋いで更に同じことをしてソニックリープに繋ぐあのキチガイ走法を改造するなんて……

90・十

88・エ……ソニレジ走法を使うどころか改造するとかマジリスペクトです。

91・悟空

そうかー？褒められるとわるいきはしないぞー

92・ハブラレンゲル

ザ・マツハセルフボマー走法を忘れるな……あれはバランスを取って爆弾を自分に使うだけの簡単な走法なんだから……そのくせ敏捷の十倍だぞ十倍……

93・十

92・が出来るかどうかすら怪しいザ・マツハセルフボマー走法w

94・ハブラレンゲル

93・んじやとゴルア。出来るわこの程度ユューユュー。

95・十

94・へえ……なら勝負しますか？第一層黒鉄宮内で、どちらが速いかの勝負を。

96・ハブラレンゲル

95・いいだろう！その勝負受けて立つぜ！

時刻は二日後、午後一時三十分だ！

イモ洗って待ってな！（謎のゴム人間感）

【ハブラレンゲル】さんが退室しました。

97・十

96・クツクツクツ……私の勝負を受けたこと、後悔させてあげますよ……

【十】さんが退室しました。

98・悟空

あれまー、皆けえっちゃまったぞ。

99・サーベル

98・そんなじゃお開きにすつか？

あと俺はさっきの見に行こうと思う。お前氏は？

100・悟空

99・もちろん行くぞ！

101・サーベル

そうか。じゃああばよ！

102・悟空

応！

【悟空】さん、【サーベル】さんが暑苦しく退室しました。

【ある意味で】安価】ろーくん、お前ってやつは……

エフ子、俺、ろーくん。現状のパーティはこれだ。

……さて、問題です。

迷宮区からの脱出が困難な現状、俺たちはどうにかしてボスを倒すしかありません。ではそのための理想的な戦力は？

メタいことを言うのと十行以内にどうぞ。

……ほい。正解はこう。

最前線級のやつで4×16の完璧に連携ができる統率されたレイドか黒の剣士あるいはおっさん、ふいーちゃんやろーくん並の強さで4×8の普通のレイド、もしくは俺が単体で二人。

で、頑張れば倒せるってとこまでランクを落とすと4×12最前線、4×6黒の剣士、1俺+ろーくんくらいになる。

つまり何を言いたいかと言うとだな。

「さあろーくん、ボスに挑もうぜ（爽やかイケヴオ）」

「いやアホなのか店長、前々から思ってたがアンタは数万世紀に一度の天才かつ史上最大とアホと言う唯一無二のユニーク属性持ちなのか？」

いやあ、照れますなあ。

俺は顔を赤くしつつ、頭を掻く仕草をした。

ユニーク属性、ね。カッコいいじゃん。

でも俺の属性ってなんだ？ Fateだとまあ【混沌／気分次第】みたいなありえないしおかしい属性になりそうなのはなんとなく理解できるが、しかしそれ以外の方法で属性を付けるとどうなるんだ？ 実に興味深い（ガリ○オ風）。

「ふえ？ マスターの属性、ですか？」

……おや、ろーくんはエフ子に意見を求めたようだね。

確かに俺でも作れないような高性能人工知能を抱えたエフ子なら何かすげー答えを返すかも……

俺は内心、エフ子の場合かなりほっこりする答えを繰り出すんじゃないかなと思った。

そしてその期待はすぐに現実の物となる。

「お日様、じゃないですか？」

エフ子は、一切の屈託なくそう言い切った。

多分エフ子はお世辞を言える性格ではないし、それに俺の知る限りでは嘘を言うのが上手ではなかった……少なくともピザ食ってる時に『お前ー切れ多く食ったろ(カマかけ)』と聞くと時々バレバレすぎる嘘を吐いてくるような奴だからな……つまりこれは多分嘘じゃない。

まあ、普通の奴ならここで『災害』とか言ってくるもんな……

ただそこであえて本気でこの回答とかいい子過ぎるでしょ。

なんか途端にエフ子が神々しく見えてきた。

なんやこれ……可愛すぎやろ……EMT(エフ子マジ天使) EMT

……ハッ俺は何を。

……何か俺の頭の中で訳の分からない反応が起きて混乱しちまったな。

ひとまずここはろーくんをエフ子をモフることでおちよくって平常運転に戻そうかね。

俺は俺に感想を求めるような顔を向けているエフ子の頭をわしやわしやと撫でた。

「なあ店長」

するところーくんが嫉妬からか怨念の籠った声で俺を呼んできた。

「なんだねろーくん」

「やっぱ今すぐ殺していい？」

だが 断る。

俺はその怨念と嫉妬を嘲笑うかのように挑発としてエフ子をモフリつつ、無言で親指を立ててボス部屋を指差した。

意味は『そんなことは良いから早くボス殺そうぜ!』である。さて、これが上手く伝わらなければ面白いのだけでも。

「チツ……報酬は?」

あ、ダメだこいつ正しく理解しやがった。

しかもちやつかりしてるなあ、ろーくん。

しかもコイツ、安定してボスを殺すならろーくんというアイテムによる疑似タンクヒーラーが必要だったのを理解してやがんぜ……

安定性を取らなければ一人でもいいとはいええ、エフ子もいるからやっぱタンクヒーラーは欲しいな……

「エフ子モフモフし放題三分間。ウルトラマン時間計測かつ攻略後のボス部屋限定で」

三秒ほど悩んだ末、俺はろーくんに端から見れば詐欺染みたアホみたいに低い報酬を提示する。

こういうのは最初から妥当なものを出すよりもかなり低めに出していくらか交渉を挟んでから予定のところに落ち着けるのがちよūdいいんだ。

なお予定地は『エフ子が添い寝一晚(ただし出来るかどうかはエフ子次第)』である。

まあ人によってはこれより1つ前くらいにする予定のエフ子モフモフし放題十分(ウルトラマン時間)の方が良いって言うかもしれないがな。

それと余談だが、こういう数字のないタイプの交渉は相手がどんなものを出してくるかを予想するのが一番楽しかったりするんだ。

例えばろーくんなら……エフ子とデート、とかかね?

ほら来いよろーくん、どう吹っ掛けてくるかが俺ちゃん今から楽しみで仕方ないぜ。

「十分なら良いぞ」

「……」

「それ以上は譲らん。最大限譲歩はした……さあ決めろ!」

……俺は啞然とした。

あのろーくんがモフモフ十分で満足しただど!?

ありえん、ありえないのだよ！

ロリコンが高じてか小学校の教員免許とかを裏ルートで手に入れてくれと頼まれることもあった(セットで俺のパーフェクト先生教室を付けてやった)し、時としてリアル光源氏計画でも企んだのか偽装結婚すら行おうとしている節があった。

相手はロシア系中国人の美人さん。名前は聞いとらんがどうやら永住ビザが欲しいその女性と偽装結婚して養子縁組をしようとしたらしい……しかも好みのタイプの幼女が見付かるまで全国の孤児院を回るなんてことすらしたあのろーくんが、モフモフ十分で我慢するだど!?

驚き過ぎて逆に何も反応出来ねえよ！

俺は内心で何故かガラでもないツッコミキャラっぽいツッコミを披露しつつも、ひとまずそれを押し隠してなんとかかんとかある一言を捻り出すことに成功する。

「ああ……仕方ない、それで良いだろう」
つてな。

まるで予想の上を行かれたような表情で言ったからここでさらに上げてくることはないだろう。

俺たちは、報酬を決定するとすぐにボス部屋に向かった。

【史上最底の】これ作ったか奴ひこマジ殺したい【カップラーメン】
【ピザが食いたかった】さん、【ムッコロ星人】さん、【十】さんが入室しました。

1. ピザが食べたかった
とりあえず最初に言わせる。ラーメン伸びたかやひこ死ね。

2. ムッコロ星人

1. どした急にww

3. ピザが食べたかった

いや、80層に帽子ピザってあるだろ？その横で売ってるカップ
ニードル(この名前なのに罨)があるだろ？

合成したらカップラーメンピザ味になった。

4. ムツコロ星人
3. ええやん。羨ましい。
5. 十
3. そもそも何故組み合わせようと思ったのか。
6. ピザが食べたかった
5. ただ純粋に研究意欲を出した……訳ではなく、そこには深いストーリーがあるんだ。
7. 十
6. 例のSAN値直葬クエストの報酬のアイテムを投入すると食べ物になって出てくるアレを使ったのが深いストーリーって(笑)
8. ピザが食べたかった
7. せめてそこはwwwにしてくれよむしろそっちの方が傷付くわ……
9. ムツコロ星人
8. ドwnwマwwww
お望み通りのwwwだぞ。喜べ。
10. 十
8. 豆腐メンタルw
というか早く本題に移りましょうよハリーハリー。
11. ピザが食べたかった
これ完全におまいらが、特に10.が作った流れだよな!?
12. 十
- うわーん11.が虐めるよ9.さくん
13. ムツコロ星人
11. 女の子を 虐めるなんて サイトー!!
14. ピザが食べたかった
13. 爆発オチみたいに言うなww
……もうさっさと本題入ってやろうか?
15. 十
- 大歓迎でち。
16. ムツコロ星人

よきにはからえ。

17・ピザが食べたかった

それじゃ語るぞ。言つとくがこれはノンフィクションだ。

18・ムツコロ星人

17・SAOはそもそももある意味でリアルだけどフィクションでもあるから矛盾してるような。

19・ピザが食べたかった

18・気にしないでok。

それでだな。偶然にも食べ物に変換するアレにカップニードルと帽子ピザを投入したんだが、それで出来上がったカップラーメンにこう書いてあったんだよ。

『お湯を入れて三分。ウルトラマン時間で』とな！

20・十

19・そこから先が読めた。

21・ピザが食べたかった

20・ほう、言ってみ？

22・十

21・はラーメンに湯を入れ、バカ正直に三分待った。

しかし伸びていた。それにキレているんだろう？

だがそれは、仕方ないんだ……

23・ムツコロ星人

ん？そーういや確か……

24・十

だってウルトラマン時間は恐らくウルトラマンが戦闘する時間のこと、ウルトラマン時間の三分はウルトラマンの戦闘時間が安定しなかったように同じく安定しないんだ！

25・ムツコロ星人

思い出した……去年の暮れぐらいにウルトラマンタイマーとかいう露骨なパクリな上に使えないアイテムがあったんだった！

多分ウルトラマン時間はそれでしか計れないぞw

26・ピザが食べたかった

二人同時だとどっち返せば良いか分からんwまあどっちにも返すがw

24・ウルトラマンの戦闘時間ってそんな安定しないのかよw三分の筈なのにその三分が大体とか草不可避w

25・そーいやそれ去年無駄に市場で出回ったよな……まさかこんなところで使えるようになるとは。

27・ムツコロ星人

ちなみにウルトラマンタイマーの相場は……なんと驚きの1000kコル。

28・十

つまりは100万コルです、ハイ。

29・ピザが食べたかった

高過ぎワロスwwじゃあこのラーメン出品したらどーなるんだw

w

30・ムツコロ星人

29・俺なら20k出せる。面白いから。

31・十

私は20・5k。

32・ピザが食べたかった

もはやそれラーメンの値段じゃねえぞww

てかもういつそオクに出すか？w

33・十

おー、やれー、やるんだ32・ー。

34・ムツコロ星人

即決価格をハナから出して買い落とすZE。

35・ピザが食べたかった

よし！それじゃ出品してくるわ。

【ピザが食べたかった】さんが退室しました。

36・ムツコロ星人

そんじや俺はスタイリッシュに買い落とすべく去るぜ。

37・十

負けないですよ、36。

38. ムツコロ星人

お前こそ負けて泣くんじゃないぞ？37

【ムツコロ星人】さん、【十】さんが退室しました。

【ラーメンマスター】さんが入室しました。

39. ラーメンマスター

フハハハ！残念だったな！私が30000kで買うからお前たちは……あれ？

【ラーメンマスター】さんが退室しました。

「お、お前は……！」とりあえず初めま死ね！【理不尽だあつ！】

ボス部屋の扉に手を掛ける。

時はかやひことの決戦が一週間後に迫った日の午後……つつーか
夕方……メンバーは三人。

一人！ロリの為なら西へ東へ東奔西走、その欲は次元を越え限界を
超越する。

条理を壊して不条理を通す最強のロリコン……その名もろーくん
(プレイヤー名不明)！

二人！S A O 史上最もプレイヤーに愛され、システムに愛され、さら
に多くの人気ランキング(なお俺は圏外。その上俺に気付かれぬよ
うにやっているからムカつくが、あえて気付かないフリをしている)
の一位を突如としてかつさらったさいつよにしてさいかわな天使、そ
の名も……エフ子！

そして三人！

S A O 内で最強と目されたプレイヤー、隠れた実力者をバツタバツ
タと薙ぎ倒し、一気にトップへ駆け上がる！俺こそ最強と轟き叫ぶ！
ヤツが通れば道理が引つ込む！限界だろうと構わず引つ込む！
その名も……隊長っ！だっ！(なおプレイヤー
名は不明)

……さて、適当に俺やらエフ子、挙げ句の果てにはろーくんや
ふいーちゃんも含む『S A O の著名なプレイヤーについてそれっぽい
台詞を付けるスレ』から引用した台詞をブチ込んだところで、ひとま
ず二人に確認を取ろう。

「それじゃ二人とも、一応確認はするが、ここからは引き返せない戦い
だ……準備は良いな？歯は磨いたか？遺言は書いたか？トイレは
行ったか？最期の捨て台詞の用意は良いか？……あとろーくん、気
持ち悪いから虚空を見てニヤニヤすんな刺すぞ」

俺は扉に手を掛けたままそう呟き、二人の準備が整っているかを確

認する。

まあ今の言葉の九割くらいは余計な言葉で形成されていたからそれが本当に二人の準備を確認したものだっただのかは若干謎が残るが。

「ああ……………大丈夫だ問題ない。今日も俺のコレクションは素晴らし
い」

……………いや、大丈夫じゃないな。全然大丈夫じゃないな。

ろーくんの頭の中はいつも通り、いやいつにも増しておかしいんだ
ぜ。

まったく、お前はなんで大学の後輩のチャールズよりも性能が高い
のにいつもいつも頭の中が真っピンクなのかね。

いくら俺でも頭の中はせいぜいが名状しがたい色でしかないのに
さ。

ろーくんを呆れた目で見ながら、ひとまず鎮まってもらうために適
当なことを耳打ちするとしますかね。

「おいろーくん、お前の場所からじゃ見えないだろうが今エフ子があど
んな表情をしているか、教えてやろうか？」

……………汚物を見る目すらとうとう向けなくなつて、当分はout
of 眼中にする方針みたいだぜ？

俺がそう伝えると、ろーくんは完全に沈黙し、床に座り込んで『の』
を延々と書き始めた。

当然ながら嘘だし完全に意気消沈してしまったが、ろーくんがいろ
んな意味で鎮まってくれたので問題ないです（謎のマックススウエル）。

それにろーくんなら起き上がらせたくなくなつた時にエフ子を餌にす
れば割と釣れるから大丈夫だ。

さて、ひとまずろーくんについての些細な問題を片付けたところで
エフ子のコンディションを確認しよう。

俺はエフ子の方を向き、無駄に意味深な動きでさっきの確認に対す
る返答を求めめる。

「大丈夫ですー！」

……………どうやら大丈夫らしいな。

それじゃ二人がいつも通りで問題ないことを確認できたことだし、

聞き出した俺の方に問題があったら笑えないから確認マイセルフしよう。

まず自分の装備を確認し、必要なアイテムに漏れがないか、クイツクチェンジのリスト（俺のスタイル的に最重要）は最適化されているか、あと今日の占いの順位を「占い師のマジカル☆武器占い」というアイテムで確認する。

ちなみに、この地味に当たることとでそれなりによく知れた占いはS A O内の攻略組を含んだ多くのプレイヤーに愛されていたりする。

……さて、今日の一位はなんだ？

個人的に今は槍とか言ってくれた方がありがたいが、最悪の場合でも刀とか短剣とかじゃないとな……………

今回ばかりは無手以外が出てくれることを祈るしかない。

まあどうせ結果が固定された占いなので祈っても無駄とは知りつつ、俺は占い師のマジカル☆武器占いを使用した。

「S A O武器占い、今日の一位は…………『長柄武器』のアナタ！今日はその長さが光輝く1日になりそう！ラツキーウエポンは方天戟だよ！」
「オイ待て誰だこれ作ったの…………ラツキーアイテムおかしすぎだろ！」

しかし、俺は無手以外なら何でもいい的なことを考えていたにもかかわらず、占いの結果を見て思わず理不尽に全開状態の1／8ほどでキレた。

いや、だってこれは流石に誰だってキレるよな？

普通ラツキーアイテムなんてある程度幅をとって誰でも揃えられるようにするのが普通だよな？

しかもよりによって方天戟なんてネタ武器…………持っているやつがいると思うか？

あれだぞ？三国志の呂布が使った武器ということだからロマンと単純な武器そのものの威力だけはあるが、扱いが難しすぎるし当たり判定も広くせに位置による威力のムラが大きい、しかも突き主体で戦うにも払い主体で戦うにも長すぎるし、今俺たちがいる迷宮区やボス戦には狭いところじゃ壁につつかえるし、レイドだと仲間当たる

から最悪と言っていていいほど向いていない。

前衛の後ろからチクチク出来る利点があるにはあるが、こんなのもやたら長いハイロングスピアLとかいう二重表現過ぎる武器を使った方が圧倒的に効率的だ。

……だがしかし。なんと今日俺のストレージには……

20本を余裕で越える方天戟が眠っているのさ！（迫真）

そもそも方天戟はいくらかの敵からランダム（ドロップする場所により多少強化が付いてたりそうじゃなかったりするが）で敵からドロップする武器だから死ぬほど供給量が多いんだ。そのせいでこの店にでも大抵はいくつか置いてある。

だけど供給はあれど需要が皆無で、買い取ってもマトモな奴には売れやしない、しかし時々三国志ファンが結構法外な値段でも買う。だから断りにくい。

そんな感じの事情があるせいで多くの店では大量に貯蔵され……平均して十本ほど余っている。

そんでもって俺は今回、それを含めて武器を大量に買っていたのさ。

……しかもだな、偶然にも今回の作戦に一番有利なのは長柄武器だ。

やっぱピツタリ過ぎんだろこれ。

おかしいぞ。おかしすぎるぜ武器占い。お前は一体何者だ……？

しかし俺はそう思いつつも、ほぼラツキーのみで占いの一位を取ると何故か嬉しくなる論理によって悪い気はしないので、内心ではそうだもつとやれとか言ってしまう。

まああれだな。勝負の前に見た占いの結果が良いってのは嬉しい限りだ。縁起が良いぞ。

過去に俺の周囲で神社のおみくじを引いた奴等でそれが当たった奴がロクに居ないってのが気掛かりだが……しかし今回こそは当たってくれだろうさ。

そう考えていやに都合のいい武器占いを擁護しつつウインドウを消し、どこことなく微妙に毒気が抜けたまま、俺は武器を装備する。

もちろん方天戟だ。

そしていまだに項垂れていたろーくんへエフ子の無視期間が終わったとか適当なことを囁いて立ち直らせてみる。

するところーくんはまるでバネのように素早い動きで立ち上がり、奇声を上げながら躍り始めた。

……だが最近奇人変人キャラの地位をろーくんに奪われている気がするのでこれ以上は阻止しようとそれを即座に腕力で停止させ、続きをやれないようにするため流れるようにドアへ手を掛ける。

いい加減のんびりしていないで突入するぞ！という合図だ。

「よし、それじゃ行くぞ二人とも……」

俺はそう言つて、ドアに掛けた手を思いつきり押し込んでドアを開く……こうとして、よく見るとドアが引き戸であることに気付く。

だが、そこで引き下がっては俺ではない。

なのであえてドアに掛けた手を外してから全力でドアの中心を蹴つて、思いつきり叩き付けた反動を利用し無理やりドアをこじ開ける。

これがいわゆる問題児式つてやつの亜種だ。分からない奴はひとまずググれ。

「邪魔するぜ！」

実は中々に歴史のある侵入法である問題児式でボス部屋に荒々しく登場した俺たちは部屋をくまなく見渡した。

聞いた話だと75層のボスは天井からジャンピングアタックを仕掛けてきたらしいし、その前例を考えれば上を見るのは当然だが……むしろこの場合怪しむべきはここだろう。

少なくとも俺の勘はそう告げているし、地面には僅かだが違和感つーか……なんというか気配がある。

そんな不確かな物を頼りに、床に注目しながらアインクラッドの投擲系スキルで唯一、スキルマシマシで俺が普通に全力で投げるよりも威力が上がるスキルの発動を準備する。

そのスキルははグングニルよりもしつこく、ゲイボルグよりも速く、鋭く、敵を貫く必中必殺のソードスキル……

「それとなく悪意と他意と狂気とウザさをいい感じにブレンドし、さらに某ラノベでグングニルの格下つぽく見られるようになったアイツの怨念を籠めたことにより産まれし空前絶後のソードスキル……ミストルティン！」

投擲スキルの熟練度950で手に入る、俺の知るスキルのみで考えると現状最強の威力を持つ投擲ソードスキル、ミストルティン。

その効果は長柄武器カテゴリを装備している時のみ発動可能で、使うと確定一撃で武器が消失するが、その代わり破壊不能オブジェクトを含むあらゆるものを透過する貫通能力、投げた槍の一定範囲内に入った瞬間に命中する謎判定、そして下手すると俺のワンサイドガチ並みの頭おかしいレベルの威力という組み合わせだ。

はつきり言つて、これだけでも十分強い、いやむしろこれだけの方が強いくらいなのだ……

だがコイツはな？かやひこがその3つだけで収めときゃよかったというのに、何故かそこに加えて『ボス系の敵に対し威力三倍。しかしメニューやメモ系のアイテムを使わずに技名を全て噛まずに叫ばないとダメージがマイナスになる』『発動時やたら隙だらけだしかつこ悪い発動ポーズ(どこぞの金色なガキと本の漫画でいうヨポポイダンスのアレそつくりだ)をしないといけない』とかいう制約にも等しいクソ効果が付いてしまった……悲劇のソードスキルなんだよ！

【アインクラッド珍道中外伝】フィールド広い食い歩き編

95. 鯖

さて、前回で俺はエフ子ちゃんに応援され、元氣100倍でなんでもできる気がしていたが……そのせいで少々アホな行動に出た。

96. シカゴ

95・アホな行動？いやむしろお前はいつだってアホなんじゃないのか？

97. ねこまんま

95・お前はいつでもどこでもアホだ。だから安心しろ。その行

動そのものはアホじゃない。アホはお前自身だよ。

98・鯖

みんな冷たすぎでしょwwちよい誰か俺の味方来てくれw

つー訳で110・までしばらく待つわwwその間おまいらは雑談でもして時間を過ごせ。

99・ねこまんま

おい待つんだ98・。

つー訳で110・までしばらく待つわwwその間おまいらは雑談でもして時間を過ごせ。

99・ねこまんま

おい待つんだ98・。

(そんな少ないレス数で)大丈夫か？

100・鯖

99・問題ない。

101・シカゴ

とか言いつつも自分で言ったことを取り消すのが怖いだけの100・であった。

それと100レスおめ。とうとうこのスレも大台に乗ったぞ。やったね100・ちゃん！家族(スレ仲間)が増えるよ！

102・鯖

おいこら待てそれはwアカンやつやてww

103・ねこまんま

それじゃあ俺が訂正して言い直そう。

やったねたえちやん家族が(殴

104・鯖

なんだよおまいら……俺の味方がいなくて泣きたい……

105・シカゴ

……それじゃとりあえず新しく来る奴がお前の味方であることを祈っとけば？どうせ届かないし届かせない、いや届かせてたまるかって感じだけ。

106・ねこまんま

104・それじゃ俺氏は新しいヤツが来るまでしばらく放置するぜ。110・にさえならなければ続きはないからな。

107・シカゴ

106・よし乗った。俺もしばらく放置するぜ。

108・鯖

えつちよおまいらwお願いだから完全放置やめれww

109・鯖

……おーいおーい、なーおまいらー。早く帰って来いよー。じゃないと勝手に110・取って始めちまうぞー？

次だぞ？次だかな？俺もいい加減やっちゃうぜ？

【(owo)】さんが入室しました

110・(owo)

ヨロシクウエイ！

111・鯖

110・よろー。

112・ねこまんま

お、新入り来たなw

113・シカゴ

おお、なんかネタ的な奴キタ——(。▽。)——！！

114・鯖

113・うつせえ黙れ110・が気持ち悪がるだろうが。

115・シカゴ

なんもん知らぬ。俺は俺の道に行く。byみ○を

116・鯖

115・やめろー！み○をが可哀想だろ！

117・(owo)

116・……いいから早く本題入れよ、なあ。

118・鯖

アツハイサーセン……

119・ねこまんま

まさかの初見初撃撃破。118・を一発で黙らせられるのはある

意味稀薄な才能だな。だが無意味だ。

120・シカゴ

まあ確かに117・の言ってることは完全に正論だから反論のしようがないんだけどな。

つーわけではよ話せ116・

121・鯖

新しいメンバーが入っても結局敵だらけな件。これこそまさに『渡る世間は鬼ばかり』ってか。

……まあいい。話すぜ。

偶然出会った隊長によりさらなる野性的なサバイバルを決意し、エフ子ちゃんにより元気が100倍になった俺氏はまず、エルフの剣士たちを探した。

目的は……強盗プレイだ。

あのクエストはクリアさえしなければ破棄する度に受け直せるから武器の調達を森エルフの剣士からの強盗で行えるし、何より森エルフの拠点を襲う事が出来るから補充が容易になる。

まあ防具を全部119・に預けたせいで防御力はカスってるが……そこはリアルでのアサクリプレイ歴が生きた。

全員一対一で静かに始末して死体を隠……すのは流石に無理だったが、とにかく一人一人後ろから接近してグサツとやってみたら案外簡単だった。

122・シカゴ

121・いやそれありなん？

123・鯖

ルールのにはセウト。ただ略奪をダメとは決めてないしそもそも森でのサバイバルならより面倒くさい奴を全員始末していくのが正道だと思うぞ？俺はね。

124・ねこまんま

まあ123・はその後俺によって逆に略奪されちゃったことだし、許してやってくれ。

125・(0w0)

1 2 3・今ならオンドウルラギツタンデイスカー！と言つても大丈夫だぞ。

1 2 6・シカゴ

よし言おう。

オンドウルラギツタンデイスカー！

1 2 7・ねこまんま

オンドウルラギツタンデイスカー！

1 2 8・鯖

1 2 7・ルラギツタのはお前だろうがw

つーかあれだぞ！これもうそろそろクライマックスだかな！最高潮になつちやうんだかな！

1 2 9・(owo)

1 2 8・ハイハイ最初から最後までクライマックスぎつしりなんだらどうせ。

1 3 0・鯖

1 2 9・それはト○ポだしぎつしりなのはチョコだろうが！

……よし、このままじゃ埒が明かないからいつそクライマックスを語ろう(決意)

1 3 1・ねこまんま

遅い(チツ、期待外れだ……)

1 3 2・シカゴ

遅い(面白くねーな)

1 3 3・(owo)

ナズエキタイフルラギルンデイスカー130・ザン！

1 3 4・鯖

……それはサバイバル生活を始めて5日目のことだった。

その時俺は何回も何回もエルフの剣士を殺すことで多くの食料と備蓄を手に入れていたんだ。

これならサバイバルも当分はやれそうだな。

そう思ったとき……ソイツは現れた。

1 3 5・ねこまんま

(時間が) 飛んだな。

136. (owo)

見事に飛んだな。

137. シカゴ

ああ、それはもう見事なまでに。

138. 鯖

これ俺以外全員がグルってオチじゃないよなあ!?
続けるぞ。

現れたソイツの名は、名前も知らぬ少女。

そしてソイツは言ったんだ。

『おにーちゃんたちを……いじめないでよお!』とな。

その言葉に驚いてその少女の表示を見てみると、中立つぽいアイコンなんだが点滅してるとかいう訳の分からん表示だったが、mob だった。

名前は「フォレストエルブン・イノセント(仮称、イノセントたん)」という見たことのない名前。

新mobか? と思い武器を構えてみるとなんか全力でビビりながらもイノセントたんはこう言ったのさ。

『な、なんでもするからあ……』とね。

あとは分かるよな?

139. ねこまんま

138. その命、神に返しなさい!

140. シカゴ

138. 『(法律を)振り切るぜ!』からの『絶望(ムシヨ)が、お前(自分自身)のゴールだ』ってかw

141. (owo)

138. そんな優しい子がお前みたいな奴に汚されるなんて……
ウソダドンドコドーン!

142. 鯖

……何言ってるんだおまいら。

俺は何もその子に手を出した訳じゃないぞ?

ただ『お兄さんのペットになつてくれるなら、やめてもいいよ?』と言つてみただけさ。

……その後騙し打ちで背後からガスツと致命取られかけたし、その子の顔見たら物凄く悪い顔してたけど。

俺はそれでようやく理解したね……オンナコワイ。

143・(OWO)

……(さつきとは違う意味で)ウソダンドドコーン!

144・シカゴ

マジか……そんな可愛い子が騙し打ちとか、俺たちはこれから一体何を信じれば良いんだ……?!

145・ねこまんま

144・エフ子ちゃんの可愛さと純粹さはマジもんだから安心しろ。

146・シカゴ

145・せやな。ちよつと今から傷付いた心を癒すついでにエフ子ちゃん写真集買つてくるわ。

147・鯖

146・ついでにインクラッド珍道中も買つていけ。

148・ねこまんま

安いぞ安いぞ

149・(OWO)

148・んじゃ俺は今から買つてきますよ〜つと。

150・鯖

149・THX。

151・(OWO)

それじゃ、バイナラ。

【OWO】さんが退室しました。

152・シカゴ

150・の話以外は、面白かったぜ!ありがとよ!

153・ねこまんま

150・の話がウケてない件。

154. 鯖

最後まで優しい優しくして？w

155. シカゴ

154・無理だwwwそんなじゃ俺もバイナラwww

【シカゴ】さんが退室しました。

155. 鯖

さてさて、アインクラッド珍道中サバイバル編、いかがだったでしょうか！

なお、このスレの一部と俺のサバイバルの様子は書店にて発売中の【アインクラッド珍道中・拾い食い歩き編】に掲載されますので、どうぞお買い求めください！（露骨な宣伝）

【鯖】さん、【ねこまんま】さんが退室しました。

【最悪最狂】ボス程度で苦戦とかねーから！【サイココ
マन्दラー】

俺が地面に対して方天戟を投げるとほぼ同タイミングで、ろーくんが背後から1つのアイテムを投げつつ走り出す。もちろん最高のパフォーマンスをしてもらえようにするためと、いざというときの保険としてエフ子も一緒に。

そして俺の放った方天戟はスキル（前略）ミストルティン」の効果によつて地面に潜んでいる筈の敵の、頭上を直撃し……登場寸前のボスにある現象を起こさせる。

ノックバックだ。

……さて、ここで説明するのも変な話だがあえて説明しよう。

SAOにおける、ネームド（イベント用巨大モンスターも含む）あるいはボスたちに対するノックバックの条件を。

まずネームドは『一定回数以上の攻撃命中』である。

これは俺が実際に確認したのだが、下層で何度か倒したイベント用のやつは圧倒的に高い火力の武器で何度も攻撃しているのにノックバックするタイミングは弱い武器とさほど変わらなかったことから見てもおかしくはないだろう。

まあその攻撃回数つてのが曲者で100や200みたいに分かりやすいし狙いやすい数じゃなく、層×A（Aにはある程度一定していないがキリのいい数字が入る）みたいな世界の話なんだが。

まあつまるところネームドに対してノックバックをさせたいなら、単純に攻撃回数を稼げば良いわけだ。だから人数が多い方が必然的に狙いやすくなる。

……俺や黒の剣士のような例外的に手数が多いプレイヤーを除いてな。

何故なら攻撃回数を一人で大量に稼げるなら人数はさほどいらな
いし、人数は少ない方がノックバックのタイミングをコントロールし
やすいからだ。

特に相手の面倒な攻撃のタイミングに合わせたり、自分の回復に合わせられれば最良だ。戦況が多少不利だとしても、ある程度巻き返しやすいくなる。

そして次、こつちが本題なのだが……ボスモンスターのノックバツクの仕様だ。

言つちや難だがこつちはネームドとかよりも随分簡単で、かつ狙いやすい。

正確には狙うだけなら容易いつて意味の狙いやすいだけだが。

何故ならノックバツクの条件が……【最大HPの1%以上のダメージを一回の攻撃で受ける】だからだ。

つまりは強力かつ凶悪な単発ソードスキルを正確に弱点に命中させ、さらにクリティカルを引きつつ威力アップ系スキルをスキル枠一杯に積んでおけば確実にノックバツクを狙えるわけだが、実は案外これが難しいし、狙われにくいのだ。

理由はおおまかにして3つ。

1つ目はボスのHPが多すぎて1%であつても単発で削るならそれこそワンサイドガチには及ばないまでも、相当のの威力が必要になるからだ。

2つ目はボスのAI。そもそもボスは威力の高いソードスキルを使おうとすると優先的に狙うことが多い……らしい。俺はそもそもソードスキルをあまり多用せんから理解できんがな。

そして3つ目。肝心要のこれは一番の厄介者だ。

ボス戦は基本フルレイドで、緻密な作戦に頼ることが多いからイレギュラーな行動に弱い。

たとえばノックバツクを一度させたとして、復帰後すぐに行動パターンが変わったら攻め込んで分対応が難しいから結局は攻めにくい。

その上レギオンレイド並みの大軍がいるならば、単発高火力より大人数での連続攻撃の方が効率が良いのだ。

10000を1回より、同じ時間で100を100回やった方がスキが小さいしな。

そういうわけだから基本ボス戦でノックバックは狙われない。やるにしたってせいぜいが死ぬほど強い威力の攻撃の予備動作に入っただけくらいだろう。

……しかし俺はあえて、そのノックバックを狙う。

何故ならそれが一番安全かつ効率的で、そして今回ろーくんを呼んだことが無意味にならない方法だからだ。

何故かってのは少しお楽しみにさせてもらうがな。

そして俺がノックバックを狙ったのは……

「そんじゃ行くぞ……」【デッドスタブ】

ろーくんにこのスキルを使わせ、一時期ボスに対してかなり有効なのではと俺が適当に考えたハメ技を実行するためだ。

「え、えと……ていつ！」

とあるレアドロップ武器を装着したエフ子が、スキルの硬直時間中のろーくんを殴る。

するところろーくんは僅かなノックバックとともに体勢を立て直し

……さらにスキルを使用する。

そしてボスがノックバックから回復するのを見計らって俺が再び方天戟を投擲、もう一回ノックバックを引き起こす。

SAOにおいてはボスのノックバック条件が最大体力に対して一定以上の割合のダメージを喰らわせることなので、ノックバックのための数値が上昇しないのだ。

……まあそもそも狙ってやれるようなもんじゃないわけだが。

俺はそんなことを考えつつ、更なる方天戟を用意してからろーくんたちの方を見る。

「シヤドウスタブ」

「ていつ！」

「スタブ」

「ていつ！」

「デッドスタブ」

「ていつ！」

ふむ、どうやらしっかりと俺の指示通り技をループしているらしい

な。

それならば俺も期待に答えなければ……そおいつ！

気合い一閃、再びのミストルティンで起き上がる寸前のボスをさらに転ばせ……いや、よく考えるとそもそもまだ地面にほとんど埋まっているから転ばせるもクソも無いわけだが……とにかくノックバックさせ、いくらでも攻撃できるボースタイルを持続させる。

そして起き上がる度にこれを繰り返して何もさせずにソードスキルを連打する。

それこそが……

俺の考案した、「エターナルスピアキル」戦法である！（爆発）

まあ元々思い付いて適当に広めたのがまだ攻略も序盤の、一桁台を攻略してた頃だからな……

あの頃は武器もスキルも選択肢が少なかつたし、なにより俺の求めていたアイテムや人材が居なかつた。

幸いにしてボスは雑魚だから参加して延々と嫌がらせに投剣を投げ続ける最中に色々確認がとれたから良いが、実現出来るのが95層つて、ちよいと変じやないのかねえ？

……いや、早い段階でそれが出来たらバランス崩壊だからそれはそれで興奮めだけでも。

俺はそんな思考にリソースを割きつつ、ボスの復帰に合わせてミストルティンを撃つてノックバックを起こす作業を繰り返す。

残りの方天戟は十数本、そしてボスのHPは……60%ちよい。

初期の方天戟の本数は確か二、三十本かそこらだからそれを考えれば最良のペースだろう。

なんせ、このままの勢いで49%まで削れたならばあとは一瞬だけかな。

俺は思った通りにことが進んでいるため、この戦闘のあとに何をするか、何を買うか、そしてどこで打ち上げたり打ち明けたりするかを考え始めた。

ボスがこれまで複数体出てきたことはないし、その上体力50%以上でスーパーアーマーを使ってきたことも過去のリサーチによると

4. (無言の腹パン)

1. そんな歳になって悪魔ぶってみるとか恥ずかしくないの？(無言の微笑)

5. ムツコロ星人

1. 一体4.に何があつたんだ？昔はもつと寡黙な奴だった……

6. (無言の腹パン)

1. とうかそもそも封印されてる奴なんだから読んだらダメだろJK。

7. ベル

みんなひでえwwつーか5. wおまえ6. のこと知ってんのかw

w

まあ答えるぜ。

2. かつて良く分からん凄腕プレイヤーが書き記した【強いし确实だし安定もしているけれど実現性が低すぎる戦法と頭おかしいネタ戦法ばかりを集めた書物】のことやで。

3. その言葉でお前が誰だか察した。かやひこ戦頑張れよ……ちなみにあるぞ。

4. もう俺泣いていいかな……

5. 知らんぞな。

6. 大丈夫！どうせ精神汚染とかはされないから！きー！

8. ムツコロ星人

7. に危険な臭いがプンプンするぜ……これは近付きたくねえな

……

9. (無言の腹パン)

(無言の『やれやれ、俺は何も変わってないのにな……(呆れ)』)

10. サボテンヘッド

なんてことや……このままじゃワイ、武器にされてまう。

11. ベル

だがよお、おまいらよく聞けよ？

なんとその封印書物、読んでみたらギリギリ実現出来そうなのがあんだよ！

12. ムツコロ星人

11. なら書いてみるよ。現攻略組サマが見てやる。

13. サボテンヘッド

そんじや旧攻略組も入るわw

14. (無言の腹パン)

(無言の参加)

15. ベル

よしそんじや書くぜ？原文ママだからちよい何がなんだか分からんかも。

← 以下原文。() 内は俺による注釈←

『ボスKBハメ』

これはああああああああつ！ボスをおおおおおお！フルボツコにいいいいいい！するためののおおおお！戦術だああああああ！

『用意するもの』

攻撃力のみの特化した装備、スキル。

その時点での最高火力を叩き出せて、かつ単発で再使用時間の短いソードスキル。

ある程度安定して高火力の攻撃ができるプレイヤー数名。

『手順』

1. 初手でまずはHPを一撃で1%以上削る(普通は無理ゲー)するとノックバック(正確にはダウンである)

2. ノックバック中に攻める。

3. 立ち上がる瞬間にもう一度ノックバック。

4. 以下ループ。

16. ムツコロ星人

15. 頭おかしい。お前隊長か？

17. (無言の腹パン)

16. (無言の同意)

18. サボテンヘッド

そもそもボスを単発で1%とか無理ゲーやろ……

つーか最初の伸ばしすぎやで。どっかで見た気はするけど。

19・ベル

16・違うね。

つーかおまいら信じてねーけど、これ一応スキルを全部攻撃系上位スキル＋クリティカル威力強化＋クリティカルにして魔剣でバーチカルで行ける気がした。

20・ハブラレンケル

19・むしろそこは両手持ち系……特に斧どうよ？

21・（無言の腹パン）

19・（無言のハンマー押し）

22・サボテンヘッド

19・いやそこはあえて大太刀（レア武器）で刀スキル連打なんてどや？

23・ベル

22・刀……か。なるほどそれもアリだな。

ハンマーと斧はちよつと重いものが苦手だね。無理そうだ。

24・サボテンヘッド

ちなみに刀は剣より高めの威力とクリティカル補整、斬&貫属性による苦手な敵の少ないオールマイティさ、連続ソードスキルによる高火力ソードスキルの確実な運用が売りの武器やで。

25・ベル

24・ピツタリ過ぎて怖いくらい都合いいなw

26・（無言の腹パン）

25・ハンマーは打属性で受けにくく、ガードに強く、重量級単発ソードスキルが多い。

27・ハブラレンケル

26・それを言うなら大斧も眺めの射程と非常に高い威力、デュエルで一度喰らえば確実に死ぬ、絶望的なまでに威力の高単発ソードスキルがある。

28・（無言の腹パン）

（無言の論争勃発）

29. ハブラレンケル

28. おうおう！やろうってか!?

30. ベル

おまいら俺を無視すんなよ……スレ主さんだぞ……

それにこの話、武器だけじゃ意味はないんだから……根本的に解決しなきゃならない問題があるわけだよ。

31. ムツコロ星人

30. それは一体？

32. ベル

いや、な。

これ良く考えたら、ボスの発狂モードを計算に入れてないのよ。

発狂モードに入ったらスーパーアーマーだからダウンしねえし、どーすんのこれ。

火力特化なら余裕で死ぬるよ。

33. サボテンヘッド

32. いつそ発狂までだけとして考えてまうか？

34. (無言の腹パン)

33. (無言の作戦無意味ワロスw)

35. サボテンヘッド

34. そんならどーすんねや！説明してみい！

36. (無言の腹パン)

一部結晶アイテムの噂。

37. ムツコロ星人

36. いつぞやの【倍撃結晶(仮)】の噂か？

38. (無言の腹パン)

37. (無言のモチコース)

なお倍撃結晶とは、30層周辺で偶然発見された遺跡風ダンジョンの壁画を解析した結果存在が噂されたスキルであり、一説にはある入手難度が非常に高い特定のスキルが必要だという。

しかし条件が厳しい分効果は莫大で、有志による解析の結果『使用時、攻撃を受けるまでの間に与えたダメージと同じダメージを、攻撃

を受けた際にまとめて与える』というものと予想されている。

39・サボテンヘッド

38・チートや！そんなんチーターや！

40・ベル

ところがそう上手くはいかないのさ。

今思い出したんだが、倍撃結晶つてもんはパーティーメンバーを含む誰かしらが攻撃を受けた時点で中断されるし、ダメージ量が一定以下なら無効どころか威力がマイナスになるって効果があるんだよ……

しかもその効果、ダメージ量は最大HPに対する割合で決定するよ。うだからよっぽどダメージ稼がないとあっても無駄に終わるっつークセモノなんだわ。

それこそ使いこなせるのは隊長やらおっさんやら黒の剣士くらいじゃねーかと思うくらいには。

41・ムツコロ星人

今の今まで存在を忘れていたアイテムが実在するかもしれないってことか……こえーこえー。

てかそのアイテム頭おかしいわ。俺が使ったら確実に相手を回復させちまうって。

42・（無言の腹パン）

（無言のループ考案）（攻撃⇒倍撃使用⇒数値マイナス化⇒ループ）

43・サボテンヘッド

42・そんなん拷問や！人のやることやない！

44・ベル

43・がツツコミに慣れてきてて草。

45・サボテンヘッド

44・しゃーないやろ！おまいらが個性的すぎんねや！
もうカオス過ぎて面倒見切れんからワイは抜けるわ！

【サボテンヘッド】さんが退室しました。

46・ベル

あ……貴重なツツコミが……

ええい、暴走する電車には乗れんし、さつさと逃げるぞ俺も。

47・ムツコロ星人

じゃあ俺も。

48・（無言の腹パン）

（無言の同意）

49・ベル

いやおまいらは二人仲良く喧嘩してろ。トムジエリみたいに。

50・ムツコロ星人

49・トムジエリつてなにさ。

51・ベル

50・ggrks

【ベル】さんが退室しました。

52・（無言の腹パン）

（無言の失笑）（無言の退却）

【（無言の腹パン）】さんが退室しました。

53・ムツコロ星人

仕方ない。誰もいない……が1つ言わせろ。

54・ムツコロ星人

……SAOにg○○gle先生いねえから！

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

Infinity Moment (意識・突然の死！)

二体目のボスとかマジぎっけんなバーロー。

俺は落下してきたボスに対してラスワンの方天戟を投げ付けながらそう思った。

あれだな、マジで死ぬよかやひこ。出来れば俺の一番嫌いだった3代前のクソジジイ……の叔父の姪の曾孫に寄生してたクソ女と同じく餅を喉に詰まらせて死ぬ。

ちなみにその餅は親類一同で丹精込めて突きまくった餅だったりするが、まあかやひこには純粹に粘着力10倍の薬劑餅で良いだろ。味はねじ込むから関係無いし。

「オイ店長！」

「なんだねろーくん」

「今から俺はエフ子ちゃん完全防御モードに入る！」

あつちクショウその上ろーくんもエフ子を守ることに専念するか言い出しやがった。

それって必然的に俺がぼっちでボスを倒さなきゃいけないじゃないですかやだー。

つかかさつきのボスを倒すために方天戟は使いきったから無いし、アレに匹敵する威力の武器も、ろーくんがスキルで作成した【連撃結晶】もない。

しかもタイムマン勝負とかいくら俺でも秘策と奥の手と切り札を一個ずつ解放しないと勝てないですよコレ。

……え？普通は奥の手全部使っても勝てない？ナンノコトカナー。まあとりあえずここでこのボスを倒すために……切り札から解放するでしょう。

対かやひこ用に用意していた魔劍の1つ、【Sword of Black Knight (無駄に英語表記。通称SBKこと砂漠劍)】をな。

コイツはSAOの武器の中で唯一の性能を持つてるから出来ればこれの所持を見方含めた全員から秘匿しておきたかったが仕方ない。

『相手と自分の最大体力値の差10000倍（プレイヤーの場合は2倍）につき攻撃力が1.1倍』の恐ろしさを見せてやろうじゃないか。しかも超越剣の装備制限解除で二本同時にな。

俺は二本の砂漠剣を手に持って新たなボスに接近し、ソードスキルに頼らない純粋な剣技で27連撃を叩き込む。

「近所のじつちゃん流……【日食らい】っ！」

もちろん技名に意味はない。多分。いやもしかしたらどこぞの誰かに対抗心を燃やしていたかもしれないな。多分。

だがそんな名に反して、例によつてじつちゃんが教えてくれた剣技は大体強い。

今回もボスに初手で1ドット分あるかないかくらいのダメージは与えられたようだ。

よし、ひとまず砂漠剣の威力はなんとなく実感したことだし、切り札を最高の状態にしようか。

俺はメニューを開きスキル欄を操作する。

そして超越剣の使用可能スキルの中から、とあるスキルを選択し迷いなく使用した。

【極限超越・封】。ステータスを好きなだけ偏らせることが出来るスキル。

……ここまで言えばこのあと何をするかは分かっただろう。

俺はHPと防御力を1にし、全て攻撃と敏捷に回す。

そうすりゃ砂漠剣の倍率がイカれるからボスを討伐しやすくなるって寸法だ。

狂つてると言うならお好きにどうぞ。こちとら余裕がねえんだよ。つーか流石にタイマンでボス殺すなら危ない橋渡らないと無理です死にます隊長さんやられちゃうぜ。

だからこんな賭けに出たのさ。

「KYYYYYYYYYYAAAAA!!!」

俺がステータスを極限超越で完全に偏らせ終わった瞬間、都合良く敵が初めて攻撃を仕掛けてきた。

体当たりか、あるいはブレスか。

ボスモンスターの初撃はとりあえず囲まれている状況を打破出来るものが多いし、あえての回転攻撃もありえる。

ボスの見た目は完全に蛇だから回転攻撃の可能性は非常に低いだろうが……

ボスの行動を観察し、攻撃を完璧に避けようとした。

しかし攻撃は見えない。どうしたんだ？

そう思っていたとき。

「店長上だー！」

不意にろーくんがすつとんきような声を出して俺を上田とか言い出した。

……嘘です分かってます上だろ上。

極限超越で上がった敏捷を活かしてササッと回避する。

だがその瞬間、俺がさつきまでいた場所からベチョツという音が聞こえた。

……もしかしてスライムじゃないよな？

そんな嫌な予感が頭をよぎるが、いくらかやひこでもそんなことはないだろうと考え、きつと溶解液が何かに違いないさー。なんて自分を鼓舞してから音の方向に目を向ける。

そこには……

「……………(ぷるぷるしている)」

完璧に著作権とか商標を侵害してるし確実にやったらお縄確定なデザインのスライムが、居……

「たら困るから消えろゴルア！「無想転生」！」

俺はそんな腐った幻想をぶち殺すため、超越剣のスキルでも相当廃熟練度を要求する上にクールタイムが三時間なんつーふざけたスキル【無想転生】を叩き込んで消し飛ばした。

そして、すぐ後悔した。

……よく考えたらこれさつき言ってた奥の手だわ。

うん、まあさつきから倒しすぎてノイローゼになりそうなスライムを消せたなら一応文句はないが……ないがね？

無想転生は武器攻撃力を参照し、その攻撃力から防御力を引いた数

値×100%の威力になるってスキルだから、極限超越で最低値になってる今の防御力であればガツシユフアング並みの威力が出た筈で、それならボスに対して大打撃は確実だったんだが……ちくせう。こうなりやヤケだ！秘策だけで相手してやんよ！

つーか自分でミスって自分で追い詰められたからなんとも言えないけれど、訳の分からぬ無駄なテンションと謎の怒りのボルテージがっ！上がってきたぜっ！

「さあ来いやザコがあー！」

俺は半ばほど理不尽にキレながら、右手と左手の砂漠剣をバカにするようにジャグリングした。

そして右手の剣を投げてそこに左手の剣をスレスレでぶつからせて逆の手で二つともキャッチという動きを数回繰り返した後、今度は普通の噛み付きコンボに入ったのでそこで上手く背後へ向かう。

無論それに反応してボスは軸を合わせようとするが、そんなものは関係無い。

何故なら俺の秘策は、始まってしまいさえすれば相手が死ぬまで終わらないのだから。

正確には俺の集中力が0.001秒でも途切れたり開始から一定時間以内にスパーアーマーで隙の少ない全方位攻撃をされたら流石に止まるけどな。

だからスパーアーマーなんて纏うなよ？ボス。

今から俺はお前をカイシャクするんだ。邪魔すんじやねえぜ。ただお前はおとなしく斬られてりや良いのよ。おk？把握？アンダスタン？

そんなことを考えながら、俺は一瞬で自分の精神を極限まで集中させ、思考の加速を開始する。

今から使う『秘策』はタイミンが命。一歩間違えばただの自殺だ。だが俺はやる。例えこの身が理不尽なかやひこの嫌がらせに屈しようとも、その魂だけは屈せぬと信じて。

理由はなんだかんだでSAO最強を（少なくとも現在攻略組トップより強いおっさんも倒した）背負ってるからと言うのもあるし、あ

るいは普通にプレイヤーチャットで自慢して優越感に浸りたいのかもしれない。

というリアルでやってたことが変に桁違い過ぎて表に出ないもんだから優越感に浸れなかつた分浸らなきゃ気が済まねーよ。

つまり俺は今から完全な私利私欲とその他諸々のため、命を張るわけだ。

……そういう訳だから、一切の手抜き及び自重及び遊びなしで全力で行こう。

「俺式イツ！俺流総集奥義 part 2 2 3 ツ！ ver アインクラツドオツ！」

俺は無駄に叫びながら、秘策である「ソレ」を発動させ、同時に使い捨ての超絶不人気激レアアイテム【加速結晶】を発動する。

「インフィニティ・モーメント」っ！」

俺が技名を叫び終わると同時に、加速決勝の僅か3秒間しか効果時間がないある効果が発動し、その姿が消える。

そして加速結晶の効果が終了する3秒後。ボスに背を向けた状態で再び俺の姿が現れると同時に、俺と共に現れた2つの剣が大きな音を立てて崩壊する。

……だが、それはボスの肉体そのものにも言えることだろう。

気づけば俺の背後では、ボスは大量のポリゴンの山と化していたのだから。

……第三部完ッ！

【無敗神話】ガバ仕様十隊長はゲーム崩壊不可避【隊長クロニクル】

「インファイニティ・モーメント！」

96層フィールドにて。

95層攻略から間を置かずに俺たちは96層の攻略に取り掛かっていた。

いや、攻略というのは違うな。ただ単純に迷宮区で溜まったストレスを発散してるだけだしさ。

つーかはつきり言ってもう一度使ったら10も100も変わりやしないんだし、ということまでこれまで秘策として温存してきたインファイニティ・モーメントを解放してサクサク皆殺しにしてるんだ。

ろーくんの方はストレス発散はエフ子と戯れていられれば十分だということだから今二人は戦場から少し離れた場所でのんびりと戯れている。

これについては誤算だが、どちらかと言えば嬉しい誤算だ。

インファイニティ・モーメントは俺ですらも完璧に攻撃範囲をコントロール出来ないからぼっちの方がやりやすいし、つーか元々俺は他対一の方が得意だからな。

「ハッハッハッハッ！温い！温いぞ96層ウ！お前らの強さはこんなものかア！もつと実力を見せやがれえ！」

俺は敵を挑発しつつ、視界に入ったやつは容赦なく接近して全力の攻撃を喰らわせている。

例えばネタ武器を次々と変化させて100以上の武器を連続使用して殺したり。

視界にはいった瞬間インファイニティ・モーメントで消し飛ばしたり。

と、まあそんな殺戮日和である。

さらに言うところの敵の殺し方もまだまだ存在し、『石礫作戦』などの個人的にもネタ系と言えるものから『バスパ爆発クイチェ群馬砂漠二刀S

S乱舞あざつしたー』などの名前はコンマイ語染みて理解不能だがガチなものまで多岐に渡るの……殺戮道も意外と奥が深い。

リアルではワンパターンなやり方で落としてばかりいたからこういうのをやるとやっぱスカツとするのよな……

……おっと、くだらない話に逸れかけたな。スマソ。

まあとにかく殺し方については『隊長さんの脳内には1000を越える殺し方が埋まっている』で覚えてくれればいいさ。

そういうことだから次だ次、別の話題を語ろう。

俺が今無駄に黙々と殺戮道を進んでるのはきつと誰もが理解したから次は……そうだ、インフィニティ・モーメントについて説明しよう。

だが相当にもったいぶっているが、実を言うとこれはただちよつと難しいだけのテクニクの応用だ。

ソードスキルを連結してスキル使用中に別の新たなスキルを発動してるだけだからな。

それが超越剣のソードスキルで、そのソードスキルの判定が少々特殊だからDPSが滅茶苦茶つてだけでさ。

そのソードスキルは「モーメント」。少し前に超越剣のソードスキルを試したとき、唯一変なクセもなく使いやすい普通のソードスキルだと思っていたやつだ。

だが実態はそうじゃなかったんだ。

モーメントの判定は、何故かスキルを使用した瞬間に発生し、中断されても最初に命中するはずだった位置に攻撃出来るんだ。恐らく超越剣のスキルは誰にも取れるわけがないと考えた運営がデバッグの手を抜いたことによる設定ミスだろう。

んでもって、そんなモーメントを使った俺の秘策インフィニティ・モーメントのタネはこう。

『モーメント発動⇒モーメントをモーメントでキャンセル⇒以下ループ』。それだけなのさ。

キャンセルについては始まった瞬間にそのスキル自体をキャンセルできるポイントと純粹にスキルを繋げるポイントがそれぞれスキ

ルのモーション時間の1/100くらいはあるみたいなのでスキル自体をキャンセルするポイントでキャンセルし、モーメントを発動してるわけだ。

つまりは1を行った時すでに2があつて3456789といくらでも繋ぎまくつて無限にダメージを増加させられるって訳さ。

だから理論上はダメージが有限極大数に届く可能性を持っている唯一のソードスキルってことになる……これ非公式の奴だからオリジナル・ソードスキルとでも命名した方が良さげだがね。

「キシヤアアアアアア！」

おっと、敵発見。どうやら援軍を絶叫することと呼んでいるようだ。

しかも見た目からして強敵っぽいぞ。

というか叫び声を文字にしたときアルファベットではなく半角カタカナになりそうな奴だから多分相当強いぞ。俺のセンサーがそう言ってる。

……だとしたらやるべきことは1つだよな。

「キツシヤツシヤツ」

「キシヤシヤ？」

「キシヤアアアアアア……」

「キシヤ、キシヤシヤ」

「汽車汽車うるせーんだよお前はトー○スかつ！ならこれ喰らつとけ！」

俺は、増援が到着して数が増えた敵に突っ込み、大量の爆弾を散布した。

その名もオクトボム。通称【オクさん】。

数多くのプレイヤーに敬称で呼ばれるその所以は、爆発時の特殊な効果にある。

「「キシエアアアアア！」」

なんとオクトボムは爆発時、タコの恨みが詰まったタコスミをぶち撒け、相手の速度を低下させるのだ。

しかもプレイヤー相手なら視界を塞ぐおまけつき。

実は正面からしか効かないという弱点があったりもするのだが、この効果でその弱点というのは緩いといえるだろう。

それでもって、今回何故俺がこれを使ったかというところ……

「フハハハハ！弱い！弱いぞ96層！こんなことでは俺はおろか、某モヤットボール先輩にも勝てないぜ……だがしかあし！優しくて常識的で実は教員免許を持つてる俺はお前らにどれだけ積まれたんだってくらい激甘に採点してやるぜ！こぶしでな！」

さっきのスライム地獄に対する抗議の意と、相次ぐ嫌がらせで溜まったストレスを発散するべく、ひたすら殴って倒すためである。

……覚悟するんだな！



【隊長伝説】これはw神話入り確定ですわww【かやひこマジ泣き】

【ロリコンは生業デス】さん、【わっふもっふ】さん、【りえる】さん、【ムッコロ星人】さんが入室しました。

ついでに【理不尽の具現】さんも入室しておりますw

1. ロリコンは生業デス

おまいら驚けw隊長がソロで95層攻略しおったぞw

2. 理不尽の具現

1. 下手なジョークは嫌いよ。

3. わっふもっふ

1. 今日は4/1じゃないぞ。

4. りえる

1. ねぼけてる？

5. ムッコロ星人

1. いくら隊長でも無理っしょ。嘘乙。

6. ロリコンは生業デス

おまいら少しは信じろよwあの隊長だぞ？俺も信じてなかったけどな？

でも実際隊長がボスをムッコロしたのを見たら信じないわけにはいかないだろう？

7. わっふもっふ

じゃあk w s k。

8・ロリコンは生業デス

7・もつとロリっぽく。

9・理不尽の具現

8・おね、がい？

10・ロリコンは生業デス

9・テメーはダメだ。ロリより先にかやひこの顔が浮かぶ。却下。

11・りえる

10・おねがい？

12・ロリコンは生業デス

11・喜んでやらせて頂きますっ！

13・ムツコロ星人

変わり身はえーよw w w w w w

14・理不尽の具現

俺氏の羞恥心を返せwじゃないとこれまでここで晒したかやひこの秘密をリアルなテレビジャックして全国に流すぞw w

15・わっふもっふ

ロリコン杉ワロスw

16・ロリコンは生業デス

仕方ないだろおまいら！

だって名前が一字抜けてる感じで不完全だし変換が分からずにはいらがなのままにしてるっぽいのも含めると完全にロリだぞ!?!ロリ確定だぞ？

特に11・のは多分普通に疑問形だ！9・が何故このタイミングでそれを言ったのか分からず真意を訪ねた感じだぞ！

ヒヤッハー我が世の春が来たっ！

17・わっふもっふ

16・いいからはよ。じゃねえとかやひこ社会的にコロコロしちゃうぞ。14・が。

18・理不尽の具現

17・喜んでやらせて頂きますっ！

19・ムツコロ星人
ノルマ達成

20・ロリコンは生業デス

19・なんのノルマだww

……さて、気を取り直して説明しよう。

隊長が95層を攻略したトリックだが、正直言つて俺みたいなのロリコン以外に特徴のない凡人には以下の2つしか見切れなかった。

1：隊長はなんらかの方法でSword of Black Knightとかいうキチ剣の効果を最大限に発揮し、規格外の攻撃力を一時的に得ることで火力を補った（インタビューにより確定）

2：隊長はなんらかの手段により1秒にも満たない時間で数百、数千の攻撃を行ったと思われる。ただしこれに関しては『攻撃が一瞬で行われた』『ほとんど満タンの敵HPが一瞬で溶けた』ことからの推測なので実際はどうか分かんない。

21・理不尽の具現

隊長SUGEEE！てかそれをなにげに近くで見てたつぽい2

0・SUGEEE！覗き見すりや良かったわ！

22・りえる

すごい。20・も。

23・わっふもつふ

隊長バケモノ杉ww

24・ムツコロ星人

20・やっぱ隊長は頭おかしい。

あと多分一瞬で数千の攻撃を叩き込んだのは普通に敏捷上げて殴ったんじゃないの？

25・ロリコンは生業デス

24・それでも数千は無理があるだろ。

26・理不尽の具現

25・隠し機能にスキルコネクトつてのがあるけど、それ使ったとか？

27・りえる

26・それなに？

28・理不尽の具現

スキルコネクトってのは読んで字のごとくソードスキルの終了動作に別のスキルの開始動作を重ね合わせることでスキルをスキルでキャンセルして繋ぐ技だよ。

まあそんな上手く繋がるスキルなんてほとんどないけどね！

29・りえる

28・そーどすぎるって？

30・理不尽の具現

29・そこからかよ!?

31・ロリコンは生業デス

29・お嬢ちゃん、よければこのあつしが手取り足取り教えてあげますぜ？

32・りえる

31・ありがt

【りえる】さんが退室しました。

33・わっふもっふ

おい何があつたアアアアア！

34・ムツコロ星人

ハルトオオオオオオオオオ！

35・ロリコンは生業デス

34・突然叫ぶ兄さんは嫌いだ……じゃなくて。

何があつた心配だ説明も手に付かん！

今から俺はちよつとホームに戻って搜索してくる！

サラダバー！

【ロリコンは生業デス】さんが退室しました。

36・理不尽の具現

……

37・わっふもっふ

……

38・ムツコロ星人

.....

39・理不尽の具現
どうしよう。言えない。

32・が実は保護者に頭グリグリされて上下左右にブンブンされた勢いでプレイヤーチャット閉じちゃっただけなんて、言えないよ……もう俺帰る！

40・ムッコロ星人

じゃあ俺は便乗して帰る！

41・わっふもっふ

じゃあ俺も！

42・理不尽の具現

41・どうぞどうぞ

43・ムッコロ星人

41・どうぞどうぞ

【ムッコロ星人】さん、【理不尽の具現】さんが退室しました。

このスレには現在、ぼっちが一人だけ入室していますwwww

44・わっふもっふ

笑うなクソカゲエエエエエエ！

【わっふもっふ】さんが退室しました。

閑話：隊長さんが神イ！して安価して喧嘩売ってるだけの日常回。

隊長が96層で暴れまわっていたのと同時刻、隊長は殺戮の傍らプレイヤーチャットを開き、あまりにもくだらないやりとりに興じていた……

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

【全力で】95層攻略したった攻略組さまあww【俺はおまいらをバカにする！】

【隊長】さん、【サボテン王】さん、【わんわんお！】さん、【やつはろー】さん、【サラダバー】さんが入室しました。

1. 隊長

フハハハハハハツ！95層を攻略したぞ！単独で！

私のオオオオオオ！神のツ！才能でなア！

2. サラダバー

1. 突然のゲームマスターで草。

3. 隊長

とりあえずいきなり今度戦う某さんりゆくGMなんかよりずっと

面白いゲームマスターを真似したったw

4. やつはろー

3. 面白いゲームマスターって誰？

5. 隊長

4. とりあえず人生というゲームの廃課金者でコンティニューし

てもクリアする人でなおかつ神イ！で顔面が放送コードに引っ掛かりそうで少なくともライダーお家芸のオロ○ミンCのCMには出られない人。

6. やつはろー

ごめんわけがわからないよ。

7. わんわんお！

5. で分かってしまった私はいつたいなんなんだ……

8. 隊長

7. ようこそ特撮ワールドへ。布教して洗脳してやるぞよ。

9. わんわんお!

8. 断 固 拒 否 する!

10. サラダバー

とりあえず8. は神イ! な社長リスペクト、それだけははっきりわかんだね。

11. サボテン王

……ところで気になるんやが、これいつ本題に入るんや?

12. 隊長

あ。

13. サラダバー

あ。

14. わんわんお!

あ。

15. やっはろー

あ。

16. サボテン王

12 | 15. おまいら忘れとったんかい! アホか!? アホなのか!?

17. 隊長

……よし、それじゃ本題に入ろう。

9. 5層攻略したったから今から攻略組を全力で煽る無差別爆撃メール送ろうと思うんだが、その内容を決めたい。安価でな!

18. わんわんお!

k t k r。

19. やっはろー

17. 安価って何?

20. 隊長

19. 始めた奴が指定した番号のレスに書いたのを採用する方式。いいね?

21. サラダバー

安価……それは無駄に洗練された無駄のない無駄に狂気に満たされたスレ民たちの戦争（アソビ）。

22. サボテン王

17. んで番号は？

23. 隊長

じゃあ30. にしとくか。お題はメールタイトルで。

24. サラダバー

しれっと無視された件。

25. わんわんお！

24. ざm……ドンマイ！

26. やっはろー

安価とか初めてだから緊張しちゃうねこれ。

27. サラダバー

26. そういう奴ほど笑いを取りに来て滑るのさ。知ってるよ俺。

ソース俺だから。

28. サボテン王

27. 自爆乙ww

『攻略組無駄無駄ア！のお知らせ』。

29. わんわんお！

『大型犬は良いぞ』

30. やっはろー

『前略なにより早さが足りない！』

31. サラダバー

『攻略組最後の日のお知らせ』

32. 隊長

『全略』

33. サボテン王

32. なんて参加しとるんやww

34. 隊長

33. だって面白そうだったんだもの……

で、タイトルは『前略なにより早さが足りない！』だな。

よしあとは内容……これについてはちよつと普通に俺が書くとして、それじゃ最後のところ決めようずw

俺の2つ名っぽいもんをテケトーに決めてくれw最後にそれ付けて送るからww42・でwww

35・サボテン王

……何やらワイのツツコミリーダーが未来のツツコミタイミングを察知してビンビン反応しとるんやが。

36・サラダバー

35・すつごーい！きみは、未来予知でツツコミ出来る、フレンズなんだね！

37・わんわんお！

36・サボテンのフレンズはないでしょww

38・やつはろー

37・ヤマアラシか何かじゃない？

39・隊長

38・むしろフグじゃね？w毒吐くしさww

40・やつはろー

臣民の臣民による臣民のための

41・サボテン王

小学校の卒業文集で将来の夢を『新世界最強』と書いた

42・わんわんお！

ロリに犬耳付けてハーレム作りたい

43・サラダバー

安価でなんでもかんでも決めたら駄目だよな。これ安価で決めただけど

44・隊長

……おい待てそれはまず……だが安価は絶対だな。仕方ない。

45・わんわんお！

44・メンゴメンゴwつい社会的に殺したくなるいつもの癖がw

w

46・サボテン王

45・いつもの癖で社会的に殺すとか何者なんや!?

47・サラダバー

46・しがないサラダバーです。

48・やつはろー

46・しがないヤツホーハローだけど?

49・サボテン王

47ー48・違う、違うんや……

50・隊長

……まあいいか、とりあえず今からちよつと96と95の方で今の奴を採用したメール送ってくるわ……さらばだぜ。

【隊長】さんが退室しました。

51・わんわんお!

50・よつしや勝利!

【わんわんお!】さんが退室しました。

52・サボテン王

これで攻略組vs隊長とかならんよな?

53・サラダバー

さーね。まあこれだけは言えるよ。

エフ子ちゃんが犬耳付けてるとこ見れたら死んでもいいかなって。

54・やつはろー

53・DTでも?

55・サラダバー

くあwせdrftgyふじこーp

【サラダバー】さんが退室しました。

56・サボテン王

54・なに全力で地雷踏み抜いとるんじゃあああ!!!

57・やつはろー

56・キレると禿げるよ?

58・サボテン王

くあwせdrftgyふじこーp

【サボテン王】さんが退室しました。

59. やっはろー

……あれ？みんな豆腐だなあ W W
【やっはろー】さんが退室しました。

【喧嘩祭りの】隊長 vs DKB 【始まりだっ！】

前略なにより早さが足りない！というタイトルで『ロリに犬耳つけてハーレム作りたい隊長』って名義のメール送ってきた隊長さんです。

死にたい。マジ死にたい。

エフ子 with 犬耳は可愛いから百歩譲って良いとするがこれは確実にヤバいのが来る気がしてならねえ。

具体的に言い表すところ……ろーくんの親戚と言うか、配下と言うか部下というか……劣化版ろーくんみたいなの？

とにかくそんなのが来る気がする。
メールを無差別に送るためにわざわざ95層に降りてきたが、何が起こるか分からないんだぜ。

「店長がそこまでローテンションとか産まれて初めてじゃないか？」

「いや、これ以上あるからな？お前は俺をなんだと思ってやがるんだ」
ちなみに俺の人生でもテンションが下がった出来事TOP3は『じいちゃんの死』『妹をてんやわんやで助けたらなんやかんやで法律に違反しすぎて警察に殴り込まざるをえなくなった』『コーチとして中国に卓球しに行ったら日に10回スられた(なお給料は日本円で三億だったために問題はなかった)』である。

今のこれは大体ギリギリ10位にかするくらいだからまあ、比較的
問題はないんだが……嫌な予感がするんだよなあ。

仕方ない、ここはもう諦めるとしよう。

諦めて、喧嘩祭りするんだ。

全力で敵を煽りまくって冷静な判断力を完全に奪い、一方的に蹴散らしてやるんだ。

俺はそう覚悟し、ひとまずエフ子呼びつけてとあるアイテムを装備させる。

その名も『犬耳』。文字通り普通に犬耳であり、特徴は装備すると耳がこれになって聴覚が強化され、さらに感情の起伏が現れるという無駄にハイテクなアイテムである。

そして今回はこれに加えて『犬尻尾』を装備させることで全ステータスに1.3倍の補正を掛ける。

……ちなみにこの犬耳と犬尻尾は優秀だが12歳以下の女限定装備品なので実質的にほぼエフ子専用装備品とも言えたりする。

「ほえ？」

俺は突如として謎の装備アイテムを渡されて困惑しているエフ子を見無視してコトを進める。

最初の犠牲者は……ろーくん。君だ。

流れでお前が参加してきたりしたら正直俺でも面倒極まりないからな！先手必勝じゃあ！

「エフ子、ろーくんに上目遣いでわんって鳴き真似してこい」

俺は我ながら人間性を篝火に注いで来たかのような行いだと思いつつ、エフ子に命令してろーくんの抹殺にかかる。

すまないねろーくん、まあお前もきつとエフ子に殺されるなら本望だろう？

「了……解です？」

いまいち要領を得ない感じのエフ子は、極自然な動きでトコトコとろーくんに接近し、体が軽く触れ合うくらいの距離で犬の鳴き真似をした。

「わんっ！」

「ごっふっ……」

完璧なノックアウトだ。判定なんて待つ間もなく完全勝利。

やったぜ。

そんなことを考えつつ、俺は次に来るであろう新たな敵たちを想定してスキルを組み替える。

コンセプトは「一対無数」。

ワンサイドガチのような一撃必殺ではなく、流れるような連続攻撃で削るスタイルのやつにして殺害回避を図る戦法だ。

まあ一応数人なら殺してもギリギリリカバリーが利くようなアイテムを複数持つてるがね？それでも殺さないに越したことはないだろう？だからだよ。

つーかそもそもエフ子に犬耳付けさせて最大の不安要素たるろーくんを無力化しちまった時点で1つ問題があるからな。その為にも今回の一対無数シフトは欠かせない。

まず使う基本的なスキルを紹介すると【超越剣】【体術】【立体機動】【罨師】【五十歩百歩】の5つ。

超越剣の無駄にバラエティ豊かなスキルで意表を突きつつその頭おかしいスキルに驚いてる隙に攻撃を叩き込んで倒す作戦だ。

幸いにしてここは圈内だし、相手もデュエルを挑んでくるから俺がうっかり本気で攻撃しない限りきつと安全性。

それに今回はこの場所にそれなりの建造物が存在していることを活かすために立体機動と罨師を付けてるんだ、だからよほど強いやつが頭数も揃えてやってこない限り大丈夫……多分。

ついでに言うなら俺のエクストラスキル群でもっともマスターに手間と時間が掛かったし使いこなすのに1週間以上必要とした五十歩百歩も入れているから黒の剣士とかおっさんとかを上回るバケモノ、あるいは数十人単位の集団が来なければうっかりやつちやうこともあるまいよ。

だから安心して迎え撃とうじゃあないか。

「全軍突撃イー！」

「……隊長ツ！覚悟しろ！」

……おい待てなんで今俺の視界には10とか20じゃなくてフルレイドを上回ってなお余りある感じの青い鎧の騎士たちが居るのかな？おかしいな？

確かこれ、DKB（どう見ても首がブクブクに太ってる）の正式装備……あ、間違えた。

DKB（どう見ても首がブクブクに太ってる）の正式装備はその首の贅肉であり、SAOでも消えなかったそれをあえて強みにしようとしている面白系だった。

コイツらは同じDKBでもドラゴンナイト・ブリゲードの方だ！

ヤバいぞ。流石に百人とかが相手だとこの隊長さんも本気の本気で皆殺しを覚悟しないと逃げ切れないかも……

俺はそんな危機感を覚えて、ひとまず所持アイテムを確認した。

この状況を有利にするアイテムを探しているのだ。

いい感じに危険なブツがあればそれを使って同士討ちを狙えるんだが……

急いでメニューをスクロールするが、しかしそれでもお目当てのブツは見付からない。

一応、お目当てのブツを神経系の睡眠ガスに例えた場合のVXガスに当たる類いのブツがあるにはあるが……流石にそれは戦争が起これりかねない。

SAO攻略7日前（あと数時間で6日前だが）にプレイヤー同士の戦争とか嫌だよ？いくら俺でもね。

だがこの状況を解決するにはもはやそれを解放するしかないのも現実だ。

どうする……？

「よしお前らア！まずは取り囲んで装備全損させたれエ！」

「！！「応ー」！！」

……いや、この状況ならもつと良い手段があるか。

このDKBを率いているあの男に決闘を申し込めば良いのさ。

俺はそう判断して、ひとまずエフ子を前に出させて随分と前から決めておいた合図を出す。

そして犬耳verのエフ子で萌え死んだり悶え苦しんだりしているDKBを尻目に、俺はそこから走り出してエフ子の手前で跳躍、エフ子がそれに合わせて手で足場を作るのでそこを一瞬だけ足場にして再度跳躍したのちに立体機動スキルの熟練度MAX限定技を発動する。

「[スカイハイ・ウォーカー]！」

それはただ、単純に『発動後十歩歩くまでの間高度がそこから低下しない』というだけのスキル。

そのくせ一度使うと72時間使用出来ないし空中にいる間は回復出来ない。

だが、あえてそんなスキルを使って俺はDKBのリーダーへ近付

く。

……逆立ち歩きでな！



【カチコミ実況】 隊長 v s D K B 【調査隊】

【特派員】さん、【ロリコンは生業デス】さん、【ファニーボーン】さん、【サボテン王】さん、【吉田山】さんが入室しました。

1. 特派員

調査隊特殊突発訳ワカメイベント、『隊長 v s D K B』はっじまつる

よ〜！

主催者はD K B総長、標的は我等がリーダー隊長だあ！

2. ロリコンは生業デス

どんどんぱふぱふ〜

3. ファニーボーン

D K BってあのD K Bと隊長が戦うのか？マジで？

4. 特派員

3. そりゃそうさ！他にどんなD K Bがあるって言うんだい！

5. ファニーボーン

D (どう見ても) K (首が) B (ブクブクに太ってる)

6. 特派員

マジで!?

7. 吉田山

6. ちなみに俺はその一員だ。首回り65cmだけ？

8. サボテン王

7. 自慢気に言わんでええ。

9. 吉田山

8. そう誉めるなよ照れるだろ。

10. ファニーボーン

9. つーか首で65とか腹回りの太さ聞けねえよ……

11. 特派員

まあとりあえずおまいら、ここで一旦俺の話を聞いてくれ。

12. 吉田山

11・聞いてやんよ。

13・サボテン王

11・聞いてやらんこともない。

14・ファニーボーン

11・聞いてやらなくもないわけじゃなくない。

15・ロリコンは生業デス

11・このスレの総意は聞くの方に傾いたな、よし俺はバランスを取るためにあえて11・が聞かないに投票すると踏んで聞いてやるぜ！

16・特派員

15・それダメやろ!?言い出しつぺがやめてどうするんよ!?バカなの死ぬの!?

……まあい。

とりあえずこの隊長vsDKBが起こった経緯を説明しよう。

17・ロリコンは生業デス

16・前置きはい、本題だけでよろ。

18・特派員

17・お前さっきまで書き込んでなかったのにいきなりレスの頻度増えたな！

それじゃ本題の、この争いを起こした原因であるメールをコピペしよう。

全文にすると異常に長いのでそこから一番DKBメンバーをキレさせたと思われる二つのキーワードだ。

それはタイトルの『前略なにより早さが足りない!』と、最後につけられた『ロリに犬耳つけてハーレム作りたい隊長』という署名。

絶対これ露骨に煽ってるよな。

だが、DKBは乗ったんだ。この露骨な煽りに。

19・サボテン王

今から隊長に殴り込みかけてツツコミ入れたくなってきたわ……

20・ロリコンは生業デス

つーか最後の俺がやりてえよってか隊長にはエフ子ちゃんという天使が居るぞ。

まさかエフ子ちゃんに犬耳をつけてしまう気n

【ロリコンは生業デス】さんが退室しました。

21・吉田山

20・ウウウウウウウウ!?

人混みに巻き込まれてようやく復帰したら即座に20・が消えるなんて！

22・ファニーボーン

つーか20・はなんで突然退室したんだ？

訓練されたロリコンならよっぽどのことがない限り決してロリ関係のことをしている最中に中断させられるなんてことは無いはずだが。ソースは知り合いのロリコン。

23・サボテン王

20・はいいやつやった。だが少しロリコン過ぎたんや……………
ということかいな？

24・特派員

……………いや待て、なんか遠巻きにしか見えないが隊長の傍にいるエフ子ちゃんがなんだか神々s

【特派員】さんが退室しました。

25・ファニーボーン

第二の被害者キタ——(。▽。)—!!

26・吉田山

つーかエフ子ちゃんがなんなんだよ！分からないよ！

27・サボテン王

……………よし！今からワイが様子見てくるわ！んでもって24・の使命を受け継いだる！

おまいら！あとは頼んだで！

28・ファニーボーン

27・アニキ……………(トウンク

29・吉田山

27・俺にはただ、見守ることしか出来ないが、頑張れよ……

30・サボテン王

ワイ、いつきまーす！

【サボテン王】さんが退室しました。

31・吉田山

30・頑張れよー！

32・ファニーボーン

30・ファイトー！

【特派員】さんが入室しました。

33・特派員

おみらきおつkろえhこいんみやば

【特派員】さんが退室しました。

34・ファニーボーン

………うえ？ウエイトウエイト、何だ今の？

35・吉田山

『おみらきおつkろえhこいんみやば』ってなんだよ！訳わかんねーよ！

36・ファニーボーン

ああもう！このまんまじや何も分からねえ！俺は死地に向かう！
ついて来たきやついてこい！

37・吉田山

よっしゃ俺も便乗するぞー！

【ファニーボーン】さん、【吉田山】さんが退室しました。

「ふぁーすとー！」 オールスター隊長討伐祭 「青いやツラ」

スカイハイ・ウォーカー。

これはかねてより俺が使いこなそうと努力してきたバカスキルであり、不遇スキルだ。

コイツは立体機動の極致にあるスキルの名に恥じず、何も無いところを歩けてしまうという凶悪な性能を誇るが、いかんせんその十歩という制限がネックでいまだ愛用者はいないという実情が続いていた。かくいう俺も中々使いどころが見付けられずにつつともて余していた訳だが……しかし。

俺はどうとう見付けたのだ、スカイハイ・ウォーカーを活かすための唯一にして最強で最悪で、俺しか出来ないようなやり方を。

……ただでさえ現実の体とは感覚が違うSAO内で逆立ちしたまま歩くという方法をな。

これについては思い付くまでそこその期間を要したし思い付いても成功するまで長い時間がかかってしまった。

それこそ何日もな。

普通どんなに扱いが難しいスキルでも数時間もあれば使える俺ですらこのザマだ。いかにスカイハイ・ウォーカーが使いにくいスキルかが理解できるだろう。

だが、その苦労があつたからこそ俺はここでDKBメンバーの武器が届かない範囲から悠々と見下ろしていられる訳だがね。

見たまえよこの光景を……見えない？そりやドンマイ。

だが上から見るとそりやもう爽快だぜ？これはもう調子乗るしかありませんわ。

だがわざわざここまで歩数を減らさずに進んできて難だが、俺はここですぐに10歩を使いきって足元にいるとある男の前に躍りでなきやならない。

別になからでも良いけれどね、そこら辺についてはアレだ、無意味

なごだわりってやつだ。

そんなことを考えつつ、俺は無意味にその場で十回足踏みをしてスカイハイ・ウオーカーの歩数制限をオーバーすることでスカイハイ・ウオーカーを解除した。

そして、自然落下によりDKBのリーダーの前に落ちる瞬間、俺は急いで武器をクイツクチェンジで取り出して構え、首のスレスレの所に突きつけ、叫んだ。

「おう、面貸せよ！人質として！」

まず全力で喧嘩を売る。

これは俺流の対集団交渉術（物理）の1つであり、どんなに無口な奴からでもリアクションを奪い取れる数少ない言葉でもある。

「お前、意外とバカだな……………」

…………よし、乗ってきた。あとはこれを煽って煽って煽りまくるんだよ！

「そうだな！俺ってこれでも高校中退だし？高校の時の通知表はほとんど2だったわ（ドヤア）」

「そういうこと聞いてねえよ!?お前はこの状況が見えてないのか!?一面こつちの味方だぞ!?一斉に襲いかかってきたらどうするんだ!?!」

無論物理で黙らせませんが何か。

俺は煽りに乗ってきたDKBリーダー…………ディアベルに対し、そこからさらに畳み掛けることにした。

これでもリアルじゃ喧嘩千段暗殺万段、煽り文句はおつくせんま……………もとい計測不能とか言われたことがあるんだぜ?しかも実の兄に。

閑話休題。

そんなことは置いとくとして、今から俺はこの男に、史上最悪の煽りをかけようと思っっている。

それはこの状況においてこの男を感情的にさせるには十分な力がある言葉で。

それは多分コイツ限定でしか効かないが、しかし誰もが知っていて、でもみんな遠慮している言葉さ。

要約すると誰もが知っているけれど怖くて言えないし彼の功績を考えると面と向かって指摘しづらいことだな。

俺はディアベルの質問に答える形で全力の挑発を口にした。

「そうだなー、それじゃ今からプレイヤーチャットにお前がぞ」

だがしかし。その言葉は現在の一体無数シフトにおまけとして付けておいた索敵スキルが知らせた、こちらへ急速に接近するなんらかの……飛行物体？への対応に追われたせいで邪魔されてしまう。

おい待てなんじゃこりや。

普段から常識をわきまえない俺が言えた義理じゃないが上空から飛んでくるなんてそれこそ常識破り過ぎねえか？

いくら俺でも……いや、俺なら出来るか、うん。

俺はそんなことを考えつつ飛んできた何者かに対して顔面蹴りを放つもスカル。

どうやら敵は少々小柄なようだ。

ならばと思つて少々無理な体勢から強引にそれを殴りつけようとするが、しかし今度は割り込むようにしてディアベルが入ってきて……ああ、もどかしい。

いきなり飛んではいつてくるとか映画の見過ぎか！

俺はブーメランとしか言いようのないことを脳内で愚痴りつつも、とりあえず体勢を立て直すべく手に持っていた武器を乱入者の武器に対して叩き付け、一瞬怯ませて後退、現在戦闘中の敵二人を見つめる。

「クッククック……まんまとかかったな？隊長。コイツは俺の秘密兵器にしてちよつと昔のツテで連れてきたキュートかつヘヴィな撲殺天使！リィエルちゃんだっ！これで勝つる！ハーツハツハツハツハ……あぶあつ」

まず、高笑いしすぎて後ろに倒れたせいでいまち強そうには見えないが一応DKBという攻略ギルドのリーダーだし多分強いと思われる男、ディアベル。

そして……

「たいちよ……倒して……奢らせる……」

天下のDKBvs隊長だからな………今回ばかりは隊長も分が悪いだろ。バトルロイヤルにさえ持ち込めれば数の暴力でどうにか出来る。

6・ムツコロ星人

けどあの隊長の事だしなあ………絶対性格の悪い方法で切り抜けた挙句『君達そんなに大勢で俺一人倒せないの？馬鹿なの死ぬの？』とか言ってくるだろうしなあ………

7・サボテン王

6・………フツ、そんな心配はいらんで？今回はDKBも確実に勝つために凶悪な助っ人を数人呼んでおるみたいやし。

8・わんわんお！

助っ人？

9・サボテン王

せや。ワイのどこにも一応来たんやが、どうやら下層の方で主に活動しとる凶悪な密偵組織の教団なんちやらつてとこがめぼしい奴に当たりつけて集めとるみたいでな………

多分この助っ人つて、元々は攻略のために何かしようとしていた準備が隊長のせいで一旦お釈迦になったからそれを隊長への嫌がらせにあててるだけなんちやうんかな………

10・ムツコロ星人

なるほど、隊長がソロ攻略なんてしちやつたから力が余ったのか。

11・わんわんお！

………あつまずい。

私その密偵組織の人が来て不審者だと思つて調教しちやつたかも。

12・紅蓮リーダー

やべえ、俺も連れが見つからなくて探してるところにしつこかったかし誘拐犯かと思いきんで気絶させちまつたわ。

13・サボテン王

12・オイイイイイイイイイイイ!?なにしとんのや!?初見の相手いきなりほとんど問答無用で気絶させるとかどこの世紀末!?

14・紅蓮リーダー

13・おいおい、それよりもまずは11・がおかしいことに気付けよ。

出合い頭に調教とか普通にありえないだろ？

15・わんわんお！

14・大丈夫、犬とモフモフさえあればいつでもどこでも人をしつけるのは簡単なことだから！

16・紅蓮レーダー

出来ちやうのかよ！つーか調教に犬使うとかマニアックだな！

17・わんわんお！

ちなみに私に調教されると犬が好きで好きで仕方なくなります。そして犬が寄つてきます。

18・サボテン王

先の方は納得できるが後の方意味不明過ぎるわ……………

19・ムツコロ星人

18・どんな生き物も自分に好意的な奴をないがしろにできないってことだろ？

20・わんわんお！

まあね、そりゃ誰だつて従順な下僕は欲しいよね。

21・ムツコロ星人

20・まさかの下僕パターン!?

22・紅蓮レーダー

20・が恐ろしすぎる件について…………おっと、すまん誰か来たみたいだわ、ちよつと落ちる。

【紅蓮レーダー】さんが退室しました。

23・サボテン王

22・フラグ残していったけど、大丈夫やろか。

24・ムツコロ星人

23・きつとウシジマくんが来たくらいのことだろうから大丈夫じゃないか？

25・わんわんお！

……………ところで。

26・ムツコロ星人

ん？なんじやね？

27・わんわんお！

今ちよつと調教した密偵さんを犬経由で尋問したら、なんか教団の
粛清部隊がなんちやらくつて言つてたんだけど。

28・ムツコロ星人

こえーよwまあ大丈夫だろ？

29・サボテン王

27・せやで。それに粛清部隊つて言つたつて倫理コードがある
限りS A Oじゃ分かりやすく痛めつけたり殺したりはできへんから
……おつと、噂をしてたら来たみたいやな。ちよい確認してくるわ。

【サボテン王】さんが退室しました。

30・ムツコロ星人

29・オイ待てエエエエエイ！みんな去り際にフラグ残す
なアアアアアア！

31・わんわんお！

30・とりあえず逃げてみる？

32・ムツコロ星人

31・いや、ここで待つて22・と29・が帰つてくるのを待つて
みようと思う。

33・わんわんお！

そうかい、頑張つておくれ。

私は帰る。こんな不吉なフラグが乱立するスレ一秒だつていたく
ないからね。

ああ、でも大丈夫だ32・。私に考えがある。君はただそこに居る
だけで良いんだ。いいね？

【わんわんお！】さんが退室しました。

34・ムツコロ星人

……今の本人かどうか怪しい件。誰かあとから見る奴に心理学者
とか居たら教えてける。

俺氏はみんな死亡フラグ建てすぎてるからもう何も怖くないので、

さつさと退室するぜ……

【ムツコロ星人】さんが退室しました。

【せかんど!】 “最強” VS “超最大” 【常在戦場】

戦闘の開始は、まず俺の投げた武器が弾かれて飛んでいく音から開始した。

気付いたら視界の中にいつの間にか『デュエルモード：最終決着口ワイヤルベータ』という謎の表示がされていたりするが、まあ多分これはカデ辺りが気を効かせてくれたのだろう。

字ヅラからしてかやひことの決戦ようデュエルモードのベータ版っぽいかな。

そんなことを考えつつ、まずは手に持った剣で、ある技術を流用してがきんちよに重めの一撃を叩き込む。

一応コイツには元の技名はあるから叫ぶとしようか。

「変幻夢想流、無の型一の太刀……【絡滴】」

たしか近所のじっちゃんよりは弱かったけど技術そのものの研究については進んでいたからアレンジ次第でいくらでも化ける剣術を持つてたじいさんからパクった技。

名前以外たいして記憶はないが、まあ困ることもないさ。

それに変幻夢想流は技のコンボでこそ本領を発揮する剣術だ。だからここから次の攻撃に繋げたいところだが……

「やあ隊長！無視するなんて酷いぞ！」

今度はディアベルの方が攻めてきてこちらの動きを制限しつつ、がきんちよが俺の背後からギリギリの所を叩き斬ろうと横薙ぎの一撃を仕掛けてくる。

タイミングは完璧。前後左右どこにも回避のしようはない。普通なら、という条件が付くが。

「甘え、甘すぎるぜっ！」

だかしかし、そんな連携も俺の前では無力である。

バックアタック狙いならば最初に付けたスキルの1つ目の効果が生きるって訳さ。

俺はその場で軽いステップを踏みつつ、スキルを発動する。

「ダブルステップ」

エクストラスキル【五十歩百歩】の第一スキルでありながらもつとも有能でマトモなんじゃないかと思うスキル、ダブルステップ。

ただ単純に五十歩を百歩に変えるそれに近い……つまりは一步の長さを二倍にするスキルだが、その移動方法が独特なのでこういう逃げの一手を打つべき時には滅法強い。

ただしクールタイムが三分なので二歩で抜けられない時は非使用推奨。

ついでに1つ重大な欠点もある。今言うことじゃないがね。

……にしたっていきなりコイツを使わされるたあね。

正直五十歩百歩は乱戦で囲まれた時に同士討ちを誘発してやろうと搭載したものだから、二対一で使うなんて思いもしなかった。

ちよつと流石にコイツらとまともにやるのは分が悪いか？とようやく思い始めたところで、俺は不意に背後から強烈な悪寒を感じてその場を飛び退く。

無論避けた先にも追撃がやってきたがそちらは難なく剣で相殺して先程までいた場所を睨むと……

「おい待てそれは反則だろうが！」

「お前がっ！言うなや！」

そこには巨大なタワーシールド2つを巧みに操り打撃を加えてくるサポテンダーマンの姿があった。

三対一。形勢はさらに悪化。ディアベル&がきんちよでもそこそこキツイ感じなのに流石に三対一はちよつとだけピンチかもしれない。

なりふり構わず人道すら捨てた最悪の一手を使うって手もあるけど、それは流石に最後の手段だしなあ……

そう思いつつまずはこちらの行動を制限しやすいダブルメイン楯使いなサポテンダーマンをコロコロしてやるため、僅かに本気を出して攻撃することを決定する。

装備変更、【ザ・マッハ】……

「魔法の鉄拳マジカル☆パンチ！」

おっと。

しかし良いところで更に乱入してきた奴によってそれすら妨害され、その上新たな乱入者は初撃を外した次の瞬間どこか軍隊的な動きを思わせる特殊なフットワークを駆使してこちらに余裕を与えないつもりのようだ。

しかし拳闘ってんなら話は早い、こちとら喧嘩1000段だ、ステゴロなら負けはねえ。

だが、さらにそこで俺に襲い来るのがある程度フォーメーションを組んで連携し攻めてくるディアベルたち。

そして新たな乱入者（最初の台詞からマジカルくんとでも呼ぼう）はディアベルたちに合わせるようにして連続攻撃、俺に対応させる暇を与えない。

なるほど完璧なチームワークじゃないか。

こんな状況はリアルでも長らく味わってないね。少なくともここ2年はもちろん過去10年以上に渡って一度も味わってない感覚だ。

2つの巨大な楯がまず俺を襲いつつ動きを制限、その持ち主たるサポテンダーマンを足場にして跳びあがったがきんちよとディアベルが上としたから挟み撃ち、そしてマジカルくんが小刻みな攻撃でこちらの位置をコントロール。

……これ、ちよつと流石にまずいなあ。

そんな気の抜けたことを考えつつ、俺はなすすべもなく吹っ飛ばされるのであった。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

プレイヤーチャット特設スレッドにて

【現在、混雑のためスレッドを複数に分割しています】
【ハサ次郎】さん、【承太郎】さん、【ゴロー】さん、【ブタジマ】さんが入室しました。

1. ハサ次郎

隊長が吹っ飛んだらしいわよ。

2. 承太郎

いや隊長が吹っ飛んでるのはいつも通りだろう？

3. ブタジマ

2・それはぶっ飛んでるの間違いだろうか……取り立てるぞ。

4・承太郎

3・何を!?

5・ゴロー

4・野球やってて割った窓の弁償代ウン十万円のことじゃね？

6・承太郎

いや、むしろこの場合は知り合いに借りてた20000円のことだろうさ……くっ、嫌なこと思い出しちまったぜ……

7・ハサ次郎

……もう始めても良いのよね？

8・承太郎

7・大変失礼致しましたっ！

9・ゴロー

7・大変失礼致しましたっ！

10・ブタジマ

7・大変失礼致しましたっ！

11・ハサ次郎

8―10・うむ、許す。

と、言うわけで話すけど、どうやら隊長がDKBとかその辺の人たちによってやられたみたいよ。

見た感じサボテンが一個混ざってるけど……グオートみたいな奴じゃないわよね？

12・ゴロー

しまったな早いところ洗濯物取り込まねえと穴が空くぞ……

13・ブタジマ

しまったこんなことになったら早く借金取り立てねえと逃げられる……！

14・承太郎

っーか今逃げられてる……

15・ハサ次郎

14・何から？

16. 承太郎

ラグーラビットに逃げられてる。ギリギリ追い付けそうではあるけどやっぱ素手じゃやりづらくて仕方ないね。

17. ハサ次郎

16. 捕まえたら献上しなさいよ。私に。

18. 承太郎

17. 鬼がここにいる!?

19. ブタジマ

んじや俺にも寄越せよ。

20. ゴロー

腹減ったから俺にもくれ。

21. 承太郎

チクショウ……俺の大切なラグーラビットをなんで皆狙うんだ

……

22. ゴロー

21. 腹減ったから

23. ブタジマ

21. 滞納者にチラつかせて金引き出すんだよ。

24. ハサ次郎

21. 献上しないなら切るわよ？ナニをととは言わないけど。

25. 承太郎

お前らホント遠慮もクソもねーな！

もういい、俺はプレイヤーチャットを切るぞ！

【承太郎】さんが退室しました。

26. ハサ次郎

あ、ところで今思い出したんだけど。

27. ブタジマ

26. なんだよ。

28. ゴロー

26. なにか分かったのか？

29. ハサ次郎

いや、今回の事件で暗躍してるっぽい教団があるって聞いたからちよつと知り合いを問い詰めてみたんだけどね、ちよつと心当たりがあるみたいなのよ……

30・ブタジマ

つまり？

31・ハサ次郎

もしかしたらこの事件の面白いネタを握れるかもしれないの。

32・ゴロー

31・俺は興味ないね！……で、どんな教団なんだい？

33・ブタジマ

32・興味津々じゃねえか。

ま、聞いてやっても良いんだぜ？31・さんよお。

34・ハサ次郎

32―33・普通に教えてあげないけど？

教えてあげるなんて一度も言っていないじゃない。

ざまあ見なさい。

【ハサ次郎】さんが退室しました。

35・ブタジマ

あ、あの性悪め……取り立ててやるっ！

【ブタジマ】さんが退室しました。

36・ゴロー

おい待てなんで最後が俺になるんだよおおおおお！

つーか35・が闇金の人感強すぎて怖すぎんだよおおおおお!!!

【ゴロー】さんが退室しました。

【さーどー！】もう笑うしかないや 【隊長さんの敗北】

……俺がやられてる？しかもたかが四人に？マトモな人間四人に？

ありえねえだろ。

これが黒の剣士とか、おっさんとか、マトモじゃないやつらが徒党を組んで襲ってきてるのなら理解できるさ。

アイツらはみんなバケモノに片足突っ込んでる。だから集まれば俺を越えたっておかしくない。

でも今回の相手は、マトモな人間だ。バケモノに片足突っ込んでるとかそういうのが一切なく、普通の人間だ。

なのに俺がやられる。

おかしいよな。おかしいだろ？おかしいって言えよ。なあ！

俺は吹っ飛ばされた先で、自分が対応しきれずにやられたことをいまだ受け入れられずにいた。

これまでだって、リアルだって、どんなに強いやつらが集まって一斉に襲ってきててもそれがマトモな人間であるならば簡単に乗り越えてきた筈だ。

なのになんで今回に限ってダメなんだ。今回に限って俺がやられるんだ。

それが運命って言われても納得も理解もできない。ただただイライラする。

「覚悟せえやああああ!!!」

そんなことを考えている最中にも敵は襲ってくるが、今の俺には反応も出来ず、叩き込まれるシールドバツシユを受けて大きく吹っ飛ばされる。

……あれ？おかしいな。俺はこんなに簡単に心を折られるような奴だったっけ。

壁に叩き付けられ、衝撃をその身で受けながらそんなことを考えた。

確かに現実では幾度となく格上相手に負けてきた。しかし心までは折られなかったはずだ。

ほら立てよ、立つんだ俺。

そうして自分を鼓舞してみても、身体は微塵も動かない。

意識を失った訳じゃない、でも何か心と身体に致命的なズレが出来たような感覚。

……いや、もしかしたらこのズレはずっと俺が抱えていたのかもしれない。

「あは……」

そんなことを思うと、まったく面白くもないのに何故だか少し笑えてきた。

嗚呼、面白くない。不愉快だ。

敗北は人を強くする？一の勝利より十の敗北？勝ち負けは重要じゃない？

そんなもの、まやかしだ、嘘だ、出任せだ。

だって実際そうじゃないか。俺は勝つ度に強くなってきたし、一の勝利で千を掴み進化を遂げてきた。

そして今一度の敗北で積み上げた全てが壊れかけている。

もしかしたらもう負けているのかもしれない。

負けて全部失って、ここまで身体を動かしてきたナニカまで失って、俺に残ったのはなんだ？

何もない。

なんにもないんだ。

体力ゲージはまだ僅かに残ってギリギリで勝負が付いていないことを示している。

だが……もう無理だ。勝ち目はない。

俺を俺たらしめていた物すら失って動けない俺に、勝つ道はない。奇しくもそれは、多くの漫画やアニメに存在する孤高にして最強な天才キャラたちが初めて「勝てない」ことを知ったときのように。

……ああそうだ、もういつそ降参してしまおうか。

「隊長」なんてものはもう居ない、居るのはただの屍、なんてこと

を示すためにわざと降参してしまおうか。

それも良いかもしれないな、と思い俺はメニューから決闘の降参を宣言するボタンを呼び出す。

そしてそれを押し、降参しようとしたその時……

俺の頭をある男の言葉がよぎった。

かつて最強の男として、皇帝を意味する二つ名を付けられ、しかし敗北し続けて最弱と呼ばれ、最下位ザーとまで呼ばれたあの男の、魂の叫びが。

その叫びが頭の中で何度も反響し、俺の魂を揺さぶり、何か良く分からないものを呼び醒ました。

“ソレ”は俺ですら何も分からず、しかし何故だか理解出来てしま
う。

コイツを使えば負けないと。

呼び醒まされたソレは、俺の中で今にも暴れだしそうなほどの荒らぶる力で俺を誘う。

俺は誘われるまま、ソレに手を伸ばし……

使わずに、喰った。

喰ったと言う表現が正しいのかどうかはさておき、喰って吸収した。

土壇場で目覚める良くわからないものは強いがロクなものがないと歴史は証明しているのですね。

だから使うでもなく、再封印するでもなく、喰った。

血肉にして一方的に使うために。

……嗚呼、力が溢れてきて仕方がない。喰ったつもりなのにまだ腹の中で暴れているような感覚だ。

素晴らしい。やはりそれくらいないと喰った甲斐がない。

よし、今からそこに向かって殴ってやろう。流石にちよつと理不尽だし道理に合わない気もするけど、とにかく殴ってやろう。

どうせ俺にはロリ以外に殴ってはいけない相手と言うものが存在しないんだ。だから安心して殴れるぜ。

それはたとえ自分の上司でも、育ての親でも産みの親でも（あ、でもこれだと俺は産みの親に育てられたから親だけ二回殴ることになるな……まあいいか）関係無い

どうせロリ以外なら殴っても心はまったく痛まんしな。

クズと言おうが構わないぞ。慣れてるからな！

こう見えて小学校の頃の二つ名が『ロリコンの妖精』と『ガチペド魔法使いさん』だからもうどんな罵倒も通用しないのだ！

……なんか気分が悪くなったからこの話は終わりにして店長を探すでしょうか。

俺は考え事をやめて周囲を見渡してみる。

どこかに人混みがあるならばその中心に居るのが店長だと見て間違いないが、そんな都合のいい人混みは見当たらない。

あるのはただエフ子ちゃんという世界有数のロリっ娘と、街の風景と、鎧を着たプレイヤーたちのみ。

うん、こうしているとなんだかエフ子ちゃんとデートしてるみたいな感覚になるが、きつとエフ子ちゃんはそんなことを考えてなど居ないのだろう。

もしそれを言われたら吐血して死ぬよ。リアルに。

「こうしてると、まるでデートみたいですね」

「ぐふっ……」

「あっえっ、だ、だだ大丈夫ですかろーくんさん!？」

おーっと、会心の一撃だ。俺のロリコンソウルに1000000R（単位はロリ。1000000Lとも言う）のチャージ！限界を越えた！今なら店長ともやりあえるかもしれない！

とにかくエフ子ちゃん天使過ぎるんだよコンチクショウ！かやひこはクソだけどエフ子ちゃんを産んだこのSAOには感謝するしかねえぜ！ヒヤッハー

!!!!!!!!!!!!

もはやテンションの上がりすぎで様々な極限を越えてしまった俺は、ついに脳のクロック周波数を加速させ意識を10倍速の世界に到達させる。

エフ子ちゃんの動きも1/10だ。

可愛さは100倍だ。

ロリ力は……ただでさえ「物凄く」（ここ大事）可愛いのに1000倍あいすくりーむ……もとい10000倍だ。

そんな絶好の撮影チャンスを俺が逃す理由はない。

1/10の世界の中、俺はレスポンスの悪い簡易メニューに苛つきながら、スクリーンショット機能を呼び出してとにかく撮りまくった。

勝負は約10秒間。1000000Rによって限界を超えた俺でも流石にそれ以上はキツイ。

だから……10秒で決めるっ！

これが必殺のっ！ジユウナナレンダア！／秒だああああ！！！！

……だが、現実残酷なり。

「オ レ ハ …… 負 ケ タ ク ナ

イイイイイイイイイイイイイイイイイイツツツツ！！！！」

俺の加速は、突如として響いた「声」により掻き消される。

「なんだと……」

おかしい、俺の幼愛加速世界（ロリータ・アクセルワールド）は言葉1つで止められるようなものじゃないはず……あ、いやでも思いもよらぬ方向から一定以上の出力のロリータフォースによる攻撃なら止められるけどね？

だが今の言葉にロリータフォースは乗せられていなかった。

おかしい、ヒジョーにおかしい。

そして俺は明らかにおかしいことをする人物を一人知っていて、ソイツを今探している。

……犯人は、店長だ。

【ないともめあ！】暴走とサボテンと暗躍する教団【最凶
VS最硬】

俺が店長の咆吼に何か嫌な予感を感じ駆け付けた時、すでに戦いは始まっていた。

4対1。それもただの4対1でなく凄まじい練度と完璧なコンビネーションを合わせ持つ、最悪の布陣。

普段ならばいくら店長だって負けてもおかしくはないと言えるほどのその完璧な布陣は……様子がおかしい店長に対し防戦一方となっていた。

「チイツ……グレン！なんでも良いから突き崩せへんのか!？」

「無理だつ……さつきのでギリギリだったのに、手負いになって反応速度も戦闘能力も桁違いになってやがる……!」

前面で2つの楯を構え、店長の放つ暴虐の嵐をなんとか防ぎ続ける全身を鎧で覆った剣士と鮮やかな動きで攻撃をいなし続ける拳士は悪態を吐きながらひたすら体勢を崩そうとしている……が、届かない。

店長の剣筋は今、普段の見た目重視の無駄だらけな剣筋から一転、無駄のない最速かつ最適な、しかし普通なら認識すら出来ず何がなんだか分からなくなるような凶悪な剣筋に変化している。

そしてその完璧な剣は、剣士と拳士を徐々に追い詰める。

そこに一切の無駄はなく、普段のような余裕もコミカルさもない。あるのはただ、機械的に破壊と殺戮を撒き散らす災厄。

「セイヤアアア!」

そこに、仲間が追い詰められていることを察して飛び掛かる青い剣士が一人。

正直言つて死ぬ以外の感想が浮かばないようなイケメンだ。

こいつばっかりはマジで死ぬ。イケメンは死ぬ。

やっちまえ店長!今のお前ならそんなやつどうってことないぜ!

しかし俺のそんな内心とは裏腹に、奇襲からの連携を警戒したのか

店長は一旦後退し、相手が回復のため動けない間に最大限の距離をとりつつメニューでなんらかの操作を始める。

そして、ものの数秒でその操作を終えた店長は前傾姿勢を取り、叫ぶ。

「極限超越……バージョン【光化静翔（テーマソング）！】」

いつものように、当然のように名前をパクった謎の技。

極限超越ってのがどんなやつかは置いとくとして、光化静翔ってのはめだかボックスじゃなかったか？

でもって、めだかボックスでの光化静翔は超スピードの異常だから

……

……あれえ？ボク嫌な予感しかしないよ。おっかしいなあ。

俺がそんなことを考えた瞬間、回復を終えてフォーメーションを組み直した4人の側を突然、視認できない程の速さで通りすぎる十二力が通りすぎる。

「全員逃げろおおー！」

4人の中で一番早く通り過ぎた十二力が何をしたのかを理解した青い髪の剣士は、これから行われる圧倒的な破壊を予測して仲間に逃げるよう警告する。

だが時すでに遅し。

「9・8秒。それがお前たちの絶望までのタイムだ」

そして、お前はどこのライダーだと言いたくなるくらい見事に台詞をパクりつつ、店長は4人の周囲を目にも止まらぬ速さで何度も何度も何度も通り過ぎる。

その姿はまるで、俺が高校に通っていた時一度だけ参加した甲子園において『一人球団』と呼ばれた最強の内野手兼外野手兼ピッチャー兼キャッチャー兼バッターにあまりにもそっくり……っ！か本人なんじゃねえかと思うほどにそっくりだ。

流星に速度はこっちの方が速いが、それでも圧倒的なスピードのみで敵を一方的に圧殺するという戦術を使うという意味では同じだろう。

まあこうなってしまうえば逆転の目はないな。

視界に捉えておくことすら困難な程の速さで走り続ける店長の連撃から逃れるなんて、それこそ動く隙間もないほどの空間を埋め尽くすか自分も巻き込む爆発で一瞬だけ隙を生んで退避するしかない。だがこの状況なら爆発は店長だけでなく味方まで巻き込んでしまふからバラバラになりやすく、敗北のリスクが高まる以外にたいして何も起こらないだろう。

詰んだな。

「お前ら！全員目ェ閉じろ！」

……だが、詰んだとか俺が言った次の瞬間、サボテンはなにやら黒い石を取り出して地面に叩き付けた。

そして、黒い石から放たれた閃光がその場に居たほぼ全員の視界を白く染め上げる。

「小癩ナアアア！」

しかし、それを意に介さぬかのようにすぐ店長が攻撃を仕掛けるが……

「へッ……小癩つつーのはワイの専売特許や。文句を言われる筋合いはないで」

それを、いつの間にか装備を変更していたサボテンの持つ楯が受け止める。

「残念ながらワイがここで途中退場になるつつーのはちと不満やけど、アンタを倒すのはアイツ等に任せようと思うんやわ」

そして、店長の攻撃を受け止めた楯がその言葉と共に光り……

「せやから、隊長さんよ。ワイ一緒、地獄の一駅前まで付き合ってもらうで？」

全てを飲み込むような黒い炎が、二人を包み込んだ。



【教団】緊急会議R—L

【パスワードが設定されています】

【*****】

【……………】

【入力完了】

【ロリコンは生業デス】さんが入室しました。

98・ロリコンは生業デス

いやっふー。遅れてスマソ。

99・金欠

98・仮にも教祖が遅れるな死ねよ。

100・佐藤

98・今お前の首を落としてやっても良いんですよ？

101・漢

99―100・まあ待て。話も聞かずに殺すのは道理が通らんぞ。

申し開きはあるか？98・

102・ロリコンは生業デス

いや、さつきっつーか今もエフ子さんのぼでーがーどしてるんですけど？

ロリ関係での遅刻は無条件で無罪。それが教団の理念だったはずだが？

つーか101・。テメエは誰だ。

103・バスケットター

102・それに関しては俺が答えよう。

奴は俺が招いた教団の門外顧問だ。

一応信頼できる奴だし、実力に関してでも十分すぎる男だよ。

ちよつと俺等とは方針が違うが、まあ根本の部分では同じ目的を持つているから大丈夫。

104・G2

103・いや大丈夫じゃない。大丈夫じゃあない！

105・バスケットター

104・そりやお前らとは相容れないから仕方ないな。

106・金欠

105・脳天撃ち抜くぞ？

107・佐藤

106・SAOに貴方の得意な銃器はありませんか？

108・ロリコンは生業デス

……オイお前ら、さつさと本題に戻れよ、バカ。

109・漢

108・の言う通りだ。今は仲間同士争っている場合ではなからう。

110・G2

アツハイスミマセン……

111・金欠

アツハイスミマセン……

112・佐藤

アツハイスミマセン……

113・バスケットター

アツハイスミマセン……

114・ロリコンは生業デス

つー訳で誰か説明よろ。

115・金欠

114・ログ見ろよ。

116・ロリコンは生業デス

115・それじゃ伝わらないだろ？

117・金欠

116・誰に？以下本題。

・DKBvs隊長戦の今後における我々の身の振り方（ある程度中立を保ちつつ避難誘導等に当たれることを決定）。

・隊長の暴走に伴う無差別攻撃への対策（教団からメンバーを選出して直接対策を行うことを決定）。

・幼女の保護に当たる団員、DKBとの戦闘時にアイテムでの妨害を行う団員、DKBが倒された時保護対象が残っていた場合に時間を稼ぐ団員の選出↑イマココ

118・ロリコンは生業デス

117・ok。そんでメンバーはどれくらい決まってる？

119・バスケットター

118・一応。すでに保護に当たる団員は俺から声をかけて動か

してる。

120・G2

残念ながら攪乱はまだだな。決定はしたが動けない奴が居て、俺が個人的に心当たりをいくらか当たってみて。

121・ロリコンは生業デス

……で、時間稼ぎは誰が？

122・金欠

121・現在その議論がストップ中。ただでさえ隊長は強すぎるのに、今は暴走しているから時間稼ぎの背負うリスクが大きすぎる。

123・佐藤

121・しかも隊長を相手にするととなると、あのエフ子ちゃんを敵に回すということになりますからね……

124・漢

情けない限りだ……幼子の為に戦うと幼子を敵に回し、かといって戦わねば幼子を傷付けてしまうかもしれない。

解決策はないのか!?

125・ロリコンは生業デス

124・いや、あるけど？

126・漢

125・!?

127・ロリコンは生業デス

とりあえず時間稼ぎはこの会議のメンバー六人で当たれば良いし、エフ子ちゃんの件については……ちようど隣に居るから俺が説得してみる。

そもでもって説得に成功したら合図を送るから、全員それに備えて76層に集合しておけ。いいな？

128・G2

了解!

129・佐藤

了解。

130・バスケットター

了解。

131. 金欠

了解。

132. 漢

承知した。

133. ロリコンは生業デス

それじゃ解散！ログの消去は忘れんなよ！

【G2】さん、【佐藤】さん、【金欠】さん、【バスケットター】さん、【漢】さん、【ロリコンは生業デス】さんが退室しました。

【ばーさすす！】黒い炎に吞まれて消えろ！【サボテンの本気】

黒い炎が、二人を包み込む。

それはこのSAOにおいてあまりにも非常識な光景であり、もはや別ゲーなんじゃないかとすら思わせる凄まじいものだった。

しかしこれほどの炎を繰り出す武器やアイテムなんて心当たりがないぞ。

一応はアイテムショップも経営してるし、ユニークスキルのおかげで頭のおかしいアイテム郡を作成出来るようになったが、あんなことを出来るアイテムなんて見たことがない。

……流石に、こんな攻撃は店長でも防げないだろうな。

俺がそう判断し、この隙に背後からこっそり捕縛してやろうかとメニューから麻縄を取り出した時、いまだ煙が立ち込める爆心地から獣の雄叫びに近い声が聞こえた。

「ガアアアアアッ！」

店長だ。どうやらあの炎をなんとか凌いだらしい。

こりや、サボテンの命懸けの策も失敗か？

「へえ……やっぱ一筋縄では行かんか」

いや、サボテンも奇跡的に生きてるみたいだな。

全身鎧で楯を構えていたから被害も少ないようだし、今のやつをあと何回か喰らわせればあるいは、ってところか？

一瞬、サボテンの可能性に期待する俺。

だがその期待は一瞬で打ち砕かれる。

「……にしたって、爆発の判定全部斬って逃れるとか、いよいよ人間じゃあらへんなあ、隊長さん」

……爆発の判定を、斬った？

ちよつとまでワンモアプリーズ。爆発を斬るってなんですか理解不能です。

いくら俺だって爆発を斬るなんてことは不可能ですよ？

それ以前に爆発の判定は斬れないはずじゃないのか？
訳が分からん。

「ギヒヒ……ゲヒャハアツ！」

店長は、俺の理解の及ばぬ方法で爆発を切り裂いたその謎剣術をサボテンに対して行使し、認識すら困難な速度の一撃を叩き込む。

使う武器は、見たこともない真っ黒な剣。

どこまでも暗い色をしたその剣は、あくまでもシンプルなショートソードの形をしており、そのシンプルな形がゆえに、店長が放つ規格外の一撃を余すところなく叩き込む。

「何度やったって無駄やで！」

しかしどういふカラクリかは知らんがサボテンはそれに難なく対応、楯を攻撃のルートに滑り込ませて受け止める。

無論一度受け止めただけでは店長は止まらない。止まらない筈なのだが……

店長は攻撃を受け止められたことを確認した瞬間慌てて飛び退いて再び剣を油断なく構え直した。

そして、店長が剣を構え直すと同時、ギリギリ店長に命中しないくらい場所をまた黒い炎が覆った。

……そうか、あの炎は楯で攻撃を受け止めた時に自動で発生するのかもしれない。

それを見抜いたからこそ店長は攻撃後すぐに飛び退いたし、最速の剣で確実に仕留めようとした。

あの攻撃ならば普通は楯を動かすよりも早く当たるから受け止めるのはかなり厳しいだろう。

だがそれをサボテンは受け止めた。

あの店長が放つ剣を受け止めたのだ。

しかも今の店長は暴走状態だから手加減なんてしているはずがない。つまり最速最高の一撃を防いだ。

それによりあの店長に警戒させて、攻撃の手を止めることに成功している。

ブラボー、マジでブラボー。

あの理不尽が人の形をしているに等しい店長の最速の攻撃を止めたお前はもうただの人間じゃない、サボテンだ。

砂漠で無駄に力強く生き延びている、サボテンだ。

願わくばこのまま膠着状態を作ってくれたら万々歳だぜ。

がんばれサボテン、負けるなサボテン。ただお前はロリっ子たちを逃がすための時間だけ稼いでくれ！

俺はこの時、人生で初めてロリ以外の為に真剣に祈った。このまま耐え続けてくれ、と。

「おやおやあ？あの隊長さんともあろうお方が、この程度で怖じ気づくんかいな？もつと骨のある男やと思つとつたんやが、それは見込み違……」

……だがそんな願いは虚しくも一瞬で崩れ去る。サボテンのバカが店長を煽りやがったのだ。

ただでさえ普段から煽り耐性がかなり低い店長を、煽りやがったのだ。

そんなことをすればどうなるかなんて、3歳のロリだつて分かるだろうよ。

俺にも分かる。

「……コロス」

消されるんですよ分かります。

店長がただ一言殺すと呟いた瞬間、端で見ていた俺ですら無条件で命の危機を感じるほどの殺意と悪意の波動が撒き散らされる。

そして、いつものバカみたいに騒がしくて頭おかしいことをやっている明るさからは想像も出来ないほどに粘着質な限りなく混じりけない悪意は周辺にいる全ての物の動きを鈍らせ、喉元にナイフを突き付けられたのではないかと錯覚するほどに冷たい殺意が一瞬だけその場にいた全員の動きを止める。

たかが一瞬、されど一瞬。

サボテンが店長の前で晒した一瞬の隙は、店長が最速の一撃を繰り出して命中させるには十分過ぎた。

人の認識出来る限界へと迫った一撃が、サボテンを襲い大きく吹き

飛ばす。

流星にちよつとこれはまずいか。

俺はそう判断し、メニューから緊急時に備えていくつか作っておいた秘蔵のアイテムを取り出す。

コイツを使えば、恐らく数十秒くらいは稼げるだろう。

「つ……まだまだあ……全つ然効いてないでえ！」

……しかし、サボテンは諦めなかった。

たとえ認識外からの一撃を叩き込まれ、反応出来ないところを突かれて大きくHPを削られようと、その手に持った唯一の獲物……楯が、仲間が逃げ切るまで諦めることを許さない。

「ワイの生き様……見せてやるツ！」「シールドプリズン！」

そして、キバオウは吠え、その声に応えるように、店長を複数の楯が連なった檻のようなものが包み込む。

「ダラアツ！」

無論それをただの檻だとは思っていない店長は暴れ狂い、檻から脱出しようとするが……逃れられない。

それどころか檻は段々と小さくなって店長を押し潰そうとしている。

そして、檻が限界ギリギリまで小さくなったその瞬間、サボテンは楯を構えて叫び……

「地獄まで付き合ってもらうでえ……」「アイアンメイデン」ツ！」

その言葉と同時に、店長を無数の闇が貫いた。



【大安価】 暴走隊長攻略本部「誰か勝てるヤツ持ってこい」

【りゅうおう】さん、【クロノス】さん、【バハムート】さん、【理不尽の具現】さんが入室しました。

1. 理不尽の具現

なんか隊長が暴走してよく分からん数値がわけの分からんことになつとる。止められるヤツ安価な。

2. りゆうおう

1. おい待て、よく分からん数値が訳の分からんことってなんだ。

3. 理不尽の具現

いや？感情を数値化したものっぽい奴をモニタリングする機能があつたんだが、隊長に使ったら【歓喜：100%】だった。訳わかんねえ。

4. クロノス

それ以前に安価してもあんまし状況変わらないよな、変化しないよな？

5. バハムート

っーかこの状況をなんとか出来るやつがいるなら教えて欲しいもんだね。

あの隊長が暴走とかK.O.Bでも無理じゃね？

6. 理不尽の具現

4. 安心しろ、このスレは小さいが安価は絶対だから俺が強制的に持つてくる。

あとはソイツと隊長をぶつけて止められりや成功って感じだ。

7. バハムート

ならおっさんが最有力か？前にギリギリの勝負してたし。

8. 理不尽の具現

7. なおおっさんは今普通に現場に居るので呼ばんでも大丈夫。まあおっさんくらいしか対抗馬が居ないのもまた事実だが。

……まあ負けたところで俺らに影響がなくて、むしろ嬉しいくらいの奴を選べば良いだろうさ。

9. クロノス

8. っておいwダメじゃねえかww

10. りゆうおう

……いや、でも実は意外と当てたら化学反応が起きそうな奴が居るぞ？

おまいらも多分ご存じの赤いアイツとかさ。

11. バハムート

10・……ああ、把握。赤いアイツだな？

12・クロノス

10・シヤア的なアイツだな。よく分かった。

13・りゆうおう

かやひこ！

14・バハムート

かやひこ！

15・クロノス

黒の剣士！

16・バハムート

かやひこ！

17・クロノス

黒の剣士！

18・りゆうおう

かやひこだ！

19・バハムート

かやひこ、死すべし、慈悲はない。

20・理不尽の具現

15・オィィィィィィィ！なに黒の剣士選んじやってんのお前ええええ!?

21・バハムート

15・そこは死んだら嬉しくて、隊長を止められる可能性が僅かながらあるからどう転んでもお得なかやひこだろうが！

黒の剣士を選んでどうするんだ！

22・クロノス

いや、黒の剣士飛ばしたら確実に閃光さん来るよな。

だからヤンデレパワーでなんとかしてくれる気がしたんだ。うん。

23・りゆうおう

22・いや、閃光はヤンデレじゃないって。多分。

あれがヤンデレな訳はない。あんなバケモノがヤンデレはない。ありえない。

24. 理不尽の具現
22. いーけないんだー、いけないんだー、かーやひこー、ころせないー。

25. クロノス
24. 小学生みたいに煽らないでくれるかね!?

26. バハムート

ああ……かやひこを強引に倒す唯一のチャンスが……

27. クロノス

なんで責められてんのさ俺……理不尽だ……

28. 理不尽の具現

27. この名前から察しろよ。俺の理不尽さを。

そして、安価の絶対性もな。

そういうわけで黒の剣士を今から隊長の近くに転移させるわww

……あ、でもお前の答えは俺の作戦的にはよろしくないが、リア充

爆ぜろ的な意味では最高だったぜ? 22. 。

これからも頑張れよ。

29. りゅうおう

28. ツンデレワロスw

30. バハムート

28. カデの優しさが見えた件ww

31. 理不尽の具現

おう、おまいら俺を過大評価し過ぎだぜww

まあそれはともかくとして、ちよいかやひこが俺の動きを怪しんで

るっばいからさつさとこのスレ消すわw

かやひこにバレたら厄介だしなーww

んじゃ!

32. バハムート

31. おい待t

33. りゅうおう

31. 待てk

34. クロノス

31・最後まで理不尽かクソヤロー!

【理不尽の具現】さん、【バハムート】さん、【クロノス】さん、【りゅうおう】さんが退室しました。

【スレッドを消去しています……】

【消去完了】

【ばーさすー！】鉄の意思と鋼の心と決して崩れぬモーニングスターヘッド【ラストサボテン】

無数の闇が店長を貫き、埋め尽くす。

まさに必殺の、そして必中と言えるような威力の一撃は完全に命中したかのように思われた。

いや、実際命中はしていた。

だが、相手が悪すぎた。

「シキソクゼクウ……」

店長は少し気持ちの悪い挙動で数歩分の距離を移動しながらサボテンが放った必殺の一撃を無視して攻撃体勢に入る。

おいおい……あれじゃ悪魔城の色即是空にしか見えねえだろ……シキソリストか。

暴走していてもナチュラルに頭のおかしいスキルを使ってくる辺りで微妙に引くわ。

「GRRRRRRRRR！」

店長は、なんとというか若干引き気味の俺のことなど知らないかのように構えた武器を容赦なくサボテンへ振り下ろす。

真つ黒な剣がその武骨な見た目からは想像も出来ぬほどの鋭さと威力をもつてサボテンへ迫る。

まさに完璧な、必殺の一撃。

確実に倒せるはずの状況からの逆王手。店長と将棋をやるとやられるアレだ。

本来は守りが堅い相手に対しわざわざ追い詰められて王手を打たせ、そこからすぐに逆転することで容易に勝利をもぎ取る謎の高等戦術。

随分と前の話だが、店長はこの王手打たれてからの逆王手オンリー縛りで将棋の段位を得たとか言っていた。

こんなところで無駄にお得意の戦術を披露しなくても良かろうに……

そんなことを思いつつも、とりあえずアイツらが来ていないことだしまだサボテンに倒れられるとまずいと判断して俺はメニューからとある回復アイテムを取り出し、サボテンに投げ付けた。

「受け取れサボテンマン！」

それは店長の攻撃とほぼ同時にサボテンへと命中、そのHPの最大値と現在値を一時的に1.5倍にする効果をいかんなく発揮して店長の攻撃をギリギリのところで耐えさせた。

流石はユニークスキル限定回復アイテム。森林の支配者の名は伊達じゃない。

もちろんその分レアアイテムは使うが、まあロリっ娘のためと思えば相場的に考えて一個200万コルのアイテムくらい安いもんだ。

「誰かは知らんけど助かった！もう一丁いくでえ！【シールドプリズン】！」

そして、サボテンは俺に礼を言うてから即座に店長を先程と同じ楯の檻に閉じ込める。

店長はそれに反応して回避しようとするも、対象指定で必中なのか楯の檻は寸分狂わず店長を取り囲み、少しずつ小さくなって押し潰そうとしていく。

が、先程のように色即是空を使って逃げる気なのか店長は余裕すら浮かべている。

だがそんなことはサボテンだって理解できる筈だ。

それゆえに、今度の攻撃はさっきのソレとは違うものになる。

「……あー、ところでそこのあんちゃん。頼みたいことがあるんやけど」

「なんだ？」

俺が、サボテンの攻撃がどんなものになるのかを推測してそれに合わせた援護を思案していると、不意にサボテンが俺に声をかけてきた。

「いや、難しいことやあらへんで？ワイを全力で煽ってくれるだけでええ。コイツの最強技引き出すために必要なんやわ」

ふむ、煽ってほしい、ねえ。

でもそれは店長の専売特許だぜ？

いや、まあ俺は俺で店長が創設した世界に1000存在する煽り道の流派が1つ「黒板引つ掻きつつ発泡スチロールを擦り合わせる流」をある程度は修めているわけだが。

その代わり俺の煽りは店長と違ってガチの人格攻撃に近いからなあ。相手のキレ方がガチ過ぎて困るんだよこれが。

これでこつちに矛先向いたらどうしよう。

「さあドンと来いやー！」

……いや、サボテン自身が言ってるから今回は許されるよな？ よな？

それに教団が掲げる天使の十戒（なお天使と書いてロリと読む。全991条が存在し現在も増え続けている）にも『最終的に幼女が無事なら他の被害は大体ノーカン。いいね？』ってのが存在しているから問題ないな。

俺は頭の中で幾度となく言い訳を繰り返してから、意を決してサボテンを煽る。

「えつちよwwそこにわざわざ『そんなチートやチーターや！』で有名な鉄のウザさと鋼のクズさ、そして決して崩れぬ硬いモーニングスターのサボテン先輩じゃねえっすかwちーっすwwwところでサボテンパイセンはALSやってたところ何人を泣かせたの？え？ああうん答えなくていいよw興味ねえしwwてかお前のこととか割と普通にどうでもいいわwwwそれに聞いた話じゃロリを泣かせたっつーし、もうさつさと路傍のサボテンにでもなつて枯れちゃつておくれwwww……あwゴメンゴメン、よく考えるとお前は店長に手も足も出ない雑魚だもんねww枯れるより先にこのままやられるのが関の山だったかwwでも安心しろwどうせ負けたつて傷を舐め合うドチクシヨウ仲間たちが沢山いるよ？ww黒鉄宮にさあwwwwww」

相手の古傷を抉りつつ、人格攻撃を織り混ぜる古典的煽り、というか単純な罵倒。

店長はその行動から何から全部を煽りに使えるが、俺の場合はあくまでも相手を罵倒しまくってキレさせるタイプの煽りスタイルなの

だ。

ちなみに【黒板引つ掻きつつ発泡スチロールを擦り合わせる流】の理念はあくまでも『何をしてでも相手をキレさせ、冷静な判断力を奪う』なので流派的には間違いじゃないんだよな。

さて、サボテンはこの罵倒でキレるのか？

俺の罵倒は効かない奴にやるとただ寒いだけだし、効いててくれると嬉しいんだが。

「……………■●■●■● (テメエ後で話付けようや)」

あ、なんだよかった。サボテンくんキレてるよ。それこそ言語能力を失うくらい完璧にキレてる。

そんなにアレが効いたのか、はたまた普通にキレやすいのか。

まあこの感じならもつと罵倒すればもつとキレるだろう。

やってまれやってまれ。

「えっちょww多少煽られたくらいで何キレちゃってんのwお前の頭にむしろ刺しそうな感じだったのにまさかのキレる方ですかww冗談にしてもw草しか生えねえww嘲笑う的な意味のなwwプギヤーwwwwもうお前煽られの達人名乗れよwミスター煽られ、どんな軽い言葉でもキレて噛みつきます……………ってwwそれもサボテンまつたく関係ねえwもうお前髪型変えちまえよwwww」

俺は、さらなる追い打ちとなる罵倒をサボテンに喰らわせた。

それは正に罵倒による煽りの真骨頂。人格否定による純粋な怒りを引き出す煽り。

その結果はどうだろうか。

「GRRRRRRRR!」

「■●■●■●!」

「GY……YYYYRRRRRAAAAAAAAA!!!」

「■●■●!!」

サボテンが暴走しました。

そしてなんだか楯が気のせいかさつきより邪悪な形状になっていく気がするZE。

しかし気にしない。何故なら俺は悪くないから。ただただ俺に煽

……と、思われたが。

「ところがギッチチョン！そいつは残像D A ☆」

サボテンの必殺技を受けていたにも関わらず、店長はいまだ無傷でそこに立っていたのであった。

「ばーさすー！」半暴走くらいが一番面倒くさいっていうテンプレ

どこぞの戦争屋みたいなことを言いながら若干いつもの調子に戻った店長は、サボテンの必殺技を受けてなお無傷でその場に立っていた。

「うそ……やろ……？なんでアレを受けて立つとんのや……そんなチート「ゲヒヤハアツ！」ゴフツ……」

そんな残酷な現実には打ちのめされたのか、はたまた先程の必殺技にデメリットでもあったのかは知らないがその場にくずおれたサボテンを、店長が容赦なく神速の拳を幾度となく叩き付けてKOした。

しかもなんか気絶したサボテンを片手で投げ飛ばして……おお、なんか人間リフティングを始めやがった。

……っか、よく考えたらリアルじゃ絶対できないほど高度で普通はやれてもやろうと思わないような頭のおかしいことをしているってことは暴走終わってんじやねえか。

なんだよさつきまでの暴走は。呆気なく終わりすぎだろ。

俺は、あそこまで激しく暴走しておきながらアツサリと収まってしまった店長にさつきサボテンに使ったアイテム代を返せと叫びたくなかった。

だが、店長の暴走が若干収まって、何故かは知らんがきまぐれに楽しく吹き飛ばした先でサボテンを使った人間リフティングをしているというのに、わざわざ茶々を入れてなんかわちゃわちゃして（曖昧さ不可避）もう一度暴走開始とかされたら面倒だし、わざわざちよつとだけ店長から見えにくい場所に居て被害を免れているのにそこから出ていく道理はないだろう。

それに、今の状況を店長へのツツコミ程度で崩してしまうのは惜しすぎる。

……そんな状況ってのがどんな状況かって？

おいおい、聞くまでもないだろう。

推理できる根拠と、条件と、状況は全部揃ってるんだ。

だがヒントはくれてやる。3つのヒントで推理しな。俺は答えをいきなり教えてやるほど親切じゃない。

1. 俺は重度の、いや極度のロリコンであり、ペドフィリアだ。
2. この場所は店長から見えにくい代わり、こちらからも見えにくく、身長が低いと少し前に乗り出す必要がある。

3. 俺は今、エフ子ちゃんと一緒に行動している。
- この3つから考えればすぐ分かるだろう。

俺が俺ゆえにこの状況を崩せない。崩したくないんだ。

「マスターがなにか凄いことやってますよー！」

「そうかそうか……」

「なんだか楽しそうです」

「そうかそうか……」ガクッ

「ろ、ろーくんさん!?大丈夫ですか!?!」

「大丈夫だ、問題ない」

そう、俺は今体をちよつとだけ乗り出して店長の様子をつぶさに観察しているエフ子ちゃんと色々あつて密着状態にあるのだ。

教団のL的な方が見たら「誇りはどうしたっ!見損なつたぞ教祖オ!」とか言われそうだがまあ、とりあえずこの時はR的な方の教祖でもあるからつてことで自分で自分を許容するとして、とにかくものすごい密着している。

どんな状態かを細かく説明しよう。

まず店長からは見えにくい場所……正確に言い表すなら建物の側にある木箱の下から二段目の奴に向こうが見える隙間があつたので、隙間から時々こつそりと覗いていた俺。

その後ろから身を乗り出して隙間を覗いているエフ子ちゃん。

そして、身を乗り出しているせいでその胸が(ロリの胸はまな板並みに硬いと言うヴァカも居るが、実に発展途上感を感じさせる柔らかみがあるし、未完成ゆえの良さがある。というかこれが一番だよな)後頭部に当たっているし、位置関係の問題でお腹とか足とかが俺の体に密着しているし、吐息が頭に当たってもいる。

……要約すると死ぬ。天国過ぎて死ぬ。命が危ないなんてレベルじゃなくて、マジで昇天する。

今だって意識を保っているのがやつとというくらいに危ないし(ただしエフ子ちゃんに要らぬ心配を掛けないように表面を出来るだけ取り繕っている)、精神状態も……なんとというか、テンション上がりすぎて逆に頭が冷えている。アレだ、キレてむしろ冷静になっている状態に近い。

「あ、見てくださいろーくんさん！また人が増えましたよ！」

だからエフ子ちゃんの話にも割と冷静に対応できるし、何が起こっても驚かない自信がある。

今だって新たな戦闘員が現れたと聞いたがまったく動じていない。

どうせさっきのディアベルたち三人だろう。

十分に回復してから三人で潰す。三人組のヒーローみたいだな。

俺は、エフ子ちゃんからの情報を頭で整理しつつ、木箱の横から顔を出して直接視認して情報を確定させようとする。

「WRYYYYYYYYYYYYYY!!」

「俺はっ！夢を……『恐るべき娘たち(マジエステイクドクターズ)』計画を成し遂げるその日までっ！倒れる訳にはいかないっ！」

「さっさとテメエを片付けて嫁たちのところに帰らせて貰うぜ！」

……しまった。あのバカどもがもう到着してしまったか。

【金欠】ことシンタローと、【G2】ことキンジ。

教団でも指折りの武闘派の過激派。そんなもってキンジはその物理戦闘力とそれによって得た大金などを用以ロリ嫁を手に入れた羨まけしからん野郎であるが、ものすごく面倒見がいいこととロリ嫁の探し方とかをレクチャーしてくれるから割と人望がある。

シンタローは……自称【職業：英雄】の痛い奴。たしか仮面戦士プリズナーを名乗ってた(ただし喧嘩に関しては死ぬほど強い)。

しかもただ痛くて強いだけじゃなく職質、拘留、逮捕回数教団最多記録を持っている筋金入りの過激派だ。

だがそこまでダメダメにも関わらずコイツが幹部になったのは、一重にその情熱と『シンタローのパーフエクト公僕教室』と『シンタロー

3・むしろPMCに所属していて、プリミティブな衝動に従って生きるだけの人間だな。

5・狙撃手

なんか4・が親の仇にそっくりでちよいとウインドウ前で固まりかけたw

てかとりあえず重い話は良いからドンジャラやろうぜww

6・スペシャル模擬戦2000回

5・何故今の流れでやれると思った？

それにドンジャラやるんならあと一人は必要だろ。

7・狙撃手

案ずるな、案じろ。

四人目はとつくに呼んであるよ。

多分もうそろそろ入室してくるはずだ。

【革新】さんが入室しました。

8・革新

やつほう。

9・プリミティヴ

8・やつほう。

10・狙撃手

8・やつほう。

11・スペシャル模擬戦2000回

8・やつほう。

12・革新

なんかどこかで縁のありそうな集まりじゃないか。このスレは。

13・狙撃手

多分ドンジャラやりてえ奴繋がりにゃねーの？

14・プリミティヴ

まあ俺はそこまでやりたい訳じゃないが。

15・スペシャル模擬戦2000回

14・とか言いつつ内心wkwkしてるんだろ？言ってみろよ。
正直にな。

16. 狙撃手

15. ■そこはw k w kじゃなくてw k t kじゃないか？

17. スペシャル模擬戦2000回

いいだろそんなことは！

18. プリミティヴ

16. ■……ふむ、俺がそこまでやりたい訳じゃない証明をすれば良いんだろう？

今俺の目の前にはドンジャラ用の卓と牌があつて、イカサマで最強の手を揃えようとしているところだ。

19. 革新

18. ■ダウトだね。

20. 狙撃手

18. ■ダウトだ。

21. スペシャル模擬戦2000回

18. ■それ以前にアウトだぜ。

22. プリミティヴ

21. ■上手いことを言つたつもりだろうがそうはいかねえぞ。

23. スペシャル模擬戦2000回

22. ■イカサマしてた奴に言われても。

24. プリミティヴ

……よおしお前ら！今すぐ始めようぜ！

25. スペシャル模擬戦2000回

24. ■話題を変えて逃げんな！

26. 狙撃手

それじゃ親は俺で。

27. 革新

26. ■……でもこれ良く考えたらイカサマし放題じゃないか？

28. 狙撃手

27. ■だったらなんだってんだ。集合してわざわざやるつてのかわ？え？

29. プリミティヴ

28・階層と場所を言いな。すぐ行ってやんよ。

30・スペシャル模擬戦2000回

28・勝負するってんなら、不死身で有名な俺様が参上するぜ！

31・革新

28・フツ……私の真の力を見せる時が来たようだな……

32・狙撃手

29―31・お前らなんでノリノリなのさ!?

まあいい、そんなに言うなら来いよ……場所は69層、街の名前は
ブトレマイオスだ。いいな？

33・革新

了解した。首を洗って待っているといい。

【革新】さんが退室しました。

34・スペシャル模擬戦2000回

イモ洗って待ってろよ！

【スペシャル模擬戦2000回】さんが退室しました。

35・プリミティヴ

34・何故直前で正しいのが出たのに間違えるんだ？理解できね
えな。

まあ、おとなしく遺書でも書いてくといいや。

【プリミティヴ】さんが退室しました。

36・狙撃手

なんでお前ら俺の首を執拗に狙ってるの!?!え!?!ここ平和にドン
ジャラしようって話だったよなあ!?

もうええわ！

【狙撃手】さんが退室しました。

【裏・ばーさす!】隊長さんの舞台裏

自分を俯瞰するように自分を見る気分ってどんなもんだか分かる?
?

俺は分かるね。気持ち悪い。

第一俺は見るよりもやる方が好きだ。だから自分の体が自分の意思じゃない何かで動いてる感覚は非常に気持ち悪いし、それを見るのもわりと不快だったりする。

ゆえに三秒に一回くらいキレて暴れてみようとするんだが、すると余計に何も出来なくなつてさらにイライラし、もっと暴れる悪循環に陥る。

自分の体なのに自分で操れんとはなんぞや。

「それはお前が俺に任せたからだな、自爆乙」

「……誰だねテメエは。正体によっては殺すし、それ以外ならKillするぞ?」

「どっちも死ぬだろうが!」

「じゃあレッツツダイしようぜ」

「結局死ねと!?一時は俺に体を任せてくれたのに死ねと!?ピンチを助けたのに!?!」

はいそうです死ね。

だつてお前アレだよ、どうせさっきの黒いナニカさんだよ。

じゃあ死ねよ。俺の体を勝手に使うとか泥棒じゃないか。

ポケモン風に言うと、『ひとのものを とつたらどろぼう!』だぜ
まったく。

「リアルで嫌いな国の国家機密をバンバン盗んでは情報をネット上にカクサーンして危うく滅ぼしそうになった奴が何を言うか」

「大丈夫だ、問題ない」

「何が!? すごい問題しかないけど!?!」

「俺はまだ盗んだウイルスを包み隠さないスタイルでのお返しもしないし、国家機密の中身だったオカルト的な力で超ヤバイ剣を使って侵略もしてない。どこにも問題がないだろう?」

した。

そこでは何故か見知らぬ四人の男に囲まれて無駄に上手い連携に為す術もなく追い込まれているような光景が映っている。

「……ふむ、つまりこれはお前が俺を負かして殺そうという計画だな？」

「違う！違うんだよ！」

「さあ……お前の罪を数えろ！」

「この肉体的には罪状が多すぎて数えきれないんですけど!？」

「泣けるでえ」

「お前はどこの金太郎もどきだよ！泣きてえのは俺の方だよ！」

俺たちは無意味な言い合いをしつつもお互いに探り合う。

なんとなく映っている光景がSAOで実際に起こっているとなんとなく認識しつつ、ひとまずこの黒いやつが仕組んだ罠とかではないかの確認をするためだ。

そして数十回に及ぶやりとりののち。

「ふむ、理解したぞ。何も理解できていないように見える台詞を言いつつ、ちやつかり完璧に理解したぞ俺は！」

「それは確実に理解してねーよな！」

「甘い！なんなら説明してやろう。今俺はろーくんの同類四人に同時に攻撃されて追い詰められていて、追い詰められている原因は俺がお前と会話しているせいで肉体を動かすのが反射だけになっているから、そしてロリコンどもが動いているのはあの青ロリのせいだな！」

「完璧すぎて恐いっ！」

そりやあまあ、これでも居酒屋店長ですからね。

仕事柄、1を見て1000を知るくらいはしないと生きていけないのよ。

……あ、これは別の仕事だったか。

「でもって今からこの状況を打開しようと思う。体返せ」

「ハハハ、俺が返すんでも？」

「返さないようならちよつとオカルティックな方法でテメエを封印して奪い返すまでだ」

余談だが、これでもリアルじゃドゴモンとかいう変わった名字の奴等を指導してたった3ヶ月の通信教育だけでプロの陰陽師に育て上げたこともあるくらいにはオカルトにも詳しいんだぜ？

それに西洋魔術的なものも古本屋で買った宮部み○きの『ソロモン○偽証』でよく分らないが偉そうな男を召喚してソイツをセルフでぶっ倒すところまではやったことがある。

それ以外は飽きてやらなかったが、まあちよつと経験さえあればこの程度の黒いやつを倒すのは造作もない筈さ。

「それじゃお前に選ばせてやろう。右手の拳か左手のグーか、好きな方を選べよ」

「チクショウウどっちも変わらねえ！」

「いや、右手の拳の場合は威力80%のアッパーだが左手のグーだと威力100%のストレートが飛んでくるぞ」

「じゃあ右手だな。嫌だけど」

「OK、それじゃいってみよー！」

俺は右手に気合いを込めつつ、以前なんか訳の分からぬ男……確か陶器とかを作るときに使う回転するアレみたいな名前の奴に教えてもらった『実体のない存在を殴ってダメージを与える殴り方』でアッパーカットを喰らわせる。

方法？まあアレだね、ただ単純に右手を捻って、回転して決るように拳を打ち込み、ついでに位置をズラして上手いこと五芒星を描くように計5回それを叩き込むだけさ。

良かったらやってみるといい。

「……からのなんの前触れもない二倍キャンペーン！」

「ひびぶっ！」

そして、なんか飛んでいく黒いのがあまりに滑稽だったので追い討ちでもう一度叩き込み……俺は黒いのを消える寸前まで追い込む。

それはあまりに残酷で純真で、淀み1つない心を持つ俺が故に出来る所業。

悪意なんて10割しかない、ただただ善意で行われる破壊。

「酷い！右手の拳なら80%だって言ったのに！」

「フツ……………誰も一度しか殴らないなんて言っていないぜ！」

「それになんて実体も何もない俺にダメージを与えられるんだよ！おかしいだろ！」

なにやらものすごい抗議の意思を込めて黒い奴が俺を睨んできた。

まったく、これだから平成生まれは（by平成生まれ）。考えない内から物事をおかしいおかしいと……………どこにもおかしところはないからな？

だが、ヒントくらいは与えてやるとしよう。

本来ならこんなものを教えてあげる義理なんてこれっぽっちもないんだが。

「よし、教えてやろうじゃないか。俺がお前にダメージを与えられる理由をな！」

無駄に堂々と宣言したのちに、大きく黒いのに向かって踏み込みながら俺は叫ぶ。

「それはっ！俺が俺だからだっ！」

「それは回答になってn……………」

そして、踏み込んで距離を詰めると同時にこっさり握り締めた拳を振り抜き……………黒いのの意識を奪う。

……………やったぜ。

【超・ばーさす！】復活のT【前編】

俺の体が囲まれて少しずつ追い込まれている。それは実に由々しき事態だ。

俺さんは最強！無敵！理不尽！爆碎！独裁！で大喝采を浴びなきやいけないからな。

どこぞの社長を半端にパクりつつ、俺は黒いのをぶっ飛ばして体の操作権を取り戻し、現在は本能が自動的に動かしていた体のコントロールを切り替えるための移行期間として待っている。

時間にしてあと5秒で移行期間は終わるだろう。

ならば移行終了時にどう動くかが問題だが……

ここは1つ、後先考えずやりたいようにやるとしよう。

かやひこ戦に備えて温存していた手札とか、かやひこ対策とか全部切って嫌がらせてフルボッコにする。

主に俺のストレス解消の為にな！

「ここからは隊長さんの時間だあっ！」

体のコントロールを完全に意思と理性（そんなものがあるかどうかは謎だが）の手に取り戻し、それと同時に俺は持っていた武器を奇妙なポーズで投げ付け、超越剣の中でも特に威力の高いソードスキルを発動する。

「隊長さん完全復活を祝ってえ……【ヘルグラトニー】！」

ソードスキルの発動位置とエフェクトの当たり判定は武器に依存し、発動のためのキーはプレイヤー自身の体の動きに依存することを悪用した裏技、RCS S……リモートコントロールソードスキル。

少なくとも発動のためのポーズをしながら武器を投げるのが非常に難しかったため実現は不可能と言われてきたが、俺が『スキル発動時、気合で手を開いておく』という方法でどうにか実現した対かやひこ戦の隠し玉1号である。

ガッシュファンングやヘルグラトニーの広げて閉じるような動作が使いやすくて良かったよ。本当にね。

それにヘルグラトニーなら、遠隔で当たった時にえげつない追加攻撃

も入る。

「今更復活しても遅いぞ隊長っ！」

ちようど上手いこと俺が飛ばした剣を横合いから殴り、武器の回収が出来ないほど遠くまでぶっ飛ばしてくれた……なんか爽やか過ぎてイラツとするヤツもいることだからあえて解説しよう。

ヘルグラトニーを遠隔で使った時の利点は3つある。

1つ目は剣自体が延長されたりしないから地面に引っかかりにくい。

2つ目は本来のモーションのお陰で投げやすい。

3つ目は、触れたら死ぬ。

前に粘菌めがけてヘルグラトニーを使用した時に他のスライムを無数に撃破したことがあつただろう。

それはヘルグラトニーは単発ソードスキルにしか見えない見た目に反する特殊な性能のせいで……

「あべしっ!？」

……ヘルグラトニーのあたり判定は0.1秒に100ヒット(1ダメージ固定)が1秒続いて、しかも素肌に直接触れている全てのアイテム、プレイヤー、敵に感染するとかいうトチ狂った性能なんだよ！

そのせいで装備はガリガリ耐久値が減って確実に崩壊、さらに俺の経験値も1ヒット当たり1減少するからレベルも下がる、まさにみんなが損するソードスキルなのさあ！

「よ、よくもシンタローをやってくれたな……」

「ハーツハツハツハッハ！俺と敵対するのが悪いんだよ！」

「何様のつもりだ！隊長！」

隊長様ですがなにか？

気付いたら良く分からない問答を繰り返していたことに二回目の返答でようやく理解し、とりあえずぶっ倒そうとクイツクチェンジのメニューを開く。

【オーガストランサー】

【禍封の黒龍刀】

【殺人刀・雪影】

【エイムorトリック】

【邪気眼龍の眼帯】

【ラウズ・オブ・ダデー】

……そして、そつと閉じた。

待てよなんだよこれはおかしいだろ！

オーガストランサー？どこぞの地のベルトのライダーの武器だと思つて200万コルで衝動買いしたら、体感温度が3度上がつて体感湿度が100%になる上に刺した相手の服を（エロ要素のない範囲かつ低確率で）脱がせるなんて欠陥武器だったあれね。

禍封の黒龍刀、てめーは名前のカツコよさに反して性能が一層産の最安価短剣にすら劣るとかいう謎武器じゃないか。

雪影……ああ、ただただ『フレンドリストに登録したプレイヤーへの攻撃時、攻撃力が100倍』とかいう壊れ武器だと思つたら装備条件が『フレンドリストの登録数0』だったなんて完全な設定ミスさんでしたね分かつてますよ。

そんでもつてエイムorトリック？

エイム……ゆうた……はちみつちようだい……うっ頭が！

うん、こいつはやめとこう。なんか嫌な予感がする。

じゃあこうなると邪気眼龍の眼帯を装着してラウズ・オブ・ダデーで近接格闘をするしか……

俺は、妙に残念な方向に変更されていたクイックチェンジメニューの武器たちを見てため息をついた。

……だが、少し呆れつつも眺めているうちに、あることに気付く。6つのどこかおかしい装備品たちが脳内で繋がれていき……1つの道を造り出す。

目の前の男を物理的にでもなく、ゲームルールのでもなくフルボッコにして抹殺出来る道を。

「とうっー！」

「あびゃっ!?!」

「隙だらけだぞ隊長！むしろここまで露骨に隙しかないと余計攻めら

れんかったぜ！」

「そうかいそうかい。ところでお前、露出は好きかい？」

俺は、ひとまずクイツクチェンジメニユーを見ている間の露骨な隙を誘い受けだと勘違いして中々攻めてこなかった相手の急な攻撃をあえて顔面で受け流しつつ、謎の問い掛けをする。

ここでYESとか言われたらちよつと困るが、まあろーくんの例から考えてもロリコンで露出をたしなむ奴は一握りしか居ないっぽいし大丈夫だろう。

「……露出か、俺は別にやったことあないが、まあ悪くはない。裸になることで年齢、性別を問わず性欲を高め、怪しげなお薬との組み合わせでおさわり（意味深）まで一気に進められることがあるからな。それがどうした？」

うわお、思ったよりマジな回答で隊長さんびつくり。

これはお仕置きが必要な変態ですねえ。

いくらろーくんでも「露出？それよりむしろ隣に引越す⇒日々の会話で家族単位の刷り込みで信用させる⇒家に連れ込むのコンボの方が成功率が高くてリスクが少ないぞ？ポイントは生理が来る前の……え？そういうことじゃない？」としか答えなかった訳だしさ。

つー訳で、そんなてめーにはお仕置きだあ！

俺はオーガストラランサーを装備し、ついでに邪気眼龍の眼帯を装着してポーズを決める。

「フツ……どうやら貴様は世を乱す悪のようだ……ならば！その腐った性根、邪気眼龍隊長さんが！直々に！叩き直してやるわっ！」

邪気眼龍の眼帯、それは装備しているとき、ひらがなで30文字以上のセリフを大声で堂々と叫ぶことにより【邪気眼龍の闘気（武器に黒い龍のエフェクトが追従する。カッコいい）】【666の獣の加護（装備のデザインが一時的に厨二っぽいものに変更されて痛い）、攻撃された時と踏み込みの時に獣の唸り声エフェクトとオーラが現れる。カッコいい）】【邪気眼】という3つの装備専用バフを得ることができるのだ。

中でも注目するべきというか、唯一戦闘向きなのは邪気眼。

「さあ……審判の刻だ」

俺はどこぞのゴツドのパパをイメージして決め台詞を呟き、付けたばかりの眼帯を外す。

無論時間停止なんてしないが、むしろそれより恐ろしい必殺技。

「邪気眼、解放っ！」

邪気眼、それは邪気眼龍の眼帯装備時、それを外すことにより一定時間付けていた眼が赤くなり、一発だけビーム（ダメージ：攻撃力の0.1倍）を撃てて、なおかつ邪气的な補正で武器が持つ状態異常以外の特殊能力が三倍になる。

そして、それにオーガストランサーを組み合わせると……

「A、B、B、A、↑、↓、→、↓」

「何故にコマンド入力!？」

「……エネミーコントローラー!」

「コマンド違いじゃねえかつ……つか自然に攻撃すんなこのクソ野郎!」

「お前は気付いていないだろうが、実はその台詞の間にもう刺した」「ひでぶっ!」

俺が自然に会話途中で刺したことを告げたらひでぶで返してくれたよ。

ノリが良いじゃないか。

おかげでこっちも遠慮なく爆散させられるね。

服を。

ウエアを。

その社会的地位を。

「エネミーコントローラーと言ったな。アレは本当だ」

「ダニイ!？」

「お前の敵を操^{エネミーコントロール}作^{コントロール}によって作り出す、それが俺のエネミーコントローラー! 試しにあっちを向いてみるや!」

俺は、さりげなくそこら辺に居た例の青髪のがキ（攻めてこないのはきつと俺の疲弊を狙っているのだろう）を指さして示す。

もちろん、エネミーのくだりについては今のところほとんど冗談

だ。

だってあの青髪のがき、こいつを利用してるっぽいから攻めてくるわけがないもの。だから普通なら俺の言う事なんて聞かずに攻撃してくるだろうさ。

でも相手が俺という事実が判断力を鈍らせてしまう。

色々やってきたという俺の経歴が、歴史がおかしいと思う正常な常識を狂わせ、ありえないと分かっている『アイツならあり得るんじゃないか』と思わせてしまう。

まあ、なんか大層な技のように語っちゃいるけども、実はリアルでもケンカの時によくやった方法なんだがね。

だから使ったらハツタリだったことに気付く前に目的を果たして、嘘をさつさと現実にしなさいけないのだ。

そういうことだから、とりあえずあの青髪のがきと敵対……とまではないかすともすくなくとも一生変な目で見られるようにしてやろう。

俺は目の前の男が無駄に極められた無駄のない無駄な速さでターンして青髪のがきの方に向き直った瞬間、極限超越でステータスを調整し、100回ほど突いてもほぼ無傷で済むように筋力を下げる。

具体的には筋力／zero。なお装備制限は超越剣の装備制限完全解除効果で無視。

……しかし、なんとというか最近、極限超越に頼りすぎている気がするな。

いや、まあそれがどうって訳でもないんですがね？

「あばよっー」

わりとどうでもいいことを考えながら、高速でオーガストランサーを何度も突き込む。

引いて、突いて、引いて、突いて、引いて突いて引いて突いて引いて突いて引突引突引突引突引突引突引突引突引突引突引突……

一瞬の内に同じことを繰り返すすぎて脳が適度にゲシュタつたところで、目の前の男を確認。社会的にどんくらのダメージを負うか

を計算するピースを……

「……とつぜん、はだか？」

「オウイエ？」

「謀ったな隊長オオオオオ!!!」

あえて直接表現は避けるが、ただ俺に刺された男は、なんてこったパンナコッタ、なんてふざけてる場合じゃないと言えるほど完璧に倫理コードギリギリのモザイク人間でもおかしくない状態でした。とだけ言っておく。

……サ、サラダバー！（逃）

「ヴぁーさす！」　ここんどこ闇堕ち多過ぎない？

隊長さん、前回までの3つの出来事！

1. 変態を隠し玉一個消費して退治したぞ！
2. さらにもう一人の変態を社会的に退治したぞ！
3. 今、目の前に因縁ある青髪コンビがいるぞ！

……仮面ライダーオーズ風にあらずじを語ってみましたがなにか。ところであらずじってなんだ？

まあ別にいいか。

それより今は目の前のコイツらをぶっ飛ばして、死なない程度にぶっ殺すのが先決だ。

具体的には青髪ロリは子供だし女だから手加減に手加減を重ねて、攻撃ステータスで精神的苦痛を伴う攻撃だけに止めてやるとして……

青髪騎士もどき、テメーは地獄を見せてやんよ。

「やつふいー、さつきぶりで復活した隊長さんだぜ☆」

「男が語尾に星付けるなよ気持ち悪い」

「そうか☆それなら☆星大増量キャンペーン実施しちゃうぜ☆」

「ちよつとは読者の読みやすさとか考慮しろよ!？」

「ハーツハツハツハ☆俺は俺の道を行く☆強引グマイウェイだからな☆……てかメタいことを言うなよ、萎えるだろJK」

「隊長さんに常識を説かれた件」

失敬な。俺はいつだって常識（の）敵だぞ？

だからいつだってお前らに（異）常識を教えてあげるのさ。

「それじゃあ今からお前らに、特別に俺が常識を教えてあげるぜ☆」

「すげえアテにならねえ!？」

俺は、何を言っているかまったく理解できないが、とりあえず騎士もどきに一瞬で詰め寄り、さつきから持っていたオーガストランサーを鎧の隙間に上手いこと突き刺した。

「常識そのーイー！戦闘中にツツコミ入れていると気付いたときすでに殺られてるぜ！」

「カハツ……り、リイェr……」

「常識その2イ!」

騎士もどきの口を塞ぐように拳を顔面に叩き込みつつ、俺はメニューを開いて偶然持っていたあるアイテムを取り出す。

「ワイロと裏取引は戦場の基本だ……知ってるな?」

それは紅に輝く真つ赤なお菓子。

黄金色のお菓子と違って貨幣的な価値はないものの、この青髪ロリを止めるには十分な効果を発揮できると考えられる。

その名も……

「これやるからコイツ倒すまで待つててくれないか?」

「うん」

紳士的かつ常識的で優しい上に子供にダダ甘な俺が、エフ子のおやつとして買っておいした超激レアスイーツ「来るべきイチゴタルト」。

入手の為に10以上の行程を含む面倒くさいクエストをこなした挙げ句にそこへ手に入る「超越的なイチゴタルト」を一層ではスイーツを要求するのに、どんなスイーツを与えても『ワシの求めているものではない!』と顔面に叩き付けることで知られていた偏屈老人シエフに渡すことで発生する最終クエスト「超越を乗り越え、極限を求め、来るべき世界へ」……流星にかなり苦戦した……をクリアすることによってようやく手に入る、来るべきイチゴタルトなのだ。

ちなみに俺はクエストの初代GEのコンゴウ×4やモンハンで言うガノス超次元タックル級の理不尽な難易度が好きでよくやってきたから倉庫に預けてあるものを含めれば50以上ストックを持っている……が、聞いた話ではクエストの縛りがマゾ過ぎて俺以外に誰もクリア出来ていないらしい。

つまり。

「リイイエルウウウ!?なに買収されちゃってんのおおお!」

「いや、だつてこれ凄く美味しそう……」

「そういう場合じゃないから……もし隊長に勝ったらいくらでもイチゴタルトを買ってやる!だからヘルプ!」

こんな風に必死の形相で青髪ロリの説得を試みる騎士もどきの努力を一瞬で無駄にできるのだ。

「説明してなかったが、そいつは『来るべきイチゴタルト』。俺以外はあのKOBですら攻略できなかったクエストの報酬だから今を逃せば……」

「ごめん、ディアアベル!」

……このように。

かあんたんにい! 買収出来ちゃうのですよお! (タ〇タ社長風)
流石は来るべきシリーズ。

今までに俺が発見したのはイチゴタルトともう1つだけで、残りはKOBが発見した来るべきオードブル(正式名称不明)、ろくくんがイベントNPCが幼女だったお陰で見付けた瞬間迷いなく受注してあっさり手に入れた来るべき刺身盛り合わせ、黒の剣士が手に入れた来るべきマンガ肉等いくつかが見付かっているが……どれもこれも途方もない難関クエストの報酬だったらしい。

それを考えれば買収されちゃうのも領けるよな。

「諦めるディアアベル。来るべきシリーズには誰も逆らえないんだ」

「チクショウ! こうなったら数の暴力で……」

「あ、もう一個あげるからさっきのマジカルくん……黒い髪のヒヨロ男をこの戦いに入れないようにしてくれるか?」

「……前払いなら」

俺は来るべきイチゴタルトをもう1つ取り出すと、迷いなく渡して青髪ロリを見送った。

一方ディアアベルはそんな青髪ロリを見ながら……

「なんだよ……なんで皆俺から離れるんだよチクショウ……こんなことならもう全部ぶっ殺……壊……滅ぼしてしまおうか……」

「言い直してないぞ」

なんか暗黒面の才能を花開かせてました。

お前はどこのルークだ。

俺は、ひとまず暗黒面への覚醒が終わるより先にとつと倒してしまおうとメニューからラウズ・オブ・ダディを装備し、反対側の手の指に4本の投げナイフを挟んだ。

そしてさりげなく眼帯を再装備して邪気眼解放……よし、やろう。

ラウズ・オブ・ダディの能力が1つ、【投擲武器近接戦闘ブースト】。それはソードスキルが使用できない代わり、ラウズ・オブ・ダディを持っていない方の手に持った投擲武器の数×（ラウズ・オブ・ダディの攻撃力+投擲武器の攻撃力）が自分の攻撃力に代入されるとかいうとんでもないスキル。

が、しかし。

正直言ってソードスキルを普通の武器で使った方が強いのであまり使われないが、俺の場合は事情が違う。

「必殺……狼牙風々剣！」

極限超越でスピードに偏らせたステータスならばソードスキルを撃つよりもこれで殴った方が強いのだ。

俺はかませの殿堂の得意技を名前だけパクった技でディアベルを細切れにする……やったか？（露骨な死亡フラグ）

「……ス……ロス……」

「ええ？なんですってえ？」

「殺ス殺スコロスコロスコロスウ！」

「闇深っ!？」

いきなりzeroセイバーがzeroキャスターになった気分なんですけど。

なんですか本日は暴走日和なんですかそうですか。

あるいはかませの殿堂と同じ技を使ったのが悪かったのか……

結構強いんだけどなあ。

まあいい、こうなつたら普通にディアベルを殴って停止させちゃいませうかね……

「ガアアアアアアアアア！」

「おっと危ない」

俺はディアベルが突然野獣のような叫び声を上げながら投げつけてきた剣を余裕たつぷりに、それこそ遠坂の魔法中年ばりに余裕たつぷりに回避し、とりあえずこの隙にステゴロの間合いまで持ち込んでもう一度狼牙風々剣を叩き込んでやろうかと画策する。

だがその瞬間……現場を猛烈なプレッシャーが包み込んだ！

なんだ……この……ウチの母さんと同じレベルの……強烈で凶悪、その上純粹な……殺意は……

「……ディアベル」

「グルル……」

「……タルトの恨みは親の仇より千倍重い」

少しばかりビビりながら振り向くと、殺気の主は青髪ロリだったことを理解した。

その足元に落ちているのは……来るべきイチゴタルト。

……飯の恨みって怖いなー。

俺は、コイツとはあとでまた来るべきイチゴタルトを献上して怨念を鎮めてから戦いを挑むことにしようと思心に強く刻んで、その場をあとにした。

ごめんなさい、アレは流石に勝てないです。というかマイマザーと同じ領域の殺気を放てる相手とかマジで勘弁だっばよ……

【理不尽の極み】諸事情によりカーツト！【またそれか】

俺は今、歴史を目撃しているぜ……！【SKT】

【ボルバル】さん、【ロマネ】さん、【わんわんお！】さん、【カフェイン】さんが入室しました。

1. ボルバル

先に言うわ。俺は今街の中で歴史を目撃していた。

2. カフェイン

いきなり過去形!?

3. ボルバル

そして今歴史を目撃している。

4. カフェイン

どっちなんですか！ええ!?

5. わんわんお！

4・今も昔も1・は歴史を目撃していたんだよ。

6. ロマネ

つーか1・さんよお、アンタ歴史を目撃したって何を見ていたんだね？

7. ボルバル

……説明してもいいけど、とりま13・まで質問受け付けるからそれ答えてからな。

8. わんわんお！

犬は好きか？好きだよな？

9. カフェイン

もしかしなくても隊長さんのアレですかね？

10. ロマネ

SKTはなんの略なんだ？

11. わんわんお！

今ものすごくおしるこが飲みたいんだけど。

12・ロマネ

お前はどこに居んの？

13・カフェイン

カフェオレとカフェラテの違いがよく分からないんだけど。

14・ボルバル

明らかに関係無い質問が入ってますねえ……

8・好きだけど俺は兎派だ。

9・そのもしかしないやつだと思う。多分。

10・スーパー語りタイム。俺が語るだけ。

11・今時の抹茶系カフェには大抵あるから行ってこい。

12・現在隊長が例のおっさんと戦ってるんだけど、その近くの家の上。

13・語源がイタリアかフランスかの違い。あと普通のコーヒーにミルクかエスプレッソにミルクかの違いだな。

15・ロマネ

関係無い質問にもしつかり答えるなんてスレ主の鏡だな、14・

16・ボルバル

オイオイ、あんまり褒めるなよ、照れるだろう？

17・ロマネ

まあそんなことよりはよ本題。語れよ。S K Tなんだから語れよ。

18・カフェイン

17・のキャラがブレツブレやでえ……一貫しないでえ……

19・わんわんお！

キャラがブレブレだと嫌われるよ！読者に！

20・ボルバル

ハッ！どうせ俺は出落ち系なんだから、ブレブレでも良いのさ！生き残れれば！

……ところで読者って何？

21・ロマネ

知らん。

22・ボルバル

軽いなあ！

……それじゃ本題入るわ。

俺はこの戦いをそれなりに序盤から見てるんだが、さつきくらいに隊長がお菓子でDKBのチビっ子を釣ってディアベルと黒い髪のをつもろとも退場させてたのを見たんだが、そのあと突然何人かが同時に襲いかかって……で、瞬殺された挙げ句今に至るのよ。

23・わんわんお！

22・長文乙！

24・ロマネ

てかお菓子で買収されるロリっ子エ……

25・カフエイン

というか、黒い髪の人は何でさりげなく退場させられてるんですかねえ。

26・ボルバル

25・遠くからの観察になるが、ロリっ子がディアベルの首掴んで歩いてた近くで戦闘中なのにナンパしてたらしくて、さりげなくぶっ飛ばされてた。

27・カフエイン

ロリっ子怖い……さりげなくぶん殴って退場させる凶悪ロリ怖い……

28・ボルバル

あ、それと新情報な。

今件のおっさんと隊長の決戦を三人称視点的な感じで見てるから分かったんだが、影から大量のポーシヨン持った男とエフ子ちゃん(多分)が隊長を狙ってるのを確認した。

なんか黒幕というか裏切り系ダークヒーロー感がすげえ。

29・わんわんお！

28・もしかして：ロリコン

30・ロマネ

29・何故にロリコン？

31・わんわんお！

30・隊長とよくつるんでる奴に途方もないロリコンでやたら回復アイテム持つてるやつがいるんだよ。

32・カフエイン

じゃあ大量のポーションはおっさんを支援するために……？

33・ボルバル

32・いや、望遠鏡で拡大したら色的に爆発ポーション、麻痺毒ポーション、毒ポーションとかのバステポーションばっかだわ……

明らかに殺す気まんまんのポーションですね。

34・ロマネ

……多分そいつ、どつちかが倒れたところで出てきてこう言うんだろうな。

『クッククッククック……邪魔者を消してくれてありがとう死ね』つて。

そして大量の毒ポーションをぶっかけられ、爆破されるんだ……

35・カフエイン

34・殺す気まんまん過ぎますよねそれ！

36・わんわんお！

しかしアイツはただの変態的アウト系ロリコンの筈……この戦いに付いていけるとは思えないけど。

37・ボルバル

36・その口ぶりだと知り合いみたいに聞こえるぞ？

38・わんわんお！

37・事実知り合いだからね。その影でポーション用意してる男の正体の予想が正しかったなら。

39・ボルバル

まさかの知り合いさんww

40・ロマネ

38・ということは隊長とも？

41・わんわんお！

40・アイツとはいつか杯じゃなくて剣を交えることになるだろうね……

42. ロマネ

41. ■が隊長と宿敵の可能性が浮上してキター！

43. カフェイン

こ、こんなところに有名人の知り合いですって!?

44. わんわんお！

まあいいじゃない、私が誰だったとしても。

とりあえずはよ歴史を目撃して伝えろ39. ■

45. ボルバル

おおつと突然の話題転換wいきなり伝えろと言われてもww

ついに目の前でいつかの決闘の続きみたいなのが繰り広げられてるね。

隊長は見慣れない大剣を振り回しておっさんの間合いに入らせないうようにして、おっさんは得意の二刀細剣でうまく隙を突こうとしてる。

まさに一進一退だ。

46. ロマネ

……なんかすごそうな戦いですね……ところで前回の決まり手ってなんでしたっけ？

47. ロマネ

46. ■いともたやすくエフ子ちゃんを利用して行われたえげつない不意打ち。またの名をミスディレクション・隊長バージョン。

48. わんわんお！

47. ■ちょww黒バスw

49. カフェイン

48. ■……つまり前回はおっさんを正面突破はしてないと。

50. ロマネ

まあそうなるね。

51. カフェイン

じゃあ今回は一体どうやって倒すんでしょうか？

他のところとかで聞いた限りだと実力の差はほとんどないって

……

52・わんわんお!

51・つまりはこう言いたいんだね。ヤツが負けると。

……だがそれは厳しいな。

アイツは毎回とてもえげつない手段を使って勝ちを盗みに行くタイプだから、なにをするか分からないよ。

53・ボルバル

あ、今新しい出来事があったから追記な。

隊長の大剣がぶつ壊れたぞ。

おっさんが素早く剣を突きまくつたら一瞬の内にパリーンしてた。

54・カフエイン

……へ?

55・ロマネ

……へ?

56・わんわんお!

……へ?



「んなっ……!」

「カツカッカ……どうだ?私も日々進化しているのだよ」

隊長は、おっさんの手により武器を破壊されたことに驚きつつ、連撃をいなしていた。

しかし、先程まで大剣を使うことで相手の間合いに入らない戦術によって安全に戦っていたのだが、数少ない『扱いやすく、なおかつ長い武器』である大剣……アスカロンを破壊してしまったことによってその防御はかなり弱体化していて、今にもおっさんの突きが貫くのではという有り様だった。

(おいおいマジかよ……アスカロンって壊れにくいのとデカいのが唯一の取り柄じゃなかったっけ!?ええ!?)

しかも本来莫大な耐久値のお陰で壊れにくい筈のアスカロンが破壊されたことで動揺しており、もはやあと何回攻撃を防げるかも怪しい。

「へえ、お前が進化してるつつーなら俺も進化したところを見せてや

るよ……やっちゃまえー！」

「ハッ！この私がなんの対策もしていないと……ぬあつ」

ゆえに隊長は、おっさんが確実に前回の決まり手『エフ子による不意打ち』を警戒していると踏んで意図的に対応させ、その隙に抜けることにした。

もちろんそこにエフ子は居ないが、後ろを向いて突きを見舞ったために攻撃に僅かな隙が生まれるので、その間に逃げ出す。

そして素早くメニューを開いてそこから複数の武器を取り出した。

右手には黒の鎚【ブラックグンマー】。

左手には白き手斧【カオスホワイト】。

黒いハンマーと白い手斧の二刀流という奇妙な組み合わせである。どうか明らかに実用性が無さそうな組み合わせにしか見えない。元々半端な間合いのハンマーと、それより短い手斧。

しかし相手は細剣であり、なおかつハンマーよりも長いため、攻撃を当てようとするとは必然的に間合いに入らざるを得ない。

……だが。

「手数には手数だぜえ！喰らいなっ！」

そんな常識、隊長には関係無い。

たとえ相手の方が軽く長い武器であっても、より内側に入り込んでラッシュを続けることによつて確実にその命灯を絶つ。

言葉にしてしまえばたったそれだけの戦術で、隊長はおっさんの猛攻を防ぐと同時に反撃していた。

僅かにでも動けばそれを阻害するように手斧で手首を切り裂き。

ラッシュの最中の反撃を封じるため定期的に武器をハンマーで叩く。

「ぐぬ……流石は我が好敵手……中々やるではないかっ……」

「良いからとつととくたばりなあー！」

もはや二人に、防御という選択肢は存在していなかった。

相手より一瞬速く、一撃多く叩き込んで倒す。ただそれだけ。

ついうっかり死んでもお互いに恨むことはないであろう真剣勝負。

SAOというバーチャルの世界で実現した、世界トップクラスの達

人同士の殺し合い。

おっさんが貫こうとすればそれを隊長が切り裂き、隊長の攻撃を喰らってもおっさんは気合いでノックバックを抑えて貫く。

そんな攻防がしばらく続き、二人のHPはジリジリと0へと近付いていく。

……そして、隊長が不意打ちの蹴りを叩き込み、そこからの連撃を叩き込んだことでおっさんのHPがあと数ドットを残すのみとなったその瞬間、勝負が動いた。

「やるではないか隊長……貴様はやはり私を昂らせる」

「へっ、野郎を昂らせても嬉しかねーよ。つーかとつとと死ぬ」

「まあそう慌てるな。この殺し合いは……まだまだこれからだぞ?」

おっさんはそう言って、自らの獲物である細剣二本を素早く隊長に投げ付けつつ距離を取り、メニューから2つのアイテムを取り出した。

隊長が投げ付けられた細剣を処理しながらその視界に捉えたのは、HPを全快させる激レアアイテム【全快結晶】と……

1枚のカードだった。

「本当なら貴様にも使う気は無かったのだがな……」

おっさんはそう言いながら、僅かに空いた距離を即座に詰めようとする隊長にカードを向け、吼えた。

「……【ランサー】……インストオオオオオオルツツツツ!!!」

【決着まで】もはやここだけジャンルが違う【スリー！】

隊長は、おっさんが吼えると同時に最速最高の一撃を喰らわせるべく突っ込んだ勢いそのまま両手の武器をそれぞれ振るい、そのカードの使用を阻止しようとした。

その一撃はまさに神速、一步で音を越え二歩目でいきなり何もかもを断ち切るかのような鋭い斬撃としておっさんを襲う。

無論武器を持っていないおっさんに対応できる筈もないが……

「ハアッ！」

「チツ……」

もはやこれを使う以外に勝利への道はないと判断しているおっさんは気合いだけでその一撃を受け止め、さらに全身から衝撃波を放つて隊長を吹き飛ばした。

「……出来るものならば、お主とは実力のみで戦いたかった」

そして隊長が空中で体勢を立て直し、視線を向けた先に居たのは……

「だが私も、一度負けた相手にまた負けるといふのは我慢がならぬので……その命、貰い受けるっ！」

黒い髪の先端が紫色に染まり、巨大な槍を抱えて全身をぴっちりとしたボディスーツのようなもので覆った筋肉質な男という非常に気持ち悪い絵面の、しかし途方もなく凶悪な敵となったおっさんが居た。

隊長はおっさんがカードを発動してしまったことを確認すると、先程より一段と険しい顔をしながらその手に持ったカオスホワイトを【投擲】スキルの力も借りて真横に投げ、新たにもう一本の黒い鎧を取り出しながら突貫する。

「お前がそんなもんに頼るとはねえ！」

「最初からそのつもりだったただけだ！」

そして2つの鎧を目にも止まらぬ速度で振るうが、しかしどの攻撃

もおっさんに当たることはなく、悉く紙一重で回避されてしまう。明らかに先程よりも速度が上昇している。

そう、これがランサーのクラスカードによるステータス強化の特徴だ。

攻撃力はたしかに上昇する。

防御についてはそれほどでもないが上昇する。

だが何よりも速度が上昇する。

力ではなく速度で相手を翻弄する、それがランサーのクラスカードの力だ。

それゆえに隊長の攻撃は全て見切られ、完璧に回避されていた。

「ああもう！ホントにこればかりはかやひこの調整ミスとしか思えないねファツキン！」

「ハハハハハ……見える、見えるぞ！貴様の攻撃が！全て！」

「そりゃあようございました死ね！」

だが攻撃が全て回避される程度で隊長は諦めない。

当たらないなら当たらせる、それだけの話だとても言わんばかりに。

先程投げたカオスホワイトが強烈に回転し、背後からおっさんに迫る。

無論それも紙一重で回避しようとするが……それは延々と続くラッシュが許さない。

そして、どうやっても避けることのできない一撃がおっさんを襲う。

「果てなあー！」

隊長が叫ぶと同時に、カオスホワイトはおっさんの背中に命中してそのHPを大きく削る。

ゲージ量にして約1割ほど。

たかが1割、されど1割。

この世界有数の達人同士の決闘においてそれは大きな差となる……のだが。

1割程度のアドバンテージは隊長にとってあるもないも同じであ

る。

それよりも攻撃によって生まれる一瞬のノックバックの方が重要だった。

「かやひこ用にするつもりだったのよ！俺にこれを使わせたとか末代まで自慢できるぜ！」

隊長は生み出した一瞬にも満たない時間でメニューを操作し、そこから少しばかり懐かしい代物を取り出した。

SAO史上、もつともクレイジーかつ頭がおかしい攻撃アイテムとして有名、しかし範囲が広すぎるせいでマトモに使えないアレ……そう、「クレイジーボム」、しかも1個2個なんて数ではなく30個ほどを一気に。

「さあ！今すぐ惨めに無様に何も出来ぬまま、死ぬがよい！」

隊長は取り出したクレイジーボムの1つを思いきり握り締め、ダメージを与えて起爆した。

それにより生まれる巨大な爆発が二人を襲う。

1つであっても命に関わる超危険アイテムであるクレイジーボムが、30個近く同時に爆発したために被害は甚大なんてものではなく、少しでもその爆発に触れたものはすべて耐久度が0になり消滅する。

これではもう二人とも死んでしまったのではないかと誰もが思うが……

「破ア！」

「バケモンじゃねーのかテメエ！」

爆風のエフェクトが消えると、その中からお前が一番バケモノだよと言いつ返したくなるようなことをいいながら先程と同じ光景を繰り返している二人が居た。

お互いHPにほとんど変化はなく、さっきの爆発はなんだったんだと問いたくなるほど元気に殺し合っている……

無論、これにもカラクリはある。

隊長が生き残ったのは爆発と同時に無敵時間が存在するハンマー

のソードスキル「バーニングカウンター」を発動したからだし、おっさんはクラスカードの効力で尋常じゃないレベルで強化された敏捷で一瞬の内に効果範囲から逃げ出して一瞬の内に戻ったからだ。

お互いにとんでもないことをしているが……しかし、こう見ること二人の間に存在する圧倒的なステータスの差が浮き彫りになってくる。

隊長も本来なら技後硬直を避けるためにおっさんと同じく回避したかったのだろうが、ステータスが足りずそれが出来なかった。

まあもちろん、ステータスが足りていないのに防げてしまっている隊長も充分頭がおかしいのだが。

「そろそろ諦めてリザインしろよ、誰も笑わないからさ！」

「それはこちらの台詞だ！」

おっさんが隊長の体を槍で貫く。

もし当たればそこで決着になるほどの威力を持ったソレは寸分の狂いなく隊長を貫くかと思われたが……しかし当たらない。

隊長はそれをおっさんが槍の扱いにまだ慣れていないからだと判断して一気に踏み込み、両手の鎚を叩き込んだ。



【レッツ毒殺】隊長を毒殺したることにしたったw

【ロリコンは生業デス】さん、「スモッグ」さん、「青ニート」さん、「ムシユフシユ」さんが入室しました。

1. ロリコンは生業デス

とりま最初に現状説明するわ。

隊長とおっさんがガチ戦闘してる裏で俺氏、現在天使すぎるエフ子ちゃんと一緒に居る。

んでもって大量に毒薬用意して二人のどちらかが倒れたあとに残った方をサクッと毒殺しようと思ってる。

2. ムシユフシユ

隙のないプランに見えるが案外穴だらけだな。

隊長にしろおっさんにしろ多分ガチ戦闘のあとでも毒殺はキツイぞJK。

3. ロリコンは生業デス
2. それについては麻痺毒もあるからそれで動けなくしつつ毒らせてトドメだな。

つーか常識的に考えてというより非常識的に考えての方がこの場合
合は正しいからJKよりHKだな。

4. 青ニート

3. なんのこだわりだよそれww

5. スモツグ

3. 何故そこにこだわったしww

6. ムシユフシユ

3. だがいくら麻痺毒でもそれを喰らわせられなきや意味はないよな。

7. ロリコンは生業デス

ちなみに狙うのは戦闘終了の瞬間だから成功率は多分高いぞ？

8. 青ニート

7. どうせ高いと言っても20%くらいだろ？

9. ロリコンは生業デス

具体値にすると13%くらい。隊長と戦うのを考慮するとヤバイ。
おっさんにしたって成功率は20%を下回ってくる。
だがその低い確率を掴み取ってこそそのゲーマーだよな。

10. スモツグ

9. 不覚にも燃えた。

11. ムシユフシユ

9. 不覚にも燃えた。

12. 青ニート

9. 不覚にも燃えた。

13. ロリコンは生業デス

なにお前ら燃えてんだ、消火剤ばらまくぞ。

べ、別にお前らの応援なんて、全然嬉しくないんだからな！

14・スモツグ

13・萎えた。

15・ムシユフシユ

13・萎えた。

16・青ニート

13・萎えた。

17・ロリコンは生業デス

壮絶な手のひら返しかよww

まあそれでも俺は毒殺を諦めない。

成功率が1%だろうと掴みとってやるのさ！

18・青ニート

17・今一瞬だけお前が主人公に見えたよ。

でもよく見ると主人公じゃなくて第1話辺りで出てきてヒロインに酷いことをしようとして退散するチョイ役だった。

19・ムシユフシユ

というかむしろモブだった。

20・スモツグ

でもしつかり見るとジャンプの海賊のおっさんだった。

21・ロリコンは生業デス

20・つまり俺はどんな漫画にも一巻につき一回は出られるんだな。

日本の出版業界で一番印刷された人間かもしれないな。

22・ムシユフシユ

21・ところがどっこい。

つばさ文庫には宣伝用の葉にも印刷されてるエンジェルのなやつがいるぞ。

23・スモツグ

だが数で言うなら月光条例の鎧を纏った月の兵も捨てがたいぞ。アイツらは見開きで無数に書かれてる巻がある。

24・ロリコンは生業デス

23・ソイツを持ち出したら負けだろ。

- 25. ムシユフシユ
- 23. 反則だぜ、そいつはな。
- 26. スモツグ
- ハーツハツハツハア！勝てばよかろうなのだあ！
- 27. 青ニート
- 26. お前がアリならこれもOKだよな？

(日本神話の八百万の神的な意味における) 神。

- 28. ロリコンは生業デス
- 27. ちょwwそれはww
- 29. スモツグ
- 27. その発想はなかった。
- 30. ムシユフシユ
- 27. そればかりは認めざるを得ない。

31. 青ニート

どうだ！これが俺の実力さ！

崇めてもいいのよ？

尊敬してもいいのよ？

崇拜してもいいのよ？

てか崇める尊敬しろ崇拜しろ！

32. スモツグ

31. おk。とりあえず崇拜するから住所言え。

33. ムシユフシユ

31. 尊敬してやるから家の場所を言え。

34. ロリコンは生業デス

31. リアルに戻った時ロリものの同人誌200冊送ってやるか

ら住所言え。

35. 青ニート

おいおいお前ら一体なにを言っているんだ？俺が言うとも？

36. ムシユフシユ

言わなかったら今日の夜は気を付けるんだな。

37. スモツグ

もしかしたら毒を飲まされるかもしれないぞ？

38・ロリコンは生業デス

そして明日の朝にはロリコンにされているぞ？

39・青ニート

38・お前は一体なにをする気なんだww

てか俺氏アウエー過ぎるので退散しますw

40・ムシユフシユ

逃げんなゴルア！

【青ニート】さん、【ムシユフシユ】さん、【スモッグ】さんが退室しました。

41・ロリコンは生業デス

こうしてまた、ただ一人ロリコンは寂しくスレを閉じるのであった

……

42・ロリコンは生業デス

誰か入ってこいよー。

43・ロリコンは生業デス

入らないと終わらせちゃうぞー

【スナイパー】さんが入室しました。

44・ロリコンは生業デス

ウエルカム！

45・スナイパー

45・ならこのスレは47・で終わり。

【スナイパー】さんが退室しました。

46・ロリコンは生業デス

……へ？

47・ロリコンは生業デス

なんだよ、半端に2つ残さないで、そこで終わらせてけよ……

ああんまりだあああああ！

【ロリコンは生業デス】さんが退室しました。

【決着まで】やりすぎちった☆ミ【ツー!!】

戦況はどう考えても、どう足掻いても俺に不利だ。

おっさんと俺には圧倒的なステータス差が存在するし、一瞬でも攻撃の手を緩めるとやられるから立体機動で攪乱したりすることも出来ない。

俺にしては珍しく万事休す一歩手前つてとこだな。

辛うじて勝ってるのは発想の奇抜さと純粋な技術、あとはこっちがクラスカードを使っていないという事実だけ。

……まあ今はランサーに勝てるようなクラスカードはないんですけどねー。

てかかやひこにパクリアイテムのチートもいい加減にしろよと言いたくなるくらいのキチガイアイテムだからなあれ……具体的にはクレイジーボムの数倍頭おかしい。

入手難易度からして頭がおかしいけど、それでもステータス上がり過ぎだしクラスカード使用時限定ソードスキルが強すぎるんだ。

アーチャーは自身の半径30mほどを入れれば大体死ぬとしか言えない空間で包み込むし、セイバーは剣の間合いが数十倍に拡張された挙げ句威力が数百倍になる。

ライダーに至ってはもうただの圧殺で、指定した標的一体のHPにとんでもないダメージを与えるだけのものだが……それはどんな手段を用いても防げない。

三騎士どれもこれも頭がおかしいが、ランサーだってキチガイ具合は負けてない。

なんたって専用ソードスキルが……

「おつと危ない危ない。今時のおっさんは気が短くて困る」

「ハハハハ、それは酷い言い草だな」

俺は思考を中断し、攻撃を受けながら強引に放たれた槍の一刺しを回避する。

どうやっても長期戦は明らかだからあまり耐久値を使いたくはないのだ。

まあいずれは攻撃のしすぎであつという間に壊れるだろうけどな。ブラックグンマー。特になにか目立った能力があるわけじゃないけどシンプルに強くて頑丈なハンマーだ。

結構気に入ってるから、砕け散る前に取り替えないと。

俺はそんなことを考えつつ、突きを放つたことによつて生まれた隙を突いておっさんをブラックグンマーで殴ろうとするが、結局当たらずに回避される。

なにか状況をひっくり返すものがほしいところだ。

ただ都合よくそんなものを持つていた覚えはない。

というか今回ここまで追い込まれるのを想定してないからガチ系のアイテムがほとんどないぞ。

それこそ武器は俺が一番得意なやつを選んでないし、アイテムにもドーピング系が入ってない。

だからもうこの状況を……いやせめて流れを変えられる何かなんて……

いや待てよ？

なんでここで自分の持つているものにそれを限定するんだ俺。

逆に考えるんだ、今自分が持つていなくても必要なものを手に入れる方法を使えば良いんだと。

リアルでもよくやったじゃないか。

金が足りなくなったら海に潜るか山に入るかして金になるものを取ってくる。

あるいは陣を使つて適当な金属を金のようなナニカに錬成したり、遠出して暴力団に殴り込んでチャカ奪つて転売したり。

やり方はいくらだつてあるじゃないか。

想像力を、イマジネーションを働かせるのさ。

俺の無駄なことばっか詰め込んだ脳の知識を。

これまでの人生でさりげなく倒してきた強敵を破った技を。

出来ればこの目の前の男をぶつ倒せる奴を！

おっさんの攻撃をギリギリで捌きながら、とにかく最速の思考で全ての記憶を漁り、今のおっさんを倒す方法を模索する。

しかしクラスカードなんてものを実際に使う奴を初めて見たせいでなんのつかかりも無いから突く弱点がない。

必然的に倒す方法はなんらかの形で正々堂々圧倒するくらいしかないけれど……それも何か違う気がする。

本能が叫んでいるんだ。

コイツは正々堂々圧倒するな、極限までバカにしてプライドを踏み荒らしてから倒せと。

いや実際はそんなえげつないことを言っただけじゃないのだけど、とにかく似たようなことを言ってる。

だから何でもいからコイツを小馬鹿にしつつ倒す方法を……

「これで終わりだ！隊長オオオオオオオオオオオオ！」

俺が思考に没頭しておっさんを倒す方法を必死に絞りだそうとしている途中で、不意におっさんが大きく距離を取ってから跳躍した。

なんだ？さらに変身でもするのか？

昔のライダーは風がないと変身できないからわざわざ跳んだりバイクで走る必要があったんだよな……その設定を忠実に守っていた超初期の頃は人気もそこまで高くなかったらしいけど。

実は仮面ライダーが人気になったキツカケは変身する時のポーズで、初代ライダーから見ていて現役時代に貯めた金を使って今に至るまで仮面ライダーのベルトやら武器やはプレバン含めて全部買ってるほどライダー好きのジジイいわく『変身の時の動きで燃えると言ったら初期の仮面ライダーじゃ！』と言わしめ……ってなに無駄なことを考えているんだ俺。

今は目の前のおっさんの攻撃に集中しないと流石に不味いぞ。

ただでさえ絶望的なステータス差があるんだから相手の一挙一動を捉えて先手を取らないと。

「突き穿て黒槍ツ！冥府の果てまで追い翔け回せツ！」

俺は一旦思考を中断しておっさんの攻撃に備える。

なんか嫌な予感がする詠唱だな……

「……【突き穿つ死翔の槍】ッ！」

「おい待てそれはいくらなんでもおかs……」

予想が当たった。

いくらクラスカードがあるからってそこまで再現する必要あるか？なんて思いながら俺は即座に後方へ走り出した。

あれはどう考えても投げボルクじゃなイカ！

俺も流石に f a t e 全英霊の全宝具を覚えていたりはしないから記憶もあやふやだが、たしかアレって当たるまでいつまでも追いかけるんじゃないか。

かやひこ……テムエは一体なにがしたいんだ。こんなものゲームバランスをぶち壊すだけだろう。

そしてなんでよりによって投げの方なんだ。

せめて刺しボルクなら救いはあった。逃げ切れるから。

だが投げの方になるとどうにもならん。

だって逃げ切れない。それこそ投げた本人を殺さない限りはな。

しかし俺としてはおっさんを殺すのではなく最大限の屈辱を与えたい。

どうすればいい？

逃げながらそんなことを考える。

嫌なことばかり考えていると気が滅入りそうだ。

「こつち来んなボケエー！」

だからついつい周りの被害を一切気にせずに投げボルクに向かって超危険アイテムをぶち撒けられるんだが……

とりあえず喰らわせてみた猛毒（プレイヤーに使うとその周囲10m以内の奴が連鎖的に毒を喰らう。そしてほぼ死ぬ）も槍にダメージを与えた様子はないし、いくらか爆弾を叩き込んでも壊れない。

流石は宝具。無駄なところで設定に忠実で俺さんはもうキレそうだけ。

まあ、F a t e 本編じゃギルが強すぎたせいであまりスポットライトを浴びなかったけどそもそもメチャクチャ有能な兄貴を強く設定したことについてだけは素直に評価するがね。

それに昔はケンカやら道場破りやらに明け暮れてたおかげで母さんに番犬代わりにされてたからクー・フリー・リンには結構親近感が

……

待てよ？

おっさんのクラスカードがクー・フリー・リンということとは……

俺はある可能性に気付き、そして脳内で勝利への道筋を作り上げる。

それは非常に雑で荒っぽく、何一つ確かなところのない欠陥だらけの道だ。

だが、かやひこのパクリアイテムへの熱意だけはこの世界で数少ない信じられる物だ。

「ちよいさあー！」

俺は、導き出した勝利への道を辿るべく、まず道端の箱を全力でゲイボルグに向かって蹴り飛ばす。

無論これで止まったりはしないが、箱を貫いている間なら方向転換は難しいだろう。

だからその一瞬で一気に加速し、全速力でおっさんの元へ向かう。

「貴様らしいな隊長！自らが貫かれるより速く倒すつもりだろう！

……だが甘い！」

おっさんはそんな俺を見て自分を倒してゲイボルグを止めることを狙っていると考えたのか、再び最初の武器である双細剣を装備した。

恐らくはあれでまた武器を破壊し、ゲイボルグが当たるのを待つつもりなのだろう。

いいじゃないか乗ってやるよ。

俺は走りながらクイックチェンジメニューを選択、それなりに距離があることを利用してとあるアイテムを使用する。

【カレス・オーの聖晶瓶】だ。

「俺のとっておきだ！喰らいな！」

スキルを交換した俺は、そう叫びながらとある武器を投げ付ける。

それは剣と言うにはあまりに巨大すぎた。

大きく、厚く、大雑把すぎた。

それは、剣というよりも鉄塊であった。

なんて頭の悪い、パクりに近いフレーバーテキストが古代バビロニア語で刻まれた大剣……滅龍剣ゲオルキウス。

そこはベルセルクでもよかった気もする、SAOでもっとも巨大、そして鈍重だったが為に俺ですら使いこなすことの出来なかった数少ない武器だ。

だがそれは今、そのサイズゆえにクイックチェンジで装備するとはとんどの相手を貫いた状態で出現するという数少ないメリット（それを補って余りあるデメリットがあるが）を十全に活かし、おっさんを貫く。

それでもおっさんのHPはほとんど削れていない……が、それでいい。

ゲオルキウスを使ったのはおっさんを倒すためではなく、口を開かせるためだから。

俺はゲオルキウスを素早く手放し、いまだ貫かれた衝撃で口を開けているおっさんの至近距離に接近してあるものをねじ込む。

「もぐおっ!?!」

それは、S級食材であるデスハウンドの肉を焼いただけの簡素なもの。

もちろん毒効果も、ダメージもデバフもなく純粹に美味しい食べ物の1つだ。

本来なら戦いのあとにでも物理的上から目線しつつ優雅に食事してやろうと思って持ってきてたんだが……まさか戦闘に使うなんてな。

俺はそんなことを考えつつ、おっさんが肉を飲み込んだのを確認してニヤリと笑い、勢い余って後ろに走り抜けつつ足払いをかけて転ばせる。

もちろんおっさんはそれに抵抗しようとするし、転んだとしてもすぐにリカバリーしようとするが……動けない。

「動けない……だと……?」

俺は目の前で抵抗の出来ない状態になったおっさんを確認し、一切のタイムラグを作らずに近寄る。

そして、その体を持ち上げて後方へと勢いよく投げ飛ばす。

「それじゃあばよっ！」

そしておっさんは俺の後方から迫っていた“クラスカードによるステータス補正とソードスキルの威力補正が乗った槍”によって体を貫かれ……

……………あ、まずい。

【決着まで】いやー、俺じやなかったら死んでたね「ワ
ン！」

さて、つい先程俺がうっかり、そううっかりゲイボルグを当てて
おっさんを殺してしまった俺だが、実はこれでもリアルだと殺した数
より救った数の方が多かったりする。

10人殺せば殺人鬼、100万人殺せば英雄、全てを殺したら神
……なんて言葉に則るならば英雄枠に入るが、実際問題それ以上の数
を救っているのだ。

……いや、今のところ純粋な人間だと1000人も殺してないし直
接その死に関わったのは5人も居ないがね。

まあそんな言い訳は良いとして、俺がそれだけ殺しても救った数の
方が多いと言えるカラクリを説明しよう。

それはつまり、俺がこれまでの20数年に渡る人生の中において
……

全人類を5、6回くらい全滅から救っているからだ！

つまりは7、80億人×5か×6。最小値をぶちこんでも驚異の3
50億人である。

もちろん救った数が殺した数より多けりや許される訳じゃないが、
それでもとりあえず正当化には使えるよな。ゆえに問題なし。

とにかく俺は今のところ善悪判定だと100%善の方に居るわけ
で。

将来的に聖杯戦争的な奴に英霊として召喚されても属性は秩序／
善になるくらい完璧な善人な訳で。

そんな善人な俺が目の前で死にそうな奴を放っておける訳がない
よな。

だからさ、目の前でおっさんが死にかけたその瞬間、俺は素早く善
人らしいパーフェクトですんばらしいくな行動をしたのさ。

「そいやあっーほいさっー」

まずは死にかけのおっさんのポリゴン化しつつある体を絶叫と共

は？お前なに言つとんの？

俺はそんな目でおっさんを見つめた。

世界を救う勇者だつて生き返らせてもらつたら金を払うし、死んだら生き返るのに金がかかるのは当然だろうに。ゲームなんだから。

「どうしても払わない気か？」

「ああ……感謝はしているが、そこで金を要求されると、な……」

「そうか、それなら仕方ない」

しかし再度要求してもおっさんは支払いに応じない。

頑固だな。だがそれでいいのか？後悔しても知らないぞ？

俺はそう言つて復活料を要求するが、やはり応じない。

……コイツ、ネタを分かつてないな。ノリよく払えよそこは。

そんな風に不満を感じつつ、仕方がないので支払いを求めめるのではなく支払わざるをえないような状況を作つてしまふとしよう。

マイシスター考案の作戦、その名も『踏み倒されたら押し倒せ』作戦でな！

「おいエフ子ー！戻つてこーい！」

まず、この作戦には絶対必要な三人目の人員を揃えるべく、俺は恐らく近くに居るであろうと思われるエフ子を、大声で呼び寄せる。

本来ならその位置取りすらも作戦に含まれるから、エフ子がどこからやつてくるかが重要になつてくる。

一番いい方向は俺の背後だが……

「なんですかー！マスターー！」

「とりあえずコイツに突つ込めえ！」

「ふええ!？」

そう上手くはいかない。

エフ子が飛び出してきたのは俺とおっさんの側面方向から。

まあ反対からやつてくるよりはマシだな。

そう思いながらも、俺はエフ子の声ができる方向を背にするように立ち、自然にこのあとおっさんとエフ子が正面衝突するよう、位置を調整する。

これで準備は完了。あとは実行するだけだが……チャンスは一瞬

だ。

その一瞬を切り取った者だけに、復活料は支払われる。

だが、その一瞬を掴み取らねば、俺じゃない！

「ええええいー！」

「……ふんぐるいッー！」

……永遠にも感じられるような、長い長い一瞬が過ぎたその瞬間、俺は鋭く踏み込んで腕を前に突き出し、押し合いの状況をほんの一瞬だけ作りかけてから、即座に抜け出して不意打ち気味におっさんの足を引っ掛け……バランスを崩させる。

その倒れた先にはちようど全力で走ってくるエフ子が居り……

「ぶぐっ!」

「ひにゃあ!」

「ギヒヒヒヒヒ……」

……その結果、先程まで真剣な殺し合いが行われていたはずの戦場で、俺たちは非常にヤバい絵ヅラを作り出していた。

三者三様とはまさにこのことだろう。

一人は不意を突かれたせいで現実を理解できず、一人はもうとにかく逃げ出したくなっており、もう一人は悪い笑みを浮かべている。決まったな。ああ見事に決まったぜ。

マイシスター考案の『踏み倒されたら押し倒せ』作戦……

……大・成・功・だ。



【かやひこ号泣の】もはや隊長の方が……【ルール破り】

【ロリコンは生業デス】さん、【黒社長】さん、【吉野】さん、【ワタミン】さんが入室しました。

1. ロリコンは生業デス

隊長とおっさんの頂上決戦見てた奴だけど、とりあえず本題の前に7・まで質問受け付けるぜよ。

2. 吉野

お前のその名前はネタか、ガチか

3. ワタミン

この決戦での過労死枠

4. 黒社長

今回のMVP

5. ワタミン

そもそもこの戦いの原因が分からん。三行で頼む。

6. 吉野

そんなところに居て大丈夫か？

7. 黒社長

そもそも隊長という規格外のプレイヤーが存在する時点でかやひこは大号泣している気がするのだが。

8. ロリコンは生業デス

おkおkー。とりあえず順に答えるわ。

2. とりあえずこの騒ぎに乗じてあわあわしてたエフ子ちゃんをさつきまでもふもふして癒されてたつて言えば分かるよな？

3. 名前だけじゃ理解できるか知らんが、アスカロンっつーバカみたいにデカくてそこまで威力のない大きさだけの片手剣があるだろ？今回おつさんにあつさり破壊されたから過労死枠で。

まあ壊れたのは単純に隊長がメンテし忘れてて耐久値が減りまくってたからだけだなww

4. ……エフ子ちゃんだな。明らかにジャンルを間違えた戦闘を繰り返す隊長たちの近くでただ1人のほんわーるどを保って平和を保ってた。

5. 隊長調子乗った

DKBに喧嘩売った

なんか思ったより敵が強くてヤバイ↑イマココ

6. 大丈夫だ、問題ない。

7. 知ってた。

9. ワタミン

さて、質問タイムが終了したことだし、さつきと隊長が今回は何をやらかしたか発表してくれよ。

10・黒社長

どうせまたインスピレーションを溢れさせてくれるような頭のおかしいことをやったんだろう？

11・吉野

もはや隊長が頭おかしいことをしなかったらそれはもう世界の終わりだと思う。

12・ロリコンは生業デス

謎の信頼で草。

まあたしかに頭おかしいけどさwww

要約すると決闘相手であるおっさんの攻撃を誘導して殺したあと復活させてまた殺してた。

13・吉野

12・外道じゃねえか。

14・ロリコンは生業デス

13・まあ待て。人の話は最期まで聞けよ。

隊長のヴァカはおっさんを二度も物理で殺したんじゃない。

二度目は命を奪わず、社会的な抹殺だったよ。

15・ワタミン

14・おいww「最期」まで聞いてたら死ぬだろwwwwww

w

16・黒社長

15・すぐに揚げ足をとるなよ。これだから人間性を篝火に注いできたバカは……

17・ワタミン

16・お前のそれも揚げ足取りジヤマイカ？

18・吉野

16―17・の間で激しい火花が散っているウ！

元凶の14・さん、この状況はどう見ますか？

19・ロリコンは生業デス

18・とりあえずこの争いを止められるのは幼女だけだ。今すぐ可愛くて可愛くて可愛い幼女を連れてこい。俺の所に。

20・吉野

19・それじゃ意味ねーだろw

21・ロリコンは生業デス

まあこういう時は気にせず進行しちまうのが一番と聞いたし、進行するわー。

おっさんの社会的抹殺のために隊長が使ったのはなんだか分かるか？おまいら。

22・吉野

21・これはカオスの予感……

23・黒社長

21・どうせ名状しがたいナニカでも使ったんだらう？

24・ワタミン

21・隊長のことだからネタ爆弾として有名なドドリアンボムでも使ったんじゃないだらうか。

25・ロリコンは生業デス

いや？残念ながらお前らまったく的はずれだぜ？

正解はエフ子ちゃんだ。

以前おっさんを撃破したときも大きく貢献した我等が大天使、エフ子ちゃんだ。

それを隊長のアンチクショーはとんでもないことに使いやがった……

26・黒社長

おっさんに酷いことされたとか言わせながら大泣きさせたとかか？

27・ロリコンは生業デス

あのクソ野郎は……おっさんを転ばせてエフ子ちゃんを押し倒させ、明らかにアウトな状況を作り出したのさ……！

28・ワタミン

チクショウ隊長！なんて奴だ！おっさんが羨m……ゲフンゲフン、裏山だぞ！

29・吉野

これはもう事案発生ですわ……俺が警官ならエフ子ちゃんを補導して交番に連れ込むとこだぞ。

30・黒社長

28―29・お前たちは一度素敵なお銀色のブレスレットを装着してもらったらどうだ？

31・ロリコンは生業デス

30・言う通りだぞおまいら。

たしかにエフ子ちゃんを押し倒した形になるおっさんが裏山なのもエフ子ちゃんを閉所に連れ込みたいのも分かる、分かるぞ。非常に分かる。

だがそんなことをしているよりも大事なことがあるだろう？

32・ワタミン

なるほど、確かにヤンデレを見付けてベッドにワツパで繋いで貰うのもロマンがあるよな！

33・吉野

そりやそうか、やつぱし俺ってモテるからそんなことしたら嫉妬されてワツパ掛けられちゃうよな。俺としたことが、迂闊だったぜ……

34・黒社長

32―33・違う、そうじゃない。そうじゃないぞ。

35・ロリコンは生業デス

ヤンデレ……ロリ……隊長……うっ頭が……

【続かないかもしれない】

えず暇潰しにかやひこを殺殺してこいよつての……なんだよお前ら、俺はなにも悪いことはしていないのにそんな敵意を持った目で見るなよ。責任転嫁するなんてお前らそれでも人間か？

……ちなみに今、エフ子はエルフだからさりげなく除外されたぜ？これが大人で常識的でイギリスの紳士会最強の紳士を至つて紳士的な氣遣いの間に暗殺（またの名を腰への特殊な打撃）した男の氣遣いって奴だ。

まあそれはともかくとして、とにかくここはさつさと全部纏めて終わらせたいし早いところ全員に潰れて貰おうじゃないか。

いくら隊長さんでもこれ以上なにか面倒事が重なつたらネタを挟む余裕がないぞ。

俺からネタを取つたらそれはもうただただ理不尽に強すぎるだけのクソ野郎ジャナイカ。

ゆえにこの場は一瞬かつ一手で俺が自分で作り上げた混沌を破壊しようじゃないか。

そう考えて俺はまずろーくに話し掛ける。

無論今の殺殺うるさいろーくに話を通じる訳がないが……

「なあなあろーくん、良い話があるんだが聞かないか？」

「……殺ツ！殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺殺！」

「はー、それは残念だなあ、今なら俺秘蔵の偶然撮れたロリっ娘画像を見せてやっても良かったんだけどな」

「なんだ店長。そうなら早く言えよ」

……と、こんな具合にどんなにキレていてもろーくんは欲望に忠実なので落ち着いて対応すれば問題ない。

まあ、かつてうっかり俺が世界の命運を背負わせちゃった時も『あとで知り合いの美少女（実年齢19歳）に頼んで写真撮らせてやるぞ！』とか言つたら緊張と世界を背負った重圧で本来のろーくんの1／3程度の實力も出せていなかったのに突然普段の100倍以上の能力を発揮して世界を救っちゃったろーくんだからね。仕方ないね。

「まあ良い話なんだがな？今からろーくんにはおっさんを社会的に抹殺する係をお願いしたいんだわ。報酬はエフ子含むロリっ子画像1

0枚と……着せ替えの途中でさりげなくすっぱ抜いてみた靴下でどうだ」

「イエスマイロード！ただいまよりおっさん抹殺任務に取り掛かります！」

ああ……やっぱ安定だなるーくん。君はいつも俺の期待を裏切らないよ。

幼女のためならプライドだろうと尊厳だろうと笑顔でドブに投げ捨てられる奴なんて、世にごまんと居るロリコンにもそうそう居ないぜ。

ハッキリ言っただけ少しドン引きしたがね。

さて、とりあえずおっさんはろーくに任せたことだし、ひとまず俺はおっさんが離れてからエフ子を回収しますかn……

「マスターあああー！」

「ふぐおっ!?!」

グハツ……不覚を取った……

俺は不意に腹を襲った衝撃に顔をしかめ、仰向けに倒れた。

どうやらエフ子はもうおっさんの押し倒しから脱出してきたらしい。

まあそれで突然飛んできて頭から腹に突っ込むのはいささか常識外れもいいところだけだな。

え？お前が言うな？知るかヴオケ。

「酷いですよマスター！いくら私だって怖いものは怖いんですから！」

いやー、それにしてもおっさんも酷いことをするよな。こんないたけな子供を押し倒すなんて。

コレハユルセナイナー（棒）

……嘘です分かってます俺が悪かったです。

流星にここは素直に謝るところ。

「私は今怒ってるんですー！」

「いや、うんまあ本当にすまん」

「もつと真剣に謝ってくださいー！」

もつと真剣に、だと？

それはつまり俺への挑戦だな。いかに俺がお前を納得させられるかを試しているんだな。

よかろう、ならばその挑戦受けて立つ！

「……これはほんの気持ちだ。受け取ってくれ」

俺はそう言いながら、とある最強のアイテムを取り出して簡易的なラッピングをし、エフ子に差し出した。

「も、物で吊ろうたって……ほわぁ……」

しかしそれでもエフ子はプレゼントなんかには負けないとばかりにつれない態度を取ろうとするが……

たいちようの プレゼント！

こうかは ばつぐんだ！

そんなテロップを幻視するほど見事にエフ子はオチた。

人間だろうと誰だろうと、結局のところ勝てないものが1つある。

それは生物だろうがよく分からないなにか混沌としたものだろうが関係無い。

それは……

「フォークと皿と椅子と机もあるぞ」

「……」パイッ

「そう言うと思ってだな、倍プツシュだ」

「……許します！」

誰も勝てないもの、それは……美味しいもの、ただそれだけだ。

そんな訳で俺が取り出した『来るべき』シリーズの存在を知ったろーくんが謎のプライドで作り上げていた頭のおかしい『キターるべき』シリーズ最古にしてもつともサイコな味を持つ『キターるべきクレームブリュレ』を幸せそうに食べるエフ子を見守ってから、俺はなんとなくその視線をろーくんたちに向けてみた。

だが、さっきまでろーくんたちが居た筈の場所には誰も存在せず

……

要約すると、誰も居なかった。



【おまけ】ろーくんvsおっさん【あのテンションが帰ってくる】

「ハーツハツハツハ！おっさんよ！貴様に恨みはないが……我が望みを叶えるべく、その（社会的）命、貰い受ける！」

「クカカカカ……その心意気やよし！私も私に出来る全力を持って貴様の挑戦を受けて立とう！」

やあ！俺は周囲からろーくんろーくん呼ばれすぎてもはや誰も本名を覚えてくれなくなってしまった悲しい運命を背負った男、六助さんだぜ！

なお、これは完全な余談だが俺の本名はきつとこの先いつまで経っても店長の奴のせいで言わせてもらえないだろうからここで言ったのは内緒だ。

さて、そんなことはさておき俺の現状を説明しよう。

さつきは思わずエフ子ちゃんの靴下を報酬に提示されて思わずイエスと答えてしまったけれどいくらなんでもこれは不味いぞ。

相手はあの怪物店長ですら手を焼く本物の達人……それこそUBWのキャスターが呼び出した方のアサシンみたいなレベルの変態的な達人だ。

なのに俺なんか勝てるんですかね？

答えはこうだ、無理ですごめんなさい私が悪かったです。

でも俺の本能と理性はこう言っている。『たとえバーチャルでも、そこに込められたロマンと幼女は本物！このチャンスを逃して何がりコンだ！立て！立つんだ六助！』とき。

つまりどういふことかと言うと、どう足掻いても勝ち目はないけど、どうしてもエフ子ちゃんの靴下が欲しいんだ。

こんな衝動は何年ぶりだろう。

まだ俺がシヨタと呼ばれる年齢だった頃に児ポ法が改悪されて仲間たちへの圧力が高まった時の不満よりも大きなこれは……もはや許容量を越えている。

今ならば無理を通して道理を引つ込ませるところか、意地を通して常識ぶつ壊すくらいは簡単に出来そうだ。

「南斗飛天流正当継承者……浜雄次」

「教団式決闘術免許皆伝……六助」

「いざ尋常につ！」

そんな根拠のない全能感を抱えながら、俺とおっさんはよく分からんテンションのせいでそれっぽい名乗りを上げ、お互いに武器を構えて突っ込む。

おっさんの初手は愚直で単純で、しかし明快かつ強烈な突き。

それに対し俺の行動は……

「勝負、なんてすると思っただかヴァカめ！ 転移！ マクロリータア！」

その攻撃が命中するタイミングを計算し、おっさんを巻き込めるタイミングでの転移だった。

その転移先はマクロリータ。俺の本拠地にして教団のSAO臨時本部がある街だ。

ここは俺にとってホームグラウンドであるがゆえに地理の面で大きくリードを取れるし、住民には教団関係者が多いため数にもの言わせて嫌がらせをすることも出来るだろう。

だが俺が狙ったのはそんなものではない。

「小癩なっ……だが、場所を変えた程度で力の差は埋められんぞ！」

「いいや、残念だったな……その常識は俺たちに通用しねえんだよ！」
それは教団が店長に協力を仰ぎ生み出した、改変バージョンの界王拳。

店長は通常版界王拳も100倍まで余裕で使えるらしいが、そもそも俺たちには気の概念が理解できなかった為に独自に生み出したソレは……ある3つの状況の内どれか1つでも満たした状況下においてのみ発動するが、効果は絶大だ。

今回その内の1つ、『幼女が多い場所に居る』を満たすためにここに来た訳だ。

「教団式界王拳……10倍だ！ いくらお前でもこの世界に着いて来れる訳がねえ！」

まあ、実を言うところの教団式界王拳には欠点が非常に多い。

条件はいつだって満たせる物ではないし、基本的に守備側でない

使えない。

その上倍率は抱える業の深さ（詩的表現）によって変化するから個人差が大きく、身に付けさせるのも難しい。

さらに身に付けたところで店長辺りの相手には基本的に通用しないし、店長に至っては使った瞬間解除させてくる。

それと、SAOの中じゃいくら身体能力が上がっても意味はない。一応思考速度と五感が強化されるから完全には無意味じゃないけどな。

まあ、とにかくそんだけ欠点を抱えたコイツだが……今回の相手であるおっさんには非常に有効だろう。

「そんな小細工程度で私に勝てると思うなあ！」

「いいや、勝てると思ってるよ。完全にな」

まず攻撃が異常に速いし鋭いが、それでも十倍に加速された思考ならばその全ての始点を見切って避けられる。

そしてそれにカウンターを喰らわせるのだって余裕だ。

俺は鋭い突きを放ったおっさんの腕をオーソドックスな短剣で軽く突き刺し、腕を引き戻そうとするおっさん自身の力で傷を作らせようと試みる。

……ダメだった。刺したけど動物並みの反射神経で横に動かれて抜かれちゃった。

だがそれで終わるわけではないんだなこれが。

おっさんが横に動いて更なる攻撃を仕掛けてくるのは見るまでもなく読めるから、十倍速でメニューを操作してとあるアイテムを取り出して喰らわせる。

「喰らうがいい……これが……粘菌を乗り越えた先で手にしたものだっ！」

それは以前に粘菌を攻略した際に店長からそれなりの数を譲り受けたアイテムで……ハッキリ言うアレな用途しか思い付かない、透明で粘度がある液体だ。

ただしこれは見た目のふざけっぴりに反してかなりガチな性能がある。

「貫けない、だど？」

「おいおいおいおい、どうしたおっさんよお……そんなんじや突き刺さりもしねえぜ！ヒヤツハー！」

それは武器に対する強制なまくら化だ。

これを浴びせられたが最後、その武器を取り替えるか一定時間が経過するまで武器が斬れず刺さらないなまくらに成り果てるのだ。

もはやそれはただの鈍器である。

ゆえにそこでは質量がものを言うが、しかしおっさんの武器は細剣。

軽さと鋭さが売りの細剣から鋭さを奪ったら、もう殆ど何も残らないという訳だよ。

ただ軽いだけの棒なんざチャンバラくらいにしか使えねーぜ。

正々堂々なんて知りませーん。姑息なつ……！なんて言っても聞こえませーん。諦めずになまくらを叩き付けてきても生産系の知り合いに作らせた『打撃に対してほぼ完全な防御が可能だが斬撃をほとんど防げない盾』で防ぐから問題ないでーす。

ざまあ！

俺は必死に人差し指を突きつけるあのポーズを我慢しながら、おっさんを封殺すべくさらなる一手を打つ。

使うのはそう、俺のユニークスキルで生成した色々な意味で危ない薬たち。

「無様だなおっさん！これでも喰らっとけ！」

「二度も同じ手には乗らんぞ？破ツ！」

「……からのブラインド投薬ウ！」

俺は先ほど取り出していた透明で粘性の液体を適当にぶち撒けてから、おっさんがそれを回避した先に薬を叩き込んだ。

しかし、それすらも回避されるが……残念ながら、この薬については避けても意味がない。

何故なら、これが同人誌にありがちな嗅ぐタイプの身体中の感覚を鋭くさせるクスリだからだ！

はつきり言って森関係の生産が超強化される筈の俺のユニークス

キルでなんでこれが生産できたのかは非常に謎だらけだが、しかし意外とR―18方面に行くようなアイテムが多いんですよねコイツ。

かやひこの野郎、まさかこれを使ってエロいこと……もといえらいことをやろうとしていたのか？

羨ま許せんな。確たる証拠がないからなんとも言えんが……だがいつか出会ったらアイツにヤバいお薬全部投与して差し上げよう。

「くっ……また面妖なものを……」

「ほらほらあーまだお薬はたーつぷりあるぜえ！好きなだけくれてやるよー」

そんなことを考えつつも、俺は最初 sensation 鋭敏化薬で妙な感覚の狂いを感じたのか動けなくなってしまうたおっさんに次々と薬を投与する。

それはエロゲにありがちな『いい感じに服だけを溶かす都合のいい液体』に始まり『狂化薬』なんてゲームらしいアイテムまで、とにかくそれっぽいアイテムを全てだ。

その1つ1つがおっさんに対して与える効果は微々たるものだが、それが積み重なれば……

「ぬ……ぬおおおおお！」

このように路上で半裸のままゴロゴロと悶え苦しむおっさんを作り上げることができる。

そして、俺の目的は店長と違ってこのおっさんを社会的に抹殺するだけだから、あとはスクショを撮ってばらまけば俺の勝利と言っていだろう。

……まあ、多分これが（おっさんの無力化が）一番早いと思います。ってやつだ。

正直言っただけのことをした感はあるが、どういう訳かおっさんに透明で粘性のある液体をぶちまけたあたりからVRなのに何か腹から逆流してくる感覚がするから勘べ……

このあと滅茶苦茶VRの常識を超えた。

【SAO・超越編】人気低迷とかで突然ジャンルが変わる奴は大体打ち切りになるジंकス

……うん、決めたわ。

俺はなんの脈絡もなく知り合いを集めた酒盛り（昼間からである）の最中、不意にそう呟いた。

SAOで酒を飲んでも酔ったような気になるだけで酔いはしないが、多分そのテンションもあつたのだろう。

「決めたって何をだよ?」

「うげ、私はもう退散……」

「させねえよ。お前が居なくなったら誰が店長止めんだよ」

「そりゃ一応先輩だしそっちがやれば良いじゃないですか」

「お前と俺ってバイト始めたの数日差だったよなあ!? つーかいきなり敬語にすんな気持ち悪い!」

「どうせ暇でしょ?」

「ハッ!俺にはエフ子さんとイチヤイチャするという崇高な使命があるんだよ!」

ここ最近の俺の低迷というか迷走っぷりの原因を俺なりに考えたんだよ。

いつから俺は迷走し始めたのか。というかそれ以前の問題として何故迷走してしまったのか。

迷走の始まりは、つい最近。それ以来これまでのノリというか創意工夫を出来ていないんだ。

その原因、それは……

【超越剣】、お前だよ。

たしかにお前のソードスキルはどれも頭のおかしいものだらけで、使いこなすだけでも十分面白おかしい戦いが出来るだろう。

だが俺が求めているのはそこにPlus Ultraした面白キチガイな戦いなんだよ。

死ぬほど努力して、吐くほど頑張つて、命懸けで挑んでもやっぱり

全然足りないくらいの壁が俺なんだ。

本当は随分前に戦った自称絶対悪のおじさんのことなんだがな。

まあとりあえずおじさんを片手間に吹っ飛ばしたら「次は、お前が……最後の試練だ……」とか言っつて消滅したからね。ゆえに俺が壁である。

だからな？俺は今からお前とお別れする。

瓶に入れて保存もせず、ただ純粹にお別れする。

超越剣の熟練度がちょうど999.9で止まっているからコンプリートは目前だけど、あえてお前を捨てる。

そして俺はかやひこに言うんだ。

「オラオラオラァー！ユニークスキルなんて捨てて素手で掛かってこいやあ！ビビってるの？もしかしてビビってるの？プギャーwwダツセwメチャクソダツセwwwwww」って。

だから、あばよ超越剣。

お前との思い出はロクでもない面白い物ばかりだ。いくら俺でも名残惜しい、やっぱやめようかとも思う。

だがここで別れなきや、いつまでも俺はこの迷走から脱却出来ない。

それじゃあ……

―突然の回想・卒業式風―

「実は案外驚愕していた……」

「……初めての出会いッ！……」

「まさかこんな頭のおかしいユニークスキルがあるなんて思わなかった！いくらかやひこがクレイジーでもここまで版權ガン無視するなんと思わなかった！」

「メチャクチャ乱用した……」

「……※☆■▽♂★◆・♂★■・※△！……」

「どこからでもパクるその精神には、感銘すら覚えたよ……ハングリーもここまで行くものかって」

「でもどうしてかハガレンもガンダムもなかったよ！」

「みんなみんな、期待していたのに！」

「……それじゃあ最後に全員で！」

「一！」

「十！」

「百！」

「千！」

「万丈目エ……」

「ザヨゴオオオオオオ！」「バカヤロオオオオオオオオ！」「ゴウカクシテヤルゼエエエエエエエ！」「ハルトオオオオオオオオオオ！」
「サンダアアアアアアアア！」

ー回想終了ー

今のやつ、回想と読んでも良いんですかねえ？非常に謎だ。不思議だ。

そして何故新世界の神とZな塾のお馬鹿受験生が混ざってしまったのか。

サンダー、お前はいい。

だが他のやつらはどうした。

適当に叫んでるだけだよな!?ちくしようこうなったら俺も（ry
……よし、一通り心が叫びたがるままに叫んだし、そろそろお別れしよう。

俺はビールジョッキ（木製）を傾けつつ、メニューを開いて装備スキル欄から【超越剣】を選択して外す選択肢に触れる。

【このスキルを外しますか？⇒YES／NO】

【熟練度を全て失いますが、本当にいいですか？⇒YES／NO】

【本当に？⇒YES／NO】

【本当の本当に？⇒YES／NO】

しつけえなオイ。

まあユニークスキルだから間違えて外したりしたら大変なんだろうけどさ。

そうとは言ってもしつこすぎないか？

そう思いつつ、俺は全てYESを選んで順調に超越剣を外す結論へ近付いていった。

そしてその後も目の前でなにやらずつと続いているろーくんとふいーちゃんの言い争いをBGMにしてYESを選び……

【これが最後です。外しますか？⇒YES／NO】

【超越剣を外しました】

とうとう、超越剣は俺のスキルスロットから外れ、数値がリセットされた。

999.9というギリギリの数値が0に代わる瞬間を、俺は今か今かと……

【隠しコマンドが入力されました】

「……………」ガシツグシヤグシヤポイント

……………リテイクだ。

999.9が0になる瞬間を俺は今か今かと……

【隠しコマンドが入力されました】

「しつけえ！んなもん要らねえから！おーの出番ねーから！」

「一体どうした店長、今日は普段よりキチってるな。そんなやつにエフ子さんは任せられ……なんでもないです」

「どうしたのさマスター、今私達は壁を乗り越えて犬耳ロリ萌えという中立地帯を……あっなんでもないです」

【隠しコマンドS—666『熟練度999以上の超越剣を外し、リセット』の入力により、超越剣所持者専用クエスト：封印を超える者を開始しますか？YES／はい】

なんだこいつは。

妙に禍々しいフォントで描かれたクエスト名をタッチし、俺はひとまず発生したクエストの内容を確認することにした。

えー、なにになに？『このクエストは、制作者からの挑戦状である』？なるほどなるほど、かやひこからの悪意ある贈り物ですか。ふあつく。

俺はかやひこへ深い理由もなく悪意を向けながら、クエストの詳細を読み進める。

『依頼人：茅場昭彦』

『クエスト詳細：アインクラッドには、アルファテスト以前には存在したものの実装されなかった機能や武器、スキルが存在し、その記録とデータは残っている。しかしそのデータは現在とあるモンスターによって吸収されており、ゲームマスターである私にも回収することはできなかった。超越剣の最終スキルもその1つだ。ゆえに私は託そう、SAO最強のスキルである超越剣を手にしたプレイヤーに、封印された全てを』

『クリア条件：封印の守護者12体の討伐』

『クリア報酬：未実装装備、アイテム、スキルの入手及び未実装システムの実装』

『特殊条件：自殺以外での死亡時、初期地点で復活してリスタート』

【クエストを、開始しますか？YES／はい】
な、る、ほ、ど。

よく理解したぜ。これはかやひこが封印したスキルたちを解放するためのクエストなんだな。

クエストをクリアすれば超越剣の最終スキルが手に入るんだな。

よく、分かったよ。

俺はクイックチェンジから持ち手だけの剣を取り出すと、何も無い空間に鞘があるかのようなイメージで手を当て、剣を引き抜いてウィンドウに斬りかかる。

「……あばよ涙アアアアアアアアアアアア！」ベシイイイイツツツ！

「違う、それじゃない！よく似てるけどそれじゃない！」

「…………？」

名刀、レーザー“竹刀”。とある宇宙探偵が愛用する装備だ。

攻撃力は低いが破壊不能オブジェクトにも何故かめり込むので、建造物の破壊にはわりと向いている。

今回はそれをウインドウの切断に使ったというわけさ。

「フツ……またつまらぬものを斬ってしまった……（キリッ）」

【ぎ、貴様……よくも……だが、たとえ私が死んでもお前だけは……お前だけは……】

そして、無意味に格好よくレーザー竹刀を腰の左側に当てて鞘にしまふかのようにして刃を消す。

この動作に、意味は、ない。

そして、俺がなんの意味もなく格好つけの為だけに長い動作を挟んでレーザー竹刀をしまった後に先ほどまでウインドウがあつた場所に目を向けると……

「ハツハツハツハツハア……今貴様が斬ったのは我々の中で最弱のウインドウ！ここからが本番だあ！私の権限をもって、クエストを強制スタートするウ！」

……ウザさが増した気がするウインドウが、残酷にクエストの開始を宣告していた。

「よろしく勇氣イイイイイイイイイイイイイイイイイイイイ！」

ゲームシステムによる理不尽なクエスト開始を告げる転移ののち、俺はまず最初に現れて妙な行動をした何物かを、正体を確認しないままに気合で斬り裂こうとした。

なお装備は例の物体破壊に適したレーザー竹刀のままだが、まあコイツでもある程度は戦えるし、そもそも破壊不能オブジェクトだろうと何だろうと理不尽にめり込んでいく設定の読めなさだけが取り柄のコイツは、説明キャラかもしれない何者かの登場シーンの空気をぶち壊すのに最適だろう。

……いや、割と真面目に理由を語ったりしたが、正直なところ俺がレーザー竹刀でいきなり攻撃したのに理由はない。

なんとなくそこに敵っぽいのが居たから斬ってみた。反省も後悔もしていない。ただそこには若さゆえの過ちしかないんだ。

「おい見ろよ……また突然訳の分からんことが始まったぞ……俺は抜ける」

「私も」

「じゃあ俺も頼むわー」

「テメエの撒いた種だろテメエがなんとかしろ！」

「ダチヨウ倶○部的なノリだよ理解しろよ！」

「あわわ……争わないでください！」

そして、いきなり攻撃されて押し黙った何者かを無視して俺たちはいきなり内輪もめを開始した。

つーかまたってなんだよまたって。

俺がこれまでになにか問題を起こしたか？ いたって平凡なことしかしていないぞ？

嘘です分かってますよ。この突然の転移も純粹に俺のせいだと言いたいんだろう？

でもお前たちだって話を聞けば分かるはずだぜ？

ほらほら、遠慮するなって、今から説明するから。

俺はなにかと便利なので持ち歩いている雀卓も兼ねたこたつ用テーブルと座布団を4枚取り出……なんだねろーくん。俺はまだ

何もしていないぞ。

「……………はあ、3枚で良いと？君は本当にバカだなあ（某嘘の歌姫風）。そんなに地べたに座っていたいのかね？」

「違うわボケ。座る場所が無ければ俺がエフ子ちゃんを膝に乗せるという選択肢が出てくるだろう？」

「ハッ、残念だが俺にはお前にサービスをしてやる理由がないんだなこれが」

「……………これをお納めください」

どうやらろーくんが俺を無言で止めたのは欲望の為らしい。

まあこれまでリアルでもこっちでも散々迷惑をかけてきたからそんなくらいサービスはしてもいいのだけど、とりあえずもらえるようなら貰っておくでしょう。

きつとろーくんの事だから俺とかには使い道のない微妙なアイテムをくれたりするんだらうけどさ。

俺はそう思いつつ、ろーくんがこっそりと渡してきたいくつかのアイテムを即座にポリゴン化してメニューの所持アイテム欄から確認してみる。

【過剰強化薬】 【感覚強化薬（仮）】 【未知の強化薬】

そしてさりげなく4枚目の座布団を……………

「何やつとんじゃボケ！」

「なになって……………ろーくんの渡したものが明らかに俺に対する悪意に満ちてるからなあ」

「ちやうわー！まだ実用レベルにまでデメリットを小さく出来てない代わりに死ぬほど強くなるドーピングだぞ!!」

しかし、それを聞いてやめた。

どうやらろーくんは珍しくちゃんとしたものを俺に渡してくれたらしい。

本当に珍しいな。明日はろーくんのせいでSAOに想定外の雨が降るんじゃないか？

まあ、そこまで言うのなら効果を見てやろうじゃないか。

俺はメニューを操作し、そこに加わった3つの薬物の効果を確認す

る。

【過剰強化薬：一定時間最大HPを10分の1にする代わりに、攻撃力が10倍。効果は他のアイテムと重複可能】

【感覚強化薬（仮）：使用后一定時間感覚神経が特殊な電気信号によって研ぎ澄まされるため、反応速度を上昇させられる。いわゆる電子ドラッグ。なお薬品アイテムとしての効果は1分間の攻撃力微上昇（10%）】

【未知の強化薬：今のところ効果の幅が大きすぎるため改良の余地があるが、現状数少ない回復＋全能力上昇の効果を持ったアイテム。効果の幅は全てバラバラの強化度になるが最低値－80%、最高値＋200%。回復は15%から100%までランダム】

……ふむ、たしかに俺好みのピーキーな性能だな。一歩間違えればただの自殺にしかならんアイテムぞろいだ。

特に未知の強化薬は。パルプンテ的側面もありそうだ。

正直言ってドラク○を魔法はパルプンテしか使わない縛りでやったくらいに大好きなんだよなあ。パルプンテ。

無論ボス戦は物理特化。パと回復アイテムでゴリ押ししたからそもそもその縛りに意味がないことが途中から分かってきたのが虚しかったがね。

しかしなんて俺好みのキチガイ効果なんだ。最高だもつと持つてこいや。

「2人ともどうしたの？」

そんな中、ただ純粋な理由で内心エキサイティンしていた俺に無謀にも声を掛ける者、1人。

机と座布団を用意したのに俺たちが座らないことを怪しんでいるようだ。

まあ、ちようど交渉も完了したんだから、と思って俺たちが二人を見たと……

「ところでさ、エフ子ちゃんの分の座布団がないという事は私の膝の上で良いんだよね？」

「いやそこはマスターに……」「いいんだよね？」

「こ、この卑怯者おおおおお！」

「そんなこと言ってる暇があったら助けてくださいよ！」

ふいーちゃんが、まさに『漁夫の利』のことわざがぴったり当てはまるような気がしなくもない（ただしちよつと違う）手際の良さでエフ子を膝に座らせていた。

おいふいーちゃんよ、君はどこぞの犬公方と同レベルと言ってもいくらいの犬大好き人間じゃなかったのか。

いつの間にロリコンが感染^っったと言うのだ。

あれもこれもみんな、ろーくんって奴のせいなのか！

そう思っていると、不意にエフ子の頭に何か装着されていることに気が付いた。

それは実に本物そっくりの質感と、エフ子の黒髪に違和感なく溶け込む彩色が実に巧みとしか言いようのない、そのなんとというか、INUMIMIだった。

「チクシヨウ……：犬耳ロリ道という妥協点を見付けたのが間違いだっただか……」

「いやー、感謝してますよろーくんさん。私にこんな素晴らしい文化を教えてくれるなんて」

「感謝してるなら俺にその場所を譲れ！」

「だが断るウー！この場所を奪おうというのなら、たとえ人生の先輩であつても容赦はしないぜえ！」

一体どこの誰がこのINUMIMIを作ったのだろうか。

だんだんと混乱の渦に飲み込まれていく状況の中、俺だけがただ一人冷静に場違いなことを考えていた。

そして争うために二人が立ち上がり、エフ子から離れた場所でお互いの獲物を抜いて争奪戦を開始した辺りで意図的に所持アイテムの中にいつも潜ませてある萌え系アイテム（PVPにおいては俺が使う事で相手を動揺させられる心強い装備だ）の1つ、「グツナイくまさん」2つを取り出してエフ子に見せつけ、ふいーちゃんによるモーフ攻勢で手負いの獣よろしく何も信じられないとでも言いたげな目をこちらに向けてきたところで……

素早くテーブルの天板を持ち上げてからあらかじめ用意しておいたこたつ布団を間に挟み、こたつ（ヒーター式。電源は入れてない）を完成させた。

そしてさりげなく天板を裏返し、雀卓として使用できる面を表にするところ言った。

「……………さて、俺たちは暇だから麻雀やってようぜ」

「……………そうですね」

かくして突然始まったふいーちゃんとりーくんの争いを横目に、俺たちは2人（とぬいぐるみ）で気ままに麻雀を始めたのであった。

……………そういや、クエストは一体いつになったら始まるんだろうか？案内ぐらい寄越してくれてもいいだろうに。

何かを忘れているって？俺に限ってそんなこたあないさ！

【SAO・超越編】ウチのエルフが最強だった件

あれから数時間後、ようやくゴタゴタを終わらせた2人が戻って来た時……俺たちは地獄を作り出していた。

俺の大人げない技術の数々の連打と、エフ子の異常なまでの才能による頭のおかしい手による麻雀終末戦争である。

俺だって最初は普通にプレイスキルだけで純粹に勝とうとしたよ。だから最初負けてもまだイカサマはしなかった。

2回目で違和感を感じ始め、3回目にエフ子は地和チーホーであがってきたときに確信した。

エフ子の運はこのゲームにおいて最強だったことに。

だから俺も容赦なくイカサマを行つた。

幸いにして親は俺がやっているので最強のイカサマ技術を使えば勝利は出来る。

天和テンホー、つまりは配つた時すでにあがれる時に使える、親限定の上がり手。これなら確実に勝てる。

そう思つて続けていたのだが……

「あ、国土無双です」

………どういう訳か、天和をやろうとしても時々不条理なまでにイカサマが成功せず、2巡目辺りで国土無双やらダイスシー大四喜やらの役満を喰らつてあえなく撃沈する。

もうこれ勝てる奴居るのか？

さつきからずっと役満しかしてない幸運の怪物エフ子に麻雀で勝てる奴とか居るの？

つか国土無双し過ぎだそれじゃもう酷使無想だよ国土無双さんが無我の境地に入っちゃうよ！

「何してんのさ2人とも……」

「ちようど良いところに来たなふーちゃん、もう一回やろうと思うからエフ子の手牌を俺に教えてくれ。手旗信号で」

「そんなん出来るわけないじゃん！」

「俺は出来るぞっ」

「変態2人は黙っててよ！」

俺があまりの理不尽さを嘆いてふいーちゃんにイカサマの手伝いをさせようとしたところ、変態呼ばわりされた。

酷いな、俺はただちよつと変態的だけで変態ではないぞ。ろーくんはまあ、自他ともに認める変態ではあるが。

「それにしても店長がこんなにも負けるなんて珍しいな。俺も混ぜてくれよ」

「……………おk了解。ついでにふいーちゃんも入れよ。ろーくん、2の2天和だ、いいな？」

「了解。ところでこの麻雀脱衣麻雀に変えられない？」

「下心しか見えねえよ……………」

「脱衣麻雀ってなんですか？」

「エフ子ちゃんは知らないでいいものd」「脱衣麻雀、それはちよつと危ない大人のアソビだッ！」「うるさい！」

……………ほら、案の定いきなり脱衣麻雀とか提案してきたよ。

まあろーくんの場合近所の麻雀教室で脱衣麻雀やろうぜ！とか言い出した挙句ノリノリで参加したJS（俺からしても将来有望な天才雀士だった）をボロボロに打ち負かしてほぼ全裸にまでひん剥いたくらいには強いから、その自信も分らないではないけど。

ちなみに余談だが、2の2天和というのは麻雀放浪記という小説が元ネタのコンビネーションイカサマである。詳しくはそつちを読んでみて欲しい。

今はとりあえずチートとかそういうレベルじゃない確定勝利のイカサマだつてことだけ理解してくれ。

「それじゃあ今度は4人で……………」「ちよおおおと待ったあ！」

「……………チツ」

「えつちよなにその舌打ち」

いよいよこれから仁義なき、そして大人げなき麻雀が始まろうとしていたその時、そんな雰囲気完全にぶち壊す能天気な、しかし純然たるツツコミの意思が込められた声はその場に響き、少し離れたところから謎の人物がやってくる。

そいつは紫色の髪と装備を持ち、やたらと露出が激しく胸部戦闘力が一目で分かるほど異常に高い……………何者だ？

すくなくともふいーちゃんでは相手にもされないような胸部戦闘力を持つ突然あらわれた女に俺たちは警戒感をあらわにしながらか、各々の武器を構える。

エフ子だけは状況が理解できないのか、それともその胸部戦闘力に恐れをなしたのかポカンとしているが、まあいい。

とにかく今はコイツを無効化しよう。そう考えて行動に移す。

「一歩必殺、二歩滅殺、三步でジ・エンド！」

「無明三段突きのつもりだろうけど明らかに違うよね?!」

「違うな、これは無明三段突牙天衝きじゃない、ただのカッコいい突剣圧きだ」

「今度は別の方向に逸れたあ!?!せめてジャンルを絞ってよ! ツッコミが追い付かない!」

知るかボケエ、俺は今無性にお前を斬りたいんだ。解体解体イ!

と、奇声を挙げながら手に持った獲物……………前と変わらずレーザー竹刀……………をこれ見よがしに見せつけながら、こっそりとメニユーを操作して本命の武器を用意する。

今回はそこそこネタに振った装備ばかり持ってきているからこういう微妙な状況は実ありがたい。

「仕方ない、それじゃあツッコミどころを絞ってあげよう。万象一s」

「巨乳はくたばれええええ!」「おい俺の台詞に被せんな!」

「モルスア!」

そうして俺が装備を取り出す直前で、ふいーちゃんが怨念の籠った表情で投げナイフを女の胸に投げたため、不幸なことに俺の攻撃は開始以前に終了してしまった。

なんてことをしてくれやがるんだか。たしかにそれを見たら怨念を爆発させずにいられない気持ちは理解してあげられなくもないけど。

でも君はそんなキャラじゃなかっただろう。ふいーちゃん。

「巨乳と言う敵を前にして初めて人類は結束できるんだよ……………この格差、是正しない訳にはいかない!」

「バカだなお前」

「へえ、それじゃマスターは電車の中で痴漢されて悲鳴を上げてもショートカットで胸が小さいってだけで信じてもらえなかった私の気持ち分かるって言うの!? あとろーくん……は、巨乳のやつが口りに抱き付いた時のロリへのダメージを見過ごしていいの!？」

「すまん店長俺はあっち側に寝返らせてもらう」

しかし、俺の珍しく冷ややかなツツコミは意味をなさず、フィーちゃんの珍しく冴えた反論によってろーくんが寝返る結果に終わった。

まったく、巨乳と言うだけで罪はないだろうに。

……いや待て、よく考えると俺がこれまでの人生において本気でふざけんなクソアマア! と思った女の巨乳率は100%だ。

つまり俺にとつての敵も巨乳という事だろうか。

「……………」

ひとまず倒れ伏した女から距離をとり、いつ復活してきても大丈夫なように武器を出現させて……………おこうとして、そのデメリット効果を思い出してやめた。

下手するとSAOでも有数の酷いデメリットを持った武器を戦わない時に装備しておく理由は無いのだ。

しかしそれでも意識は女に向けて、いつ立ち上がった後も即座に首を飛ばせるよう準備だけはしておく。

「ハッ、これで3……………いや4対1だよ、おとなしく観念して降伏するんだな!」

「……………」

「おじけづいちゃった? ねえおじけづいちゃった? ねえねえねえねえ!」

「……………」

「所詮巨乳なんてそんなものさ!」

「……………からのどどん〇ア!」

「ひでぶっ」

「それに対する反撃の居合斬りイ!」

そして、ふいーちゃんが有利な状況で調子に乗って不意打ちを喰らい、さつきとは逆に自分が倒れているのを横目で見てざまあと思いきながら俺は例の武器を取り出し、装備と同時に強烈な踏み込み切りを叩き込んだ。

……………やったか？

武器の特性上、どうしても発生してしまうデメリットエフェクトの白い煙によって視界が塞がれる中、俺は女がどうなったかを確認しようとした。

「酷いなあもう。いくら私が優しくて美人で器が大きくて完璧な美女だからって、これは流石に怒っちゃうよ？」

「……………あっはいどうぞ」

「止めるどころかむしろ怒れと!?!」

「その方が気兼ねなく顔までポツコボコにできるだろう？」

「チクショウコイツ外道だ！真の畜生だ！」

「それがこの店長だからな、仕方ない諦めろ……………そして俺からの扱いが悪いのも諦めろ。10年おせえ」

「何がっ!?!」

しかし、女は俺の攻撃で傷を負う事は無く、いまだピンピンした状態で存在していた。

……………へえ。俺の攻撃を受けながらもツツコミを入れられる奴なんてふいーちゃんくらいだと思っていたんだけどねえ？

コイツ、案外ふいーちゃんとも気が合うかもしれない。

俺は先程の流れからありえないと考えつつも、意外な友情があり得るかもしれないと考えるのだった。

【SAO・超越編】その考え！思考が悪魔に支配されている！

激しい天和戦争が終わり、その場にはようやく復活したよく分からん女と、それぞれ獲物を持っていつでも斬りかかれるように準備している俺たちが雀卓を挟んで向かい合っている、という奇妙奇天烈な状況が出来上がっていた。

ソードブレイカー的な短剣を逆手に持ちつつ、もう片方の手には針と呼んでも差し支えないようなほどに細い剣を隠し持ったふいーちゃんは巨乳への私怨やらなにやらで今にも飛び掛かりそうだからこの状況もいつまで続くかは分からないが。

「えーつと……とりあえず、説明するから武器をしまってくださいかなー、なんて」

「却下」「お前は油断ならない」「だが、断る」

「そんな寄ってたかっていじめないですよ！せめて1人くらい味方してよー！」

「巨乳に人権はないんだよバーロー！」

そんな膠着状態の中、女がなんとか話し合いによる解決を提案するも、あえなく俺たちのノーセンキュー攻撃によって撃墜されてしまった。

正直なところ俺は話し合いにに応じてあげても良いと思うのだけれど、ふいーちゃんがねえ？

今時のふいーちゃんは凶悪なユニークスキルもあることだし、はっきり言って敵に回したくはないんだよね……別に戦うことになっても勝てると思うけど。

少なくともふいーちゃんのユニークスキルが攻防一体を体現しつつ圧倒的な手数を用意できるようなチートスキルだった、なんてことにならない限りは勝てる。

前回苦戦したのもユニークスキルにこだわりすぎてたのが原因だったんだから（さりげない言い訳）。

「ひ、酷い！これが現代人の冷え切った心だというの……………」

「……………お前があと10歳若ければ味方してやったんだがなあ？」

「なんで!?男は単純な生物だから胸が大きいやどうにかなるって父さんが言ってたのに！」

「甘い！甘すぎるぞ女よ！今時胸はなだらかな方が強いんだよ出直してこいやあ！」

「そーだそーだ！」

「ぐぬぬぬぬぬぬ……………こうなったらそこの人！助けてよ！」

さて、そんな思案の中、不意に女は俺に助けを求めてきたが……………果たして、俺は出会って数分の人間に救いの手を差し伸べるほどの聖人君子だっただろうか？

その答えはこれまでの俺を知る人であれば容易に分かるだろう。

「へいへい、おい二人とも、このままじゃ埒が明かないから一旦ストツプだ……………いいいな？」

俺はメニユーから複数の装備を取り出して全身に纏いながらそう言った。

別に深い意味はないが、とりあえずのこけおどしの意味を込めて（そもそも今回は実用性の高い装備を持ってきていない）。

これで止まらないようなら物理言語での対話になりかねないが……………いや、大丈夫だな。俺の誠意がちゃんと伝わったらしい。

ふいーちゃんとうろーくんは俺の誠意きようはくに応じ、刃を収めた。そしてそれを確認した女は急に説明口調になって語りだす。

「えー、それでは大変長らくお待たせいたしましたが——超々高難易度クエスト、封印を超える者の特別ルールを説明させていただきます」

「……………おい店長」「マスター？」

「なんだよお前ら、俺に疑惑の目を向けるなよ」

「何か問題が起きたら店長マスターを疑う、それが当たり前」

何故か説明開始とともに俺へ疑惑の目と酷い偏見が向けられた。解せぬ。

俺みたいな天使のように優しくて純粹で情に厚く死後2分以内に

成人の列に加えられてもおかしくないような人間を疑うなんて……その考え！人格が悪魔に支配されている！

まあそれはともかくとして、この女……クエストの説明用NPCだったのか。その割にはグラの作り込みが凄いけど。

「特別ルール、それは……このクエスト中に限り！コンティニュー可能です！」

「ナ、ナンダツテ！」

「あ、ちなみに自分の武器を使って自殺すると普通に死んじゃうから気をつけてねー♪」

そんなことを考えながら、俺たちは女が説明するクエストの特殊ルールを聞き流していく。

いわくこれはかやひこが自分でコンティニューしまくっても攻略できなかったが為の措置だとか、いわくこのクエストは理論上攻略可能ではあるが、難易度はエルナークの財宝やサガフロ2で初期ステ初期装備初期メンバーのまま完熟エツグ戦、と言ったレベルのふざけた難易度らしい。

作った奴は頭が沸いてるな、とも言っていたそうだ。

流石は天才、ジョークも実に秀逸だよ。

「それじゃー、クエスト挑戦のためのゲートを開きまーす！」

そして、俺がかやひこを内心で嘲笑っていることも気にせず、女はクエスト用フィールドへのゲートを開く。

ゲートはいわゆるワームホールのような形をしており、今すぐにも吸い込まれてしまいそうな見た目をしていた。

俺はゲートが開いたのを確認すると同時に、その奥に鎮座するなにかに視線を向ける。

……なにかが揺れ動いているように見える。

なんとなく既視感のある、しかしよく分からないナニカが。

それは俺に、今すぐそれを手に入れねば、という危機感を与え……

「さて、それじゃ誰から入る？最初に入ると心が折れやすいからおすすめはしない……」

「いざつ、K B Fへ！」

「えつちよつそんなの聞いてな……………」

「ファイヤアアアアアアアアアアアアアアアアアア！」

……………とりあえず、敵の戦力確認と揺れ動くナニカの正体の確認を兼ねた凶行を俺に決行させる運びとなつてしまった。

あー、これは予想外だったんだー。ゲート移動だったらとりあえずこの女を投げて当て馬にしようとか考えてもいかなかったからなー。あーなんてことだチクシヨウ許さねーぞ茅場明彦！

そんなことを考えつつ、俺は理不尽な災害俺の凶行によつてフィールド内に叩き込まれた女をじつと観察した。

見たところ、まだ内部に変化はない。強いて言うならば女の表情が非常に絶望的なモノになつたことくらいだろうか。

うん、流石にかやひこからの先兵とは言つてもやりすぎてしまったかもしれないな。ここで投げるのはろーくんで良かったかもしれない。

死んでもコンティニュー出来るそうだから。

「何見てんだよ店長、まあさつきはグツジヨ……………うわあ」

俺が『やっぱこつち生贄にすりやよかつたか？』なんて考えながらろーくんに視線を送つてみるとろーくんはそんな酷いことを言つてきたが、その時突然始まつた敵の出現に言葉を失つてしまつていた。

狭い空間の中、同時に現れる12体の敵。

そのサイズは1体1体は大きいわけではなく、むしろプレイヤーと遜色ない大きさだった。

だが、そこから感じる圧のようなもの……………ヴァーチャルの世界でそんなものを感じるとかちよつと訳わからんが……………は、少なくとも俺がこれまでリアルで倒してきた強敵たちにも匹敵しうるものだ。

それが12体。俺ならともかく、あの様子じゃ多分手も足も出ないだろう。

そう考える間にも、女は12体の凶悪な敵による蹂躪を受け、あつという間にHPが尽きてコンティニューすることになつた。

どうやらコンティニュー出来るというのは本当らしいな。

「ああもう！死ぬかと思ったよ!?いくら私が優しいお姉さんでも怒るからね！」

「いや、お前が怒っても姉貴の3000億分の1も怖くないぞ?」

「…………アレはもう人間じゃないよな…………俺は好きだけど」

「ろーくん、それ姉貴に聞かれたら殺されるぞ」

「ねえ！ちゃんと聞いてよ！無視しないでよ！」

俺が冷静にコンティニュー可能設定が真実であることを確認している間にも女はヒステリックに騒ぎ立て始めたので、とりあえず空気が読めて大人で優しい俺はクールにメニューから煮干しを取り出してプレゼントした。

…………おい、無言で投げつけるなよ。食べ物を粗末にしちやいかんってウチのジジイが言ってたぞ。

るよ。

まったく呑気なものだ。

H A H A H A H A H A、なんだかもう勝てる気がしないぜ。

誰か禁断の強化アイテムとか汚い手を使ってもいいから持ってこいよ。

普段ならこれも実力とか汚い手を使って突破するところだが、どうにもこればかりは運だとかチームプレイだとか、自分以外の何かに頼らずどうにかする手段がまったく思いつかない。

何回やつても、何度挑戦してもほぼ毎回初手確殺、幸運にも初手確殺を免れても2、3手以内にとどめを刺される。そんなものをどうしろと？わけがわからないよ。

それに、本来はプレイヤーを焚き付けるための要素になるはずの特殊なルールが今回は完全にマイナスに働いている。

……ああ、悲しきかなSAO。ここまで理不尽だとは思っていなかった。マジでかやひこは今すぐにでも首吊って死んでくれ。

「……つーか、さ。これをやろうって言い出したの誰だっけ？」

「そりやお前だろ？お前意外思い当たらねえよ」

「いいや君だろろーくん」

「……そんな覚えはないな。お前がやろうと言い出したんだらう」

「へえ、そんなにここでポロリシーン入れたいのか？」

もちろんだが、ポロリするのは首の方だ。

俺とろーくんはいつも以上に酷く低レベルなやり取りをししながら、しかし殴り合う気も起きずにただ罵り合っていた。

……いつもならこの辺りでお互いにキレて殴り合うか煽り合いになるところなんだがなあ。これはちよつとマジで危ないかもしれない。

無論、俺はまだ挑戦を諦めたつもりはない。

一度勝つと決めたら汚い手も禁じ手も暗黙の了解も何もかも無視してやりたい放題やって勝つ。それが俺の流義であり、プライドだ。

それに、ほぼ確実に勝つ方法ならとっくに見つけている。

別に難しいことじゃあない。ただ単純にろーくんが妨害に専念して俺がその隙に全部終わらせる。それだけできつと勝てるだらう。

「なあろーくんよ」

「断る」

ならば何故俺たちはここまで無駄な敗北を重ね、辛酸を舐めてきたのか。

ろーくんと協力することが出来れば、確実に勝てる。現実でもケンカになった時、俺一人じゃ勝てない姉貴やなんかにもろーくんとタッグを（あるいは協力関係を）組めていれば大体勝ちを奪いに行けたことから考えても、ほぼ間違いない。

では、何故ここまで勝つことが出来なかったのか？

それは、ひとえに俺とろーくんが上手く噛み合わなかったせいだ。

今の問いかけに対する反応からも分かるように、ろーくんは俺の話に対してまったく言っていないほどに聞く耳を持たない。

普段なら、ここで適当な餌を撒いて引つかかるまで待つところだ。ろーくんのことだから適当なエサでも時間を掛ければかかってくるだろう。

だが、正直言つて今は色々疲れてるし、時間を掛けるのもめんどうさいからさっさと済ませてしまおう。

伝家の宝刀（一度も使った覚えはないけれど）の『俺が一回だけ協力してあげよう！』を抜けばどうにでもなるのさ。どうせロクなことに使われないだろうけど。

「次の一戦で協力してくれたらリアルに戻ったあと一度だけ企みに協力してやろうと思ったんだが……アーザンネンダナーデモシカタナイナー」

「よし分かった協力しよう。妨害だな？分かってるさ」

俺が投げた過去最大級の釣り餌に、ろーくんはあっさりと言いついた。まさに海老で鯛を釣った、と言ったところだろう。

ろーくんの企みに協力するリスクは高い……しかし、この泥沼を脱出できるのであれば、その程度のリスクは安い、いや安すぎると言っている。

もう、誰にも負ける気がしない。ここからは蹂躞タイムだ。

俺はここでさりげなくへし折る前提でフラグのようなものを建て

つつ、戦闘不能になってしまったふーちゃんの代わりとして、端の方でいじけていた女を強制的に参加させるべく肩に抱え、決戦に向かう。

いきなり持ち上げられたことにびっくりしてしまったのか、女は無様に暴れているが、その程度のことには気にしない。

今はただ、勝つことだけを……目の前の目的を達することだけを考えていよう。

無意味にそれっぽいことを脳内では呟きつつ、俺はここでもう一度、というか今度こそ場の雰囲気と和ませるためにテンション高めで叫ぶ。

「俺、これに勝ったら本気で攻略するんだ」

「それなんて死亡フラグ」フラグなんてへし折ればいいのサっ!」……おいバカそれも含めてフラグだろ」

「……ってか私なんの関係もないよね!? たしかに君たちのサポートが役目ではあるけど、これは違うよね!」

とりあえず頭数が欲しいんだよ。お前に拒否権なんてものはない。それを無言の圧力で理解させつつ、俺たちは決戦の場に入っていく。

勝ちたいとか、企みを成功させる切り札が欲しいとか、そういう欲望によって強制的に生み出された俺たちの結末に、綻びはない。

それゆえに、そこにはもう一分たりとも敗北の可能性が存在しない。

勝利の方程式は、ここに完成したのだ。

ここに至るまで、かつて経験したことがないほどの回数、敗北を体験したが、今度こそ勝利をつかみ取って見せようじゃないか。

俺はそう覚悟を決め、宣戦布告する。

「さあ……覚悟しろエフ子！今度こそは俺たちが勝つ！」

空前絶後の最終決戦が始まる……脱衣麻雀の頂点を決める、最終決戦が。

【SAO・超越編】これが出たら死ぬとは言うけど

俺たちは、あれからも数え切れないほどの屍を積み重ねた。
脱衣麻雀であるがゆえに、負ければ脱がなければいけない。

だから俺もろーくんも、あと女も巻き込まれる形で全員が例外なくインナー1枚になっていた。途中で何回も持っている衣服系アイテムと別の服をクイックチェンジですり替えるという超高等技能を發揮してさも重ね着をしているように見せかける汚い手まで使ったのに、だ。

まあ女はそれが使えなかったから今は『負けるたびに妙なパーツ追加。30個を超えたらやり直し』というルールになっているがね。

……しかし、俺たちの屍も無駄にはなっていない。

これまでとはレベルの違う凄まじい超絶^{イカサマ}テクによつてエフ子を何度も負かすことに成功し、勝率ではいまだ凄まじい差が付いているものの、あと1回勝てばエフ子もインナーだけになることは間違いない、という状況にまで追い込んだ。

名実ともに、次が最後の一戦。

俺の向かい側ではろーくんが、エフ子の向かい側にはネコミミなど適当にパーツが付着している女がそれぞれ真剣な目で牌をシャッフルしている。

ここが天下の分かれ道。勝てば天国負ければ地獄……勝利の女神はどちらに微笑むのか。

そんな神妙な気持ちになりつつ、俺とろーくんは至極真剣に人間の限界に挑戦する。

俺とろーくんが選んだイカサマは、ろーくんがひたすら他の2人から意識を奪い、その裏でいくつか把握できていない牌をこっそりと見せ、俺がイカサマで見たものも含めて全ての牌の位置と動きを把握することで完璧に近い精度で狙いの牌を得るそれ。

俺が持つ、人間の中では最高峰の性能を持つ脳を使ってなお失敗することもあるそのイカサマは、この大一番においてほぼ完璧に作動している。

見える……見えるぞ！お前たちが動かす牌の、全てが！

この大一番において、俺はいわゆるアスリートで言うところの『ゾーン』に入っていた。

さつきまで完全にはとらえきれていなかった牌の動きが、今は余すところなく完璧に把握できている。

意識は加速し、まるで尋常でなく強烈な向かい風に向かって歩いて
いる時のような感覚に襲われるほどだ。奇妙な全能感すらある。

もしかしたら、今なら狙えるんじゃないだろうか。

極限の集中がもたらした訳の分からない全能感に従うように、俺は
混ぜ途中の牌の中から、必要な牌だけを探し出して動きを追う。

そして不自然にならないようにそれを狙った位置に集め、積み込
む。

決してばれないように慎重に、しかし大胆に。

完璧に行われたその暴きようのないイカサマは、俺が親になったこ
のゲームにおいて、現実ではありえないような奇跡を発生させる。

「……天和で九連宝燈だ、乙」

ゲームの開始と共に、終了。

きつと他のゲームでは起こりえないことだろう。そして、このゲー
ムであつてもこの上がり手は多分起こらない。

天和はさつきからエフ子がバンバン出しているせいで忘れがちだ
がそもそも普通は一生に一度も見ないし、それは九連宝燈も同様。

イカサマを疑うしかない状況だが……証明は、ほぼ不可能。

「……えっ」

ほら、エフ子もポカンとしている。

さつきまで幸運でバカみたいに連続でとんでもない上がり方ばつ
かしてたお前にポカンとされる覚えはない。

クツクツク……これが大人の実力つて奴よ。

バカみたいなことを心中で呟きつつも、俺はかつてないほどの歓喜
に満ちていた。

いろいろなストレスがまとめて全部13光年くらい先まで吹っ飛
んでいく。

13光年とか微妙？気にするな。今大事なのは結果なんだよ。

あのエフ子が脱衣麻雀でマップに剥かれた。そう、つまるところは
世の理不尽に工夫と努力が勝ったということだ。
リアルラックチート イカサマ

ハレルヤ！素晴らしい！

何を言ったらいいのか分からんが、とりあえずこれだけは言っておこう。

「ついに俺はこの理不尽を突破した！もう負ける気がしねえ！」

「もう思い残すことはないな……」

俺とろーくんはほぼ同時に、死亡フラグとも取れるセリフを吐いた。

分かっているも抑えることが出来なかった。

この達成感には誰にも理解することはできない。

「はあ……負ける気がしないってんならクエスト攻略してよ」

「ささて、それはともかく脱衣麻雀のルールだ。さあ脱いでくれ」

「いや話聞いて!？」

俺は疲れ果てた表情でクエスト攻略を催促する女を全力で無視しながら、ろーくと奇妙なコンビネーションを發揮してエフ子に罰ゲーム実行を要求した。

なお、レーティング的によろしくない描写を防ぐ倫理コード設定は……聞くまでもないだろう。

ろーくんへのご褒美なんだから、是非もないよネ！

「うう……もうおよめにいけないです……」

またもや奇妙なコンビネーションを發揮、気持ち悪いまである連携によってエフ子の 最終防衛ライン 服を丁寧^に、そして半ば無理矢理に無理矢理脱がせる。

俺はただテンションのままに。ろーくんは煩惱のままに。

目的は違えど、お互いにそれをやる理由は1つ。

「これが勝者の権利って奴さー！」

「ハアハア……あ、ところでお嫁に行けないなら俺に貰われてくごぶっ」

……と、思ったらわりと大間違いだったが、まあ気にしない。

今はこの姪っ子とイベントに裏口的な方法で参加しようとして7
徹し、結果見事優勝した時のそれすら上回るこの興奮に任せてしまえ
ばいいのだ。ひゃっほう。

俺は隣でエフ子のあられもない（幸いにして生まれたまま、ではな
いし下はこたつに入っているのでKENZENだ）姿をガン見してぬ
いぐるみの皮を被ったハンマーを投げつけられて悶絶するろーくん
を気にすることなく、徐々にテンションを加熱していく。

……ここのところずっと屍を積み重ねてきたことによるストレス
も、フラストレーションも、なにもかもをただただ今現在のテンショ
ンを上げるための起爆剤にして、俺は先ほどのゾーン到達時には届か
ないまでも、平常時を超える圧倒的な速度で思考を回転させ、次に何
をするべきかを考える。

——最大の目的は既に成した。

——ならば何をするか？分かり切ったことだろう。

俺はなんの意味もない自問自答を行い、次に自分が何をすべきか
を把握した。

そしてメニューから刀スキルの入った聖晶瓶と、突属性の威力を2
0%強化、斬属性は80%弱体というピーキーな効果を持つ太刀を取
り出して装備し、久しぶりに握る両手武器（別に片手でも何の問題も
ないけれど）の感覚を馴らすようにいくつかの構えを取る。

上段、中段、下段、下の下段、いわゆる『無形の構え』もどき、太
極拳的なやつ、からの無駄なソードスキル発動……一切の継ぎ目なく
行われたそれは多分、金を取っても怒られはしない程度のもものでは
あつただろう。

「おお……これでようやくクエストが……」

そんな中、俺が構えを取っていたのを見て、先程の脱衣麻雀でしつ
かり負けてきわどい格好になっっている女が涙目になりながらよく分
からないことをほざいていたが……無視だ無視。

たとえこれから実際にクエストに挑むにしたって、わざわざ教えて
やるまでもないだろう。

その後、俺は構えの練習をもう2セットほど行ってから刀をしま

い、深呼吸をしたのちにクエスト挑戦用のゲートを見る。

……俺がアレを一步でも踏み超えれば、決戦が始まる。

はつきり言つて、今回ばかりは相手が強すぎて真面目に戦わないといけないから少しばかり憂鬱だ。

ゲームなんだから楽しむ余裕くらいは出来るように設定しとけよかやひこ……

俺は心の中でそう思いつつ、ついでにさりげなく中指を立て、いよいよ本格的にボスたちとの決戦に臨むのだった。

俺たちの戦いはこれからだ！

【SAO・超越編】出才系でよくあるアレ

「嘘……だろ……」

ところがどっこい嘘じゃありません。君が見ているのは現実だ！

俺は、今のところ閉じたり変化が起こるような様子が全くと言っていいほど見られないゲートによって待機用空間と繋がれた決戦のバトルフィールドの中、手に持った刀を振り回しながら奇妙なダンスに興じていた。

手に持った刀は耐久値もギリギリだし、俺のHPは数値的に1しか残っていないのだから、きつとこの状況はギリギリの中でも最大級の超ギリギリだ。

無論、本来ならここは12体のとんでもない強敵が現れ、侵入してくる全てを容赦なく蹂躞するSAO史上もつとも頭のおかしい場所だ。

こんな超ギリギリの状況なのに危険地帯でのうのうとダンスなんて、いくら俺でもきつと出来ないだろう……いや、意外といける可能性はあるけどさ？

……だが現在、俺はそんな頭のおかしい場所で悠々とダンスを踊っているわけだ。これがどういう事態を指しているかは、誰にだってわかるだろう。

「……もしかして私、悪夢でも見てるの？」

ゲートの向こうから、ふいーちゃんが言った。

いや、そもそもフルダイブ型VR自体が一種の幻覚みたいなものだし、SAOなんて言い方を変えればある意味で悪夢に等しいから、この世界じゃそんなもんは見ないぞふいーちゃん。

まあ、あの錯乱っぷりだとありえる気もしなくはないがね。

そんなことを考えつつ、俺は奇妙奇天烈なダンスを続行していた。テンションがハイになりすぎて体を動かしてないとうっかり理性のタガが外れた行動をとりかねないからな。

普段からそうだって？……何をバカなことを。

まあ、そんなことは良いんだ。俺がハイテンションすぎて体を動かしていないと周りに被害が出そうだとか、そんなことはね。ほら見たまえよ。無駄に悠々自適空間と化したバトルフィールドを。

ただただ無とよく分からない光だけが設置された、無の空間。

全てのクエストボスが討伐され、ただ1人の勝者たる俺以外の全てがなくなった、この空間を。

そう……俺は、かやひこが悪意と嫌がらせの粹を詰め込んだこのクエストを、クリアしたのだ。

これはもう悦に入ってハイになって調子乗ってしまったって許されるだろう。

「フヒヤハハハハハハハ！俺に出来ないことはなアい！」

某社長のごとくのけ反りながら高笑いをし、ついでに流れるような動きでゾンビポーズもキメてみた。

我ながら完璧だ。どこが完璧かはよく分からんけど。

そうやって自分に酔っていると、不意になんとなく意識高い系と呼ばれている奴等の気持ち分かるような気がしてきた。

今のところその手の痛い奴に会ったことはないが、多分あいつらもこの気分が味わいたくて訳の分からないくらいに横文字を使いたがるのだろう。

ああ、一度でいいから会ってみたいな、意識高い系。意識他界系だったら結構見たことあるんだけどなあ……

そんなことを考えつつ、妙なダンスに飽きてバトルフィールドの中をまるでゾンビのようなポーズで（しかし動きは機敏に）歩いてみると、ゲートの方からあの女に声を掛けられた。

「えと……これは一体何が……」

「ハッ、見れば分かるだろうよ。これが俺の本気つてやつだ」

「い、いやそうじゃなくて、なんでそんな恰好をしているの？」

「どうやら俺の格好が気になるらしい。」

まあたしかに、クエスト開始前に身に着けていたのは至って特殊でもなんでもない普通の服と、多少特殊な効果を持つだけの刀だけだっ

たし、そりやあ気にもなるだろうが……別に大したことでもあるまいに。

と、俺は心のどこかで『何言ってるんだコイツ?』と思いつつ、そろそろふいーちゃんに死刑執行命令「ゴースイン」を出してやろうかとすら考え始めたその時、何故かろーくんたち3人が首を縦に振っていることに気付いた。

いや、お前らまで俺が服と刀だけで挑んだくらいのことを気にするのかよ……

そう思つて、怪訝な目を向ける。

「なんだよお前ら、そんなに言いたいことがあるなら言えよ」

「……パス」「パスだね」「パスです」

「『さあ言え(つてください)！』」

「なんで私!?!」

「さあ！早く言うなら言え！」

そして3人は普段しよっちゅうケンカしている2人が含まれているとは思えないほど、絶妙なコンビネーションで説明責任をあの女に転嫁し、その結果俺は何故格好を気にされているのか、その理由を知ることになった。

「……じゃあ言うよ言えばいいんでしょ？」

「前置きはいいい、ただ本題だけを言ってくれ」

「前から思ってたけど私の扱い雑過ぎない!?!」

お前はそういう星の元に生まれてきたんだから仕方ない。どんな星かは自分で探せ。そしてあわよくば撃ち落とすのだ。

しかし女は前置きをして俺を焦らそうとする。

まったく、俺に対して焦らしを行うだなんて野生の土佐犬を安全策を一切取らずに従順な警察犬に調教するのと同じくらい危険なんぞぞ?

姪っ子はかつて『アレはもう完全にサイコパスだった。とりあえず精神科行つて出家して聖別を受けて宇宙戦艦ヤマト的な宇宙葬をされてきたら?』とまで評したからな。きつと今の俺は確実にイッてる目をしているに違いない。

「はあ……まあいいや、言うよ？そr「待て！それは危険だ！」いやパスしたのそつちだよね！」

そんなことを考えていると、不意にろーくんが女の数少ないセリフに割り込んできた。

うん……危険もなにも、今ちようど危険の真つ最中なんですけどねえ？

「今気付いたんだよ。これ別に説明する必要なくね？むしろこれだけで十分じゃね？ってことにな」

そう言うと、ろーくんはかつてSAOプレイヤー全員に地獄を見せたあのアイテムを渡してきた。

手鏡だ。どうやらこれで自分の格好を確認しろということらしい。

俺はそれとなくアイコンタクトだけで尋ねてみると、肯定と見てよさそうな反応が返ってきたので、若干右斜め上あたりに掲げて腕を目いっぱい伸ばし、全身が映るようにする。

そこに映ったのは……

一糸まとわぬ姿の、俺だった。

「……お前ら俺の裸なんて見て楽しいの？」

「「いや服を着ろよバカ！」」

……まったく、なんでこうなったんだか。

俺はその原因を解明するため、戦闘中の自分の記憶をたどってみることにした。

【SAO・超越編】設定ミスしたお前が悪い

……24個12対の目玉が、こちらを睨んでいる。

言うまでもなく、それらは全てこのクエストのボスマンスターたちが俺に対して向けるものだ。

普段ならこういう時は『いや、モテる男はつらいねえ』とでも言っ
てやるところだが、残念ながら今はそんなことを言っている余裕はない。

何度も何度も確認しているが、こいつ等は例外なく全て並のボスマ
ンスターなんかよりも強い文字通りの怪物なのだ。

最初っから最後まで本^{クワイマツクス}気で行かなければ犬死にを繰り返すだけ
だろう。

まあ、もちろん秘策がない訳じゃあないが、それに頼るのは追い詰
められるまで待つとしよう。

俺は方針を決めると、12体の中でももつとも大柄な敵にターゲッ
トを定め、刀を構える。

そしてそれが合図となるように、12体のボスたちは一斉にこちら
へと即死級の攻撃を次々と放ってきた。

火水土風と言ったいわゆる四大属性、よく分からんけど雷、見るか
らに状態異常を引き起こしそうな霧状のビーム、その他もろもろなん
でもござれ。

もう明らかにクリアさせる気ないよねと思わざるを得ないほどの
えげつない攻撃だが、残念ながら最初の攻撃は確実に回避する方法が
判明している。

「残念ながら通行止めだっ！」

俺は無意味に叫びながら、自分の足元に粘菌スライムからドロップ
した液体をぶちまける。

するとそんな行動はそもそも想定されていないのか、こちらに向
かって接近していたボスたちを転ばせる。

当然ながらそれは遠距離攻撃を行った個体には意味がないが、幸い
にして突進を行うボスはこの中でも大柄なものが多い。

なので、その巨体が盾代わりになって攻撃を受け止めてくれるのだ。

俺は最初の攻撃をしのいだのち、転倒したボスが立ち上がるまで適当にツンツンし、復帰する寸前で退避して今度は同じく立ち上がろうとしている別のボスの背後に隠れる。

すると、遠くのボスたちは先ほど突進したボスを転ばされてうっかり命中させてしまったことから何も学んでいないのか、バカの一つ覚えのように凶悪な遠距離攻撃を繰り返してくる。

もちろんそのどれもが即死級の威力を誇り、普通の盾なら一発分の削りダメージだけでも死にかねないが……残念ながら俺が盾代わりに使っているのは奴等と同じボスだ。そのふざけた耐久力は盾なんかとは比べ物にならないわけで。

第二波の遠距離攻撃は、たった今俺が背後に隠れたボスに当たり、それを再びダウンさせるだけで俺にダメージは入らない。

なんの意味もなさなかったわけだ。

いやあ……なんて素晴らしい光景だろう（ゲス顔）。

圧倒的なHPを持つボスへの有効打をボスによる同士討ちで与えつつ、一発たりとも受けるわけにはいかない攻撃を防ぐ——これぞ名付けて『多人数戦闘なんだからフレンドリーファイアに気を付けろよバーカバーカ！』作戦である。

その種は、SAOにこっそりと存在する、mobの攻撃がmobに当たるとヘイト値が一切変化しないままダメージが入るという仕様をなんの工夫もひねりもなく悪用しただけに過ぎない。

もちろんそんなことが日常的に起こればプレイヤーたちはただmobにmobを倒させるだけでレベルを上げられてしまう。

そのため、通常のmobや取り巻きを召喚するタイプのボスはフレンドリーファイアを避けるため、ある一定の条件が満たされると特定の攻撃を使わなくなるという傾向が存在する。

例えば……俺の検証によると、コボルドロード系は『自身のHPが一定以上』『1つ目の条件を満たしている時で、取り巻きが近くに居る』のような条件下では周辺一帯を薙ぎ払うタイプのソードスキルや

攻撃を繰り返さなくなるし、一部の例外的な奴を除けば突進なんかも味方が居る状況下ではあまり使われない。

だから、普通はこのmob同士のフレンドリーファイア仕様を知っていたとしても、せいぜいがフィールドに出没するタイプのネームドをトレインして突進させ、種族的に関係のない雑魚に当てて命懸けの楽をするくらいしか出来ない。

……だが、この場所に揃えられたボスたちはどうだろうか？

こいつらにはフレンドリーファイアを回避するための条件付けは存在するのかな？

答えはNOだ。

そもそも、12体ものボスを同時に投入してくるこのクエストがトチ狂っているだけで、普通は2体で1組になっているか、複数のボスでHPバーを共有（某死にゲーの三人の公王みたいなものだ）でもしていない限り、ボスが複数同時に現れることはほとんどない。

しかしその前提である『ボスは基本的に単体で出現する』が存在しないはずなのにこいつらはHPバーの共有も、対のデザインもされていない。

あとはもう分かるだろう。

言ってしまうえば近接型のボスを延々と先程の液体や、あるいは足元への集中攻撃による転倒。時に他のボスの遠距離攻撃を誘導したノックバツクなどを悪用して盾代わりに使い続け、こちらの消耗を最低限に抑えながら近接型を抹殺するだけの作戦、つまるところ本来ならば『面白くない』と切って捨てて焼いて消し去るようなものだが……案外バカに出来ない楽しさがある。

「GR……無、念……」

「おい待て何故一瞬だけ喋ったし」

「キシヤアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア！」

「お前はお前で新しいな!」

まず余裕ができるから、こいつら1体1体に仕掛けられた訳の分からないアソビゴコロ（またの名を悪意に満ちた嫌がらせの源泉とも）がよく見える。

さつきまでグルグルうるさかったのにいきなり人間の言葉を喋って驚かせてきたり、どこぞの未確認生物のような奇声を上げたり。

コイツらって本当にかやひこが用意した最強最悪のボスなのか？と疑問に思ってしまう。

そんなことを考えている内に、不意に盾代わりになっているボスたちのHPが少々心もとないことに気付く。

すでにHPバーも最後の1本が半分を切っているし、そろそろ終わりだな。

「なあお前ら、最期に言い残すことある？」

「……………」

「無視かよ感じわりい。ケッ！」

俺が盾として使っていたボスたちが、ポリゴンとなって掻き消えていく。

同時にそれまでボスたちの決死の（強制）身代わりによって防がれていた攻撃が俺に降り注ぐ。

だが、その攻撃は当たらない。

いまだ減っていない遠距離攻撃を行っていたボスたちの攻撃は、何一つとして俺には届かない。

「ヴぁーかヴぁーか！どこ狙ってやがんだクソエイム共！」

もちろん、本当にこいつ等がクソエイムな訳ではない。むしろ長い時間をかけて俺の居る場所に攻撃を打ち続けてきたのだから、本来なら確実に当てられていただろう。

しかし残念なことに、その正確さが仇となっているのだ。

そう……俺を狙った攻撃は、全て……同じく俺を狙った攻撃によって無力化されているのだ！（謎のしてやったり顔）

これもまた例のアレ、つまるところ同士討ち防止設定の付与し忘れによる悲劇の産物、とでも言うべきものなのだが……まあそのところはあまり気にしないでもいいだろう。

味方の攻撃に遠慮してタイミングをずらす回路を搭載し忘れるなんて、こちらにとつては行幸でしかないんだからな。

さつきまではボスの巨体に当たっていたおかげで重複して撃ち落

とし合っているのが分かりにくかったが、それがなくなったおかげで、その無様な状況を映し出している。

無論、普通ならこんなとんでもないクエストの途中で『立ち止まる』という選択をしないだろうから、その分ターゲットが分散してこの現象は起こらない。

もちろん俺だってわざわざ自殺するようなことをやりたいとは思わないから、この現象は本来発覚しなかったのだろうが……何回か前の挑戦の途中、偶然にもふいーちゃんがこれを引き起こすことに成功したのだ。

その原因と言うのが、何やらお気に入りアクセサリ（ストラップ的な奴だった）を落としてしまったらしく、咄嗟に拾おうとしてしゃがみこんだからなのだが、よくもまああの状況であんな死亡フラグを建てられたものだよ。

どこの艦船系美少女アニメだって犠牲者はアクセサリ髪留めを気にして死んだのに……

……アレはマジのトラウマ案件だった。

あんなトラウマを現実で体感したくはないものだなあ。そう考えながら、俺は残るボスたちとの戦闘に備えるのであった。

【SAO・超越編】これがたった1つの冴えたやり方……とでも思った？

あらためて思うが、今回のボスたちは本当に絶望的なほどタフだ。防御力こそ狂氣的と断言できるほどの値を備えて居たりはしないものの、まず普通に戦ったら3日とかそういうレベルで時間がかかるのは間違いないだろう。

その絶望的にタフなボスを2体も倒したあとにこんなことを言うと少々矛盾しているように聞こえるかもしれないが、そもそもこのクエストは、ゲームバランスとかそういうものを考えている形跡が一切ない最低最悪のクエストなのだ。

ウィザードリイで言うならば『囚われし亡霊の街』に当たるだろう。それほどまでにゲームバランスが崩壊している。

それこそ、こっちの攻撃なんかよりよっぽど威力の高いボスの攻撃を延々と当て続けてもしなければ、さっきの2体だって討伐には半日くらいかかっていたに違いない。

SAO以前のMMORPGが末期に生み出す文字通りの魔物だったこれほどタフで時間がかかるようなものじゃなかったのに。

今回ばかりはかやひこも素直に反省するべきじゃないだろうか。そして全力で土下座しながら今すぐ俺と決闘するべきじゃないだろうか。今すぐここで。

そうすればいくらアイツでも自分のやったことの愚かしさを理解できる……かも、しれない。

まあアイツにデス様で有名になったエーののような良心的な対応なんてものを期待するのはお門違いって奴なんだろうがな。

「いやあ君たち？ いい加減無駄な攻撃をゲロリ続けるの諦めてみなさい？」

俺は延々と遠距離攻撃を吐き出し続けるボスたちに対して毒を吐き散らしながら、その傍らに今回の立ち回りを考える思考を並立させる。

ロクなことに使われた試しのない俺の脳みそであればこの程度の並列思考は余裕である。

相手の攻撃パターンを推測し、予想外の行動をされても超余裕で回避行動（またの名を敵シールドとも）に移ることが出来るように自分の行動を決めていく。

無論、このクエストにおける立ち回りはどうしても『ボスの攻撃をボスに当てさせるか』が重要になってくるので、それを忘れてもいけない。

どんな行動をしてきたとしても決して攻撃を受けないように。そして可能な限りボス同士のフレンドリーファイアが発生するように。

いつもならば頭の隅によぎることすらないような慎重極まる立ち回りだが、今回はこれこそが最適解だ。相手のHPが膨大すぎてマトモな手段じゃ削り切るのに何日かかるか分かった物じゃないし、ボス同士でのフレンドリーファイアがあるかどうかでDPSは文字通り桁が大きく違ってくる。それこそ宮城県にある日和山とエベレストくらいには。

そんなことを考えつつ、ひとまずある程度自分の行動をパターン化し終えたのでそろそろ行動に移ろうとして、ふと気付く。

——あれ？ どうやったらこの状況を死なずに解除できるんだ？

そう、この状況はあくまで『相手の攻撃が集中し過ぎて逆に当たらない』というだけで、俺が動き出しさえすればそれは単純に暴力的な密度の弾幕に早変わりしてしまう。しかも弾幕はどれもこれも通常の方法では回避不可能なほどの速度を持っている。

つまり、俺がここから一歩でも動こうものならば一撃即死ということだ。

H A H A H A H A H A、なんてこった大誤算だZ E。まさか安全地帯を作ったせいで逆に安全地帯から抜け出せなくなるとは。

ふいーちゃんによって編み出された逆説的安全地帯製造法の思わぬ弱点が見つかったが、まあ慌てることはない。

ようは一時的にでもボスたちのマークを俺から外しさえすればい

いのだ。

例えば、俺のアイテム欄の中に結構な数が存在している【PK人形】びゅーきー人形こと【身代わり人形】。これなんかはその目的のためには最適だろう。効果は名前の通りで、アイテム欄から取り出すとHPの1割弱くらいを消費して大量のヘイトを無差別に集めてくれる。

欠点を挙げるなら、この人形は敵の攻撃力に関わらず必ず一撃で壊れることと、これが壊れるとこれに集まっていたヘイトがランダムに振り分けられてしまうことだろうか。

その他にも通称の原因となった『敵の種類によっては攻撃が全くと言っていいほど当たらず、散々mobのヘイトを稼いでからフレンドリーファイアした他のmobたちのヘイトが自分に降りかかって死ぬ』という特徴もあるにはあるが、どうせ最初から俺しかいない今の状況においてのみ言うのであれば、かなり便利なアイテムと考えていい。

重要なのは一時的にでもヘイトを稼いでくれるか否か、それだけだ。

今回は幸いにして（一部プレイヤーを恐慌状態に陥れるが）人形をネタアイテムとして所持していたので、アイテム欄から取り出した無数の身代わり人形を、無作為に投げ込む。

するとボスたちはフリスビーを投げられた犬のように続々と人形に群がっていく。

どうやらヘイトを人形たちに向ける試みは成功したようだ。

内心で適当にガッツポーズをキメつつ、せっかくボスどもが人形遊びに夢中になっていてくれるんだからと装備を整えることにした。

俺は、実はここまでの全てがただの前座だったのだ！ というテロップが出てきてもおかしくはないほどに素早い動作でメニューを操作し始める。

手始めにメニュー内の『全装備一括解除』のボタンを押して装備を全て収納して防具を吟味し、とりあえずこれでいいやと思えるものを見つけてから、こつそりとボスたちの方向に視線を向けて様子を……

「Q A A A A A A A !」「G r r r r r a a a a a a a a a a !」「ケケケケケケケケケケ！」

……よし、見なかったことにしよう。

俺は放り投げた身代わり人形たちがたどった残酷すぎる運命に、思わず目を逸らした。

鳥に突つつかれ、よく分からん生物には雷を落とされ、変な死神っぽい奴には瘴氣的な何かで狙われる。

しかもそれが微妙に当たりそうで当たらないのだ。これほど恐ろしいことは他にるだろうか？ いやない。

かつて何度かやってみたことがあるからこそ分かるが、当たりそうで当たらない致命の一撃って奴は肉体的ダメージの代わりに精神的ダメージが発生する致命の一撃と言って差し支えないのだ。

チクショウ、かやひこめ！ こんな汚い方法でこっちに精神的ダメージを与えてくるとは！

身代わり人形たち、お前らの仇は俺が絶対に討ってやるからな！
なんて心にもないことを頭の中で叫んでみたりして、一度脱線した思考をそこで元に戻す。

まず体にはTシャツ（普通のTシャツ。動きやすい）、足には若干移動速度が上がる（何故か敏捷は上がらない）せいで微妙な装備扱いを受けているグリーヴ、そして例の刀。

はつきり言って防具はかなり適当だ。

しかしそれに反してアクセサリには最大限にこだわり……：防御力を引き換えに攻撃力を上昇させる指輪、HP継続減少（これで死ぬことはない）のバッドステータスを代償に攻撃力をアップさせる指輪、HPが半分より回復しなくなる代わりに攻撃力がアップするピアス、HPが減少しているほど攻撃力が上がるネックレスの4種を身に着ける。

それによつて払う代償はかなり大きいが、そもそもHPマックスからでも攻撃が当たれば即死なのだから、こんなもの代償なんて呼べはしないだろう。

というかもはやなんのデメリットもなく攻撃力を上げているに等

しいと言つてもいい。

俺は自分の偏り切つたステータスに謎の満足感を覚えつつ、そろそろ投げた人形が破壊される頃合いだと思つて手にした刀を構え、極端な前傾姿勢でボスの中でも特に動きの遅そうな、亀によく似た一体に突進を敢行する。

「ハーツハツハツハア！ ヴァカナボスどもよ！ これが俺の本気だア！」

そして、俺がようやく放つた全力の一撃は見事に亀の足に命中、それによつて先程まで身代わり人形に集まっていた亀のヘイトがこちらに向かう……と、思いきや。

「……………」ガスガス

「……………」おい亀さん、一体どうしたんだね」

どういう訳か、ボスたちは身代わり人形に向かつて攻撃を続けるばかりで、こちらに視線を向ける様子すら見られない。

……流石にこれは予想外だ。

こいつらマタタビ塗りたくつたボールを与えた時の野良猫並みにこつちに興味示さないんですがこれはいかに。

俺は攻撃してもこちらに興味を示すことすらしないボスたちに違和感を覚えつつ、その行動の理由を確かめようと再び刀で突きさしてみみる。

もちろん狙つたのは足だ。相手が亀なのに甲羅を狙つてダメージを減衰させてやる義理はどこにもない。

だから2倍近くになつた攻撃力と、刀が持つ突き補正によつてそれなりのダメージが入っているはずなのに……やはりボス共は動かず、ただただ人形を狙い続けている、

「なあ、いくら隊長さんが鉄の意思と鋼の強さを持っているとしても、ここまで完全にガン無視されると辛いんですけどー？」

「……………」ガスガスガス

「案の定無視かよこの野郎！」

イライラしたのでついでに3回ほど強烈な突きを放つが、無視された。

それどころかのおんびりと友好的に話しかけてみても無視される始末だ……本当にやりにくい。

普通はどんな敵でも武器を出していない、無防備極まりない、馴れ馴れしいの3拍子揃ったこの行為をしさえすれば絶対に攻撃をしてくる筈なんだが……ああもうイライラする。

もしこれを狙ってやっているとしたら、かやひこは間違いなく俺以上の上のとんでもない天才だよ。

……嫌がらせの、な。